宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書　第105集

唐 木 戸 第 3 遺 跡

Karakido 3 Site

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書13

２００５

宮崎県埋蔵文化財センター

序

宮崎県教育委員会では、東九州自動車道（都農～西都間）建設予定地にかかる埋蔵文化財の発掘調査を平成11年度から実施しております。本書はその発掘調査報告書であります。

本書に掲載した唐木戸第３遺跡は宮崎県児湯郡高鍋町に位置し、平成13年度から14年度にかけて発掘調査を実施し、旧石器時代から縄文時代早期までの遺構・遺物を確認することができました。

旧石器時代の調査では多数の石器とともに礫群等の遺構が、また縄文時代早期の調査では土器及び石器等の遺物、集石遺構、土坑等の遺構が確認できました。

ここに報告する内容は、今後、当地域の歴史を解明する上で貴重な資料になると考えられます。

本書が学術資料となるだけでなく、学校教育や生涯学習などの場で活用され、また、埋蔵文化財保護に対する理解の一助となれば幸いです。

最後に、調査にあたって御協力いただいた関係諸機関・地元の方々、並びに御指導・御助言を賜った先生方に対して厚くお礼申し上げます。

平成17年３月

宮崎県埋蔵文化財センター
所　長　　宮　園　淳　一

例　　言

1　本書は、平成13・14年度に実施した東九州自動車道（都農～西都間）建設に係る埋蔵文化財包蔵地の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は日本道路公団から委託を受けて宮崎県教育委員会が実施した。

3　現地での実測等の記録は、鵜戸周成、山口昇、大村公美恵、赤崎広志、山田洋一郎、松尾有年、成相景子が行ったほか発掘作業員が補助した。

4　本書使用の遺物実測図の作成は、鵜戸周成が行ったほか整理作業員が補助した。また石器の実測及びトレースの一部を大成エンジニアリング株式会社に委託した。

5　本書に使用した実測図等の浄書は鵜戸周成が行ったほか、整理作業員が補助した。また石器実測浄書の一部を大成エンジニアリング株式会社に委託した。

6　現地での写真は鵜戸周成、山口昇、赤崎広志が、出土遺物写真は鵜戸周成が撮影した。

7　遺物分布図には「ビジネス＆科学グラフ作成ソフト『The Graph Ver.5.01』」を用い作成した。

8　測量・空中写真・理化学的分析等は次の機関に委託した。

地形測量・グリッド杭設定：㈲タイユー測量設計

空中写真：九州航空株式会社

宮崎県文化財調査・サポート協同組合

植物珪酸体分析・C14放射性炭素年代測定：㈱古環境研究所

9　本書に使用した略記号は次のとおりである。

SI…礫群、集石遺構　　SC…土坑

10　本書で使用した周辺遺跡分布図は、国土地理院発行の２万５千分の１をもとに作成した。また遺跡周辺地形図は、日本道路公団宮崎事務所から提供の1000分の１をもとに作成した。

11　本書で用いた標高は海抜高であり、方位は座標北（G. N.）を基本とし、位置図等の一部に磁北（M. N.）を使用した。

12　国土座標は、旧平面直角座標系Ⅱ（日本測地系）に基づく。

13　土器の色調および土層については農林省農林水産技術会議事務局監修「新版　標準土色帖」に準拠した。

14　出土遺物の石材同定については赤崎広志が行った。

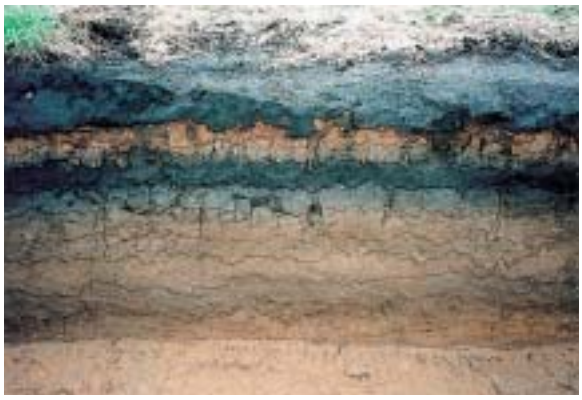
15　本書の執筆は、鵜戸周成が行い、鵜戸周成、金丸琴路が編集した。

唐木戸第３遺跡（南西より）

縄文時代早期　Ａ区：集石遺構（北より）　※後方は唐木戸第４遺跡

巻頭図版

A区：土層断面（Ⅰ層～Ⅶ層）



B区：土層断面（Ⅰ層～Ⅶ層）

A区：土層断面（Ⅶ層以下）

B区：土層断面（Ⅶ層以下）

旧石器時代　第Ⅳ文化層　A区：遺物分布状況（北より）

本　文　目　次

第Ⅰ章　はじめに …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査の組織 …… 1
　第３節　報告書の掲載について …… 2
第Ⅱ章　遺跡の環境 …… 3
　第１節　地理的環境 …… 3
　第２節　歴史的環境 …… 3
　第３節　周辺の遺跡 …… 3
第Ⅲ章　調査の経過と方針 …… 5
　第１節　確認調査の概要 …… 5
　第２節　発掘調査の方法 …… 8
　第３節　整理作業及び報告書作成 …… 10
第Ⅳ章　調査の記録 …… 11
　第１節　調査の概要 …… 11
　第２節　基本層序 …… 14
　第３節　遺構と遺物の分類 …… 21
　第４節　旧石器時代の遺構と遺物 …… 22
　　１　第Ⅰ文化層の調査 …… 22
　　⑴　第Ⅰ文化層の概要
　　⑵　遺物
　　２　第Ⅱ文化層の調査 …… 33
　　⑴　第Ⅱ文化層の概要
　　⑵　遺物
　　３　第Ⅲ文化層の調査 …… 40
　　⑴　第Ⅲ文化層の概要
　　⑵　遺構
　　⑶　遺物
　　４　第Ⅳ文化層の調査 …… 61
　　⑴　第Ⅳ文化層の概要
　　⑵　遺構
　　⑶　遺物
　第５節　縄文時代早期の遺構と遺物 …… 129
　　１　縄文時代早期の概要 …… 129
　　２　遺構 …… 132
　　３　遺物 …… 166
　第６節　その他の調査と遺物 …… 175
　　１　Kr-Aw降灰以前の調査 …… 175
　　２　その他の遺物 …… 176
第Ⅴ章　自然科学分析 …… 177
第Ⅵ章　まとめ …… 185

挿　図　目　次

【第Ⅱ章　遺跡の環境】

第１図　周辺遺跡分布図（1/50000）……4

【第Ⅲ章　調査の経過と方針】

第２図　確認調査トレンチ
配置図（1/1000）……6

第３図　周辺地形図及び遺跡位置図（1/2000）……7

第４図　グリッド配置図（1/1000）……7

第５図　旧石器時代～縄文時代早期
検出遺構分布図（1/444）……13

第６図　基本層序（1/20）……14

第７図　先行トレンチ配置図（1/600）……18

第８図　土層断面実測図１（1/50）……19

第９図　土層断面実測図２（1/50）……20

【第Ⅳ章　調査の記録】

［旧石器時代　第Ⅰ文化層］

第10図　礫及び石器器種別分布図（1/800）……22

第11図　石器石材別分布図（1/800）……23

第12図　北東部石器石材別分布図（1/400）……23

第13図　石器器種別分布図（1/800）……24

第14図　北東部石器器種別分布図（1/400）……24

第15図　石材別石器実測図１（1/4 1/2）……27

第16図　石材別石器実測図２（1/4）……28

第17図　石材別石器実測図３（1/4）……29

第18図　石材別石器実測図４（1/2）……30

第19図　石材別石器実測図５（1/4 1/2）……31

第20図　石材別石器実測図６（1/4 1/2）……32

［旧石器時代　第Ⅱ文化層］

第21図　石器石材別分布図（1/800）……33

第22図　石器器種別分布図（1/800）……34

第23図　北東部石器石材別分布図（1/200）……35

第24図　北東部石器器種別分布図（1/200）……35

第25図　第Ⅰ・Ⅱ文化層石器・
礫分布実測図：Ｂ区北側（1/160）……36

第26図　石材別石器実測図１（1/2 1/4）……38

第27図　接合資料石器実測図１（1/2）……38

第28図　接合資料石器実測図２（1/2）……39

［旧石器時代　第Ⅲ文化層］

第29図　礫群及び礫分布図（1/600）……40

第30図　石器石材別分布図（1/500）……41

第31図　石器器種別分布図（1/500）……42

第32図　礫群実測図１（1/20）……43

第33図　礫群実測図２（1/20）……44

第34図　礫群実測図３（1/20）……45

第35図　礫群実測図４（1/20）……46

第36図　礫群実測図５（1/20）……47

第37図　遺物集中域①石器石材別（上）・
器種別（下）分布図（1/200）……49

第38図　石器ブロック①石器石材別（上）・
器種別（下）分布図（1/200）……50

第39図　石器ブロック②
石器石材別分布図（1/40）……51

第40図　石器ブロック②
石器器種別分布図（1/40）……52

第41図　石器ブロック③
石器石材別分布図（1/200）……52

第42図　石器ブロック③
石器器種別分布図（1/200）……52

第43図　石器ブロック④石器石材別（上）・
器種別（下）分布図（1/100）……53

第44図　頁岩製石器器種別分布図（1/400）……54

第45図　砂岩・流紋岩・尾鈴山酸性岩類製
石器器種別分布図（1/500）……54

第46図　ホルンフェルス製石器
器種別分布図（1/500）……55

第47図　石材別石器実測図１（1/4 1/2）……57

第48図　石材別石器実測図２（1/4 1/2）……58

第49図　接合資料石器実測図１（1/2）……59

第50図　接合資料石器実測図２（1/2）……59

第51図　接合資料石器実測図３（1/2）……60

［旧石器時代　第Ⅳ文化層］

第52図　礫群及び礫分布図（1/600）……61

第53図　石器石材別分布図（1/500）……62

第54図　石器器種別分布図（1/500）……63

第55図　礫群実測図（1/20）……64
第56図　遺物集中域Ａ
石器石材別実測図（1/200）……66
第57図　遺物集中域Ａ
石器器種別実測図（1/200）……66
第58図　遺物集中域Ｂ
石器石材別分布図（1/125）……66
第59図　遺物集中域Ｂ
石器器種別分布図（1/125）……67
第60図　遺物集中域Ｃ石器石材別(上)・
器種別（下）分布図（1/200）……68
第61図　遺物集中域Ｄ石器石材別(上)・
器種別（下）分布図（1/200）……69
第62図　遺物集中域Ｄ
石器接合資料分布図（1/200）……70
第63図　石器ブロックＡ石器石材別(上)・
器種別（下）分布図（1/125）……71
第64図　頁岩製石器器種別分布図（1/667）……73
第65図　砂質・珪質・赤色頁岩製石器
器種別分布図（1/667）……73
第66図　チャート・尾鈴山酸性岩類・凝灰岩・
流紋岩製石器器種別分布図（1/667）……74
第67図　砂岩製石器器種別分布図（1/667）……74
第68図　黒曜石製石器産地別分布図（1/667）……75
第69図　黒曜石製石器器種別分布図（1/667）……75
第70図　ホルンフェルス製石器
器種別分布図（1/400）……76
第71図　石材別石器実測図１（1/2）……79
第72図　石材別石器実測図２（1/2）……80
第73図　石材別石器実測図３（1/2）……81
第74図　石材別石器実測図４（1/2）……83
第75図　石材別石器実測図５（1/2）……84
第76図　石材別石器実測図６（1/2）……85
第77図　石材別石器実測図７（1/2 1/4）……86
第78図　石材別石器実測図８（1/2 1/4）……87
第79図　石材別石器実測図９（1/2）……89
第80図　石材別石器実測図10（1/2）……90
第81図　石材別石器実測図11（1/2）……91
第82図　石材別石器実測図12（1/2）……92
第83図　石材別石器実測図13（1/2）……93
第84図　石材別石器実測図14（1/2）……94
第85図　石材別石器実測図15（1/2）……95
第86図　石材別石器実測図16（1/2）……96
第87図　石材別石器実測図17（1/2 1/4）……97
第88図　石材別石器実測図18（1/2）……98
第89図　石材別石器実測図19（1/4）……99
第90図　石材別石器実測図20（1/4）……100
第91図　石材別石器実測図21（1/2 1/4）……101
第92図　接合資料石器実測図１（1/2）……101
第93図　接合資料石器実測図２（1/2）……102
第94図　接合資料石器実測図３（1/2）……104
第95図　接合資料石器実測図４（1/2）……105
第96図　接合資料石器実測図５（1/2）……106
第97図　接合資料石器実測図６（1/2）……108
第98図　接合資料石器実測図７（1/2）……109
第99図　接合資料石器実測図８（1/2）……110
第100図　接合資料石器実測図９（1/2）……111
第101図　接合資料石器実測図10（1/2）……112
第102図　接合資料石器実測図11（1/2）……113
第103図　接合資料石器実測図12（1/2）……114
第104図　接合資料石器実測図13（1/2）……115
第105図　接合資料石器実測図14（1/2）……116
第106図　接合資料石器実測図15（1/2）……117
第107図　接合資料石器実測図16（1/2）……119
第108図　接合資料石器実測図17（1/2）……120
第109図　接合資料石器実測図18（1/3）……121
第110図　接合資料石器実測図19（1/2）……122
第111図　接合資料石器実測図20（1/2）……123
第112図　接合資料石器実測図21（1/2）……124
第113図　接合資料石器実測図22（1/2）……125
第114図　接合資料石器実測図23（1/2）……126
第115図　接合資料石器実測図24（1/2）……127
第116図　接合資料石器実測図25（1/2）……128

［縄文時代早期］

第117図　集石遺構・土坑・礫分布図（1/600）…129
第118図　石器石材別分布図（1/500）……130
第119図　石器器種別・土器分布図（1/500）……131
第120図　集石遺構実測図１（1/20）……132
第121図　集石遺構実測図２（1/20）……133
第122図　集石遺構実測図３（1/20）……134

第123図　集石遺構実測図４（1/20）……135
第124図　集石遺構実測図５（1/20）……136
第125図　集石遺構実測図６（1/20）……137
第126図　集石遺構実測図７（1/20）……138
第127図　集石遺構実測図８（1/20）……139
第128図　集石遺構実測図９（1/20）……142
第129図　集石遺構実測図10（1/20）……143
第130図　集石遺構実測図11（1/20）……144
第131図　集石遺構実測図12（1/20）……145
第132図　土坑実測図１（1/20）……151
第133図　土坑実測図２（1/20）……152
第134図　土坑実測図３（1/20）……153
第135図　土坑実測図４（1/20）……154
第136図　土坑実測図５（1/20 1/30）……155
第137図　頁岩・赤色チャートブロック
石器石材別分布図（1/100）……157
第138図　遺物集中域ａ
石器石材別分布図（1/250）……157
第139図　頁岩・赤色チャートブロック
石器器種別分布図（1/100）……158
第140図　遺物集中域ａ
石器器種別分布図（1/250）……158
第141図　砂質頁岩ブロック
石器器種別分布図（1/25）……159
第142図　遺物集中域ｂ石器石材別（上）・
器種別（下）分布図（1/250）……160
第143図　石器ブロックａ
石器器種別分布図（1/125）……161
第144図　石器ブロックｂ
石器石材別分布図（1/200）……161
第145図　石器ブロックｂ
石器器種別分布図（1/200）……161
第146図　頁岩製石器器種別分布図（1/667）……163
第147図　砂岩・砂泥岩製石器
器種別分布図（1/667）……163
第148図　黒曜石製石器産地別（上）・
器種別（下）分布図（1/500）……164
第149図　チャート製石器
器種別分布図（1/667）……165
第150図　ホルンフェルス製石器
器種別分布図（1/667）……165
第151図　流紋岩・尾鈴山酸性岩類・凝灰岩製石器
器種別分布図（1/667）……166
第152図　土器分布図（1/667）……167
第153図　土器実測図（1/3）……168
第154図　石材別石器実測図１（1/2）……169
第155図　石材別石器実測図２（1/2 1/4）……171
第156図　石材別石器実測図３（1/2）……172
第157図　石材別石器実測図４（1/2 1/4）……173
第158図　接合資料石器実測図１（1/2）……174

［その他の調査と遺物］

第159図　旧石器時代Kr−Aw降灰以前
（Ⅺ・Ⅻ）層調査範囲（1/800）……175
第160図　旧石器時代Kr−Aw降灰以前
（Ⅺ・Ⅻ）層出土礫分布図（1/400）……175
第161図　その他の石器
石材別石器実測図（1/2）……176

【第Ⅴ章　自然科学分析】

第162図　Ｃ14放射性炭素年代測定用炭化物
採取箇所及び植物珪酸体分析土壌
サンプル採取箇所（1/800）……177
第163図　F6−3G土層における植物珪酸体
分析結果（Ａ区）２……178
第164図　SI19・SI21における植物珪酸体
分析結果（Ａ区）２……179
第165図　H5−1土層における植物珪酸体
分析結果（Ｂ区）２……182
第166図　F2−2G土層における植物珪酸体
分析結果（Ｂ区）……183
第167図　Ⅸ層における植物珪酸体
分析結果（Ｂ区）……183

表　目　次

【第Ⅳ章　調査の記録】

第１表　基本土層注記……14

［旧石器時代　第Ⅰ文化層］

第２表　石材別石器観察表１……25
第３表　石材別石器観察表２……26
第４表　石器の石材・器種別数量組成表……26
第５表　礫の石材・出土層別数量組成表……26

［旧石器時代　第Ⅱ文化層］

第６表　石材別石器観察表……37
第７表　石器の石材・器種別数量組成表……37

［旧石器時代　第Ⅲ文化層］

第８表　礫群構成礫観察・分析表……47
第９表　石器の石材・器種別数量組成表……48
第10表　石材別石器観察表１……55
第11表　石材別石器観察表２……56

［旧石器時代　第Ⅳ文化層］

第12表　礫群構成礫観察・分析表……65
第13表　石器の石材・器種別数量組成表１……72
第14表　石器の石材・器種別数量組成表２……73
第15表　石材別石器観察表１……77
第16表　石材別石器観察表２……78
第17表　石材別石器観察表３……82
第18表　石材別石器観察表４……87
第19表　石材別石器観察表５……88
第20表　石材別石器観察表６……99
第21表　石材別石器観察表７……103
第22表　石材別石器観察表８……107
第23表　石材別石器観察表９……118

［縄文時代早期］

第24表　集石遺構構成礫観察・分析表１……145
第25表　集石遺構構成礫観察・分析表２……146
第26表　集石遺構構成礫観察・分析表３……147
第27表　土坑計測表……156
第28表　石器の石材・器種別数量組成表……162
第29表　土器観察表……167
第30表　石材別石器観察表１……170
第31表　石材別石器観察表２……173
第32表　石材別石器観察表３……174

［その他の調査と遺物］

第33表　Kr-Aw（Ⅺ）層・ML4（Ⅻ）層
出土礫石材別組成表……175
第34表　その他の石器　石材別石器観察表……176

【第Ⅴ章　自然科学分析】

第35表　C14放射性炭素年代測定結果（A区）…177
第36表　F6-3G土層における植物珪酸体
分析結果（A区）１……178
第37表　SI19・SI21における植物珪酸体
分析結果（A区）１……179
第38表　C14放射性炭素年代測定結果（B区）…181
第39表　H5-1G土層における植物珪酸体
分析結果（B区）１……181
第40表　F2-2G土層及びⅨ層における植物珪酸体
分析結果（B区）……182

【第Ⅴ章　まとめ】

第41表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　黒曜石製石器
組成表（産地・器種別数量）……186
第42表　縄文時代早期　黒曜石製石器
組成表（産地・器種別数量）……187

図　版　目　次

巻頭図版
唐木戸第３遺跡
縄文時代早期　Ａ区：集石遺構
Ａ区：土層断面（Ⅰ層～Ⅶ層）
Ａ区：土層断面（Ⅶ層以下）
Ｂ区：土層断面（Ⅰ層～Ⅶ層）
Ｂ区：土層断面（Ⅶ層以下）
旧石器時代　第Ⅳ文化層　Ａ区：遺物分布状況
図版１【旧石器時代：第Ⅰ・Ⅱ文化層】……209
Ｂ区：遺物・礫出土状況①
Ａ区：遺物・礫出土状況①
Ａ区：遺物・礫出土状況②
Ｂ区：遺物・礫出土状況②
Ｂ区：遺物・礫出土状況③
図版２【旧石器時代：第Ⅲ文化層】……210
Ｂ区：遺物・礫出土状況
SI１　SI３　SI４　SI５
図版３【旧石器時代：第Ⅲ文化層／第Ⅳ文化層】……211
Ｂ区：遺物集中域①・石器ブロック②
遺物出土状況
Ｂ区：石器ブロック①遺物出土状況
Ｂ区：石器ブロック③遺物出土状況
Ｂ区：石器ブロック④遺物出土状況
Ａ区：遺物集中域Ｃ出土状況
図版４【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……212
SI６　SI７
Ａ区：北西部遺物出土状況［遺物集中域Ｄ］
Ａ区：南東部遺物出土状況［遺物集中域Ｂ・Ｃ］
Ａ区：遺物集中域Ｄ（Ｃ６Ｇ周辺）出土状況
Ｂ区：遺物出土状況①
Ｂ区：遺物出土状況②
Ｂ区：遺物集中域Ａ遺物出土状況
図版５【縄文時代早期】……213
SI25・SI26と散礫
SI８　SI９　SI10　SI12
図版６【縄文時代早期】……214
SI13　SI14と散礫　SI15　SI16
SI17　SI18　SI19　SI21
図版７【縄文時代早期】……215
SI22　SI23　SI27　SI28
SI29・SI30と散礫　SI29の配石
SC１　SC２
図版８【縄文時代早期】……216
SC３　SC４　SC５・SC６・SC７
SC９　SC10　SC13　SC16　SC17
図版９【縄文時代早期】……217
SC18　SC21埋土検出状況　SC22
SC23　SC24
図版10【縄文時代早期／Kr-Aw層以下の調査】……218
Ｂ区：遺物・礫出土状況
Ａ区：遺物・礫出土状況
SI30と周辺の遺物・礫出土状況
Ｂ区：遺物・礫出土状況
Ｂ区：Kr-Aw層以下礫出土状況
図版11【旧石器時代：第Ⅰ文化層】……219
頁岩、砂岩製石器　砂岩製石器１
砂岩製石器２　砂岩、チャート製石器
ホルンフェルス製石器
尾鈴山酸性岩類製石器１
尾鈴山酸性岩類製石器２
尾鈴山酸性岩類、水晶製石器
図版12【旧石器時代：第Ⅱ文化層／第Ⅲ文化層】……220
（第Ⅱ文化層）
頁岩、砂岩製石器　接合資料１
（第Ⅲ文化層）
頁岩、ホルンフェルス、流紋岩製石器（ナイフ形石器）
頁岩、赤色頁岩、チャート、ホルンフェルス、流紋岩製石器（角錐状石器）

珪質頁岩、砂岩、ホルンフェルス、流紋岩製石器(台形石器、剥片尖頭器、剥片)
頁岩、砂岩、ホルンフェルス、尾鈴山酸性岩類製石器（石核、敲石、台石）
接合資料２　接合資料３
図版13【旧石器時代：第Ⅲ文化層／第Ⅳ文化層】……221
(第III文化層)
接合資料４①　接合資料４②
(第IV文化層)
頁岩製石器１　頁岩製石器２　頁岩製石器３
図版14【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……222
珪質頁岩製石器
黒曜石製石器（桑ノ木津留・日東）
図版15【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……223
黒曜石製石器（針尾島）
黒曜石製石器（針尾島・姫島・象ヶ鼻）
図版16【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……224
砂岩製石器１　砂岩製石器２
砂岩製石器３　砂岩製石器４
チャート製石器
図版17【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……225
ホルンフェルス製石器１
ホルンフェルス製石器２
ホルンフェルス製石器３
ホルンフェルス製石器４
ホルンフェルス製石器５
流紋岩製石器　尾鈴山酸性岩類製石器１
尾鈴山酸性岩類製石器２
図版18【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……226
尾鈴山酸性岩類製石器３　凝灰岩製石器
接合資料５　接合資料６　接合資料７
接合資料８　接合資料９①　接合資料９②
図版19【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……227
接合資料10①　接合資料10②　接合資料11
接合資料12　接合資料13①　接合資料13②
接合資料14　接合資料15
図版20【旧石器時代：第Ⅳ文化層】……228
接合資料16　接合資料17①　接合資料17②
接合資料18　接合資料19
図版21【旧石器時代：第Ⅳ文化層／縄文時代早期】……229
(第IV文化層)
接合資料20
(縄文時代早期)
縄文土器　頁岩、珪質頁岩製石器
黒曜石製石器（桑ノ木津留・日東）
黒曜石製石器（針尾島）　砂岩製石器
チャート、赤色チャート製石器
ホルンフェルス製石器
図版22【縄文時代早期／その他の石器／他】……230
(縄文時代早期)
流紋岩製石器　尾鈴山酸性岩類製石器
接合資料21　接合資料22
(その他の石器)
楔形石器・石斧
(他)
現地説明会（発掘体験活動）
発掘調査作業風景
整理作業風景

第Ⅰ章　はじめに

第１節　調査に至る経緯

東九州自動車道（延岡～清武間）は、平成元年２月に基本計画がなされ、平成８年12月には門川～西都間が整備計画路線となっている。都農～西都間は、平成９年12月に建設大臣（当時）から日本道路公団に施行命令が出され、公団では平成10年から事業に着手している。それに伴い平成10年度に県教育委員会が路線上の分布調査を行ったところ、計79箇所に及ぶ遺跡の存在が推定された。そこで、県教育委員会では、平成11年度から日本道路公団の委託を受け、東九州自動車道（都農～西都間）の建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施することになった。調査は宮崎県埋蔵文化財センターが実施している。

唐木戸第３遺跡は、平成13年度及び平成14年度の２か年度間、約10か月にわたり本調査を進めた。本調査に先立って、平成12年６月と平成13年２月の２回に分け確認調査を実施した。平成12年６月の確認調査は調査区北東側平坦部を対象とし、縄文時代早期面から石器、集石遺構等、旧石器時代面から石器等を検出した。また平成13年２月の確認調査では調査区南西斜面部を対象とし、集石遺構等を検出している（詳細は第Ⅲ章に記述）。それらの結果を受け、本調査は調査対象面積を2,900㎡とし、平成13年10月15日から７月30日の間実施した。

整理作業は、平成13年12月から平成14年７月の間、発掘調査に並行して発掘調査現場で水洗い等の作業を実施した。平成14年９月からは、センター本館において３期に分け作業を実施し、平成16年11月に整理作業を終了した（詳細は第Ⅱ章第２節に記述）。

第２節　調査の組織

唐木戸第３遺跡の調査組織は次の通りである。

調査主体　宮崎県教育委員会
　　宮崎県埋蔵文化財センター

所長　矢野　剛（平成13年度）
　　米良　弘康（平成14・15年度）
　　宮園　淳一（平成16年度）
副所長兼総務課長　菊池　茂仁（平成13年度）
　　大薗　和博（平成14～16年度）
副所長兼調査第二課長
　　岩永　哲夫（平成13～16年度）
調査第一課長　面髙　哲郎（平成13年度）
　　児玉　章則（平成14・15年度）
　　髙山　富雄（平成16年度）
総務課総務係長　亀井　維子（平成13年度）
　　野邊　文博（平成14年度）
総務課主幹兼総務係長
　　石川　恵史（平成15・16年度）
調査第一課調査第一係長
　　谷口　武範（平成13～16年度）
調査第一課調査第二係長
　　長津　宗重（平成13～15年度）
調査第一課主幹兼調査第二係長
　　長津　宗重（平成16年度）
調査第一課調査第一係主査（調査、執筆担当）
　　鵜戸　周成（平成13～16年度）
調査第一課調査第一係主査（調査担当）
　　山口　昇（平成13・14年度）
調査指導　小畑　弘己（熊本大学）
　　泉　拓良（京都大学）
　　本田　道輝（鹿児島大学）
　　田崎　博之（愛媛大学）
　　柳沢　一男（宮崎大学）
　　広瀬　和雄（国立歴史民俗博物館）
　　加藤　真二（文化庁）

第３節　報告書の記載について

1　本遺跡では調査の都合上、調査区を２つに分けて調査した。南西部区をＡ区、北東部区をＢ区として表記している。

2　遺物実測図の挿図の縮尺は次のとおりである。

- 石器

　　基本的な縮尺……1/2（一部1/3）

　　敲石、磨石、台石、石皿……1/2または1/4

- 土器……1/3

3　遺物実測図以外の挿図の縮尺は次のとおりである。

- 遺跡周辺図……1/1000　1/2000　1/50000
- 土層図……1/50
- 遺物出土分布図……1/25～1/800
- 土坑、陥し穴状遺構実測図　…1/20または1/30
- 集石遺構実測図、礫群実測図……1/20

4　図版の縮尺（遺構・遺物写真等の縮尺）については統一されていない。

5　遺構の略称は次のとおりである。

- SI…礫群又は集石遺構　• SC…土坑

6　石器観察表の計測は下図の方法に拠る。法量の単位は㎝（長さ・幅・厚さ）とｇ（重量）である。本遺跡では、掲載石器と参考資料となる石器のみ計測した。

7　石器実測図の中の記号・表示は以下のものを示す。

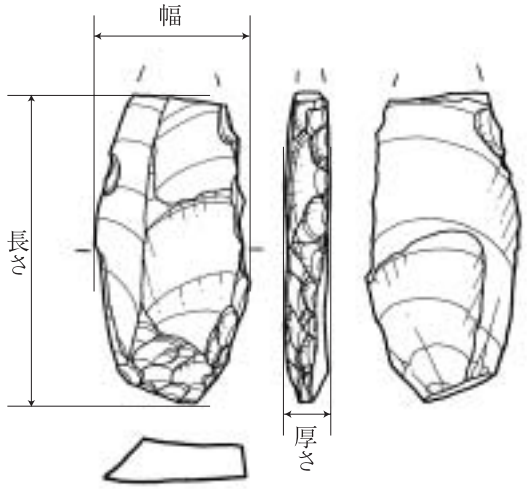
- 石器の節理面は一点鎖線で表示する。
- 「折れ」の状態が確認された石器には、折損部分にハの記号を記す。
- 敲打痕、磨痕は下図の要領で記す。

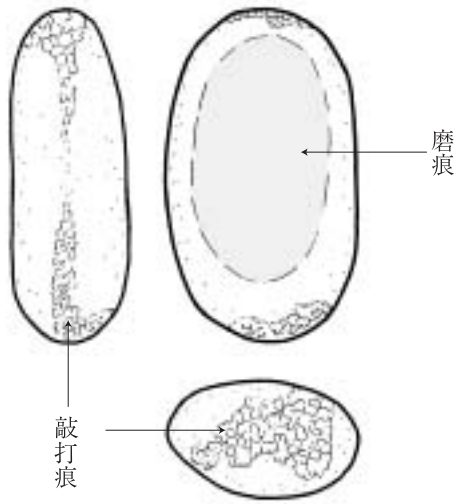
8　本書に記載する層序について

　層（テフラ、ローム層）の略称は、「平成15年度東九州自動車道（都農～西都間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅳ」第１章第２節の記載に準ずる。

9　本書に実測図が掲載されている遺物は各文化層毎に観察表を付けている。また、掲載しなかった遺物についての観察表は添付資料として巻末に付してある。

【石器計測方法及び表記】





第Ⅱ章　遺跡の環境

第１節　地理的環境

唐木戸第３遺跡の位置する高鍋町は、九州山地の東側に広がる宮崎平野の北部に位置し、日向海岸の中央部にある。町の北西から南東方向に流れ出る小丸川の河口は海抜５～６ｍの沖積平野を形成し、現在、町の中心市街地となっている。町の西方は茶臼原台地、牛牧原台地、北方は川南原台地、南方は水谷原台地と周囲を洪積台地に囲まれている。これらの台地上には、緩やかな起伏をもつ平地が広がり、畑地と集落等が展開する。

唐木戸第３遺跡は、高鍋町の西方、宮田川左岸の三財原台地縁辺部（標高約85ｍ）牛牧原台地上の北部縁辺から内部へ約600ｍ付近、児湯郡高鍋町大字上江字北唐木戸に位置する。本遺跡の所在する牛牧原台地は高鍋町を含む宮崎平野中北部の段丘群中の三財原面に相当し、数多くの遺跡が立地する。遺跡の南西側は比高差約14ｍの段丘崖になっており、深年Ⅱ段丘面（唐木戸第４遺跡）を眼下に望む。

第２節　歴史的環境

本遺跡が立地する高鍋町には、新世代第四紀洪積世に形成された河岸・海岸段丘が広がっている。これらの段丘は現在複雑に開析されいくつもの谷や低地が入りこんでおり、日向最初の生活基地であったといえる。こうした段丘地帯は旧石器時代から人々の生活の場となっており、数多くの遺跡が点在する。

「唐木戸」は、県道杉安・高鍋線（中尾橋付近）に沿う字名である。「木戸」は「棚戸」、「城戸」とも書き「門」の意味をもつ。字名については明快な由来は認められなかったが、地域の方の話によると、昔は、中尾橋を渡った所からが市之山牧場で、牧場の木戸がこの辺りにあったのではないかという伝承があるとのことであった。また、「高鍋藩史話」では、高鍋町大字上江にカラケド（韓街道）という地名があると述べている。児湯郡には韓家郷があり、「日向国史」によると川南町にある唐瀬・唐瀬原の地名は、この韓家の転訛ではないかと述べていることから、カラケド（韓街道）も韓家の転訛の可能性があるという説もある。

第３節　周辺の遺跡

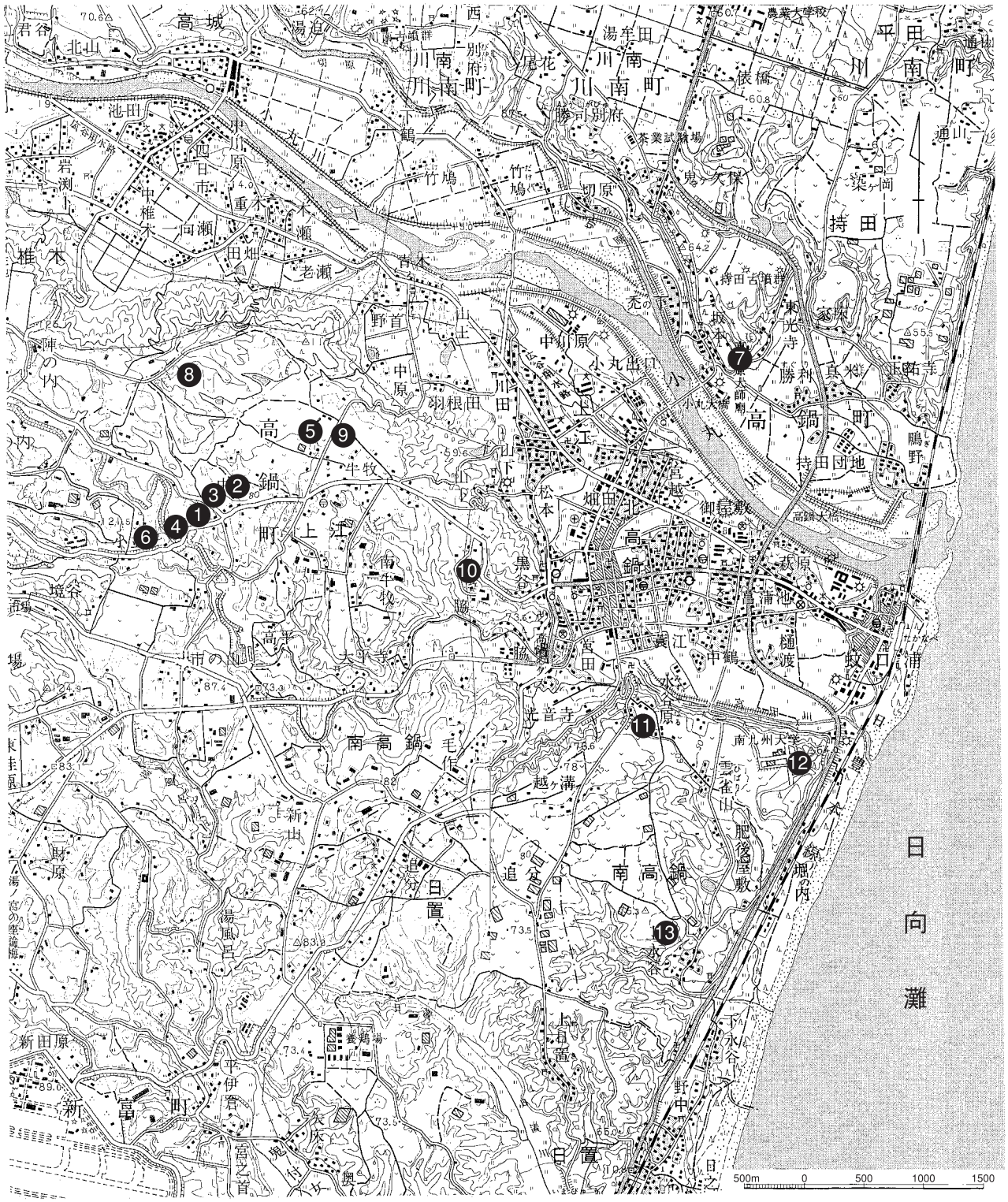
次に、唐木戸第３遺跡周辺の遺跡（第１図）について本遺跡に関連する時代別に概観する。

旧石器時代の遺跡としては、持田中尾遺跡、妻道南遺跡が調査されている。持田中尾遺跡ではナイフ形石器・角錐状石器・掻器等が出土している。ナイフ形石器はホルンフェルスの横長剥片を素材とするもので、瀬戸内技法との関連を伺わせるものである。妻道南遺跡では、ナイフ形石器・石核・剥片等が出土している。ナイフ形石器は日東産系黒曜石製で、大形（全長8.0㎝）の石器である。

縄文時代早期の遺跡では、塞ノ神式土器が出土した水谷原遺跡、手向山式土器が出土した耳截遺跡等がある。他に集石遺構が検出された大戸ノ口第２遺跡、前述した妻道南遺跡からは押型文土器が、同じく持田中尾遺跡からは撚糸文系の塞ノ神式土器と押型文土器が出土している。

本遺跡周辺の東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う発掘調査遺跡としては、北牛牧第５遺跡、唐木戸第１・２遺跡がある。

本遺跡北東部に位置する北牛牧第５遺跡では、旧石器時代のナイフ形石器・剥片尖頭器・スクレイパー等、縄文時代早期の平栫式の壺型土器や石鏃、異形石器等が出土している。同じく北東部の唐木戸第１遺跡では、旧石器時代のナイフ形石器、角錐状石器、スクレイパー等、縄文時代早期の石鏃や石核等が出土している。唐木戸第２遺跡では、弥生時代から中世の土坑や溝状遺構、中世の竪穴状遺構、掘立柱建物跡を検出し、弥生土器、磨製石鏃、古墳時代中～後期の土師器の高坏、坏、須恵器の坏身、中世の土師器等が出土している。



※　①～⑥は東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う発掘調査遺跡

①唐木戸第３遺跡	②唐木戸第１遺跡	③唐木戸第２遺跡	④唐木戸第４遺跡
⑤北牛牧第５遺跡	⑥小並第１遺跡	⑦持田中尾遺跡	⑧耳載遺跡
⑨北牛牧第１遺跡	⑩大戸ノ口第２遺跡	⑪水谷原遺跡	⑫雲雀山遺跡
⑬妻道南遺跡			

第１図　周辺遺跡分布図（S＝1/50000）

その他、本遺跡南西部急崖下（比高差約14m）に位置する唐木戸第４遺跡からは旧石器時代の角錐状石器、縄文時代早期の集石遺構等が出土・検出された。宮田川を挟んで南西部の台地上に位置する小並第１遺跡では、旧石器時代の層から畦原型細石刃核が出土している。

(参考・引用文献)
安田尚義「序編中古時代第３話」『高鍋藩史話』高鍋町 1968
喜田貞吉・日高重孝「Ⅲ編　中古史第Ⅰ章」『日向国史上』1929
茂山　護「児湯郡高鍋町の縄文土器」『宮崎考古第２号』1977
高鍋町教育委員会「高鍋町遺跡詳細分布調査報告書」『高鍋町文化財調査報告書』 1989
同上「中尾・牛牧地区遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』1995
同上「大戸ノ口第２遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』1991
高鍋町教育委員会「妻道南遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』1986
同上「持田中尾遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』1982
同上「中尾・牛牧地区遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』1995
宮崎県埋蔵文化財センター『北牛牧第５遺跡』「発掘調査報告書第80集」2003
同上『唐木戸第１遺跡』「発掘調査報告書第92集」2004
同上「東九州自動車道（都農～西都間）関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅲ・Ⅳ」2002・2003

第Ⅲ章　調査の経過と方針

第１節　確認調査の概要

一次確認調査は、平成12年６月19日から６月22日までの４日間、二次確認調査は平成13年２月13日から２月15日の３日間行った。一次調査では調査区北東側の平坦部分を中心に、二次調査では唐木戸第４遺跡を望む南西側斜面並びに急崖箇所において確認調査を行った。

１　一次確認調査

一次調査では、境界に近い部分を避け、均等に５箇所に２ｍ×２ｍのトレンチ（Ｔ１～Ｔ５）を、旧地形を把握する目的で0.9ｍ×６ｍのトレンチ（Ｔ６）を１箇所設定して調査を進めた。(第２図)

Ｔ１では、ML１上層で小焼礫を１点、Ｔ３では、ML２下層から焼礫（最大長８㎝）を、同層から黒曜石製の剥片を１点確認した。Ｔ４では、MB０～ML１層で焼礫及び礫のまとまりを確認し、集石遺構の存在が推定された。Ｔ５では、表土下から比較的新しい攪乱土が確認された。地元の方の話と総合して、昭和期の防空壕跡と判断した。部分的にプライマリーな層が残っていたので調査を進めたところ、MB０層最下部からチャート製の剥片、Ｖc下層から剥片２点を確認した。

Ｔ６では表土下MB０層で、ホルンフェルス製の剥片が１点確認できた。またMB０～ML１層にかけて多数の焼礫及び礫がまとまって確認でき、集石遺構の存在が推定された。

土層としては鬼界アカホヤ火山灰［K-Ah］層、黒色土層は部分的に削平を受けていたが、鍵層となる鬼界アカホヤ火山灰［K-Ah］層下部、小林軽石［Kr-kb］を含む褐色土層、姶良Tn［AT］層の存在を確認した。

礫及び遺構・遺物の出土状況、旧地形の土層の状況から、確認調査の段階では旧石器時代と縄文時代早期の文化層の存在が確認できた。

２　二次確認調査

二次調査は、前述のとおり、唐木戸第４遺跡を望む南西側斜面並びに急崖箇所において確認調査を実

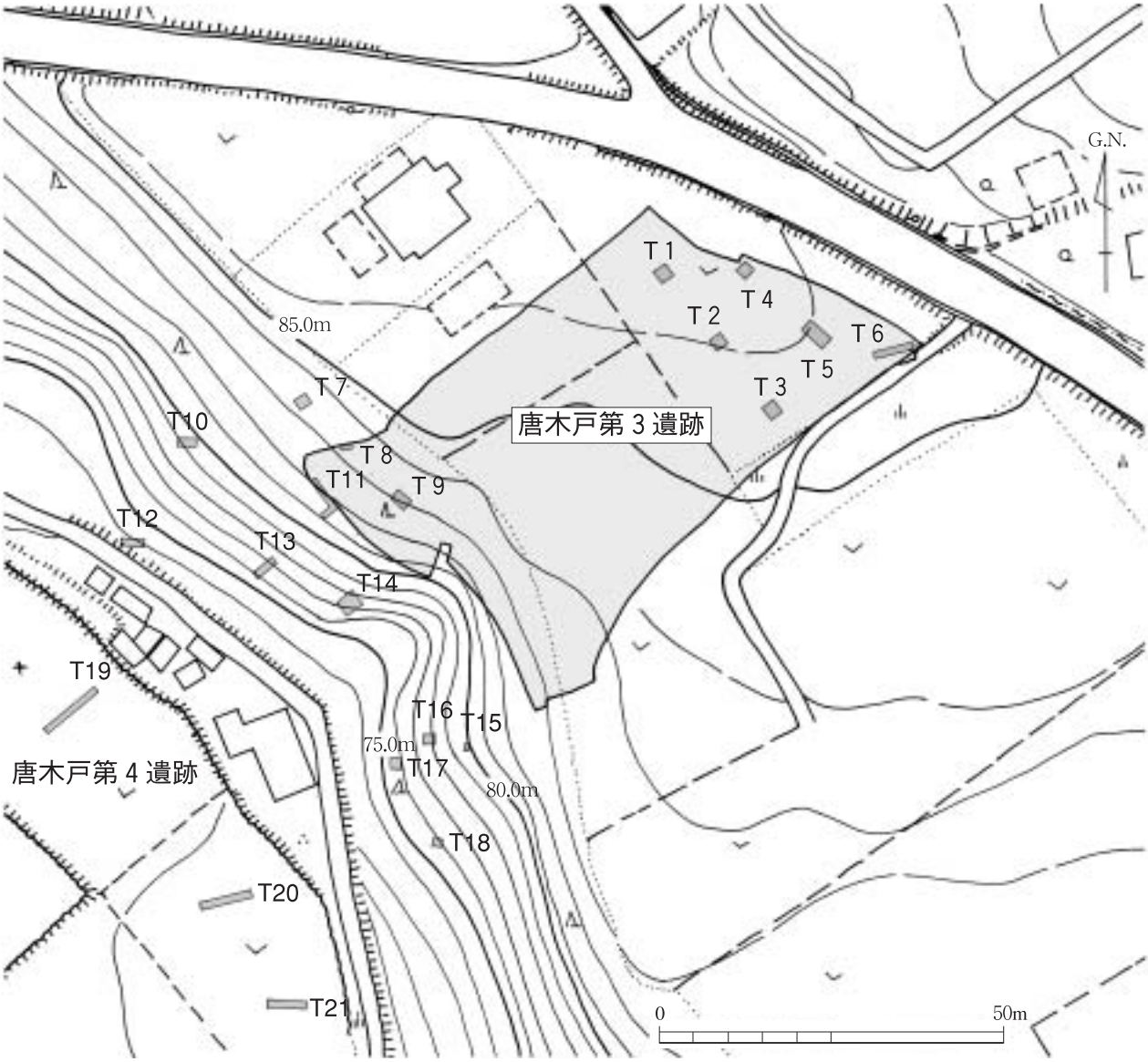
施した。この範囲は唐木戸第３遺跡と唐木戸第４遺跡との間になる箇所であるが、斜面上部の平坦面に旧石器時代～縄文時代早期の遺物・遺構の存在が、また唐木戸第４遺跡に向かう急崖斜面部に遺物等の流れ込みが予想された。

斜面上部の平坦面にトレンチを３箇所（Ｔ７～Ｔ９）、斜面部にトレンチを９箇所（T10～T18）設定して調査を進めた（第２図）。

Ｔ８、Ｔ９の暗褐色土から褐色土層（縄文時代早期）にかけて集石遺構の一部と推定される礫の集まりが４箇所確認できたが遺物は確認できなかった。T14の段丘崖中より地下水脈が確認された。これは唐木戸第４遺跡の湧水との関連が深いものとして判断した。上述以外のトレンチからは遺物・遺構は確認できなかった。

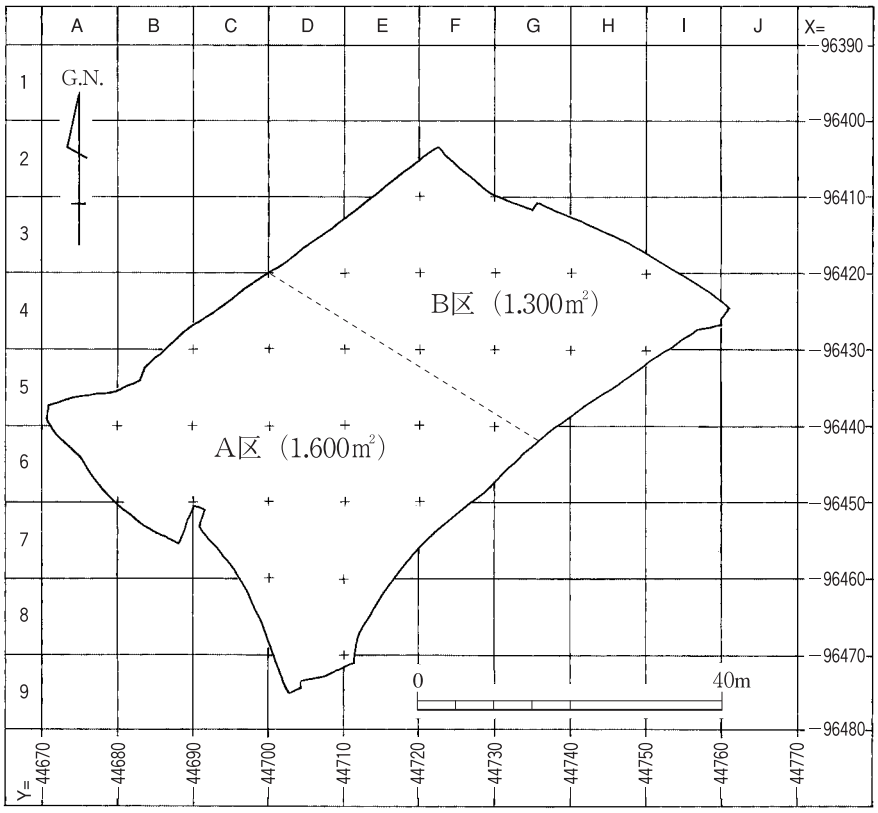
土層としては小林軽石［Kr-kb］を含む褐色土層の存在が確認できたが、下位層は宮崎層群と考えられる礫層の存在が認められた。

この結果、唐木戸第３遺跡に続く斜面上部の平坦面を旧石器時代～縄文時代早期の文化層が斜面上端部に認められると判断し、唐木戸第３遺跡として本調査を実施することとした。なお、唐木戸第４遺跡に下る急崖斜面部は本調査の必要はないと判断した。



第２図　確認調査トレンチ配置図（S＝1/1000）

第３図　周辺地形図及び遺跡位置図（S＝1/2000）



第４図　グリッド配置図（S＝1/1000）

第２節　発掘調査の方法

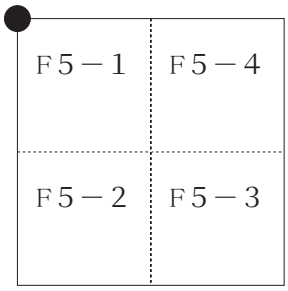
１　発掘調査の方針と調査区の設定

本調査に入る時点で、確認調査の結果をもとに調査対象区域を2,900㎡として設定した。

調査では国土座標に基づき、グリッド法で10ｍ×10ｍグリッド（以下、グリッド＝「G」と示す。）を設定した。グリッド名は、東西方向に西からA～I、南北方向に北から１～９とし、それらを組み合わせてグリッド名を使用した。なお、１グリッドにあたる10ｍ×10ｍの正方形を便宜上、正４分割し、下図のとおりの名称を与えた。Ｆ５Gを例にしたものである。

〈Ｆ５Ｇの例〉

Ｆ５Gの位置→



【本遺跡におけるグリッド内呼称】

調査においては、調査上発生する排土の管理等調査の都合上、本調査区を南西部区＝Ａ区（約1,600㎡）、北東部区＝Ｂ区（約1,300㎡）の二区に分け調査を進めることにした。

調査の概要と詳細な調査内容は、「第Ⅳ章　調査の記録」で述べる。

２　現地説明会の実施

平成14年［2002年］５月29日㈬に地域住民を対象にした現地説明会を実施した。

現地説明会風景

現地説明会を実施することにより、郷土の歴史の一端に触れていただき、地域から出土した埋蔵文化財及び埋蔵文化財行政に対する認識と理解を一層深めてもらうという趣旨に基づき実施した。

主な内容としては、本調査区Ｂ区の発掘状況説明と出土遺物、検出遺構等の説明及び見学、平成13年度から14年度当初にかけて行ったＡ区の調査状況映写等を行った。また、実際に遺物や遺構を探してもらう発掘体験のコーナーを設け、直接埋蔵文化財と触れ合って当時の人々の生活を肌で感じていただくような内容も実施した。

94名の参加を得、説明会の趣旨は達したと考えている。

３　調査日記抄

【調査準備】

2001 0905　調査区範囲と現況確認を行う。発掘調査準備に入る。

【Ａ区の調査】

2001 1015　Ａ区表土剥ぎを開始する。耕作土を剥ぎ、K-Ah上面で一度そろえ、遺構遺物がないことを確認後、K-Ah下面まで剥ぐ。

2001 1022　発掘作業員による調査を開始する。現場事務所等設置する。Ａ区南西部斜面の杉の根の除去に取りかかる。

2001 1025　タイユー測量㈱に測量業務を委託し、グリッド杭を設置する。

2001 1029　K-Ah下層～MB０層の調査を開始する。25％掘りを開始する。本区北西部及び南西部、南東部に土層確認用の先行トレンチを入れる。

2001 1030　礫及び焼礫を中心に検出が進む。１号集石、２号集石を確認する。以後Ａ区において計17基の集石遺構を確認する。また、集石遺構周辺を中心に散礫を認める。

2001 1105　土坑をはじめて検出する。

2001 1106　D4GMB０層からチャート製の剥片を２

点検出する。以後全面を開け、順次遺物が出土する。

2001 1106　畦原型細石刃核が出土する。以後、計７点出土する。

2001 1203　現場事務所にて整理作業を開始する。

2001 1206　発掘開始以来はじめて土器片が出土する。

2001 1210　Ａ区MB０層面の調査終了。清掃後全体の写真撮影を行う。引き続き、ML１層の調査に入る。

2001 1220　Ａ区縄文早期面の調査を終了。検出された出土遺物、遺構の状況を九州航空株式会社に委託して、空中写真撮影を行う。引き続き、旧石器時代文化層の調査に入る。

2002 0117　植物珪酸体分析及びＣ14放射性炭素年代測定による自然科学分析を㈱古環境研究所に委託する。

2002 0207　Kr−Kb層の調査を終え、遺物及び遺構の出土状況をローリングタワー等から撮影する。引き続き、MB１層の精査に入る。

2002 0213　E6−2Gより礫群を検出し、実測、写真撮影を行う。

2002 0217　MB１層の精査終了。

2002 0218　姶良Tn下層まで重機で剥ぐ。MB２層以下の調査に入る。

2002 0219　調査員にてMB２層面でグリッド杭を再設定する。

2002 0311　MB２層以下の調査を終了する。敲石、磨石を中心にした礫塊石器、亜石器を確認する。その他、礫の点在を確認し、写真撮影を行う。Ａ区の全ての調査を終了する。

【Ｂ区の調査】

2002 0313　Ｂ区の調査に着手する。Ａ区の埋戻しとともにＢ区の表土を剥ぐ作業に入る。

2002 0314　MB０層の精査に入る。集石遺構を検出する。以後、計５基の集石遺構を確認する。

2002 0326　MB０層の精査を終了。縄文土器片８点、敲石・磨石６点、ほか剥片等20点の遺物を数える。ローリングタワー上よりMB０層の遺構・遺物の出土状況を写真撮影する。ML１層精査に入る。

2002 0403　平成14年度の調査を開始する。引き続きML１層の調査を続ける。

2002 0425　ML１層の調査終了。ML１下層にて写真撮影を行う。引き続きML１下層からの調査に入る。

2002 0508　G3−1Gより陥し穴状遺構を確認する。

2002 0529　現地説明会を実施。Ｂ区の発掘状況説明、遺物説明、Ａ区の調査状況映写、発掘体験等を内容として実施。94名の参加を得る。

2002 0530　ML１下層〜Kr−kb層の調査を終了。MB１層上層面でのコンタをとる。ML１下層〜Kr−kb層出土遺物及び礫検出状況の写真撮影を行う。

2002 0603　MB１層の調査開始する。

2002 0603　H5−1G及びH5−1Gより礫群を検出する。

2002 0603　G4−4Gより礫群を検出する。G3Gを中心にチップ、剥片の集中区を検出する。

2002 0613　G3G及びF4Gより礫群を検出する。

2002 0619　MB１〜ML２層の調査を終了。姶良Tn上層面でのコンタをとる。MB１〜ML２層出土の遺物及び礫の検出状況の写真撮影を行う。姶良Tn層の除去を開始する。

2002 0625　MB２〜MB３層の精査を開始。主に北側部分で礫塊石器、剥片、礫等の検出が認められる。南側部分のMB２〜MB３層は無遺物層と判断し除去する（〜0702）。

2002 0702　ML３層までの精査を引き続き行う。尾鈴山酸性岩類、頁岩系の礫等を検出する。

2002 0716　北側部分の礫塊石器、礫の出土状況の実測を終了する。

第２回の植物珪酸体分析及び放射性炭素年代測定による自然科学分析を㈱古

環境研究所に委託する。

2002 0717　ML３層までの精査を終了する。MB２～ML３層まで層での遺物、礫の出土状況の写真撮影を行う。

2002 0722　ML３下層～Kr-Iw上層面までの調査に入る。E4G～H4G迄の30ｍ×南北６ｍのトレンチを設定し、掘り下げる。

2002 0724　ML３下層～Kr-Iw上層面（約30ｍ×６ｍ）トレンチの精査終了。礫110点を検出する。

2002 0730　調査区の埋め戻しを終了。本遺跡の調査をすべて完了する。

第３節　整理作業及び報告書作成

本遺跡で発掘された資料の整理作業は、本調査開始後、４期に分けて整理作業員の協力を得ながら進めることとなった。また、本書に掲載されているほとんどの石器の実測作業、トレース作業は、外部業者委託により実施した。

報告書作成については、第２期～第４期の整理作業の進展にあわせて実施した。写真の整理、各整理作業段階でのデータ整理と図表作成、現場作成図面の整理とその活用、遺構・遺物の実測図やトレース図等の作成と点検、報告書レイアウトと文章作成等を随時行った。平成16年11月に本書掲載遺物の写真撮影を実施した。

１　第１期［平成13年12月～平成14年７月］

第１期整理作業は、発掘調査と並行して発掘作業現場にて整理作業員の補助を得て実施した。

- 礫及び遺物（土器・石器）の水洗
- 遺物（土器・石器）への注記
- 出土礫（一部のみ）の石材・形状・赤化度等の把握、重量計測
- 集石遺構及び礫群の礫の石材・形状・赤化度等の把握、重量計測
- 集石遺構及び礫群の礫接合及び周辺散礫との接合　等

２　第２期［平成14年９月～平成15年６月］

第２期整理作業は、本センター本館にて整理作業員の補助を得て実施した。

- 土器及び石器への注記
- 土器及び石器の接合
- 土器の実測と拓本作業
- 石器（主に敲石・磨石、石皿等）の実測作業
- 石器の計測（長さ、幅、厚さ、重量）

３　石器実測委託［平成15年12月～平成16年３月］

本書に掲載した敲石・磨石、石皿等以外の石器及び亜石器、石器接合資料の実測及びトレース作業は、平成15年12月から平成16年３月の間、㈱大成エンジニアリングに委託し実施した。

４　第３期［平成16年６月～平成16年７月］

第３期整理作業は、第２期と同様、本センター本館にて整理作業員の補助を得て実施した。

- 石器（主に敲石・磨石、石皿等）のトレース作業及び計測（長さ、幅、厚さ、重量）
- 土層、遺構等の図面トレース作業　等

５　第４期［平成16年10月～平成16年11月］

第４期の整理作業は、本センター本館にて、整理作業員の補助を得て実施した。

- 遺物写真撮影
- 報告書印刷に係る原稿（図面、写真等）の整理　等

第Ⅳ章　調査の記録

第１節　調査の概要

１　Ａ区（南西部＝約1,600㎡）調査の経過と概要

Ａ区調査は平成13年10月15日から平成14年３月12日まで実施した。まず表土を重機で掘削した。平担面では、層序の上位層は削平を受け、豆粒上のアカホヤ火山灰［K-Ah］を僅かに含む層（Ⅱ層）を確認できたが、遺存状況は極めて悪く、遺構・遺物の存在も確認できないことから、MB０層上面で揃えて表土を剥いだ。

唐木戸第４遺跡を望む斜面部は、調査前は杉林であったところで、切株が多数残存していたが、遺構・遺物を確認しながら除去し、掘り下げていく調査となった。

平坦部では、鬼界アカホヤ火山灰［K-Ah］層下部以下、東九州自動車道（都農～西都間）の基本層序がほとんど良好に残っており、霧島イワオコシ［Kr-Iw］層まで確認できた。南西部斜面では、小林軽石［Kr-kb］を含む褐色土層が薄く、はっきりとした層としては認められなかった。

遺構としては、旧石器時代の礫群、縄文時代早期の集石遺構、土坑を検出した。遺物としては、後期旧石器時代の文化層より、ナイフ形石器、角錐状石器、スクレイパー、敲石、磨石、台石、石核、剥片等が確認された。縄文時代早期の文化層からは縄文土器片、石鏃、石核、細石刃、剥片、チップ等が確認された。特筆すべきこととして、旧石器時代第Ⅲ・Ⅳ文化層において、５㎝大以上の大形の剥片が多数認められたこと、第Ⅳ文化層から畦原型細石刃核が７点出土したことがあげられる。また縄文時代早期においては、集石遺構が17基を数えた。

AT層以下の層での遺構・遺物の調査を行った。部分的ではあったが、霧島イワオコシ［Kr-Iw］層上面まで調査を進めた。

MB２では多数の礫に混じり、使用痕が認められる敲石、磨石も確認された。なお、MB２を含むそれ以下の層からも順次礫が多数確認できたが、明確な使用痕等のある敲石や磨石等の遺物としてまでは断定できず、多くは礫もしくは亜石器として取り扱った。

２　Ｂ区（北東部＝約1,300㎡）調査の経過と概要

Ｂ区の調査は平成14年３月13日から平成14年７月31日まで実施した。同区は、平成12年６月に確認調査を行った区域である。

表土を重機で剥いだ後、鬼界アカホヤ火山灰［K-Ah］層において遺構・遺物の有無を確認後、MB０層からの調査を南西部区同様に進めた。

まず、縄文時代早期の遺物等を包含するMB０及びML１上層の掘り下げを行い、遺物・遺構等の検出作業を実施した。続いて、旧石器時代の遺物等を包含するML１下層及び小林軽石［Kr-kb］を含む褐色土（Ⅴb層）を掘り下げ、順次霧島イワオコシ上面までの調査を進めた。

MB０及びML１上層相当層からは、縄文土器片、石鏃、細石刃等が出土し、集石遺構、焼土を伴う土坑、陥し穴状遺構等が確認された。また、ML１下層及び小林軽石［Kr-kb］を含む褐色土（Ⅴb層）を中心に、ナイフ形石器、角錐状石器、石核、スクレイパー、敲石等が出土し、礫群が確認された。部分的な調査となったMB２下層から霧島アワオコシを含む明褐色土層（Ⅹ層）、霧島イワオコシ［Kr-Iw］層上面層までには主に礫が出土した。

旧石器時代の遺物として、ナイフ形石器、角錐状石器が多く確認され、チャートを石材とする角錐状石器、水晶の剥片等も出土した。また、MB２相当層以下からは礫塊石器が出土した。

縄文時代早期の遺構としては集石遺構、土坑を、遺物としては縄文土器片、石鏃、細石刃、剥片等が確認された。遺構の中で陥し穴状遺構が１基検出された。長径1.4ｍ、短径1.2ｍ、深さ2.3ｍを測り、Ⅻ層まで掘り込まれていた。

なお杭痕は確認されなかった。

旧石器時代の遺構としては礫群６基、遺物としては、ナイフ形石器、角錐状石器、石核、スクレイパー、敲石、磨石、剥片等を確認した。

MB０及びML１上層にかけて出土した遺物のほとんどが縄文時代早期の範疇で捉えた。遺構として確認された５基の集石遺構は、検出面及び礫の特徴（大きさや石材等）などは、Ａ区で確認された集石遺構と共通点が見られ、ほぼ同時代のものと考えている。

３　本遺跡における文化層

本遺跡の調査の結果、旧石器時代から縄文時代早期にかけて人の営みが断続的に形成されていたと考えられる。

○旧石器時代

旧石器時代については、第Ⅰ文化層（MB３・ML３）、第Ⅱ文化層（MB２）、第Ⅲ文化層（MB１）、第Ⅳ文化層（Kr−Kb・ML１下位）の４つの文化層を確認できた。Kr−Awを含む赤褐色土層以下の調査も一部行った。

【Kr-Awを含む赤褐色土層以下の層】

Kr−Awを含む赤褐色土層以下の層での調査は、本調査区北西部区に30ｍ×６ｍのトレンチ（全調査区の約６％調査）を設定し、その範囲内での調査を進めた。

110個の礫の存在を確認できた。

【第Ⅰ文化層】

第Ⅰ文化層では、敲石・磨石等を中心とする石器等を確認した。遺構の検出は認められなかった。

【第Ⅱ文化層】

第Ⅱ文化層でも、敲石・剥片等を中心とする石器を確認した。第Ⅰ文化層同様、遺構の検出は認められなかった。

【第Ⅲ文化層】

第Ⅲ文化層では、遺物集中域１箇所と石器ブロック４箇所、礫群５基、点在する石器の確認をみた。遺物として角錐状石器、ナイフ形石器、台形石器、剥片尖頭器等の石器が出土した。

【第Ⅳ文化層】

第Ⅳ文化層では、遺物集中域４箇所と石器ブロック、礫群２基を確認した。石器は角錐状石器、ナイフ形石器、スクレイパー等が出土した。また、畦原型細石刃核がKr−Kb層～ML１下位層において７点出土した。

○縄文時代早期

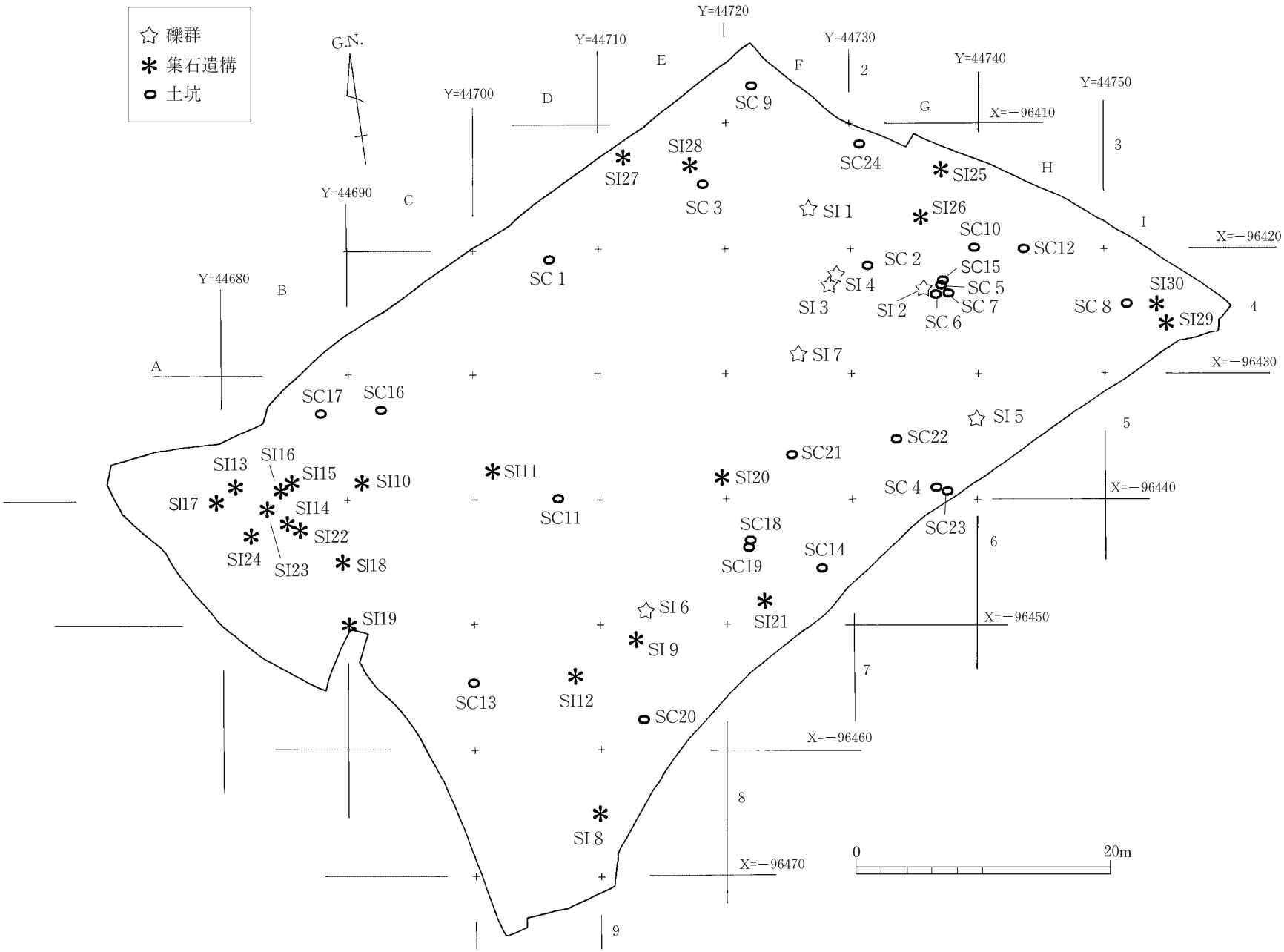
縄文時代早期の文化層は、ML１上位からMB０にかけての層である。

【縄文時代早期】

遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所、集石遺構23基、焼土や炭化物を含む土坑23基、陥し穴状遺構１基が確認できた。

土坑（陥し穴状遺構等を含む）の検出確認面がKr−Kbであるものもあったが、埋土の状況、埋土中の炭化物によるC14放射性炭素年代測定の結果、遺構形状等から総合的に判断して、上位層から掘り込まれた土坑であると判断し縄文時代早期の土坑と位置づけた。

遺物は貝殻条痕文等の縄文土器片、石鏃や細石刃、敲石・磨石等の石器等が出土した。



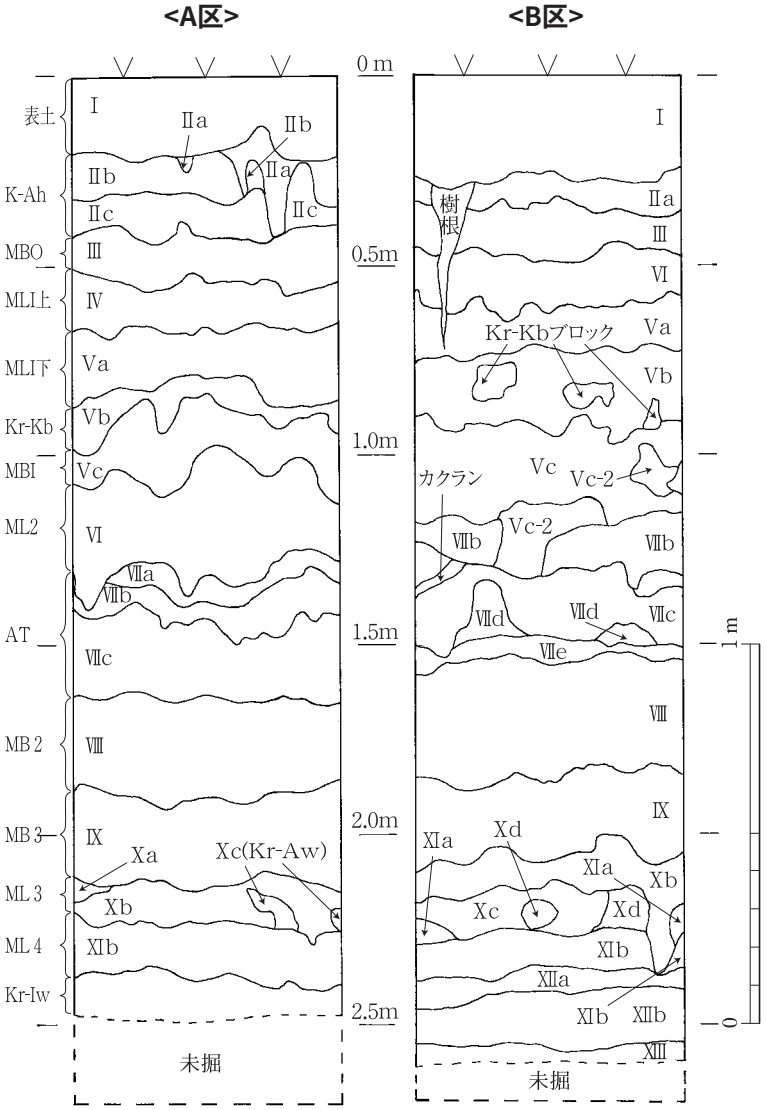
第５図　旧石器時代～縄文時代早期　検出遺構分布図（S＝1/444）

第２節　基本層序

１　基本層序［第６図］

唐木戸第３遺跡の基本層序は、鬼界アカホヤ火山灰［K-Ah］（約6,400年前）を部分的に含む層の最下部から下の層が比較的良好に自然堆積している。Ｂ区南東部の先行トレンチ１の土層を基にして、調査の進捗過程で明確になった霧島イワオコシ層から下の層を付加するとⅠ～Ⅻ層に分けられる。この層序は三財原台地上で確認されている層序と共通している。第２節で述べたように本遺跡南西部は、深年Ⅱ段丘面と比高差約14mを呈し急崖になるため、小林軽石［Kr-kb］（約15,000年前）を含む層が明確に認められない等、場所によってはこの限りではない。

鍵層としては、Ⅱ層の明褐色土中に含まれるアカホヤ火山灰［K-Ah］、Ⅴ層の褐色土中に含まれる小林軽石［Kr-kb］、Ⅶ層に姶良Tn火山灰［AT］、Ⅹ層で霧島アワオコシ［Kr-Aw］、Ⅻ層で霧島イワオコシ［Kr-Iw］を確認した。



第６図　基本層序（S＝1/20）

層	東九州自動車道関連遺跡基本層序	土色	色調	土　質	特　徴
Ⅰ		黒色	Hue10 YR1.7/1	耕作土。やや粘性がある。	径7㎜以下の橙色粒子を含む。
Ⅱa	K-Ah	暗褐色	Hue10 YR3/4	しまりがなく、さらさらしている。	表土にアカホヤ火山灰［K-Ah］（Ⅱb層）が混入した土。植物等の根が土中に入っている。
Ⅱb		橙色	Hue7.5 YR6/8	さらさらしており、粘性がない。	径5㎜以下の黄橙色粒子を含む。アカホヤ火山灰［K-Ah］の一次堆積である。
Ⅱc		黒褐色	Hue10 YR2/2	硬質で粘性はない。	径3㎜以下の橙色粒子と径1㎜以下の白色粒子を多く含む。
Ⅲ	MB0	黒色	Hue10 YR2/1	やや粘性がある。	径１㎜以下の白色粒子を多く含む。
Ⅳ	Ml1	暗褐色	Hue10 YR3/3	硬質だが若干の粘性を帯びる。	径２㎜以下の白色粒子を多く含む。
Ⅴa	Kr-Kb	褐色	Hue7.5 YR4/3	粘性がある。	径２㎜以下の黒色粒子、直径１㎜以下の橙色粒子、白色粒子を少量含む。
Ⅴb		褐色	Hue7.5 YR4/3	Ⅴaより若干柔らかい。	径7㎝～3㎝大の暗褐色のブロックの中に、径1㎜程度の橙色粒子及び白色粒子を含む。小林軽石［Kr-kb］を多く含む。
Ⅴc	MB1	褐色	Hue7.5 YR4/3	Ⅴa、Ⅴbより柔らかく粘性がある。	にぶい褐色土（Hue7.5YR5/3）がにじむように混入している。
Ⅵ	ML2	暗褐色	Hue7.5 YR3/3	やや硬質で粘性がある。	径１㎜以下の白色粒子を若干含む。径３㎝大のにじみがある。
Ⅶa	姶良Tn	暗褐色	Hue7.5 YR3/3	硬質でやや粘性がある。	Ⅵより若干色が淡い。径３㎜以下の橙色粒子、径１㎜以下の赤褐色、白色粒子を含む。
Ⅶb		にぶい褐色	Hue7.5 YR5/4	硬質でやや粘性がある。	径１㎜以下の橙色粒子、白色粒子、径３㎜以下の黄橙色粒子を含む。
Ⅶc		明褐色	Hue7.5 YR5/6	さらさらしているが、粒子は硬質で粘性はない。	径５㎜以下の橙色粒子と径２㎜以下の白色粒子を含む。
Ⅶd		褐色	Hue10 YR4/6	Ⅶc層に比べ、やや硬質でしまっている。	Ⅶc層の姶良ＴｎＭＢ２(Ⅷ)層上部にしみ込んだ感じを受ける。径１㎜以下の白色粒子を多く含み、また径３㎜以下の明黄色粒子を疎に含む。
Ⅶe		褐色	Hue10 YR4/4	若干粘性は感じられるが、しまっている。	姶良ＴｎがＭＢ２(Ⅷ)層上部にしみ込んだ感じを受ける。径１㎜以下の白色粒子を多く含み、また径３㎜以下の明黄色粒子を疎に含む。
Ⅷ	MB2	暗褐色	Hue7.5 YR3/3	硬くしまっており、クラックが入っている。やや粘性がある。	径１㎜以下の白色粒子を多量に含む。径２㎜以下の黄橙色粒子を若干含む。
Ⅸ	MB3	褐色	Hue7.5 YR4/3	Ⅷより粘性があり柔らかい。クラックが入る。	径２㎜以下の赤褐色粒子、灰白色粒子、径１㎜以下の白色粒子を疎に含む。
Ⅹa	ML3	褐色	Hue7.5 YR4/6	Ⅸに比べ柔らかく粘性がある。	径３㎜以下の橙色粒子、径２㎜以下の灰白色粒子を含む。
Ⅹb		赤褐色	Hue5 YR4/6	柔らかく粘性がある。	径３㎜以下の赤褐色粒子、橙色粒子、径１㎜以下の灰褐色粒子を含む。
Ⅹc	Kr-Aw	にぶい赤褐色	Hue5 YR4/3	やや硬質で若干の粘性がある。	霧島アワオコシ［Kr-Aw］が比較的多くブロック状に含まれる。径3㎜以下の赤褐色粒子、橙色粒子、灰褐色粒子を多く含む。
XIa	ML4	赤褐色	Hue5 YR4/8	XIbに比べ粘性が低い。	オコシロームa。径７㎜以下の橙色粒子を多く含む。径１㎜以下の灰褐色粒子を含む。
XIb		赤褐色	Hue5 YR4/8	若干のしまりがある。	オコシロームb。径1.5㎝以下の橙色粒子を多く含むが、XIaよりは疎。径３㎜以下の灰褐色粒子、にぶい橙色粒子を含む。
XIIa	Kr-Iw	明褐色	Hue7.5 YR5/6	硬質で若干粘性がある。	イワオコシa。径５㎜以下の明赤褐色粒子、橙色粒子、灰褐色粒子を多量に含む。
XIIb		明赤褐色	Hue5 YR5/8	硬質で粘性はない。	イワオコシb。霧島イワオコシ［Kr-Iw］本体。径１㎜以下の明赤褐色粒子、橙色粒子、径２㎜以下の灰褐色粒子、白色粒子からなる。
XIII		黄褐色土	Hue10 YR5/8	非常に粘性が強い。	径２㎜以下の橙色粒子、黒褐色粒子を含む。なお、XIIb層とXIII層の境目には、XIIb上位の鉄分、マンガン分が浸透して硬化（変質）した部分がある。

第１表　基本土層注記

遺構並びに遺物を包含する層は、Ⅲ層の黒色土、Ⅳ層の黒褐色土の縄文時代早期、Ⅴa層からⅤc層を中心とする褐色土、Ⅵ層の暗褐色土、Ⅷ層からⅩ層までの褐色土～明黄褐色土といった旧石器時代の各層である。

２　植物珪酸体分析

※「㈱古環境研究所」分析による

①　Ａ区における植物珪酸体分析結果

分析試料は、F6-3G土層断面から採取された計21点である。

F6-3GにおいてAT直下のⅧ層（試料14）から現表土のⅠ層（試料１）までの層準について分析を行った。

その結果、AT直下のⅧ層（試料14）では、ススキ属型、ウシクサ族A、メダケ節型、ネザサ節型、クマザサ属型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも比較的少量である。AT層準のⅦb層（試料13）では各分類群とも減少しているが、Ⅵ層（試料12）ではミヤコザサ節型が大幅に増加しており、Kr-Kb混のⅤb層（試料11）ではススキ属型やメダケ節型が出現している。

Kr-Kb直上のⅤa層（試料10）からⅣ層（試料８、９）にかけては、メダケ節型、ネザサ節型、クマザサ属型が増加しており、キビ族型やススキ属型も検出された。

Ⅲ層（試料７）からK-Ah直下のⅡc層（試料５、６）にかけては、メダケ節型やネザサ節型が大幅に増加しており、クマザサ属型やミヤコザサ節型は減少している。

K-Ah層準のⅡb層（試料４）では、各分類群とも大幅に減少しているが、K-Ah直上のⅡa層（試料２、３）ではメダケ節型やネザサ節型が多量に検出され、ススキ属型やウシクサ族Aも比較的多く検出された。おもな分類群の推定生産量によると、Ⅴa層より下位ではミヤコザサ節型、Ⅳ層ではクマザサ属型が優勢であり、Ⅲ層より上位ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

②　Ａ区における植物珪酸体分析による考察

本分析から推定される植生と環境は、まず、姶良Tn火山灰（AT，約2.4～2.5万年前）直下のⅧ層の堆積当時は、ススキ属やチガヤ属、メダケ属（メダケ節やネザサ節）、クマザサ属（おもにミヤコザサ節）などが生育するイネ科植生であったと推定される。また、Ⅵ層から霧島小林軽石（Kr-Kb，約1.4-1.6万年前）混のⅤb層にかけては、クマザサ属（おもにミヤコザサ節）などのササ類を主体としてウシクサ族なども生育するイネ科植生であったと推定される。

タケ亜科のうち、メダケ属ネザサ節は温暖、クマザサ属は寒冷の指標とされており、メダケ率（両者の推定生産量の比率）の変遷は、地球規模の氷期－間氷期サイクルの変動と一致することが知られている（杉山，2001）。また、クマザサ属のうちミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ない比較的乾燥したところに分布している（室井，1960）。これらのことから、当時は積雪の少ない比較的寒冷で乾燥した環境であったと推定される。

クマザサ属は氷点下５℃程度でも光合成活動をしており、雪の中でも緑を保っていることから、大半の植物が落葉または枯死する秋から冬にかけてはシカなどの草食動物の重要な食物となっている（高槻，1992）。気候条件の厳しい氷期にこれらのササ類が豊富に存在したことは、当時の動物相を考える上でも重要である。

なお、AT直下のⅧ層ではメダケ率が45％と比較的高いことから、Ⅴ層の時期よりも相対的に温暖であったと推定される。この温暖期は、約３万年前とされる最終氷期の亜間氷期（酸素同位体ステージ３）の一部に対比される可能性が考えられる。

Ⅴa層からⅣ層にかけては、クマザサ属のうちチシマザサ節やチマキザサ節が増加し、メダケ属（メダケ節やネザサ節）も増加したと推定される。このような植生変化は、晩氷期以降における気候温暖化とともに、積雪量（降水量）の増加を示している可能性が考えられる。

Ⅲ層から鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah，約6,300年前）直下のⅡc層にかけては、メダケ属（メダケ節やネザサ節）を主体として、キビ族、ウシクサ族、ササ類なども見られるイネ科植生であったと考えら

れ、周辺では何らかの樹木（落葉樹）も見られたと推定される。

その後、K-Ahの堆積によって当時の植生は一時的に破壊されたと考えられるが、K-Ah直上のⅡa層下部では比較的早い時期にメダケ属（メダケ節やネザサ節）を主体としてススキ属やチガヤ属なども見られる草原植生が成立したと推定される。

③　B区における植物珪酸体分析の結果

分析試料は、H5-1グリッドとF2-2グリッドの土層断面から採取された35点、およびF3-3グリッドとG3-3グリッドのⅨ層上部から採取された３点の計38点である。

植物珪酸体の検出状況について、H5-1グリッドでは、霧島イワオコシ軽石（Kr-Iw）直下のⅩⅢ層（試料22）から現表土のⅠ層（試料１）までの層準について分析を行った。その結果、Kr-Iw直下のⅩⅢ層（試料22）では棒状珪酸体などが検出されたが、いずれも少量である。Kr-Iw直上のⅩⅠb層（試料21）では、シバ属、ネザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。霧島アワオコシテフラ（Kr-Aw）直下のⅩc層（試料20）では、ススキ属型、ウシクサ族A、メダケ節型が出現している。Kr-Aw直上のⅨ層（試料17、18）から姶良Tn火山灰（AT）直下のⅦe層（試料13）にかけては、ススキ属型、ウシクサ族A、ミヤコザサ節型が増加しており、キビ族型、イネ科Bタイプ、クマザサ属型が出現している。AT層準（試料12）では、ウシクサ族Aやミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。AT直上のⅤc層（試料10、11）から霧島小林軽石（Kr-Kb）混のⅤb層（試料９）にかけては、ミヤコザサ節型が多量に検出され、キビ族型、ウシクサ族A、メダケ節型、ネザサ節型、クマザサ属型なども検出された。Kr-Kb直上のⅤa層（試料７、８）からⅣ層（試料５、６）にかけては、クマザサ属型が増加しており、ミヤコザサ節型は減少している。また、Ⅳ層上部ではメダケ節型やネザサ節型が増加傾向を示している。鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）直下のⅢ層（試料３、４）では、メダケ節型やネザサ節型が大幅に増加しており、クマザサ属型やミヤコザサ節型は減少している。Ⅰ層（試料１）では、ネザサ節型がさらに増加しており、ヒエ属型も検出された。

おもな分類群の推定生産量によると、Ⅺb層ではネザサ節型、Ⅹc層～Ⅶe層ではススキ属型やミヤコザサ節型が優勢となっていることが分かる。また、Ⅴc層～Ⅴb層ではミヤコザサ節型、Ⅴa層～Ⅳ層下部ではクマザサ属型が優勢であり、Ⅲ層より上位ではメダケ節型とネザサ節型が卓越している。

F2-2グリッドでは、Kr-Iw直下のⅩⅢ層（試料13）からAT直上のⅤc層（試料１）までの層準について分析を行った。その結果、Kr-Iw直下のⅩⅢ層（試料13）では、ススキ属型、シバ属、ネザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。Kr-Iw直上のⅪ層（試料12）では、ウシクサ族A、イネ科Bタイプ、メダケ節型、クマザサ属型が出現している。Kr-Aw直上のⅨ層（試料７～10）から姶良Tn火山灰（AT）直下のⅧ-1層（試料３）にかけては、ススキ属型、ウシクサ族A、ミヤコザサ節型が増加しており、キビ族型、イネ科Bタイプ、クマザサ属型なども出現している。AT層準（試料12）では、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。AT直上のⅤc層（試料１）では、ミヤコザサ節型が比較的多く検出され、ススキ属やチガヤ属、ウシクサ族A、メダケ節型、ネザサ節型なども検出された。

主な分類群の推定生産量によると、Ⅸ層～Ⅷ層ではススキ属型やミヤコザサ節型、Ⅴc層ではミヤコザサ節型が優勢となっていることが分かる。

Ⅸ層については、特にF3-3グリッドの石皿付近（試料１、２）、およびG3-3グリッドのすり石付近（試料３）について分析を行った。その結果、ススキ属型が比較的多く検出され、キビ族型、ウシクサ族A、シバ属、ネザサ節型、ミヤコザサ節型なども検出された。おもな分類群の推定生産量によると、ススキ属型が優勢となっていることが分かる。

④　B区における植物珪酸体分析による考察

植物珪酸体分析から推定される植生と環境は、霧島イワオコシ軽石（Kr-Iw）直下のⅩⅢ層から霧島アワオコシスコリア（Kr-Aw）混のⅩ層にかけては、ススキ属やチガヤ属、シバ属、ネザサ節、ミヤコザ

サ節などが生育するイネ科植生であったと推定される。また、Kr-Aw直上のⅨ層から姶良Tn火山灰（AT，約2.4～2.5万年前）直下のⅧ層にかけては、ススキ属やチガヤ属を主体として、キビ族、シバ属、メダケ属（メダケ節・ネザサ節)、クマザサ属（おもにミヤコザサ節）なども生育するイネ科植生であったと考えられ、草原的な環境が継続されていたと推定される。

クマザサ属は森林の林床でも生育が可能であるが、ススキ属やチガヤ属などは日当りの悪い林床では生育が困難である。したがって、当時の遺跡周辺は森林で覆われたような状況ではなく、日当たりの良い開かれた環境であったと推定される。なお、ススキ属やチガヤ属の草原が維持されるためには定期的な刈り取りや火入れ（焼き払い）が必要である（堀田，1991，近藤，1995)。このことから、当時は何らかの目的で火入れが行われていた可能性も考えられる。

Ⅷ層およびⅨ層の一部では、キビ族が認められた。キビ族にはヒエ属（ヒエやイヌビエなど）やエノコログサ属（アワやエノコログサなど）が含まれている（杉山ほか，1988)。これらの層の時期に、イヌビエなどのキビ族植物が利用されていたことも想定されるが、このような可食植物の利用については当時の生業を考えるうえで重要な問題であることから、考古学的所見ともあわせて慎重に検討していく必要がある。

その後、ATの堆積によって当時の植生は一時的に破壊されたと考えられるが、AT直上のⅤc層の時期にはクマザサ属（おもにミヤコザサ節）などの笹類を主体とした草原植生が成立していたと推定される。タケ亜科のうち、メダケ属は温暖、クマザサ属は寒冷の指標とされており、メダケ率（両者の推定生産量の比率）の変遷は、地球規模の氷期－間氷期サイクルの変動とよく一致することが知られている(杉山，2001)。また、クマザサ属のうちチシマザサ節やチマキザサ節は積雪に対する適応性が高いとされ、ミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ないところに分布している（室井，1960，鈴木，1978)。これらのことから、当時は積雪の少ない寒冷で乾燥した環境であったと推定される。この寒冷期は、最終氷期の最寒冷期（酸素同位体ステージ２）に対比される。

クマザサ属は氷点下５℃程度でも光合成活動をしており、雪の中でも緑を保っていることから、大半の植物が落葉または枯死する秋から冬にかけてはシカなどの草食動物の重要な食物となっている（高槻，1992)。遺跡周辺にこれらの笹類が豊富に存在したことは、当時の動物相を考える上でも重要である。

なお、メダケ率の変遷から、ATより下位のⅧ層～Ⅻ層の時期はⅤ層の時期よりも相対的に温暖な気候であったと推定される。この温暖期は、最終氷期の亜間氷期（酸素同位体ステージ３）に対比されると考えられる。

霧島小林軽石（Kr-Kb，約1.4～1.6万年前）混のⅤb層からⅣ層下部にかけても、クマザサ属などの笹類を主体とした草原植生が継続されたと考えられるが、Kr-Kb直上のⅤa層からⅣ層下部にかけてはクマザサ属の種類がミヤコザサ節主体からチシマザサ節やチマキザサ節に移行したと推定される。このような植生変化から、この時期に積雪量（降水量）が増加した可能性が考えられる。

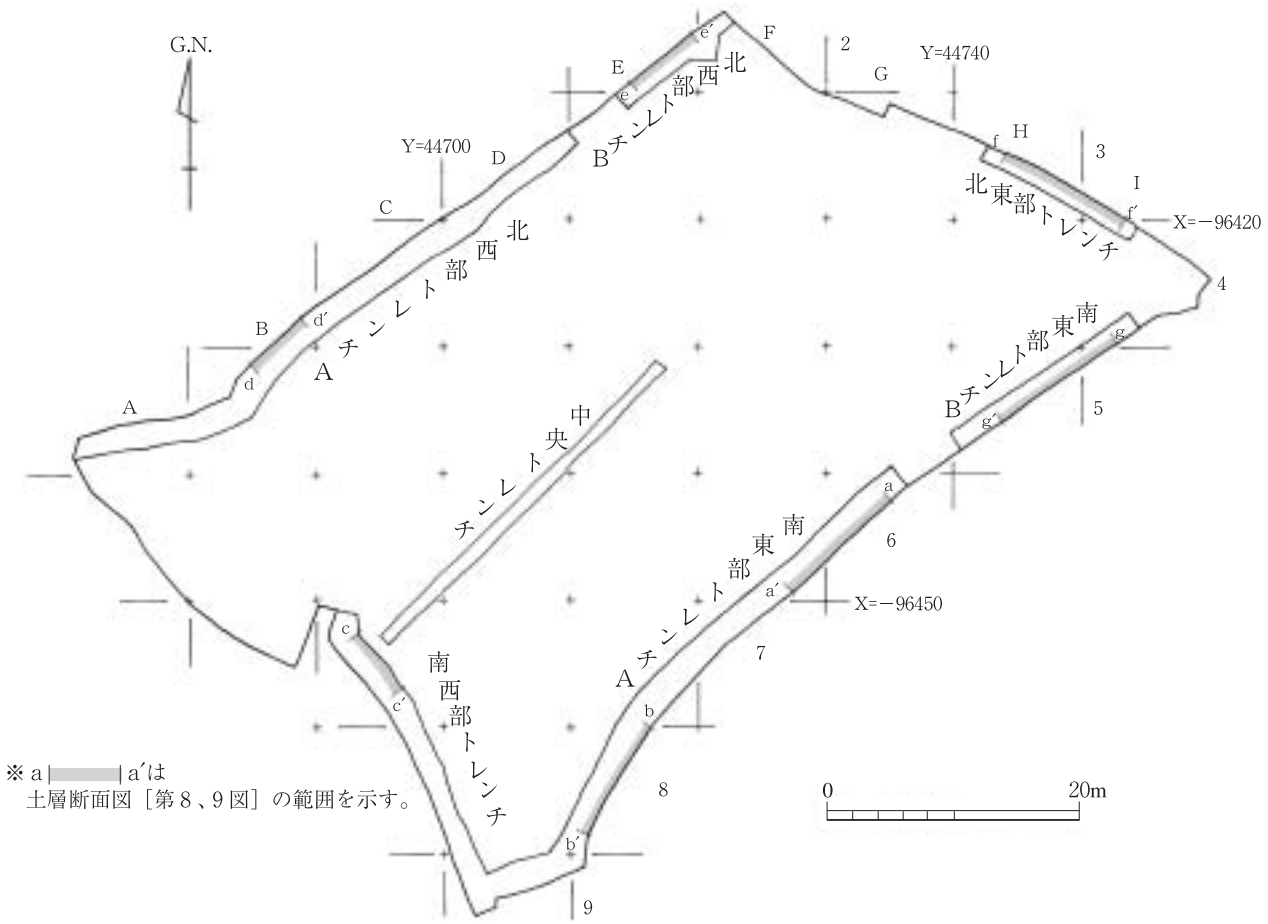
その後、Ⅳ層上部から鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）直下のⅢ層にかけては、メダケ属（メダケ節やネザサ節）を主体としてススキ属やチガヤ属なども見られる草原植生に移行したと推定される。このような植生変化は、後氷期における急激な気候温暖化に対応したものと考えられる。

九州南部の沿岸部では、約7,500年前にはシイ属やクスノキ科を主体とした照葉樹林が成立していたと考えられているが（杉山，1999)、本遺跡ではK-Ah直下層においても照葉樹林の存在が認められなかった。このことの原因として、遺跡周辺では沿岸部よりも照葉樹林の拡大が遅れたことや、人為的な影響で照葉樹林の分布拡大が阻害されたことなどが考えられる。今後、周辺地域で同様の検討を行うことにより、照葉樹林の存在や分布拡大の様相が解明されると期待される。

〈参考文献〉
近藤錬三・佐瀬隆（1986）植物珪酸体，その特性と応用．第四紀研究，25：p.31-63．
杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，第31号，p.70-83.
杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追究のための基礎資料として－．考古学と自然科学，20，p.81-92.
杉山真二（1999）植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史．第四紀研究．38(2)，p.109-123.
杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.
杉山真二（2001）テフラと植物珪酸体分析．月刊地球，23，p.645-650.
鈴木貞雄（1978）タケ科植物の概説．日本タケ科植物総目録．学習研究社．25-45.
高槻成紀（1992）北に生きるシカたち－シカ、ササそして雪をめぐる生態学－．どうぶつ社．
藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29．
町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会．
室井綽（1960）竹笹の生態を中心とした分布．富士竹類植物園報告，5，p.103-121.

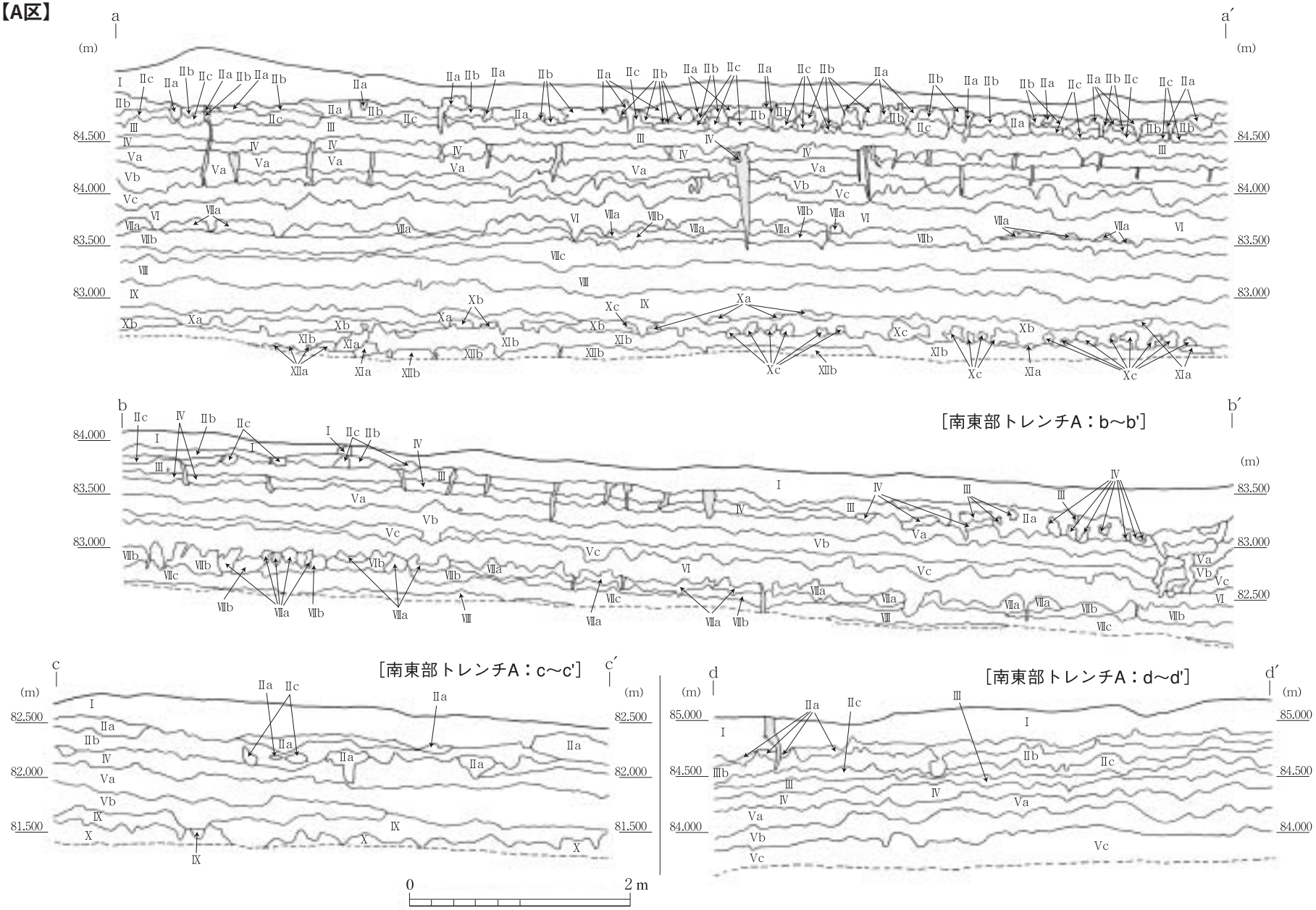
3　先行トレンチの土層状況［第８図・第９図］

第７図（下図）に示したとおり、調査を進めるにあたって先行してトレンチを入れ土層の状況を確認した。各トレンチの土層状況は第８図・第９図に示した。



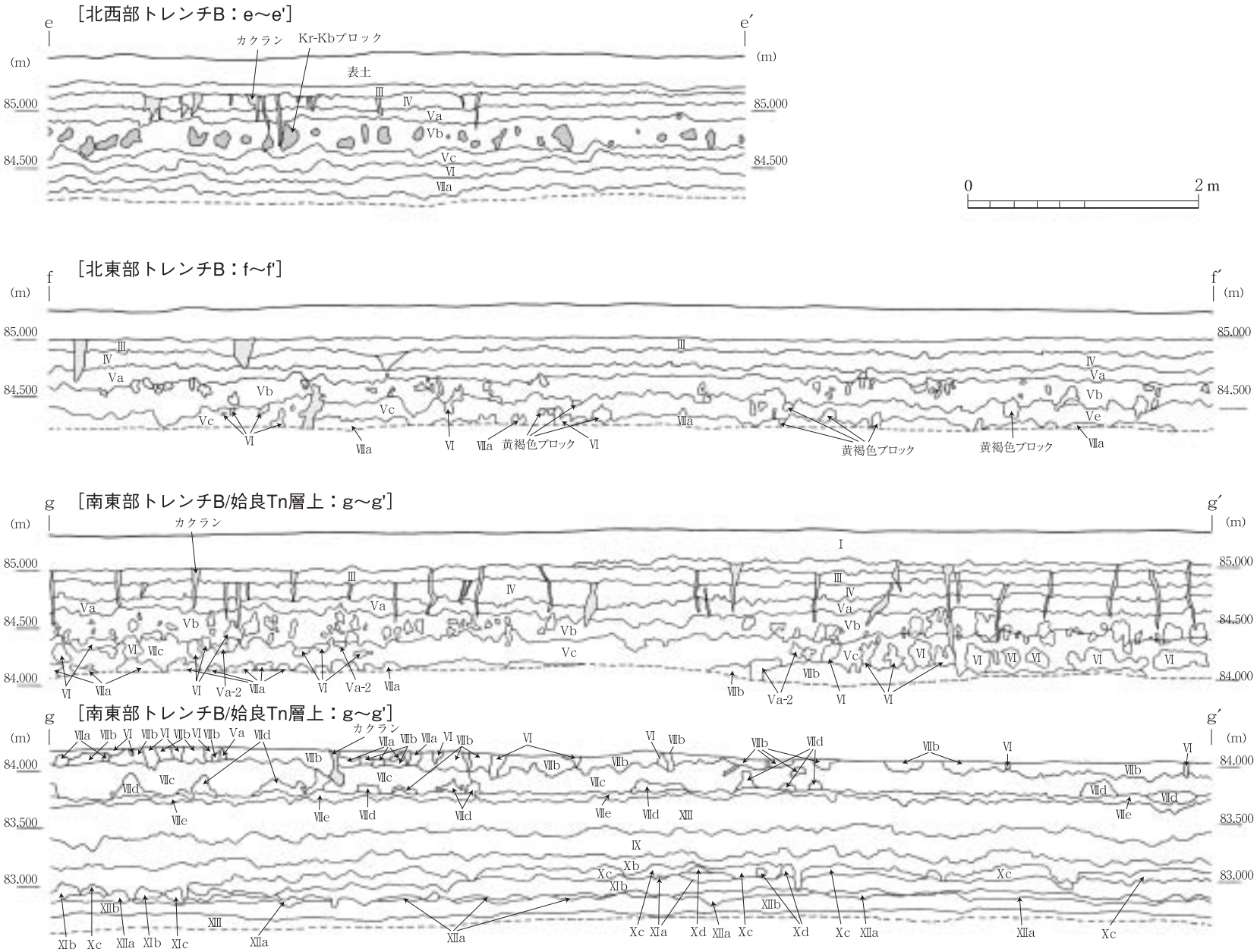
第７図　先行トレンチ配置図（S＝1/600）

【A区】



第８図　土層断面実測図１（S＝1/50）

【B区】



第９図　土層断面実測図２（S＝1/50）

第３節　遺構と遺物の分類

１　遺構

【礫群】

旧石器時代の遺構。構成される礫が離れすぎず広がっており、個体間が０㎝～30㎝程度を目安とした。礫の拡がりが一定のまとまりを呈する遺構。構成礫は拳大の大きさを基本とし、礫の赤化度、炭化物の有無等、人為的に礫を集め、使用した痕跡が認められる。

本遺跡では、７基確認できた。

【集石遺構】

縄文時代早期の遺構。長軸・短軸ともにそれぞれ50㎝～２ｍ程度の範囲に礫が密に集まっている遺構。

構成礫の赤化度、炭化物の有無等、人為的に礫を集め、使用した痕跡が認められる。動植物を調理する機能を有する調理の施設跡や炉跡、石器製作の為の礫を集めたまとまり、不要になった廃棄礫等に分類できる。本遺跡の集石遺構でも、調理の施設の可能性が考えられる遺構もある。

【石器ブロック及び遺物集中域】

本遺跡において石器ブロックとは、剥片、チップ(砕片)、敲石類などが集中して出土する区域を指す。ブロックの範囲を認定する基準としては、

①調査区を2.5ｍ×2.5ｍのメッシュに切り、隣接しているメッシュに石器が２点以上出土しているもの同士を結び、そのまとまりが15点以上であること

②他と５ｍ以上の空白域（間隔）をもつこと

③遺物の広がりが10ｍ以下のもの

の３要件を基本とした。また、同条件の面的範囲で、同一石材が集中している箇所においては、点数が15点以下でも同一石材ブロックとして認定した。

面的範囲が10ｍを超える場合においては、石材、器種、接合状況等を検討した上で遺物集中域とした。

なお、本遺跡では、遺物集中域中に石器ブロックと認定できるものが包含されている箇所がある。

２　石器

本遺跡で出土した石器について、類型した石器のみ、その観点を以下に記述する。

【角錐状石器】　※石器の加工状況にて分類

Ⅰ類	一面加工
Ⅱ類	二面加工
Ⅲ類	三面加工
Ⅳ類	未製品等その他

【ナイフ形石器】　※石器の加工状況にて分類

Ⅰ類	一側縁加工
Ⅱ類	二側縁加工
Ⅲ類	部分加工または未製品等その他

【石鏃】　※石器形状と基部形状にて分類

Ⅰ類　正三角形
- Ａ：基部が平基になるもの。
- Ｂ：基部にU字もしくはV字の抉りを入れ、脚部を作り出しているもの。

Ⅱ類　二等辺三角形
- Ａ：基部が平基になるもの。
- Ｂ：基部中央に浅い抉りがあるもの。
- Ｃ：基部にU字もしくはV字の抉りを入れ、脚部を作り出しているもの。

Ⅲ類　その他、欠損品など

なお、上記石器の類型については、各時代・各文化層毎の「石器観察表」に示している。

第４節　旧石器時代の遺構と遺物

１　第Ⅰ文化層の調査

⑴　第Ⅰ文化層の概要

第Ⅰ文化層は、本遺跡層序ではⅨ層・Ⅹ層、東九州自動車道基本層序ではMB３・ML３に相当する。

MB２（Ⅷ層）以下の調査は10ｍ×10ｍGを４分割し、そのうちの１箇所を掘り（以下、25%掘りという）、その結果礫及び石器が認められた箇所から順次ひろげる調査方法で行った結果、約1,450㎡の面積を調査するに至った。なお、調査は第Ⅱ文化層（Ⅷ層：MB２）も同時に掘り進めた。

その結果、第Ⅰ文化層からは、120点（本遺跡出土全石器の約８％）の石器、508点の礫が出土した。（第５表及び第10図）

礫の石材は、砂岩（181点：約35%）、ホルンフェルス（170点：約33%）、尾鈴山酸性岩類（131点：約26%）の３種で出土礫の約８割強を占める。

石器は砂岩の敲石・磨石45点、ホルンフェルスの剥片29点、尾鈴山酸性岩類の台石８点が主である。ほか、水晶の剥片が１点出土した。

遺構については検出されなかった。

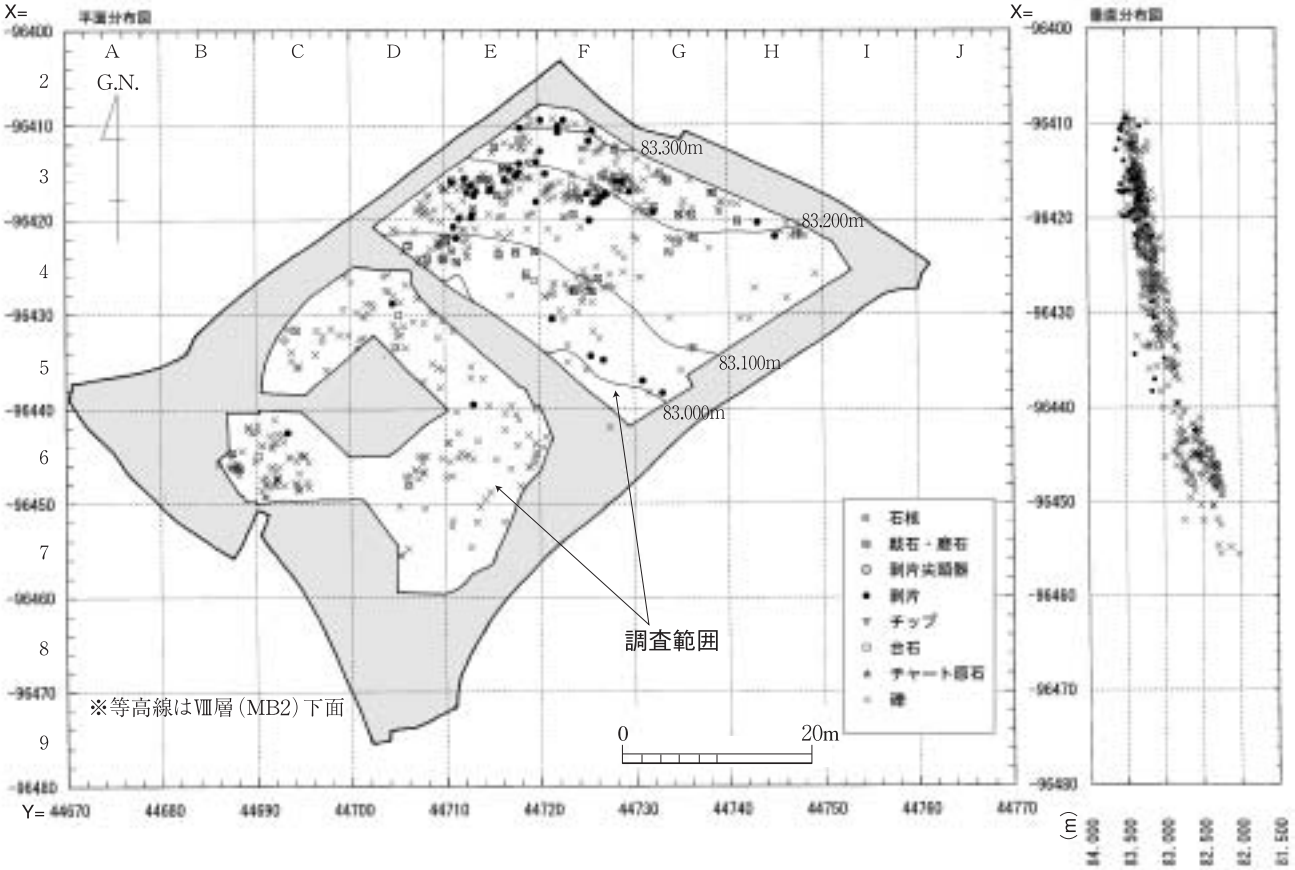
⑵　遺物

○　石器

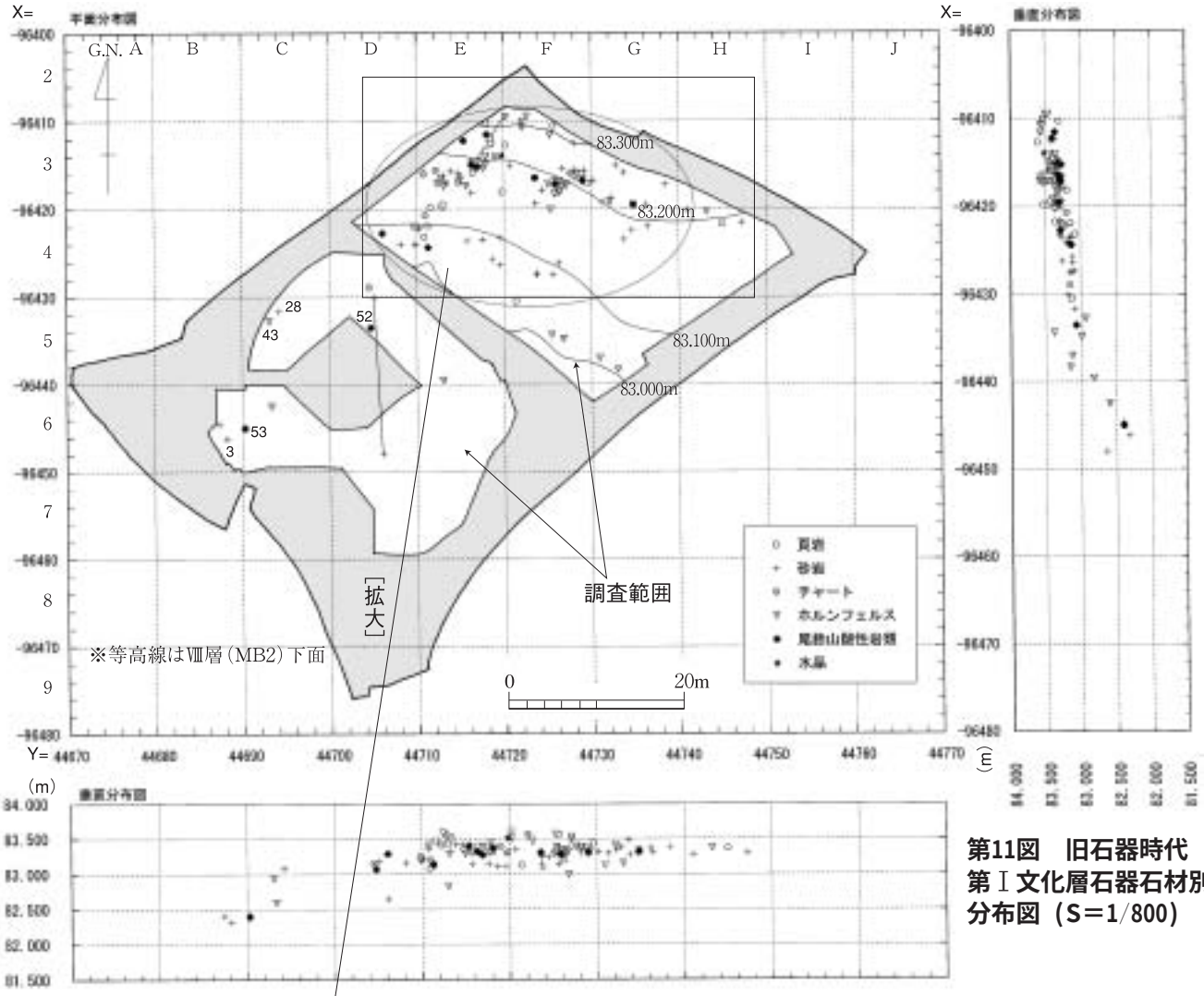
遺物の器種及び石材組成は第４表に、分布状況は石材毎に、第11図に示している。また北東部の分布（石材及び器種）状況は拡大して第12図、第14図に掲載している。台石、敲石、剥片、石核と揃い、石器製作の状況が伺われる。製品は剥片尖頭器１点にとどまる。

出土した120点の石器のうち、60点を掲載した。なお、接合資料は砂岩の１例が認められたが、敲石の使用中に割れたもの同士の接合である。敲石１個体として第15図５に示している。

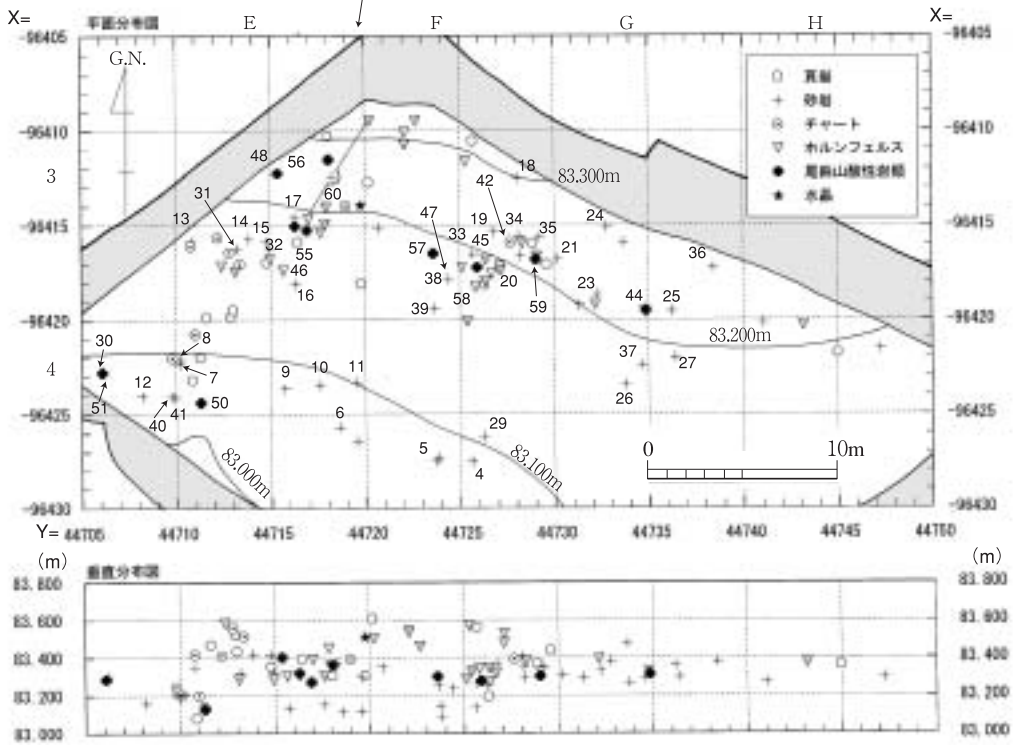
以下、石材別に分け器種毎に第２・３表にて解説を加える。



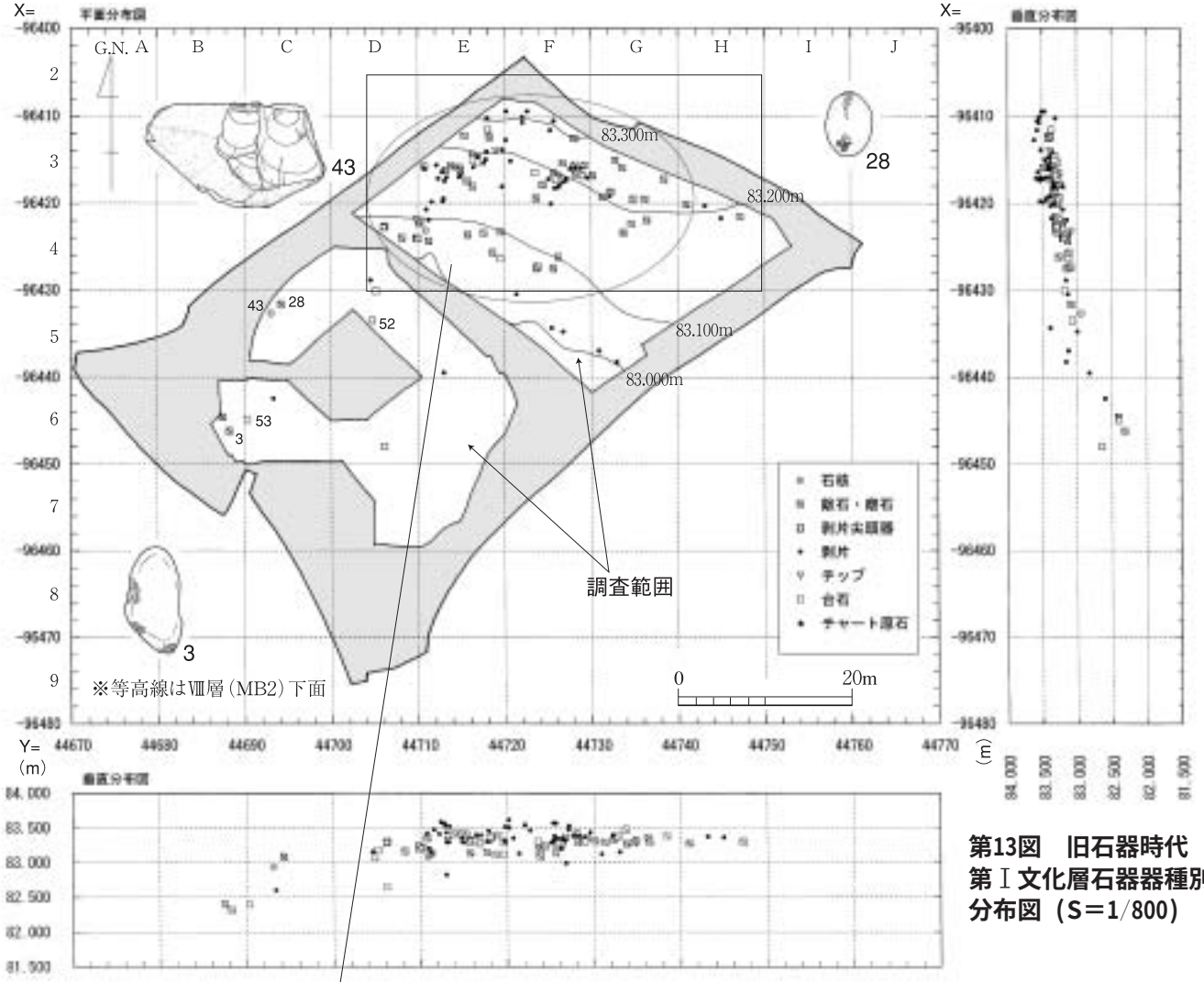
第10図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　礫及び石器器種別分布図（S＝1/800）



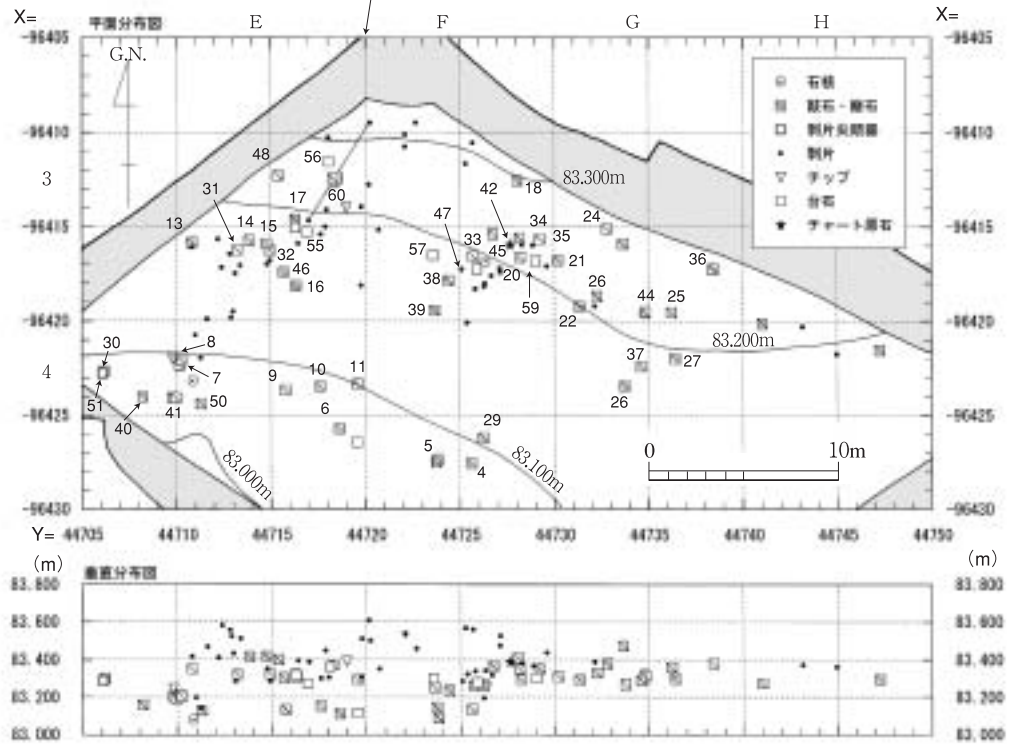
第11図　旧石器時代
第Ⅰ文化層石器石材別
分布図（S＝1/800）



第12図　旧石器時代
第Ⅰ文化層北東部石器
石材別分布図
（S＝1/400）



第13図　旧石器時代
第Ⅰ文化層石器器種別
分布図（S＝1/800）



第14図　旧石器時代
第Ⅰ文化層北東部石器
器種別分布図
（S＝1/400）

※出土箇所は、遺物集中域または石器ブロックからの出土を指す（以下、同じ）。

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1（遺跡層序）	出土層2（東九州層序）	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高（m）	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
【頁岩】（第15図　1）																	
1	1851	E4-1	—	IX	MB3	B－1851	石核	—	—	-96423.200	44710.860	83.081	12.50	5.70	6.80	537.40	節理面を３面もつ。上部に腹面、右側面を打面にして剥片を剥離している。
【砂岩】（第15図～第17図　2～41）																	
2	958	B6-4	—	IX	MB3	A－958	敲石	—	—	-96444.600	44687.430	82.400	1.90	2.00	1.15	4.70	長さ15cmを超す巨礫。正面に使用痕を認める。台石の可能性も残る。
3	963	B6-3	—	IX	ML3	A－963	敲石	—	—	-96446.200	44688.240	82.317	12.30	6.70	3.20	342.00	不定形扁平礫を使用。下面、左側面に敲打痕を認める。
4	1819	F4-3	—	IX	MB3	B－1819	敲石	—	—	-96427.560	44725.630	83.135	10.70	9.30	1.40	194.00	薄い扁平礫を使用。上下面部に敲打痕を残す。正面右上部は欠損している。
5	1825	F4-2	—	IX	MB3	B－1825	敲石	—	1826＋1826で接合	-96427.520	44723.760	83.145	9.20	4.90	4.50	261.60	使用により少なくとも３分割され、その２点が接合した状態である。正面及び下部に使用痕を認める。
	1826	F4-2	—	IX	MB3	B－1826	敲石	—		-96427.350	44723.840	83.086					
6	1843	E4-3	—	IX	MB3	B－1843	敲石	—	—	-96425.720	44718.630	83.113	8.00	4.15	4.10	202.00	下面に明瞭な敲打痕を認める。右側面は、明瞭ではないが擦り痕らしきの痕跡も残す。
7	1853	E4-1	—	IX	MB3	B－1853	敲石	—	—	-96422.340	44710.180	83.212	8.90	5.75	4.25	277.00	楕円礫を使用。上下面に浅い敲打痕を認める。
8	1854	E4-1	—	IX	MB3	B－1854	敲石	—	—	-96422.110	44710.250	83.203	7.90	5.90	3.50	174.00	風化が激しく、ひびを認める。下面に小さい敲打痕を認める。
9	1869	E4-4	—	IX	MB3	B－1869	敲石	—	—	-96423.670	44715.770	83.133	8.10	4.00	3.10	138.00	棒状小礫を使用。下部に浅い使用痕を認める。
10	1873	E4-4	—	IX	MB3	B－1873	敲石	—	—	-96423.480	44717.620	83.152	9.00	4.25	3.65	165.00	上下面に浅い敲打痕を残す。
11	1875	E4-4	—	IX	MB3	B－1875	敲石	—	—	-96423.350	44719.590	83.295	9.10	6.20	1.80	153.00	扁平礫を使用。下面に敲打痕を認める。
12	1911	D4-4	—	IX	MB3	B－1911	敲石	—	—	-96424.030	44708.210	83.159	5.60	4.25	3.70	144.00	風化気味で明瞭でないが、敲打痕を一部残す。
13	1920	E3-2	—	IX	MB3	B－1920	敲石	—	—	-96415.850	44710.810	83.351	8.30	7.40	5.40	465.00	台形状の不定形礫。角面に敲打痕を認める。
14	1937	E3-2	—	IX	MB3	B－1937	敲石	—	—	-96415.720	44713.860	83.416	6.60	5.30	2.75	109.00	上下面、右側面に敲打痕を残す。裏面にガジリ痕。
15	1941	E3-2	—	IX	MB3	B－1941	敲石	—	—	-96415.900	44714.770	83.416	7.10	5.75	3.30	162.00	小円礫を使用。下面、右側面に浅い敲打痕を認める。
16	1949	E3-3	—	IX	MB3	B－1949	敲石	—	—	-96418.140	44716.340	83.307	11.00	7.40	2.85	237.00	瓢箪型の扁平礫を使用。下部右縁部に明瞭な敲打痕を認める。正面下部にも敲打痕を残す。
17	1961	E3-4	—	IX	MB3	B－1961	敲石	—	—	-96414.620	44716.300	83.320	7.50	4.70	3.45	152.00	楕円小礫を使用。上下面に、明確な敲打痕を残す。
18	2040	F3-4	—	IX	MB3	B－2040	敲石	—	—	-96412.560	44728.060	83.408	8.55	7.90	5.40	457.00	上面、右側面に敲打痕を認める。
19	2047	F3-3	—	IX	MB3	B－2047	敲石	—	—	-96415.380	44726.770	83.365	7.05	5.10	4.45	205.00	下面に明瞭な敲打痕を認める。
20	2054	F3-3	—	IX	MB3	B－2054	敲石	—	—	-96416.640	44728.220	83.295	6.45	6.25	3.55	179.00	正面下部に明瞭な敲打痕を認める。
21	2067	G3-2	—	IX	MB3	B－2067	敲石	—	—	-96416.800	44730.200	83.308	17.20	10.65	4.65	1045.00	三角形を呈する。左側面に敲打痕？を認める。
22	2091	G3-2	—	IX	MB3	B－2091	敲石	—	—	-96419.240	44731.330	83.292	6.15	4.50	3.75	136.00	小円礫を使用。上下面に明瞭な敲打痕を認める。
23	2093	G3-2	—	IX	MB3	B－2093	敲石	—	—	-96418.700	44732.270	83.328	7.30	4.60	4.10	173.00	上下面に敲打痕を残す。
24	2105	G3-2	—	IX	MB3	B－2105	敲石	—	—	-96415.920	44733.660	83.473	9.80	6.30	4.10	342.00	楕円扁平礫を使用。上下面に敲打痕を残す。
25	2114	G3-3	—	IX	MB3	B－2114	敲石	—	—	-96419.560	44736.230	83.358	9.05	3.85	2.25	121.00	棒状扁平礫を使用。正面下部に敲打痕を認める。
26	2141	G4-1	—	IX	MB3	B－2141	敲石	—	—	-96423.460	44733.760	83.269	12.40	8.60	9.40	1113.00	三角錐状の不定形礫を使用。下面に敲打痕跡を残す。
27	2143	G4-1	—	IX	MB3	B－2143	敲石	—	—	-96422.020	44736.420	83.297	5.90	4.90	4.10	140.00	下面に敲打痕を認める。
28	1044	C5-1	—	IX	MB3	A－1044	磨石	—	—	-96431.650	44694.250	83.080	7.40	6.80	5.40	338.00	小円礫を使用正面中央に擦り痕を残す。
29	1831	F4-3	—	IX	MB3	B－1831	磨石	—	—	-96426.220	44726.260	83.258	8.10	4.80	1.70	95.00	扁平小礫を使用。全体的につるつるしている。
30	1898	D4-4	—	IX	MB3	B－1898	敲石＆磨石	—	—	-96422.700	44706.200	83.300	4.80	3.55	3.35	70.00	小円礫を使用。不明瞭であるが、敲打痕・擦り面を認める。
31	1928	E3-2	—	IX	MB3	B－1928	敲石＆磨石	—	—	-96416.260	44713.210	83.320	10.55	8.15	6.00	687.00	円礫使用。風化に伴いひびを認める。全体的につるつるした感じ。
32	1942	E3-2	—	IX	MB3	B－1942	敲石＆磨石	—	—	-96416.260	44714.950	83.323	7.70	4.80	4.70	206.00	下面に敲打痕を残す。
33	2032	F3-3	—	IX	MB3	B－2032	磨石	—	—	-96416.560	44725.720	83.260	6.80	5.65	3.45	180.00	正面・裏面に使用痕を認める。
34	2053	F3-3	—	IX	MB3	B－2053	磨石	—	—	-96415.590	44728.160	83.350	8.00	5.60	3.35	228.00	楕円礫使用。正面・裏面に擦り痕を認める。
35	2060	F3-3	—	IX	MB3	B－2060	磨石	—	—	-96415.650	44729.230	83.350	4.90	37.50	3.25	78.00	小円礫。表面に不明瞭な擦り痕を認める。
36	2116	G3-3	—	IX	MB3	B－2116	磨石	—	—	-96417.260	44738.440	83.378	9.80	9.10	6.85	829.00	円礫を使用。正面に擦り痕を残す。
37	2140	G4-1	—	IX	MB3	B－2140	磨石	—	—	-96422.410	44734.630	83.288	6.60	5.75	4.00	197.00	正面・裏面に不明瞭な使用痕を認める。
38	2011	F3-2	—	IX	MB3	B－2011	敲石＆磨石	—	—	-96417.860	44724.420	83.235	7.60	7.05	4.45	316.00	小円礫を使用。全体的につるつるしている。下面に敲打痕剥離を認める。
39	2152	F3-2	—	IX	MB3	B－2152	敲石＆磨石	—	—	-96419.440	44723.670	83.251	6.25	5.40	4.40	181.00	正面に２箇所の擦り痕、下面に敲打痕を残す。
40	1906	D4-4	—	IX	MB3	B－1906	敲石＆磨石	—	—	-96424.080	44709.800	83.204	9.70	3.75	3.05	158.00	全体につるつるしている。擦り面と判断した。
41	1908	D4-4	—	IX	MB3	B－1908	敲石＆磨石	—	—	-96424.100	44709.980	83.188	6.10	5.80	3.50	163.00	部分的に擦り痕、下部に敲打痕が不明瞭に残る。

第２表　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器観察表１

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器　種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備　　考
【チャート】（第17図　42）																	
42	2050	F3-3	—	IX	MB3	B－2050	原石	—	—	-96415.940	44727.670	83.390	9.85	6.50	5.65	522.00	楕円礫。チャートの原石である。表面はつるつるしている。
【ホルンフェルス】（第18図・第19図　43～47）																	
43	1043	C5-1	—	IX	MB3	A－1043	石核	—	—	-96432.700	44693.100	82.934	6.00	10.35	7.50	563.20	上面と裏面に打面をもち、剥片を剥離している。
44	1805	G3-2	—	IX	MB3	B－1805	石核	—	—	-96419.600	44734.800	83.326	4.60	9.50	13.50	771.90	礫上部に腹面から打撃を加え、剥片を剥離している。
45	1811	F3-3	—	IX	MB3	B－1811	石核	—	—	-96416.850	44726.370	83.270	3.80	8.30	4.40	133.10	上面に自然面を残す。打面を上下左右に転位させながら不定形の剥片を剥離している。
46	1950	E3-3	—	IX	MB3	B－1950	敲石	—	—	-96417.420	44715.670	83.302	7.50	4.30	3.80	153.00	歪な形をした礫。上下面に敲打痕を認める。
47	1782	F3-3	—	IX	MB3	B－1782	剥片	—	—	-96417.250	44725.120	83.285	11.10	8.30	3.80	300.50	正面に自然面を残す大形剥片。打面再生剥片と考えられる。
【尾鈴山酸性岩類】（第19図・第20図　48～59）																	
48	1990	E3-4	—	IX	MB3	B－1990	敲石	—	—	-96412.270	44715.400	83.401	6.30	6.80	3.95	223.00	小円礫を使用。不明瞭な使用痕を正面、側面周囲に認める。
49	2111	G3-2	—	IX	MB3	B－2111	磨石	—	—	-96419.540	44734.850	83.310	6.70	5.40	3.80	191.00	小円礫使用。正面に使用痕を認める。
50	1846	E4-1	—	IX	MB3	B－1846	磨石	—	—	-96424.400	44711.300	83.128	9.65	7.40	5.40	523.00	楕円形状の尾鈴山酸性岩類。礫表面全体がつるつるしているが、正面中央部に擦り痕を残す。
51	1807	D4-4	—	IX	MB3	B－1807	剥片尖頭器(基部)	—	—	-96422.800	44706.100	83.287	1.90	2.90	0.90	4.00	灰青白色を呈する。剥片尖頭器の基部と考えられる。
52	892	C6-1	—	X	ML3	A－892	台石	—	—	-96444.990	44690.300	82.395	16.20	13.30	10.50	3004.00	長さ16cm、厚さ10cmを超す巨礫。窪みを認める。
53	1081	D5-1	—	IX	MB3	A－1081	台石	—	—	-96433.530	44704.780	83.066	16.50	28.10	8.00	4274.00	幅28cmを超す扁平巨礫。正面中央に窪みを認める。
54	1957	E3-3	—	IX	MB3	B－1957	台石	—	—	-96415.270	44716.940	83.270	19.90	16.95	11.10	3988.00	長さ20cm弱の巨礫。正面に窪みを残す。
55	1958	E3-3	—	IX	MB3	B－1958	台石	—	—	-96415.060	44716.320	83.317	20.15	12.95	4.55	1710.00	長さ20cm強の巨礫。正面に窪みを残す。
56	1983	E3-4	—	IX	MB3	B－1983	台石	—	—	-96411.550	44718.100	83.361	11.35	20.05	7.90	2839.00	幅20cmを超す巨礫。正面・裏面に窪みを残す。
57	2016	F3-2	—	IX	MB3	B－2016	台石	—	—	-96416.510	44723.600	83.298	21.65	25.00	12.35	7900.00	幅25cmの巨礫。正面右側に窪みを残す。
58	2035	F3-3	—	IX	MB3	B－2035	台石	—	—	-96417.250	44725.930	83.275	20.00	23.35	7.00	2900.00	長さ20cmの巨礫で割礫である。正面に窪みを残す。
59	2069	F3-3	—	IX	MB3	B－2069	台石	—	—	-96416.840	44729.040	83.300	28.50	21.20	8.60	7300.00	長さ28cmを超す巨礫。窪みが認められる。
【水晶】（第20図　60）																	
60	1786	E3-4	—	IX	MB3	B－1786	剥片	—	—	-96413.930	44719.800	83.510	1.70	0.80	0.25	0.30	本遺跡から１点のみ出土した水晶の剥片である。上縁部に微細な剥離を認める。

第３表　旧石器時代　第IX文化層　石材別石器観察表２

【全体】

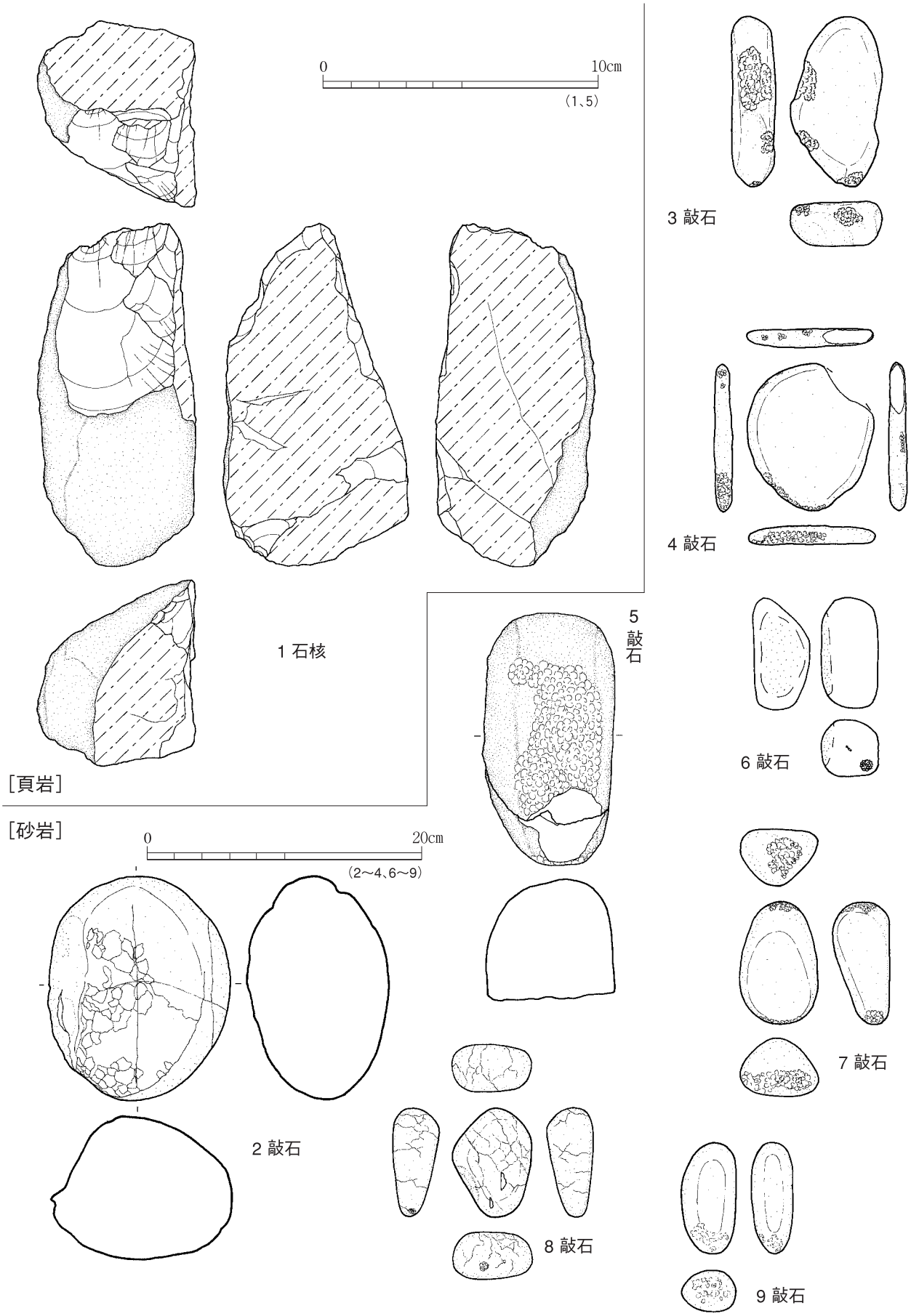
器種＼石材	頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	尾鈴山酸性岩類	水晶	計
石核	1			3			4
敲石・磨石		45		1	3		49
剥片	15	1	6	29		1	52
剥片尖頭器					1		1
チップ			2				2
台石		3			8		11
チャート原石			1				1
計	16	49	9	33	12	1	120

第４表　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石器の石材・器種別数量組成表

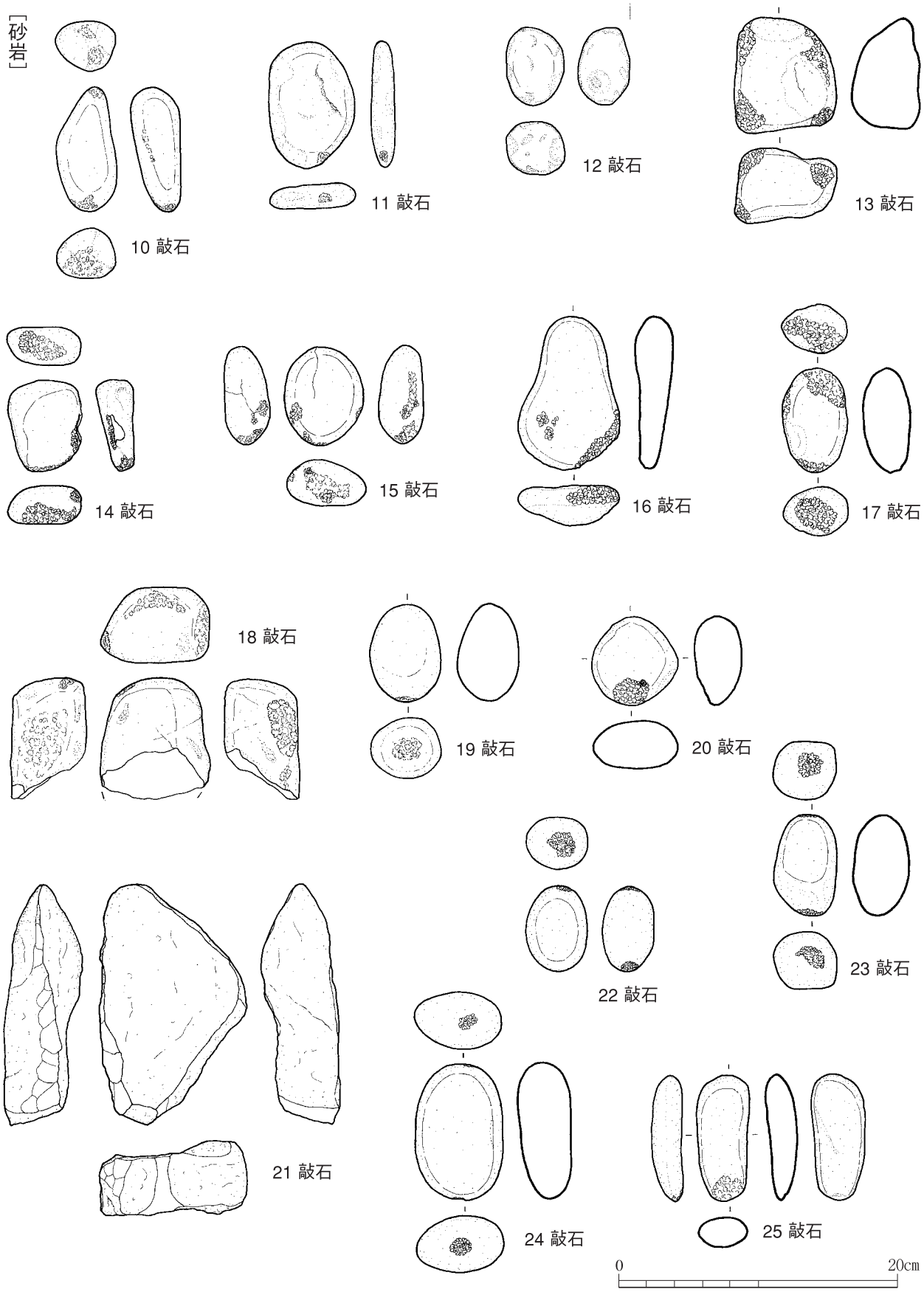
【全体】

層＼石材	頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	尾鈴山酸性岩類	流紋岩	凝灰岩	計
ＭＢ３(IX)層	13	127	2	111	106	1	5	508
ＭＬ３(Ｘ)層	4	54		59	25	1		143
計	17	181	2	170	131	2	5	508

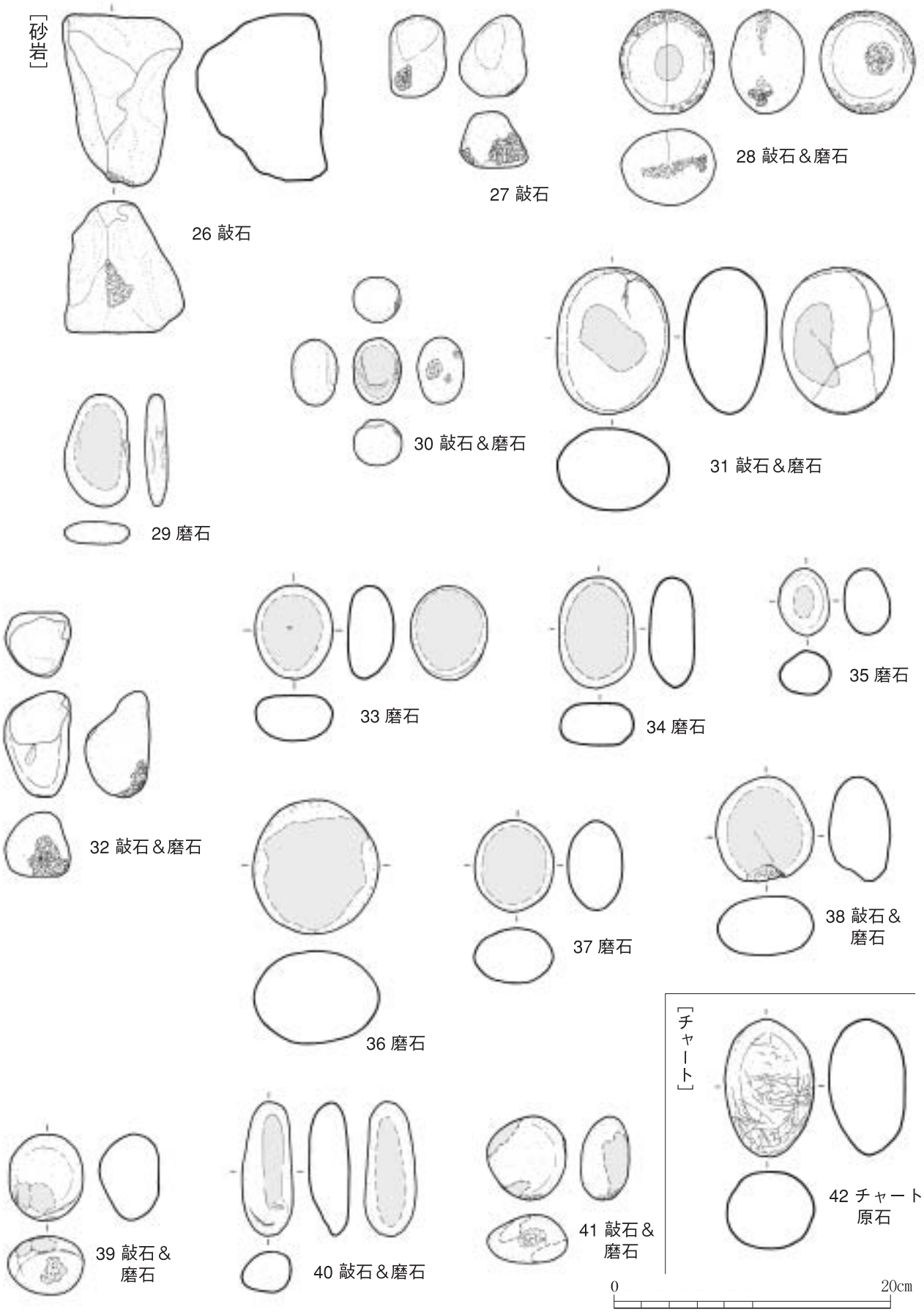
第５表　旧石器時代　第Ⅰ文化層　礫の石材・出土層別数量組成表



第15図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図１（S＝1/4　S＝1/2（1･5））

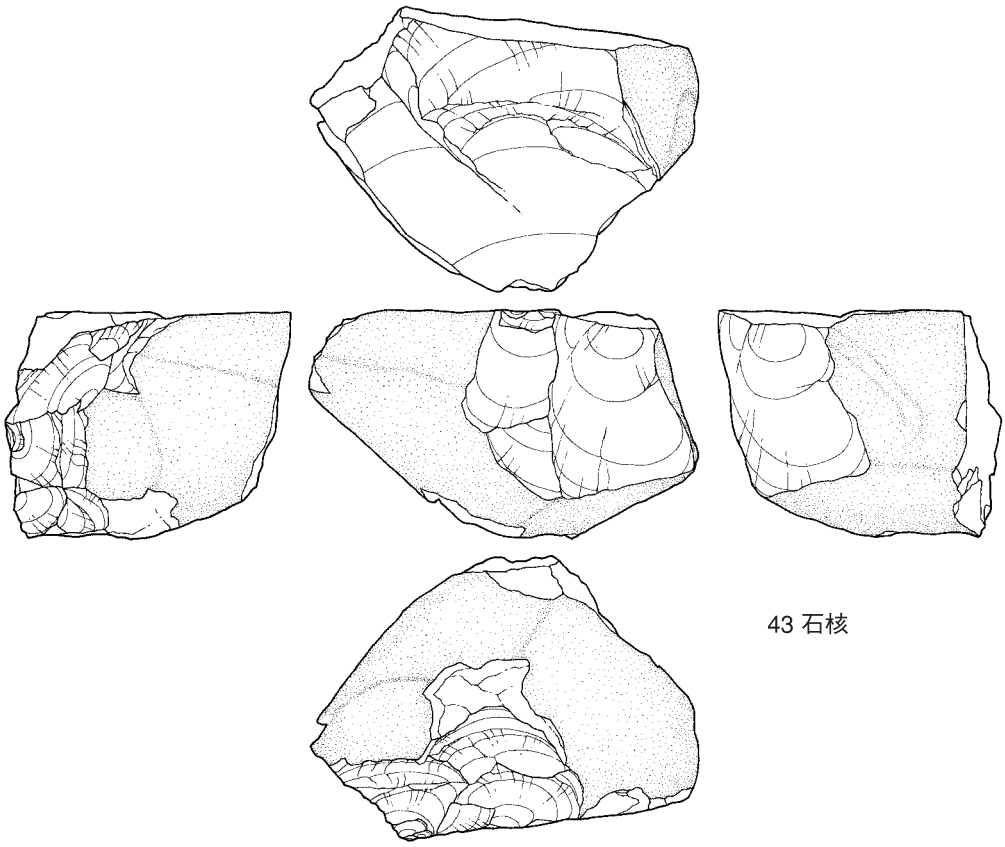


第16図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図２（S＝1/4）

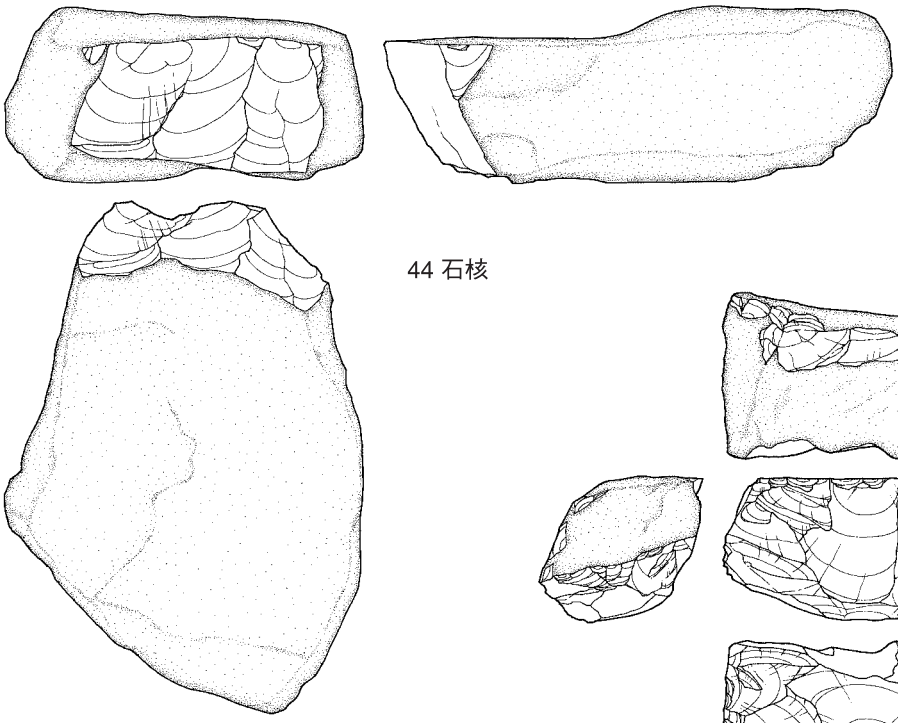


第17図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図３（S＝1/4）

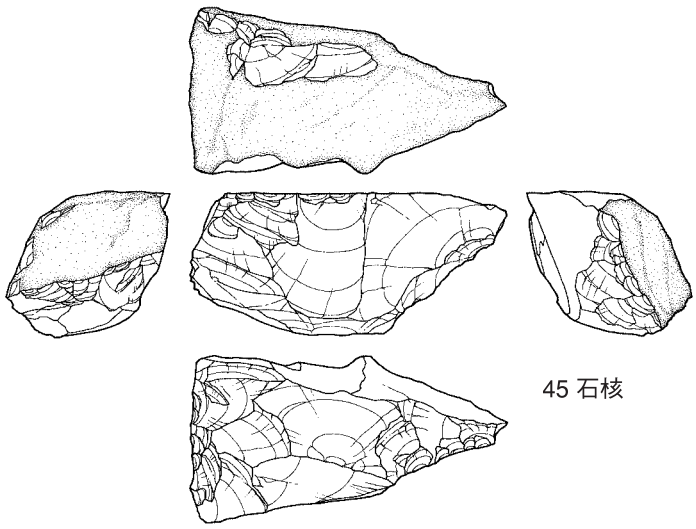
［ホルンフェルス］



43 石核



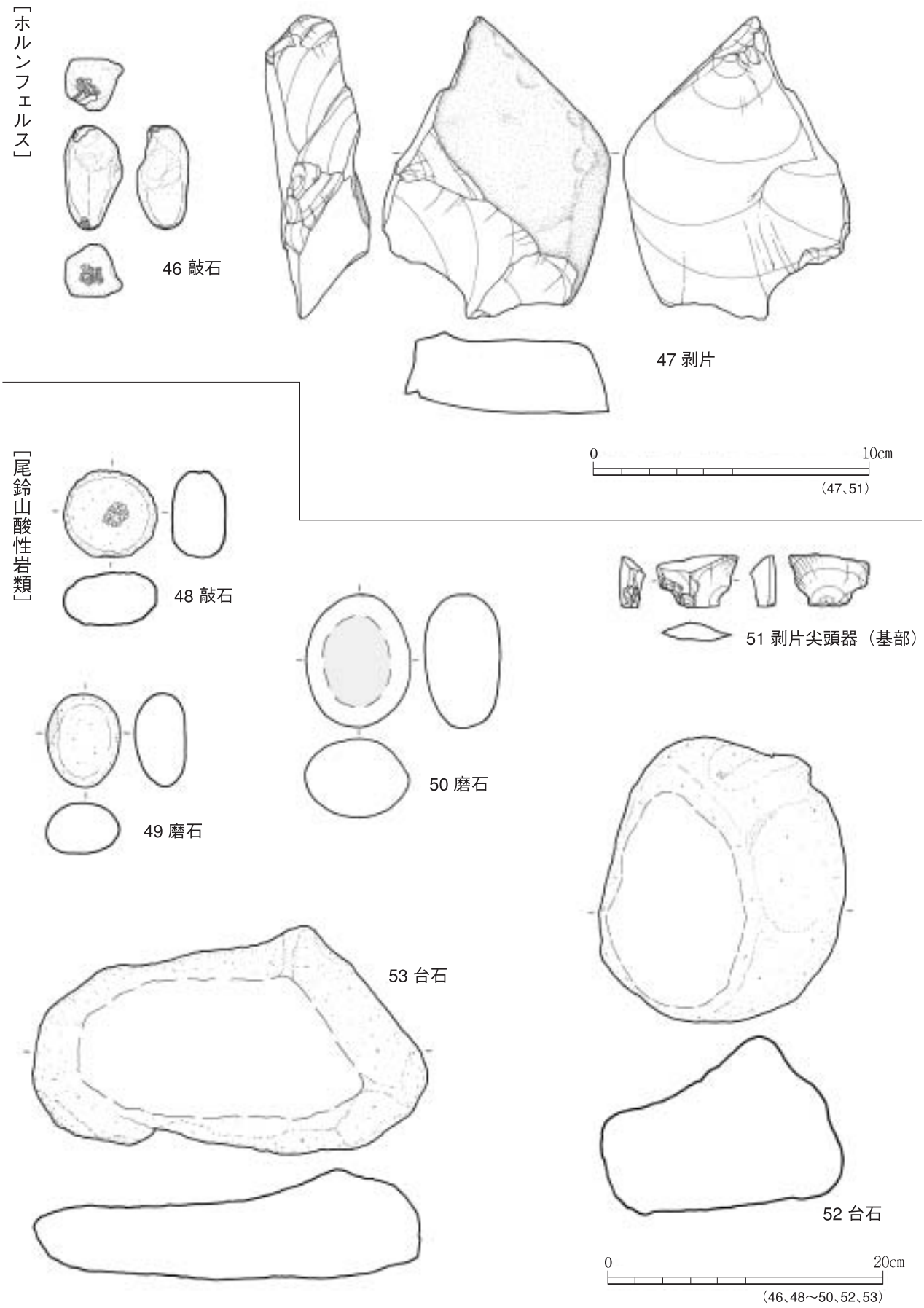
44 石核



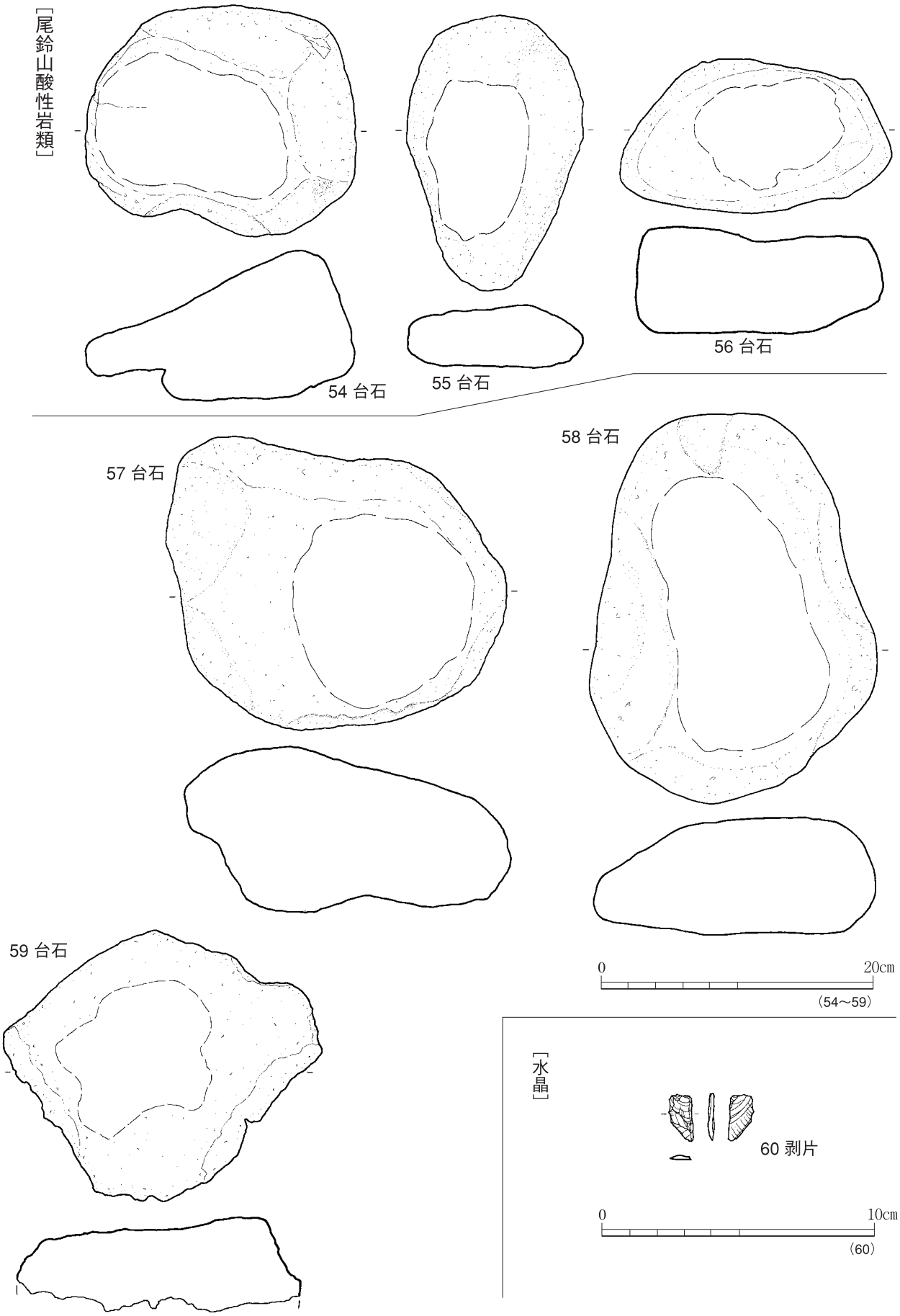
45 石核

0　10cm

第18図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図４（S＝1/2）



第19図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図５（S＝1/4　S＝1/2（47･51））



第20図　旧石器時代　第Ⅰ文化層　石材別石器実測図６（S＝1/4　S＝1/2（60））

2　第Ⅱ文化層の調査

⑴　第Ⅱ文化層の概要

第Ⅱ文化層は、本遺跡層序ではⅧ層、東九州自動車道基本層序ではMB２に相当する。

調査は、第Ⅰ文化層とともに同時に掘り下げたため、第Ⅰ文化層と同じ、約1,450㎡の面積を調査するに至った。

その結果、第Ⅱ文化層にあたる層からは、63点（本遺跡出土全石器の約４％）の石器、18点の礫（散礫）が出土した（第22図）。

礫は頁岩６点、赤色頁岩１点、砂岩６点、チャート１点、ホルンフェルス１点、尾鈴山酸性岩類３点の18点にとどまった。

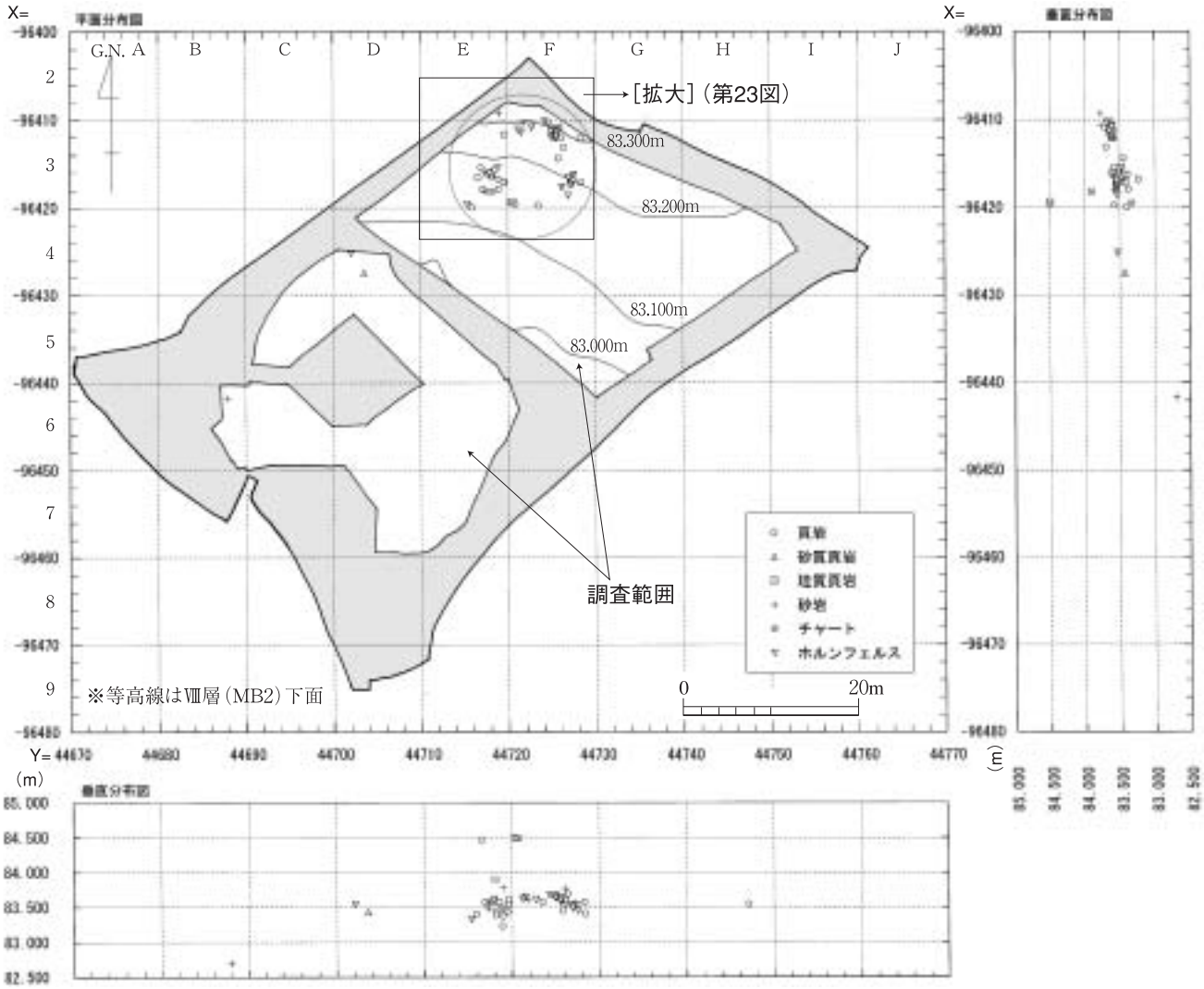
石器は石核、敲石・磨石、剥片合計63点が出土した。

遺構については検出されていない。以下、遺物について詳細を述べる。

⑵　遺物

器種及び石材組成は第７表に、分布状況は第21図・第22図に器種、石材毎に示している。石核３点、敲石・磨石３点、剥片57点、計63点である。また北東部の分布（石材及び器種）状況は拡大して第23図、第24図に掲載している。

出土した63点の石器のうち、敲石４点、石核３点、ホルンフェルスの接合資料１例（石核１点、剥片８点）を掲載した。



第21図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石器石材別分布図（S＝1/800）

○石器

63点の石器の中で、剥片が57点（約90%）を占める。次いで石核３点、敲石・磨石３点である。これらの石器のうち、敲石４点、石核３点、ホルンフェルスの接合資料１例（石核１点、剥片８点）を掲載した。

以下、石材別に分け器種毎に第６表にて解説を加える。

○接合資料

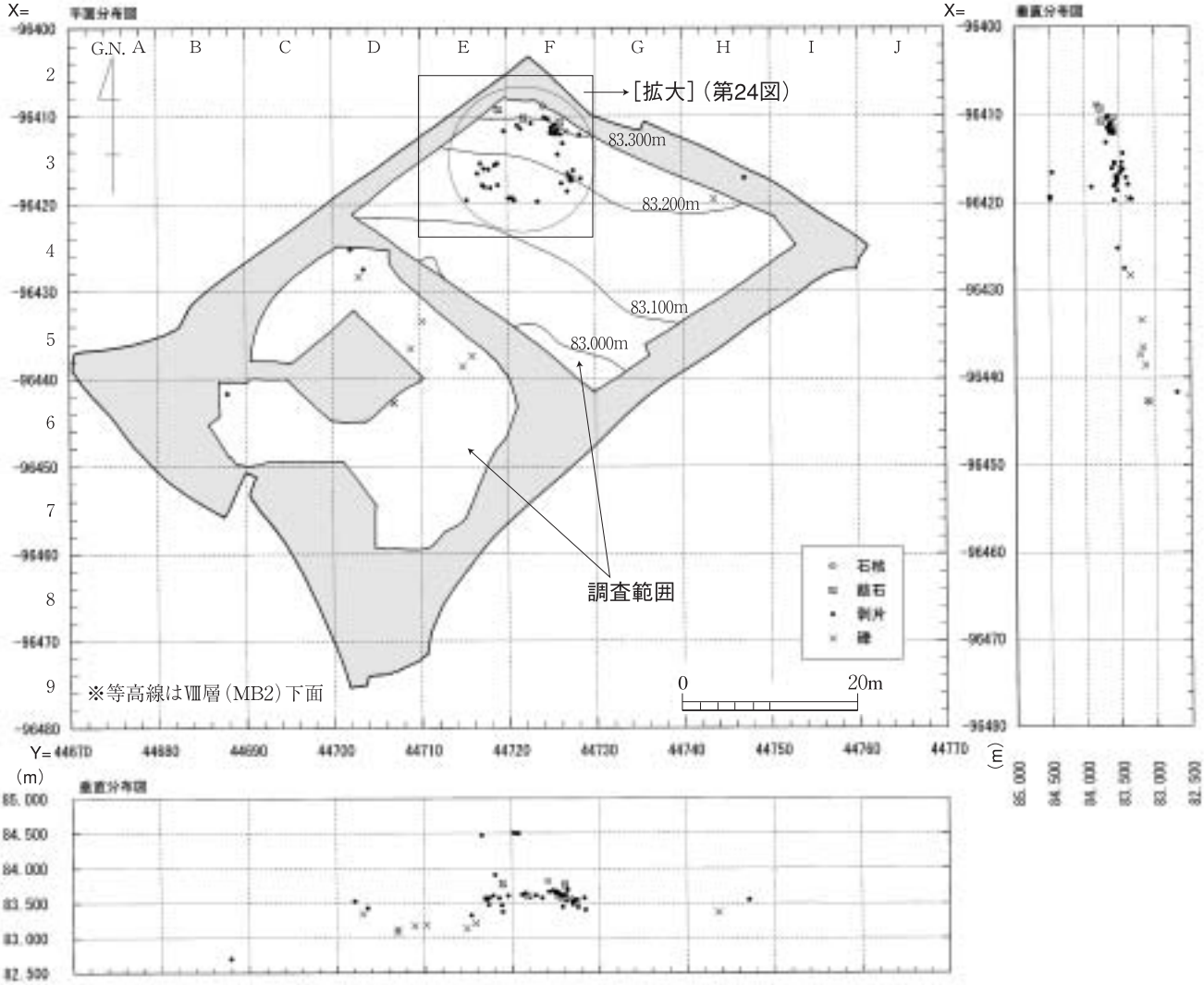
接合資料は５例確認できた。そのうち頁岩が９点接合した円礫は、敲石の使用中に割れが生じたと考えられ、人為的な剥片製作意図は認められないため、接合体を敲石１点として、第26図61に掲載した。

本書では接合資料５例のうち、前述したように石核１点と剥片８点の接合を認めたホルンフェルス製の接合資料を掲載する。

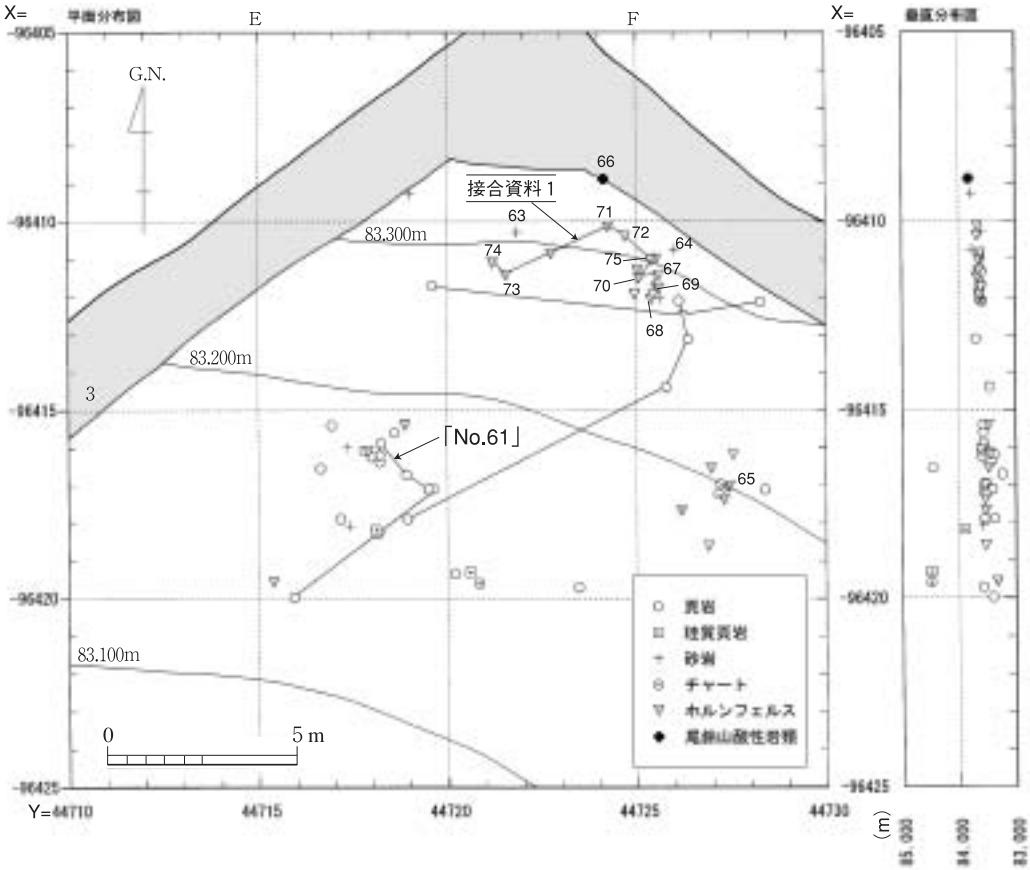
【接合資料１】（ホルンフェルス製）［第27図］

石核１点（67）と剥片８点（68～75）の接合である。すべてＦ３Ｇからの出土である。

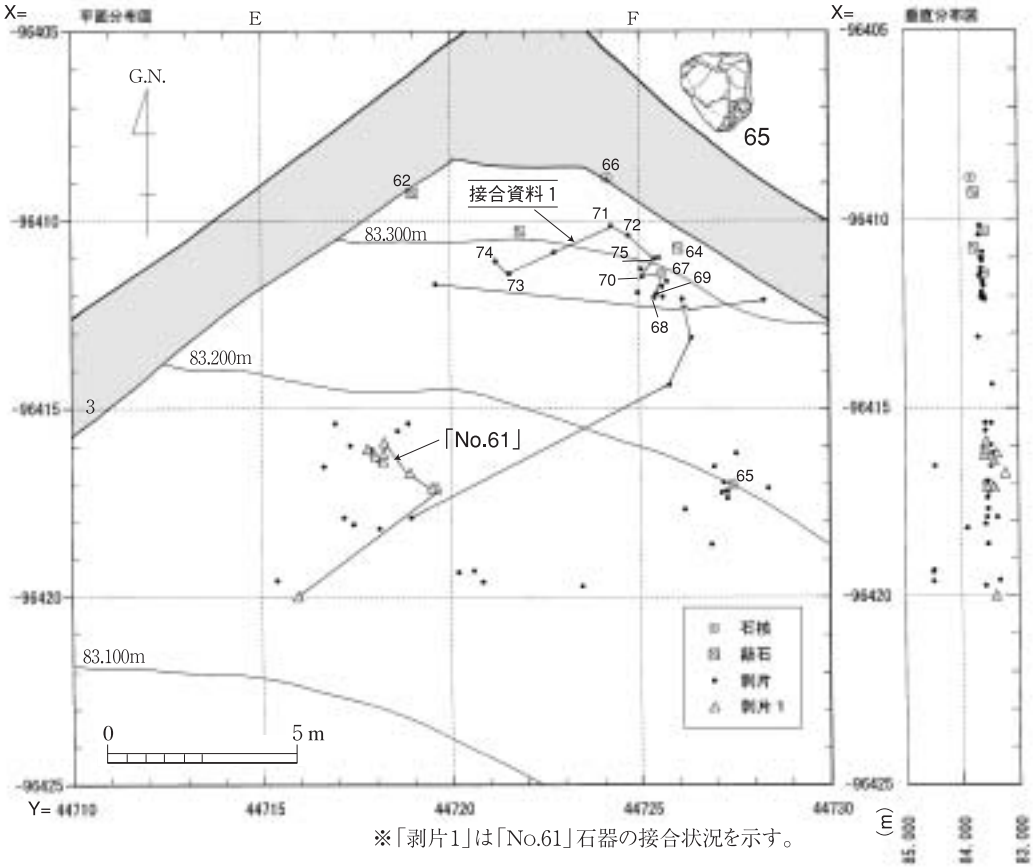
礫を分割後、石核（67）の裏面（自然面）方向から打撃を加え、剥片剥離を行う。その１点が73の剥片である。残りの剥片については順に、接合資料右からの打撃で、（70→71→72→74→69→68→75）と剥いだものと考えられる。石核とのこれら剥片の接点箇所には節理があり、節理によって剥がれた後、（70→71→72→74→69→68→75）の剥片剥離が行われた可能性もある。



第22図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石器器種別分布図（S＝1/800）



第23図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　北東部石器石材別分布図（S＝1/200）



※「剥片1」は「No.61」石器の接合状況を示す。

第24図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　北東部石器器種別分布図（S＝1/200）

第25図　旧石器時代　第Ⅰ・Ⅱ文化層　石器・礫分布実測図：B区北側（S＝1/160）

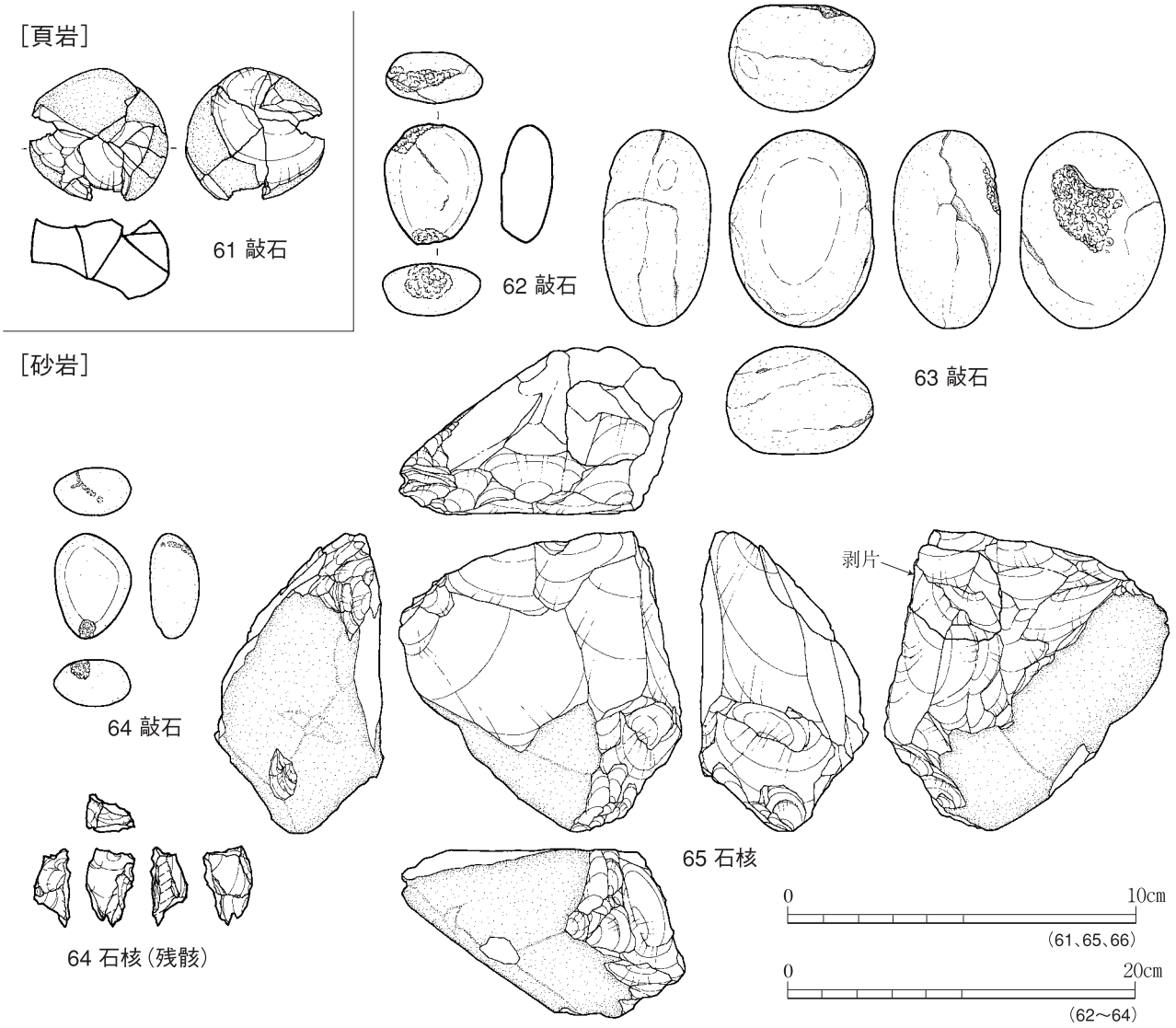
レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【頁岩】(第26図 61)																	
61	1711	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1711	剥片(敲石)	—	1711～1714＋1735～1737＋1787＋1797で接合	-96417.100	44719.630	83.545	3.70	4.00	2.30	5.50	小円礫が敲石として使用中、粉々に割れ、破棄されたと考える。E3Gから出土。接合資料であるが、接合状況をそのまま敲石として掲載した。
	1712	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1712	剥片(敲石)	—		-96417.100	44719.500	83.434					
	1713	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1713	剥片(敲石)	—		-96416.250	44718.000	83.595					
	1714	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1714	剥片(敲石)	—		-96416.080	44717.800	83.585					
	1735	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1715	剥片(敲石)	—		-96416.390	44718.210	83.431					
	1736	E3-3	—	Ⅷ下	MB2	B－1736	剥片(敲石)	—		-96416.200	44718.220	83.383					
	1737	E3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1737	剥片(敲石)	—		-96415.880	44718.240	83.568					
	1787	E3-3	—	Ⅸ	MB3	B－1787	剥片(敲石)	—		-96419.980	44715.950	83.400					
	1797	E3-3	—	Ⅸ	MB3	B－1797	剥片(敲石)	—		-96416.720	44718.920	83.234					
【砂岩】(第26図 62～66)																	
62	1978	E2-3	—	Ⅷ	MB2	B－1978	敲石	—	—	-96409.270	44719.010	83.774	6.90	5.70	3.00	134.00	上下面に明瞭な敲打痕が残る。
63	2073	F3-1	—	Ⅷ	MB2	B－2073	敲石	—	—	-96410.290	44721.860	83.599	11.40	8.40	6.20	766.00	裏面中央部に敲打痕を認めるが、自然に欠損した可能性も残る。
64	2080	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－2080	敲石	—	—	-96410.750	44726.030	83.766	6.10	4.45	2.70	92.00	正面下部に敲打痕を認める。上面にはガジリ痕が残る。
65	1725	F3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1725	石核	—	1723＋1725で接合	-96417.020	44727.450	83.535	8.60	8.20	4.80	352.40	多方向から不定形の剥片を剥離した痕跡をもつ。
	1723	F3-3	—	Ⅷ中	MB2	B－1723	剥片	—		-96417.390	44727.310	83.540					
66	1765	F2-2	—	Ⅷ	MB2	B－1765	石核(残核)	—	—	-96408.880	44724.150	83.820	2.20	1.30	1.00	2.00	風化が激しい。灰青白色を呈する。残核である。
【接合資料1：ホルンフェルス】(第27図・第28図 67～75)																	
67	2081	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－2081	石核	—	接1	-96411.420	44725.600	83.575	6.40	7.90	6.40	325.60	裏面に大きく自然面(一部節理面)を残す。背面からの打撃で剥片剥離を繰り返している。
68	1751	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－1751	剥片	—	接1	-96412.050	44725.400	83.637	2.55	2.70	0.75	6.20	背・腹面には剥離痕を残す。連続して剥離された剥片のうちの一点である。
69	1752	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－1752	剥片	—	接1	-96411.950	44725.460	83.630	4.00	2.20	1.20	6.90	背・腹面には剥離痕を残す。連続して剥離された剥片のうちの一点である。上面に自然面を残す。
70	1756	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－1756	剥片	—	接1	-96411.500	44725.080	83.670	2.90	2.20	0.65	2.50	背・腹面には剥離痕を残す。連続して剥離された剥片のうちの一点である。薄い小剥片である。
71	1758	F2-2	—	Ⅷ	MB2	B－1758	剥片	—	接1	-96410.150	44724.260	83.667	4.40	3.65	1.05	11.90	上面に自然面を残す、薄い小剥片である。
72	1759	F3-1	—	Ⅷ	MB2	B－1759	剥片	—	接1	-96410.400	44724.720	83.679	3.60	2.70	1.50	11.10	小剥片。左側面に自然面を残す。
73	1761	F3-1	—	Ⅷ	MB2	B－1761	剥片	—	接1	-96411.420	44721.560	83.647	3.85	3.30	1.45	15.60	67の石核から裏面方向からの打撃で剥離された剥片である。背面には剥片剥離の痕を残す。
74	1762	F3-1	—	Ⅷ	MB2	B－1762	剥片	—	接1	-96411.090	44721.210	83.620	2.25	3.50	1.10	7.90	連続して剥離された剥片のうちの一点である。
75	2078	F3-4	—	Ⅷ	MB2	B－2078	剥片	—	接1	-96411.030	44725.400	83.647	3.00	3.30	1.90	18.20	裏面に大きく自然面を残す。正面には節理を認める。

第６表　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石材別石器観察表

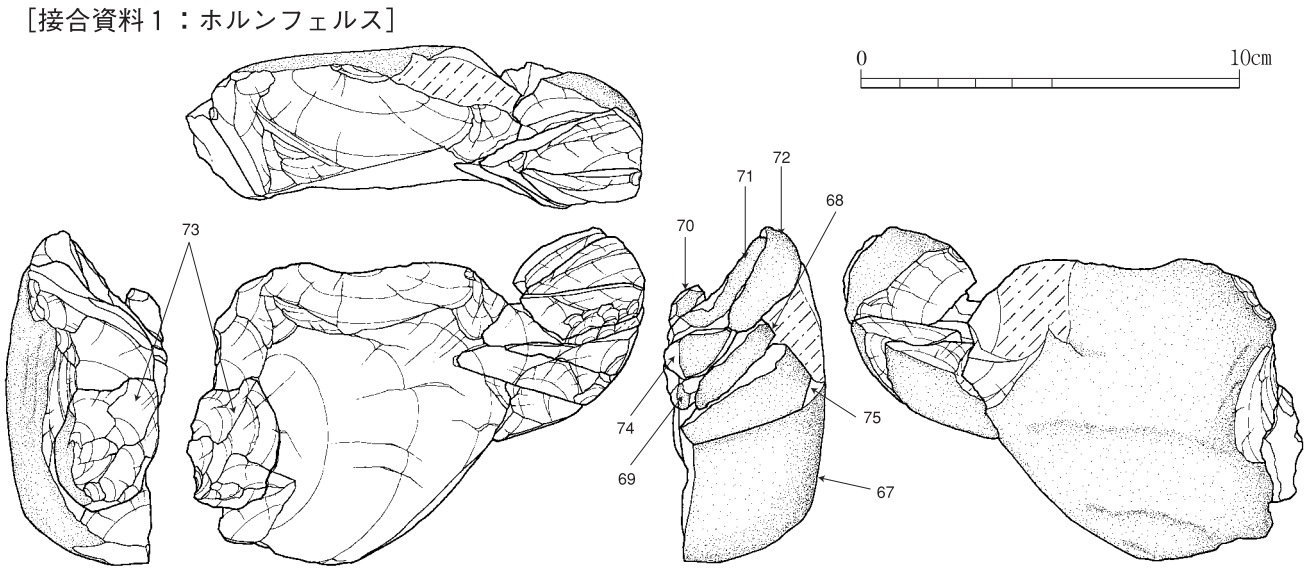
【全体】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	尾鈴山酸性岩類	計
石核						2	1	3
敲石・磨石				3				3
剥片	26	1	2	4	1	23		57
計	26	1	2	7	1	25	1	63

第７表　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石器の石材・器種別数量組成表

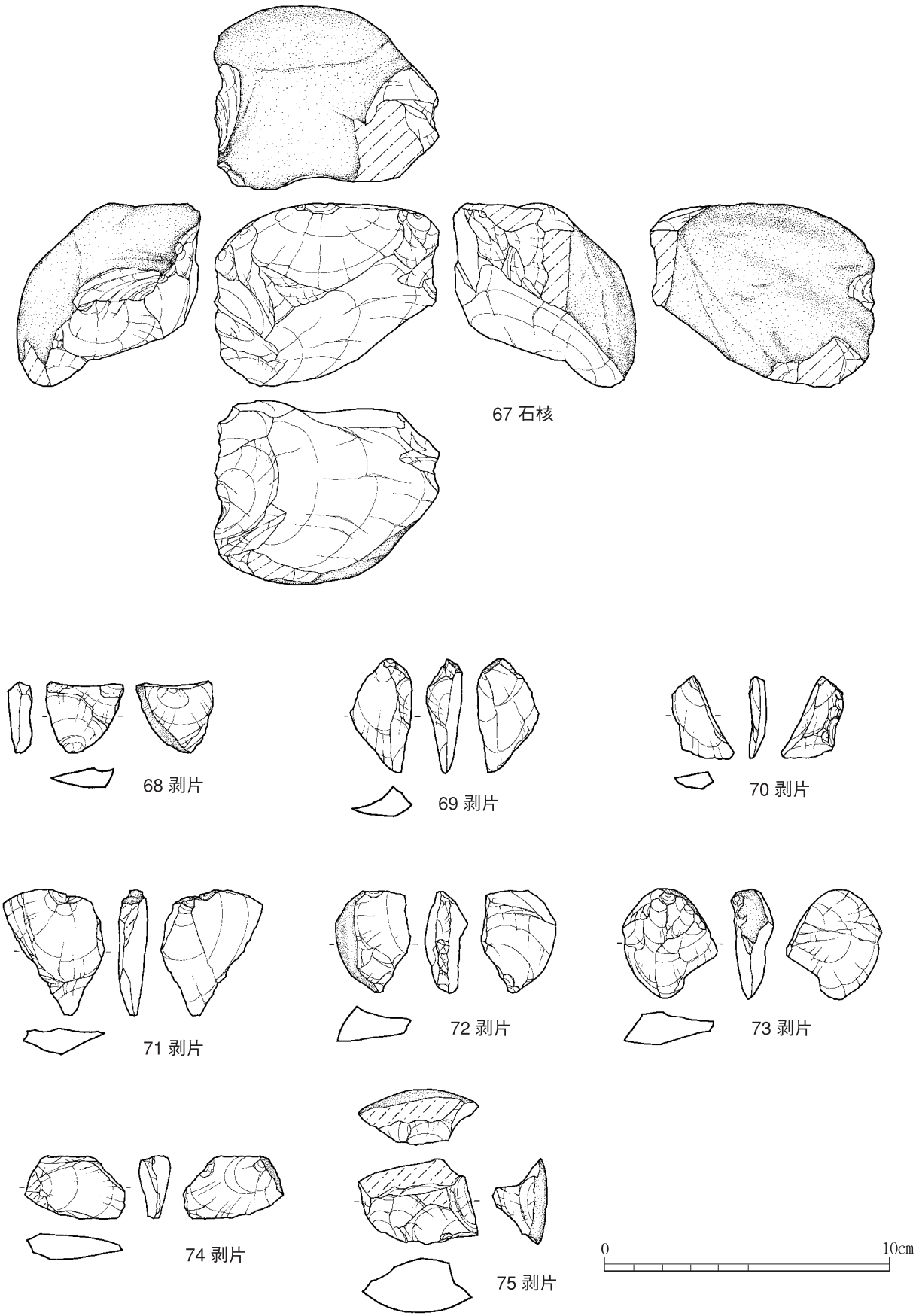


第26図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　石材別石器実測図１（S＝1/4　S＝1/2（62～64））



第27図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　接合資料石器実測図１（S＝1/2）

［接合資料１：ホルンフェルス］



第28図　旧石器時代　第Ⅱ文化層　接合資料石器実測図２（S＝1/2）

3　第Ⅲ文化層の調査

⑴　第Ⅲ文化層の概要

第Ⅲ文化層は、本遺跡層序ではⅤc層・Ⅵ層にあたり、東九州自動車道基本層序ではMB１に相当する。AT層（姶良Tn火山灰層）とKr-Kb（小林軽石層）の間に位置する。

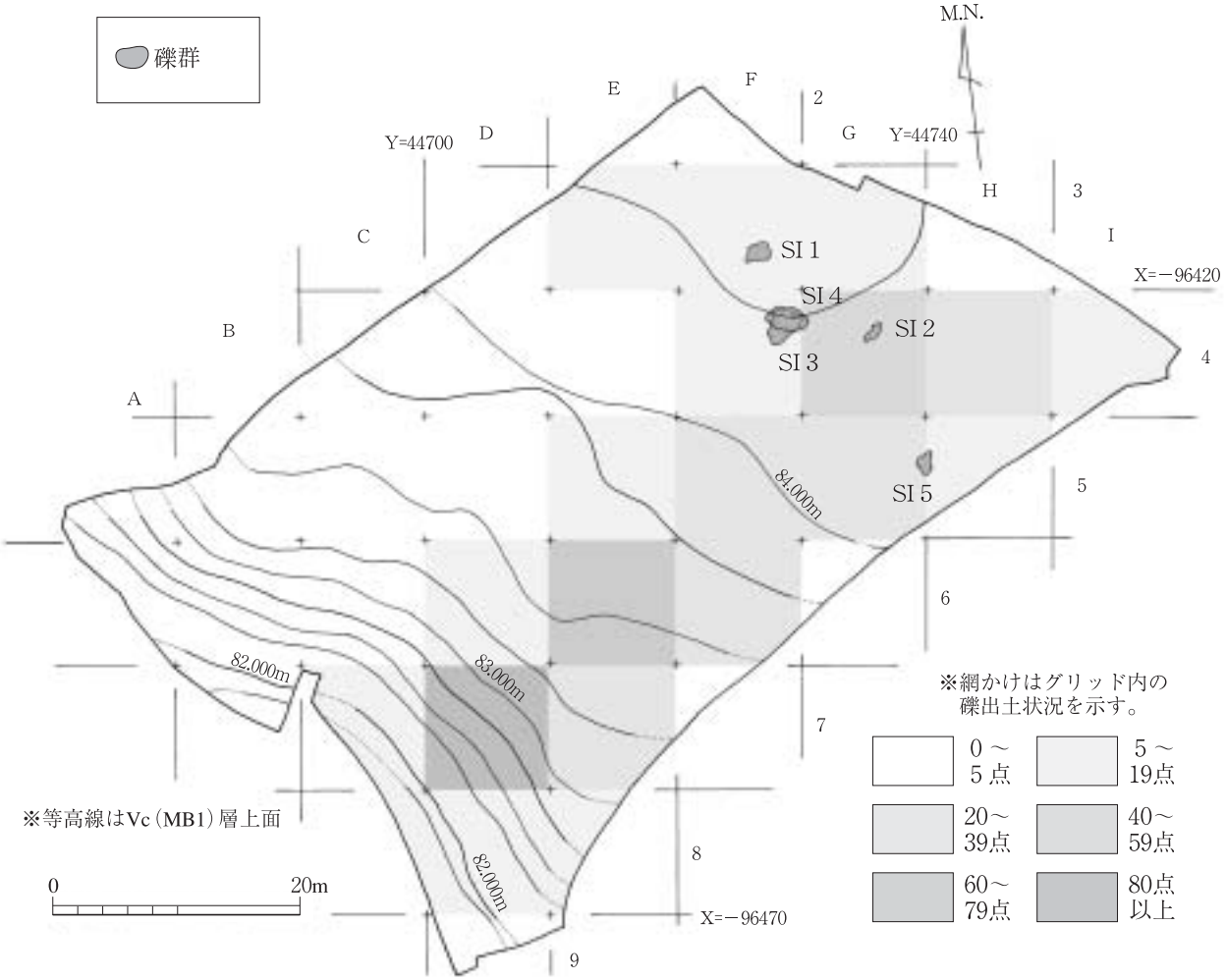
本層では、300点を超す石器が出土し、石器群および礫群が認められたことから、第Ⅲ文化層と位置づけた。また、礫は遺跡の南側平坦部から斜面部にかけて出土した。

石器のまとまりと石材分布、接合状況等を検討し、遺物集中域１箇所、石器ブロック４箇所を認めた(第９表及び第41図)。礫群は５基検出された。

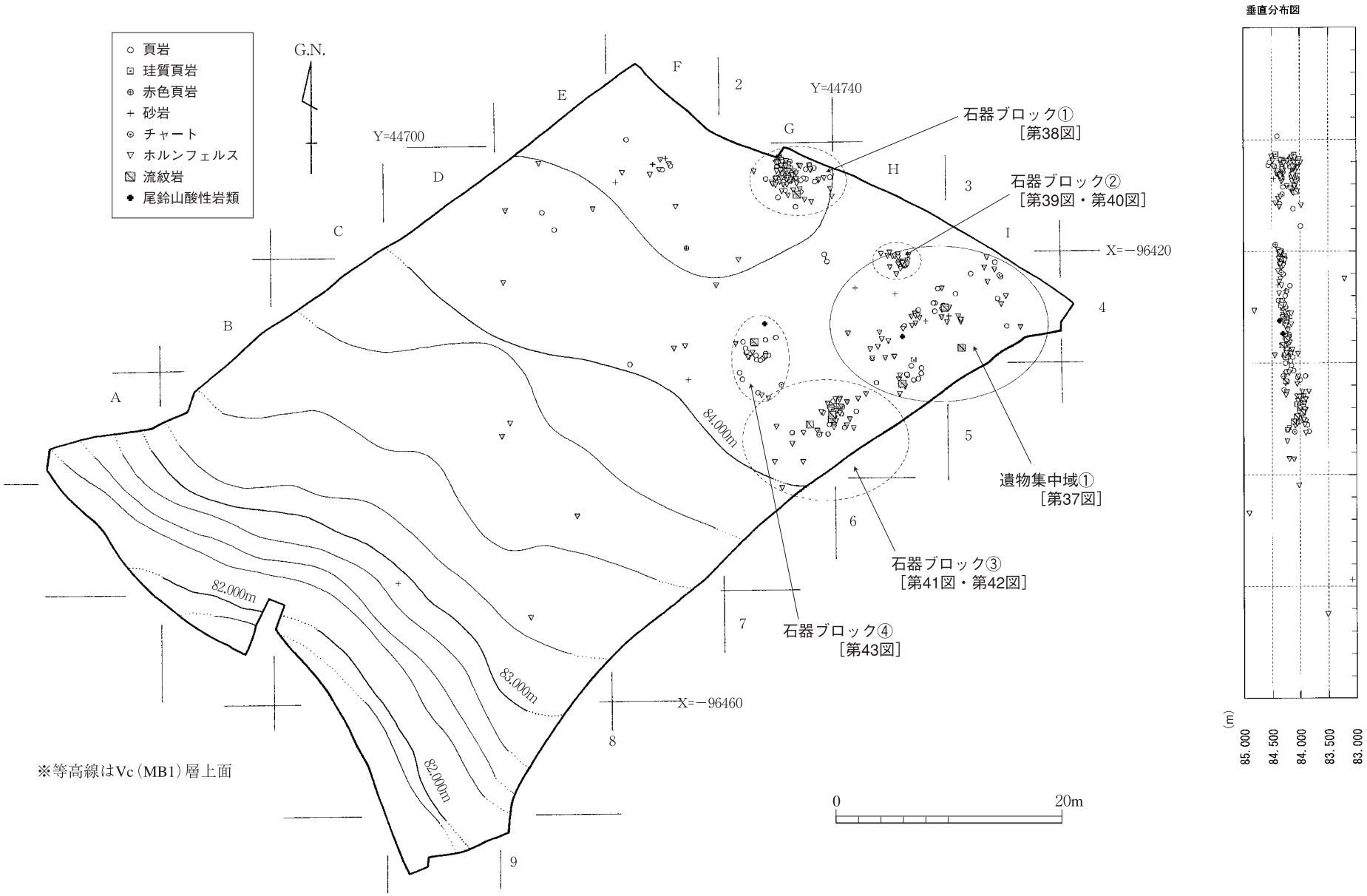
遺物は303点（本遺跡出土全石器の約21％）出土し、そのうち接合資料は16例、石器数にして45点を数える。

礫群は第29図が示すとおり、Ｂ区（北西部区）に集中する。礫も礫群の周囲に点在する。また第30・31図が示すとおり、遺物集中域や石器ブロックもＢ区に集中し本文化層の石器のほとんどが出土した。Ａ区にも礫は点在するものの、石器はほとんど確認できていない。当時の生活領域が平坦部にあったことが礫、礫群、石器群の分布で推定される。

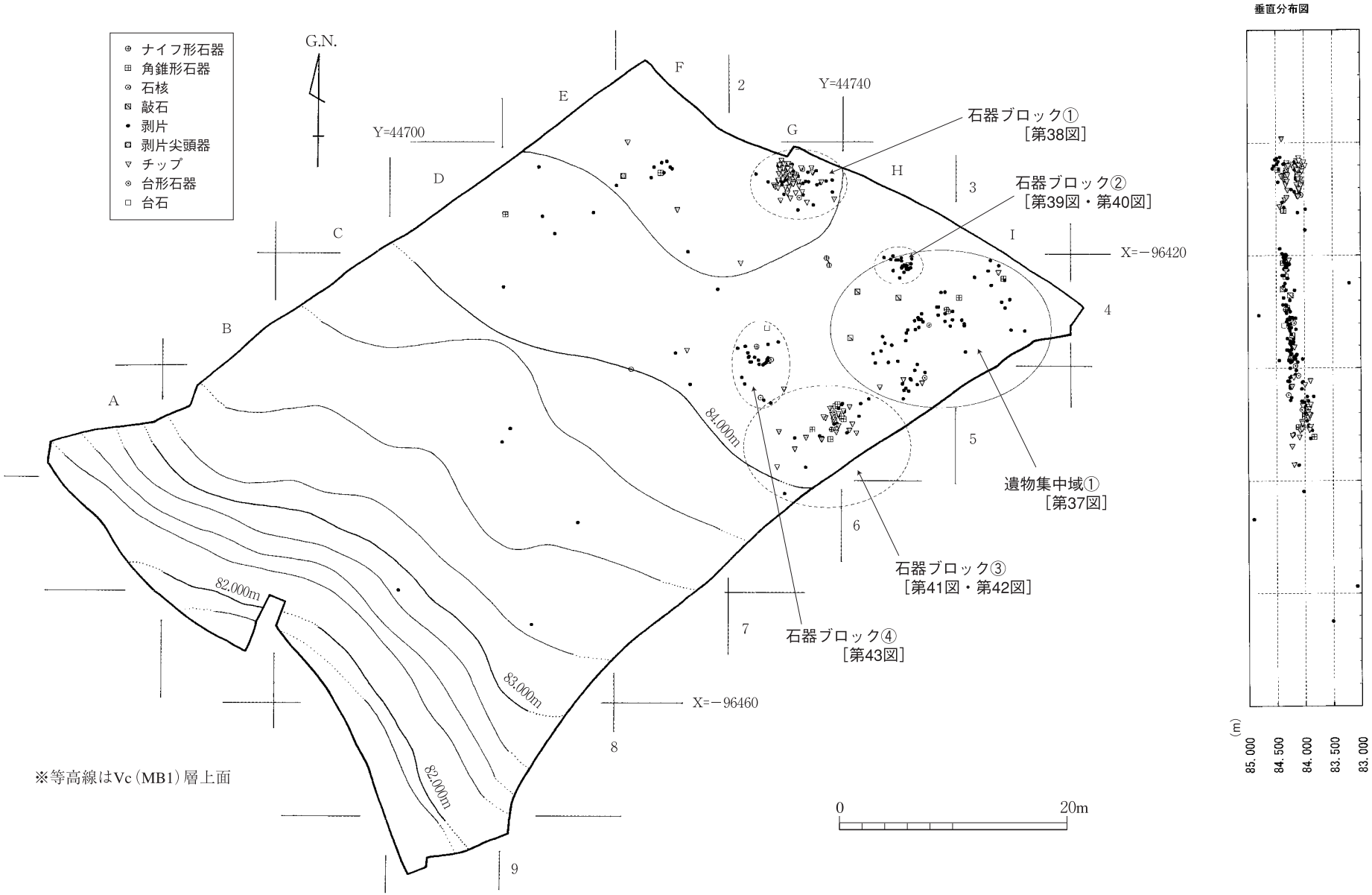
なお、「②遺物集中域及び石器ブロック」、「⑶遺物」の項で、石器の出土状況、接合資料状況等を解説を加えて具体的に述べることとする。



第29図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群及び礫分布図（S＝1/600）



第30図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器石材別分布図（S＝1/500）



第31図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器器種別分布図（S＝1/500）

⑵　**遺構**

①　礫群［第40図］

第Ⅲ文化層では、５基の礫群を確認した。

石材の傾向としては、尾鈴山酸性岩類、ホルンフェルス（頁岩源）を主とした礫群がほとんどで、一部砂岩も認められる。礫の多くが赤化しており、被熱によるものと考えられる。

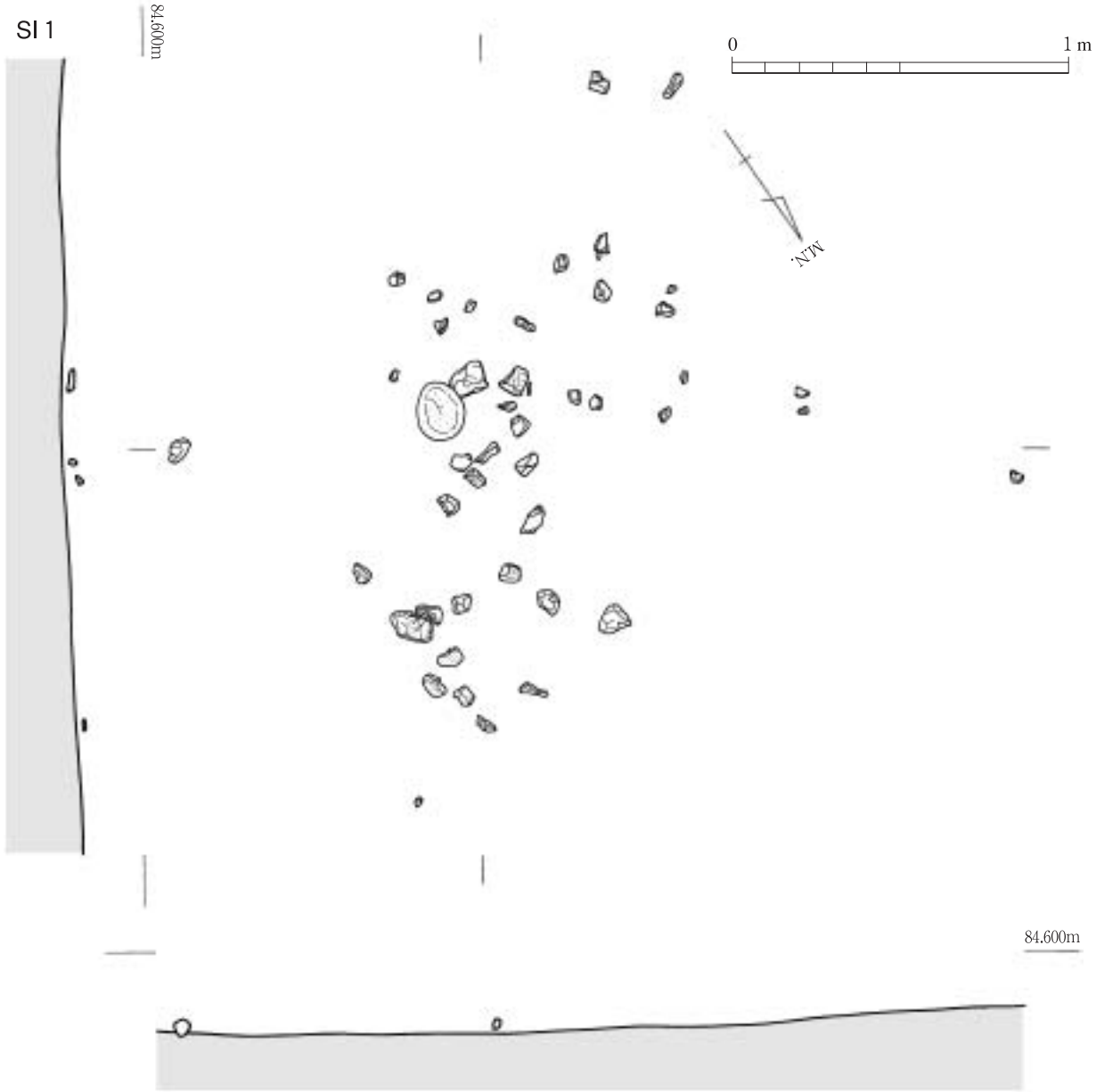
礫の平均重量は約260.0ｇで、一基あたりの構成礫数は29個から73個のものまである。一基内の礫の分布状況は散漫なものがほとんどであるが、SI５はやや密な構成を示す。

礫群毎の詳細は、以下に述べるが、第８表も参考にされたい。

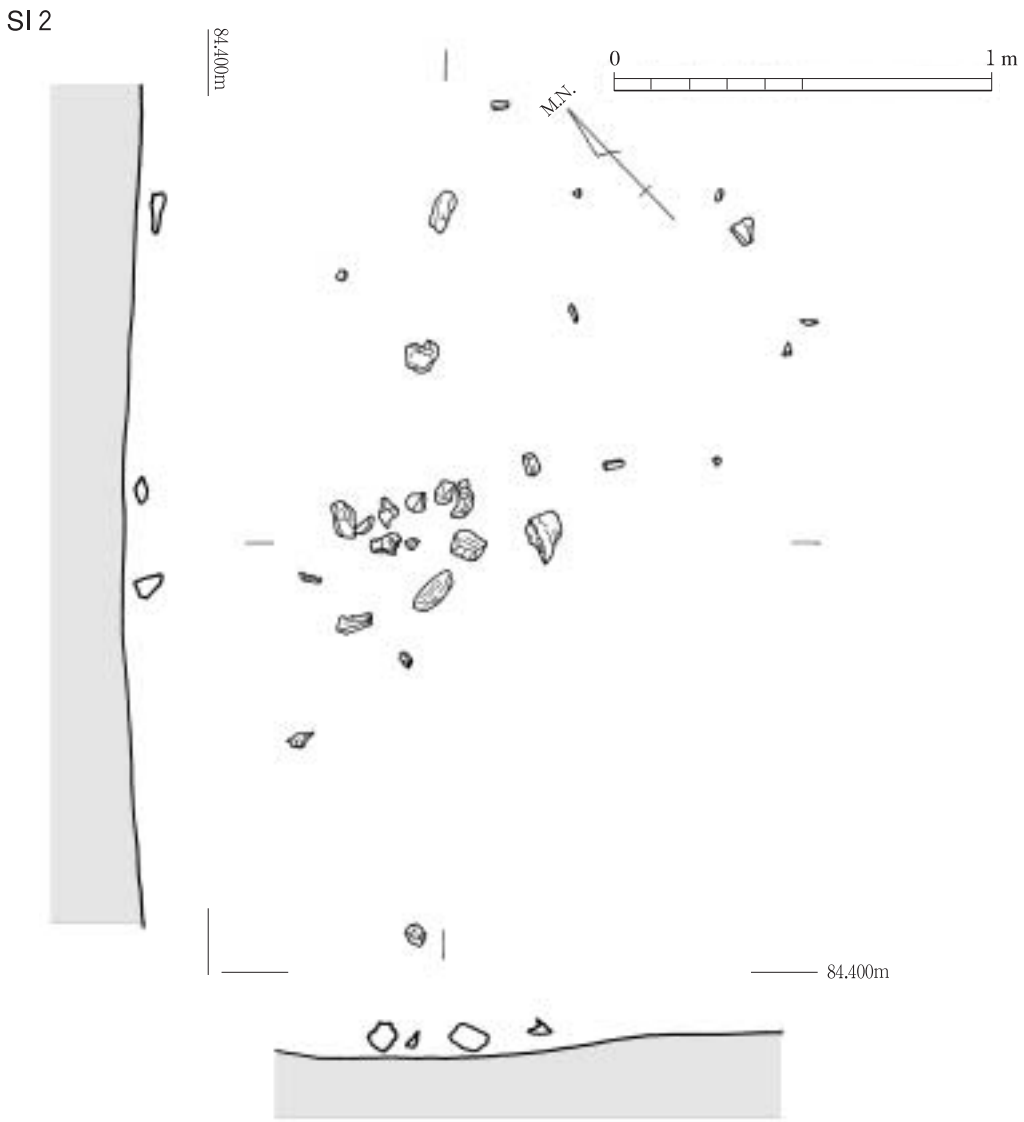
【SI１】［第32図］

Ｂ区北東側平坦面、Ｆ３Ｇ、標高約84.4ｍの地点で確認できた。約230㎝×195㎝を測り、礫構成の状態は疎である。46点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

礫の平均重量は150.0ｇを測る。礫の約94％に赤化が認められる。角礫７個、円礫２個以外は破砕礫となる。石材は、尾鈴山酸性岩類が半数の約51％を占め、ホルンフェルスが約30％、砂岩が残り約19％を占める。10㎝大以上の礫を６点数えるが、ほとんどが小さい破砕礫である。



第32図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群実測図１（S＝1/20）



第33図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群実測図２（S＝1/20）

礫の接合関係を調べた結果、同遺構内で８個体の接合が認められた。

【SI２】［第33図］

Ｂ区中央部平坦面、Ｇ４Ｇ、標高約84.1ｍの地点で確認できた。約223㎝×139㎝を測り、礫構成の状態は疎である。29点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

礫の平均重量は170.0ｇを測る。礫の約86％に赤化が認められる。角礫６個以外は破砕礫となる。石材は、ホルンフェルスが３分の２以上約68％を占め、尾鈴山酸性岩類が約29％、残りが砂岩となる。10㎝大以上の礫が６点を数える。

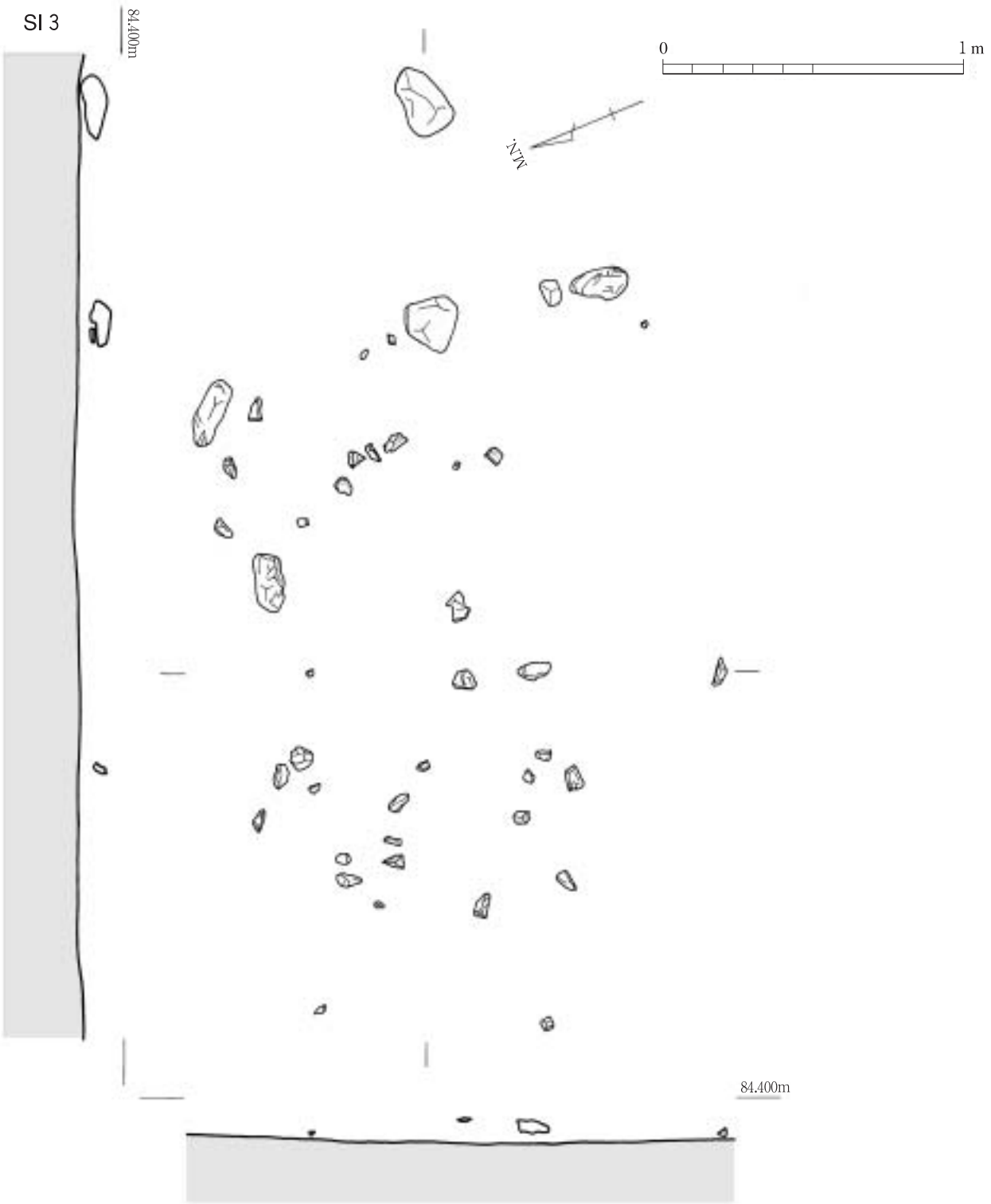
同遺構内で９個体の接合が認められた。

【SI３】［第34図］

Ｂ区中央部平坦面、Ｆ４Ｇ、標高約84.25ｍの地点で確認できた。SI４の直下約0.15ｍ下からの検出である。約322㎝×170㎝を測り、規模の大きい礫群であるが、構成の状態は疎である。43点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

巨礫が目立ち、礫の平均重量は760.0ｇを測る。特に、礫群の東側に20㎝大以上の礫が５点認められる。西側には５㎝～10㎝大の破砕礫が主となる。角礫３個、円礫５個以外は破砕礫である。礫のほとんど約88％に赤化が認められる。

石材は、礫の約77％を尾鈴山酸性岩類が占め、次



第34図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群実測図３（S＝1/20）

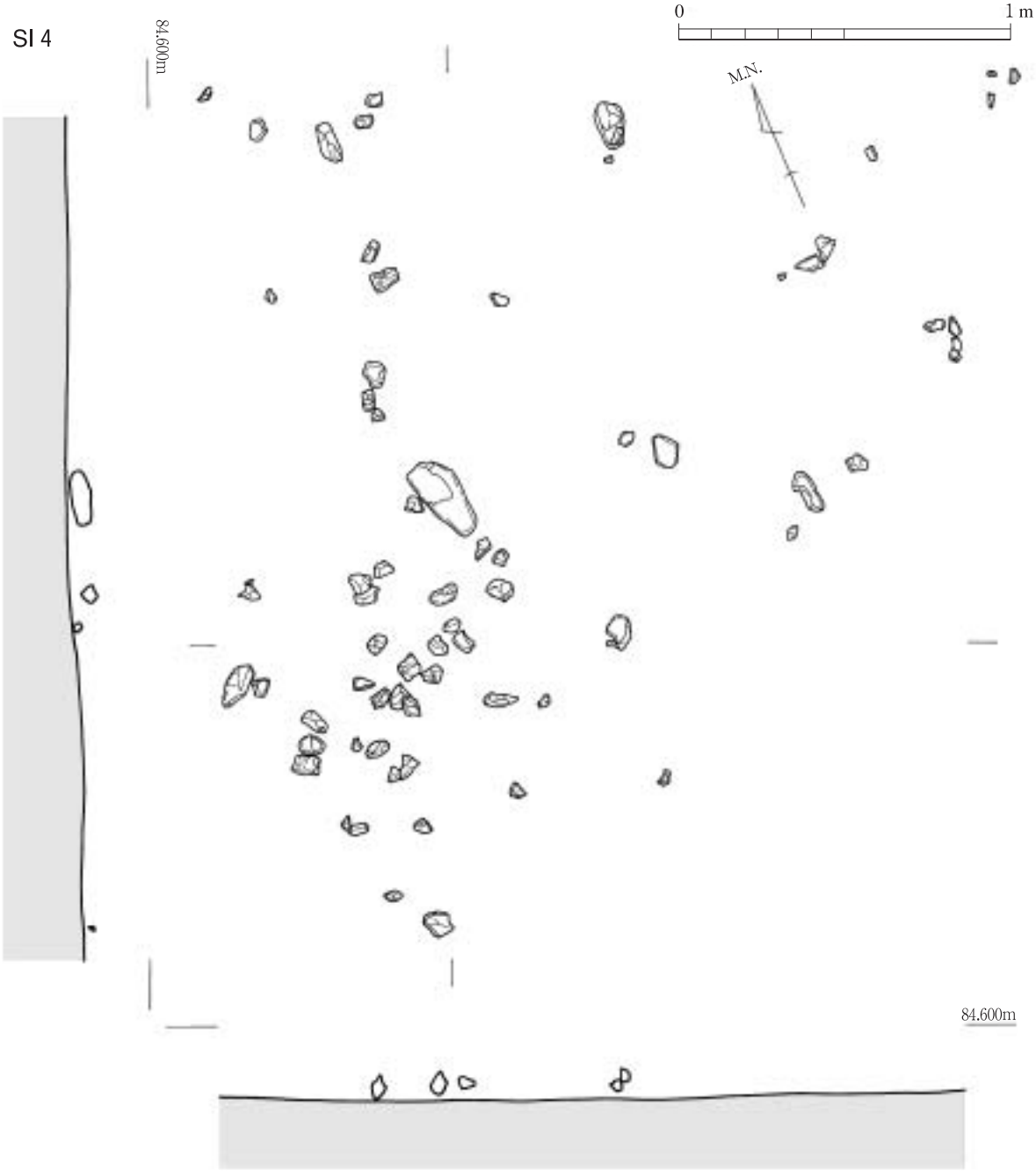
いでホルンフェルスが約18%、砂岩は僅かである。

同遺構内で４個体の接合が認められた。

【SI４】［第35図］

Ｂ区中央部平坦面、Ｆ４Ｇ、標高約84.4ｍの地点で確認できた。約303㎝×220㎝を測り、規模の大きい礫群であるが、構成の状態は疎である。70点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

礫の平均重量は170.0ｇを測る。礫のほとんど約91%に赤化が認められる。角礫７個、円礫４個以外



第35図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群実測図４（S＝1/20）

は破砕礫となる。石材は、約半数の約49％を尾鈴山酸性岩類が占め、次いでホルンフェルスが約33％、砂岩が約18％となる。10㎝大以上の礫を10点数える。

同遺構内で１個体の接合が認められた。

【SI５】［第36図］

Ｂ区南東側平坦面、Ｈ５Ｇ、標高約84.1ｍの地点で確認できた。約178㎝×98㎝を測り、礫構成の状態は他の礫群に比べて密である。73点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

礫の平均重量は150.0ｇを測る。礫の約94％に赤化が認められる。角礫７個、円礫３個以外は破砕礫となる。石材は、ホルンフェルスが半数以上の約58％を占め、砂岩が約27％、尾鈴山酸性岩類が約15％を占める。10㎝大以上の礫を14点数える。

同遺構内で13個体の接合が認められた。

第36図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群実測図５（S＝1/20）

※赤化度：無＝赤化していない　弱＝部分的に赤化している　中＝全体的に赤化している　強＝非常に赤化している

遺構番号	グリッド番号	検出面	長径(m)	短径(m)	礫総数(個)	総重量(kg)	1個当たりの平均重量(kg)	掘込みの有無	炭化物等の有無	石材の分類とその割合						礫の形状と赤化度の割合							接合の状況			備考
											A	B	C	D		形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
										石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材	計	角礫		2	3	2	7	15	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫			1	1	2	4	19	/	/	
SI 1	F3-3	MB 1	2.30	1.95	46	7.02	0.15	無	無	重量(kg)	3.60	2.11	1.31	0	7.02	破砕礫	2	8	16	11	37	80.4	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	8	/	/	
										石材の割合(%)	51.3	30.1	18.7	0	100%	計(個)	2	10	20	14	46	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	4.3	21.7	43.5	30.4	100%	―				
											A	B	C	D		形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
										石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材	計	角礫		3	3		6	21	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫					0	0	21	/	/	
SI 2	G4-4	MB 1	2.23	1.39	29	4.79	0.17	有	有	重量(kg)	1.37	3.27	0.15	0.00	4.79	破砕礫	4	2	8	9	23	79.3	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	9	/	/	
										石材の割合(%)	28.6	68.3	3.1	0	100%	計(個)	4	5	11	9	29	1.0	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	13.8	17.2	37.9	31.0	100%	―				
											A	B	C	D		形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
										石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材	計	角礫	1		1	1	3	7.0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫	1		2	2	5	12	9	/	/	
SI 3	F4-4	MB 1	3.22	1.70	43	32.76	0.76	無	無	重量(kg)	25.50	6.01	1.25	0	32.76	破砕礫	3	7	12	13	35	81.4	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	4	/	/	
										石材の割合(%)	77.8	18.3	3.8	0	100%	計(個)	5	7	15	16	43	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	11.6	16.3	34.9	37.2	100%	―				
											A	B	C	D		形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
										石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材	計	角礫		2	3	2	7	10	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫		2	2		4	6	5	/	/	
SI 4	F4-4	MB 1	3.03	2.20	70	12.16	0.17	有	無	重量(kg)	5.90	4.02	2.24	0	12.16	破砕礫	6	11	22	20	59	84.3	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	1	/	/	
										石材の割合(%)	48.5	33.1	18.4	0	100%	計(個)	6	15	27	22	70	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	8.6	21.4	38.6	31.4	100%	―				
											A	B	C	D		形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
										石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材	計	角礫		3	4		7	10	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫		1	2		3	4	32	/	/	
SI 5	H5-1	MB 1	1.78	0.98	73	10.73	0.15	無	無	重量(kg)	1.58	6.22	2.93	0	10.73	破砕礫	4	16	19	24	63	86.3	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	13	/	/	
										石材の割合(%)	14.7	58.0	27.3	0	100%	計(個)	4	20	25	24	73	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	5.5	27.4	34.2	32.9	100%	―				

第８表　旧石器時代　第Ⅲ文化層　礫群構成礫観察・分析表

②　遺物集中域及び石器ブロック［第37図～第43図］

第Ⅲ文化層出土の石器分布状況及び石材・器種別の数量は第30図、第31図及び第９表に示した。以下、遺物集中域①及び石器ブロック①～④の状況を述べる。石器及び接合資料の状況の具体は、「⑶遺物」(53頁～60頁）に記述する。

【全体】

器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
ナイフ形石器	5					3	2		10
角錐状石器	4		1		1	5	2		13
石核	4						1		5
敲石・磨石				2		2			4
剥片	59	4		9		99		1	172
剥片尖頭器						1			1
チップ	20		2		2	68	3		95
台形石器		1		1					2
台石								1	1
計	92	5	3	12	3	178	8	2	303

【遺物集中域①】

器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
ナイフ形石器	1						1		2
角錐状石器	1				1				2
敲石・磨石				1		1			2
剥片	18	1		1		35	2	1	58
チップ	1					2			3
台形石器				1					1
計	21	1	0	3	1	38	3	1	68

【石器ブロック①】

器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
ナイフ形石器	1					3			4
石核							1		1
剥片	18	3		1		13			35
チップ	16					45			61
計	35	3	0	1	0	61	1	0	101

【石器ブロック②】

器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
角錐状石器						1			1
剥片	1					24			25
計	1	0	0	0	0	25	0	0	26

【石器ブロック③】

器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
ナイフ形石器	1								1
角錐状石器	3		1			2	2		8
剥片	3		1	2		9	1		16
チップ	2				2	18			22
台形石器		1							1
計	9	1	2	2	2	29	3	0	48

【石器ブロック④】

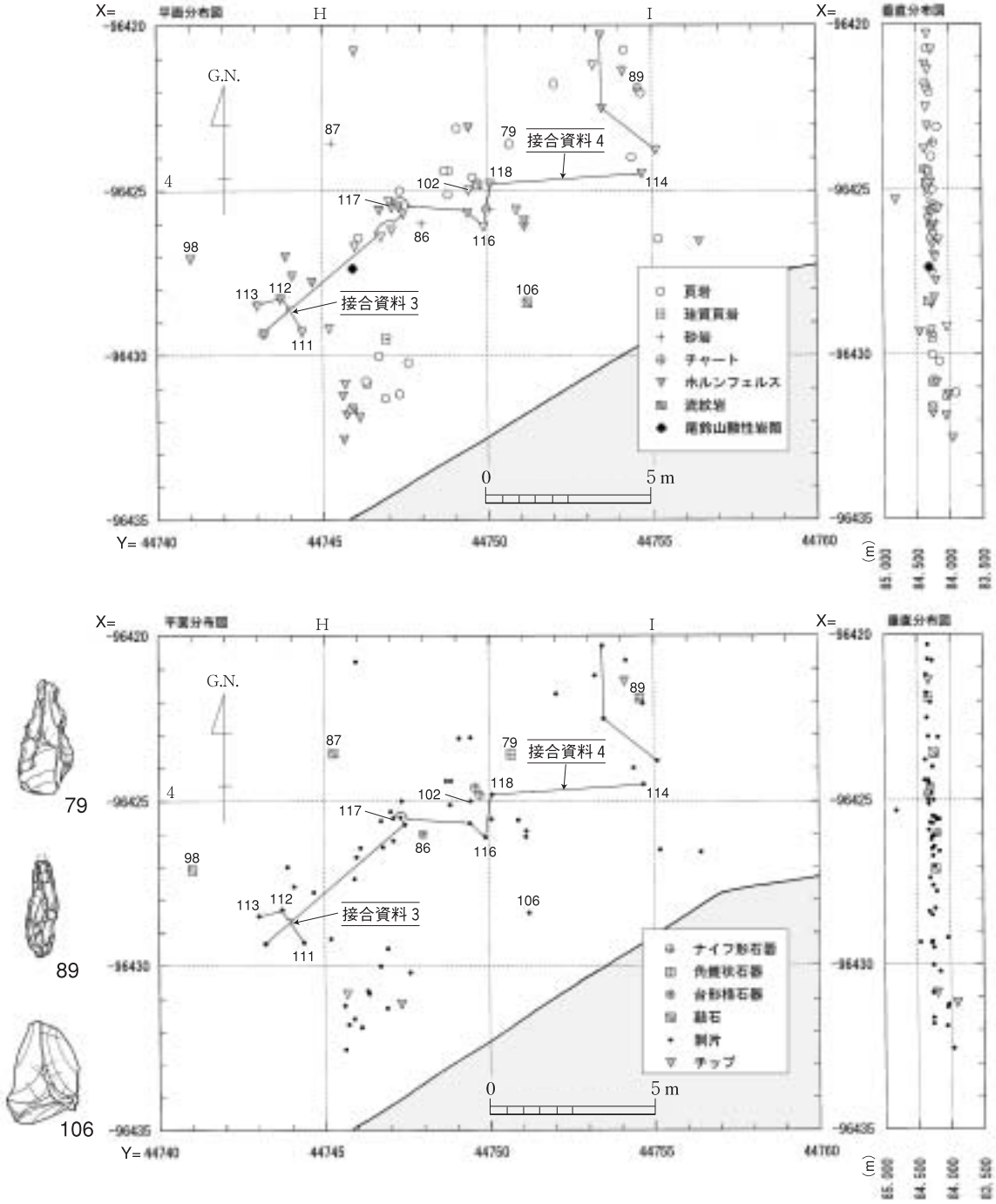
器種＼石材	頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	計
ナイフ形石器							1		1
石核	2								2
敲石・磨石						1			1
剥片	15					6			21
台石								1	1
計	17	0	0	0	0	7	1	1	26

第９表　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器の石材・器種別数量組成表

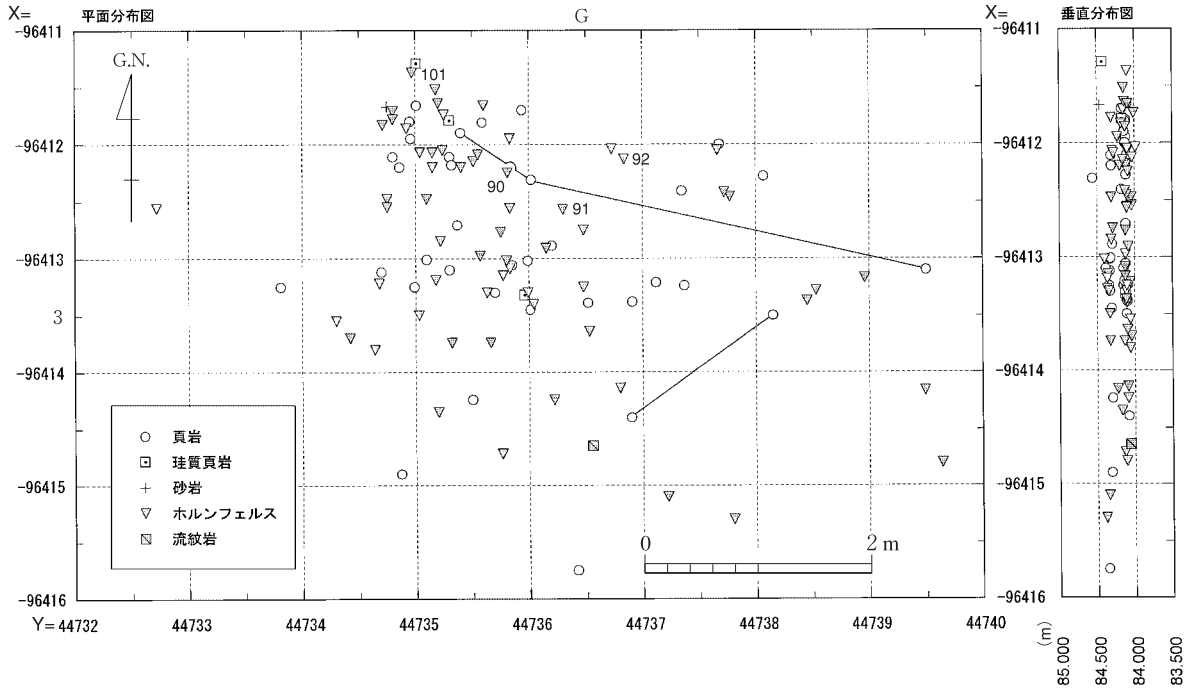
【遺物集中域①】［第37図］

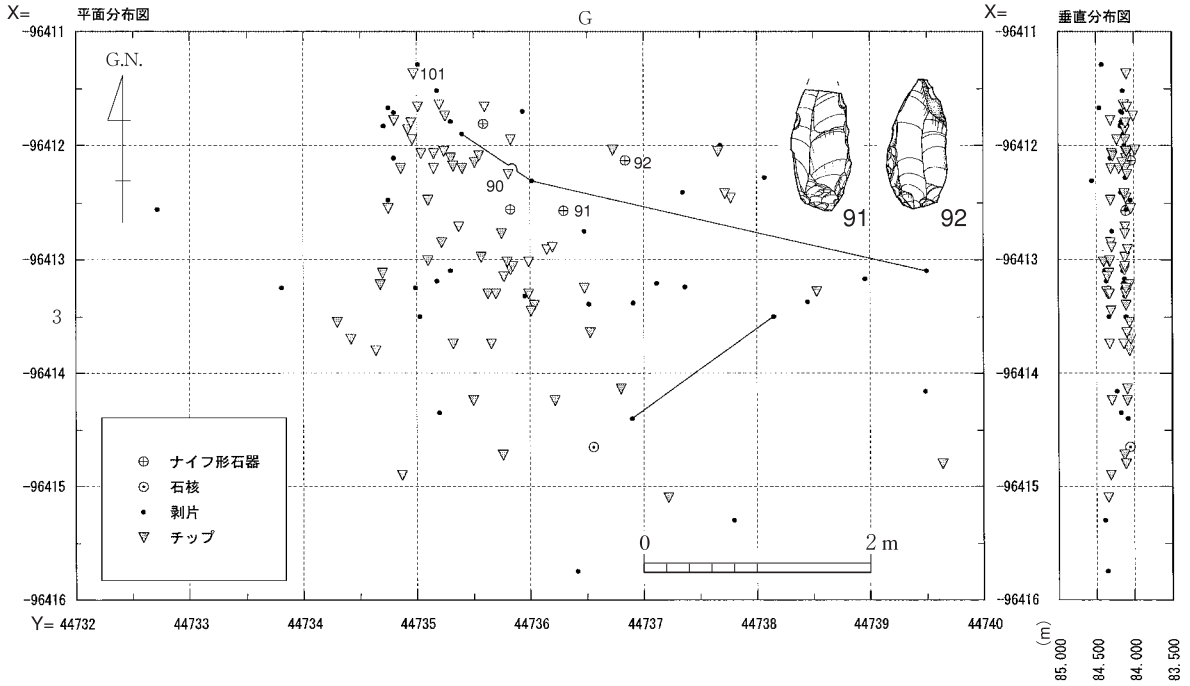
Ｂ区Ｇ４・５Ｇ～Ｈ４Ｇの範囲、南西→北東を主軸とする約15ｍ×10ｍの範囲で確認された。出土した68点の石器の石材・器種の内訳は第９表のとおりである。剥片が58点（集中域内石器の約85%）とほとんどを占め、うち頁岩製18点、ホルンフェルス製が35点を占める。ナイフ形石器、角錐状石器各２点、台形石器が１点、敲石・磨石が２点、チップ３点である。

接合状況は、６例を確認した。石器数にして16点である。そのうち、頁岩製の接合資料１個体（石器数３点）、ホルンフェルス製の接合資料２個体（石器数９点）を本書に掲載している（第49図、第50図、第51図）。



第37図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　遺物集中域①石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/200）





第38図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器ブロック①石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/200）

【石器ブロック①】［第38図］

Ｂ区Ｆ３－１・４Ｇの東西を主軸とする約7.5ｍ×５ｍの範囲で確認された。出土した101点（第Ⅲ文化層出土石器全体の約33%）の石器の石材・器種の内訳は第９表のとおりである。

剥片35点（ブロック内石器の約35%）とチップ61点（ブロック内石器の約60%）で石器のほとんどを占める。石材は頁岩とホルンフェルスで占める。ほか、ナイフ形石器４点、石核１点が出土した。

接合状況は、３例を確認した。石器数にして６点である。２～３点の剥片同士の接合であるため、接合分布状況のみ示し、接合資料としては掲載していない。

【石器ブロック②】［第39図・第40図］

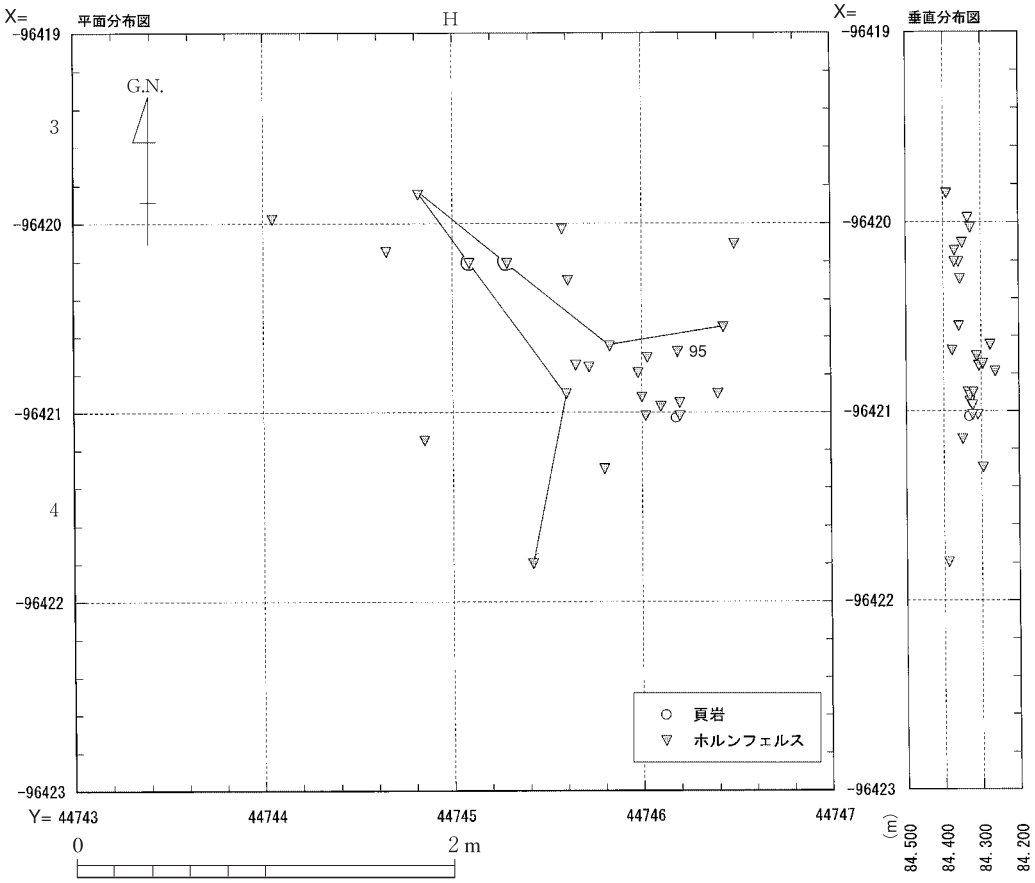
Ｂ区Ｇ４－１・４Ｇ、東西を主軸とする約３ｍ×２ｍの範囲で確認された。遺物集中域①の北側に隣接する。出土した26点の石器のうち、ホルンフェルス製の角錐状石器（第48図95）１点以外は、剥片で24点がホルンフェルス製である。出土した角錐状石器と剥片の接合関係は認められなかったが、約３ｍ×２ｍの限定された狭い範囲での剥片出土の状況から、石器製作の場としての可能性が認められる。

接合状況はホルンフェルス製の１例、石器数５点を認めた。剥片同士の接合であるため、接合分布状況のみ示し（第39図・第40図）、接合資料としては掲載していない。

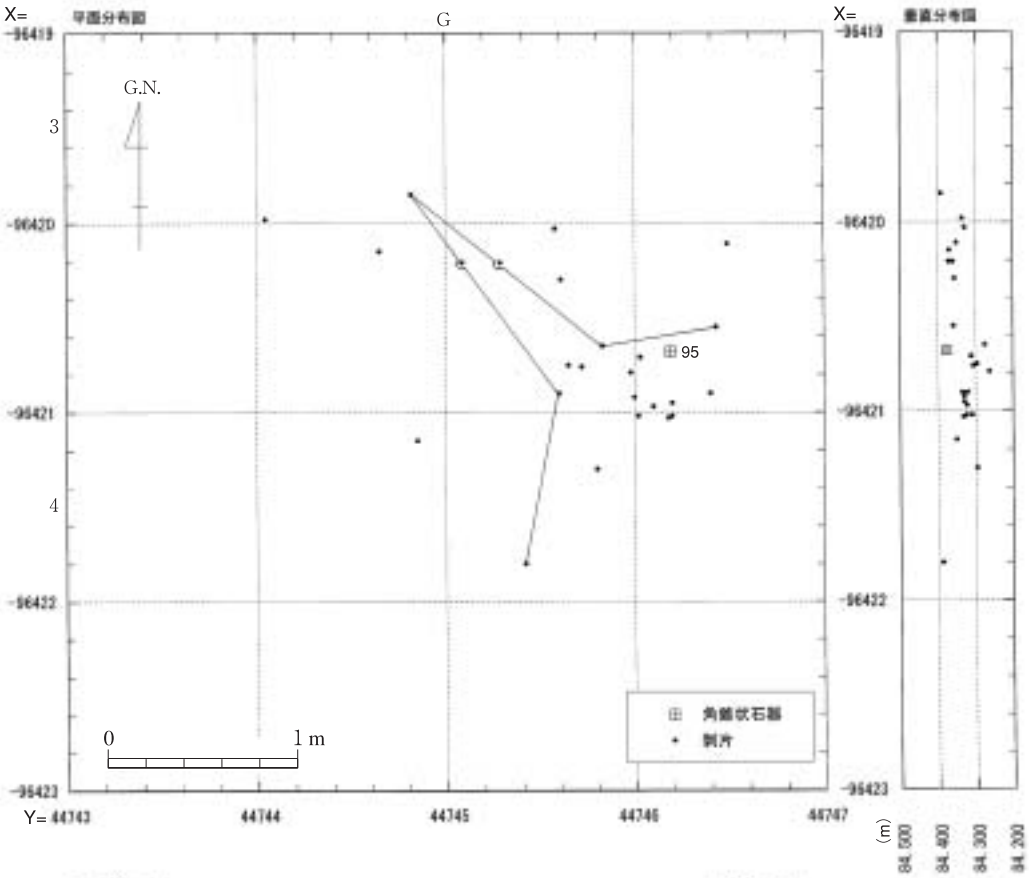
【石器ブロック③】［第41図・第42図］

Ｂ区Ｆ６Ｇ～Ｇ６Ｇの範囲、南西→北東を主軸とする約10ｍ×５ｍの範囲で確認された。本ブロックの北東側に遺物集中域①が位置する。石器が48点出土し、石材・器種の内訳は第９表のとおりである。剥片が16点（ブロック内石器の約33％）、チップ22点（ブロック内石器の約46％）出土し、ナイフ形石器１点，　角錐状石器８点、台形石器１点である。石材は、ホルンフェルスの29点に次いで、頁岩が９点である。チャートのチップも２点出土した。

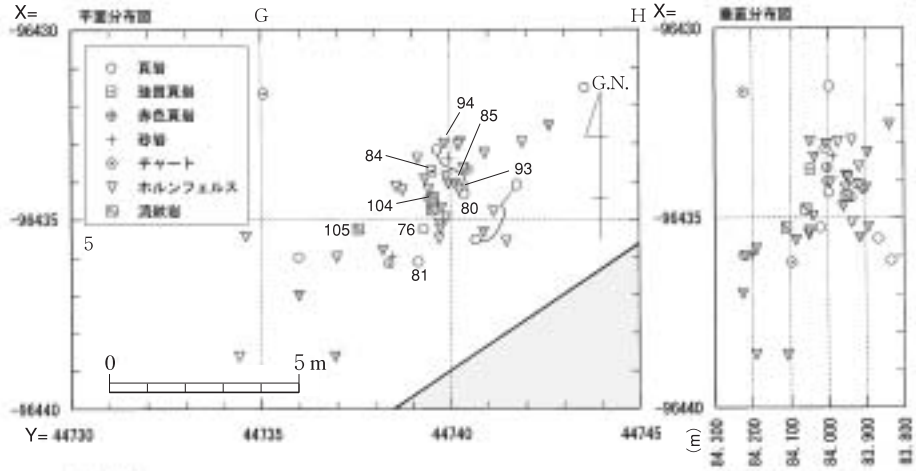
接合状況は、頁岩の角錐状石器の折れ同士の接合（第47図80：石器１個体として掲載）、頁岩の剥片の接合関係が認められた。接合資料としては掲載していない。



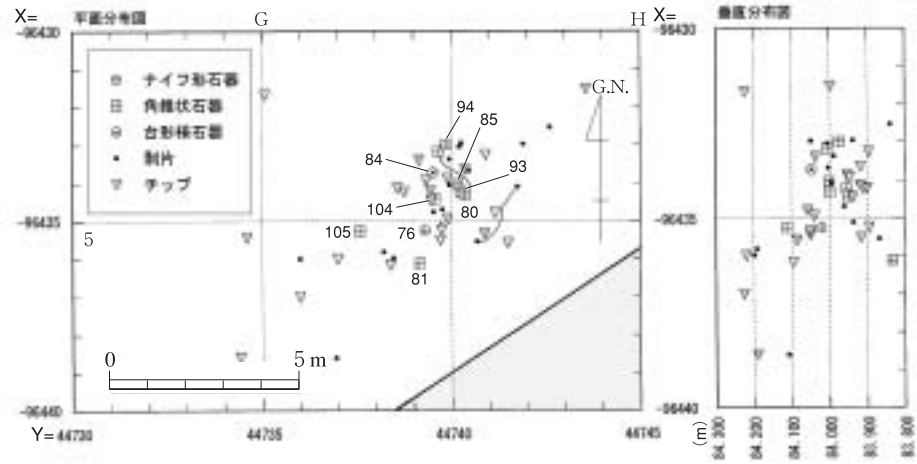
第39図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器ブロック②石器石材別分布図（S＝1/40）

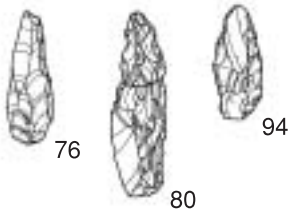


第40図　旧石器時代
第Ⅲ文化層
石器ブロック②
石器器種別分布図
（S＝1/40）

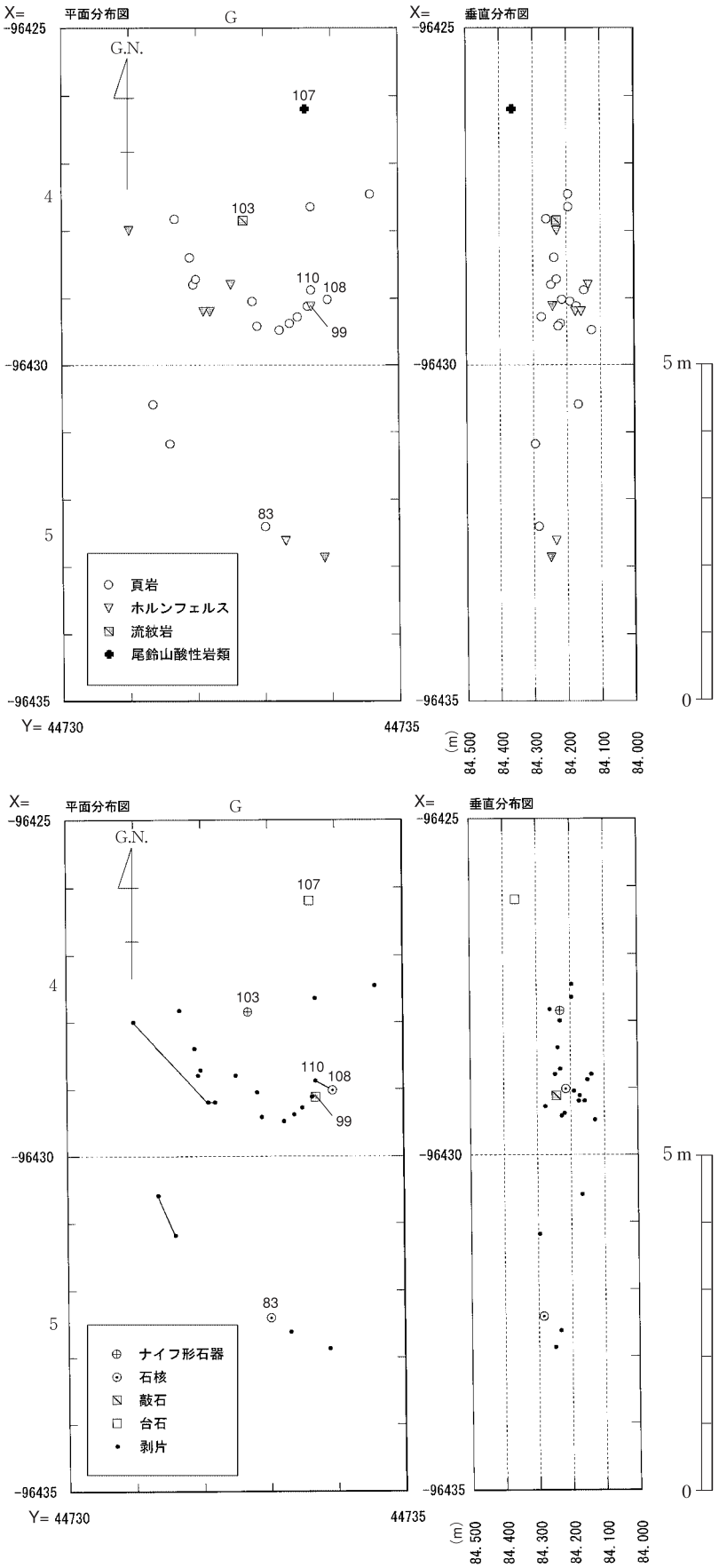


第41図　旧石器時代
第Ⅲ文化層　石器ブロック③
石器石材別分布図（S＝1/200）





第42図　旧石器時代
第Ⅲ文化層　石器ブロック③
石器器種別分布図（1/200）



第43図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器ブロック④石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/100）

【石器ブロック④】［第43図］

Ｂ区Ｆ５Ｇ東側の範囲、南北を主軸とする約７ｍ×４ｍの範囲で確認された。石器が26点出土し、石材・器種の内訳は第９表のとおりである。剥片が21点（ブロック内石器の約81%）を占め、ナイフ形石器１点、石核２点、敲石・磨石１点、台石１点の出土を認めた。

接合状況は、接合資料３例、石器数に７点を数える（第43図）。

本書には、Ｆ４Ｇ出土の頁岩の石核との接合（石核＋石核＋剥片）を認めた１個体を接合資料２として掲載している。

⑶　遺物

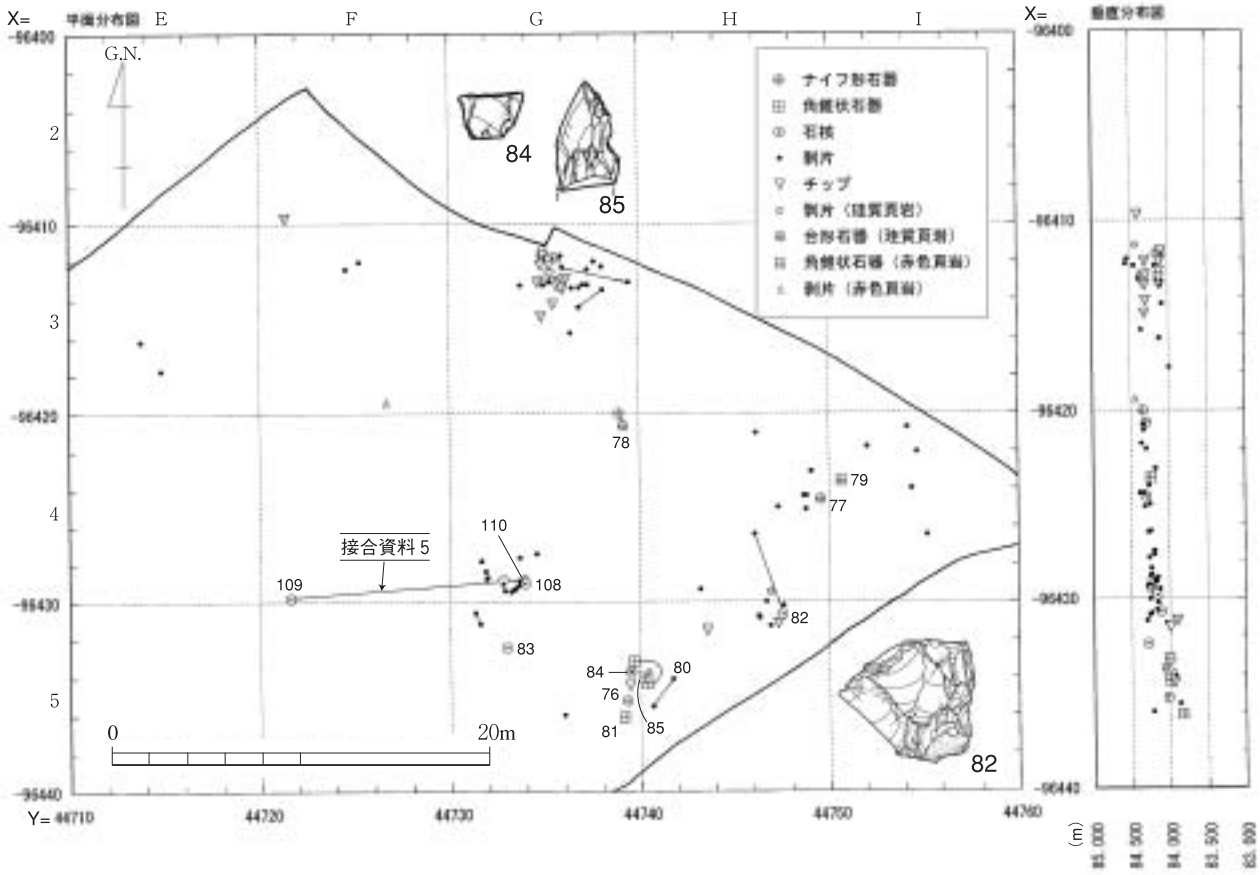
遺物の器種及び石材組成は第９表に遺跡全体における石器の分布状況は、第30図・第31図に掲載した。また石器の各石材毎に器種別の分布状況を第44図～第46図に示した。

○石器

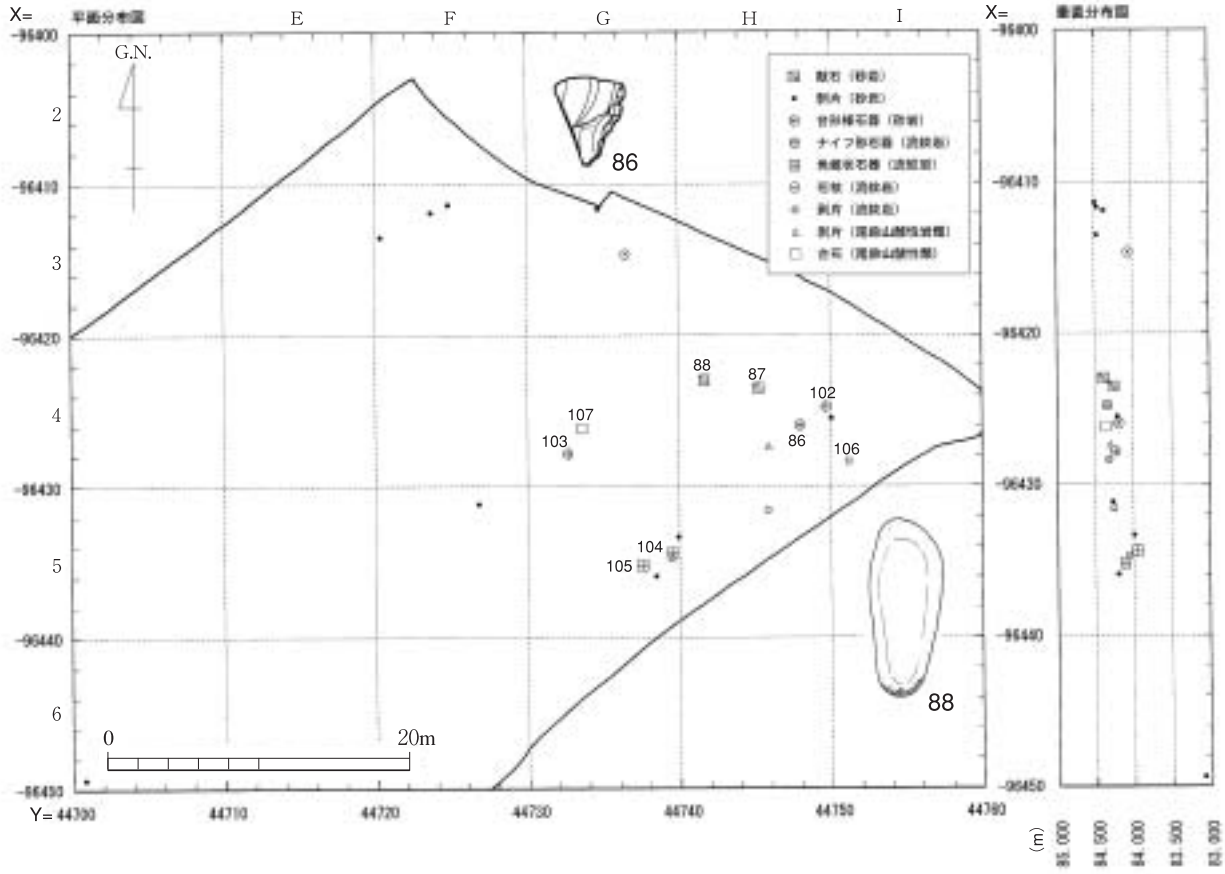
第Ⅲ文化層出土の石器は303点である。器種別内訳は、ナイフ形石器10点、角錐状石器13点、石核５点、敲石・磨石４点、剥片尖頭器１点、台形石器２点、台石１点、剥片172点、チップ95点である。

そのうち、石材毎に頁岩製11点、珪質頁岩製１点、赤色頁岩製１点、砂岩製３点、チャート製１点、ホルンフェルス製21点、流紋岩製５点、尾鈴山酸性岩類製１点、計45点（接合資料の石器を含む）を掲載した。

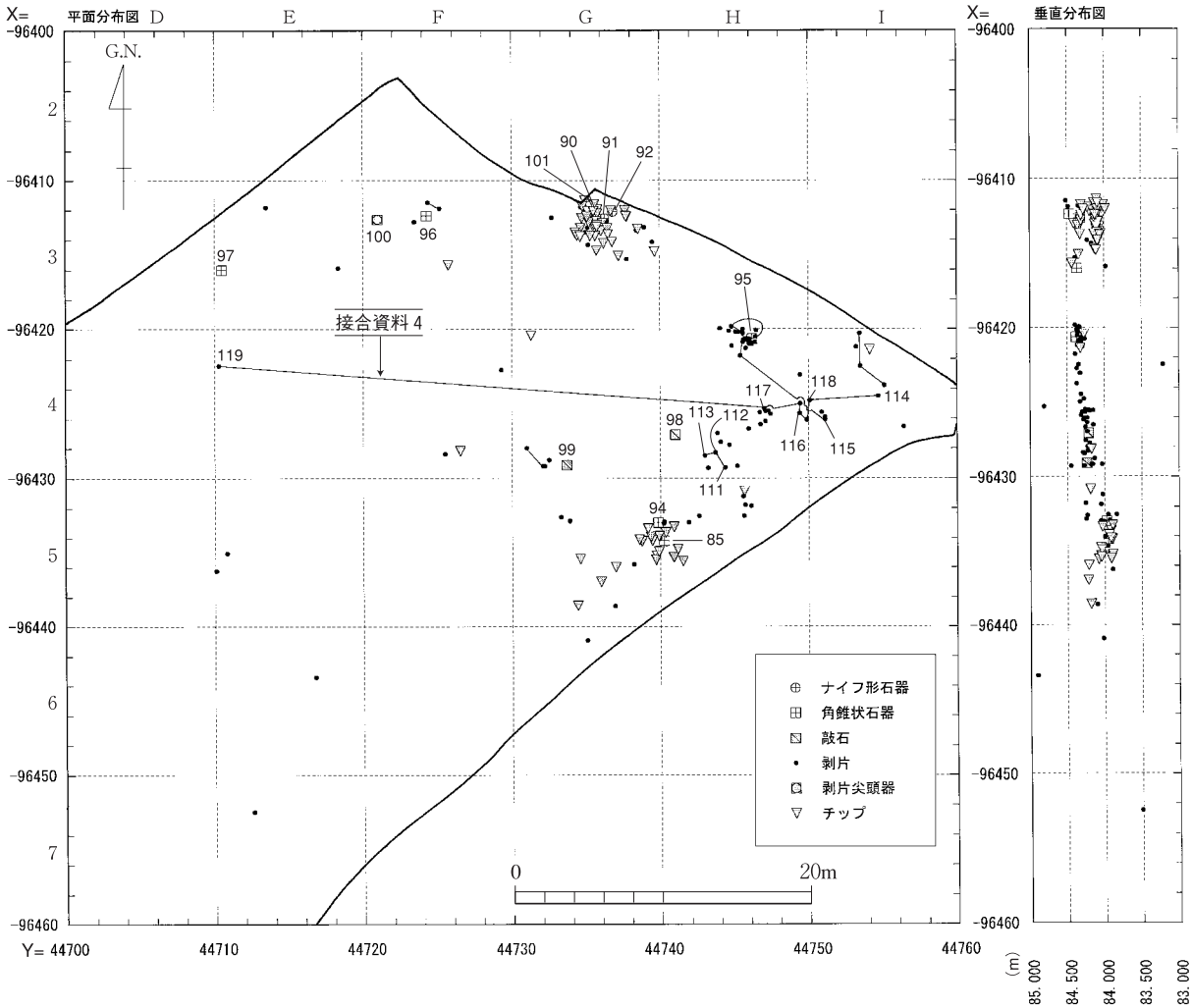
第10・11表において石材毎に石器の解説を加える。



第44図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　頁岩製石器器種別分布図（S＝1/400）



第45図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　砂岩・流紋岩・尾鈴山酸性岩類製石器器種別分布図（S＝1/500）



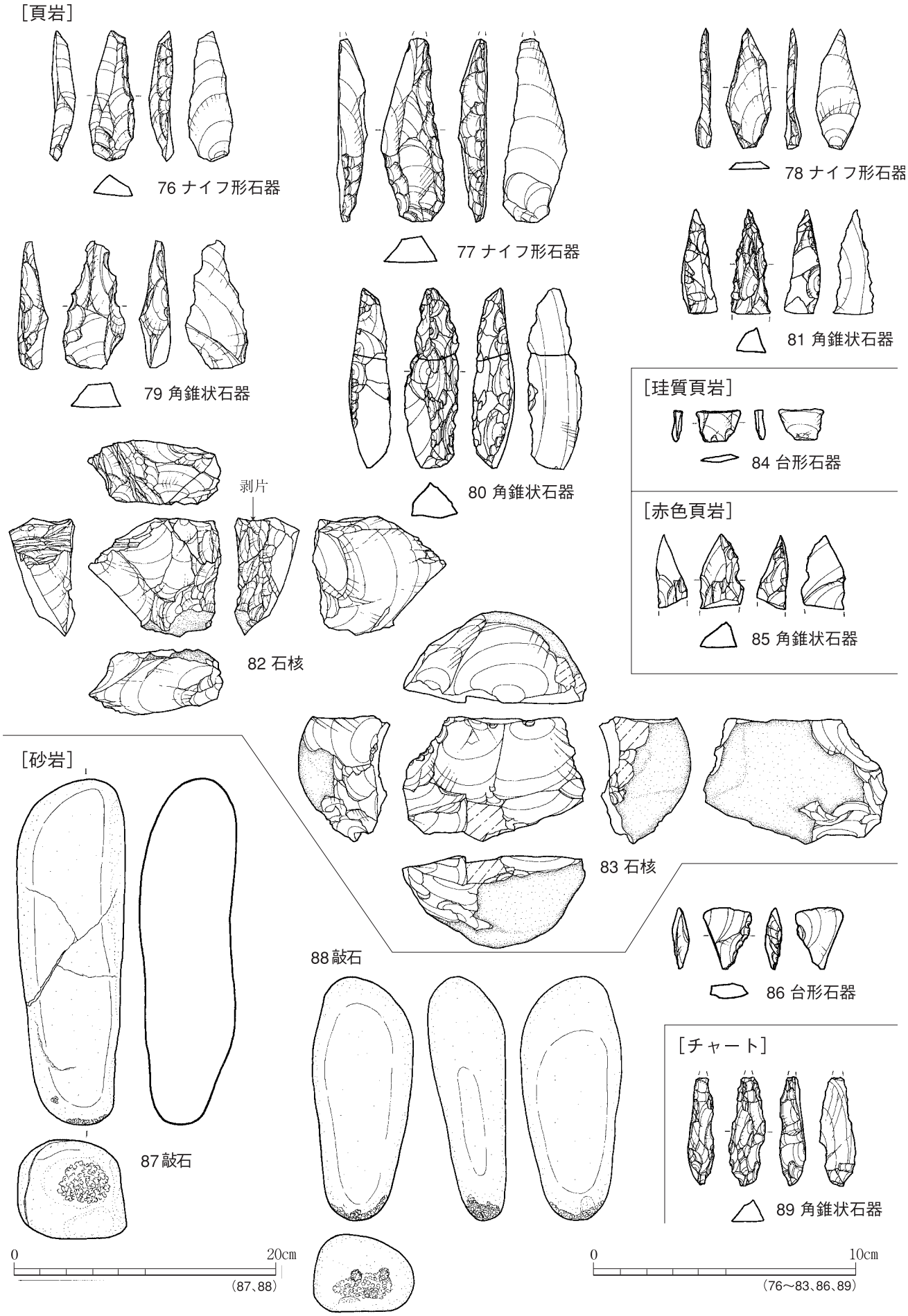
第46図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　ホルンフェルス製石器器種別分布図（S＝1/500）

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【頁岩】（第47図　76～83）																	
76	1401	G5-4	石ブ③	Vc	MB1	B－1401	ナイフ形石器	I	－	-96435.260	44739.310	84.020	5.00	1.75	1.00	6.40	縦長剥片を素材とする一側縁加工。右側縁部を腹面からの調整を入れ刃潰し加工を施す。
77	1460	H4-4	－	Vc	MB1	B－1460	ナイフ形石器	II	－	-96424.600	44749.580	84.293	6.95	2.35	2.15	17.00	縦長剥片を素材とする二側縁加工。右側縁に腹面からの刃潰し加工を施し、左側縁下部に基部加工を腹面から施す。先端は欠損している。
78	1655	G4-4	－	Vc	MB1	B－1655	ナイフ形石器	II	1655＋1656で接合	-96420.650	44739.180	84.295	4.50	1.75	0.70	3.30	左側縁部と右側縁下部に腹面からの調整を施す。製作中、または使用中に折れが生じたものと考えられる。
	1656	G4-4	－	Vc	MB1	B－1656	ナイフ形石器			-96420.010	44738.950	84.335					
79	1411	I4-1	集中①	Vc	MB1	B－1411	角錐状石器	IV	－	-96423.580	44750.680	84.237	4.90	2.40	1.10	10.40	左右両面に腹面から調整を施している。加工が粗く、部分的に調整が進んでおらず、加工途中で破棄したものとも考えられる。
80	1428	H5-1	石ブ③	Vc	MB1	B－1428	角錐状石器	II	1428＋1432で接合	-96434.330	44740.370	83.998	6.85	2.05	1.40	21.20	背・腹両面からの対向調整を施す二面加工の角錐状石器である。調整中の打撃で二つに折れたものと考えられる。
	1432	G4-3		Vc	MB1	B－1432	角錐状石器			-96433.170	44739.660	84.006					
81	1530	G5-4	石ブ③	Vc	MB1	B－1530	角錐状石器	II	－	-96436.120	44739.170	83.833	4.00	1.50	1.40	6.30	両側面に背・腹面からの対向調整を施し、二面加工をなす。基部は欠損している。
82	1571	H4-4	－	Vc	MB1	B－1571	石核	－	1428＋1432で接合	-96430.690	44747.570	84.110	4.50	5.10	2.50	51.90	剥離作業面を転位させながら、不定形な剥片を剥離している。
	1648	H4-4	－	Vc	MB1	B－1648	剥片	－		-96426.420	44746.100	84.240					
83	1657	G5-1	石ブ④	Vc	MB1	B－1657	石核	－	－	-96432.410	44733.010	84.285	4.80	7.00	3.50	136.60	礫分割後、鋭角部分を探し打面を転位させ、不定形の剥片を剥離している。
【珪質頁岩】（第47図　84）																	
84	1399	G4-3	石ブ③	Vc	MB1	B－1399	台形石器	－	－	-96433.730	44739.520	84.047	1.15	1.75	0.40	0.50	基部に調整を施している。裏面には打瘤が残る。
【赤色頁岩】（第47図　85）																	
85	1436	H5-1	石ブ③	Vc	MB1	B－1436	角錐状石器	II	－	-96434.040	44740.180	84.000	3.85	1.65	1.20	4.00	先端部のみ残り、基部は欠損。赤色頁岩を石材とする。

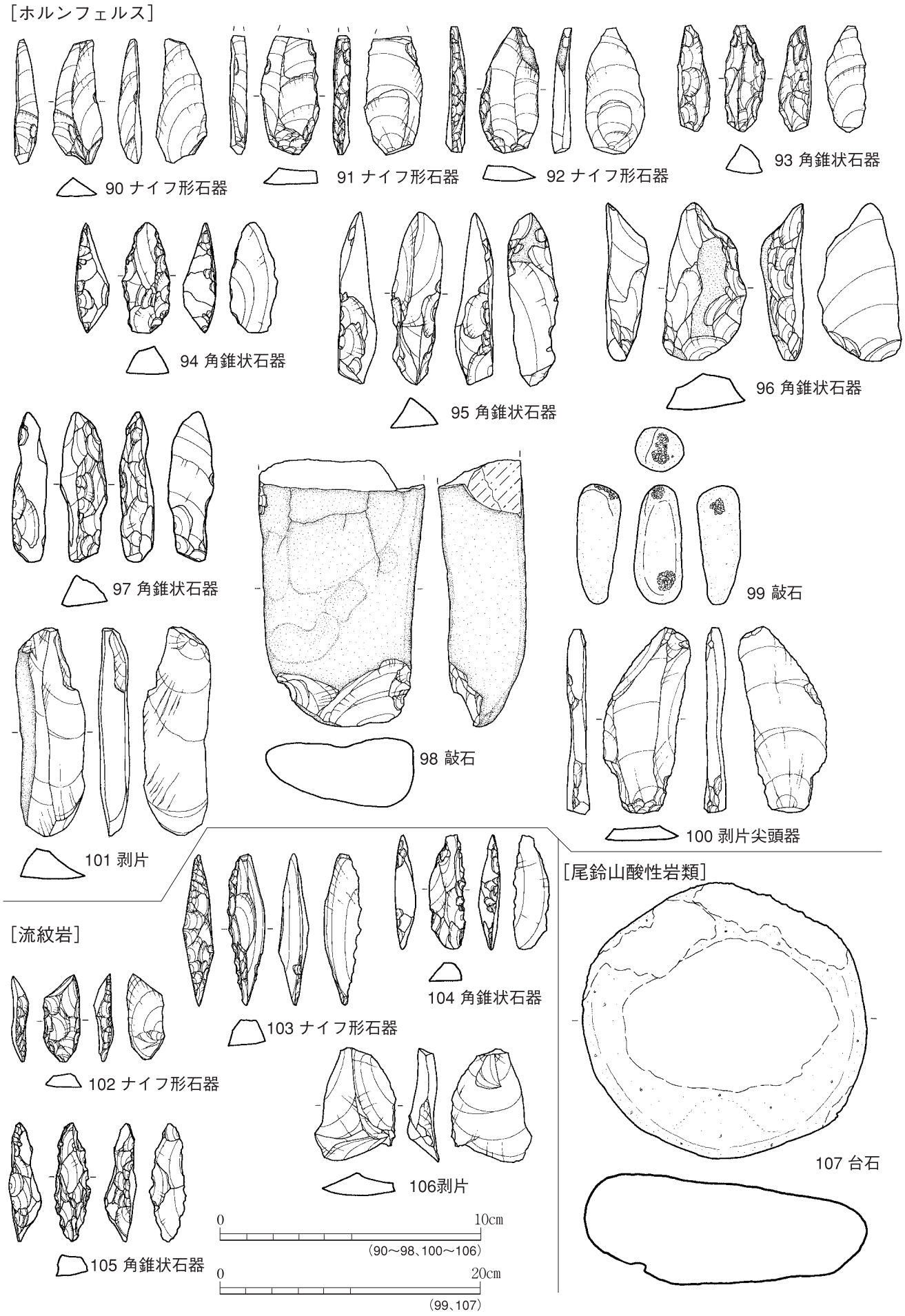
第10表　旧石器時代　第III文化層　石材別石器観察表１

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器　種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備　　考
【砂岩】（第47図　86～88）																	
86	1563	H4-3	集中①	Vc	MB1	B－1563	台形石器	－	－	-96426.000	44748.000	84.186	2.35	1.85	0.50	2.00	右側面に裏面からの調整を認める。刃部に微細な剥離痕も認める。
87	1473	H4-4	集中①	Vc	MB1	B－1473	敲石	－	－	-96423.550	44745.290	84.254	26.35	8.30	7.60	2521.00	棒状巨礫。上下面に敲打痕を認めるもの、大きさから両手で使用した可能性も残る。
88	1660	H4-1	－	Vc	MB1	B－1660	敲石	－	－	-96423.000	44741.690	84.385	18.50	7.80	5.95	1084.00	下面に浅い敲打痕を残す。長さ18cmを超す棒状礫を使用。
【チャート】（第47図　89）																	
89	1397	I4-1	集中①	Vc	MB1	B－1397	角錐状石器	Ⅱ	－	-96421.900	44754.580	84.328	4.20	1.45	1.05	5.30	二面加工。背腹両面からの調整が施されている。先端部は欠損している。
【ホルンフェルス】（第48図　90～101）																	
90	1531	G3-4	石ブ①	Vc	MB1	B－1531	ナイフ形石器	Ⅲ	－	-96412.560	44735.830	84.093	4.75	1.90	0.95	6.40	基部左側面に加工痕が認められる。
91	1534	G3-4	石ブ①	Vc	MB1	B－1534	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96412.570	44736.300	84.107	4.55	2.20	0.70	9.10	縦長剥片を素材とする。右側面及び正面基部に裏面からの加工を施す。先端は欠損している。
92	1550	G3-4	石ブ①	Vc	MB1	B－1550	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96412.130	44736.840	84.037	4.80	2.35	0.75	9.10	一側縁加工。左側面に腹面からの刃潰し加工を施している。
93	1426	H5-1	石ブ③	Vc	MB1	B－1426	角錐状石器	Ⅱ	－	-96434.230	44740.240	83.954	4.10	1.55	0.85	7.40	左右両面を腹面から調整されている二面加工の角錐状石器である。
94	1431	G4-3	石ブ③	Vc	MB1	B－1431	角錐状石器	Ⅱ	－	-96433.000	44739.850	83.974	4.25	1.85	1.25	9.30	横剥ぎ剥片を素材とする。二面加工が施されている。腹面からの調整が主となる。
95	1469	H4-4	石ブ②	Vc	MB1	B－1469	角錐状石器	Ⅱ	－	-96420.680	44746.190	84.377	6.65	1.95	1.45	18.10	風化が激しく稜は丸みを帯びる。基部に腹面からの調整を施す。
96	1685	F3-1	－	Vc	MB1	B－1685	角錐状石器	Ⅱ	－	-96412.410	44724.300	84.465	6.00	3.35	1.80	30.30	左右両縁を腹面から調整を施し、二面加工されている。風化が激しい。
97	1695	E3-2	－	Vc	MB1	B－1695	角錐状石器	Ⅱ	－	-96416.030	44710.500	84.365	5.80	1.80	1.80	13.20	稜線が丸みを帯び、風化している。背面基部にも若干の加工を施す。
98	1677	H4-2	集中①	Vc	MB1	B－1677	敲石	－	－	-96427.090	44741.020	84.215	10.30	6.40	3.50	284.90	敲打により、下部正面部が剥離している。上部は欠損している。
99	1581	G4-2	石ブ④	Vc	MB1	B－1581	敲石	－	－	-96429.120	44733.700	84.242	9.10	3.80	3.40	166.00	正面下部、上面、右側面に不明瞭な敲打痕跡を認める。
100	1701	F3-1	－	Vc	MB1	B－1701	剥片尖頭器	－	－	-96412.650	44721.000	84.314	7.20	3.90	0.90	18.20	縦長剥片素材の尖頭器である。基部に下方からの調整痕が認められる。
101	1487	G3-4	石ブ①	Vc	MB1	B－1487	剥片	－	－	-96411.520	44735.180	84.147	8.00	2.65	1.25	25.80	縦長剥片である。左側面に自然面を残す。右側面稜部に微細な剥離痕を認める。
【流紋岩】（第48図　102～106）																	
102	1412	H4-4	集中①	Vc	MB1	B－1412	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96424.810	44749.720	84.336	3.35	1.35	0.80	3.20	切出し型のナイフ形石器である。刃部以外の左右側面、基部に裏面からの調整を施している。
103	1600	G4-2	石ブ④	Vc	MB1	B－1600	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96427.850	44732.700	84.230	5.80	1.50	1.70	7.20	横長剥片を素材とする。左側面に刃潰し対向調整を施す。基部右側面にも対向調整が認められる。
104	1442	G4-3	石ブ①	Vc	MB1	B－1442	角錐状石器	Ⅱ	－	-96434.420	44739.560	83.950	4.40	1.30	0.80	4.20	横長剥片を素材とする。右側面及び左上下部に裏面からの調整を施し、二面加工がなされている。
105	1669	G5-3	石ブ①	Vc	MB1	B－1669	角錐状石器	Ⅱ	－	-96435.260	44737.580	84.110	4.55	1.40	1.25	5.90	横剥ぎ剥片を素材とする。左右側面とも裏面からの調整を施す。裏面にも若干の調整を残す。
106	1472	I4-2	集中①	Vc	MB1	B－1472	剥片	－	－	-96428.400	44751.210	84.315	4.40	3.00	1.25	11.60	小形の縦長剥片である。背面には回転させながらの打撃により剥片を剥離した痕が残る。右側面下部に加工痕を残す。
【尾鈴山酸性岩類】（第48図　107）																	
107	1636	G4-2	石ブ④	Vc	MB1	B－1636	台石	－	－	-96426.200	44733.620	84.362	21.20	21.70	8.65	5422.00	円形の巨礫を使用。正面中央に窪み、上部に何らかの作用による剥ぎ痕？らしい窪みを認める。
［接合資料］																	
【接合資料２：頁岩】（第49図　108～110）																	
108	1582	G4-2	石ブ④	Vc	MB1	B－1582	石核	－	接２	-96429.020	44733.950	84.214	5.70	4.60	2.20	39.30	上面に打面を作り、石核(109)から剥離された剥片石核。右側縁上部に微細な腹面からの調整を認める。
109	1671	F4-2	－	Vc	MB1	B－1671	石核	－	接２	-96429.820	44721.600	84.166	4.10	6.20	2.80	62.80	裏面に自然面を残す。打面を回転させ剥片剥離を繰り返す。上面部を剥ぎ、そこを打面として108を剥離している。
110	1639	G4-2	石ブ④	Vc	MB1	B－1639	剥片	－	接２	-96428.880	44733.700	84.149	3.40	1.70	0.25	4.00	上面に打面を作り出した後、109から剥離された。縁辺部に微細な剥離痕を認める。
【接合資料３：ホルンフェルス】（第50図　111～113）［遺物集中域①］																	
111	1650	H4-2	集中①	Vc	MB1	B－1650	剥片	－	接３	-96429.300	44744.380	84.270	6.30	3.60	1.20	15.90	腹面には剥片剥離痕が残る。左右両縁部に微細な剥離を認める。
112	1653	H4-2	集中①	Vc	MB1	B－1653	剥片	－	接３	-96428.300	44743.720	84.225	6.00	1.60	1.90	11.30	縦長剥片である。右側面上下部に調整痕が見られる。
113	1654	H4-3	集中①	Vc	MB1	B－1654	剥片	－	接３	-96428.500	44743.020	84.270	3.10	2.85	0.60	4.10	連続して剥離された剥片の中の１点である。背面に自然面を残す。
【接合資料４：ホルンフェルス】（第51図　114～119）［遺物集中域①］																	
114	1292	I4-1	集中①	Vb下	Kr-Kb	B－1292	剥片	－	接４	-96424.500	44754.700	84.314	2.50	2.80	0.50	2.50	背面に剥片剥離痕を認める。
115	1465	H4-3	集中①	Vc	MB1	B－1465	剥片	－	接４	-96426.100	44749.900	84.272	1.30	1.70	0.40	0.80	小剥片。上面に打面を作り剥離されている。
116	1561	H4-3	集中①	Vc	MB1	B－1561	剥片	－	接４	-96425.680	44749.420	84.300	5.50	2.50	1.00	11.40	背面に剥片剥離痕が残る。縦長剥片である。
117	1627	H4-3	集中①	Vc	MB1	B－1627	剥片	－	接４	-96425.520	44747.100	84.215	2.95	2.35	1.00	6.20	背面上部はやや風化気味である。左側縁部に微細な剥離を認める。
118	1703	I4-1	集中①	Vc	MB1	B－1703	剥片	－	接４	-96424.800	44750.100	84.274	1.50	1.60	0.50	1.40	116より剥離された小剥片である。背面に剥片剥離痕を認める。
119	1852	E4-1	集中①	Ⅸ	MB1	B－1852	剥片	－	接４	-96422.470	44710.300	83.208	3.30	3.80	1.05	11.40	上面に打面を作り剥離された。背面には剥片剥離の痕が残る。115は119より前に剥離されている。

第11表　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石材別石器観察表２

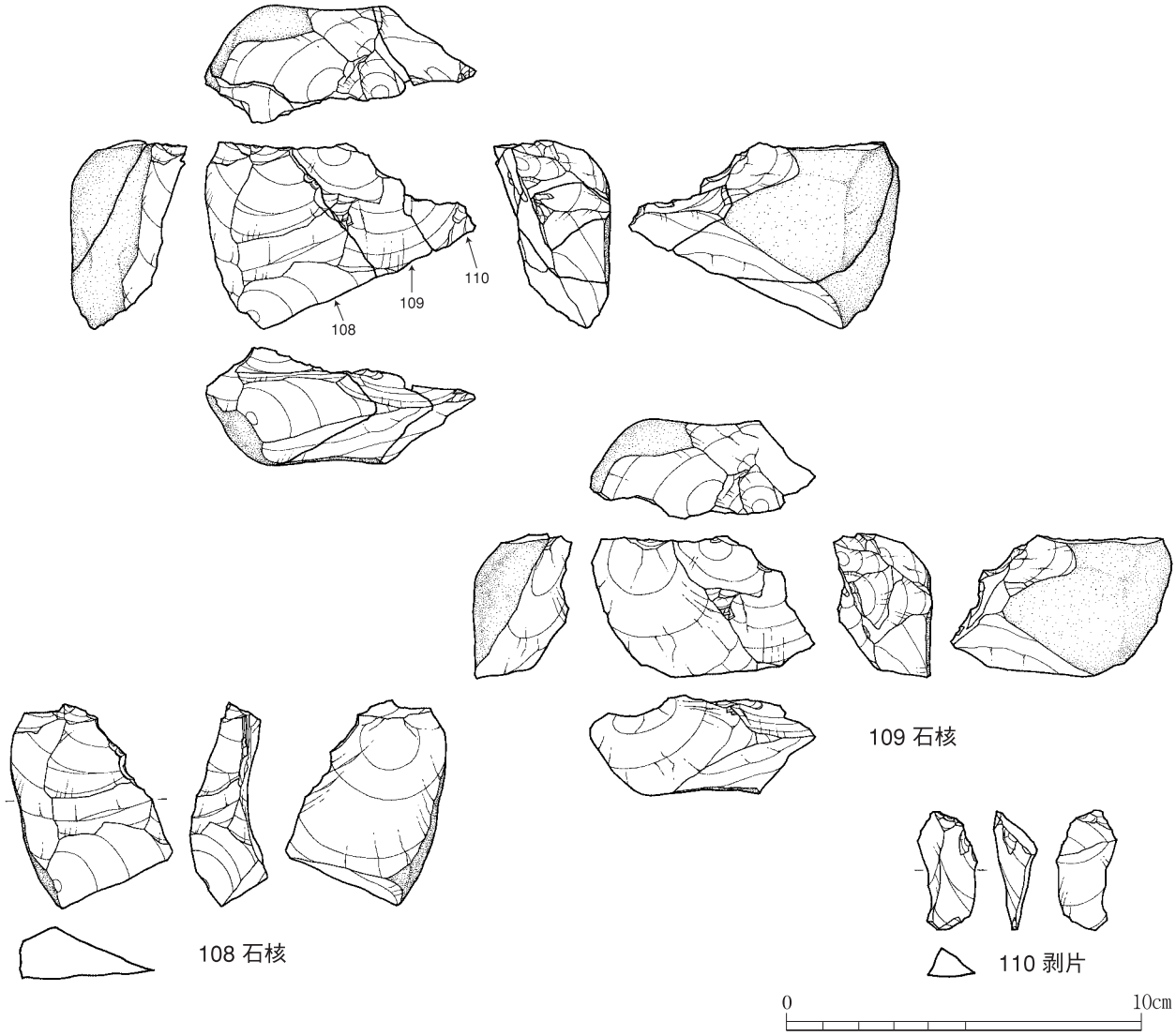


第47図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石材別石器実測図１（S＝1/2（76～83･86･89）　S＝1/4（87･88））



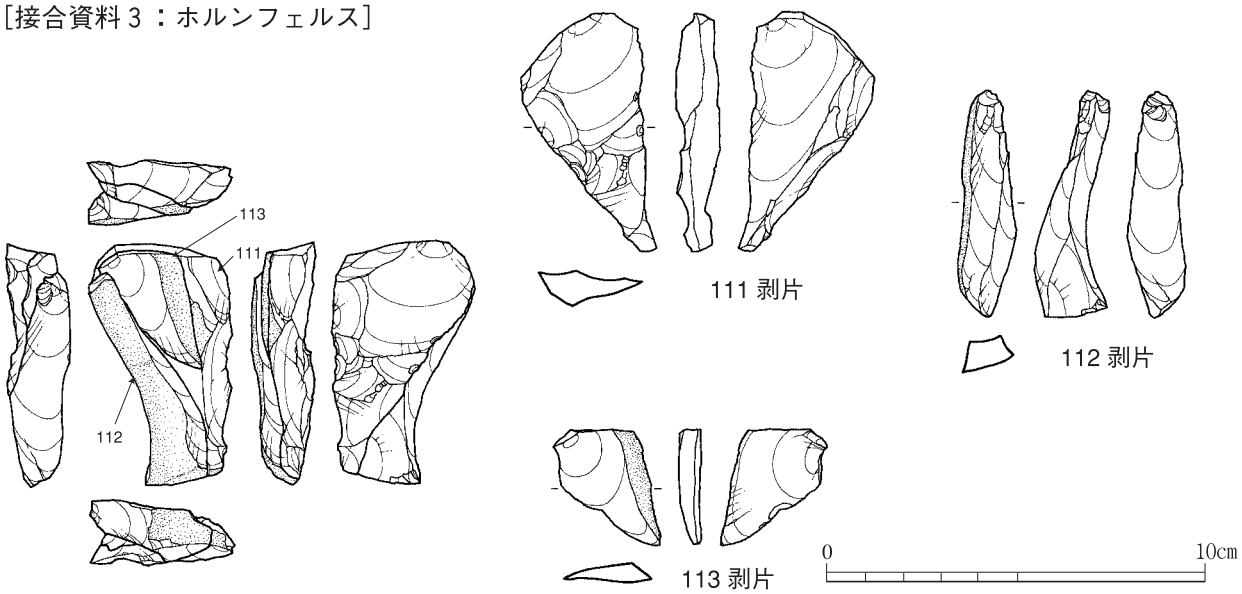
第48図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　石材別石器実測図２（S＝1/2（90～98･100～106）　S＝1/4（99･107））

［接合資料２：頁岩］



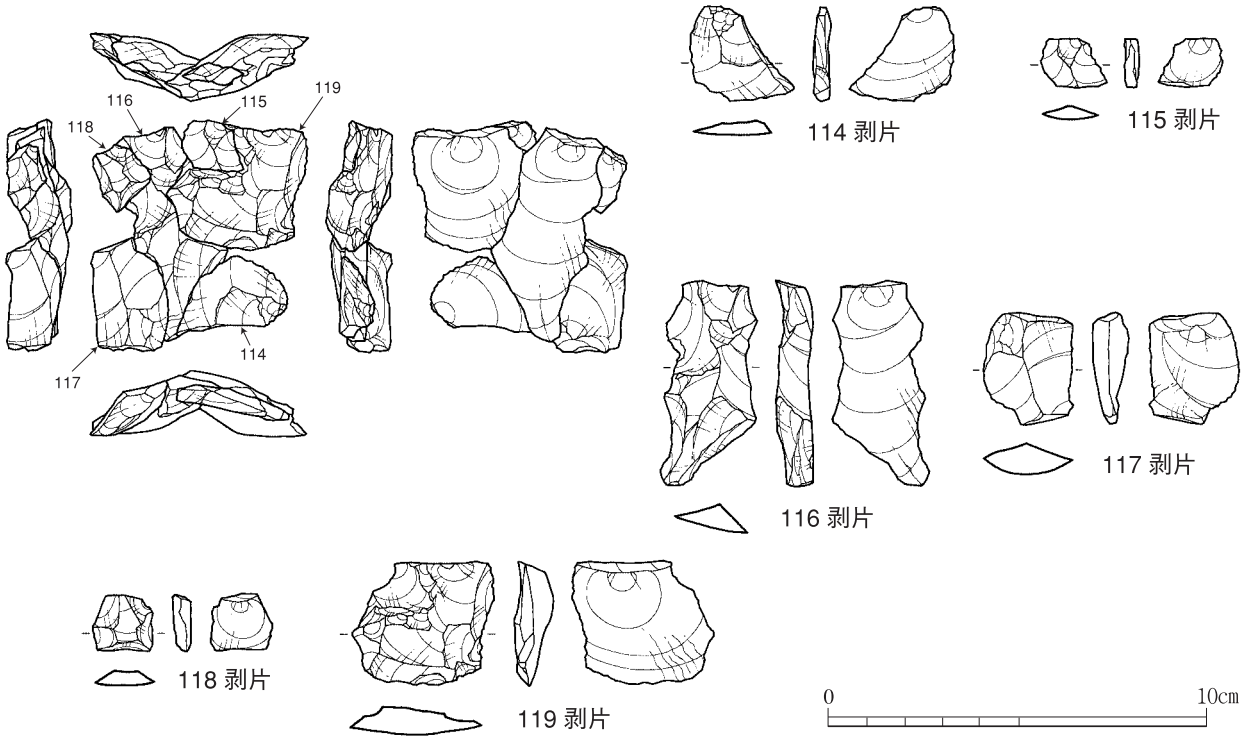
第49図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　接合資料石器実測図１（S＝1/2）

［接合資料３：ホルンフェルス］



第50図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　接合資料石器実測図２（S＝1/2）

［接合資料４：ホルンフェルス］



第51図　旧石器時代　第Ⅲ文化層　接合資料石器実測図３（S＝1/2）

○接合資料

接合資料は16例確認できた。そのうち、頁岩製１例、ホルンフェルス製２例、計３例を掲載する。

【接合資料２】（頁岩製）［第49図］

石核２点（108・109）と剥片１点（110）の接合である。石器ブロック④から108の石核と110の剥片は出土した。

母岩自体は、打面を作り、各方向から不定形の剥片を剥離していると考えられる。

この接合資料は、(108＋(109＋110)）の上面に打面を作り、108を得ている。108の剥片剥離との前後関係は不明だが、109から110を剥離している。

【接合資料３】（ホルンフェルス製）［第50図］

Ｈ４Ｇ、遺物集中域①から出土した剥片３点の接合である。正面に自然面を残す接合資料である。

上側からの打撃で剥片を剥離していると考えられ、その中で112を剥離し、複数枚剥離後、113→111の順で母岩から剥離している。

【接合資料４】（ホルンフェルス製）［第51図］

剥片６点の接合資料である。119の剥片を除き、114～118までの５点は全て遺物集中域Ａからの出土である。119の剥片は、出土位置も30ｍ近く離れ、しかも姶良Tnを挟んでMB３層（Ⅸ層）からの出土である。クラック等による隙間から入り込んだものと考える。

剥離順は明確ではないが、母岩石核から（115→119）と剥ぎ、114、打面を上下反転して（117・118→116)と剥いでいる。石核は遺跡内から出土せず、石核自体は遺跡外に持ち出されたか、廃棄された可能性が高い。

3　第Ⅳ文化層の調査

⑴　第Ⅳ文化層の概要

第Ⅳ文化層は、本遺跡層序ではⅤa層・Ⅴb層にあたり、東九州自動車道基本層序ではML１下層～Kr-Kb（小林軽石層）に相当する。

本層では、700点を超す石器が出土し、石器群および礫群が認められたことから、第Ⅳ文化層と位置づけた。

石器のまとまりと石材分布、接合状況等を検討し、遺物集中域４箇所、石器ブロック１箇所を認めた（第13表及び第53図）。礫群は２基検出された。

遺物は707点（遺跡出土全石器の約49％）出土し、接合資料は57例、石器数にして210点を数える。「②遺物集中域及び石器ブロック」、「⑶遺物」の項で石器の出土状況、接合資料状況等を解説を加えて具体的に述べることとする。

礫群の周囲には礫が点在する程度である。SI６は、遺物集中域C北側に位置する。遺物集中域Dからは、約150点を超す礫もあわせて出土した。傾向として礫、石器は南東斜面部に広がっているが極端な偏りではない。遺跡全体に広がって生活の場があったことが推定される。

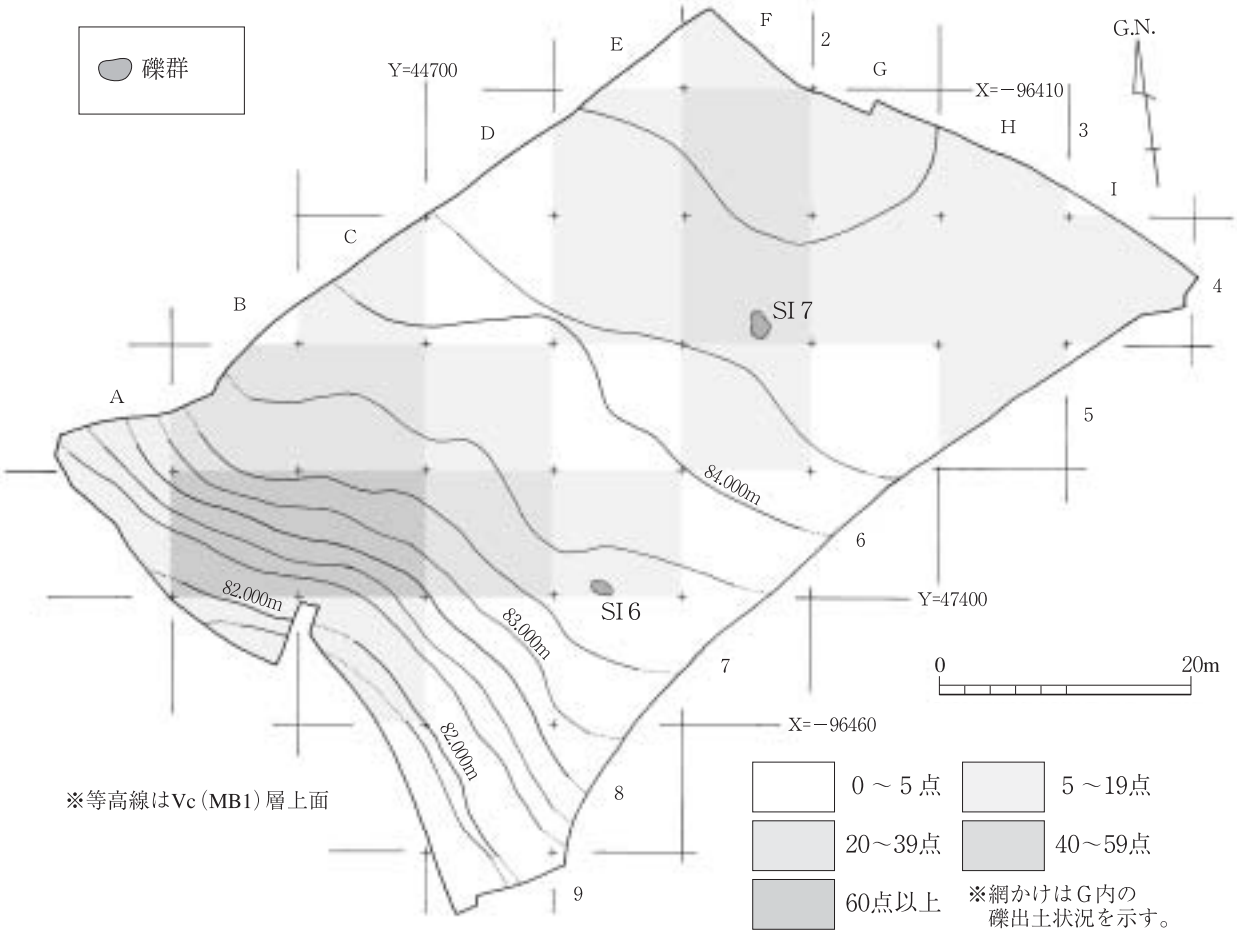
⑵　遺構

本文化層では、礫群２基を確認した。また、遺物集中域４箇所、石器ブロック１箇所を確認した。

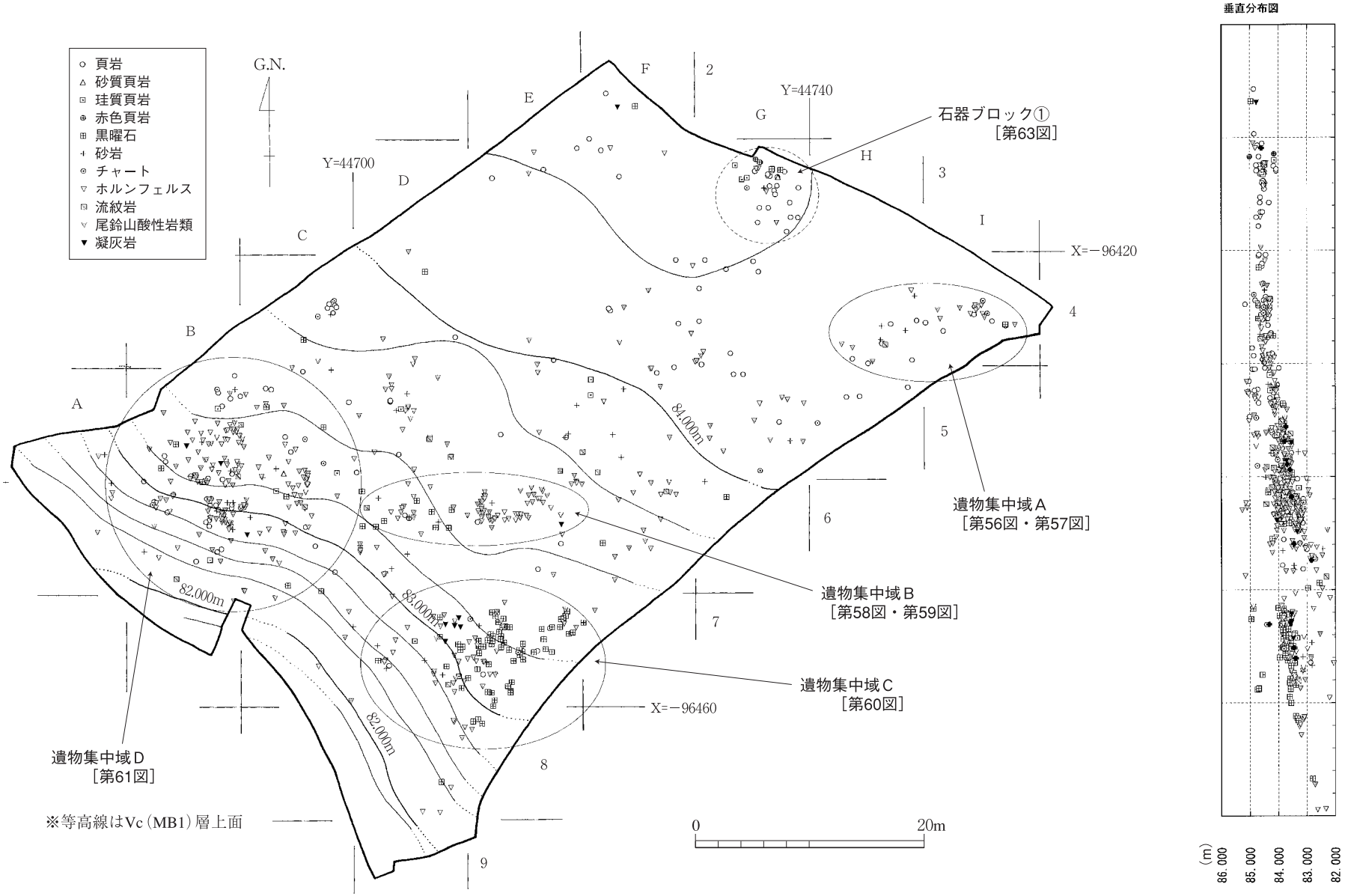
①　礫群［第52図・第55図］

第Ⅲ文化層で検出された礫群（SI１～SI５）同様、石材の傾向として尾鈴山酸性岩類、ホルンフェルス（頁岩源）を主とした礫群がほとんどで、砂岩も一部認められる。礫のほとんどが赤化しており被熱によるものと考えられる。

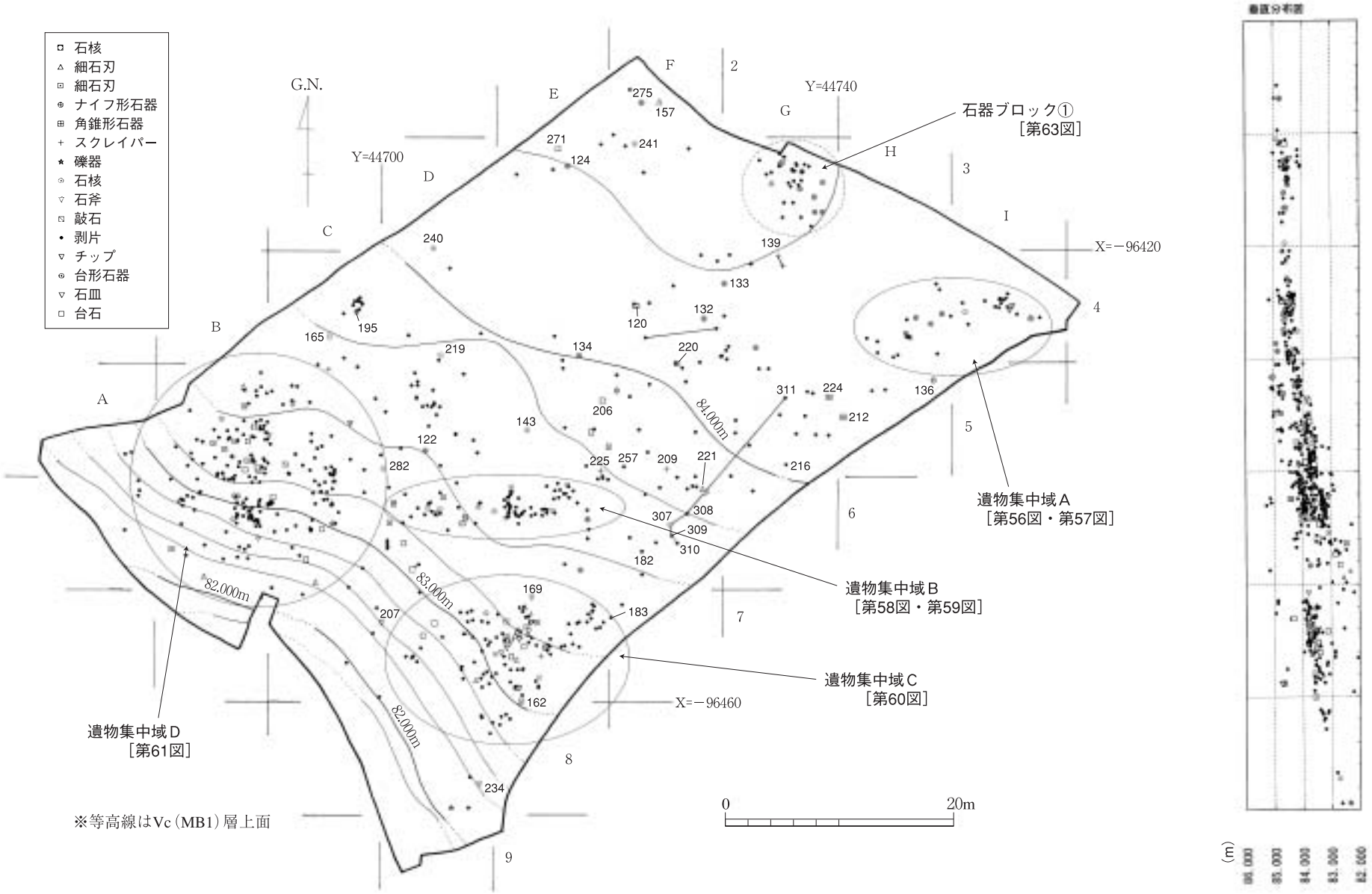
礫群毎の詳細を以下に述べるが、第12表も参考にされたい。



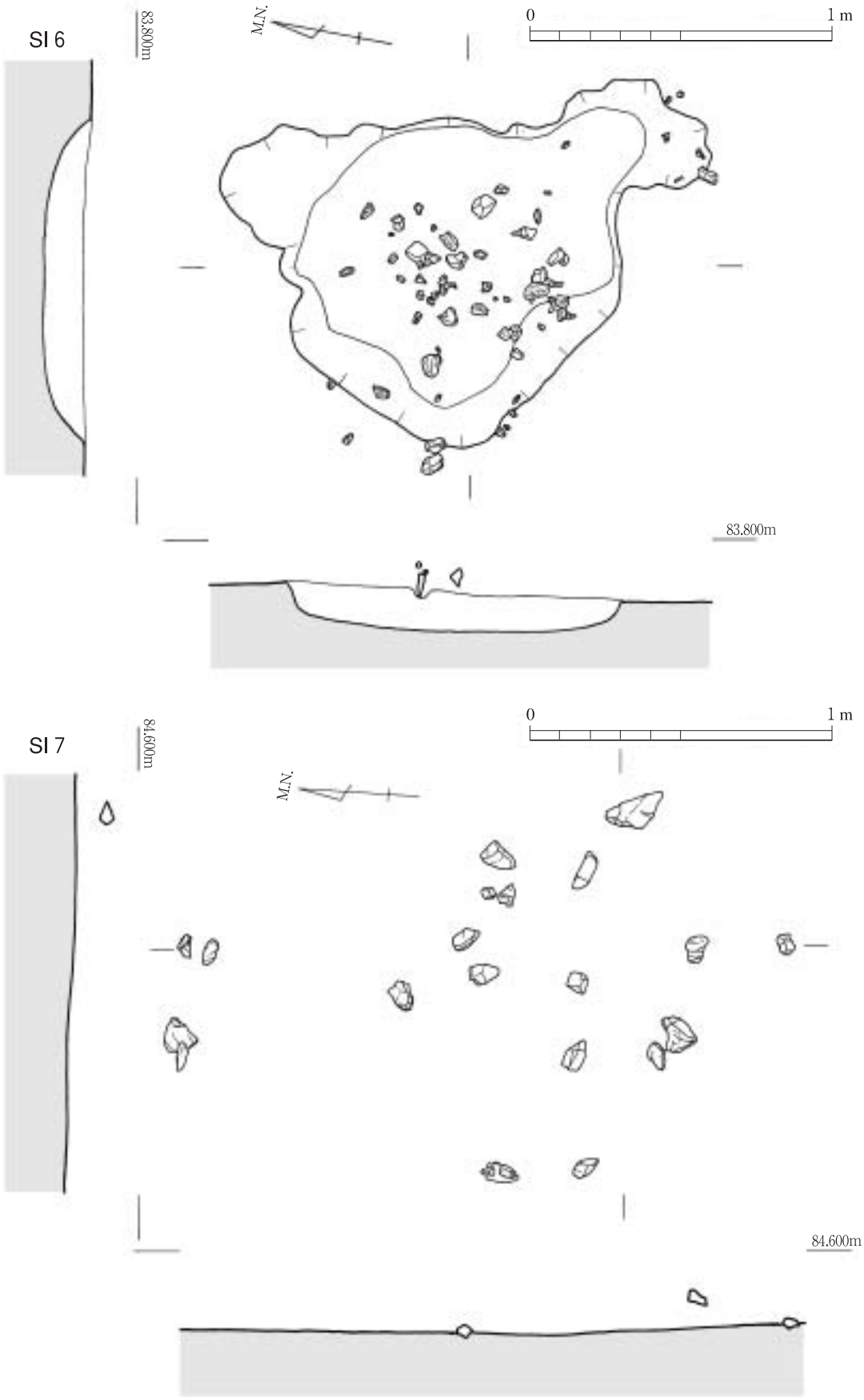
第52図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　礫群及び礫分布図（S＝1/600）



第53図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石器石材別分布図（S＝1/500）



第54図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石器器種別分布図（S＝1/500）



第55図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　礫群実測図（S＝1/20）

【SI６】［第55図］

Ａ区東側平坦面、Ｅ６Ｇ、標高約83.4mの地点で確認できた。約186㎝×105㎝を測り、礫構成の状態はSI７に比して密である。64点の礫で構成される。礫のほとんど約92％が赤化している。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。10㎝程度の掘込みを確認した。埋土から少量の炭化物も認められた。

礫の平均重量は70.0ｇを測り、小さい角礫８点のほか、小破砕礫が点在する。石材は、尾鈴山酸性岩類、ホルンフェルスが約半数ずつを占め、僅かに砂岩を認める。

礫の接合関係を調べた結果、同遺構内で２個体の接合が認められた。

【SI７】［第55図］

Ｂ区中央部平坦面、Ｆ４Ｇ、標高約84.4ｍの地点で確認できた。約137㎝×90㎝を測り、礫構成の状態は疎である。22点の礫で構成される。出土位置はほぼ平坦で、レヴェルの差はほとんどない。

礫の平均重量は270.0ｇを測る。礫の約86％に赤化が認められる。角礫４個、円礫１個を認めるがそれら以外は破砕礫となる。石材は、３分の２の約64％が尾鈴山酸性岩類で、次いでホルンフェルスが約29％、砂岩が約7％となる。10㎝大以上の礫を12点数える。

同遺構内で８個体の接合が認められた。

※赤化度：無＝赤化していない　弱＝部分的に赤化している　中＝全体的に赤化している　強＝非常に赤化している

番号	グリッド番号	検出面	長径(ｍ)	短径(ｍ)	礫総数(個)	総重量(kg)	1個当たりの平均重量(kg)	掘込みの有無	炭化物等の有無	石材の分類とその割合						礫の形状と赤化度の割合							接合の状況			備考
SI６	E6−2	Kr−kb層	1.86	1.05	64	4.65	0.07	有	有	石材	A 尾鈴山酸性岩類	B ホルンフェルス	C 砂岩	D その他の石材	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
																角礫		3	4	1	8	13	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫					0	0	4	/	/	
										重量(kg)	2.10	2.10	0.45	0	4.65	破砕礫	5	17	23	11	56	87.5	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	2	/	/	
										石材の割合(%)	45.16	45.16	9.68	0	100%	計(個)	5	20	27	12	64	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	7.8	31.3	42.2	18.8	100%	—				
SI７	F4−3	Kr−kb層	1.37	0.90	22	5.88	0.27	無	有	石材	A 尾鈴山酸性岩類	B ホルンフェルス	C 砂岩	D その他の石材	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構＋遺構	遺構＋散礫	
																角礫			2	2	4	18	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
																円礫	1				1	5	21	/	/	
										重量(kg)	3.77	1.73	0.38	0	5.88	破砕礫	2	3	6	6	17	77.3	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
																その他					0	0	8	/	/	
										石材の割合(%)	64.1	29.4	6.5	0	100%	計(個)	3	3	8	8	22	100%	(注) 遺構内のみ接合			
																赤化度の割合	13.6	13.6	36.4	36.4	100%	—				

第12表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　礫群構成礫観察・分析表

②　遺物集中域及び石器ブロック

第Ⅳ文化層出土の石器分布状況及び石材・器種別の数量は第53図、第54図及び第13表に示した。以下、遺物集中域Ａ～Ｄ及び石器ブロックAの状況を述べる。石器及び接合資料の状況の具体は、「⑶遺物」(77頁～128頁）に記述する。

【遺物集中域Ａ】［第56図・第57図］

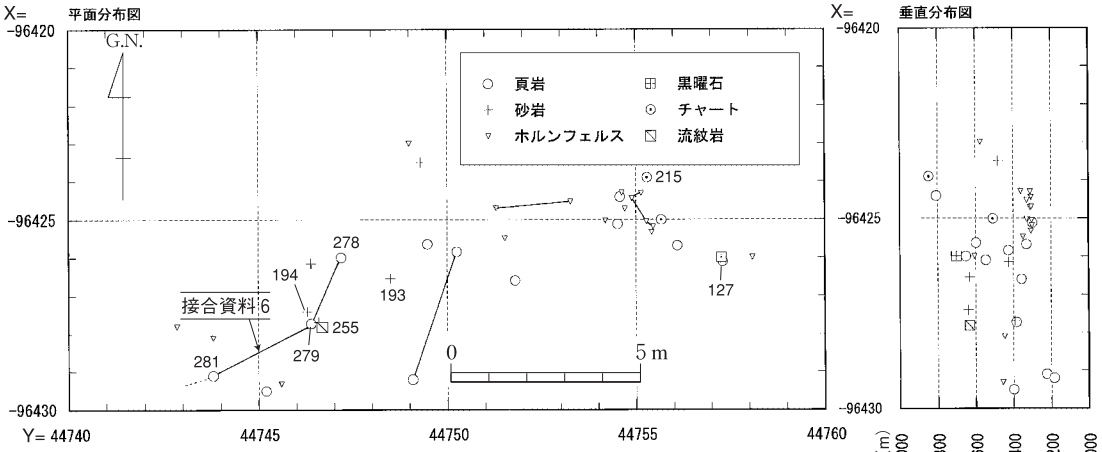
Ｂ区Ｈ５～Ｉ５Ｇ北側範囲、南西→北東を主軸とする約15ｍ×７ｍの範囲で確認された。出土した37点(第Ⅳ文化層出土石器全体の約５％）の石器の石材・器種の内訳は第13表のとおりである。剥片が27点(集中域内石器の約73％）を占める。うちホルンフェルス13点、頁岩が９点を占める。剥片以外の石器は細石刃１点、ナイフ形石器３点、石核２点、台形石器２点、チップ２点である。礫も多数出土した。

接合資料は、５例を確認した。石器数にして12点である。接合資料は頁岩、ホルンフェルスを石材とする主に剥片同士の接合である。そのうち、頁岩の接合資料１例（ナイフ形石器１点＋剥片３点）を接合資料６として掲載している（第92図)。

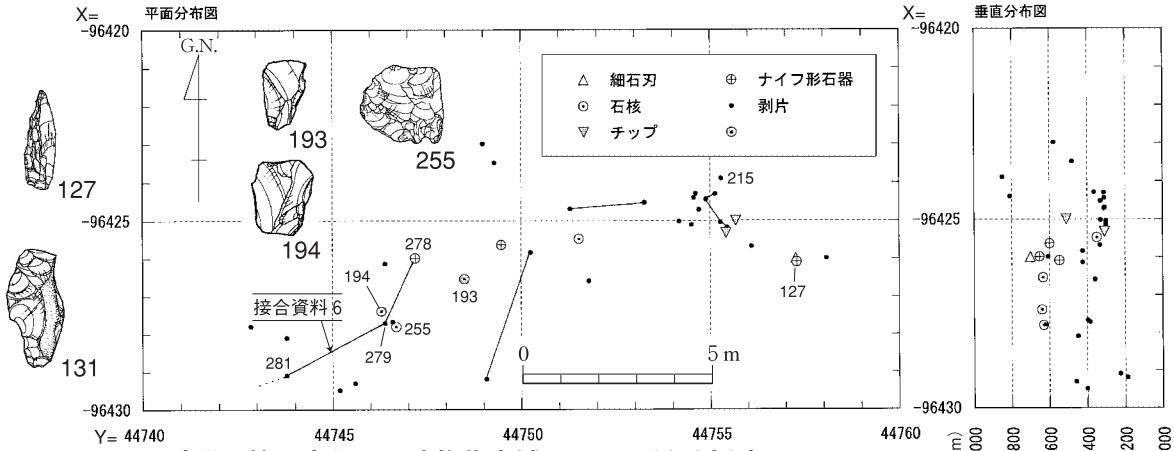
【遺物集中域Ｂ】［第58図・第59図］

Ａ区Ｄ６Ｇ、Ｅ６Ｇの東西を主軸とする約20ｍ×8.5ｍの範囲で確認された。出土した101点（第Ⅳ文化層出土石器全体の約14％）の石器の石材・器種の内訳は第13表のとおりである。

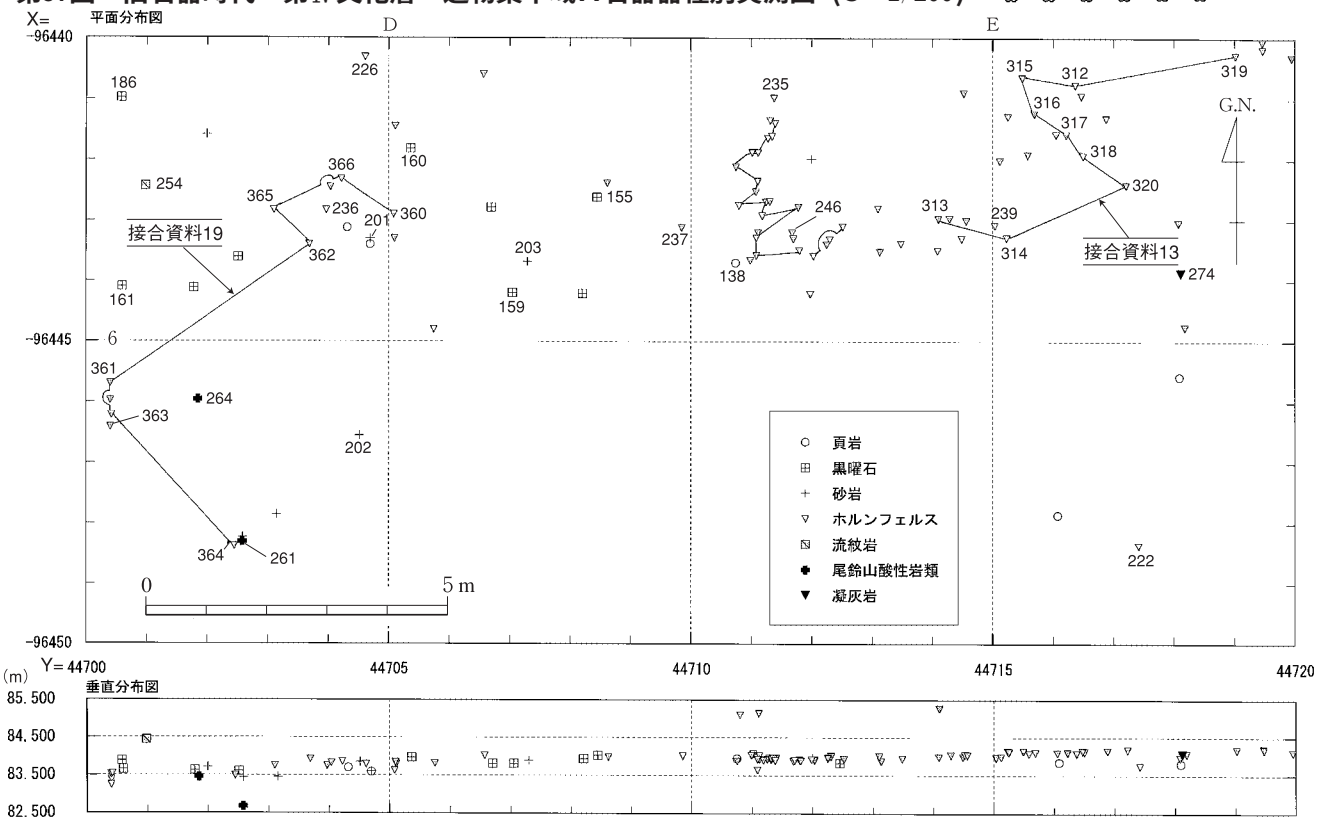
剥片が80点（ブロック内石器の約79％）と一番多



第56図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ａ石器石材別実測図（1/200）



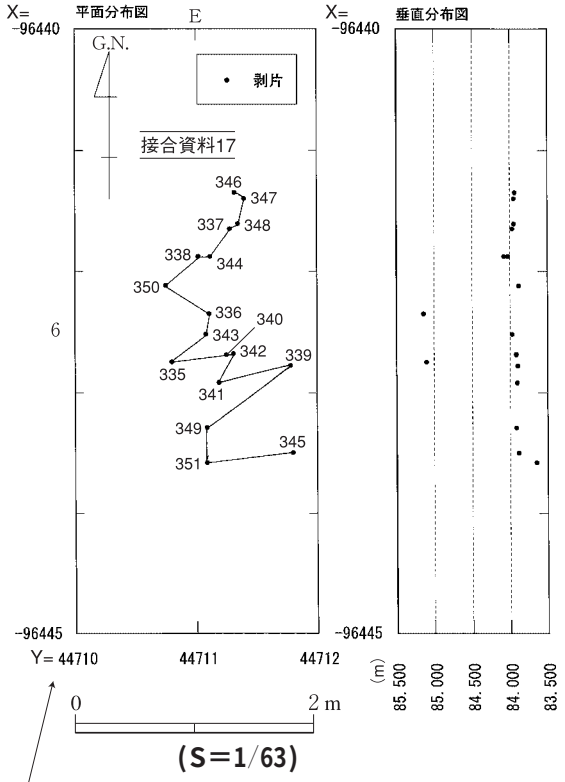
第57図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ａ石器器種別実測図（S＝1/200）

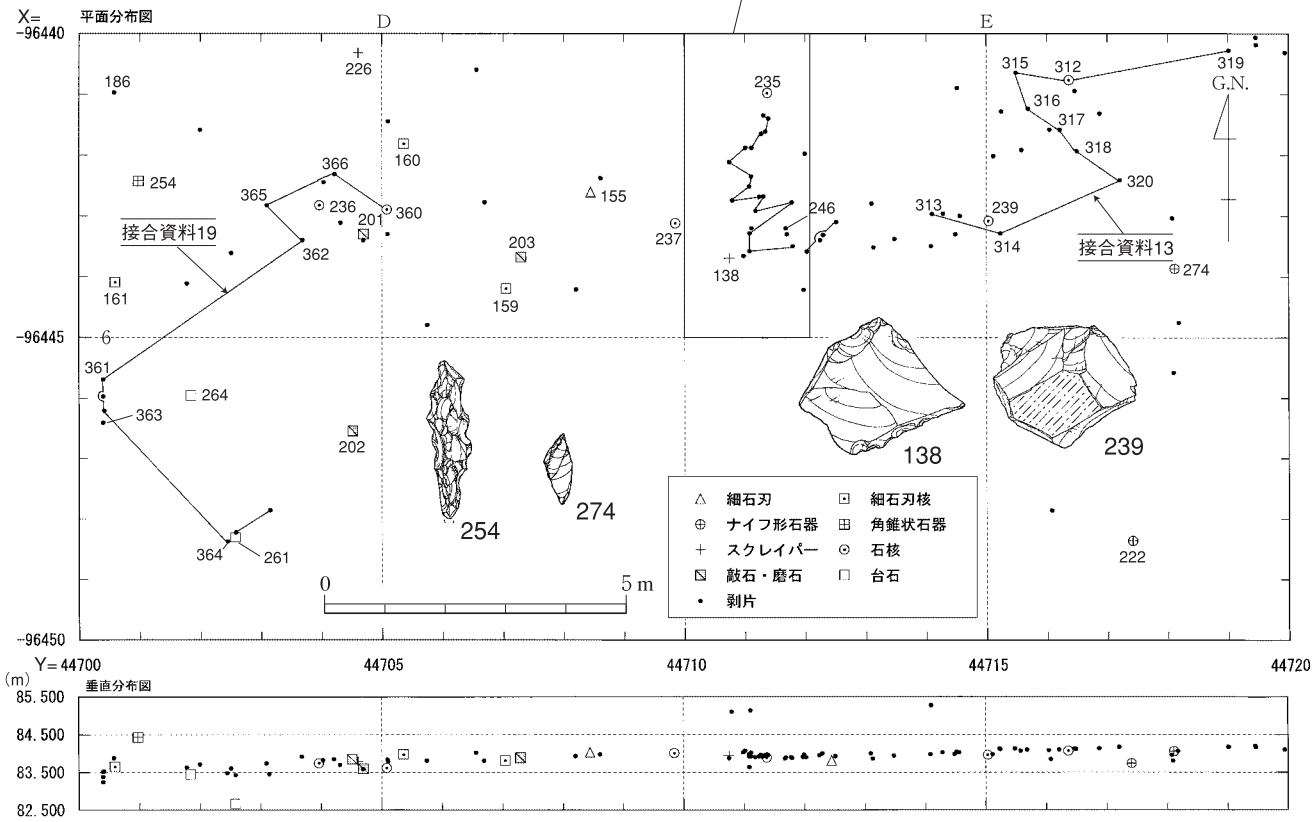


第58図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ｂ石器石材別分布図（S＝1/125）

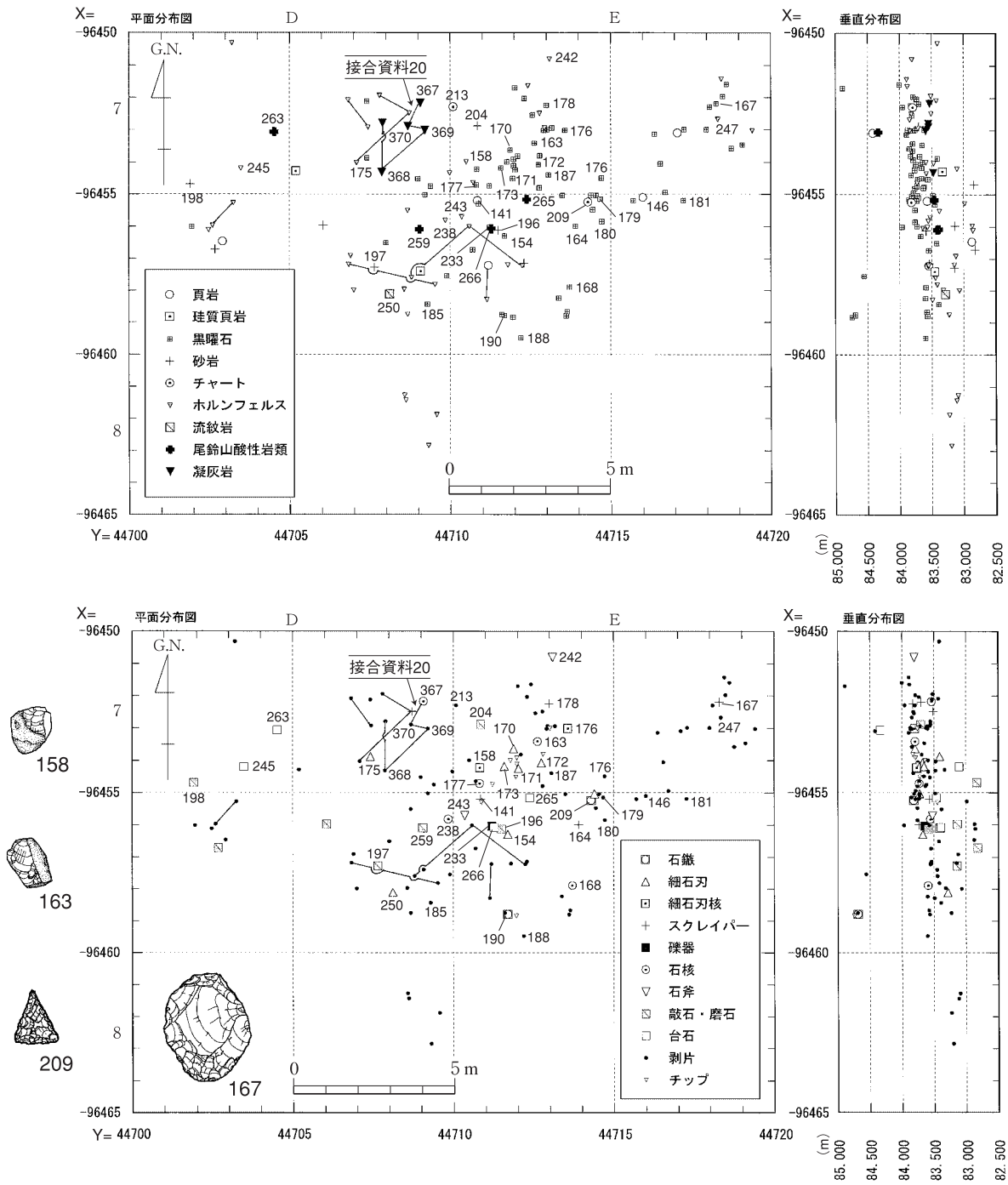
く出土し、細石刃核２点、石核６点、敲石・磨石３点などの出土が認められる。器種別種は９種を数える。石材は頁岩とホルンフェルスで占める。

接合状況は６例を確認した。石器数にして43点を数える。砂岩製が１例で２点、ホルンフェルス製が４例で34点、空晶石ホルンフェルス製が１例で７点である。そのうち、ホルンフェルス製の接合資料２例、接合資料13・17（第103図・第109図）と空晶石ホルンフェルス製の接合資料19（第114図）を掲載した。いずれの接合資料も径２ｍ～５ｍの限られた狭い範囲で接合した石核と剥片、剥片同士の接合である。石器製作の場としての様相を呈する。





第59図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ｂ石器器種別分布図（S＝1/125）

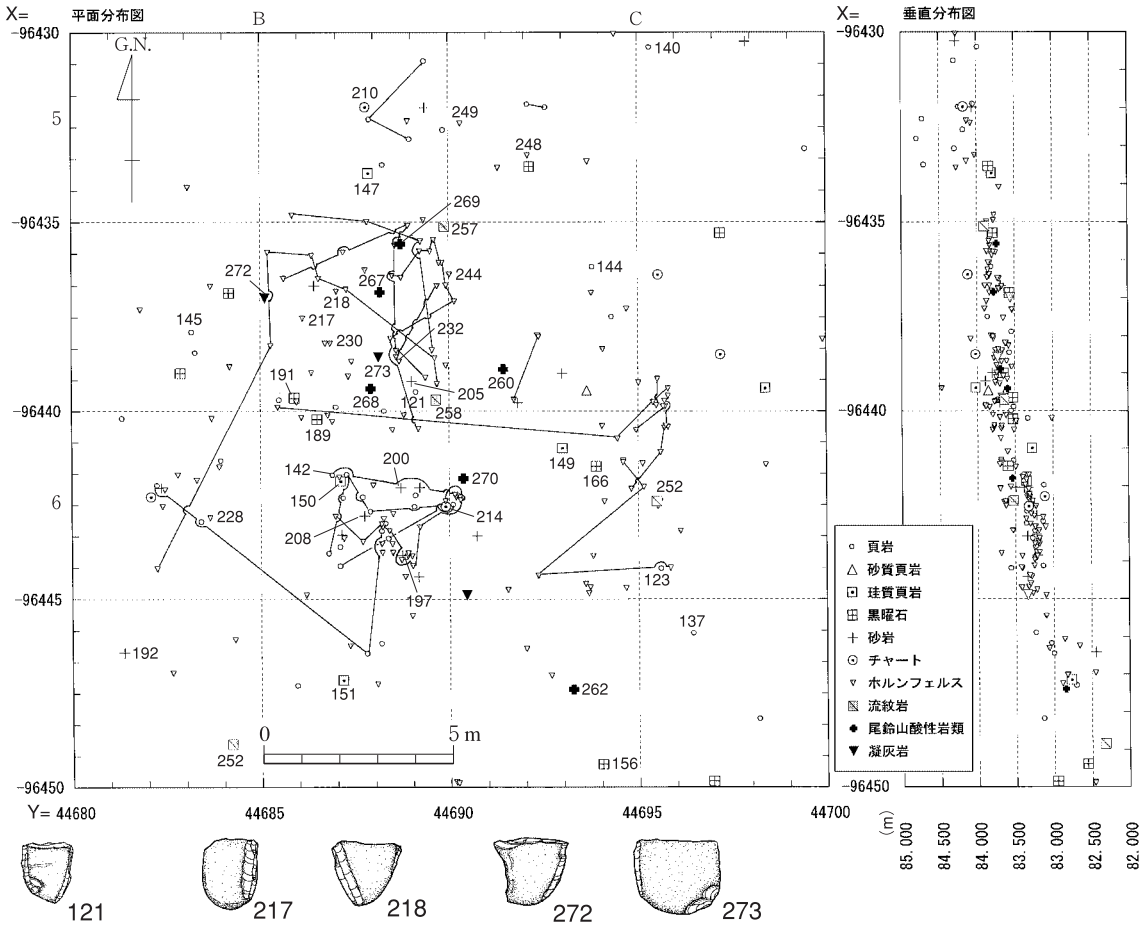


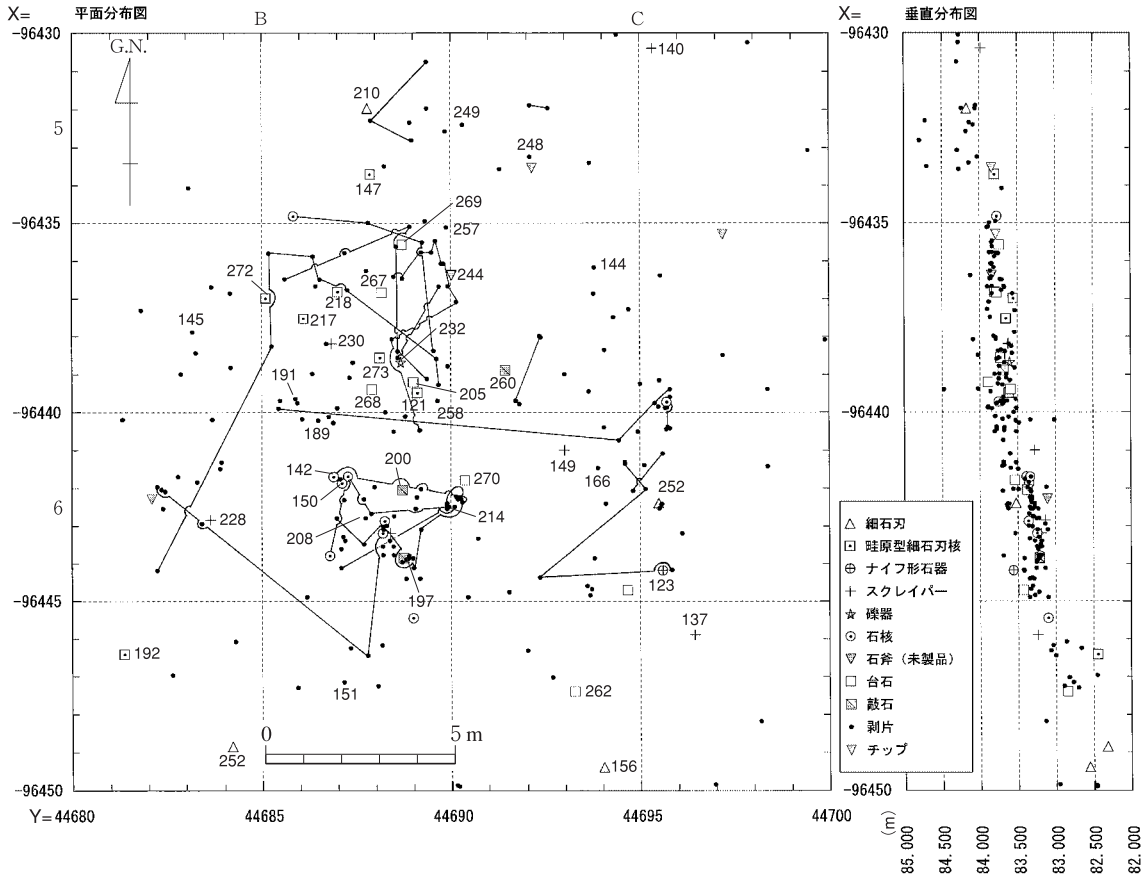
第60図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ｃ石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/200）

【遺物集中域Ｃ】［第60図］

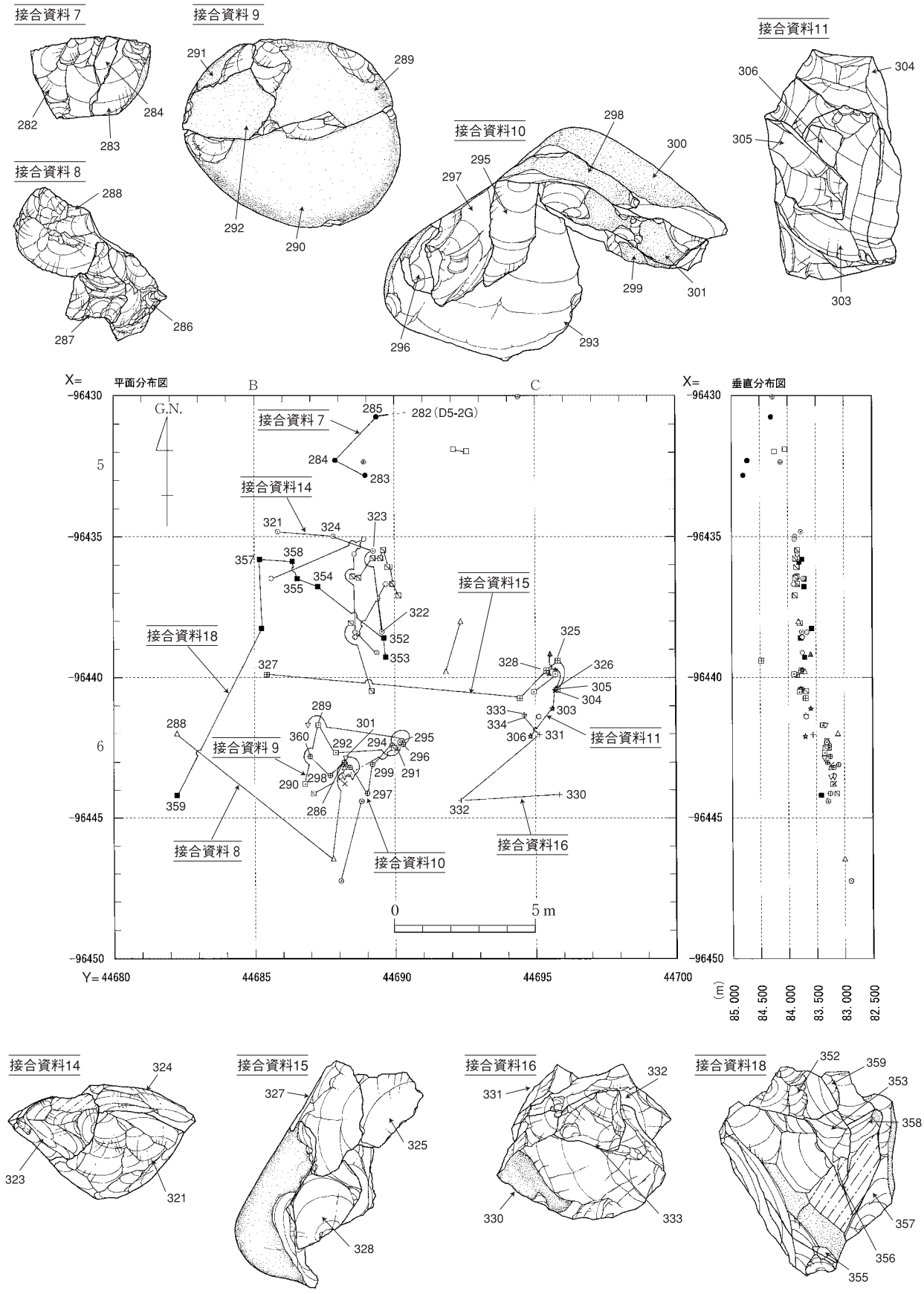
Ａ区Ｄ７ＧとＥ７Ｇを中心に南西→北東を主軸とする約18ｍ×13ｍの範囲で確認された。遺物集中域Ｂの南に位置し、緩やかに傾斜している。出土した131点の石器のうち、剥片とチップが95点（集中域出土石器の約73%）であり、敲石・磨石７点、台石４点である。黒曜石の細石刃核２点、細石刃７点もこの集中域から出土している。器種別種は12種を数える。

接合状況は10例、石器数にして23点である。頁岩製２例、ホルンフェルス製８例、凝灰岩製１例である。本書では、凝灰岩製の接合資料例（接合資料20）を掲載している。





第61図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ｄ石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/200）



第62図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　遺物集中域Ｄ石器接合資料分布図（S＝1/200）

【遺物集中域Ｄ】［第61図・第62図］

Ａ区Ｃ７Ｇを中心に径約20ｍの円形の範囲で確認された。南西側に緩やかに傾斜している。遺物集中域Ｂが東側に隣接する位置にある。出土石器が点数は238点を有し、第Ⅳ文化層出土石器全体の約34%、３分の１を占める。石材・器種の内訳、数量は第13表のとおりである。ホルンフェルス製剥片を133点(集中域内石器の約56%）認め、頁岩製も37点を数える。剥片は総計196点であり、集中域内の石器全体の８割を超す。石核９点、台石７点、敲石・磨石３点も認められ、本遺跡から出土した７点の畦原型細石刃核すべてもこの集中域からの出土である。石器製作の様相が見てとれる。

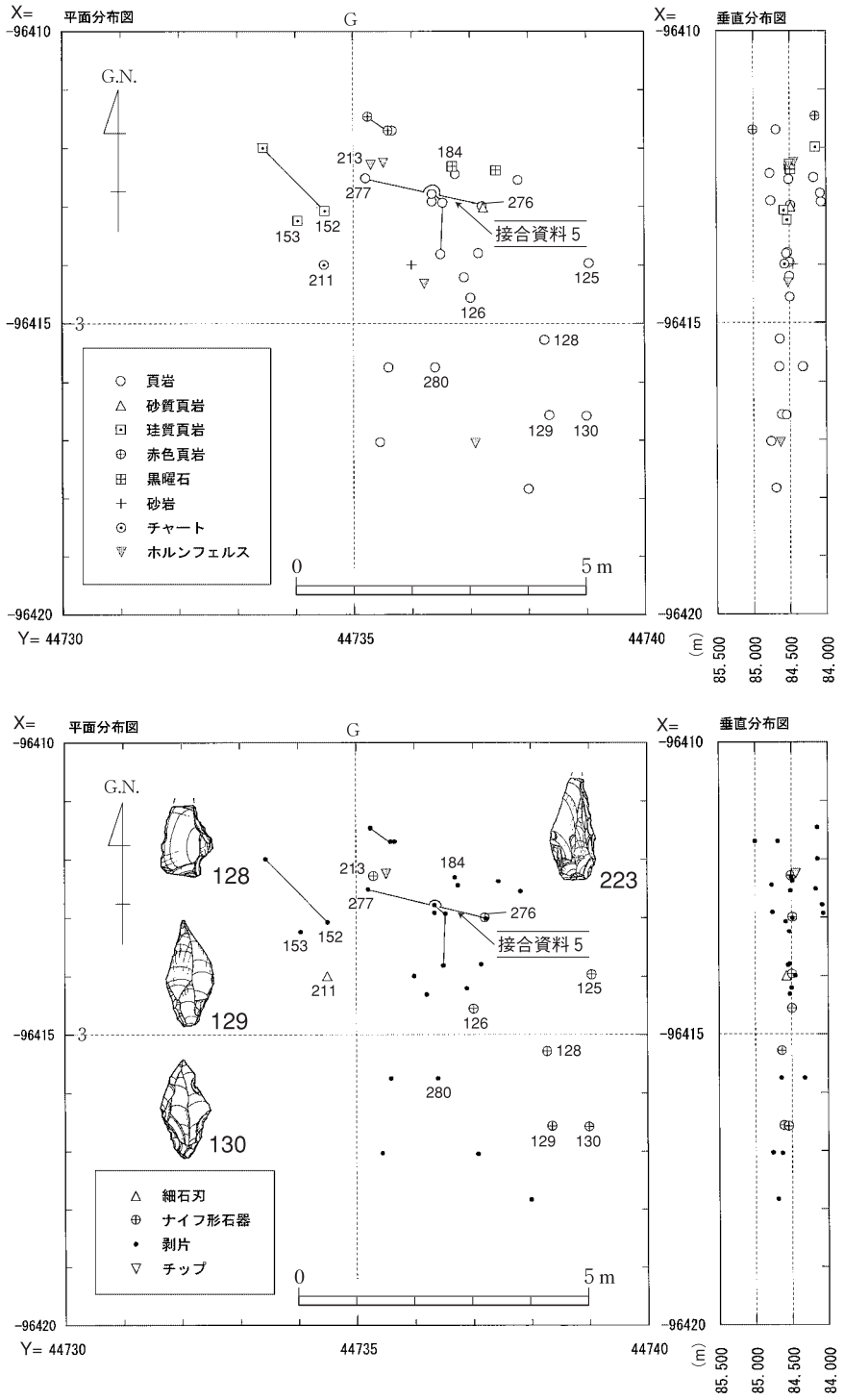
接合状況は、接合資料23例、石器数87点にのぼる。頁岩製の接合が６例、石器数16点、ホルンフェルス製の接合が17例、石器数にして71点を数える。本書には、頁岩製の接合資料３例［第93図～第96図]、ホルンフェルス製の接合資料６例［第105図～第113図］を掲載している。

【石器ブロックＡ】［第63図]

Ｂ区G３－３・４Gの範囲、南東→北西を主軸とする約７ｍ×４ｍの範囲で確認された。

石器が34点出土し、石材・器種の内訳は第13表のとおりである。剥片が25点（ブロック内石器の約74%）と多く、ナイフ形石器７点を認める。

接合状況は、接合資料は７例、石器数にして12点を数える（第63図)。その中から、ナイフ形石器と剥片の接合例を１例掲載した（第92図：接合資料５)。



第63図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石器ブロックＡ石器石材別（上)・器種別（下）分布図（S＝1/125)

【全体】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃	1				1		1					3
細石刃					12		2	1	3			18
細石刃核					5							5
畦原型細石刃核	1		1			1		2			2	7
船野型細石刃核									1			1
ナイフ形石器	16		1					2			2	21
角錐状石器							1	1	1			3
スクレイパー	6		1		3			8				18
礫器						1		3				4
石核	6		1		2			17	1		1	28
マイクロブランク					3							3
石斧								3				3
敲石・磨石						11		1		2		14
剥片	99	2	9	2	63	31	7	319	7		5	544
チップ					11		2	2				15
台形様石器	1					2						3
石皿						1						1
台石						3		3		10		16
計	130	2	13	2	100	50	13	362	13	12	10	707

【遺物集中域Ａ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
細石刃					1							1
ナイフ形石器	3											3
石核								1	1			2
剥片	9					4	1	13				27
チップ							1	1				2
台形様石器						2						2
計	12	0	0	0	1	6	2	15	1	0	0	37

【遺物集中域Ｂ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
細石刃					3							3
細石刃核					2							2
ナイフ形石器								1			1	2
角錐状石器									1			1
スクレイパー	1							1				2
石核								6				6
敲石・磨石						3						3
剥片	4				5	4		67				80
台石								1		1		2
計	5	0	0	0	10	7	0	76	1	1	1	101

【遺物集中域Ｃ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃					1		1					2
細石刃					7				1			8
細石刃核					2							2
スクレイパー	1				3			1				5
礫器								1				1
石核					1			1			1	3
マイクロブランク					2							2
石斧								2				2
敲石・磨石						6				1		7
剥片	4	2			41	1	1	33			4	86
チップ					9							9
台石								1		3		4
計	5	2	0	0	66	7	2	39	1	4	5	131

【遺物集中域Ｄ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
細石刃					1		1		2			4
畦原型細石刃核	1		1			1		2			2	7
ナイフ形石器	1											1
スクレイパー	2		1					3				6
礫器								1				1
石核	4		1					4				9
石斧								1				1
敲石・磨石						2				1		3
剥片	37	1	2		6	11	3	133	2		1	196
チップ					2		1					3
台石						1		1		5		7
計	45	1	5	0	9	15	5	145	4	6	3	238

第13表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石器の石材・器種別数量組成表１

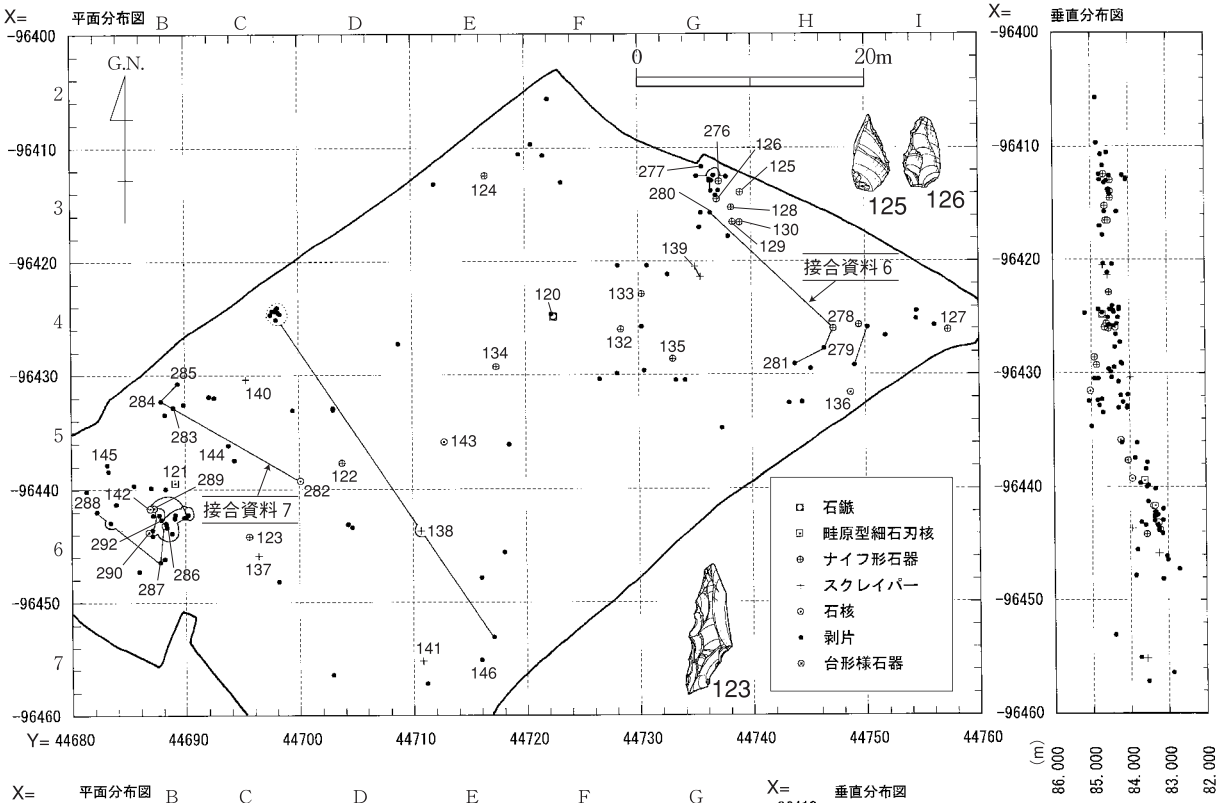
【石器ブロックA】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
細石刃							1					1
ナイフ形石器	6							1				7
剥片	14	1	3	2	2	1		2				25
チップ								1				1
計	20	1	3	2	2	1	1	4	0	0	0	34

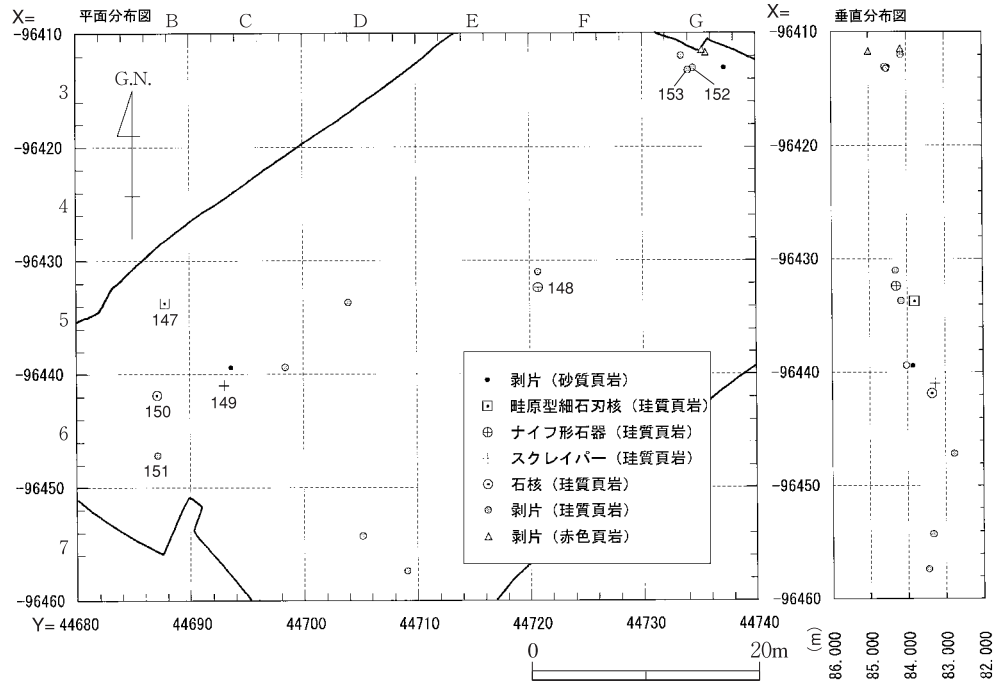
【石器ブロックB】

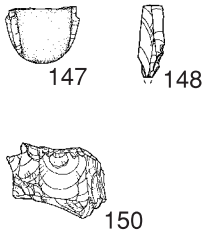
器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	赤色頁岩	黒曜石	砂岩	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石核											1	1
剥片											4	4
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5

第14表　旧石器時代　第IV文化層　石器の石材・器種別数量組成表２

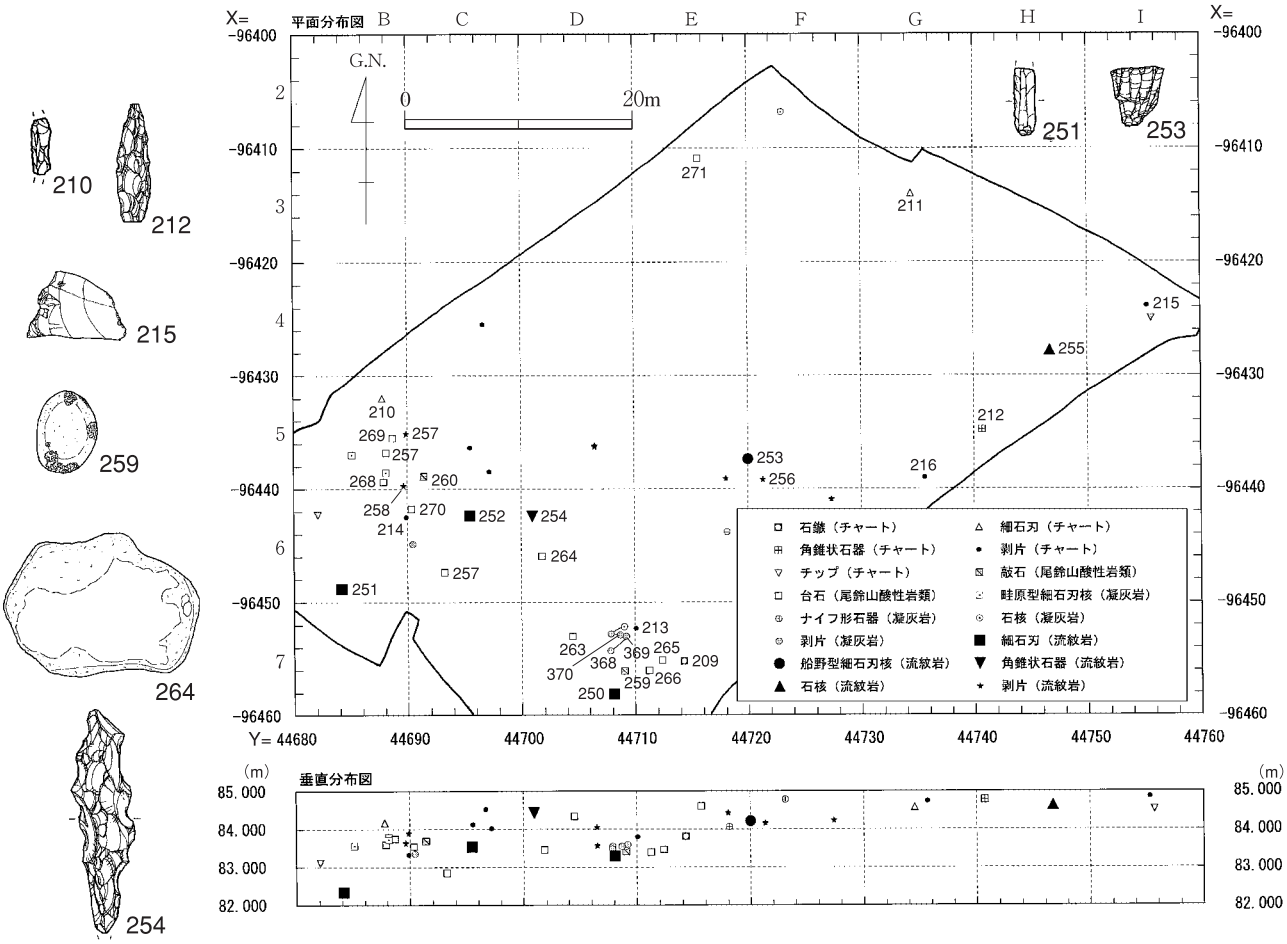


第64図
旧石器時代第IV文化層
頁岩製石器器種別
分布図（S＝1/667）

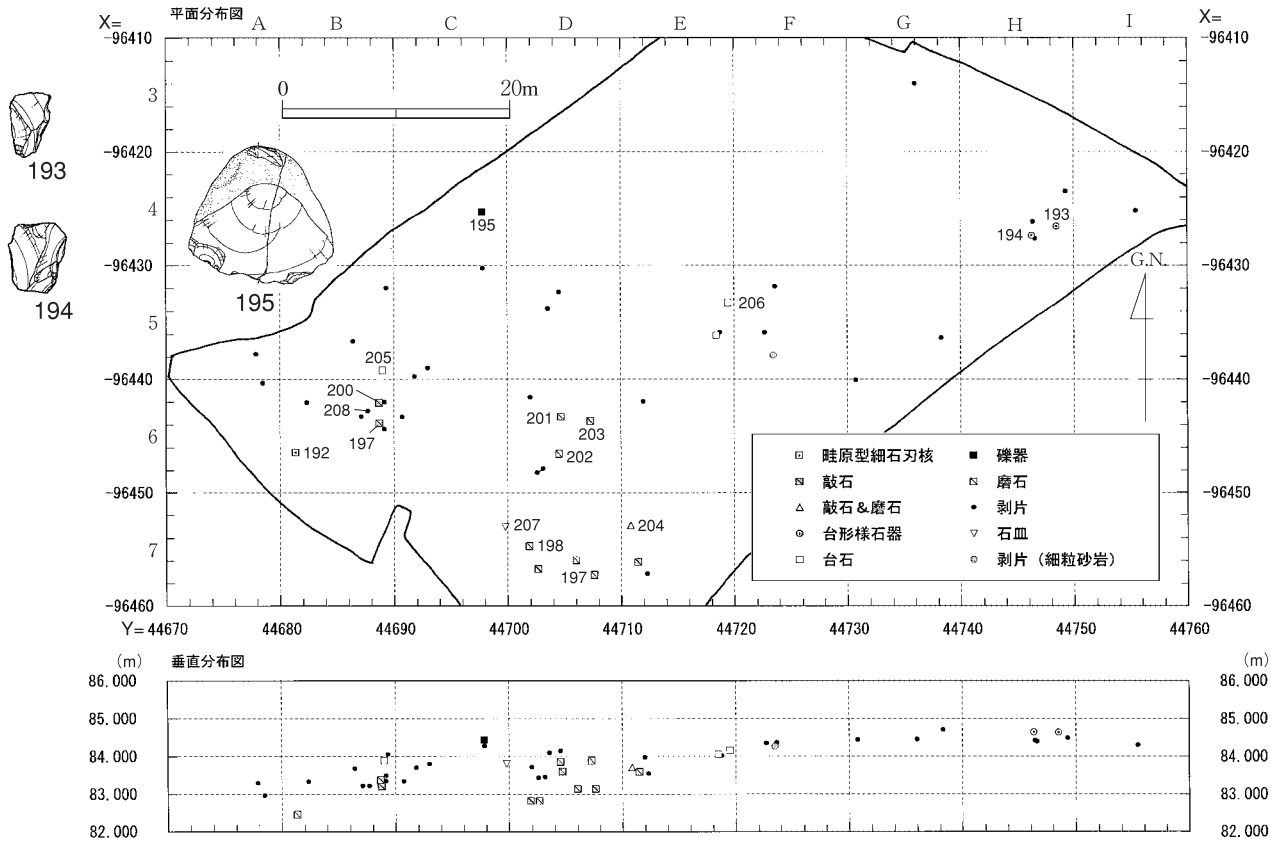




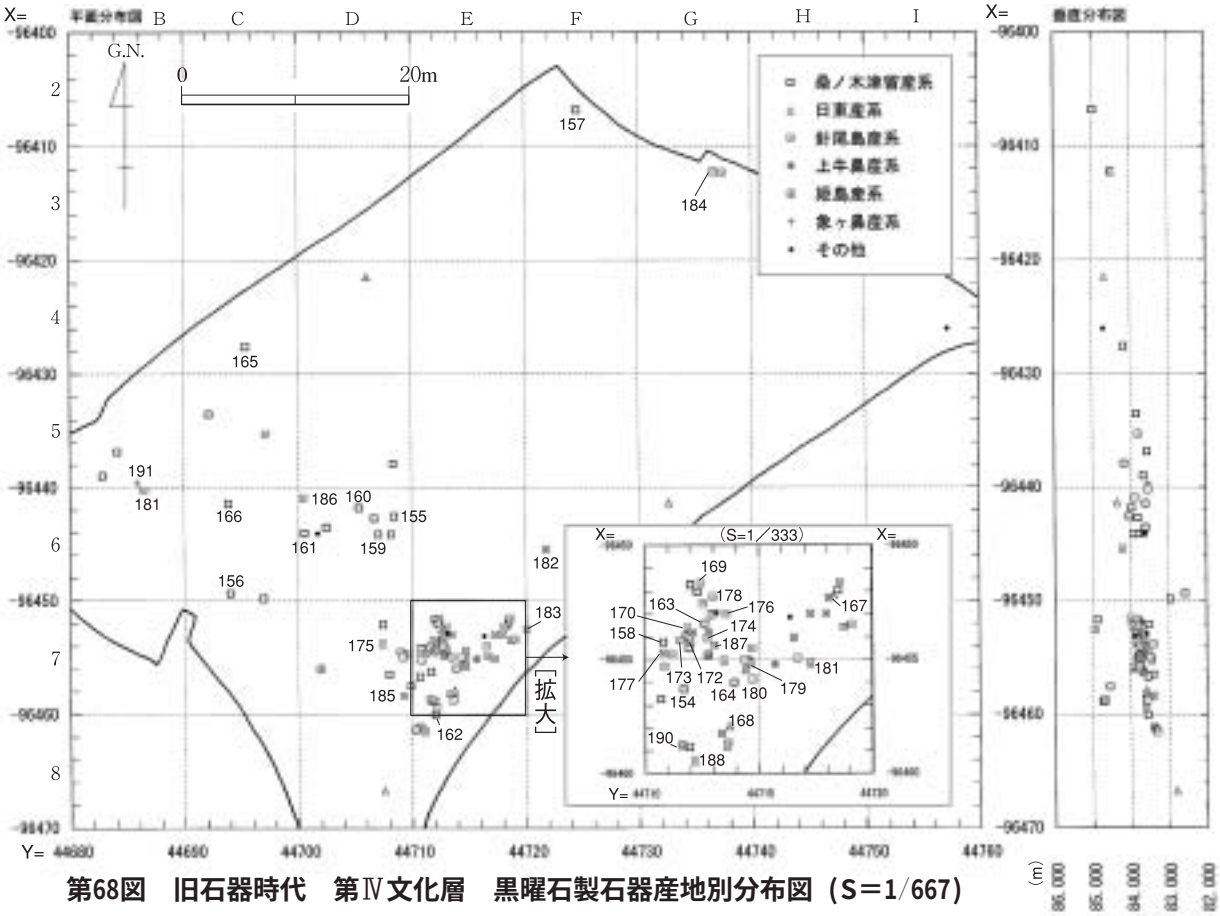
第65図
旧石器時代第IV文化層
砂質・珪質・赤色頁岩
系石器器種別分布図
（S＝1/667）



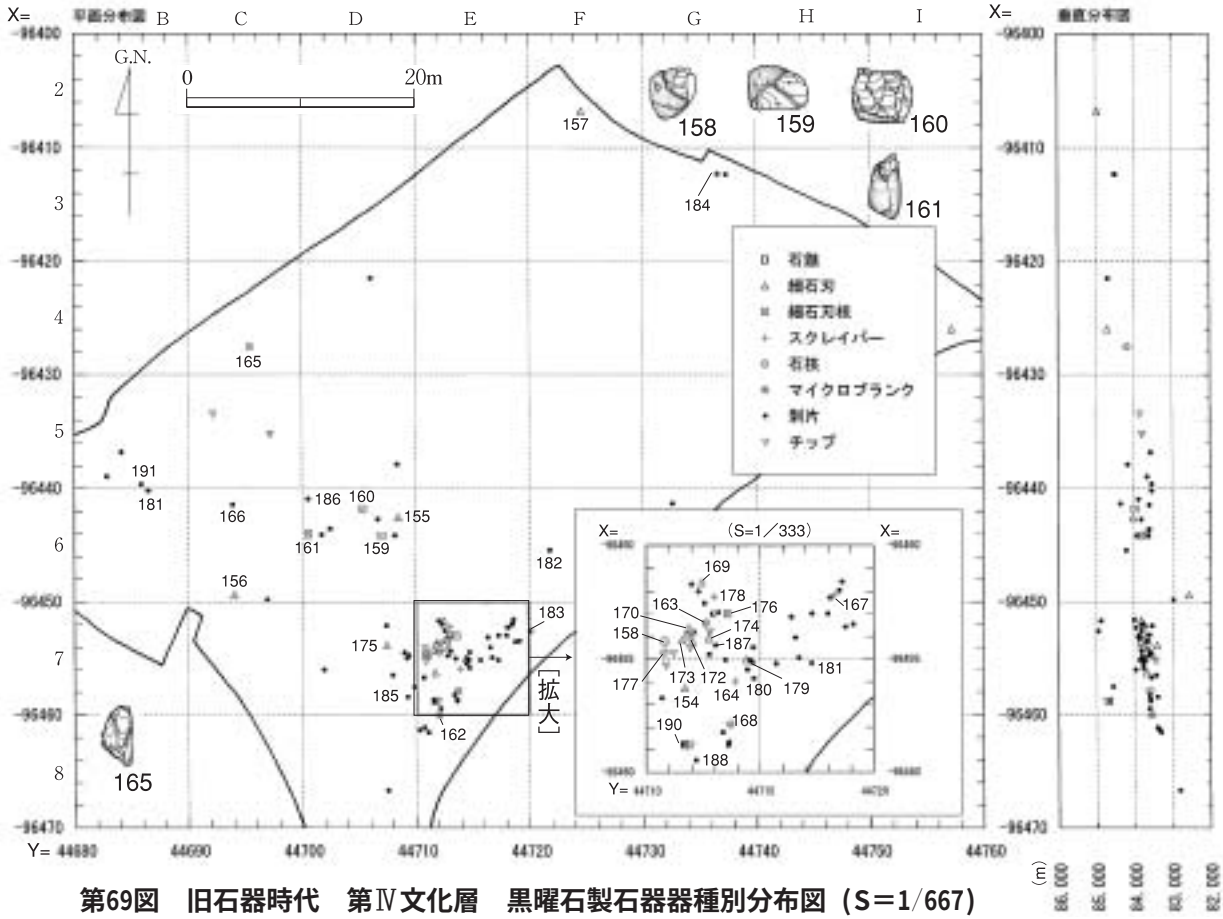
第66図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　チャート・尾鈴山酸性岩類・凝灰岩・流紋岩製石器器種別分布図（S＝1/667）



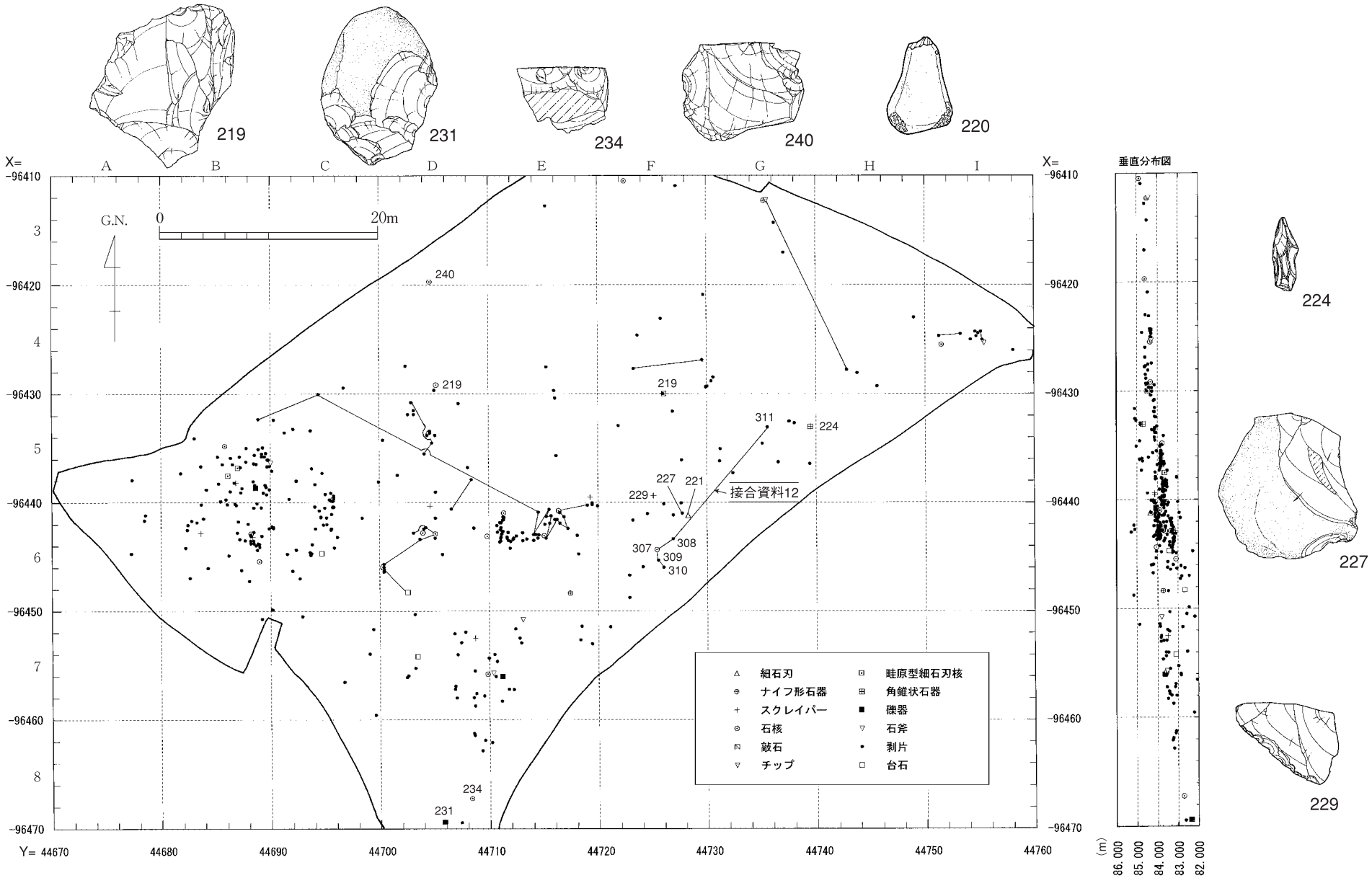
第67図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　砂岩製石器器種別分布図（S＝1/667）



第68図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　黒曜石製石器産地別分布図（S＝1/667）



第69図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　黒曜石製石器器種別分布図（S＝1/667）



第70図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器器種別分布図（S＝1/400）

⑶ 遺物

遺物の器種及び石材組成は第13表に、遺跡全体における石器の分布状況は第30図・第31図に掲載した。また石器の各石材毎に器種別の分布状況を第64図～第70図に示した。

第Ⅳ文化層では石器707点が出土した。器種別の内訳は、石鏃３点、細石刃18点、細石刃核５点、畦原型細石刃核７点、船野型細石刃核１点、ナイフ形石器21点、角錐状石器３点、スクレイパー18点、礫器４点、石核28点、マイクロブランク３点、石斧３点、台形石器３点、石皿１点、台石16点、剥片544点、チップ15点である。そのうち、251点を掲載した。石器の分布状況や器種・石材の組成状況、接合状況は前項で具体的に述べた。ここでは、掲載した251点の石器の状況、接合資料の状況を解説する。

○石器

接合資料を除く石器石材として、頁岩製27点、珪質頁岩製７点、黒曜石製38点（桑ノ木津留産系13点、日東産系２点、針尾島産系21点、姫島産系１点、阿蘇象ヶ鼻産系１点）、砂岩製17点、チャート製８点、ホルンフェルス製34点、流紋岩製９点、尾鈴山酸性岩類製12点、凝灰岩製４点を内訳とする計156点を掲載した。

石器出土の状況として、細石刃、細石刃核が本文化層に集中して出土した。細石刃核の中では、畦原型細石刃核、船野型細石刃核が出土した。また、ナイフ形石器も21点と本文化層に集中して出土している。遺物集中域・石器ブロック内の石器の密度も他の文化層に比べて高い。

ここで特筆されるのは畦原型細石刃核の出土である。畦原型細石刃核は南九州の一部に局地的に分布するのもである。細石器文化の中では比較的新しい時期に位置づけられている。本遺跡から出土した畦原型細石刃核７点は、ML１下（Ⅴa）層から２点、Kr-kb（Ⅴb）層から５点出土した。平坦面から斜面部に移行する位置での出土である。当時の位置より若干動いた可能性が残るが、本文化層に値する層からの出土である。石材も頁岩、珪質頁岩、砂岩、凝灰岩と多種にわたる。

剥片とチップが合わせて559点出土した。本文化層出土石器の約８割にあたる。遺跡内で石器製作が盛んに行われていたことが推察される。剥片の特色として頁岩のそれに約５㎝～10㎝程度の比較的大型のものが多いことがあげられる。

以下、第15表～第20表において石材毎に石器の解説を加える。

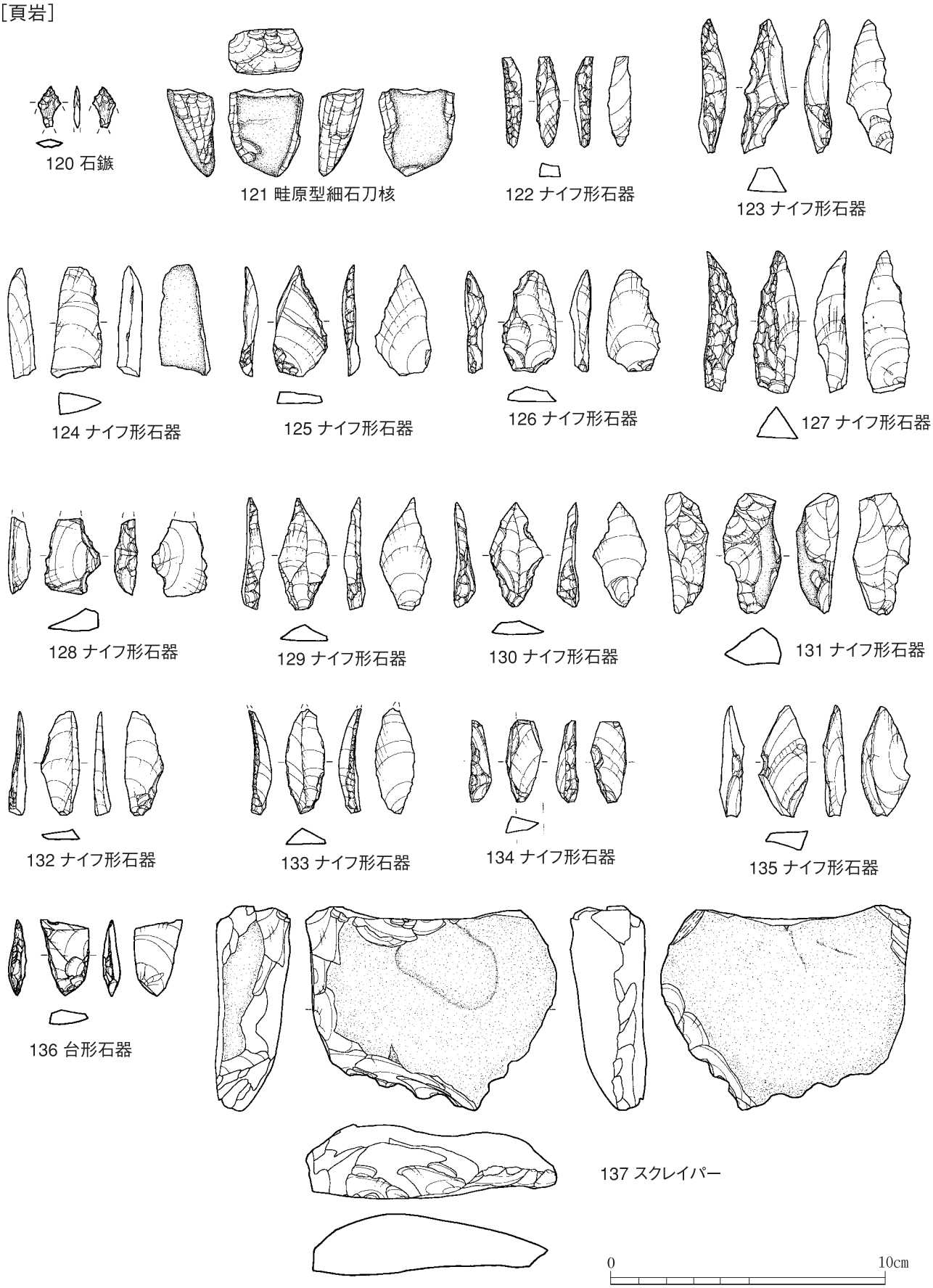
レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1（遺跡層序）	出土層2（東九州層序）	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高（m）	長さ（㎝）	幅（㎝）	厚さ（㎝）	重量（g）	備考
【頁岩】（第71図　120～146）																	
120	1365	F4-1	－	Ⅴb上	Kr-Kb	B－1365	石鏃	Ⅲ	－	-96424.880	44722.500	84.708	1.50	0.80	0.20	0.20	石鏃先端部のみ残り、基部の状況は不明。微細な調整を施していることが伺われる。
121	695	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－695	畦原型細石刃核	－	－	-96439.490	44689.120	83.614	3.30	2.80	1.75	17.30	畦原型細石刃核である。礫分割後の主要剥離面に調整痕を残す。左右両側面に細石刃を剥離した痕痕を残す。正・裏面下部に剥離痕を認める。
122	448	D5-2	－	Ⅴb上	Kr-Kb	A－448	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96437.710	44703.810	84.048	3.30	0.95	0.75	2.10	左右両側縁部に腹面からの調整を入れ加工を施す。先端部は欠損している。
123	539	C6-4	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－539	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96444.190	44695.600	83.561	4.50	1.80	1.15	6.30	左側縁部に腹面からの調整を入れ刃潰し加工が施されている。基部加工もなされている。
124	1255	E3-4	－	Ⅴb中	Kr-Kb	B－1255	ナイフ形石器	Ⅲ	－	-96412.450	44716.550	84.659	4.05	1.90	1.00	6.70	自然面を残すナイフ形石器である。刃部に使用痕剥離が認められる。
125	1264	G3-4	石ブA	Ⅴb下	Kr-Kb	B－1264	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96413.970	44739.050	84.495	4.00	2.00	0.70	4.00	右側縁部、基部両縁に腹面からの調整を施している。
126	1270	G3-4	石ブA	Ⅴb下	Kr-Kb	B－1270	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96414.560	44737.010	84.493	3.80	2.00	0.80	5.10	左側縁部に腹面からの調整を施し刃潰し加工をなす。刃部に使用痕剥離を認める。
127	1275	I4-3	集中A	Ⅴb下	Kr-Kb	B－1275	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96426.100	44757.300	84.546	5.20	1.65	1.25	9.00	左側縁面に背・腹面からの対向調整を入れ加工を施す。刃部には刃こぼれ様の微細な剥離を若干認める。
128	1282	G3-3	石ブA	Ⅴa	ML1下	B－1282	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96415.280	44738.280	84.633	2.80	2.05	0.80	4.10	横剥ぎの剥片を使用。右側縁には腹面からの調整を施す。刃部には使用痕剥離を認める。先端は欠損している。

第15表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表１

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
129	1302	G3-3	石ブA	Vb上	Kr-Kb	B－1302	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96416.570	44738.360	84.608	4.10	1.85	0.80	4.10	基部加工を腹面側から施す。左側縁部に剥離痕が認められる。
130	1307	G3-3	石ブA	Vb	Kr-Kb	B－1307	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96416.580	44739.000	84.546	3.85	2.00	0.80	4.00	基部加工を腹面側から施す。右側縁部に剥離痕が認められる。
131	1326	H4-3	集中A	Vb上	Kr-Kb	B－1326	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96425.650	44749.480	84.597	4.50	2.15	1.60	12.60	左側縁部を腹面から調整を入れ刃潰し加工を施している。上部（先端部）は欠損している。背面には自然面を残す。
132	1355	F4-3	－	Vb	Kr-Kb	B－1355	ナイフ形石器	Ⅰ	－	-96426.020	44728.480	84.374	3.80	1.40	0.75	2.40	左側縁に腹面からの基部加工、刃潰し加工を施している。
133	1362	G4-1	－	Vb	Kr-Kb	B－1362	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96422.900	44730.310	84.532	3.80	1.95	0.80	3.60	左右両側縁部に腹面からの調整を入れ加工を施す。先端部は欠損している。
134	1374	E4-3	－	Va	ML1下	B－1374	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96429.300	44717.450	84.864	3.00	1.35	0.85	2.90	左右両側縁に腹面からの調整を入れ、刃潰し加工、基部加工がなされている。
135	1377	G4-2	－	Vb中	Kr-Kb	B－1377	ナイフ形石器	Ⅲ	－	-96428.630	44733.020	84.915	4.00	1.85	0.80	4.80	横剥ぎの剥片を使用。刃部に微細な剥離を認める。刃潰し加工が顕著に認められない。
136	1318	H5-1	－	Vb上	Kr-Kb	B－1318	台形石器	－	－	-96431.580	44748.700	85.035	2.80	1.80	0.65	2.90	左右両縁部に細かい調整を入れている。刃部には微細な剥離痕を残す。
137	754	C6-3	集中D	Va上	ML1下	A－754	サイドスクレイパー	－	－	-96445.900	44696.450	83.238	7.40	9.15	2.80	241.00	大形の扁平礫を使用。左側面から下面にかけて腹面から調整を入れ、刃部を形成している。
138	289	E6-1	集中A	Vb	Kr-Kb	A－289	サイドスクレイパー	－	－	-96443.700	44710.750	83.939	7.80	8.80	1.70	63.40	右側縁下部に腹面から調整を入れ加工を施している。飛騨利息縁下部に微細な剥離を認める。
139	1313	G4-4	—	Vb中	Kr-Kb	B－1313	サイドスクレイパー	－	1313＋1314で接合	-96420.500	44735.050	84.687	10.00	4.00	1.20	34.50	右側縁部に腹面から調整を加え刃部を作る。使用中または製作中に折れが生じたと考えられる。
	1314	G4-4	—	Vb下	Kr-Kb	B－1314	サイドスクレイパー	－		-96421.380	44735.490	84.566					
140	564	C5-4	集中D	Vb下	Kr-Kb	A－564	サイドスクレイパー（抉入）	－	－	-96430.400	44695.340	83.981	7.70	4.00	1.80	38.20	縦長剥片を使用。左右両側縁に背面からの調整を入れ、刃部を作り出している。右側縁部に大きく抉りをもつ。
141	466	E7-2	集中C	Vb	Kr-Kb	A－466	エンドスクレイパー	－	－	-96455.210	44710.850	83.572	10.10	5.20	2.60	138.30	大形の縦長剥片を素材とする。左右両縁部、下縁部に調整を入れ加工を施している。背面に複数の剥離面を残す。
142	836	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－836	石核	－	778＋836で接合	-96441.710	44686.900	83.336	5.30	7.30	6.50	284.30	打面を繰返し移動させて、不定形の剥片を剥離している、裏面には自然面を残す。
	778	C6-1		Vb	Kr-Kb	A－778	剥片	－		-96442.250	44690.230	83.322					
143	1103	E5-2	－	Vb上	Kr-Kb	A－1103	石核	－	－	-96435.900	44712.790	84.238	7.40	10.40	4.80	381.60	礫分割後、上面を打面に剥片を剥離している。
144	327	C5-2	集中D	Vb	Kr-Kb	A－327	剥片	－	－	-96436.180	44693.800	83.810	7.70	5.20	2.35	70.70	背面に剥片剥離の痕と自然面を残す。左側面稜部には微細な剥離痕を有する。
145	752	B5-2	集中D	Va	ML1下	A－752	剥片（打面再生）	－	－	-96437.900	44683.180	83.540	9.40	5.40	2.95	72.00	剥片剥離を繰り返した後、打面を作り出すために剥離された打面再生剥片である。
146	472	E7-3	集中C	Va	ML1下	A－472	剥片（微細剥離）	－	－	-96455.110	44716.010	83.726	8.00	4.30	1.75	52.50	縦長剥片。右側縁部、上縁部に微細な剥離痕を認める。
【珪質頁岩】（第73図・第74図　147～153）																	
147	723	B5-4	集中D	Vb下	Kr-Kb	A－723	畦原型細石刃核	－	－	-96433.720	44687.880	83.800	3.00	4.00	1.85	22.20	礫分割後にできた主要剥離面を打面とし、左右両面から細石刃核を作り出している。
148	1387	F5-1	－	Vb	Kr-Kb	B－1387	ナイフ形石器	Ⅱ	－	-96432.400	44720.760	84.279	2.70	1.00	0.55	1.40	基部に腹面からの調整を施す。先端部は欠損している。
149	763	C6-1	集中D	Va下	ML1下	A－763	スクレイパー	－	－	-96441.000	44693.000	83.275	5.00	5.15	2.00	43.00	下部と左側縁部に調整痕を残す。
150	835	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－835	石核	－	－	-96441.880	44687.120	83.352	4.00	5.30	4.00	78.20	作業面転位を繰り返しながら、不定形の剥片を剥離している。
151	56	B6-3	集中D	Va上	ML1下	A－56	剥片	－	－	-96447.160	44687.170	82.772	4.60	4.00	1.55	19.00	背面に剥片剥離の痕と自然面を残す。
152	1280	G3-1	石ブA	Vb	Kr-Kb	B－1280	剥片（二次加工）	－	1280＋1420で接合	-96413.080	44734.510	84.575	4.85	3.40	0.95	11.80	縦長剥片で、右側縁部と背面上部に加工痕を残す。加工中、腹面からの打撃で分割したものと推察できる。
	1420	G3-1		Vc	MB1	B－1420	剥片（二次加工）	－		-96412.000	44733.450	84.141					
153	1276	G3-1	石ブA	Vb	Kr-Kb	B－1276	剥片（二次加工）	－	1276＋1510で接合	-96413.250	44734.050	84.531	5.80	2.30	0.85	9.80	縦長剥片で、左側縁上部と腹面上部に加工痕を残す。加工中、腹面からの打撃で分割、欠損したものと推察できる。
	1510	G3-4		Vc	MB1	B－1510	剥片（二次加工）	－		-96413.320	44735.960	84.122					
【黒曜石：桑ノ木津留】（第74図　155～166）																	
154	463	E7-2	－	Va	ML1下	A－463	細石刃	－	－	-96456.300	44711.700	83.676	0.90	0.50	0.20	－	下部は欠損している。
155	488	D6-4	集中A	Vb上	Kr-Kb	A－488	細石刃	－	－	-96442.610	44708.450	84.027	1.00	0.50	0.25	－	上・下部ともに欠損している。
156	604	C6-2	集中D	Va下	ML1下	A－604	細石刃	－	－	-96449.390	44694.030	82.558	1.90	0.55	0.30	－	背面上部に微細な剥離を認める。
157	1254	F2-2	－	Va上	ML1下	B－1254	細石刃	－	－	-96406.800	44724.650	84.959	1.55	0.75	0.25	0.20	下部は欠損している。
158	399	E7-1	集中C	Va上	ML1下	A－399	細石刃核	－	－	-96454.230	44710.830	83.772	2.05	1.50	1.80	5.70	正面及び左側面に細石刃を作り出した痕跡を残す。裏面・右側面には自然面を残す。
159	484	D6-4	集中B	Vb下	Kr-Kb	A－484	細石刃核	－	－	-96444.200	44707.050	83.807	1.75	2.35	1.20	4.00	細石刃剥離痕を正面、裏面に残す。一部自然面も残る。
160	537	D6-4	集中B	Vb上	Kr-Kb	A－537	細石刃核	－	－	-96441.820	44705.370	83.974	2.15	2.30	1.70	9.10	上面に打面を作り、正面・両側面で細石刃を作り出している。
161	865	D6-1	集中B	Va	ML1下	A－865	細石刃核	－	－	-96444.100	44700.600	83.650	2.90	1.00	1.30	3.10	正面に細石刃剥離の痕を残す。横断面は三角形を呈し、その二面には自然面をそのまま残す。
162	248	E8-1	－	Va上	ML1下	A－248	マイクロブランク	－	－	-96460.020	44712.080	83.547	2.25	2.95	1.95	11.30	剥片剥離面を打面にして、連続して剥片、細石刃を作り出している。
163	362	E7-1	集中C	Va下	ML1下	A－362	マイクロブランク	－	－	-96453.420	44712.630	83.795	2.15	1.95	1.10	3.60	正面に剥離の痕跡を残す。正面下部に細かい剥離痕を残す。
164	469	E7-2	集中C	Va下	ML1下	A－469	サイドスクレイパー	－	－	-96456.000	44713.910	83.730	2.55	1.95	0.70	2.90	背面下部に腹面から、腹面左側縁部に背面からの調整を入れている。背面には自然面を残す。
165	459	C4-3	－	Vb	Kr-Kb	A－459	石核	－	－	-96427.560	44695.420	84.183	2.20	1.10	1.70	3.00	上下に打面を変えながら剥片剥離を行っている。左側面に一部自然面を残す。
166	762	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－762	剥片（微細剥離）	－	－	-96441.480	44693.890	83.595	3.00	5.10	1.05	9.90	横剥ぎの剥片の両側縁に連続して丁寧で微細な剥離を認める、背面に自然面を残す。

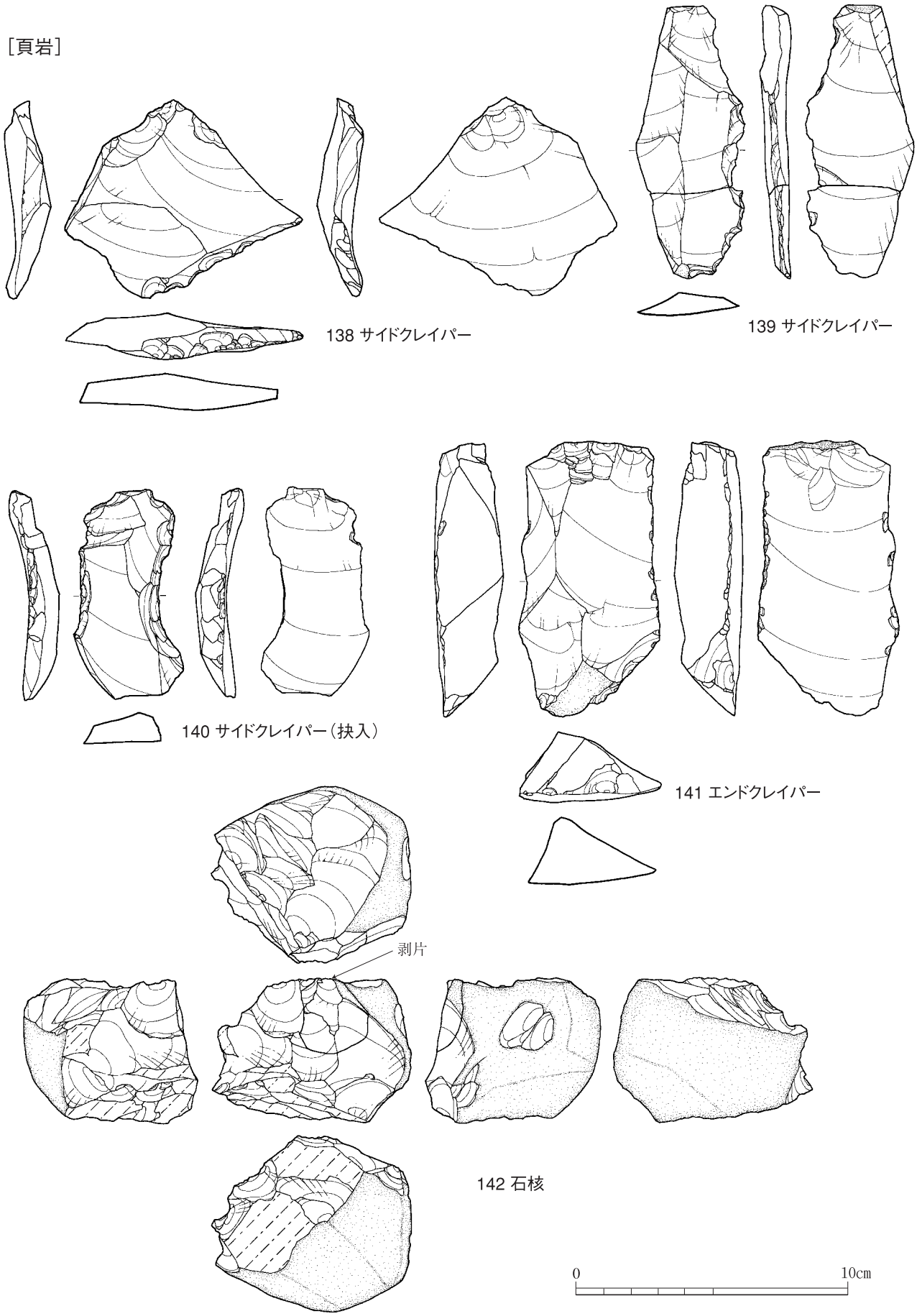
第16表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表２

［頁岩］

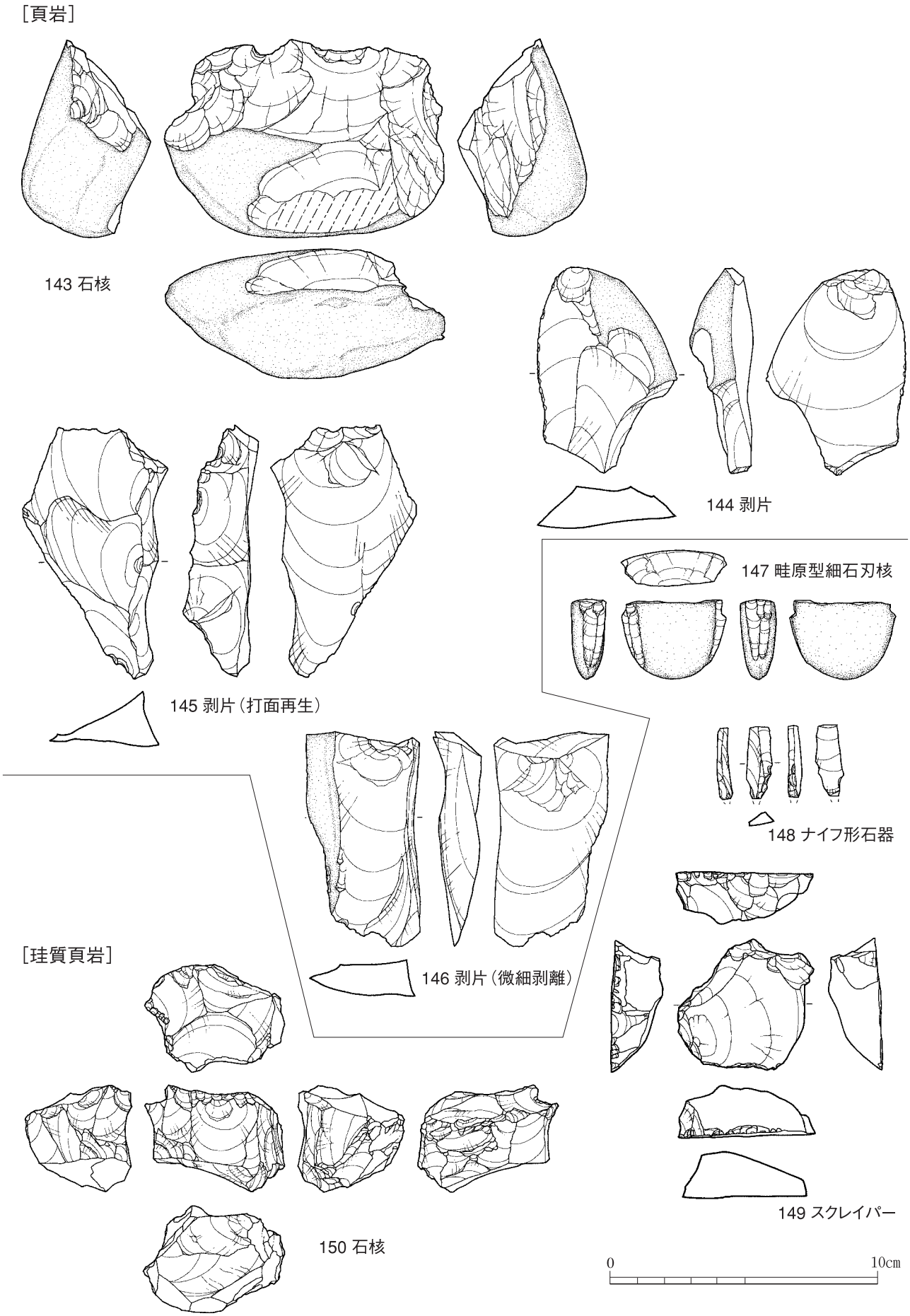


第71図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図１（S＝1/2）

［頁岩］



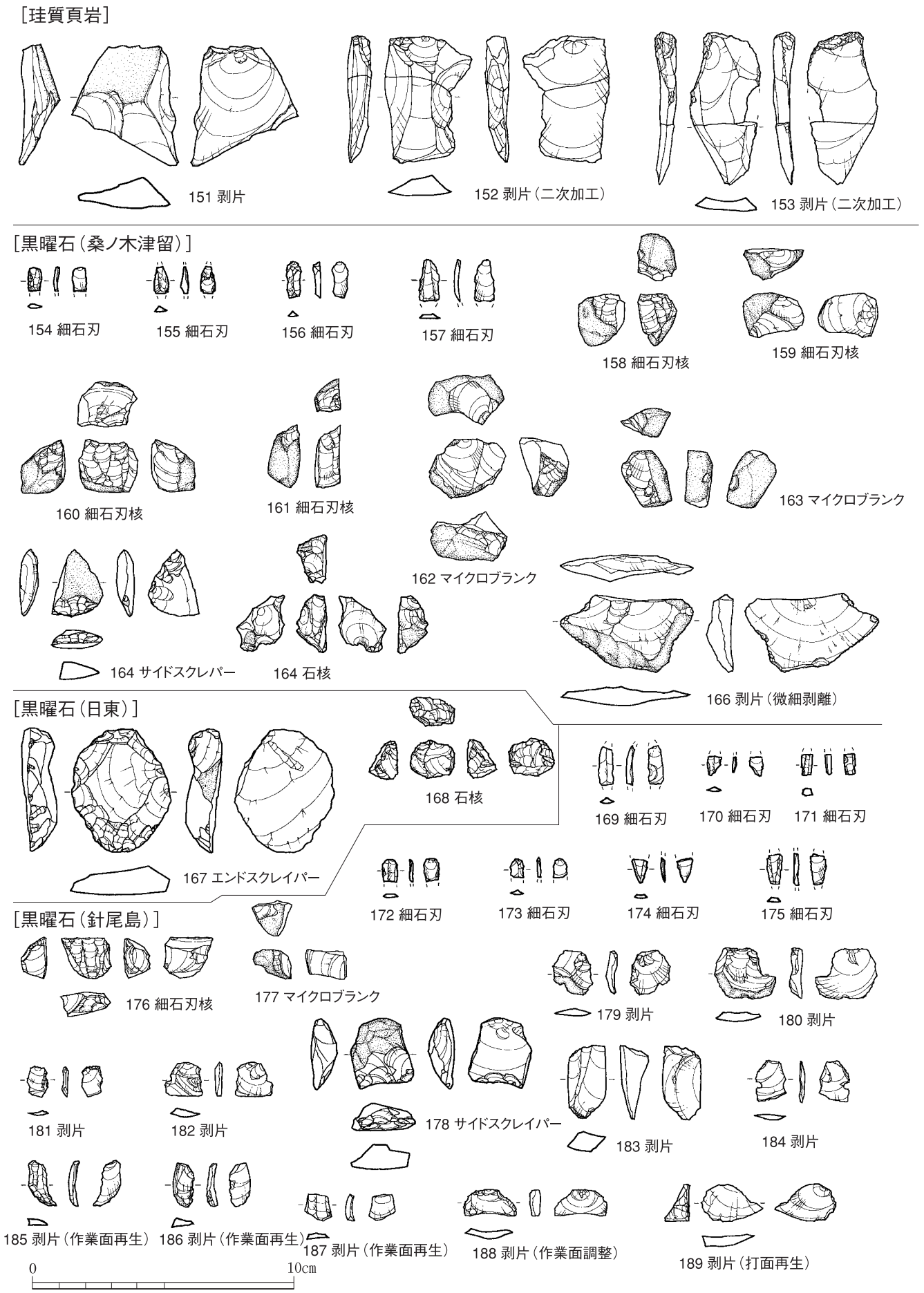
第72図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図２（S＝1/2）



第73図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図３（S＝1/2）

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【黒曜石：日東】（第74図　167・168）																	
167	855	E7-4	集中C	Vb	Kr-Kb	A－855	エンドスクレイパー	－	－	-96452.200	44718.300	83.701	4.70	3.80	1.40	23.70	背面下部・左側縁部を中心に細かな加工を入れ刃部を作り出している。
168	442	E7-2	集中C	Vb	Kr-Kb	A－442	石核	－	－	-96457.900	44713.720	83.588	1.60	1.70	1.10	2.30	多方向から剥片を剥離した痕が残る。
【黒曜石：針尾島】（第74図　169～189）																	
169	356	E6-2	－	Va下	ML1下	A－356	細石刃	－	－	-96451.650	44712.450	83.820	1.50	0.55	0.35	0.10	上・下部ともに欠損している。
170	364	E7-1	集中C	Va上	ML1下	A－364	細石刃	－	－	-96453.640	44711.880	83.797	0.75	0.50	0.10	－	上部は欠損している。
171	368	E7-1	集中C	Va上	ML1下	A－368	細石刃	－	－	-96454.250	44712.030	83.764	0.80	0.40	0.20	－	上部は欠損している。
172	393	E7-1	－	Vb上	Kr-Kb	A－393	細石刃	－	－	-96454.080	44712.750	83.678	0.85	0.55	0.10	0.10	下部は欠損している。
173	397	E7-1	集中C	Vb上	Kr-Kb	A－397	細石刃	－	－	-96454.190	44711.590	83.655	0.70	0.50	0.15	－	下部は欠損している。
174	465	E7-2	集中C	Vb上	Kr-Kb	A－465	細石刃	－	－	-96455.040	44714.400	83.726	0.90	0.60	0.20	－	上部は欠損している。
175	530	D7-4	集中C	Vb	Kr-Kb	A－530	細石刃	－	－	-96453.880	44707.420	83.409	1.15	0.55	0.30	－	上・下部ともに欠損している。
176	359	E7-1	集中C	Va下	ML1下	A－359	細石刃核	－	－	-96453.020	44713.580	83.799	1.60	1.95	1.05	2.70	上部からの打撃で複数枚の細石刃を作り出している。
177	372	E7-2	集中C	Va上	ML1下	A－372	マイクロブランク	－	－	-96454.720	44710.820	83.728	1.20	1.55	1.60	1.60	正面・上面に自然面を残す。
178	357	E7-1	集中C	Va下	ML1下	A－357	サイドスクレイパー	－	－	-96452.250	44713.000	83.825	2.85	2.70	1.00	6.00	背・腹面下部に対向調整を入れ、刃部を作り出している。
179	238	E7-2	集中C	Va上	ML1下	A－238	剥片	－	－	-96455.160	44714.680	83.852	1.70	1.55	0.40	0.80	背面に自然面を残す。腹面左側縁部に若干の剥離痕を認める。
180	471	E7-2	集中C	Va	ML1下	A－471	剥片	－	－	-96455.860	44714.730	83.759	1.90	2.30	0.50	1.70	背面下部に自然面を残す。
181	473	E7-3	集中C	Vb	Kr-Kb	A－473	剥片	－	－	-96455.200	44717.280	83.734	1.25	0.85	0.25	0.20	小剥片。
182	587	F6-2	－	Vb上	Kr-Kb	A－587	剥片	－	－	-96445.510	44721.820	84.206	1.25	1.40	0.25	0.40	黒曜石（針尾島産系）の小剥片である。
183	683	F7-1	－	Va	ML1下	A－683	剥片	－	－	-96452.600	44720.100	84.950	2.80	1.50	1.05	3.10	正面に剥片剥離痕を認める。
184	1277	G3-4	石ブA	Vb	Kr-Kb	B－1277	剥片	－	－	-96412.310	44736.700	84.501	1.55	1.20	0.25	0.40	黒曜石（針尾島産系）の小剥片である。
185	250	D7-3	集中C	Va上	ML1下	A－250	剥片（作業面再生：細石刃核）	－	－	-96458.440	44709.300	83.390	1.65	1.00	0.40	0.30	細石刃を作り出するための作業面再生剥片である。
186	252	D6-1	集中B	Va	ML1下	A－252	剥片（作業面再生：細石刃核）	－	－	-96440.980	44700.580	83.879	1.70	0.70	0.40	0.40	細石刃核の作業面再生剥片である。
187	369	E7-1	集中C	Va上	ML1下	A－369	剥片（作業面再生：細石刃核）	－	－	-96454.400	44713.070	83.820	1.05	1.00	0.30	0.20	細石刃核の作業面再生剥片である。
188	249	E7-2	集中C	Va上	ML1下	A－249	剥片（作業面調整）	－	－	-96459.480	44712.200	83.598	1.00	2.00	0.45	0.10	黒曜石（針尾島産系）の作業面調整剥片である。
189	868	B6-4	集中D	Va下	ML1下	A－868	剥片（打面再生：細石刃核）	－	－	-96440.220	44686.500	83.525	1.40	2.40	0.90	1.70	細石刃核の打面再生剥片である。
【黒曜石：姫島】（第75図　190）																	
190	100	E7-2	集中C	Va上	ML1下	A－100	石鏃	ⅠA	－	-96458.800	44711.700	84.685	2.10	1.85	0.50	0.70	ほぼ正三角形を呈する。右脚部は欠損しているが、基部に浅い抉りを入れていると推察できる。
【黒曜石：象ヶ鼻】（第75図　191）																	
191	869	B5-3	集中D	Va下	ML1下	A－869	剥片	－	－	-96439.650	44685.900	83.525	2.35	2.70	1.20	4.40	本遺跡から１点だけ出土した阿蘇「象ヶ鼻」の黒曜石剥片である。
【砂岩】（第75図～第77図　192～208）																	
192	155	B6-2	集中D	Va	ML1下	A－155	畦原型細石刃核	－	－	-96446.420	44681.380	82.447	2.70	2.85	1.15	11.90	畦原型細石刃核である。左右両側面に細石刃作り出した痕を残す。
193	1309	H4-3	集中A	Va	ML1下	B－1309	台形石器	－	－	-96426.550	44748.500	84.634	2.60	1.60	0.70	2.50	右側面に裏面からの調整を認める。刃部には使用痕が残る。
194	1312	H4-3	集中A	Vb	Kr-Kb	B－1312	台形石器	－	－	-96427.400	44746.300	84.639	2.80	2.30	0.75	4.10	右側縁部のみ背面から調整を施す。刃部は欠損を残す。
195	429	C4-3	－	Vb上	Kr-Kb	A－429	礫器（チョッピング）	－	－	-96425.310	44697.830	84.425	10.95	11.45	5.50	666.20	下部に刃部を作り、下方から部分的に対向調整を施す。
196	505	E7-2	集中C	Va	ML1下	A－505	敲石	－	－	-96456.130	44711.500	83.592	15.90	5.40	2.90	375.00	棒状扁平礫を使用、下面、右側面に敲打痕を残す。
197	517	D7-3	集中D	Va下	ML1下	A－517	敲石	－	－	-96457.280	44707.650	83.143	13.00	11.30	4.75	1072.00	右側面下部に浅い敲打痕を残す。
198	788	B6-4	集中C	Va	ML1下	A－788	敲石	－	－	-96454.690	44701.910	82.835	11.45	9.10	4.20	595.00	円形扁平礫を使用。上下面、裏面に使用痕を残す。
199	669	D7-1	－	Va	ML1下	A－669	敲石	－	－	-96443.850	44688.750	83.214	22.15	8.65	4.30	1154.00	棒状の扁平礫を使用。上下面に使用痕を残す。
200	809	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－809	敲石	－	－	-96442.050	44688.710	83.379	10.70	8.40	4.80	590.00	礫の上下側面の複数箇所に使用痕を残す。
201	1129	D6-1	－	Vb	Kr-Kb	A－1129	敲石	－	－	-96443.300	44704.700	83.604	6.55	5.00	4.20	180.00	円形小礫を使用。下部には使用に伴う節理面の剥がれが認められる。
202	407	D6-2	集中B	Va	ML1下	A－407	敲石	－	－	-96446.550	44704.520	83.854	9.30	6.90	4.60	441.00	正面上下部、裏面上下部、計４箇所に敲打痕を残す。
203	485	D6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A－485	磨石	－	－	-96443.680	44707.300	83.887	9.75	8.20	6.20	655.00	正面に擦り痕を残すが、ややはっきりしない。
204	501	E7-1	集中C	Vb	Kr-Kb	A－501	敲石＆磨石	－	－	-96452.890	44710.850	83.707	8.20	3.50	2.90	109.00	棒状小礫を使用。上下面に敲打痕、正面、左側面に擦り痕を残す。
205	323	B5-3	集中D	Va	ML1下	A－323	台石	－	－	-96439.210	44689.010	83.890	21.95	26.35	10.30	7200.00	下部は欠損。節理により扁平巨礫。中央に使用痕が残る。
206	623	E5-4	－	Vb下	Kr-Kb	A－623	台石	－	－	-96433.300	44719.500	84.157	21.70	15.95	5.90	2298.00	長さ21cmを超す扁平な巨礫。正面中央部に使用痕を残す。
207	184	C7-1	－	Va	ML1下	A－184	石皿	－	－	-96453.020	44699.800	83.805	34.90	30.70	10.45	15500.00	正面中央に擦り痕が残る。長さ30cmを超す巨礫。
208	863	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－863	台石	－	－	-96442.800	44687.750	83.220	23.70	16.30	10.50	4483.00	上部・下部は欠損。正面中央に浅い窪みが残る。

第17表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表３

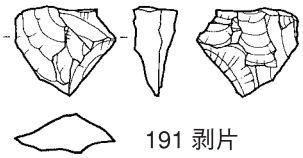


第74図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図４（S＝1/2）

［黒曜石（姫島）］

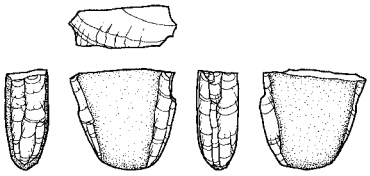
190 石鏃

［黒曜石（象ヶ鼻）］

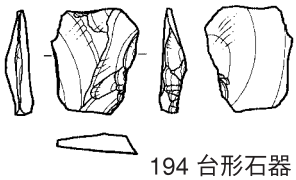


191 剥片

［砂岩］

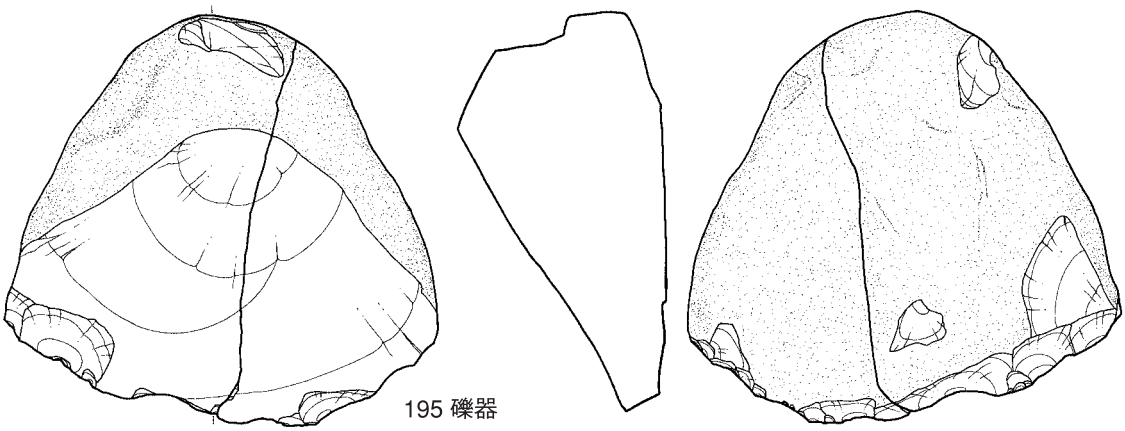


192 畦原型細石刃核



194 台形石器

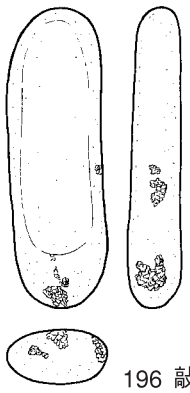
193 台形石器



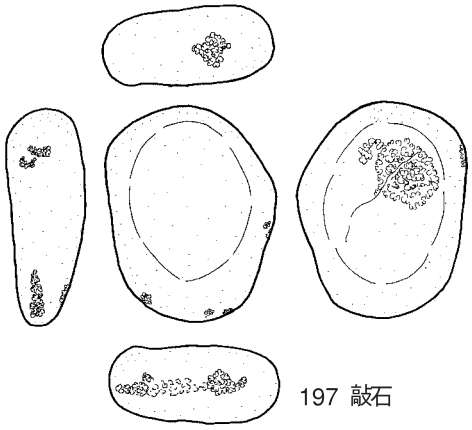
195 礫器

0　10cm

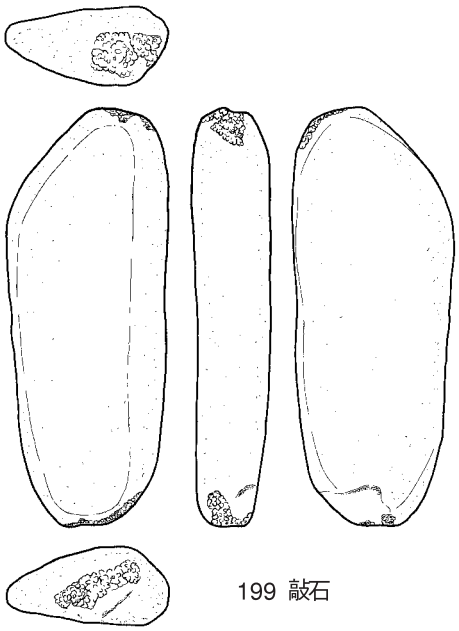
（190～195）



196 敲石



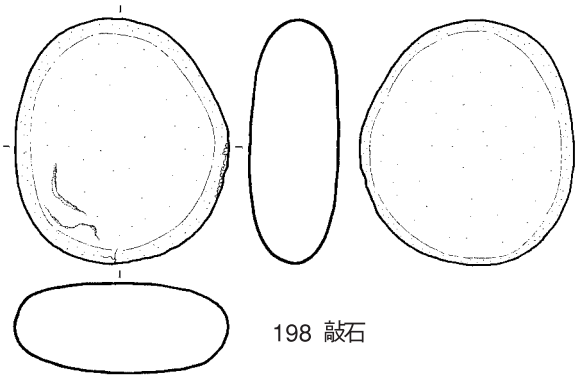
197 敲石



199 敲石

0　20cm

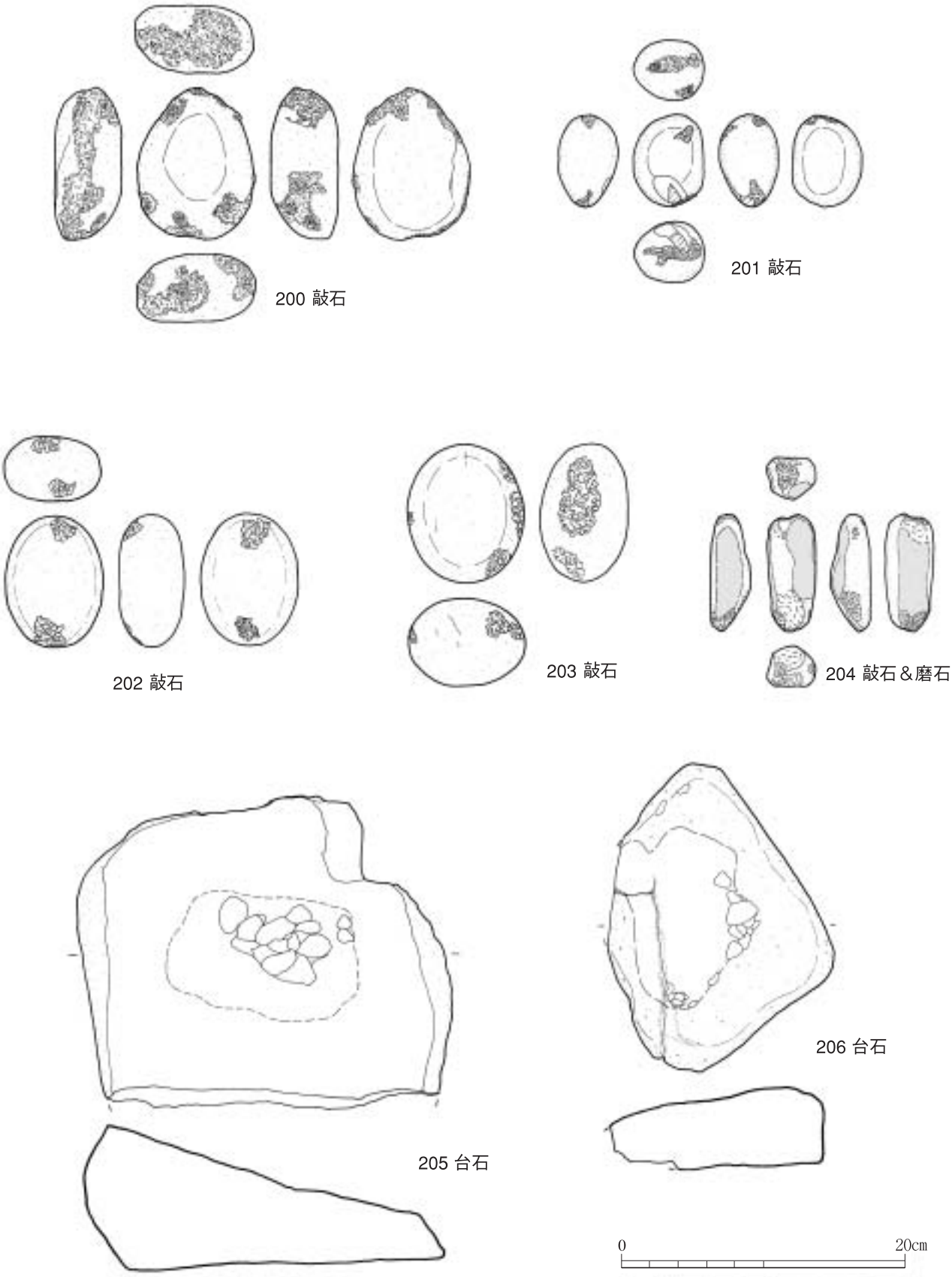
（196～199）



198 敲石

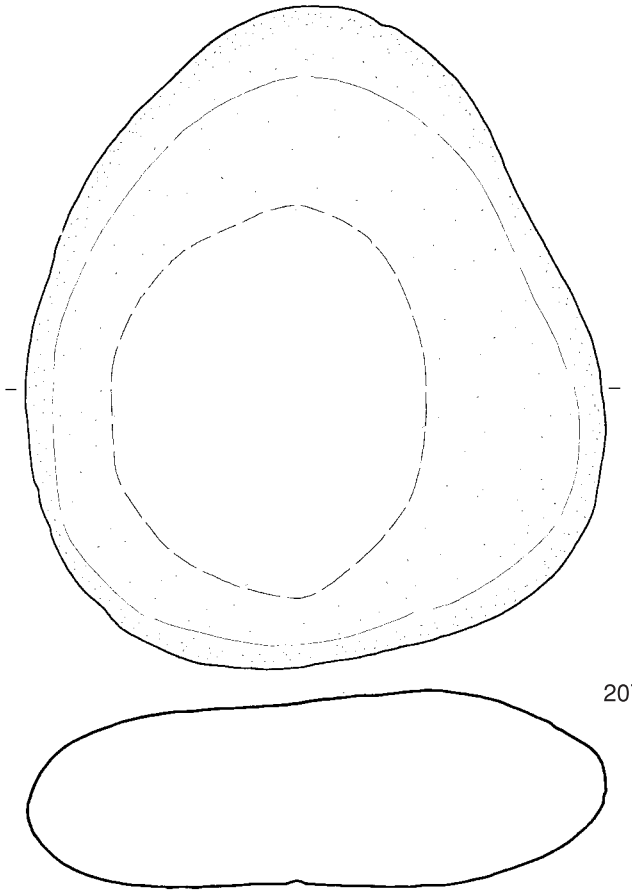
第75図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図５（S＝1/2（190～195）　S＝1/4（196～199））

［砂岩］

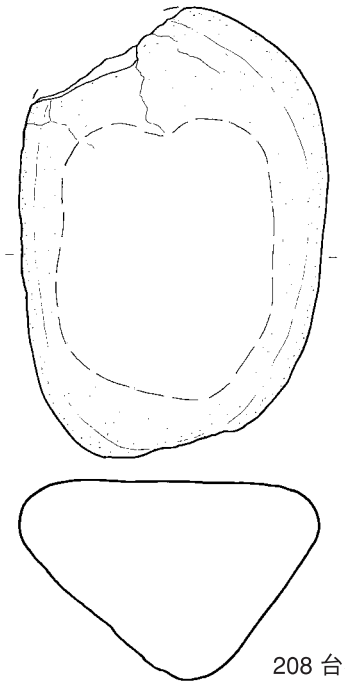


第76図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図６（S＝1/4）

［砂岩］



207 石皿



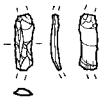
208 台石

0　20cm
（207、208）

［チャート］

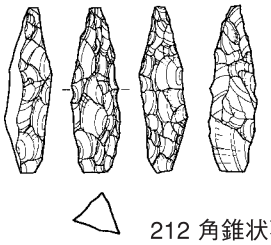
0　10cm
（209～218）

209 石鏃

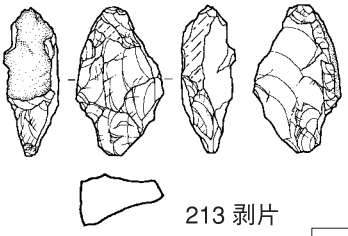


210 細石刃

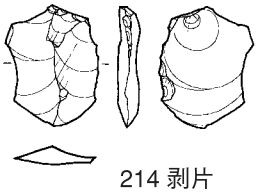
211 細石刃



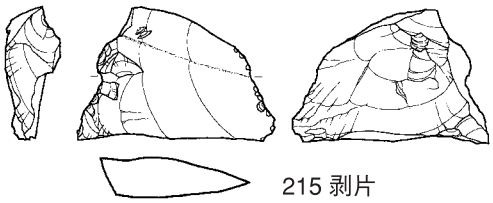
212 角錐状石器



213 剥片



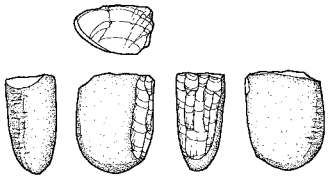
214 剥片



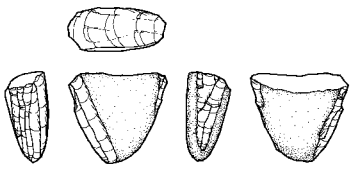
215 剥片

216 剥片（二次加工）

［ホルンフェルス］



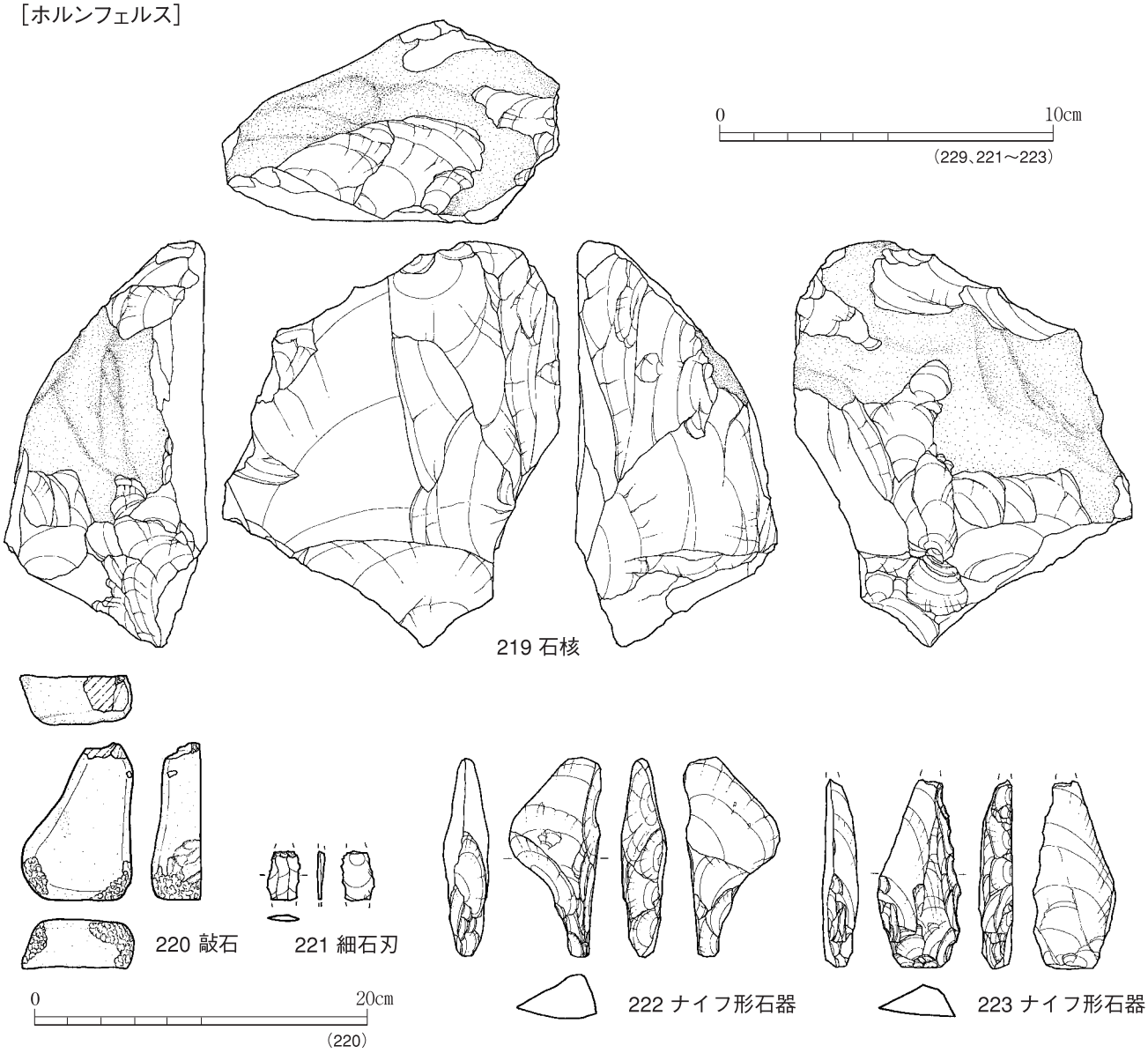
217 畦原型細石刃核



218 畦原型細石刃核

第77図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図７（S＝1/2（209～218）　S＝1/4（207･208））

［ホルンフェルス］



第78図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図８（S＝1/2（219･221～223）　S＝1/4（220））

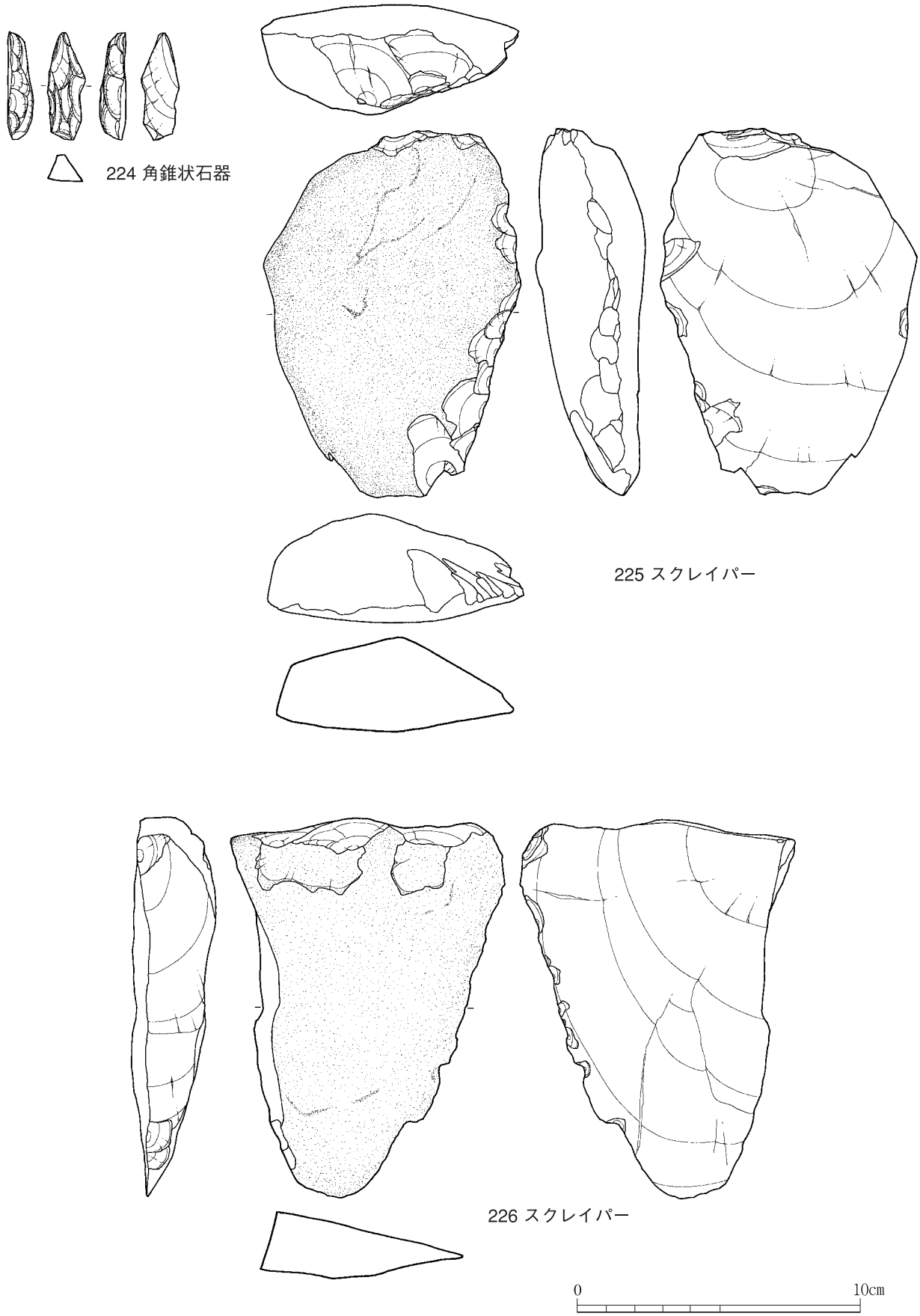
レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1（遺跡層序）	出土層2（東九州層序）	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高（m）	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
【チャート】（第77図　209～216）																	
209	436	E7-2	集中C	Vb	Kr-Kb	A－436	石鏃	ⅡB	－	-96455.250	44714.300	83.815	1.80	1.90	0.30	0.40	二等辺三角形を呈し、基部は平基である。
210	614	B5-4	集中D	Va	ML1下	A－614	細石刃	－	－	-96431.980	44687.800	84.170	1.45	0.50	0.25	0.10	上・下部ともに欠損している
211	1389	G3-1	石ブA	Vb	Kr-Kb	B－1389	細石刃	－	－	-96414.000	44734.500	84.570	1.00	0.35	0.15	－	下部は欠損している。
212	1328	H5-1	－	Vb	Kr-Kb	B－1328	角錐状石器	Ⅲ	－	-96434.790	44740.720	84.772	4.45	1.30	1.35	5.80	灰白色チャートを石材とする。左右両縁部は背・腹面両面からの対向調整を入れ、三面加工を施す。先端は欠損の加工性を残す。
213	500	E7-1	集中C	Va下	ML1下	A－500	剥片	－	－	-96452.300	44710.100	83.796	3.90	2.35	1.40	11.00	左側面に自然面を残す。背面に剥片を剥離した痕跡を残す。
214	769	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－769	剥片	－	－	-96442.550	44689.900	83.323	3.20	2.50	0.65	3.80	背面には剥片剥離の痕を残す。右側縁部には微細な剥離痕を認める。
215	1391	I4-4	－	Vb	Kr-Kb	B－1391	剥片	－	－	-96423.900	44755.300	84.848	3.50	5.25	1.50	18.50	右側縁部に微細な剥離痕を残す。
216	1345	G5-3	－	Vb	Kr-Kb	B－1345	剥片（二次加工）	－	－	-96439.050	44735.650	84.731	1.85	1.05	0.50	0.70	二次加工剥片。両側縁部に腹面からの加工を丁寧に施す。
【ホルンフェルス】（第78図～第88図　217～249）																	
217	729	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－729	畦原型細石刃核	－	－	-96437.540	44686.120	83.651	2.70	2.10	1.30	11.70	畦原型細石刃核である。分割された半円礫の右側面に細石刃を作り出した痕を認める。
218	696	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－696	畦原型細石刃核	－	－	-96436.830	44687.020	83.799	2.50	2.65	1.20	8.70	畦原型細石刃核である。左右両側面に細石刃を作り出した痕を残す。

第18表　旧石器時代　第IV文化層　石材別石器観察表４

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
219	431	D4-3	—	Va上	ML1下	A — 431	石核	—	—	-96429.210	44705.220	84.330	12.20	10.20	6.10	676.50	大形剥片素材の石核。腹面に打面を作り出しながら、縦長剥片を剥離したことが伺える。
220	1384	F4-3	—	Vb	Kr-Kb	B — 1384	敲石	—	—	-96429.990	44726.080	84.483	9.45	6.80	3.00	270.00	三角形を呈し、角に敲打痕を認める。節理により裏面は平坦である。
221	221	F6-4	—	Va上	ML1下	A — 221	細石刃	—	—	-96441.190	44728.250	84.365	1.40	0.95	0.20	0.20	上部・下部ともに欠損している。
222	591	E6-3	集中B	Vb下	Kr-Kb	A — 591	ナイフ形石器	II	—	-96448.370	44717.420	83.738	6.05	2.80	1.40	14.90	風化が激しく、稜は丸みを帯びる。二側縁加工で、裏面からの刃潰し調整、基部調整を認める。
223	1359	G3-4	石ブA	Vb	Kr-Kb	B — 1359	ナイフ形石器	II	—	-96412.290	44735.300	84.503	5.60	2.55	1.00	15.30	縦長剥片を素材とする二側縁加工。右側面及び左側面基部に裏面からの加工が施されている。
224	1347	G5-4	—	Vb下	Kr-Kb	B — 1347	角錐状石器	II	—	-96433.050	44739.490	84.700	3.80	1.35	1.05	4.70	風化が激しく、稜は丸みを帯びる。腹面からの調整が認められ、二面加工である。
225	335	E5-3	—	Vb	Kr-Kb	A — 335	スクレイパー	—	—	-96439.530	44719.270	84.136	12.90	9.10	3.90	506.40	大形の剥片を利用し、右側面に対向調整を入れ刃部を作り出している。
226	414	D6-1	—	Va下	ML1下	A — 414	スクレイパー	—	—	-96440.320	44704.610	83.786	13.40	9.70	9.70	309.10	大形剥片を使用。右側面裏面に微細な剥離痕を認める。
227	571	F6-4	—	Vb	Kr-Kb	A — 571	スクレイパー	—	—	-96441.000	44727.730	84.222	10.60	10.10	3.40	315.90	刃部に腹面からの打撃による剥離痕を残す。10cmを超す大形剥片である。
228	851	B6-1	集中D	Va下	ML1下	A — 851	サイドスクレイパー	—	—	-96442.850	44683.650	83.135	5.80	5.40	2.20	61.50	右側縁に背面から剥離を施し、刃部を作り出している。
229	334	F5-3	—	Vb	Kr-Kb	A — 334	サイドスクレイパー	—	—	-96439.390	44725.070	84.151	6.00	7.50	2.05	66.90	不定形の剥片を使用。斜形左側面に腹面から調整を施し、刃部を作り出している。
230	818	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 818	サイドスクレイパー	—	—	-96438.200	44686.850	83.624	6.75	3.25	2.50	56.10	縦長剥片を素材とし、左右側縁部に腹面からの調整を施し、刃部を作り出している。
231	67	D8-3	—	Va上	ML1下	A — 67	礫器(チョッパー)	—	—	-96469.400	44705.850	82.341	11.60	8.55	3.30	343.40	大形の片刃礫器（チョッパー）である。
232	707	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 707	礫器(チョッパー)	—	—	-96438.680	44688.680	83.607	9.60	11.50	4.50	531.90	刃部正面のみ下方から加工を加えたチョッパー。
233	504	E7-2	集中C	Va	ML1下	A — 504	礫器(チョッピング)	—	—	-96456.050	44711.210	83.639	17.45	13.40	4.50	1288.30	刃部を両面とも加工を施した大形のチョッピングツール。
234	64	D8-3	—	Va上	ML1下	A — 64	石核	—	—	-96467.240	44708.350	82.718	4.90	6.80	8.70	265.70	上面に節理を残す。鋭角部分を打面に転位しながら剥片を剥離している。
235	310	E6-1	—	Vb	Kr-Kb	A — 310	石核	—	—	-96440.980	44711.380	83.889	8.40	12.70	10.30	936.20	幅12cmを超す大形石核。鋭角部分を探し打面を転位させながら、剥片を作り出している。
236	483	D6-1	—	Vb	Kr-Kb	A — 483	石核	—	—	-96442.830	44703.970	83.736	9.10	8.10	3.80	213.30	鋭角部分を探しながら打面とし、複数枚の不定形の剥片を剥離している。
237	491	D6-4	集中B	Vb上	Kr-Kb	A — 491	石核	—	—	-96443.120	44709.850	84.006	11.70	10.65	4.00	570.00	打面を上下、左右に転位させながら背面、腹面から打撃を加え、不定形の剥片を剥離している。
238	527	D7-3	集中C	Va	ML1下	A — 527	石核	—	—	-96455.830	44709.850	83.554	12.10	13.70	5.50	1012.30	上下面に背面・腹面から打撃を加え、不定形の剥片を剥離している。
239	620	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A — 620	石核	—	—	-96443.080	44715.040	83.963	6.40	7.50	5.60	303.40	鋭角部分を探しながら打面とし、不定形の剥片を剥離している。多面体の石核である。
240	1257	D4-1	—	Vb上	Kr-Kb	B — 1257	石核	—	—	-96419.720	44704.650	84.612	7.10	8.90	5.90	327.80	打面を左右両面、上面を転位させながら、連続して剥片を剥離している。
241	1297	F3-1	—	Va	ML1下	B — 1297	石核	—	—	-96410.510	44722.470	84.887	11.00	7.00	10.50	668.70	右側面には広く自然面を残す。左側面に背面、腹面から打面を変えて剥片を剥離している。
242	355	E7-1	集中C	Vb上	Kr-Kb	A — 355	石斧	—	—	-96450.810	44713.100	83.810	18.20	5.80	5.20	536.30	同一地点に３分割の状態で出土。接合後、一個体の石斧として取り扱う。
243	523	E7-2	集中C	Vb	Kr-Kb	A — 523	石斧(未製品)	—	—	-96455.720	44710.360	83.527	14.80	6.00	2.50	221.30	石斧未製品と考える。左縁部に背腹両面から調整を加えて、下部に刃部を作り出した痕跡が残る。
244	639	C5-2	—	Vb	Kr-Kb	A — 639	石斧(未製品)	—	—	-96436.380	44690.020	83.838	9.90	4.50	2.60	108.40	左右両縁部に腹面からの調整を施し、石斧を作り出そうとしている。未製品である。
245	659	D7-1	集中C	Va	ML1下	A — 659	台石	—	—	-96454.200	44703.480	83.106	21.75	17.35	6.90	3746.00	正面に３箇所の浅い窪み(剥がれた痕)が残る。
246	307	E6-1	集中B	Vb	Kr-Kb	A — 307	剥片	—	—	-96443.200	44711.680	83.868	14.20	8.10	4.60	444.10	背面に不定形剥片の剥離痕を有する長さ14cmを超す大形剥片である。
247	590	E7-4	集中C	Vb	Kr-Kb	A — 590	剥片	—	—	-96452.680	44718.350	83.846	8.90	14.85	2.85	265.00	背面に不定形剥片の剥離痕を有する幅14cmを超す大形剥片である。
248	607	C5-1	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 607	剥片	—	—	-96433.250	44692.100	84.025	10.85	7.50	2.00	147.90	背面に自然面が残り、上部、右側部に剥離面を残す。
249	758	C5-1	集中D	Vb上	Kr-Kb	A — 758	剥片	—	—	-96432.410	44690.320	84.081	9.95	7.50	2.00	158.00	右側面稜部に微細剥離をもつ。
【流紋岩】（第88図　251～258）																	
250	45	D7-3	集中C	Vb上	Kr-Kb	A — 45	細石刃	—	—	-96458.120	44708.120	83.286	1.20	0.80	0.25	0.20	上部・下部ともに欠損している。
251	158	B6-2	集中D	Va	ML1下	A — 158	細石刃	—	—	-96448.850	44684.210	82.325	2.45	0.80	0.30	0.60	下部は欠損している。
252	605	C6-4	集中D	Va	ML1下	A — 605	細石刃	—	—	-96442.400	44695.490	83.527	1.20	0.45	0.20	—	上下部ともに欠損しいる。
253	322	F5-2	—	Vb上	Kr-Kb	A — 322	船野型細石刃核	—	—	-96437.410	44720.030	84.208	2.20	2.05	2.20	9.70	流紋岩製の船野型細石刃核である。
254	421	D6-3	—	Vb下	Kr-Kb	A — 421	角錐状石器	II	—	-96442.430	44700.980	84.427	8.30	2.40	1.90	25.40	縦長剥片を素材とし、左右両側面に対向調整を施す。基部は裏面にも左右からの調整が認められる。
255	1311	H4-3	—	Vb	Kr-Kb	B — 1311	石核	—	—	-96427.810	44746.690	84.631	4.00	4.40	2.60	43.10	裏面には自然面を残す。打面を転位させながら小さめの不定形な剥片を剥離している。
256	332	F5-2	—	Vb	Kr-Kb	A — 332	剥片	—	—	-96439.200	44721.350	84.162	10.50	6.60	3.00	127.30	長さ10cmを超す不定形の剥片。正面上部には微細な剥離痕が認められる。
257	718	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 718	剥片	—	—	-96435.120	44689.890	83.898	6.35	4.35	1.65	40.80	不定形の剥片。正面上下部に若干の剥離痕が認められる。
258	871	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 871	剥片（作業面再生：細石刃核）	—	—	-96439.700	44689.650	83.638	2.90	1.80	1.30	5.30	細石刃を作り出すための作業面再生剥片である。
【尾鈴山酸性岩類】（第89図～第91図　259～271）																	
259	514	D7-3	集中C	Va下	ML1下	A — 514	敲石	—	—	-96456.100	44709.050	83.409	8.70	6.45	5.70	412.00	上下面、右側面に敲打痕を残す。
260	585	C5-2	集中D	Vb	Kr-Kb	A — 585	敲石	—	—	-96438.890	44691.440	83.689	7.65	6.15	4.70	295.00	下面の使用痕は明確。正面上部にも使用痕を残す。礫表面はつるつるしている。
261	740	D6-2	—	Va	ML1下	A — 740	台石	—	—	-96448.310	44702.580	82.670	23.60	18.25	5.60	3145.00	扁平礫を使用。正面に浅い窪みがある。
262	36	C6-2	集中D	Va上	ML1下	A — 36	台石	—	—	-96447.400	44693.260	82.843	20.40	28.40	7.55	6950.00	楕円の巨礫。正面中央に浅い窪みを認める。
263	185	D7-1	集中C	Va下	ML1下	A — 185	台石	—	—	-96453.070	44704.520	84.335	19.40	30.30	9.40	4864.00	変形な三角形を呈する。正面中央に浅い窪み。正面下部に礫表面が剥がれた痕が残る。

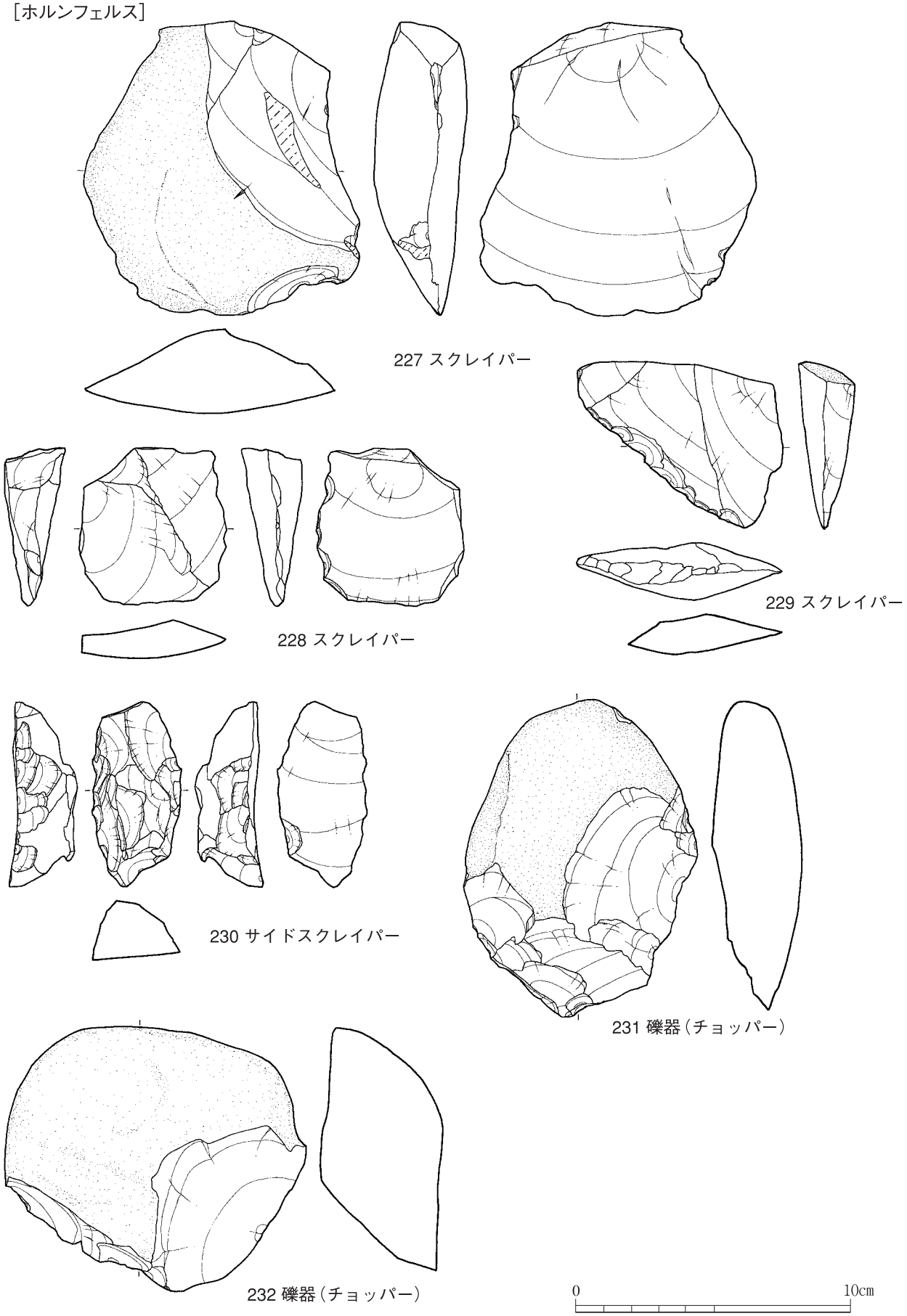
第19表　旧石器時代　第IV文化層　石材別石器観察表５

［ホルンフェルス］



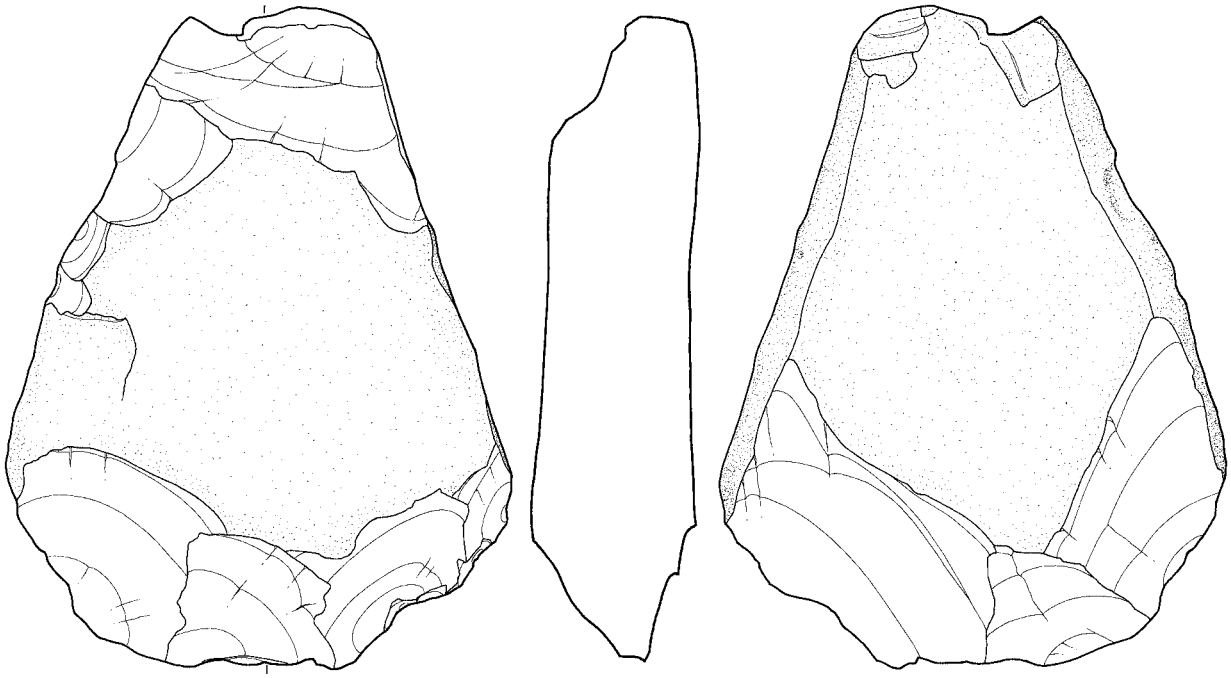
第79図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図９（S＝1/2）

［ホルンフェルス］

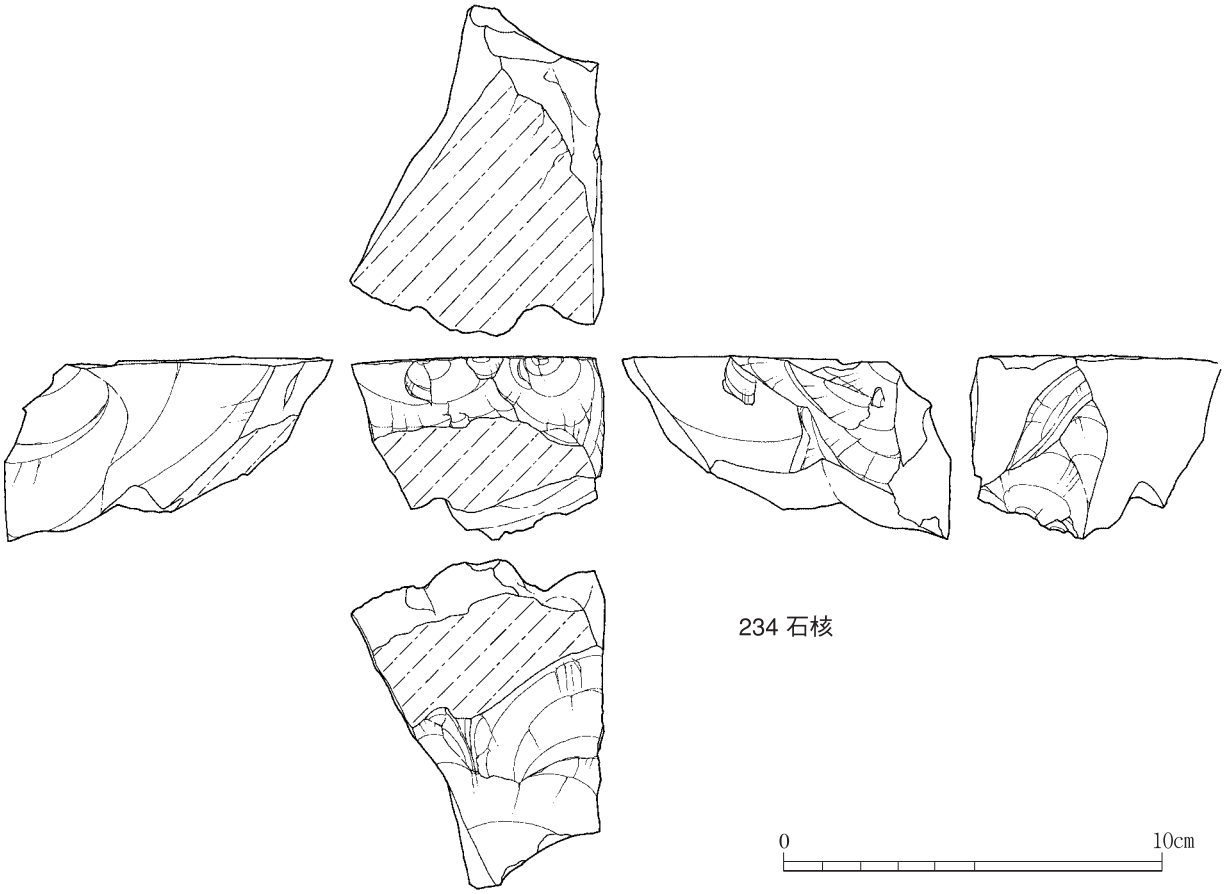


第80図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図10（S＝1/2）

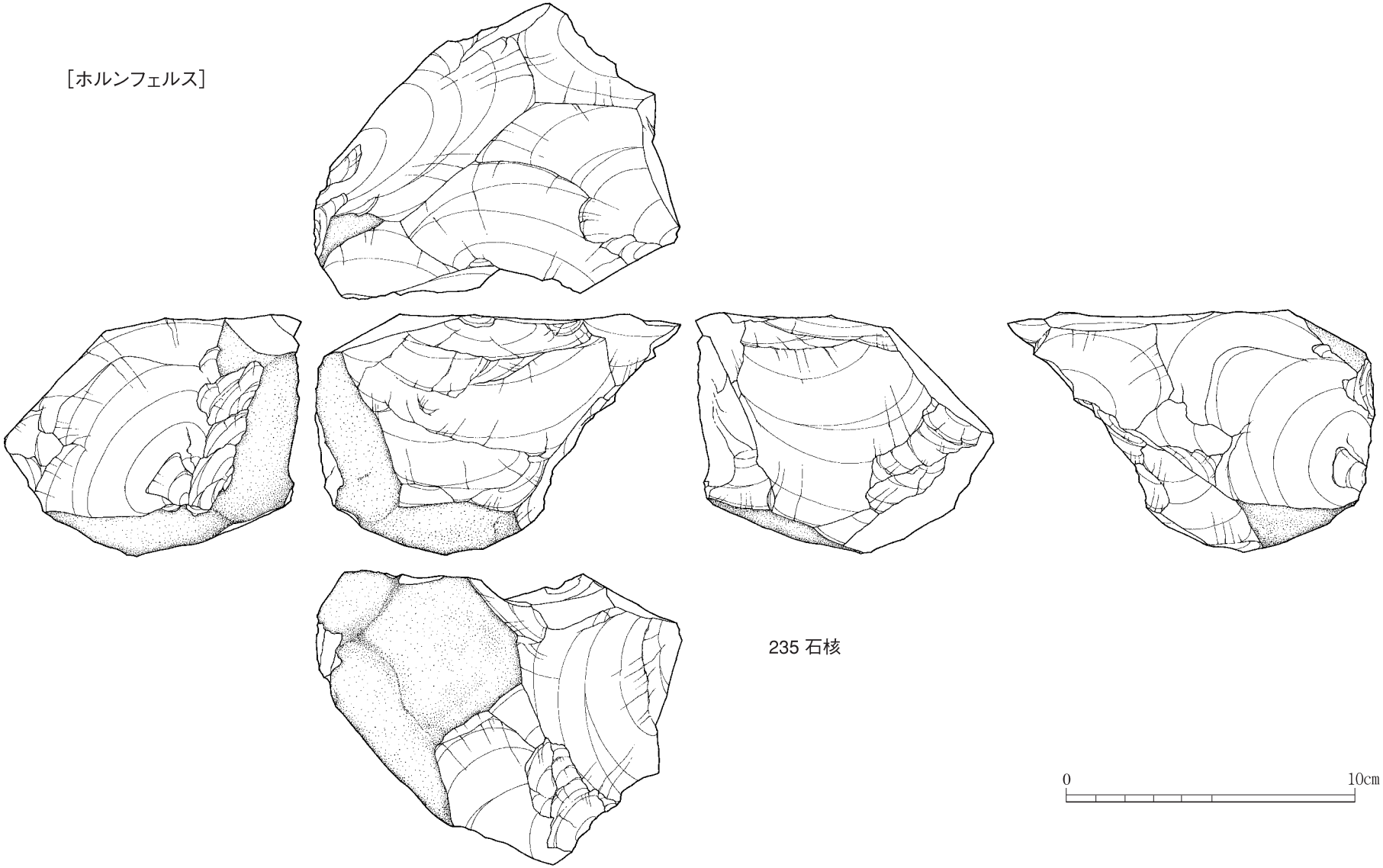
［ホルンフェルス］



233 礫器（チョッピング）

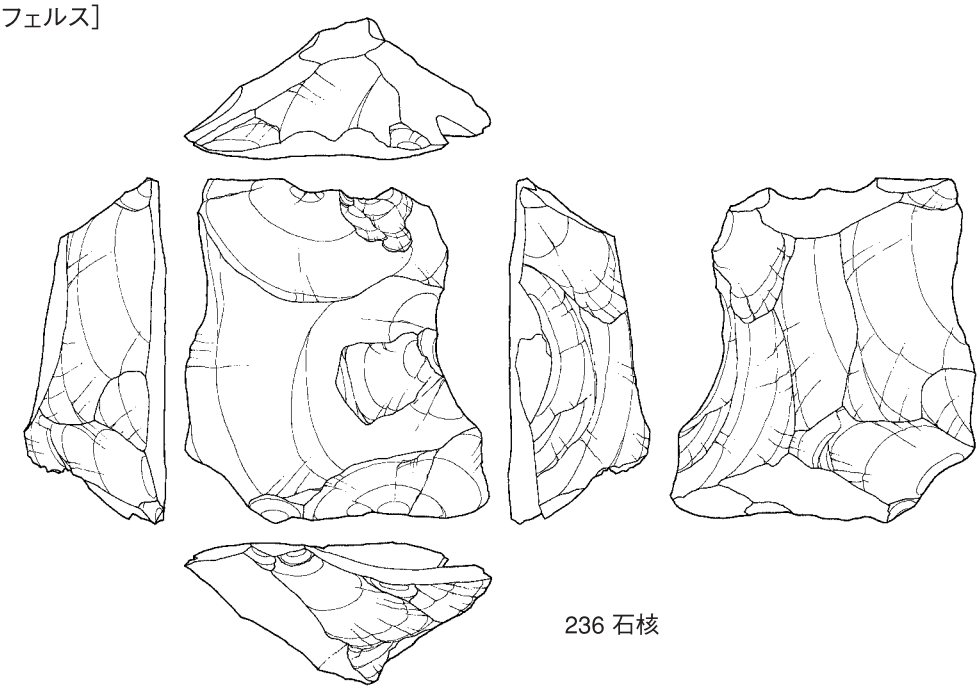


第81図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図11（S＝1/2）

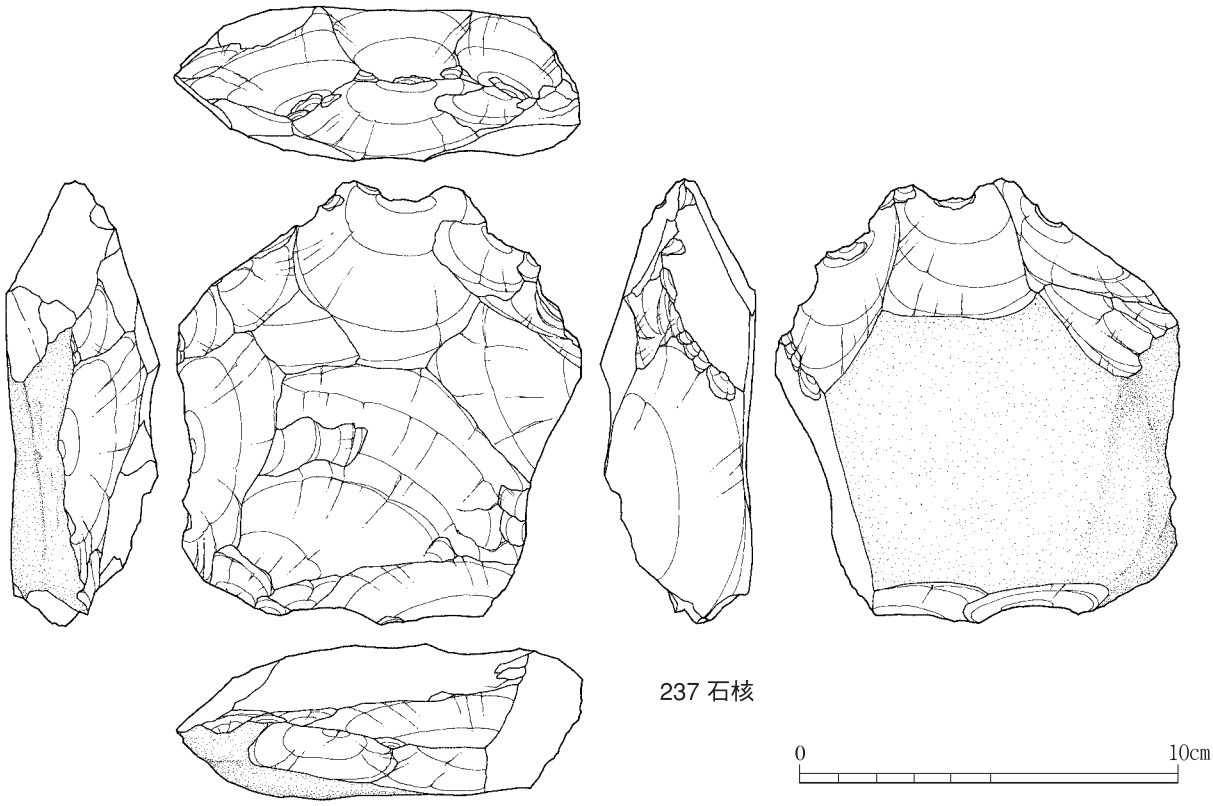


第82図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図12（S＝1/2）

［ホルンフェルス］



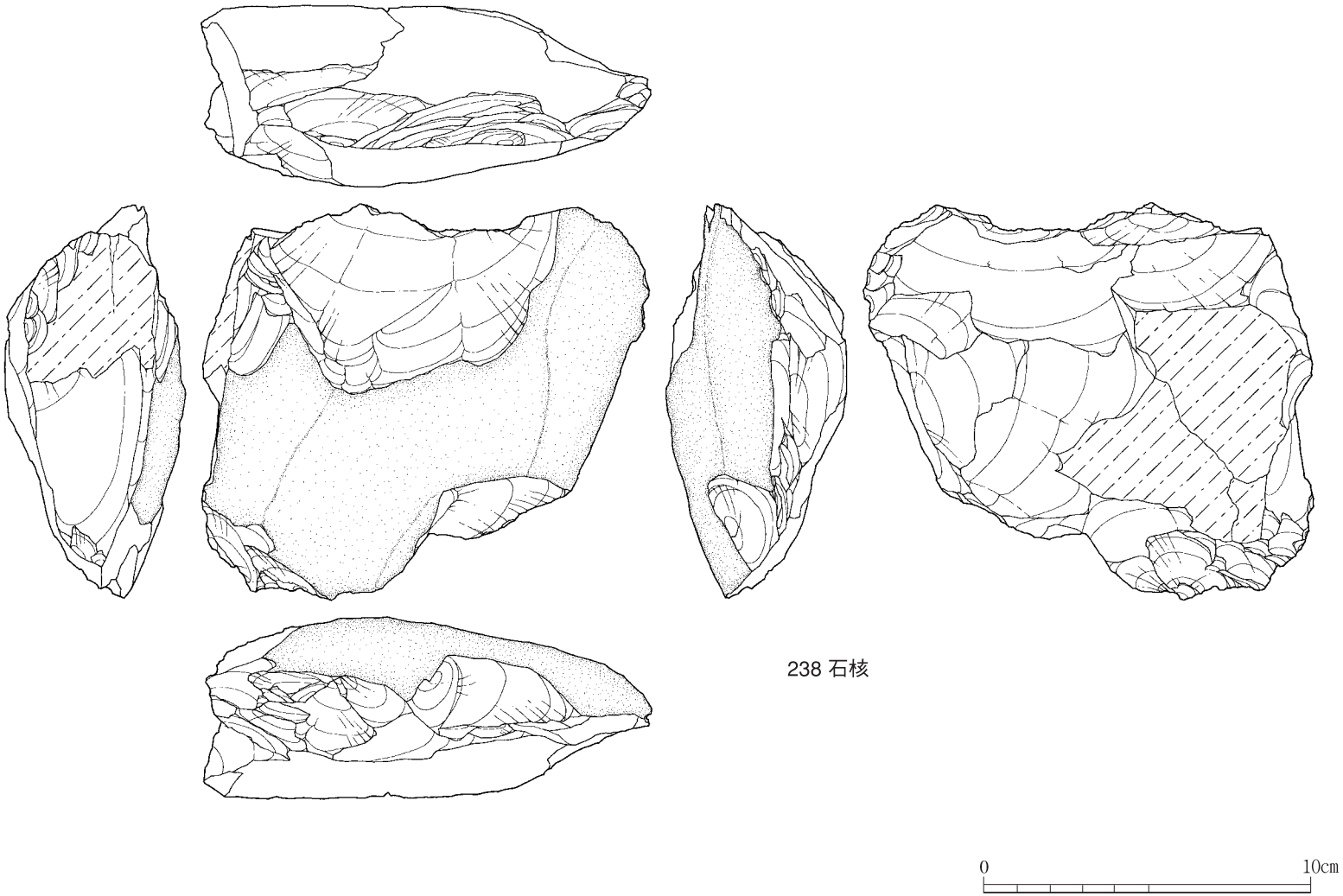
236 石核



237 石核

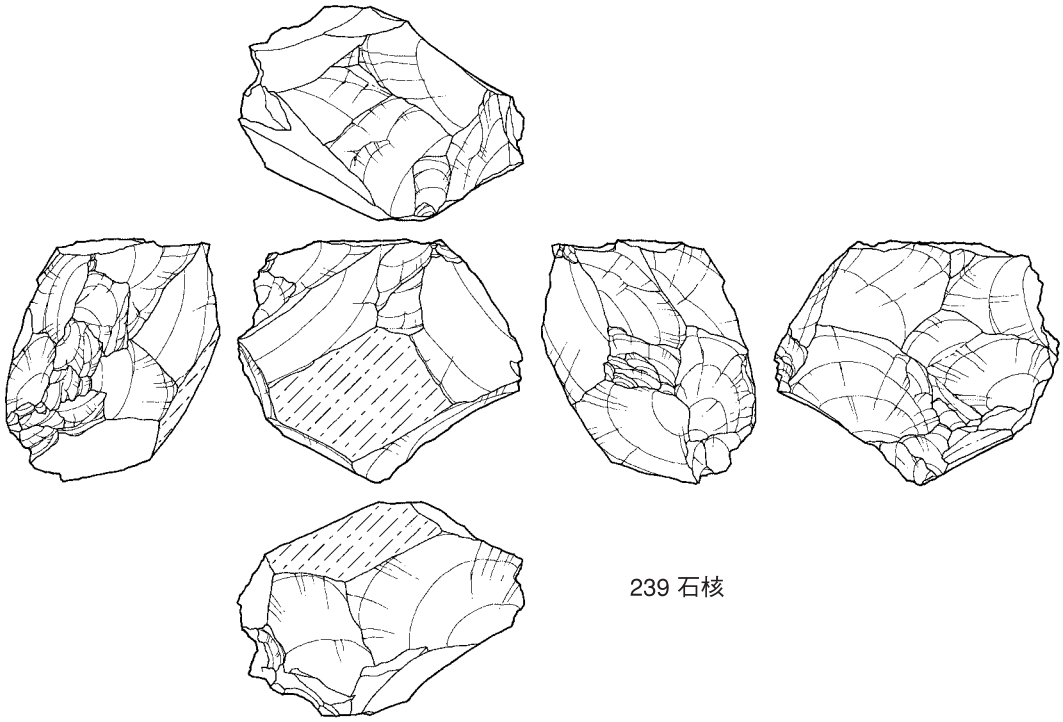
第83図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図13（S＝1/2）

［ホルンフェルス］

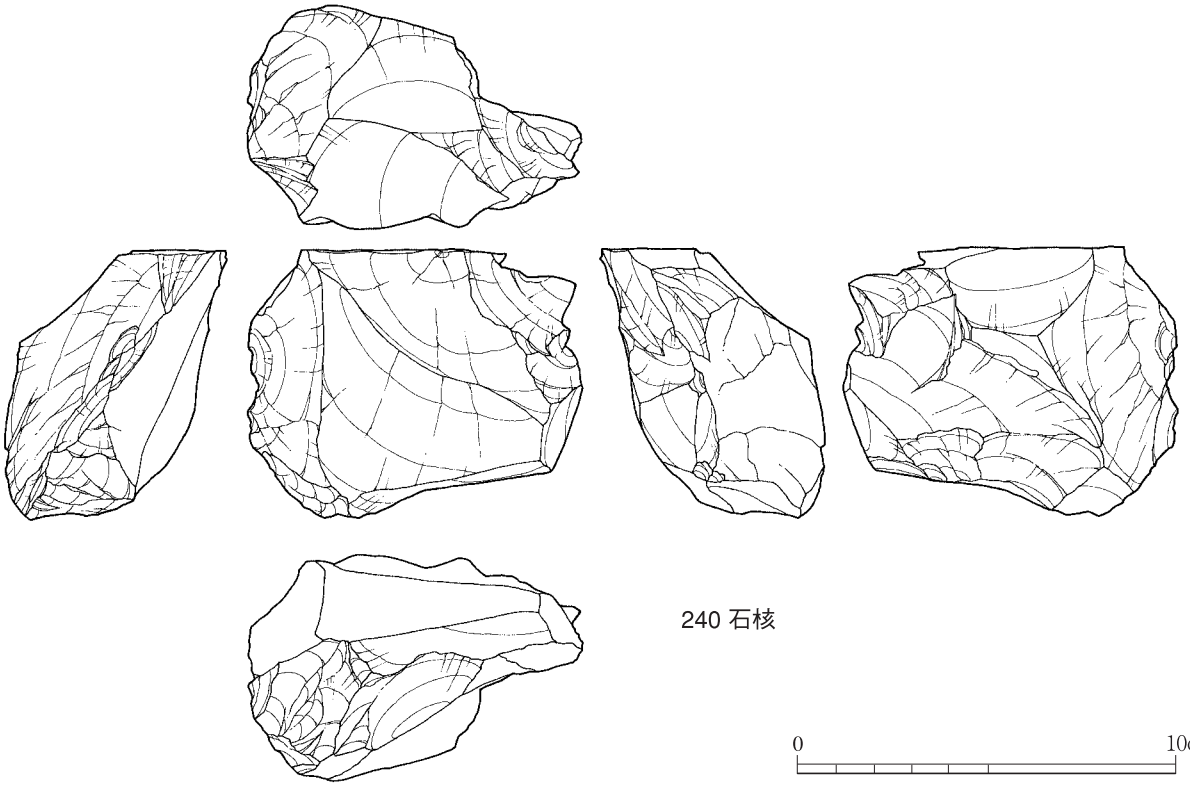


第84図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図14（S＝1/2）

［ホルンフェルス］



239 石核

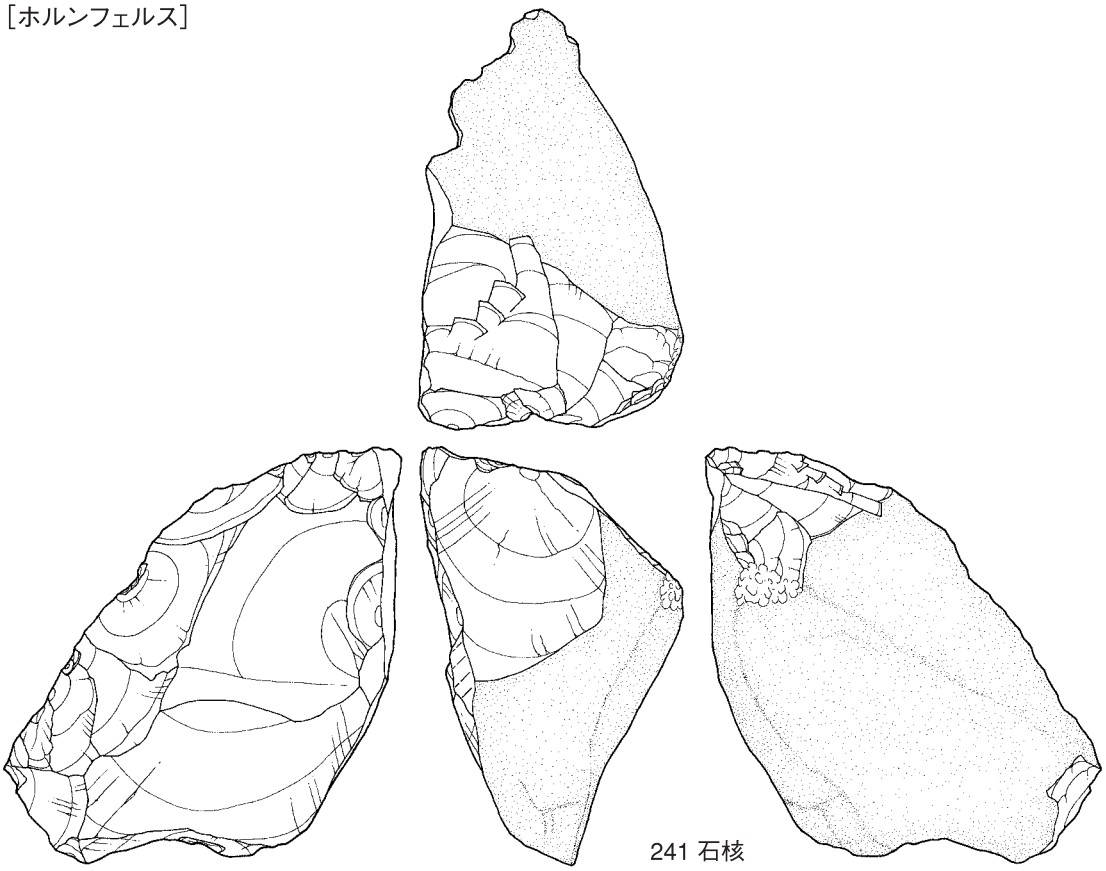


240 石核

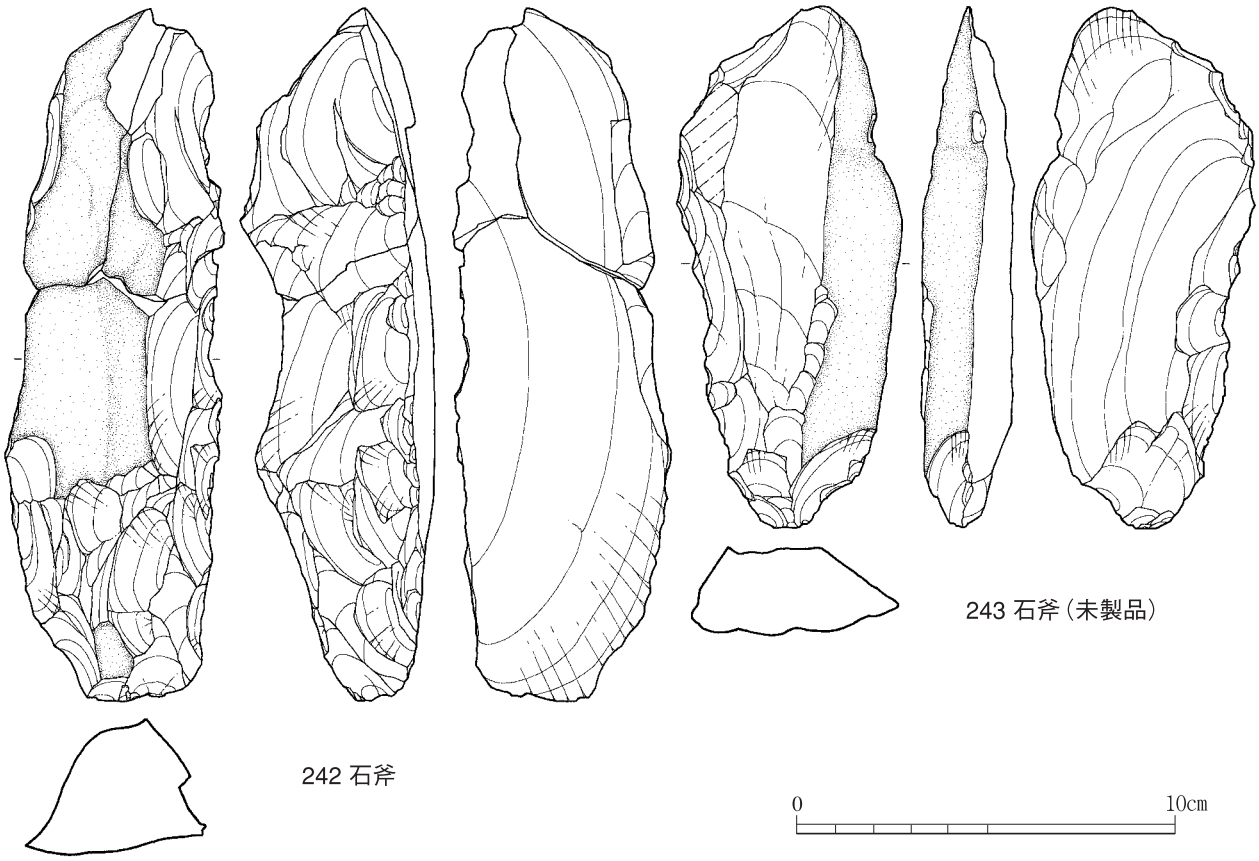
0　10cm

第85図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図15（S＝1/2）

［ホルンフェルス］



241 石核

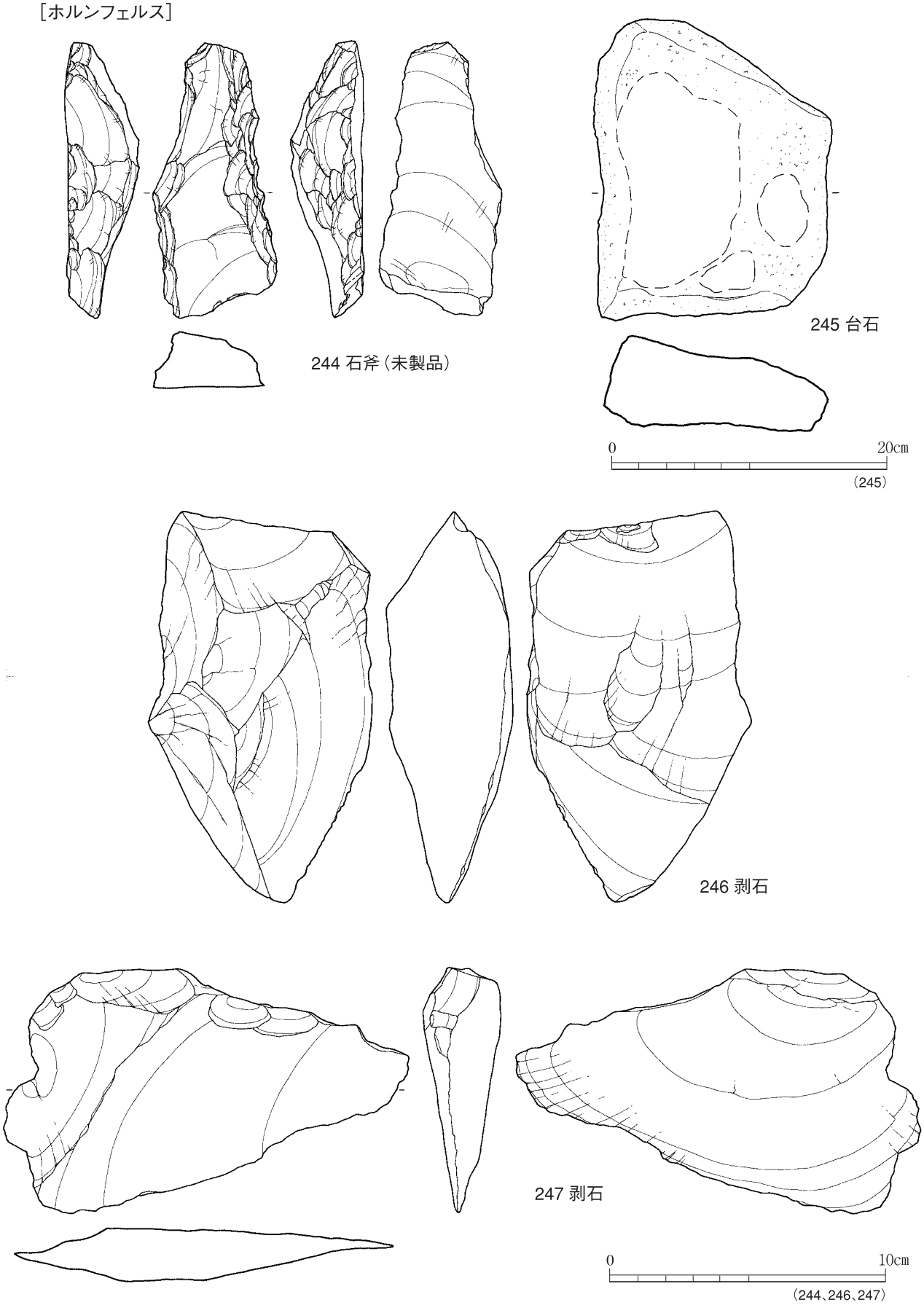


243 石斧（未製品）

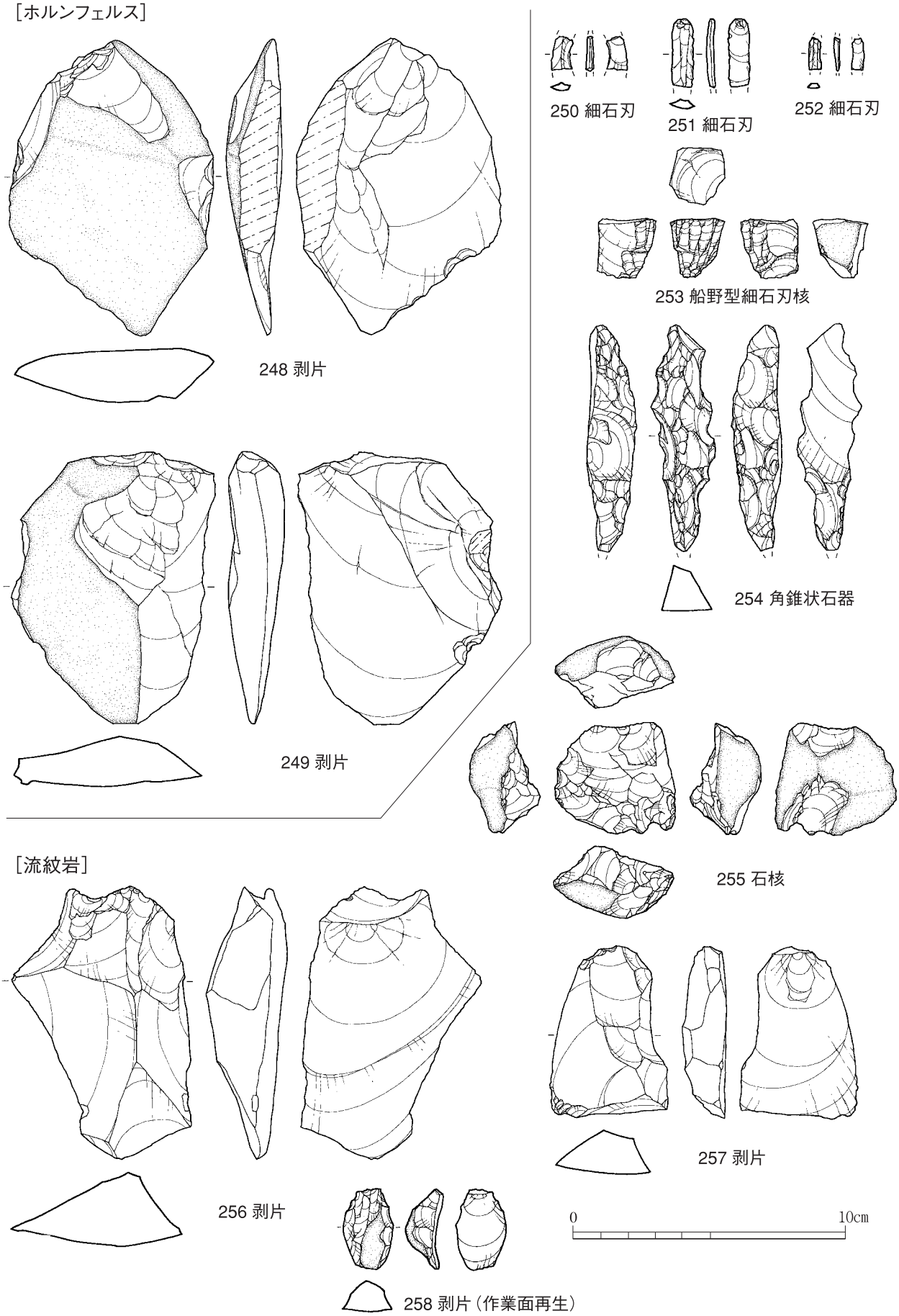
242 石斧

第86図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図16（S＝1/2）

［ホルンフェルス］

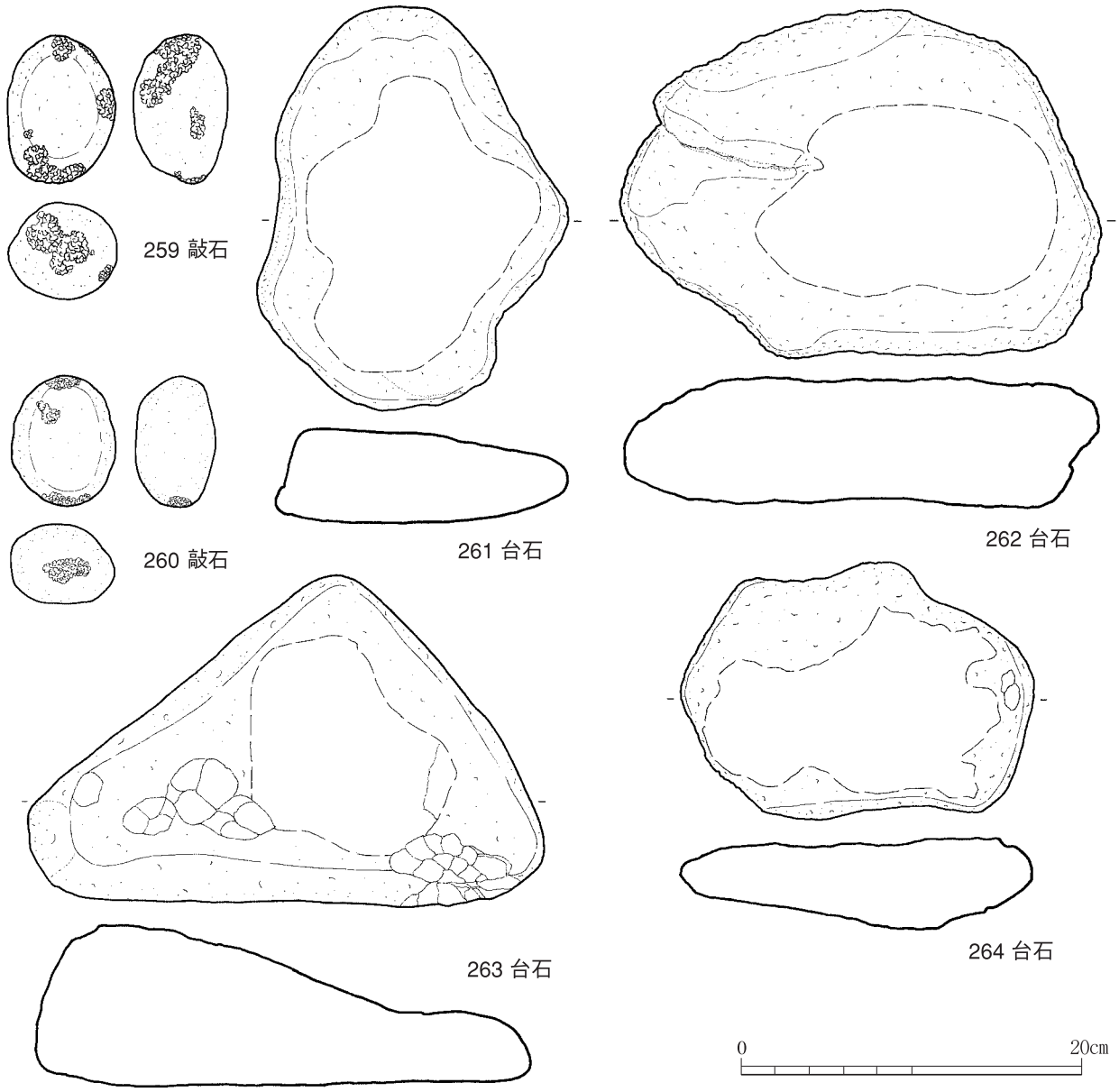


第87図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図17（S＝1/2（244・246・247）　S＝1/4（245））



第88図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図18（S＝1/2）

［尾鈴山酸性岩類］

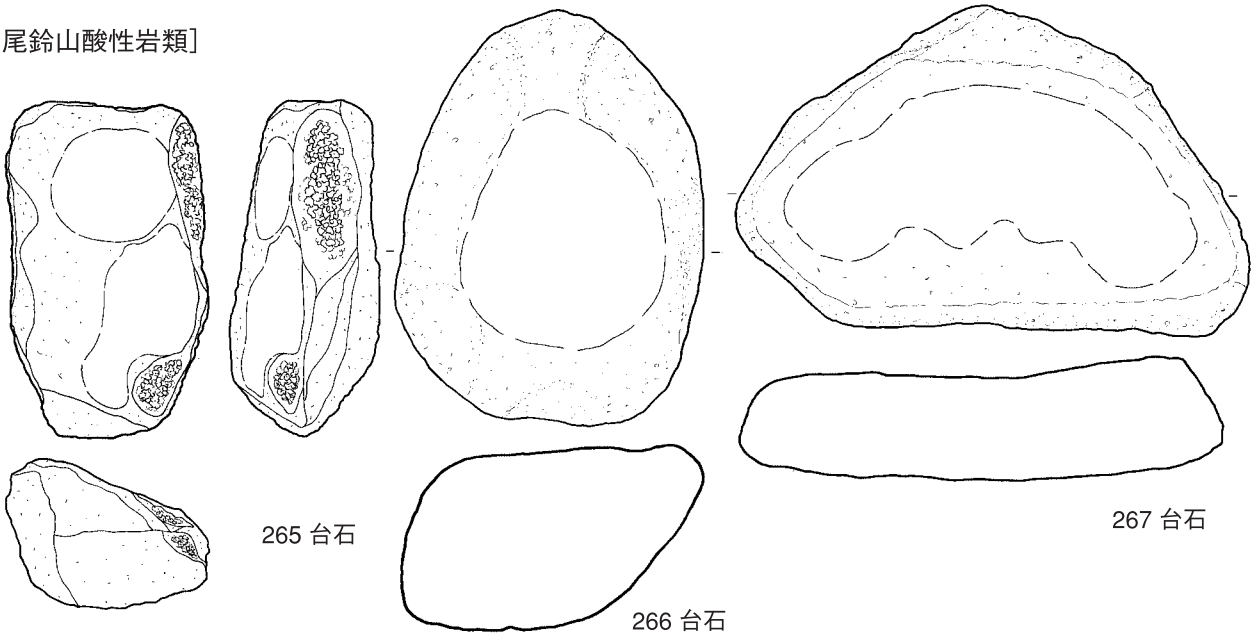


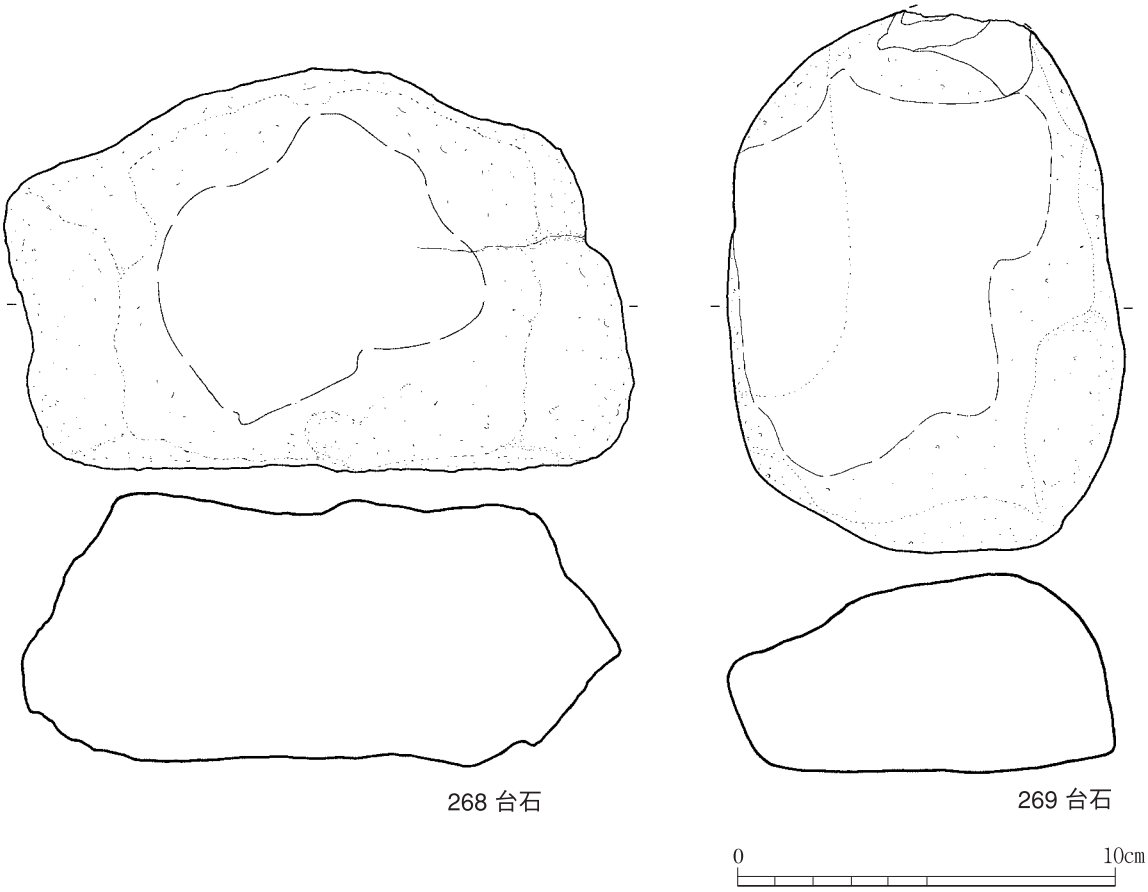
第89図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図19（S＝1/4）

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1（遺跡層序）	出土層2（東九州層序）	注記番号	器　種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高（m）	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備　　考
【尾鈴山酸性岩類】（第　図　259～271）																	
264	481	D6-2	―	Vb下	Kr-Kb	A ― 481	台石	―	―	-96445.960	44701.850	83.446	15.10	20.70	5.50	2207.00	長さ15cmを超す巨礫。正面に使用痕を認める。
265	502	E7-2	集中C	Vb下	Kr-Kb	A ― 502	台石	―	―	-96455.170	44712.390	83.460	17.70	10.75	7.90	1914.00	正面に２箇所の窪みが見られる。
266	526	E7-2	集中C	Vb	Kr-Kb	A ― 526	台石	―	―	-96456.080	44711.280	83.391	21.95	16.30	9.90	4543.00	正面中央に浅い窪みを残す。
267	649	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A ― 649	台石	―	―	-96436.850	44688.170	83.777	17.40	27.20	6.55	3883.00	三角形を呈する扁平巨礫。正面中央に窪み、剥ぎ痕を残す。
268	710	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A ― 710	台石	―	―	-96439.400	44687.920	83.594	21.30	33.30	13.90	14800.00	幅33cmを超す巨礫。正面中央に窪みを残す。
269	721	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A ― 721	台石	―	―	-96435.580	44688.720	83.740	28.60	21.10	10.45	8500.00	長さ28cmを超す巨礫。窪みが認められる。
270	779	C6-1	集中D	Va	ML1下	A ― 779	台石	―	―	-96441.800	44690.370	83.536	23.70	17.55	6.15	2898.00	正面に不定形の窪みが見られる
271	1256	E3-4	―	Vb下	Kr-Kb	B ― 1256	台石	―	―	-96410.920	44715.700	84.602	14.50	21.40	8.10	3026.00	幅21cmを超す巨礫。正面に窪みを認める。
【凝灰岩】（第91図　272～275）																	
272	840	B5-3	―	Va	ML1下	A ― 840	畦原型細石刃核	―	―	-96437.000	44685.120	83.555	2.50	2.85	0.85	9.60	畦原型細石刃核である。礫分割後の主要剥離面に微細な調整痕をもつ。左面は原石形状に抉りがあったため、右面のみで細石刃を作り出している。
273	650	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A ― 650	畦原型細石刃核	―	―	-96438.570	44688.130	83.725	2.85	3.35	0.95	13.40	畦原型細石刃核である。左右両側縁に細石刃剥離痕を残す。下縁部に剥離痕を認める。
274	348	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A ― 348	ナイフ形石器	Ⅱ	―	-96443.870	44718.120	84.056	2.60	1.15	0.45	1.10	右側縁部に背腹両面からの対向調整による刃潰し加工が施されている。左側縁下部の基部にも同様の加工がなされている。二側縁加工。
275	1261	F2-2	―	Vb中	Kr-Kb	B ― 1261	ナイフ形石器	Ⅰ	―	-96406.880	44723.100	84.774	3.10	1.90	0.55	3.40	右側縁部に腹面からの刃潰し加工が施されている。

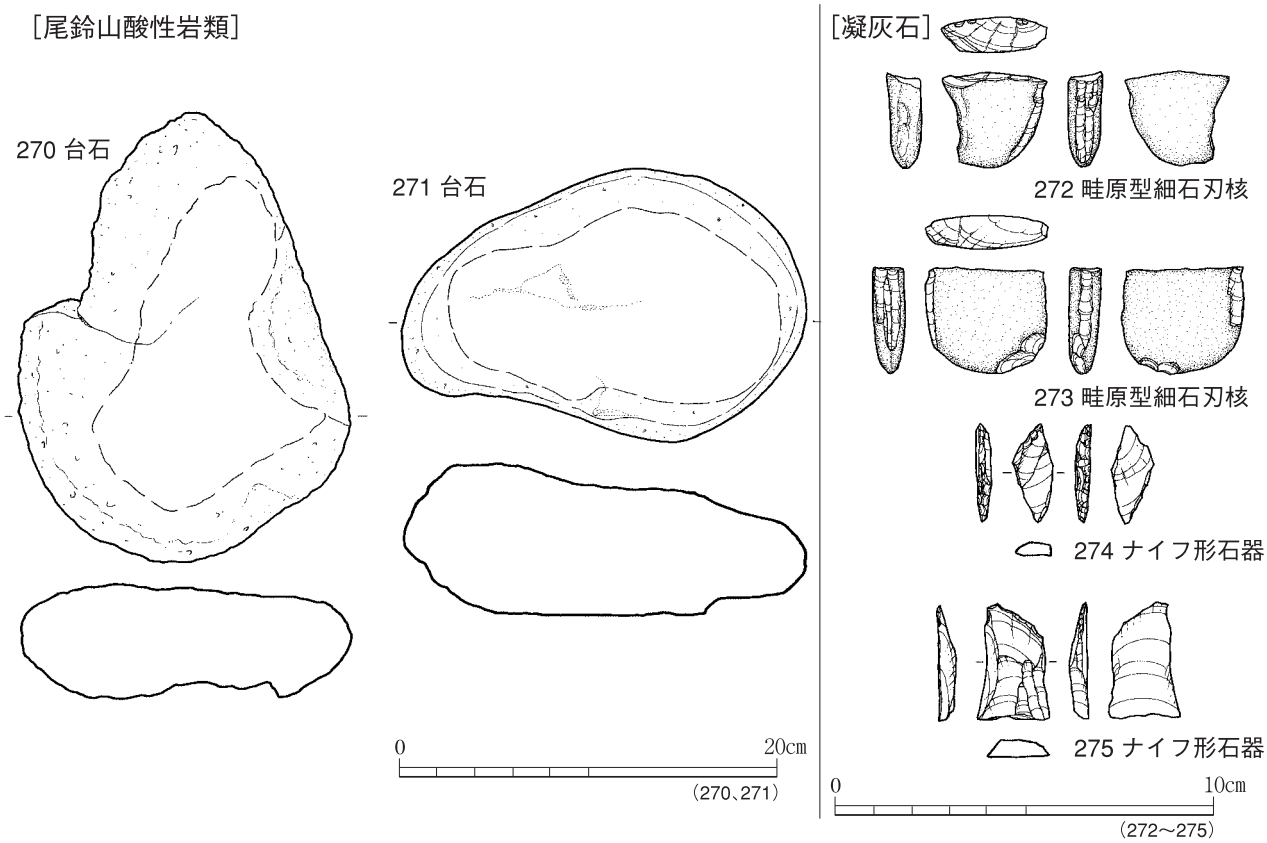
第20表　旧石器時代　第IV文化層　石材別石器観察表６

［尾鈴山酸性岩類］

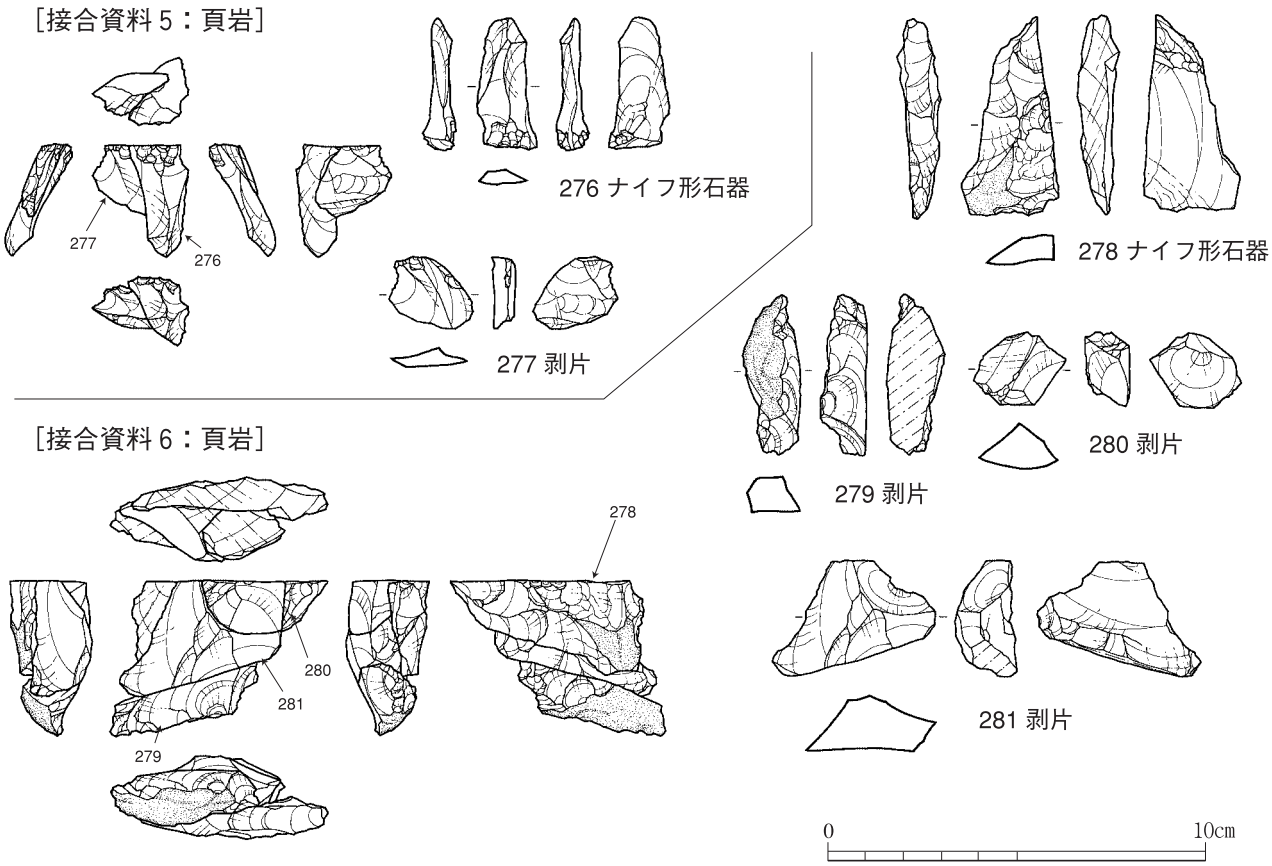




第90図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器実測図20（S＝1/4）



第91図　石材別石器実測図21（S＝1/2（270･271）　S＝1/4（272～275））



第92図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図１（S＝1/2）

○接合資料

接合資料は57例、石器数にして210点を数える。内訳は、頁岩製が14例、石器数41点、珪質頁岩製が２例、赤色頁岩製１例、砂岩製が３例、ホルンフェルス製が35例、石器数にして148点にのぼる。さらに空晶石ホルンフェルス製１例、石器数７点、凝灰岩製が１例、石器数４点である。

57例の接合資料のうち、頁岩製の接合資料５例(石器数17点)、ホルンフェルス製の接合資料９例(石器数59点)、空晶石ホルンフェルス製１例（石器数７点)、凝灰岩製の接合資料１例（石器数４点）の、計16例、石器数95点を掲載する。

【接合資料５】（頁岩製）［第92図］

ナイフ形石器（276）と剥片（277）の接合である。Ｇ３Ｇ、石器ブロックＡの出土である。

【接合資料６】（頁岩製）［第92図］

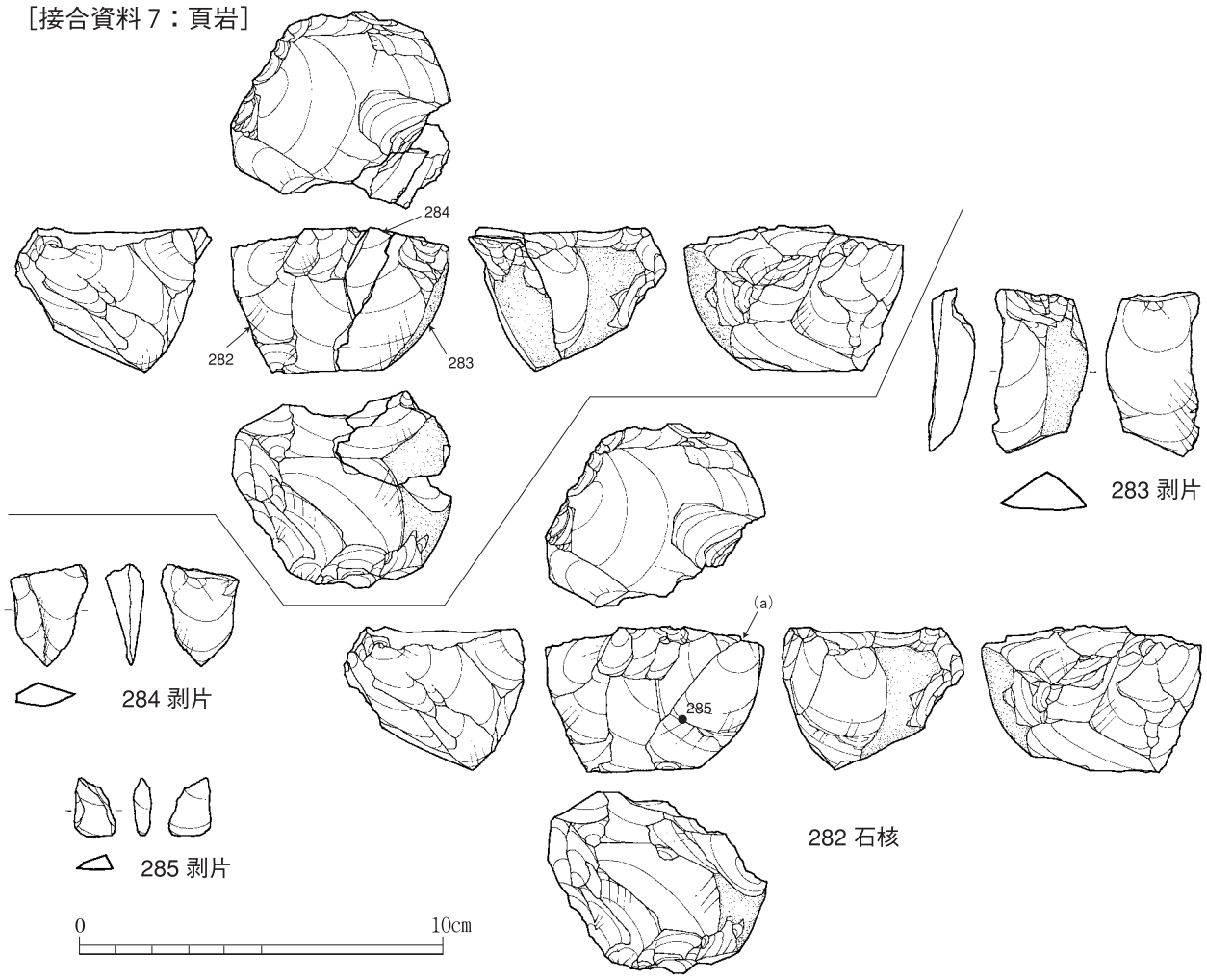
ナイフ形石器と剥片３点の接合資料である。

遺物集中域Ａ（278・279・281）と石器ブロックＡ（280）との接合である。278＋(281＋280)＋279であるが、剥離順は母岩からの剥離を繰り返し、279を剥離している。腹面は節理による剥離ととらえた。278＋(281＋280）は上面に打面をもち278を剥離、そして（281→280）となる。

【接合資料７】（頁岩製）［第93図］

石核（282）と剥片３点（283・284・285）の接合資料である。いずれも遺物集中域Dからの出土である。

剥片３点は、いずれも石核（282）から剥離された。石核上面を打面とし、縦長剥片を剥離するため、283、284の順で剥離している。285の剥片は、282の

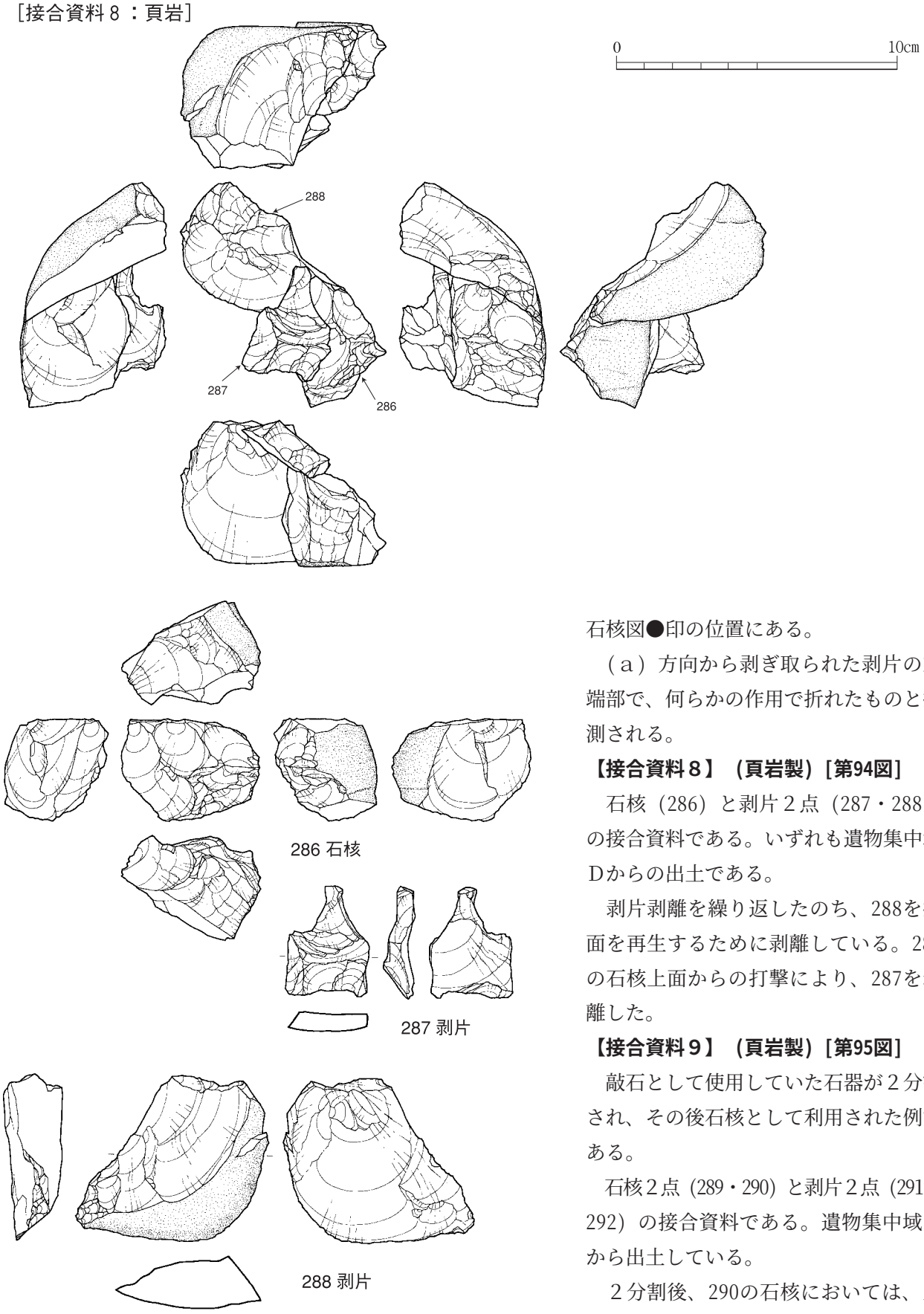


第93図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図２（S＝1/2）

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
[接合資料]																	
【接合資料５：頁岩】（第92図　276・277）																	
276	1272	G3-4	石ブA	Vb下	Kr-Kb	B－1272	ナイフ形石器	Ⅲ	接５	-96413.000	44737.210	84.487	3.50	1.55	0.90	3.10	基部に下方向からの加工痕を認める。
277	1480	G3-4	石ブA	Vc	MB1	B－1480	剥片	－	接５	-96412.520	44735.210	84.165	1.90	2.20	0.60	2.20	上部に打面をもつ。左側縁部に微細な剥離を残す。
【接合資料６：頁岩】（第92図　278～281）																	
278	1310	H4-3	集中A	Va	ML1下	B－1310	ナイフ形石器	Ⅰ	接６	-96426.000	44747.200	84.651	5.30	2.60	1.15	10.30	左側縁部に使用痕剥離を認める。背面右下部に右方向からの加工痕を残す。
279	1322	H4-3	集中A	Vb中	Kr-Kb	B－1322	剥片	－	接６	-96427.720	44746.400	84.384	4.30	1.50	1.25	7.80	正面に自然面、裏面は節理面を残す。右側縁部、正面が部には剥片剥離痕を認める。
280	1622	G3-3	石ブA	Vb下	Kr-Kb	B－1622	剥片	－	接６	-96415.750	44736.400	84.318	2.00	2.40	1.20	4.60	281から剥離された剥片。
281	1666	H4-2	集中A	Vb下	Kr-Kb	B－1666	剥片	－	接６	-96429.100	44743.800	84.225	3.10	4.35	1.70	13.50	両側縁部に微細な剥離痕を認める。
【接合資料７：頁岩】（第93図　282～285）																	
282	451	D5-2	集中D	Va	ML1下	A－451	石核	－	接７	-96439.300	44700.130	83.945	4.00	6.05	4.95	122.30	打面をかえ、各方向から剥片剥離を繰り返している。右側面に自然面を残す。
283	202	B5-4	集中D	Ⅳ下	ML1下	A－202	剥片	－	接７	-96432.820	44688.970	84.788	4.50	2.60	1.75	11.80	282の石核から剥離された縦長剥片である。背面に自然面を残す。
284	209	B5-4	集中D	Va上	ML1下	A－209	剥片	－	接７	-96432.300	44687.900	84.716	2.80	2.15	1.10	4.10	282の石核から剥離された小剥片である。右側縁部に微細な剥離を認める。
285	611	B5-4	集中D	Va下	ML1下	A－611	剥片	－	接７	-96430.760	44689.360	84.293	1.60	1.15	0.45	0.90	剥片の折れ。縦長剥片の末端部である。
【接合資料８：頁岩】（第94図　286～288）																	
286	796	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－796	石核	－	接８	-96443.200	44688.200	83.247	3.70	4.95	3.70	59.80	上面に打面を作り、少なくとも２枚の剥片を剥離している痕跡がある。
287	59	B6-3	集中D	Va	ML1下	A－59	剥片	－	接８	-96446.450	44687.800	82.998	4.00	2.95	1.15	9.30	背面に剥片剥離を繰り返している痕跡を残す。
288	760	B6-1	集中D	Va下	ML1下	A－760	剥片	－	接８	-96441.980	44682.250	83.122	5.85	6.85	2.10	75.50	打面を再生するために剥離された剥片である。背面に自然面が残る。
【接合資料９：頁岩】（第95図・第96図　289～292）																	
289	808	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－808	石核	－	接９	-96441.700	44687.280	83.385	5.40	9.65	6.00	284.60	礫分割後、剥片(291・292)剥離を行う。礫面周囲に敲打痕を残し、分割前、敲石としても使用されている痕跡を残す。
290	850	B6-2	集中D	Va	ML1下	A－850	石核	－	接９	-96443.800	44686.800	83.207	5.40	9.65	6.00	428.10	礫分割後、剥片剥離を１回は行った形跡をもつ。289同様、敲打痕を残す。
291	771	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－771	剥片	－	接９	-96442.500	44690.100	83.275	2.50	2.95	0.80	6.00	289の礫表面を剥いだ薄い剥片である。
292	805	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－805	剥片	－	接９	-96442.680	44687.900	83.350	4.75	3.80	1.30	11.40	289の礫表面を剥いだ薄い剥片である、下部縁、右側縁には微細な剥離を認める。下左部は折れを認める。
【接合資料10：ホルンフェルス】（第97図・第98図　293～301）																	
293	791	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－791	スクレイパー	－	接10	-96443.200	44688.400	83.192	10.10	8.90	3.05	263.90	左側面・上面に腹面側から調整を施し、刃部を作り出している。背面には大きく自然面を残す。
294	773	C6-1	集中D	Vb	Kr-Kb	A－773	剥片	－	接10	-96442.410	44689.900	83.275	315＋320	3.20	1.60	17.70	背・腹面ともに剥片剥離の痕跡を残す。
295	774	C6-1	集中D	Vb	Kr-Kb	A－774	剥片	－	接10	-96442.300	44690.280	83.312	5.70	2.60	0.80	10.10	上面を打面として剥離された縦長剥片。背面にも左方からの剥片剥離の痕を認める。
296	775	C6-1	集中D	Vb	Kr-Kb	A－775	剥片	－	接10	-96442.380	44690.300	83.320	4.50	3.75	1.20	17.40	右側縁下部に微細な剥離痕を認める。
297	784	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－784	剥片	－	接10	-96444.130	44689.020	83.254	7.60	4.30	1.90	54.40	上面を打面として剥離された縦長剥片。背面にも剥片剥離の痕を認める。
298	794	B6-4	集中D	Va下	ML1下	A－794	剥片	－	接10	-96443.490	44687.700	83.194	7.70	2.80	1.85	26.10	右側面に自然面を残す縦長の剥片である。
299	802	B6-4	集中D	Vc	MB1	A－802	剥片	－	接10	-96443.100	44689.210	83.106	5.60	5.85	1.80	46.30	不定形剥片。右側面稜部に微細な剥離痕が認められる。
300	833	B6-4	集中D	Va下	ML1下	A－833	剥片	－	接10	-96442.810	44686.980	83.254	8.40	11.40	4.35	337.30	礫面を大きく剥いだ剥片である。背面は自然面である。
301	847	B6-4	集中D	Va	ML1下	A－847	剥片	－	接10	-96443.020	44688.200	83.307	8.20	3.10	1.85	30.30	正面右側面に自然面を残す縦長剥片である。
【接合資料11：ホルンフェルス】（第99図・第100図　302～306）																	
302	479	C5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－479	石核	－	接11	-96439.730	44695.710	83.749	8.40	9.40	4.30	256.20	打面を転位させながら不定形の大小の剥片を剥離している。
303	547	C6-4	集中D	Vb	Kr-Kb	A－547	剥片	－	接11	-96441.100	44695.600	83.598	7.70	6.40	1.80	83.40	打面を上部にもつ。背面には剥片剥離の痕を残す。
304	548	C6-4	集中D	Va	ML1下	A－548	剥片	－	接11	-96440.450	44695.700	83.773	5.20	4.40	2.70	37.80	剥離後、302、303の打面を作っている。背面・上面に剥片剥離の痕を残す。
305	550	C6-4	集中D	Va	ML1下	A－550	剥片	－	接11	-96440.390	44695.740	83.774	6.60	2.90	1.45	18.00	背面には剥片剥離の痕を残す。上部は節理面を残す。
306	692	C6-1	集中D	Va上	ML1下	A－692	剥片	－	接11	-96442.080	44694.820	83.700	3.40	2.15	0.55	3.60	薄い縦長剥片の一部である。上・下部は何らかの作用で折れたとも考えられる。

第21表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表７

［接合資料８：頁岩］



第94図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図３（S＝1/2）

石核図●印の位置にある。

（ａ）方向から剥ぎ取られた剥片の末端部で、何らかの作用で折れたものと推測される。

【接合資料８】（頁岩製）［第94図］

石核（286）と剥片２点（287・288）の接合資料である。いずれも遺物集中域Ｄからの出土である。

剥片剥離を繰り返したのち、288を打面を再生するために剥離している。286の石核上面からの打撃により、287を剥離した。

【接合資料９】（頁岩製）［第95図］

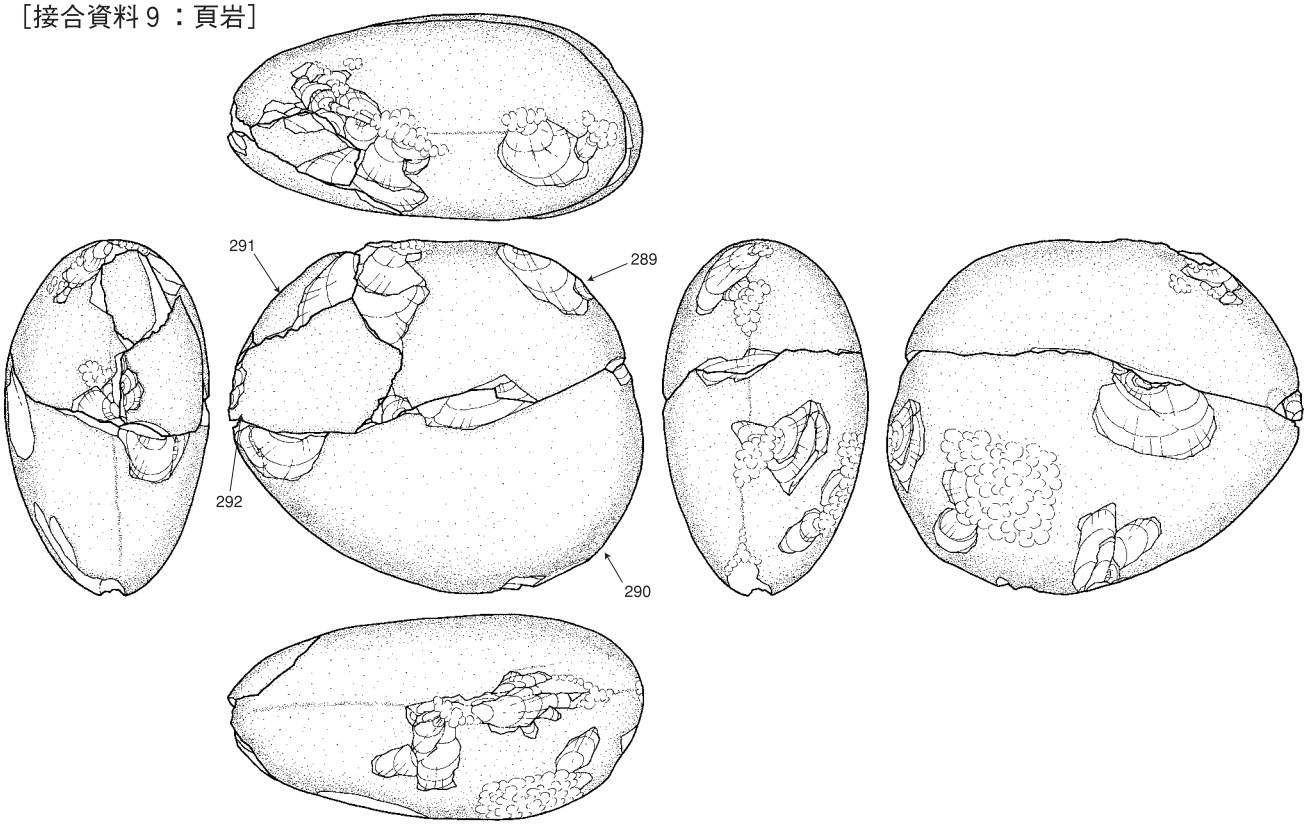
敲石として使用していた石器が２分割され、その後石核として利用された例である。

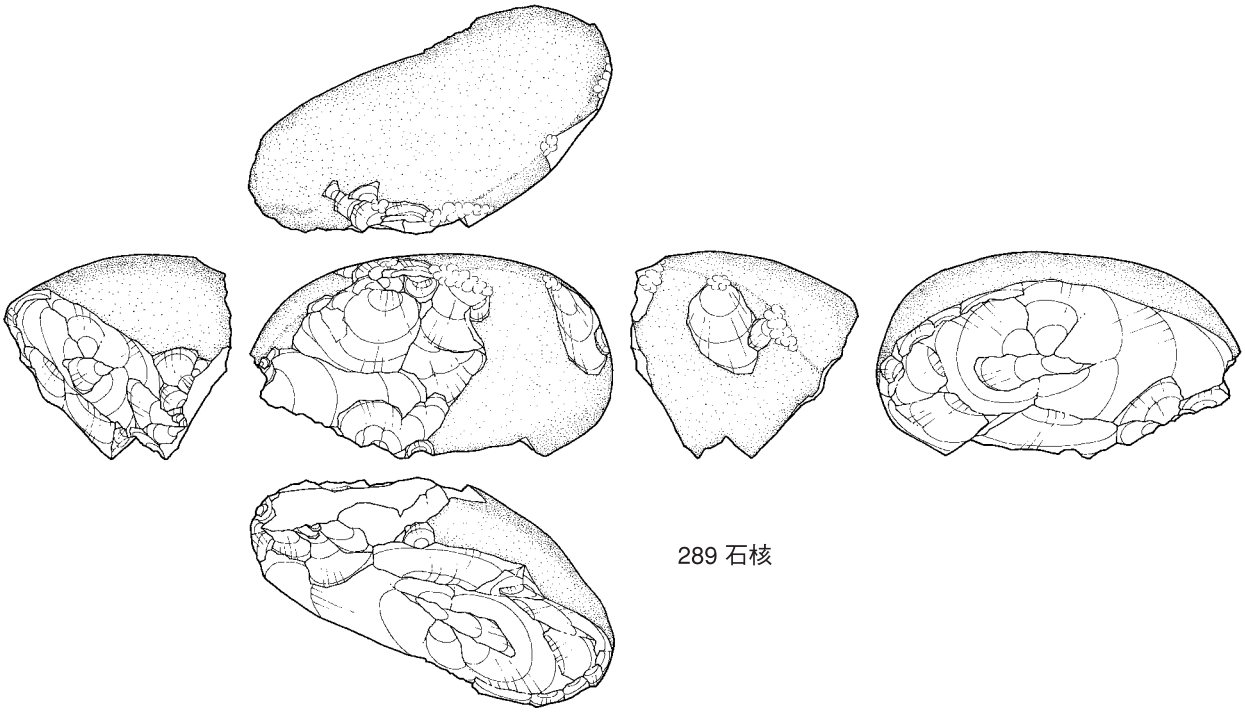
石核２点（289・290）と剥片２点（291・292）の接合資料である。遺物集中域Ｄから出土している。

２分割後、290の石核においては、上面を打面とする剥片を１枚剥離している。

289の石核からは、左側からの打撃で

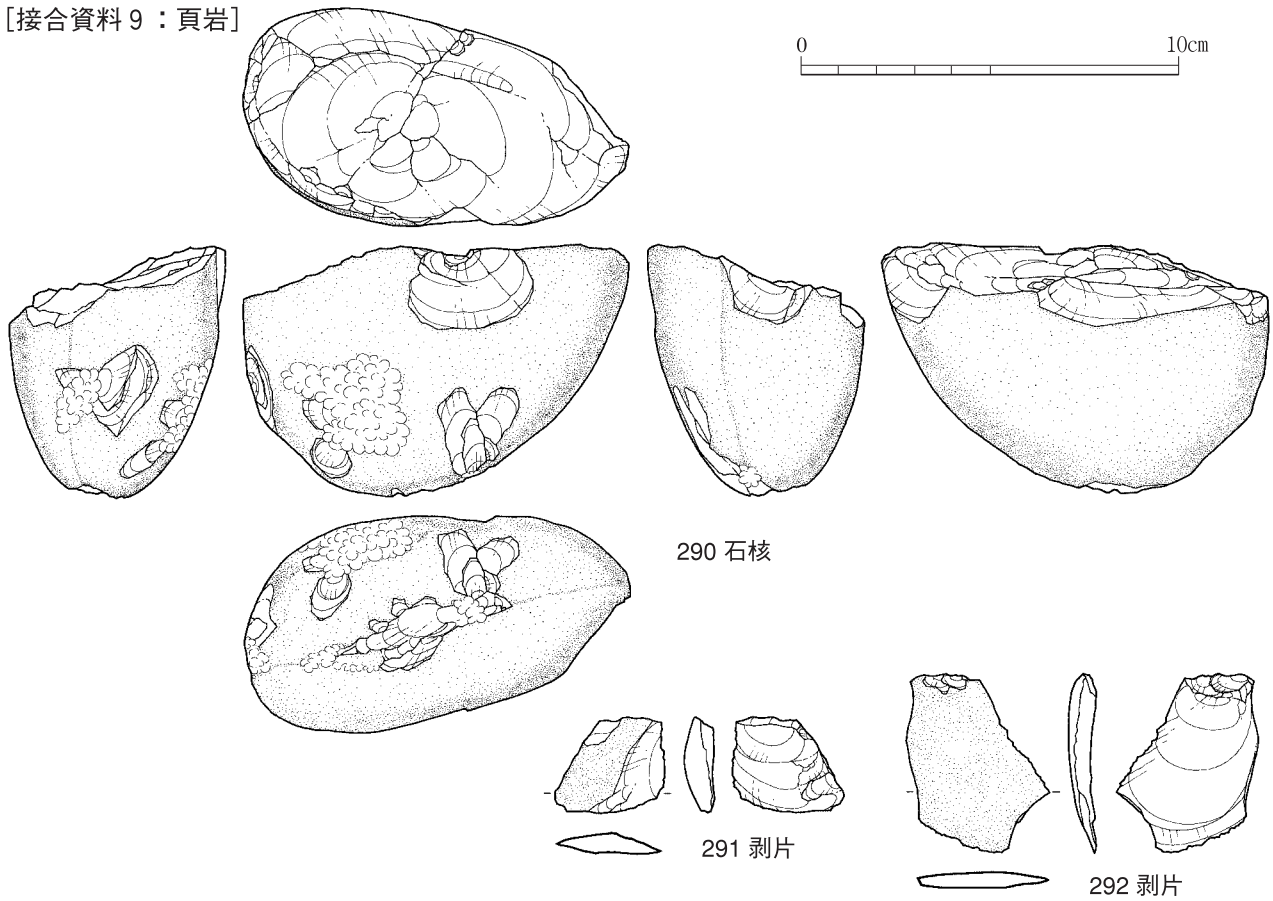
［接合資料９：頁岩］





0　10cm

第95図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図４（S＝1/2）



第96図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図５（S＝1/2）

292の剥片を剥離し、次いで上面からの打撃で１枚の剥片を剥いだ後、291の剥片を剥離している。

【接合資料10】（ホルンフェルス製）［第97図］

スクレイパー１点（293）と剥片８点（294～301）との接合である。遺物集中域Dからの出土である。

本資料は大きくA＝（294＋297＋301＋298）とB＝（293＋295＋299＋296）の２つの部位に分かれ、剥片剥離を重ねている。

まず、Aは左上方からの打撃で306を剥ぎ、正面右下の礫面除去し打面を作り出している。その打面から打点をずらして、294→298→301→297と縦長剥片を作り出している。次にBは、正面上部の礫面を打面として、上方向からの打撃で順次295→299→296と剥片剥離を行っている。293はスクレイパーとして使用されている。

なお、残核は認められず、遺跡外に持ち出されたか、廃棄された可能性がある。

【接合資料11】（ホルンフェルス製）［第99図］

石核１点（302）と剥片４点（303～306）の接合資料である。打面を転位しながら剥片剥離を行っている例である。いずれの石器も遺物集中域Dから出土している。

304＋(305＋(303＋306)＋302）の関係にある。接合資料正面右側からの打撃で305の剥片を剥離し、その後、304を剥離して打面を作り、306を含む縦長剥片を剥離した。306の剥片の上・下部には折れが生じている。明確な理由は不明である。そして最後に、302の石核から303の剥片を剥離している。

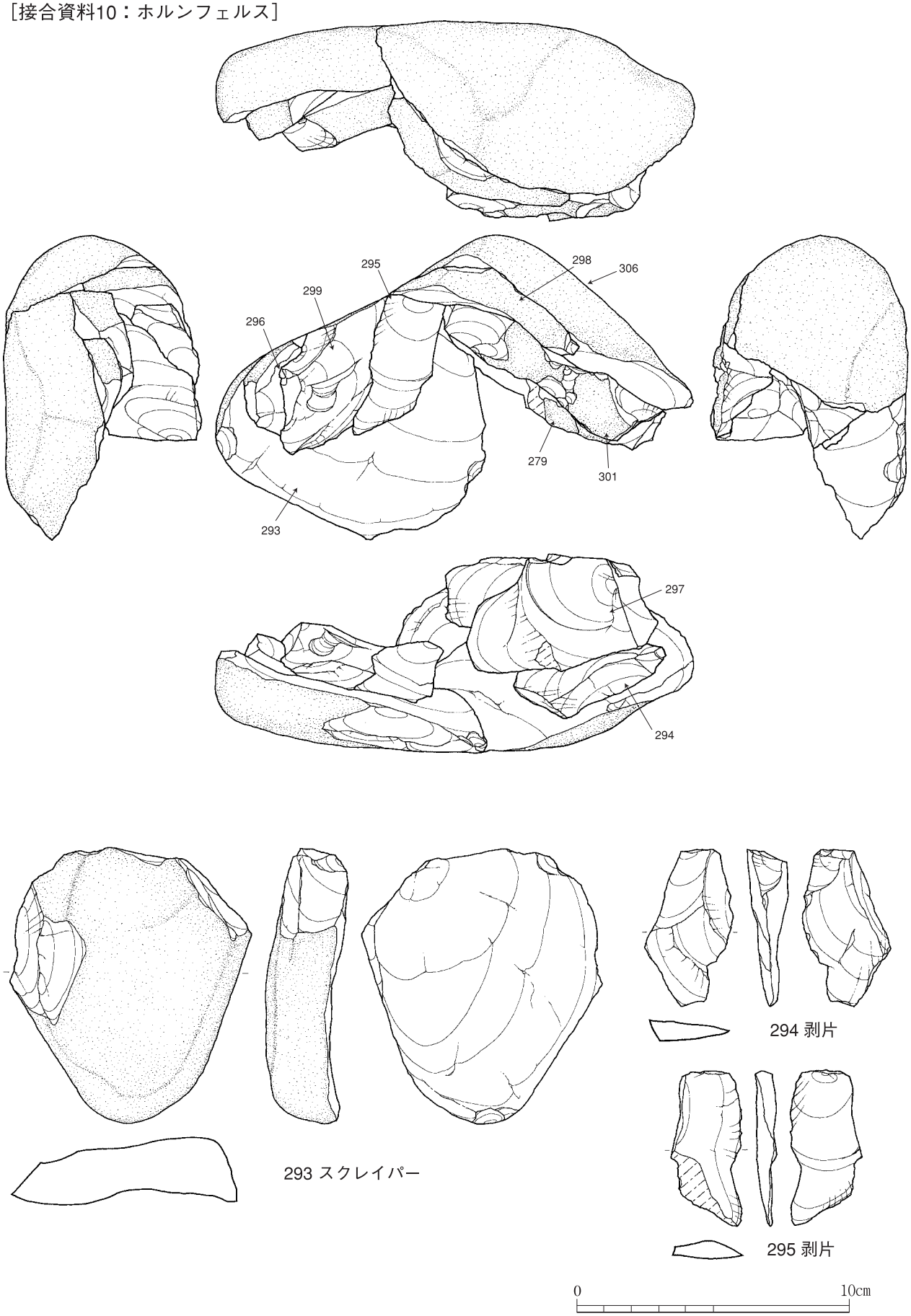
【接合資料12】（ホルンフェルス製）［第101図］

石核１点（307）と剥片４点（307～310）の接合資料である。打点をかえながら剥片剥離を行っている例である。遺跡中央南側のG５G・F６G平坦面からの出土である。

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【接合資料12：ホルンフェルス】（第101図・第102図　307～311）																	
307	574	F6-4	—	Vb	Kr-Kb	A－574	石核	—	接12	-96444.380	44725.380	84.054	7.70	10.85	6.55	559.40	背面には４枚の剥片剥離の痕を残す。
308	568	F6-4	—	Vb	Kr-Kb	A－568	剥片	—	接12	-96443.380	44726.880	84.184	6.00	6.20	2.10	72.60	左右及び上下に打点をかえながら剥片剥離を繰り返した石核である。裏面には大きく自然面を残す。
309	618	F6-1	—	Vb	Kr-Kb	A－618	剥片	—	接12	-96445.350	44725.520	84.079	4.80	6.00	1.55	41.20	背面・上面に剥片剥離の痕を残す。縁辺部には刃こぼれ様の微細な剥離を認める。
310	686	F6-3	—	Vb	Kr-Kb	A－686	剥片	—	接12	-96446.000	44726.000	84.300	1.60	2.35	0.60	1.60	節理面を認める小剥片。
311	1344	G5-4	—	Vb	Kr-Kb	B－1344	剥片	—	接12	-96433.100	44735.600	84.823	4.90	5.00	1.70	38.00	背面には剥片剥離の痕、背面下部には自然面を残す。左右縁辺部には刃こぼれ様の微細な剥離を認める。
【接合資料13：ホルンフェルス】（第103図～第105図　312～320）																	
312	346	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A－346	石核	—	接13	-96440.770	44716.370	84.073	6.15	9.00	7.90	410.30	正面・裏面・裏面いずれも上下左右方向からの剥片剥離の痕を認める。下・右側面には自然面を残す。
313	86	E6-1	集中B	Ⅳ上	ML1上	A－86	剥片	—	接13	-96442.970	44714.100	85.274	4.80	4.00	1.50	18.20	上面に自然面を残す。314と接合する剥片である。
314	321	E6-4	集中B	Vb上	Kr-Kb	A－321	剥片	—	接13	-96443.290	44715.230	84.129	5.10	2.90	0.85	9.20	左側縁部に背面からの調整痕を残す。
315	337	E6-4	集中B	Va中	ML1下	A－337	剥片	—	接13	-96440.650	44715.490	84.132	7.70	10.90	3.50	256.10	背面は大きく自然面を残す。礫面を大きく剥離している。上面で320の剥片と接合する。
316	340	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A－340	剥片	—	接13	-96441.240	44715.690	84.101	7.90	9.70	2.60	194.80	右方からの打撃で剥離された剥片である。上・下面に自然面を残す大形の剥片である。
317	342	E6-4	集中B	Vb中	Kr-Kb	A－342	剥片	—	接13	-96441.580	44716.220	84.104	5.90	4.20	1.65	18.70	不定形の剥片。上・右側面に剥片剥離の痕を認める。
318	343	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A－343	剥片	—	接13	-96441.930	44716.500	84.116	5.90	4.00	2.90	48.20	背面・右側面に剥片剥離の痕を残す。
319	388	E6-4	集中B	Vb中	Kr-Kb	A－388	剥片	—	接13	-96440.280	44719.020	84.174	3.35	3.45	1.10	12.10	背面にも剥片剥離の痕を認める。右側面には自然面が残る。
320	629	E6-4	集中B	Vb	Kr-Kb	A－629	剥片	—	接13	-96442.410	44717.210	84.167	4.60	6.40	3.00	79.80	裏面は自然面を大きくのこす。礫面を大きく剥離している。315の剥片と同時に剥離されている。下面で接合する。
【接合資料14：ホルンフェルス】（第105図・第106図　321～324）																	
321	724	B5-4	集中D	Vb	Kr-Kb	A－724	石核	—	接14	-96434.830	44685.850	83.768	4.50	6.70	6.00	202.70	打面を転位させながら複数方向から不定形の剥片を剥離している。多面体の石核である。
322	634	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－634	剥片	—	接14	-96438.390	44689.550	83.753	3.60	2.90	1.00	8.40	323から剥離された剥片である。背面にはそれ以前に剥片を剥離した痕跡を残す。小剥片である。
323	720	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－720	剥片	—	接14	-96435.520	44689.250	83.841	8.30	3.50	3.30	87.30	(321＋324)のための打面再生剥片である。背面には剥片剥離痕、節理面が残る。
324	722	B5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－722	剥片	—	接14	-96435.000	44687.830	83.872	6.30	5.10	2.30	64.70	321から剥離された剥片である。腹面には節理面が大きく残る。
【接合資料15：ホルンフェルス】（第107図　325～329）																	
325	420	C5-3	集中D	Vb中	Kr-Kb	A－420	剥片	—	接15	-96439.400	44695.800	84.475	6.00	7.30	2.80	68.30	背面には自然面・節理面を残す。
326	549	C6-4	集中D	Va	ML1下	A－549	剥片	—	接15	-96440.430	44695.800	83.777	4.70	3.70	1.25	14.60	327剥離の後、上方向からの打撃により剥離された剥片。
327	551	C5-3	集中D	Va	ML1下	A－551	剥片	—	接15	-96439.900	44685.450	83.838	6.80	3.80	2.85	45.70	背面左側に自然面を残す。腹面に下方向からの打撃による剥離を認める。
328	733	C5-3	集中D	Vb	Kr-Kb	A－733	剥片	—	接15	-96439.760	44695.400	83.768	4.85	3.40	1.60	19.00	背面に２枚の剥片剥離の痕を残す。節理面も残る。
329	743	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－743	剥片	—	接15	-96440.740	44694.450	83.689	7.70	7.20	4.95	152.00	裏面は自然面を大きく残す。正面・下面には節理面を残す。
【接合資料16：ホルンフェルス】（第108図　330～334）																	
330	541	C6-4	集中D	Va	ML1下	A－541	剥片	—	接16	-96444.180	44695.850	83.427	5.35	8.50	2.20	88.20	332剥離後の作業面を打面とし、横剥ぎの剥片を剥離する。背面には剥片剥離痕が残る。
331	546	C6-4	集中D	Vb	Kr-Kb	A－546	剥片	—	接16	-96442.030	44695.150	83.561	3.60	3.90	1.30	19.60	332から剥がれた剥片。背面には自然面、節理面を残す。
332	738	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－738	剥片	—	接16	-96444.380	44692.350	83.315	6.30	7.40	2.25	96.10	背面には自然面、節理面が残る。330、333を剥ぐための打面再生剥片である。
333	741	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－741	剥片	—	接16	-96441.320	44694.600	83.683	3.00	3.95	1.00	9.00	330から剥がれた小剥片。背面には剥片剥離の痕を残す。
334	742	C6-1	集中D	Va	ML1下	A－742	剥片	—	接16	-96441.370	44694.600	83.683	3.20	1.80	1.15	5.10	332から節理により剥がれた剥片である。

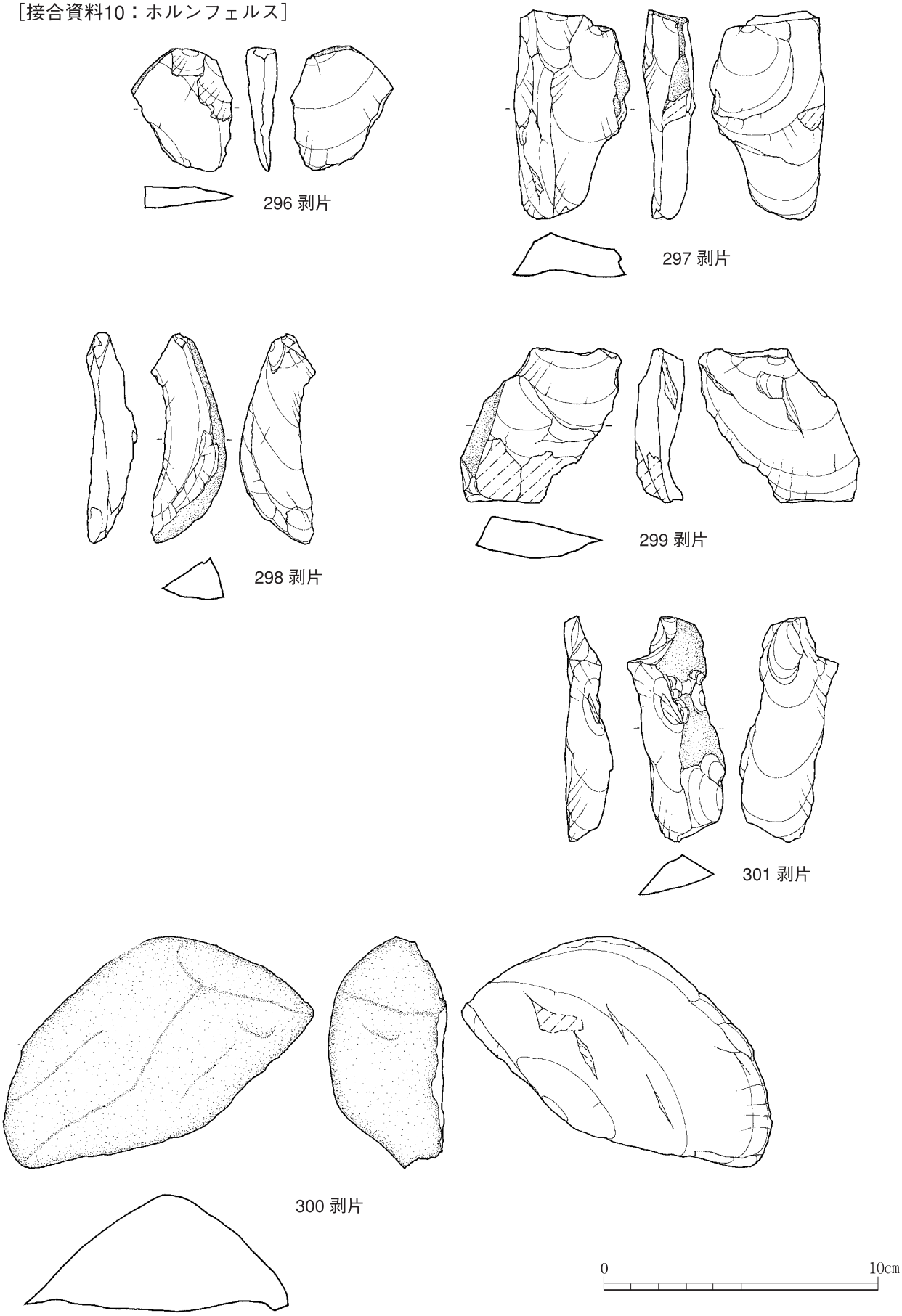
第22表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表８

［接合資料10：ホルンフェルス］



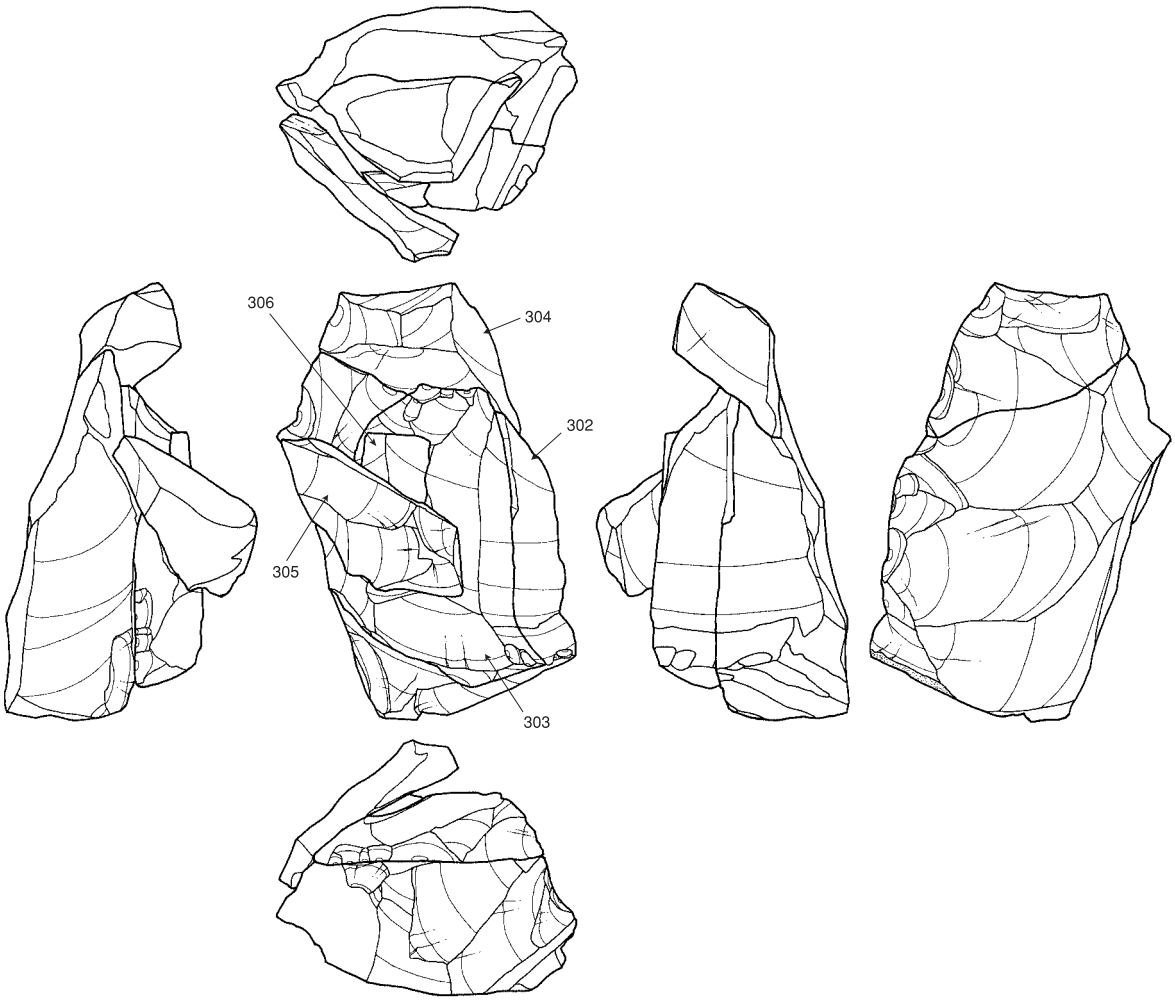
第97図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図６（S＝1/2）

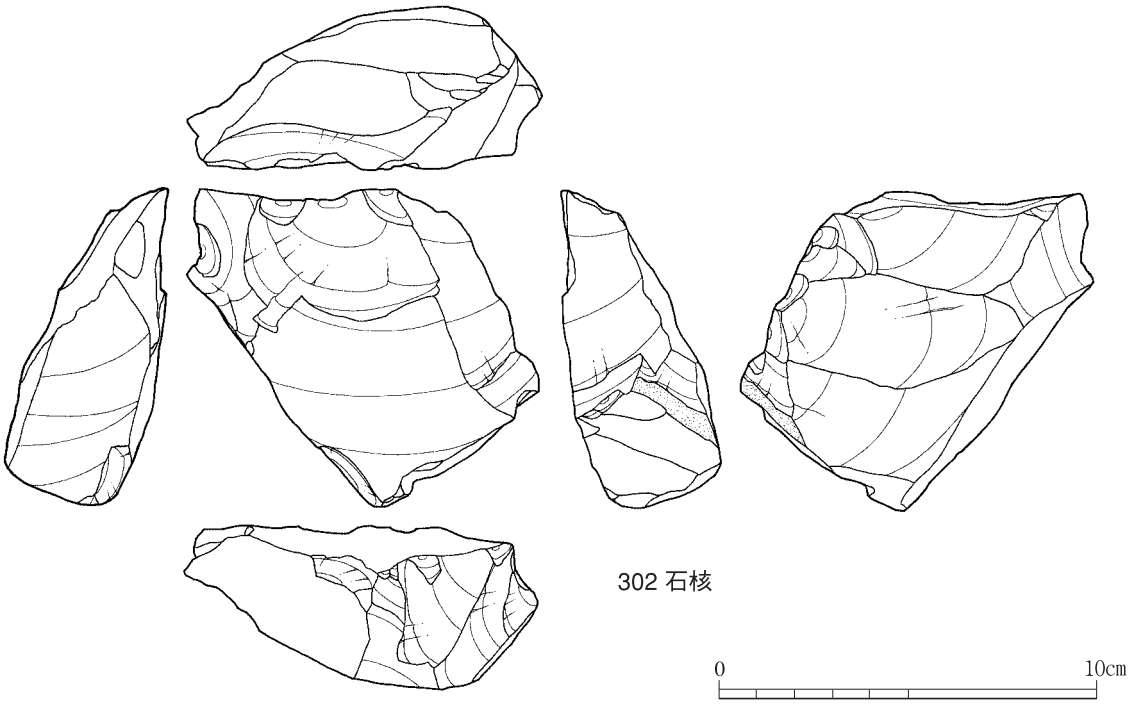
［接合資料10：ホルンフェルス］



第98図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図７（S＝1/2）

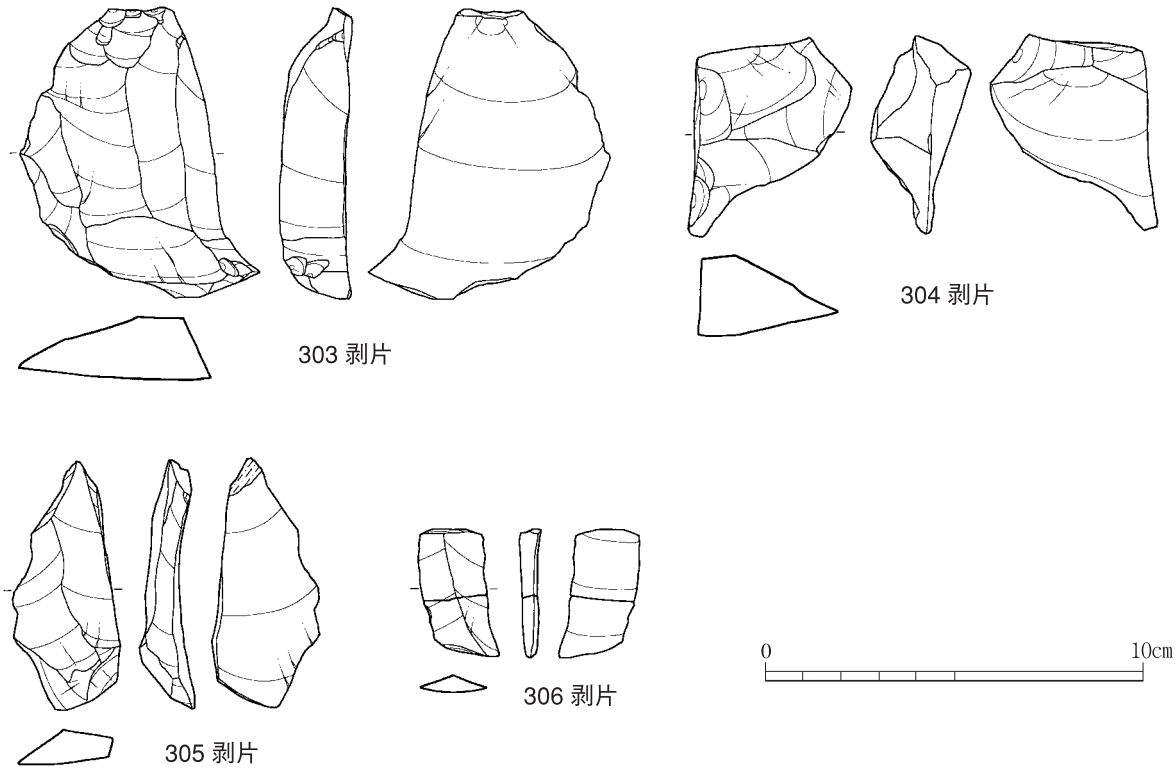
［接合資料11：ホルンフェルス］





第99図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図８（S＝1/2）

［接合資料11：ホルンフェルス］



第100図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図９（S＝1/2）

上下左右各方向からの打撃により複数枚の剥片を剥離の中で、上面を打面として剥いだ剥片の作業面を打面とし、接合資料正面からの打撃で311を剥離、右方向からの打撃で309を、続いて180度打点を入れかえ、310を剥ぐ。節理があったため、剥がれた可能性がある。更に90度打点を入れかえ、上方向からの打撃で308を剥いでいる。311→309→310→308の順で剥離されたと考えられる。

【接合資料13】（ホルンフェルス製）［第103図］

石核１点（312）と剥片８点（313～320）の接合資料である。打点をかえながら剥片剥離を行っている例である。E６G遺物集中域Bからの出土である。

礫自体は大きくA＝(312＋317＋318）とB＝(315＋320)、C＝((313＋314)＋316＋319）の３つに分かれて剥片剥離を行う。

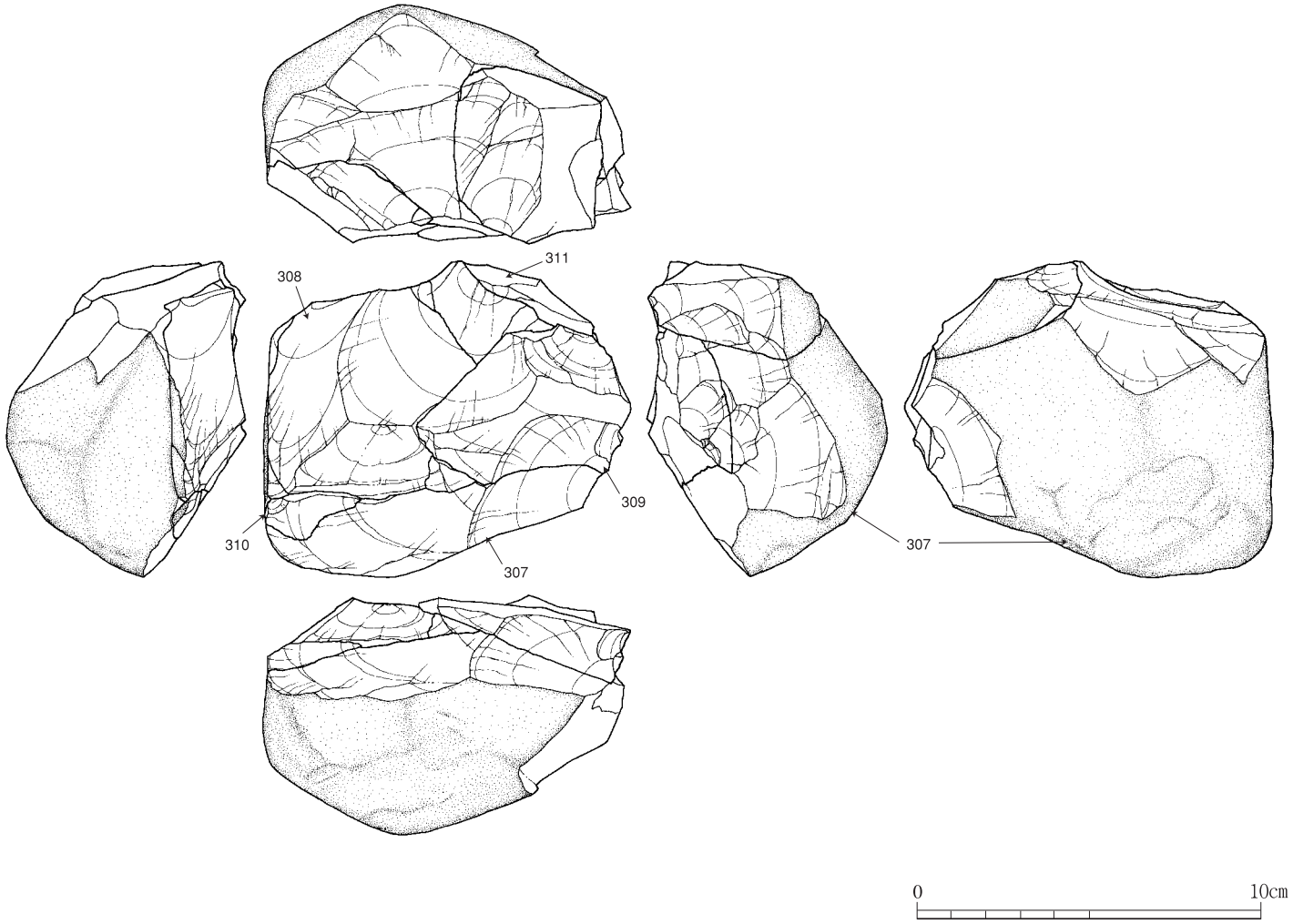
まず、上面に打面を作り出し、上方からの打撃でAを剥ぐ。そして打点を180度転位させて、318→317を剥ぐ。残ったものが312の石核である。次いで、礫面を剥ぐ形で、Bを剥いでいる。大形剥片（315＋320）である。Cについては、(313＋314）と319を、316の背面・腹面よりそれぞれ剥いでいる。(315＋320）は何らかの作用で折れが生じたものと考える。

【接合資料14】（ホルンフェルス製）［第105図］

石核１点（321）と剥片３点（322・323・324）の接合資料である。いずれも遺物集中域Dからの出土である。

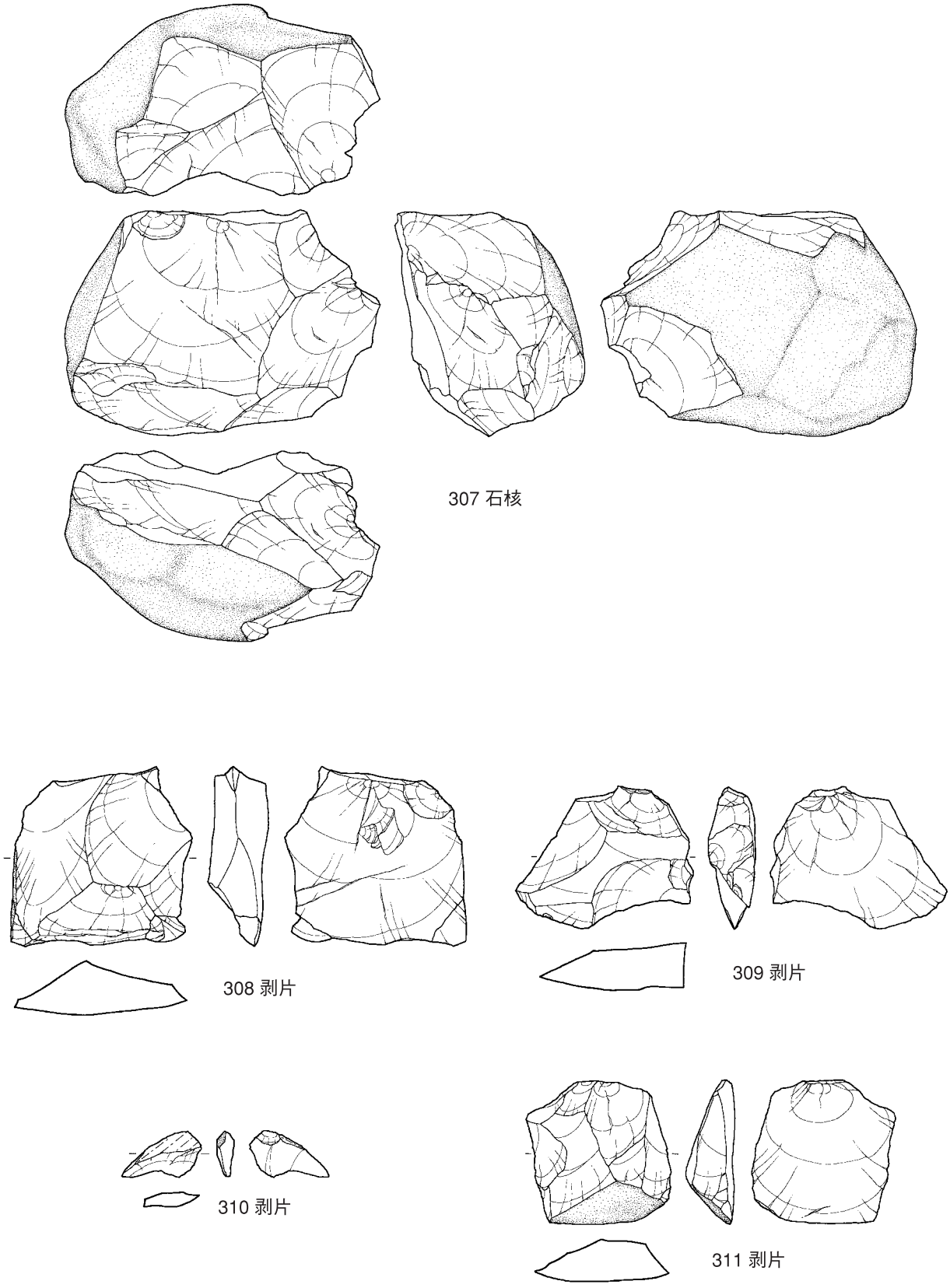
母岩から（322＋323）の剥片剥離により（321＋324）の上面に打面を作り出している。打面を作り出した後、321から324の剥片を剥いでいる。結果、多面体の321の石核が残った。

［接合資料12：ホルンフェルス］



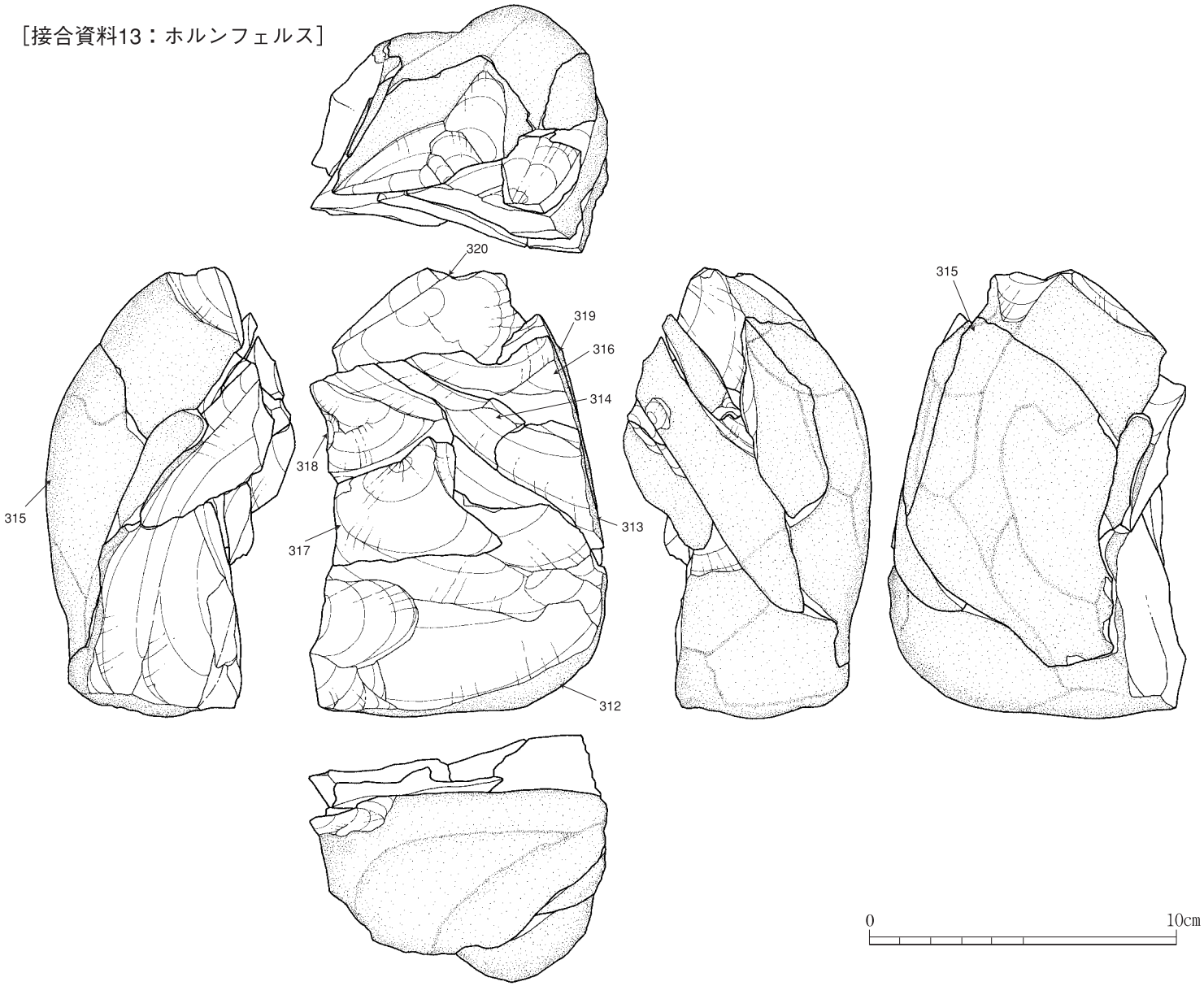
第101図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図10（S＝1/2）

［接合資料12：ホルンフェルス］



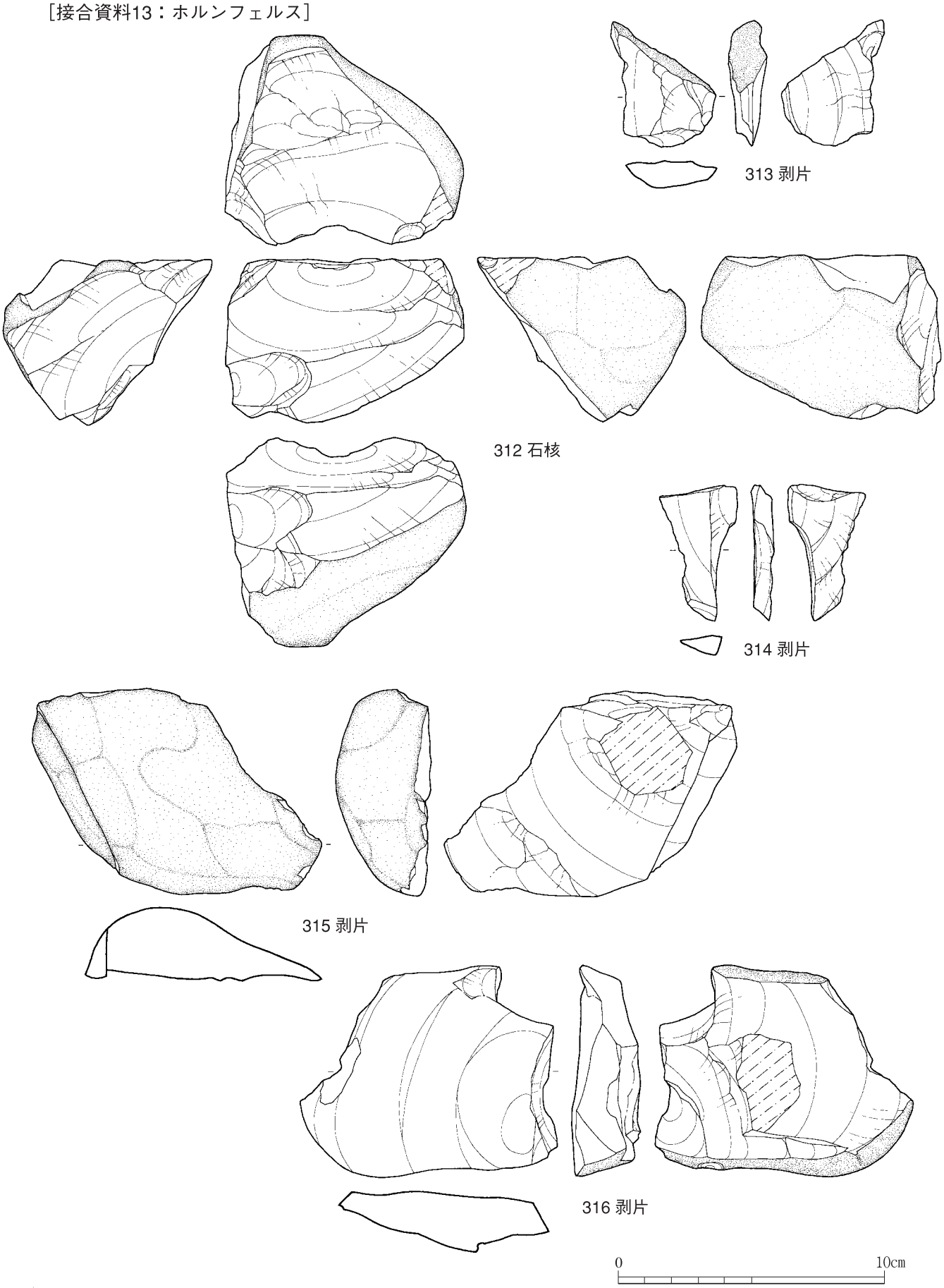
第102図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図11（S＝1/2）

［接合資料13：ホルンフェルス］

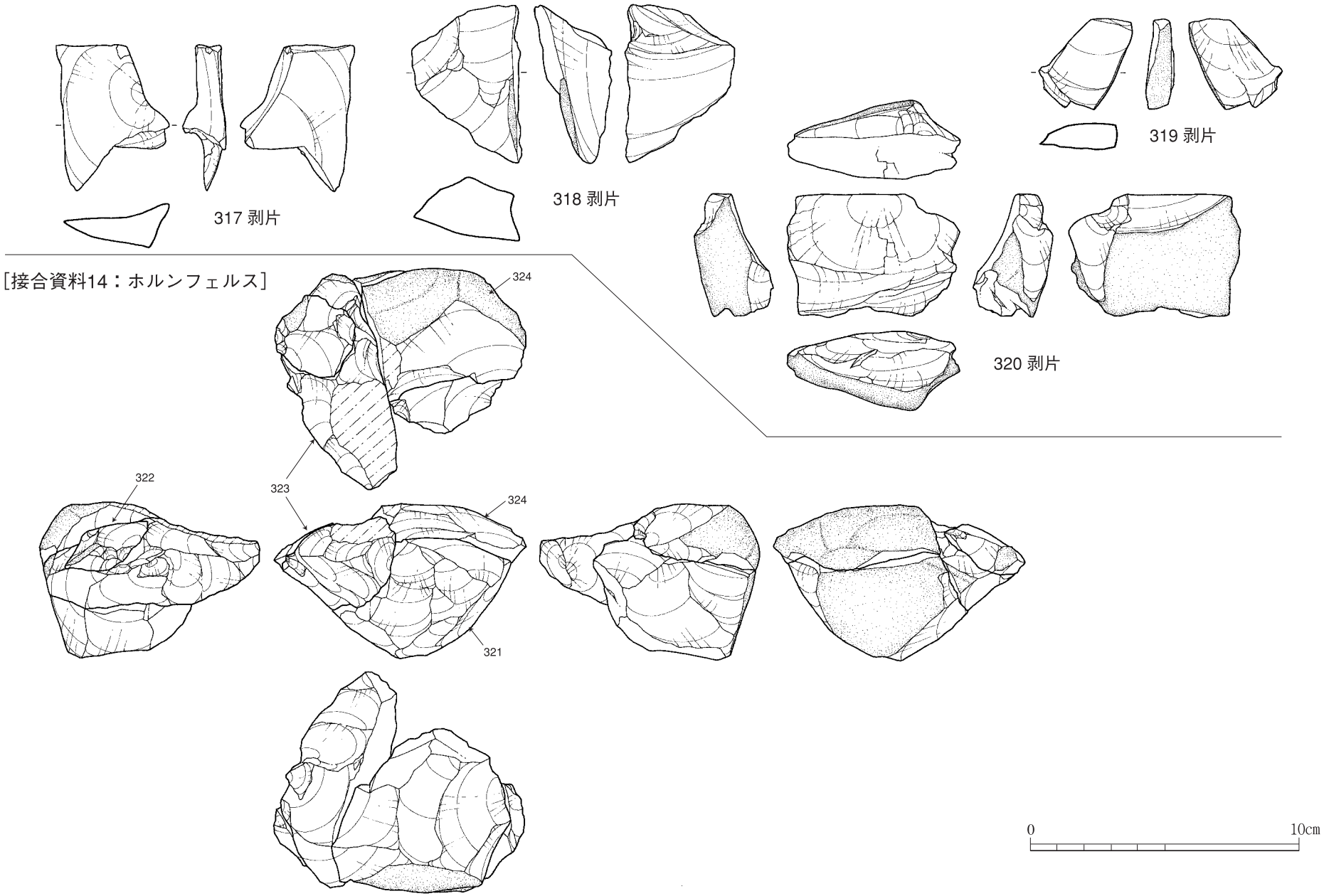


第103図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図12（S＝1/2）

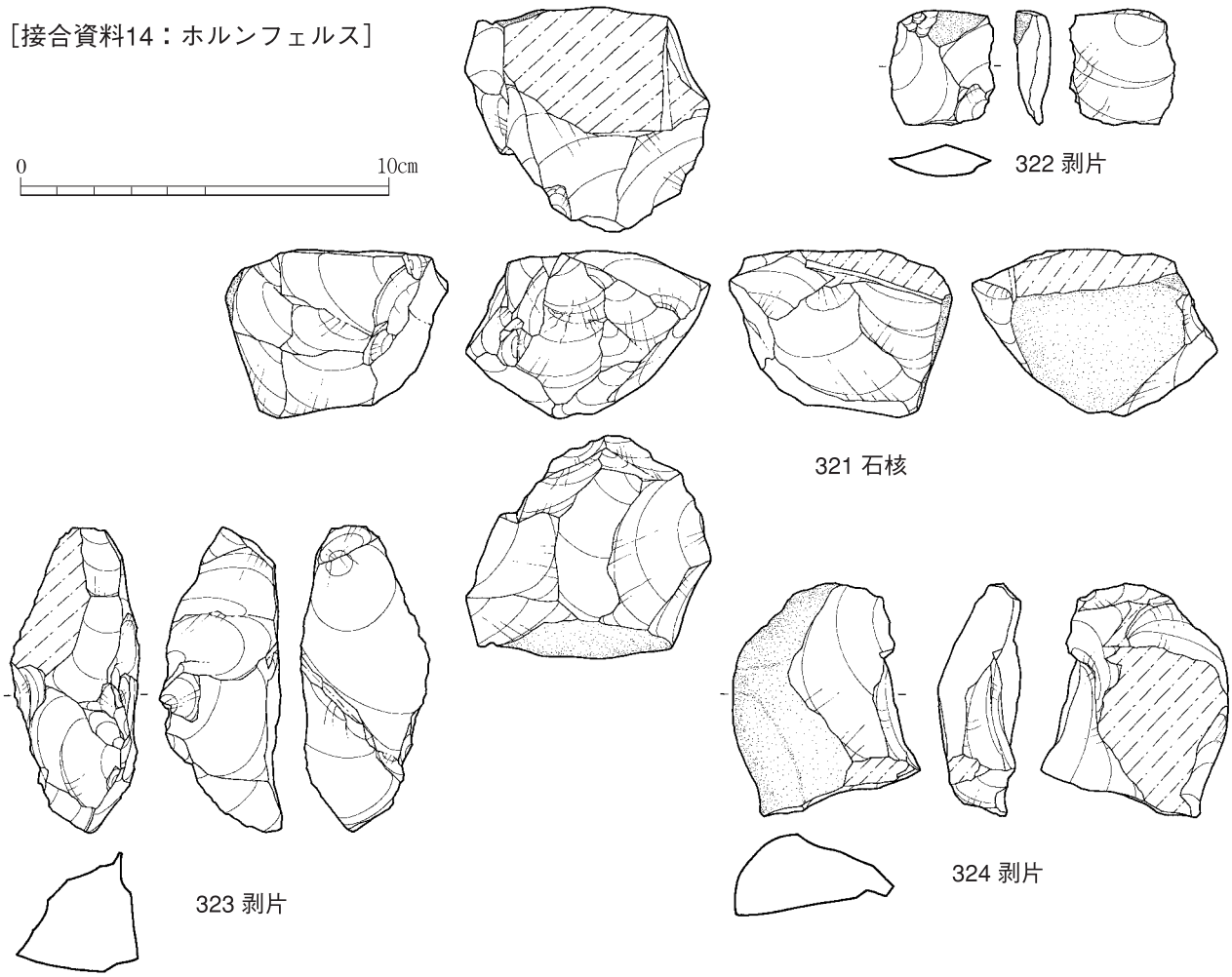
［接合資料13：ホルンフェルス］



第104図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図13（S＝1/2）



第105図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図14（S＝1/2）



第106図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図15（S＝1/2）

【接合資料15】（ホルンフェルス製）［第107図］

剥片５点の接合である。遺物集中域Ｄからすべて出土している。

自然面と節理面を大きく残す接合資料である。粗い加工を施し剥片を剥離した。中心になる石核は出土できていない。

母岩から節理面の影響を受けながら、329が剥離された。順序は明確ではないが、その後、325を剥離する。そして327→326、328と剥いだものと考えられる。節理が入り、石質として石器加工（剥片剥離）には適していなかったのではないかと考える。

【接合資料16】（ホルンフェルス製）［第108図］

剥片５点の接合資料である。(330＋333）と（(332＋334)＋331）の接合である。遺物集中域ＤのＣ６Ｇからの出土である。

（332＋334）は、(330＋333）を剥離するための打面再生剥片である。まず、331の剥片を（ａ）方向から剥ぎ、次いで同じ（ａ）方向からの打撃で(332＋334）を剥いでいる。334は節理に伴って剥がれたものである。(332＋334）の剥離後できた打面を利用して、333→330と順に剥いでいる。

【接合資料17】（ホルンフェルス製）［第109図］

剥片17点（335～351）の接合資料である。Ｅ６－１Ｇの遺物集中域Bからの出土である。

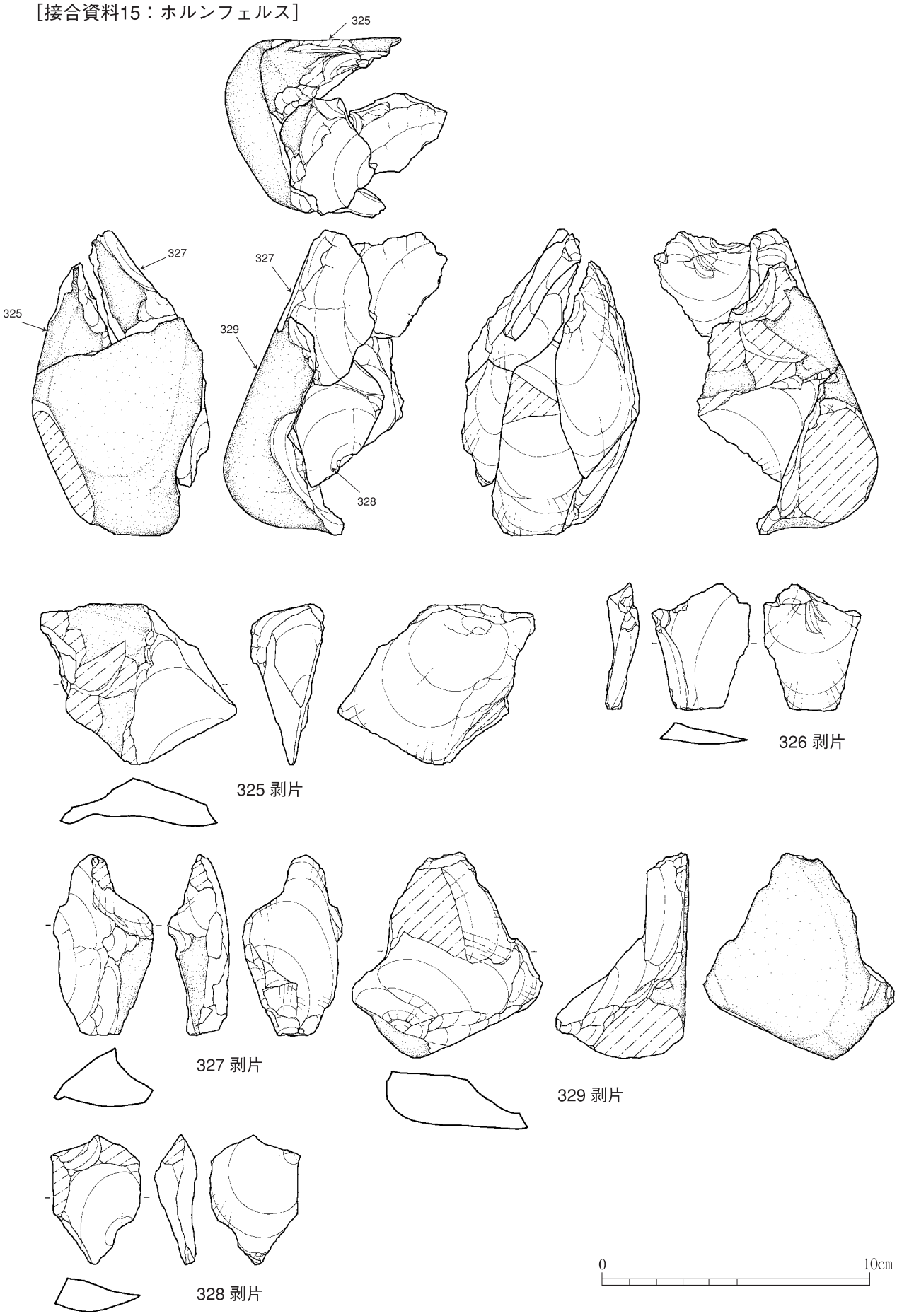
礫面除去後、打面を何回も作り出したながら、剥片剥離を繰り返した例である。

正面図左側の礫面を剥いだ後、339→341と剥離する。次いで、341の剥離によって作られた面を打面にして349→335と剥ぐ。さらに、340→344、338→342、346と順次剥離する。その際、まとまりのある剥離とともに次の打面が作られている。そして337を剥離して打面を作り出した後、今度は、343→351

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【接合資料17：ホルンフェルス】（第109図～第111図　335～351）																	
335	84	E6-1	集中B	Ⅳ中	ML1上	A－ 84	剥片	－	接17	-96442.750	44710.800	85.105	4.10	3.80	1.10	10.10	縦長剥片である。下面は347と接合する。左側縁部に微細な剥離を認める。
336	85	E6-1	集中B	Ⅳ	ML1上	A－ 85	剥片	－	接17	-96442.350	44711.110	85.140	3.70	5.50	1.80	24.30	344から剥離された剥片。上左方に打面をもつ。右側縁上部には微細な剥離痕を残す。
337	275	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－275	剥片	－	接17	-96441.650	44711.280	83.963	7.30	6.10	2.40	93.70	背面に自然面及び剥片剥離の痕を残す剥片である。
338	277	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－277	剥片	－	接17	-96441.880	44711.020	84.073	7.80	9.30	3.30	205.40	礫面を大きく剥いだ剥片である。背面は自然面が占める
339	286	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－286	剥片	－	接17	-96442.780	44711.780	83.897	8.70	6.25	1.70	52.10	背面に自然面及び剥片剥離の痕を残す縦長剥片。左右両側縁部には微細な剥離痕を認める。
340	290	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－290	剥片	－	接17	-96442.690	44711.250	83.916	7.00	6.90	2.20	65.30	背面には上下方向からの剥片剥離を認める。上面に打面をもつ縦長の剥片である。
341	291	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－291	剥片	－	接17	-96442.920	44711.190	83.902	9.30	9.10	2.40	177.10	左側面は自然面を残す。背面は剥片剥離の痕を認め、正面上部には加工痕がある。
342	292	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－292	剥片	－	接17	-96442.680	44711.310	83.914	5.70	7.30	2.40	90.60	背面に剥片剥離の痕を認める。右側面に調整痕を残す。
343	293	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－293	剥片	－	接17	-96442.520	44711.080	83.969	5.10	2.95	1.70	20.70	右側面に自然面を残す。左側縁上部は新しい剥離痕を残す。
344	295	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－295	剥片	－	接17	-96441.880	44711.120	84.020	9.10	5.70	2.80	127.60	背面に剥片剥離の痕を認める。右左側縁部に背面側からの調整痕を残す縦長剥片である。
345	298	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－298	剥片	－	接17	-96443.500	44711.800	83.885	8.50	9.20	2.70	134.80	右上面を打面とする。背面には剥片剥離の痕を残す。
346	306	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－306	剥片	－	接17	-96441.350	44711.320	83.928	10.20	7.80	3.95	261.00	背面に自然面及び剥片剥離の痕を残す大形剥片。下縁部の剥離は新しい。
347	308	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－308	剥片	－	接17	-96441.400	44711.400	83.947	2.90	2.50	0.70	4.00	縦長剥片（＋355）の下部部分。左側縁部には微細な剥離を認める。
348	309	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－309	剥片	－	接17	-96441.610	44711.350	83.946	3.10	5.70	0.90	11.70	下縁部に腹面からの調整痕を残す。
349	313	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－313	剥片	－	接17	-96443.290	44711.090	83.916	5.60	4.20	105.00	16.70	下縁部には新しい剥離を認める。背面は剥片剥離の痕を残す。
350	316	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－316	剥片	－	接17	-96442.120	44710.750	83.878	2.00	1.70	0.90	2.10	小剥片。
351	859	E6-1	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－859	剥片	－	接17	-96443.580	44711.090	83.643	5.30	4.00	0.70	20.30	左右側縁部に微細な剥離を認める。
【接合資料18：ホルンフェルス】（第112図・第113図　352～359）																	
352	725	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－725	石核	－	接18	-96438.600	44689.620	83.775	7.10	9.35	3.90	259.80	多方向からの打撃による剥片剥離を行っている。
353	632	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－632	剥片	－	接18	-96439.280	44689.680	83.700	4.00	6.20	1.95	39.80	上面に打面を残す。背面に剥片剥離痕を残す。
354	704	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－704	剥片	－	接18	-96436.780	44687.280	83.708	4.00	4.10	1.40	23.50	背面に剥片剥離痕を残す。
355	714	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－714	剥片	－	接18	-96436.500	44686.550	83.705	4.40	3.90	1.80	26.80	縦長剥片が分割（＋356）したものである。刃部に微細な剥離痕を認める。背面に剥片剥離痕を残す。
356	715	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－715	剥片	－	接18	-96435.890	44686.370	83.799	5.50	8.50	2.30	95.10	縦長剥片が分割（＋355）したものである。刃部に微細な剥離痕を認める。背面に剥片剥離痕を残す。
357	716	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－716	剥片	－	接18	-96435.810	44685.200	83.751	6.15	3.80	2.70	53.90	背面に剥片剥離痕を残す。
358	873	B6-1	集中D	Ⅴa	ML1下	A－873	剥片	－	接18	-96444.200	44682.250	83.415	6.00	4.45	2.25	40.90	背面に剥片剥離痕を残す。
359	746	B5-3	集中D	Ⅴb	Kr-Kb	A－746	剥片	－	接18	-96438.270	44685.270	83.580	4.40	6.60	1.50	38.70	背面に剥片剥離痕を残す。
【接合資料19：空晶石ホルンフェルス】（第114図　360～366）																	
360	1102	D6-4	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－1102	石核	－	接19	-96442.900	44705.090	83.624	8.30	9.25	3.50	233.90	打点を上下左右にかえ、不定形の剥片を剥離している。
361	600	D6-2	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－600	剥片	－	接19	-96445.700	44700.400	83.506	4.70	4.35	1.90	18.80	左側縁部、下縁部に刃こぼれ様の剥離を残す。
362	251	D6-1	集中B	Ⅴa上	ML1下	A－251	剥片	－	接19	-96443.400	44703.690	83.917	5.60	4.05	1.80	26.80	背面に剥片剥離の痕を残す。
363	602	D6-2	集中B	Ⅴb	Kr-Kb	A－602	剥片	－	接19	-96446.220	44700.420	83.525	2.10	1.80	0.50	1.50	小剥片。360の石核から剥離された。
364	350	D6-2	集中B	Ⅴa	ML1下	A－350	剥片	－	接19	-96448.380	44702.450	83.480	4.85	3.45	1.50	15.40	左側縁部に刃こぼれ様の剥離を残す。
365	416	D6-1	集中B	Ⅴa上	ML1下	A－416	剥片	－	接19	-96442.320	44704.220	83.846	4.80	6.65	1.20	23.20	横剥ぎの薄い剥片、背面に左、下方からの剥片剥離の痕を残す。
366	413	D6-1	集中B	Ⅴa中	ML1下	A－413	剥片	－	接19	-96442.830	44703.100	83.740	4.00	5.85	1.90	32.20	横剥ぎの剥片、背面に剥片剥離の痕を残す。
【接合資料20：凝灰岩】（第115図・第116図　367～370）																	
367	535	D7-4	集中C	Ⅴb	Kr-Kb	A－535	石核	－	接20	-96452.180	44709.080	83.536	5.55	5.15	4.60	111.70	多方向、多方面からの剥片剥離を繰り返している。
368	529	D7-4	集中C	Ⅴa	ML1下	A－529	剥片	－	接20	-96454.320	44707.880	83.476	3.70	3.25	1.30	9.90	370の剥片剥離後、剥ぎ取られた剥片である。左側縁下部に微細な剥離を残す。
369	531	D7-4	集中C	Ⅴb	Kr-Kb	A－531	剥片	－	接20	-96453.020	44709.220	83.594	4.55	5.00	1.95	32.70	背面には多方向から剥片が剥離された痕跡を残す。上縁部には剥離痕を認める。
370	534	D7-4	集中C	Ⅴb	Kr-Kb	A－534	剥片	－	接20	-96452.900	44708.690	83.548	7.45	5.95	2.40	76.70	背面には多方向から剥片が剥離された痕跡を残す。左側縁部には微細な剥離を若干認める。

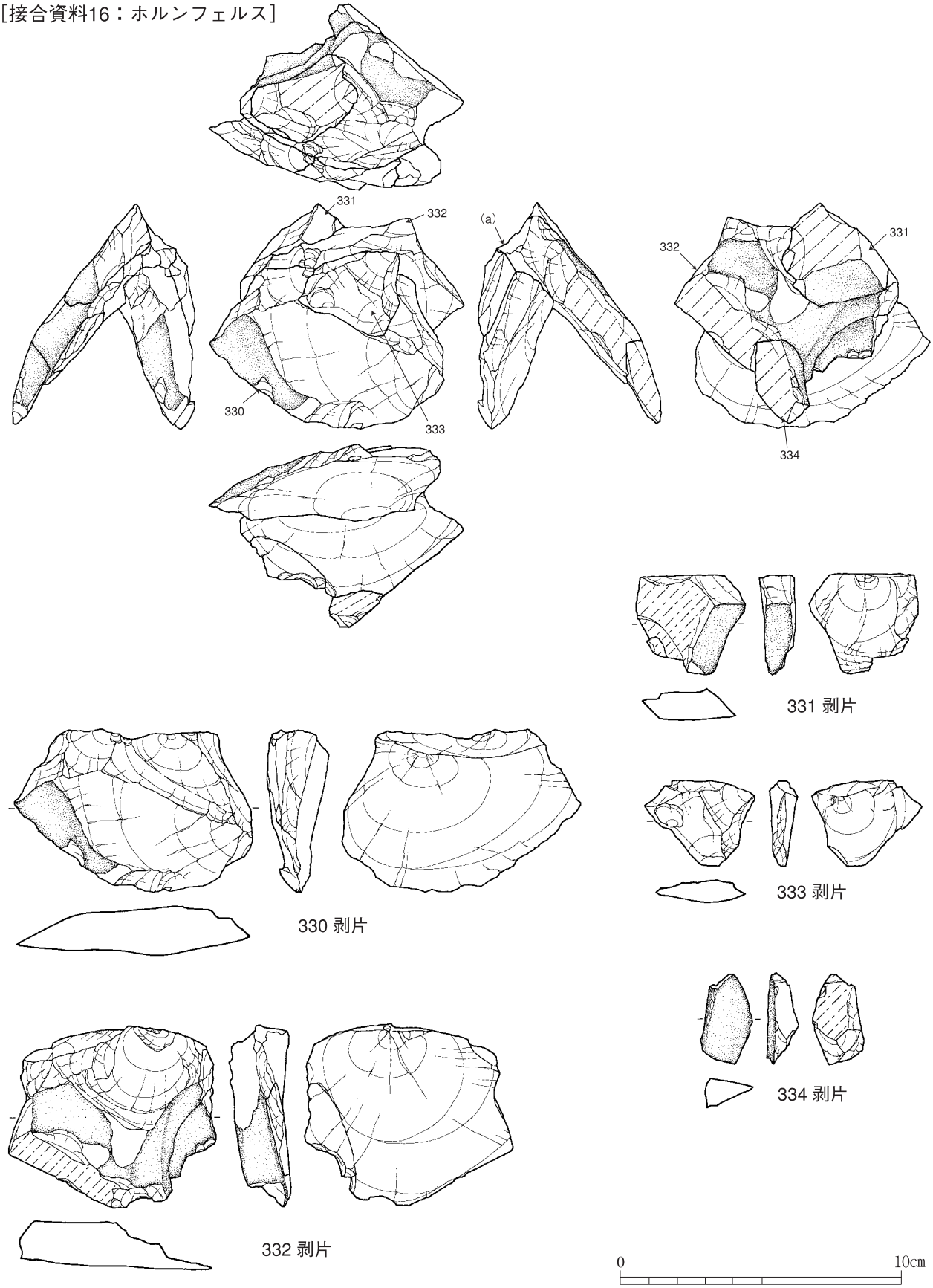
第23表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　石材別石器観察表９

［接合資料15：ホルンフェルス］



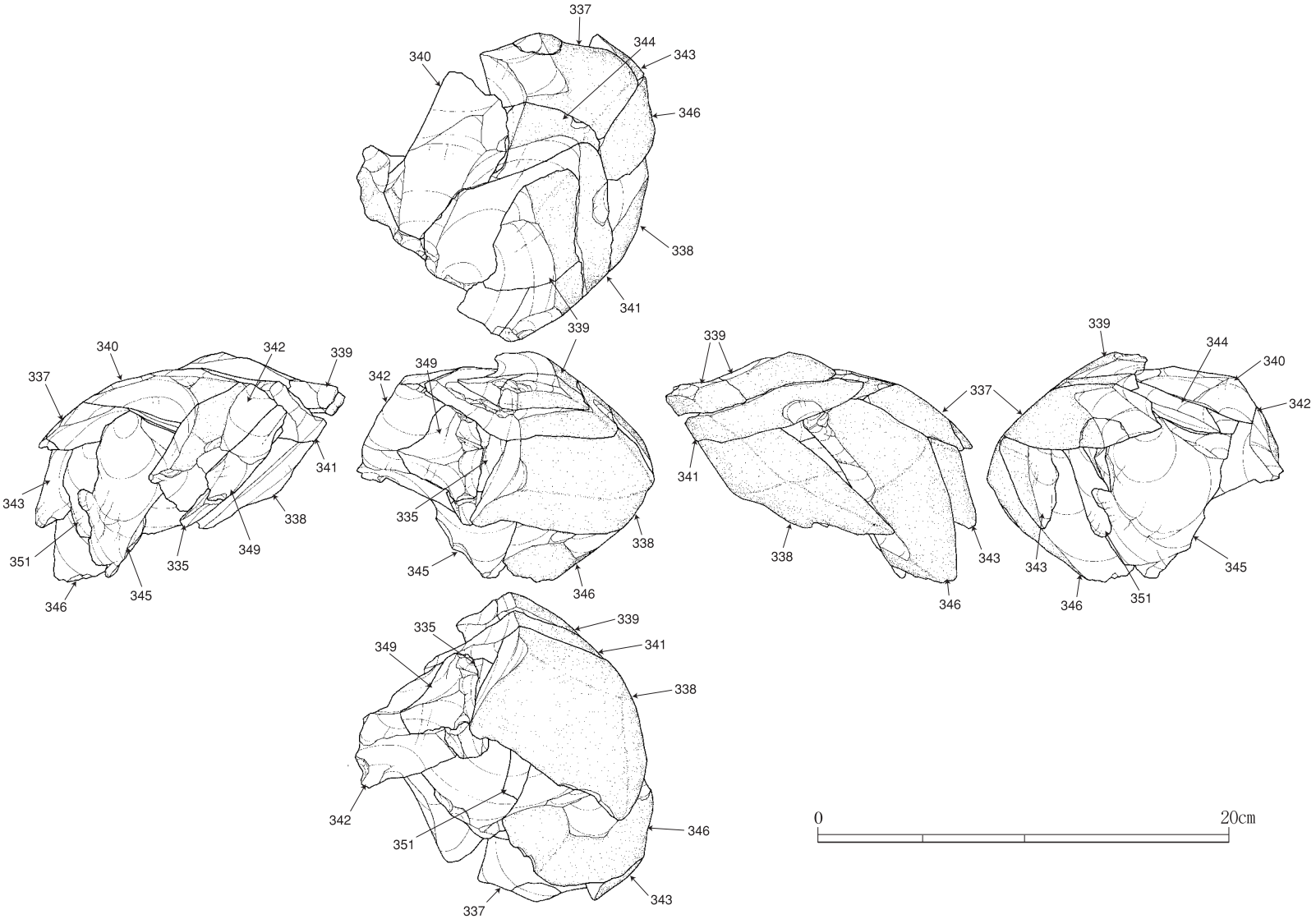
第107図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図16（S＝1/2）

［接合資料16：ホルンフェルス］



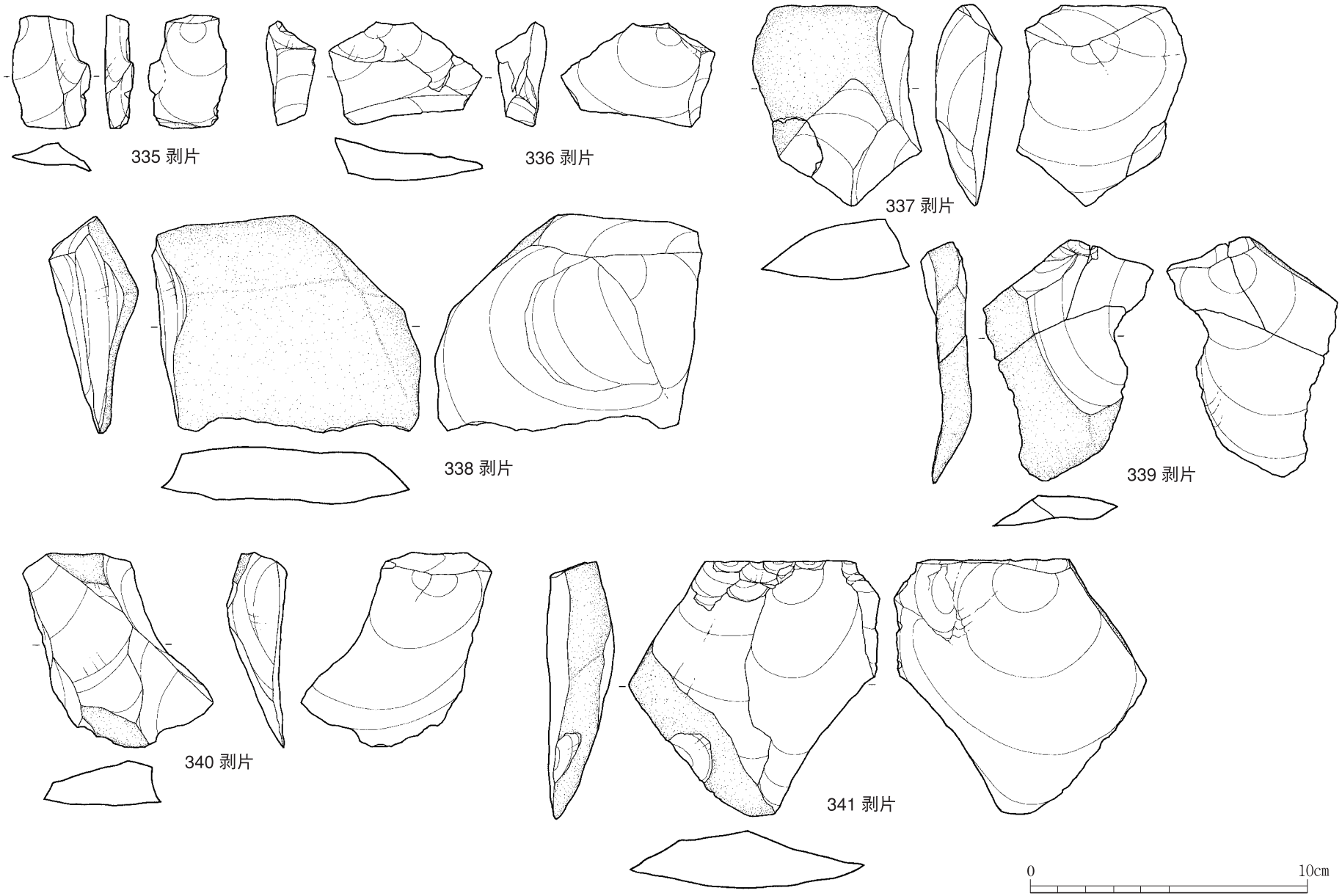
第108図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図17（S＝1/2）

［接合資料17：ホルンフェルス］



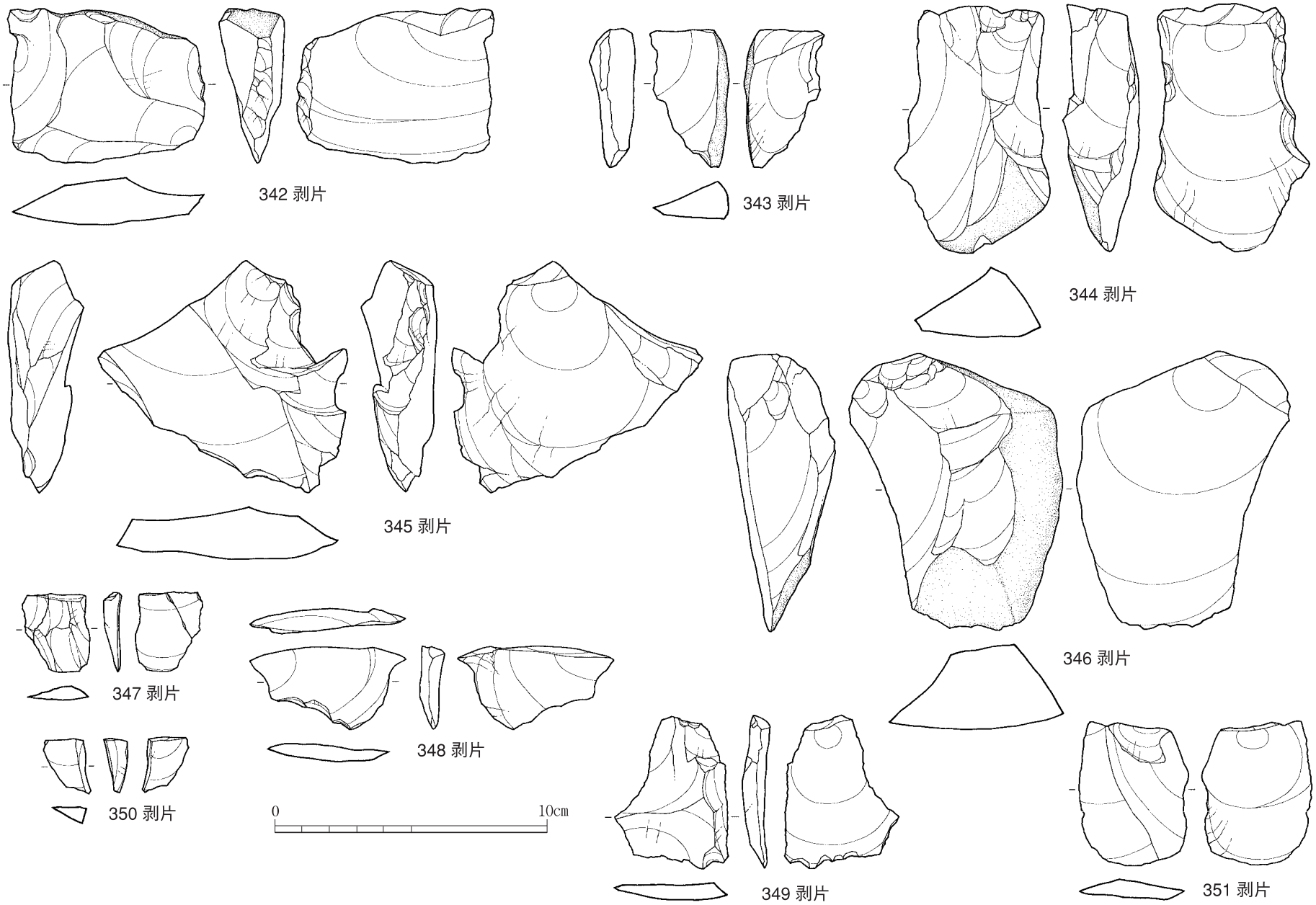
第109図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図18（S＝1/3）

［接合資料13：ホルンフェルス］



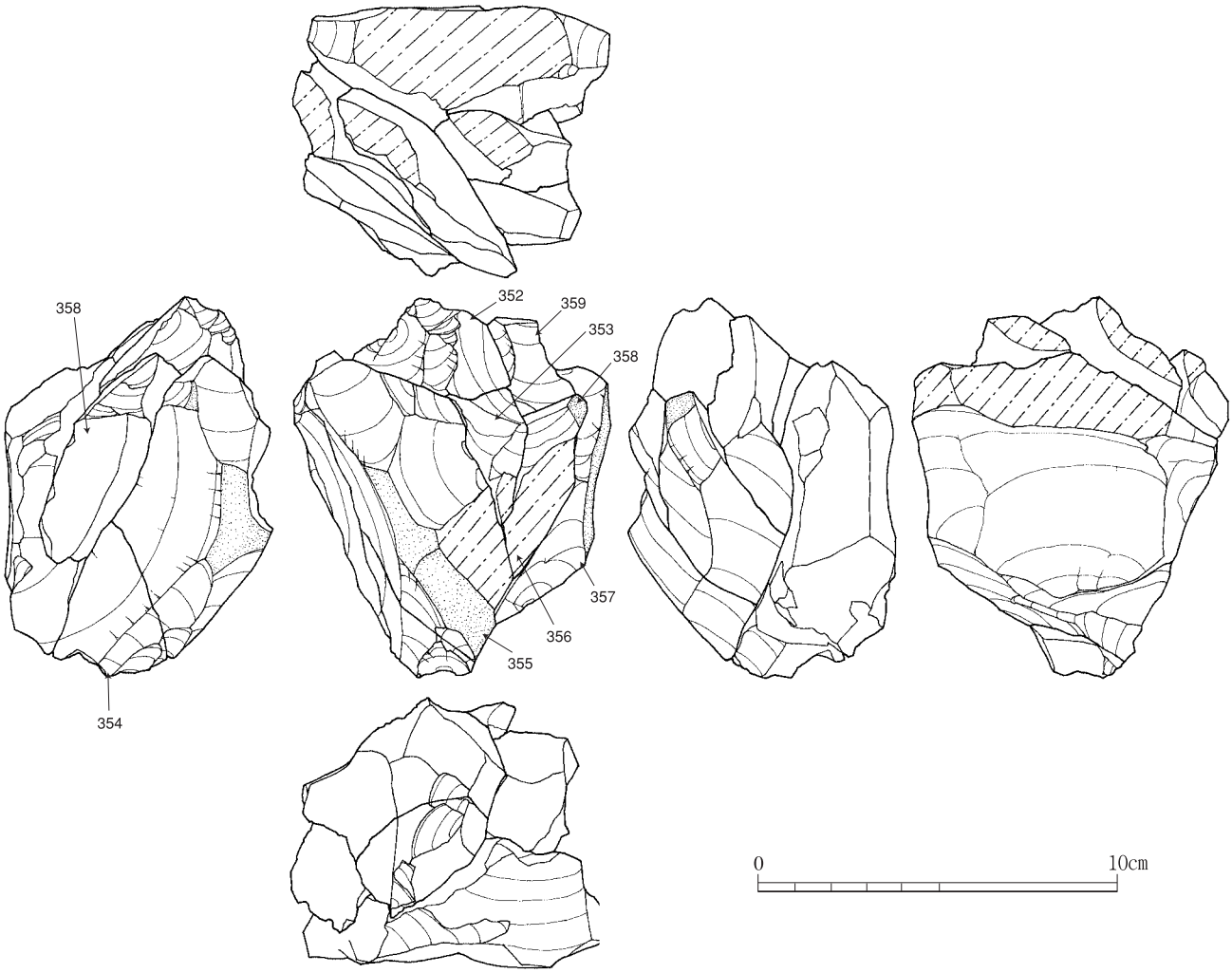
第110図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図19（S＝1/2）

［接合資料17：ホルンフェルス］



第111図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図20（S＝1/2）

［接合資料18：ホルンフェルス］



第112図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図21（S＝1/2）

→350→348→336→345と連続して剥離している。

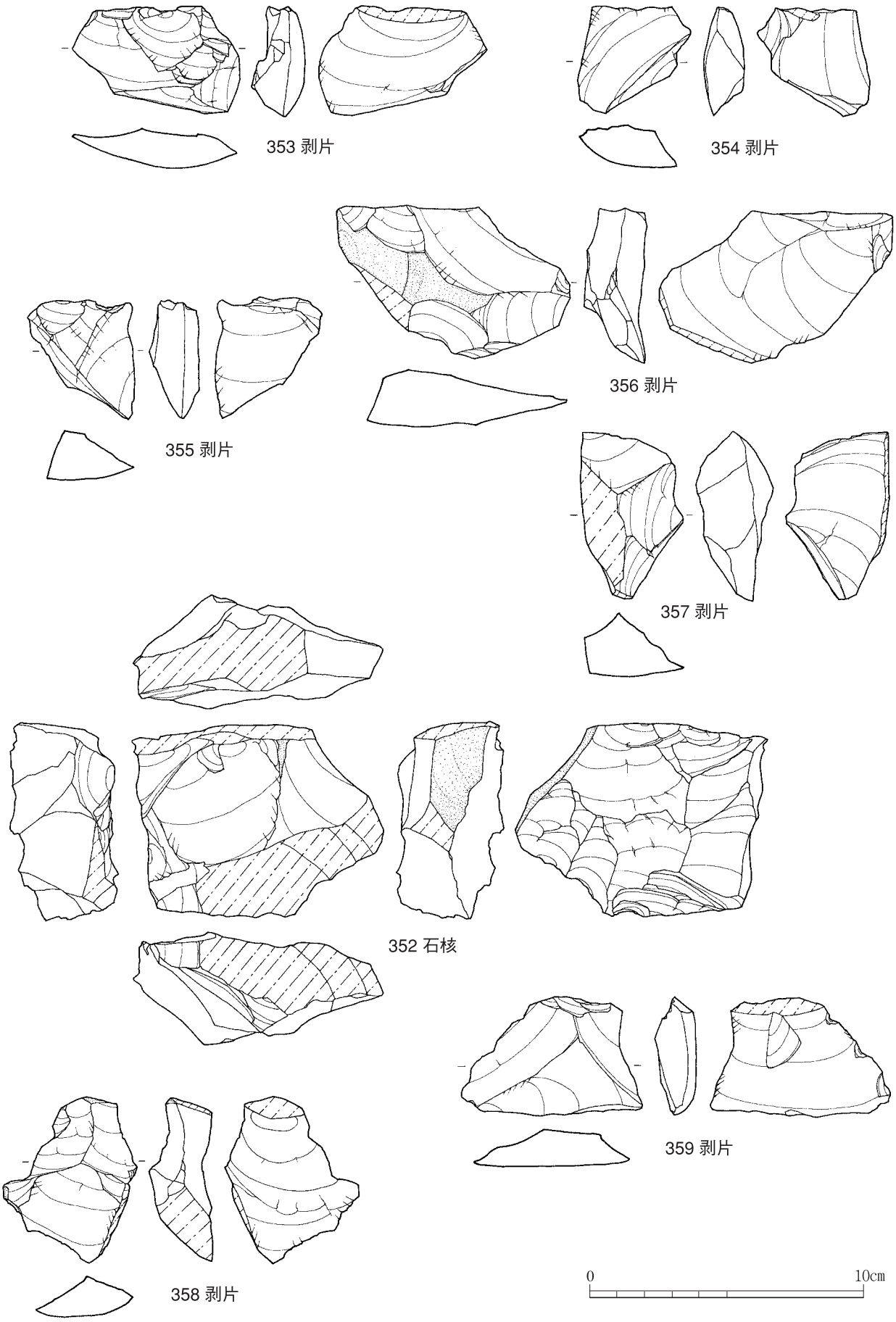
この接合資料は剥片のみの接合である。残念ながら石核は確認できなかった。遺跡外に持ち出されたか、廃棄された可能性が残る。また剥離された剥片は５㎝～10㎝大の大形の剥片であることが特徴である。

【接合資料18】（ホルンフェルス製）［第112図］

石核１点（352）と剥片７点（353～359）の接合資料である。Ｂ５Ｇ・Ｂ６Ｇの遺物集中域Dから出土した。打点を下方→右方、右方→上方などと多方向にかえながら不定形の剥片を剥離している例である。(354＋358)→358→(352＋353)→356→359の順で剥片を剥離する。

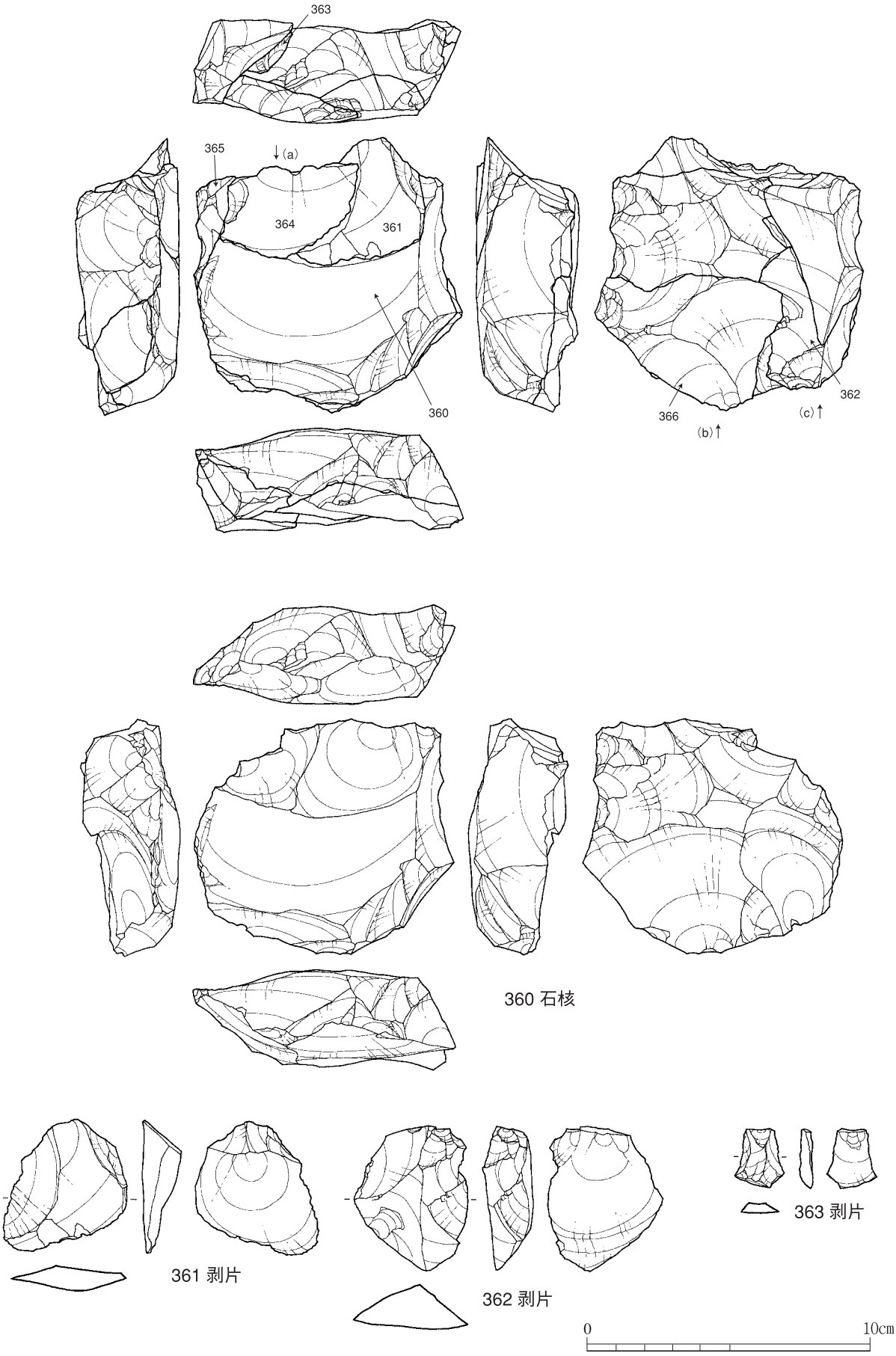
まず、下方からの打撃で、(354＋358）を剥ぐ。(354＋358）の縦長剥片は刃部調整中に二つに分割してしまったと考えられる。次いで打点を90度転位し、左方向から358を剥ぐ。更に90度転位させ、(352＋353）を剥いだ後、分割される。次に、右上方からの打撃で356を剥ぎ、そして359を上方向から剥いでいる。石核352はその前後、多方向からの打撃による剥片剥離を行っている。

［接合資料18：ホルンフェルス］



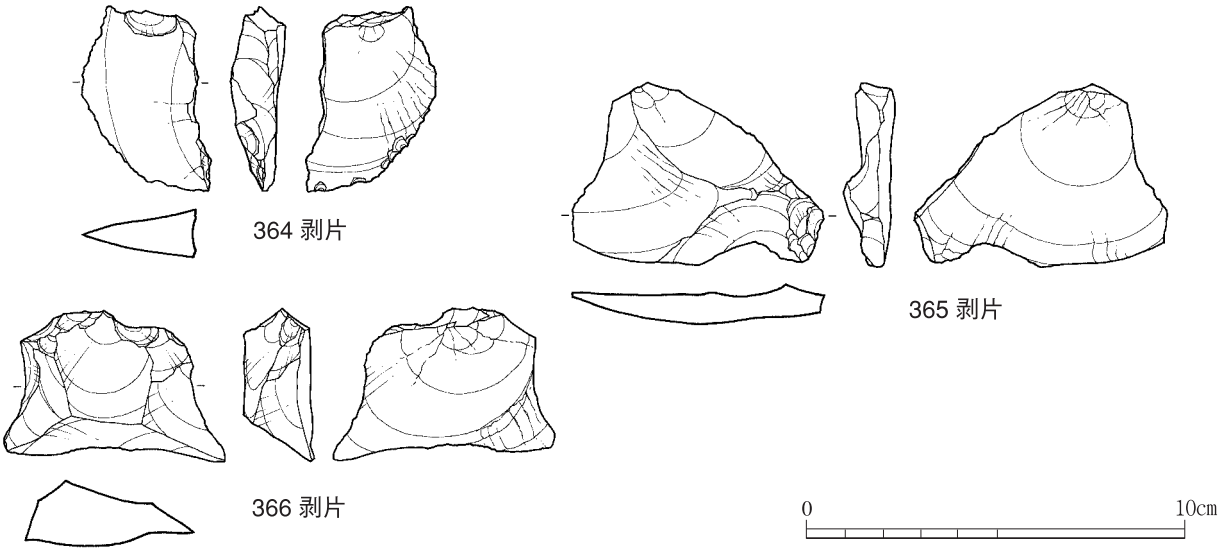
第113図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図22（S＝1/2）

［接合資料19：空晶石ホルンフェルス］



第114図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図23（S＝1/2）

［接合資料19：空晶石ホルンフェルス］



第115図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図24（S＝1/2）

【接合資料19】（空晶石ホルンフェルス製）
［第114図］

石核１点（360）と剥片６点（361～366）の接合である。Ｄ６Ｇ・Ｅ６Ｇの遺物集中域Bから出土した。打点を正面→上面・下面とかえながら不定形の剥片を剥離している例である。

360の石核を中心にして、接合資料の正面からの打撃で365を剥ぐ。順序は明確ではないが、上（ａ）方向からの打撃を加え364→361の順に剥いでいる。そして打点を下にかえ、（ｂ）からの打撃、（ｃ）からの打撃で順に366→362の剥片を剥ぐ。その後、363の剥片を剥いだものと考えられる。

【接合資料20】（凝灰岩製）［第115図］

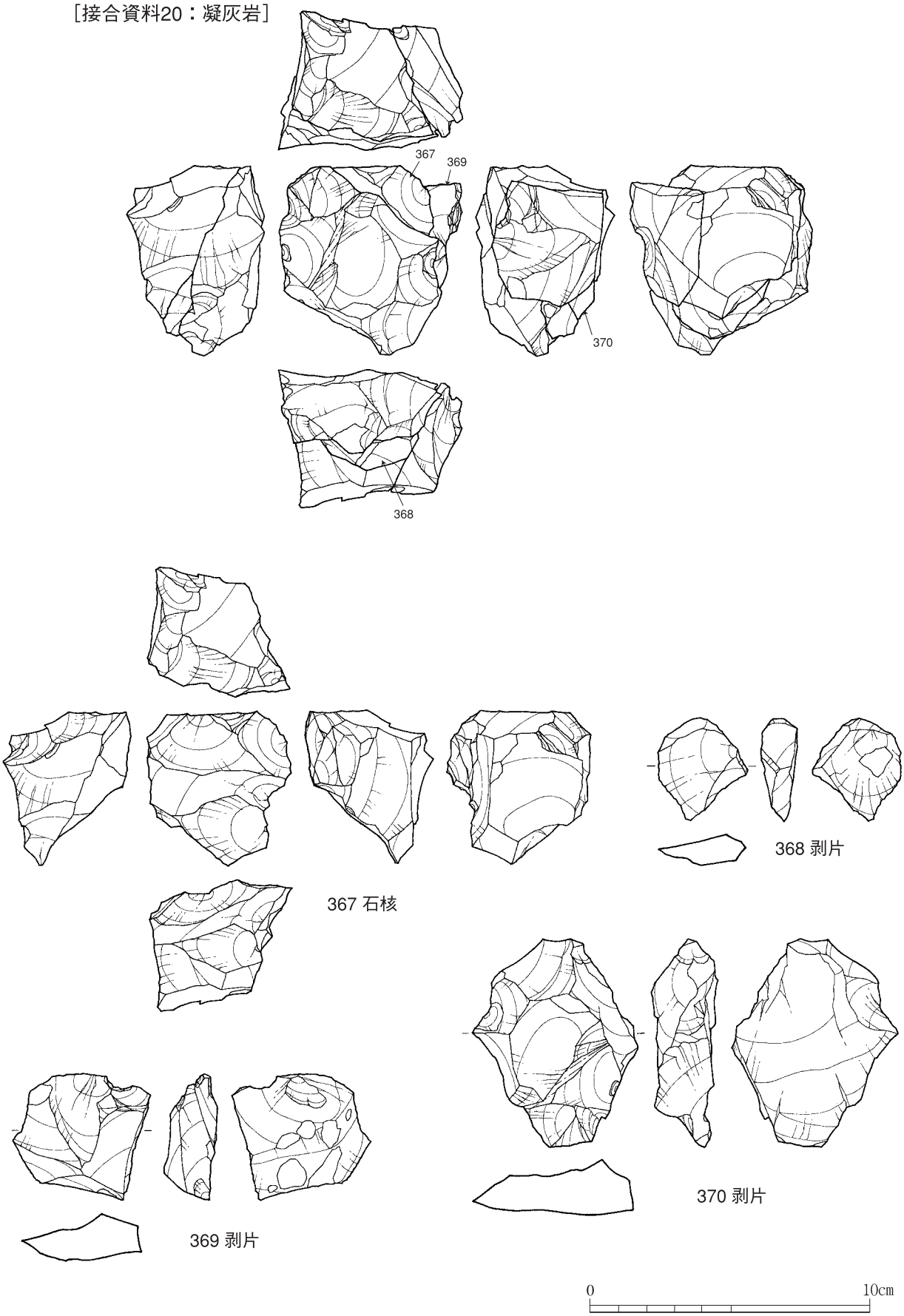
石核１点（367）と剥片３点（368・360・370）の接合である。

いずれも遺物集中域ＣのD－４Gからの出土である。石核から打面を転位させて剥片剥離を行ったものである。

接合資料の裏面を打面として、369の剥片を剥離している。そして、打面を下面にかえ、連続して367から（370→368）と２枚の剥片を剥離し、367の石核が残った。

全体的に風化が認められる。

［接合資料20：凝灰岩］



第116図　旧石器時代　第Ⅳ文化層　接合資料石器実測図25（S＝1/2）

第５節　縄文時代早期の遺構と遺物

１　縄文時代早期の概要

縄文時代早期にあたる層は、本遺跡層序ではⅢ層及びⅣ層にあたり、東九州自動車道基本層序ではK-Ah（鬼界アカホヤ火山灰）層の下位に位置するMB０・ML１上層に相当する。

本層では、247点を超す石器が出土し、石器群および集石遺構、土坑等の遺構が多数認められたこと、MB０層とML１上層出土の遺物レベル差が近く、遺物同士の接合状況の良好なこと、点数は少なかったが土器の出土状況などを総合的に判断して、この２層を縄文時代早期の文化層と位置づけた。

遺構として、集石遺構23基、土坑（陥し穴状遺構１基を含む）24基が検出された。

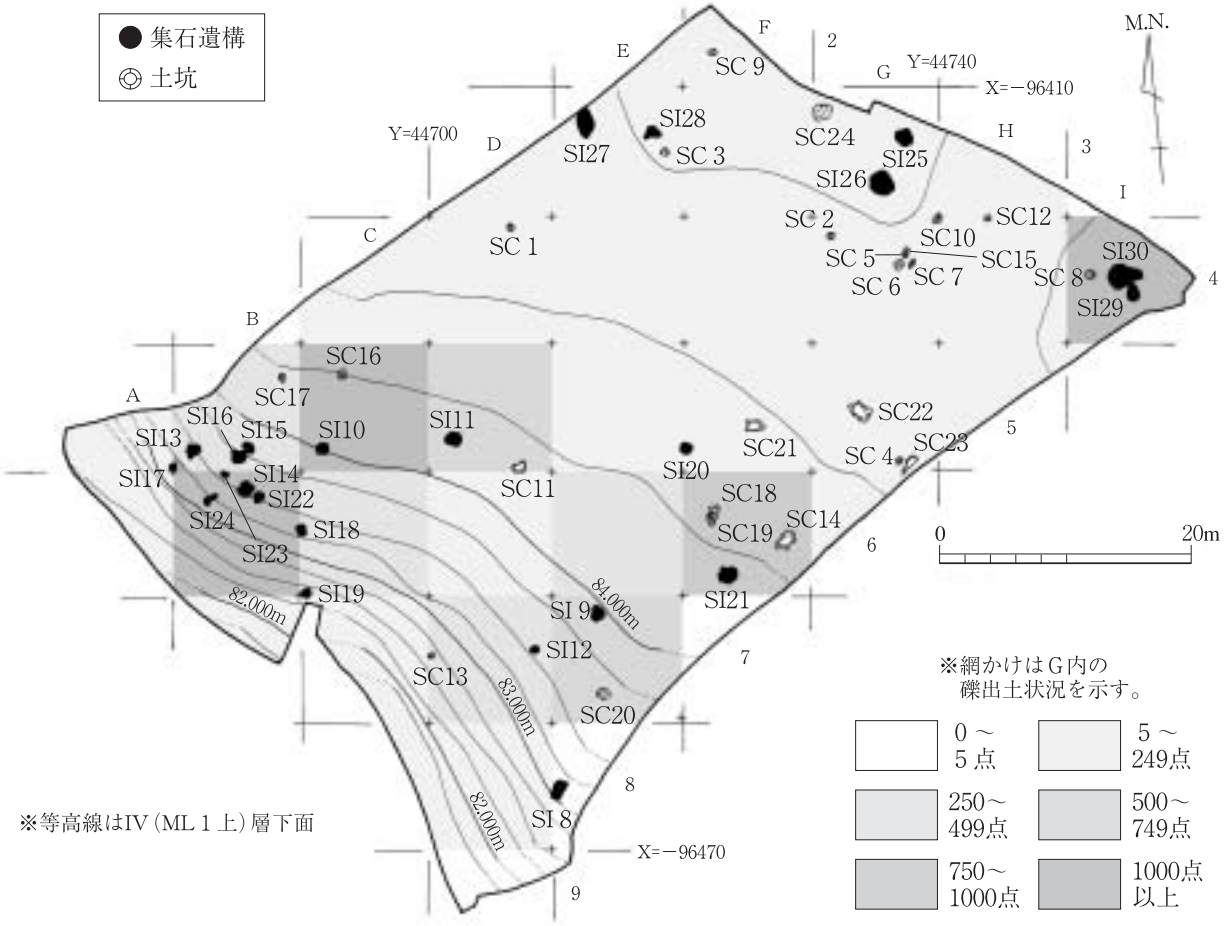
また、石器のまとまりと石材分布、接合状況等を検討し、遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所を認めた（第28表及び第118図）。

遺物としては土器片（小片・破片）が49地点から約120点出土（MB０層11地点、ML１上層地38点）し、縄文時代早期にあたる貝殻条痕文土器片を中心に出土した。そのほとんどが小片・破片である。口縁部の土器片を中心に土器８点を掲載している［第153図］。詳細は後述する。

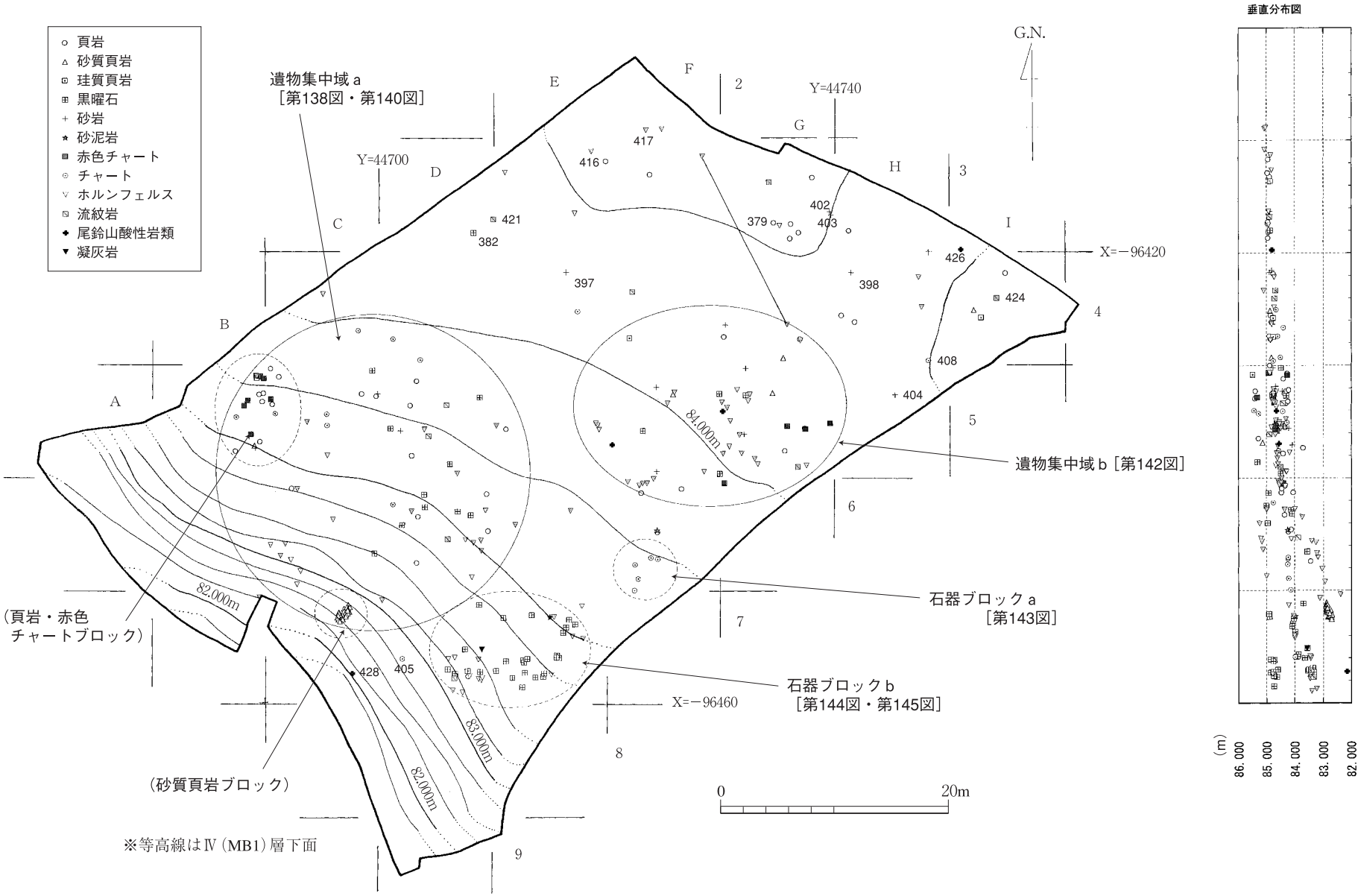
石器は247点（本遺跡出土全石器の約17％）出土した。接合資料は17例、石器数にして45点を数える。石器247点のうち、本書に掲載した石器は製品を中心に55点（頁岩製２点、珪質頁岩１点、黒曜石製13点、砂岩製10点、チャート製11点、赤色チャート製５点、ホルンフェルス製３点、流紋岩製６点、尾鈴山酸性岩類製４点、凝灰岩製１点）を掲載した。［第154図～第157図］

うち接合資料として２例（チャート１例、石器数３点、赤色チャート１例、石器数２点）を掲載している。［第158図］

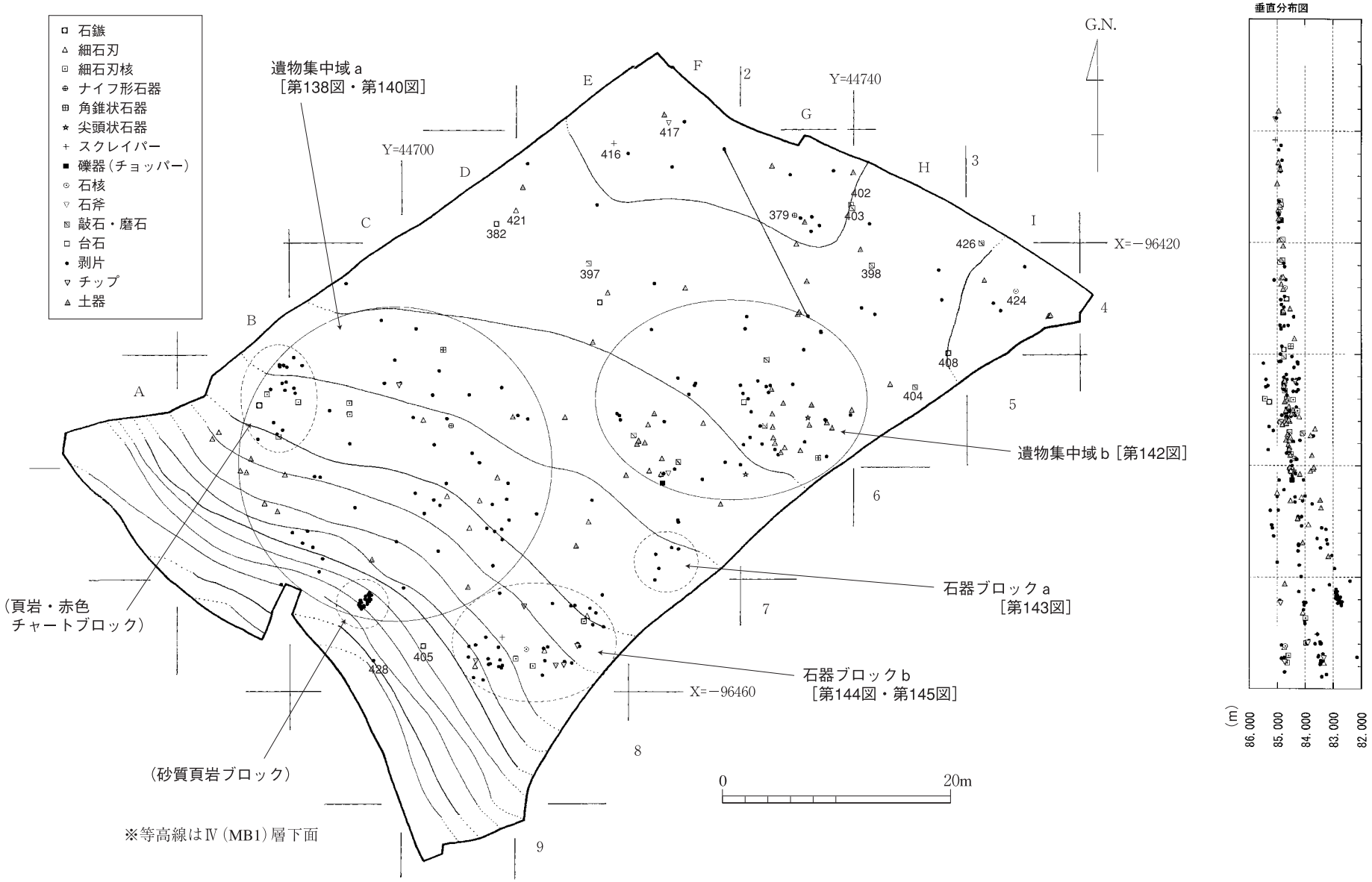
それらの詳細は、「②遺物集中域及び石器ブロッ



第117図　縄文時代早期　集石遺構・土坑・礫分布図（S＝1/600）



第118図　縄文時代早期　石器石材別分布図（S＝1/500）



第119図　縄文時代早期　石器器種別・土器分布図（S＝1/500）

ク」、「３　遺物」で、石器の出土状況、接合資料状況等を解説を加えて述べることとする。

２　遺構

縄文時代早期の遺構としては、集石遺構23基、土坑24基（埋土に炭化物・焼土を伴う土坑20基、陥し穴状遺構１基、用途不明の土坑３基）が検出された。

また、遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所を確認した。

①　集石遺構

集石遺構は、Ⅲ層～Ⅳ層にかけて、23基確認できた。傾向として、尾鈴山酸性岩類を礫の主体とする集石遺構が多く、掘込みや配石の認められないものがほとんどであった。

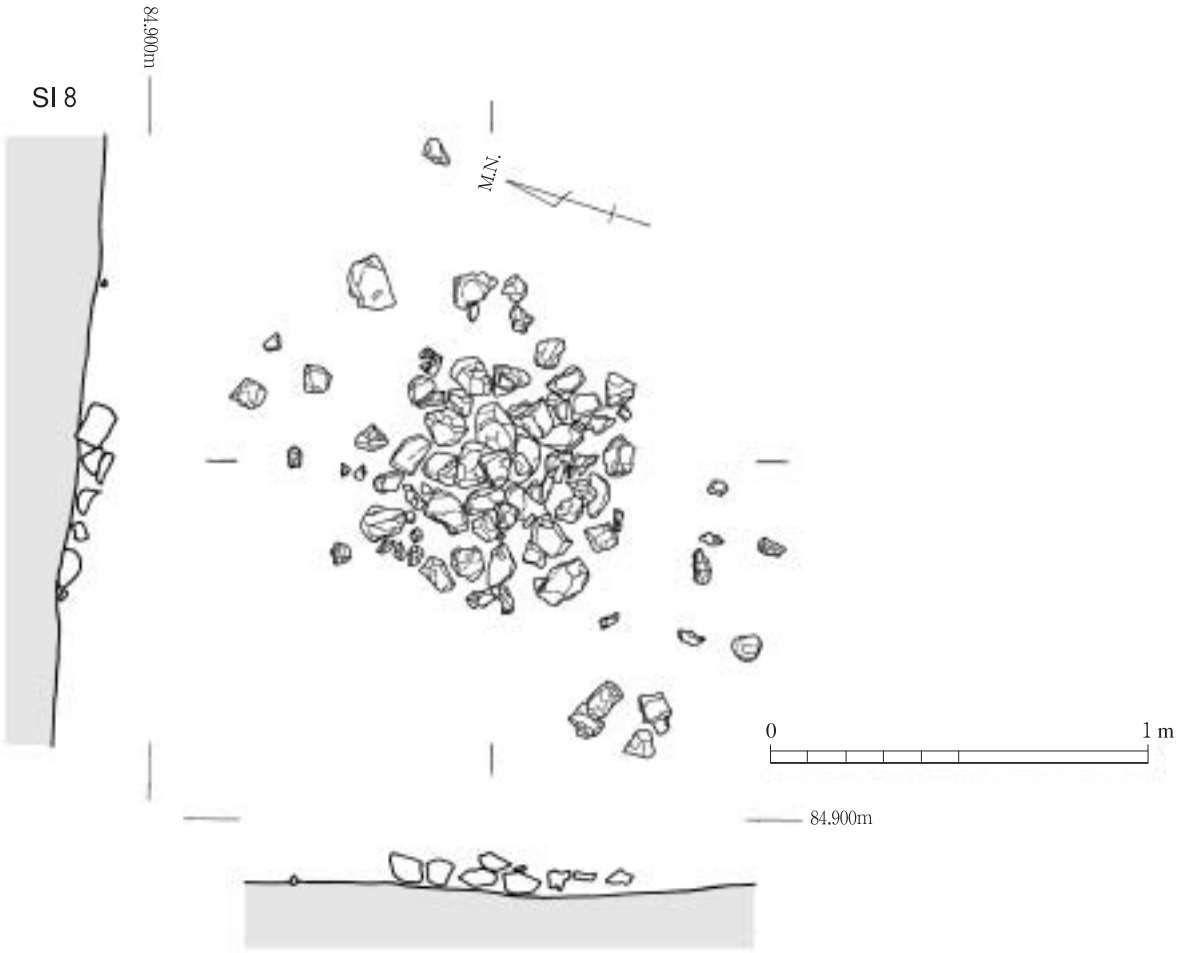
集石遺構を以下のようにタイプ別に分類した。

【１類】	ａ	掘込みがあり、配石があるもの
	ｂ	掘込みがあり、配石がないもの
【２類】	ａ	掘込みがなく、配石があるもの
	ｂ	掘込みがなく、配石がないもの

【SI８】（２類－b）［第120図］

Ａ区南側平坦面から南西に下る標高約81.2ｍ～81.3ｍの地点、Ｄ８Ｇで確認できた。長径約158㎝×88㎝を測り、楕円形をなす。98点の礫で構成される。10㎝～15㎝程度の出土レヴェルの差があり、掘込みや配石はない。

構成礫の平均重量は300.0ｇ、礫の90％以上が赤化しており、被熱によるものと考えられる。また、ほとんどの礫が破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類が約60％、砂岩が約25％、ホルンフェルス15％を占める。



第120図　縄文時代早期　集石遺構実測図１（S＝1/20）

礫の接合関係を調べた結果、遺構内において４個体の礫が接合したが、周辺の散礫との接合は確認できなかった。

【SI９】（２類－b）（第121図）

Ａ区南側平坦面、標高約84.2ｍ～84.3ｍの地点、Ｅ７Ｇで確認できた。約115cm×100cmを測る楕円形をなす。200点の礫で構成される。約10cm程度の出土レヴェルの差があり、掘込みや配石はない。

礫の平均重量は160.0ｇを測る。礫の約95％が赤化している。破砕礫がほとんどである。石材は、ホルンフェルスが一番多く約67％、次いで尾鈴山酸性岩類が約22％、砂岩11％で構成されている。

遺構内において礫の接合関係を調べた結果、４個体の礫が接合した。

なお、SI２埋土下部から採取された炭化物を加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。その結果、8,820±50年BP（２σの暦年代でBC 8,200～7,740年）の年代値が得られた。

【SI10】（２類－b）［第121図］

Ａ区南西部、平坦面から西に下る標高約83.9ｍ～84.1ｍの地点、Ｃ５Ｇで確認できた。約100cm×90cmを測り、ほぼ円形をなす。189点の礫で構成される。10cm～20cm程度の出土レヴェルの差がある。

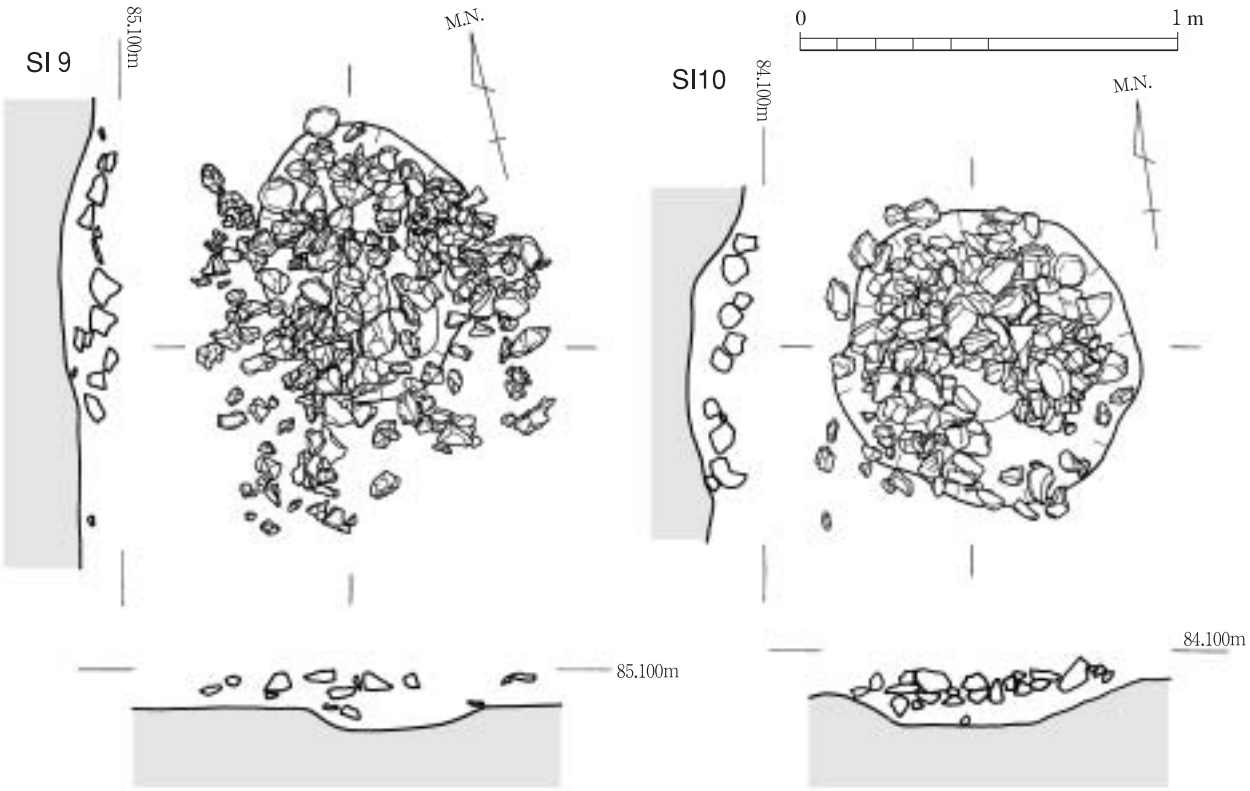
礫の平均重量は160.0ｇを測る。礫の約85％が赤化しており、ほとんどの礫が破砕していた。石材は、半数の約49％がホルンフェルスで、砂岩が約37％、尾鈴山酸性岩類が残り約14％を占める。

遺構内の礫の接合関係を調べた結果、８個体の礫が接合した。

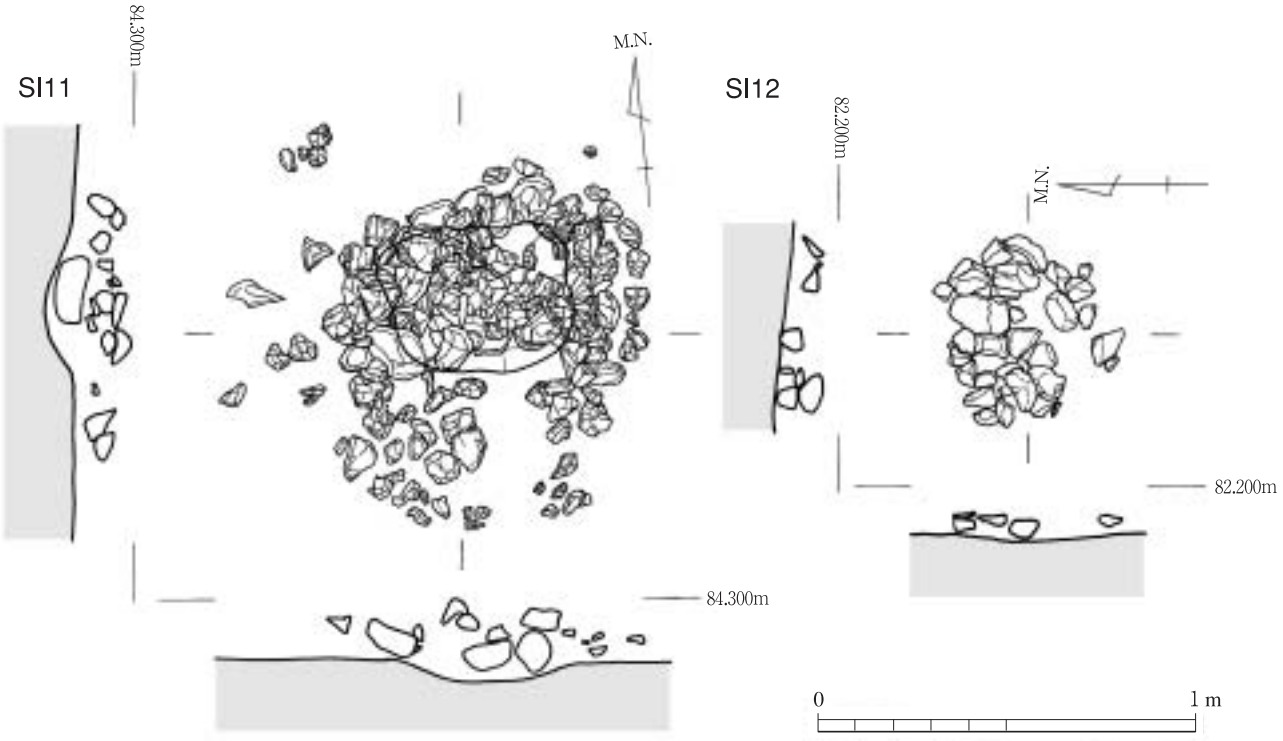
【SI11】（２類－a）［第122図］

Ａ区中央の平坦面、標高約84.1ｍ～84.3ｍの地点、Ｄ４Ｇで確認できた。約119cm×117cmを測り、ほぼ円形をなす。189点の礫で構成される。10cm～20cm程度の出土レヴェルの差があり、掘込みは認められないが、配石を２個体確認した。

礫の平均重量は280.0ｇを測る。礫の約80％が被熱による赤化が認められ、礫はほとんどが破砕している。石材は、尾鈴山酸性岩類が一番多く約60％を占め、次いでホルンフェルスが約27％、砂岩約14％となる。



第121図　縄文時代早期　集石遺構実測図２（S＝1/20）



第122図　縄文時代早期　集石遺構実測図３（S＝1/20）

遺構内の礫の接合関係を調べた結果、７個体の接合を確認できた。

同遺構埋土より土壌サンプルを採取し、植物珪酸体分析を行った。

その結果、当時の本遺構周辺は、メダケ属（メダケ節やネザサ節）やクマザサ属などの竹笹類を主体としてススキ属やチガヤ属なども見られるイネ科植生であったと推定される。このような結果は、F6-3グリッドのⅣ層上部～Ⅲ層と類似しており、SI11が同層準に包含されているとする考古学的所見と符合している。

なお、同遺構の分析では燃料などとして利用された植物の検出が期待されたが、これを示唆するような明瞭な結果は得られなかった。

【SI12】（２類－b）［第122図］

Ａ区南側平坦面から南西に下る標高約82ｍ～82.1ｍの地点、Ｄ７Ｇで確認できた。約53㎝×50㎝を測るほぼ円形の小規模な集石遺構である。47点の礫で構成されている。10㎝程度の出土レヴェルの差がある。掘込みは認められなかったが、配石を２個体確認できた。

礫の平均重量は380.0ｇを測り、他の集石遺構に比べると礫が大きいのが特徴である。礫の約76％で赤化が認められる。石材は尾鈴山酸性岩類約40％、ホルンフェルス約35％、砂岩約25％を占める。

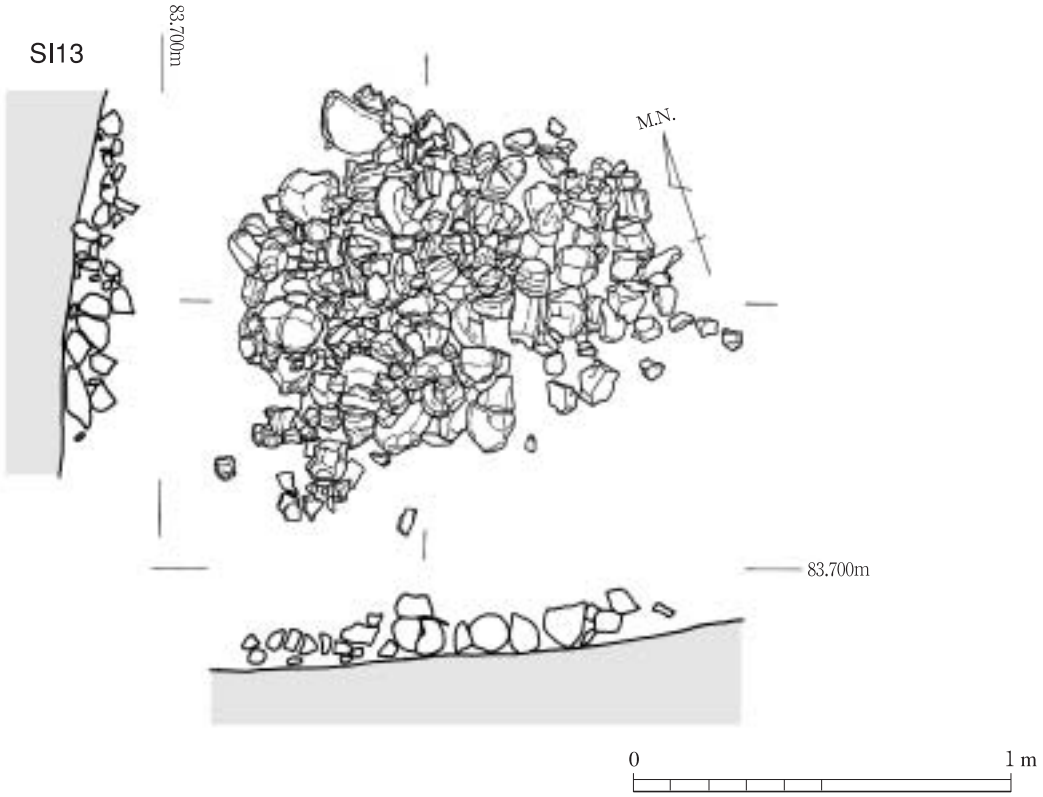
礫の接合関係を調べた結果、２個体の接合を確認できた。

【SI13】（２類－b）［第123図］

Ａ区南西側斜面標高約83.4ｍ～83.6ｍの地点、Ｃ４Ｇで確認できた。約145㎝×117㎝を測り楕円形をなす。373点の礫が散在する。10㎝～22㎝程度の出土レヴェルの差がある、掘込みや配石はない。

礫の平均重量は250.0ｇを測る。礫の約60％に赤化が認められ、ほとんどの礫が破砕していた。石材は、約81％が尾鈴山酸性岩類で、次いでホルンフェルス約15％、砂岩約４％となる。

遺構内の礫の接合関係を調べた結果、10個体の礫が接合が確認できた。



第123図　縄文時代早期　集石遺構実測図４（S＝1/20）

【SI14】（２類－b）［第124図］

Ａ区南西側斜面、標高約83.4ｍ～83.6ｍの地点、Ｂ６Ｇで確認できた。約166cm×142cmを測り、ほぼ円形をなす。528点の礫で構成される。本遺跡内検出の集石遺構では最大の構成礫数である。10cm～15cm程度の出土レヴェルの差があり、掘込みや配石は認められない。

礫の平均重量は200.0ｇを測る。約65％が赤化しており、またほとんどの礫が破砕している。石材は、尾鈴山酸性岩類が約82％を占め、次いでホルンフェルス約12％、砂岩約６％となる。

遺構内の礫の接合関係を調べた結果、11個体の礫が接合した。

なお、埋土中に竹の根を主とする植物根が多くはびこっており、本来の礫の配置を動かしている可能性もある。

【SI15】（２類－b）［第124図］

Ａ区南西側斜面、SI３より約10ｍ西を測る標高約83.8ｍ～83.9ｍの地点、Ｃ４Ｇで確認できた。約108cm×77cmを測り、楕円形をなす。105点の礫で構成される。やや疎な構成であり、一部の礫が流れた可能性がある。10cm程度の出土レヴェルの差があり、掘込みや配石は認められない。

礫の平均重量は140.0ｇを測る。礫の約92％に被熱によると考えられる赤化が認められる。また、ほとんどの礫が破砕していた。

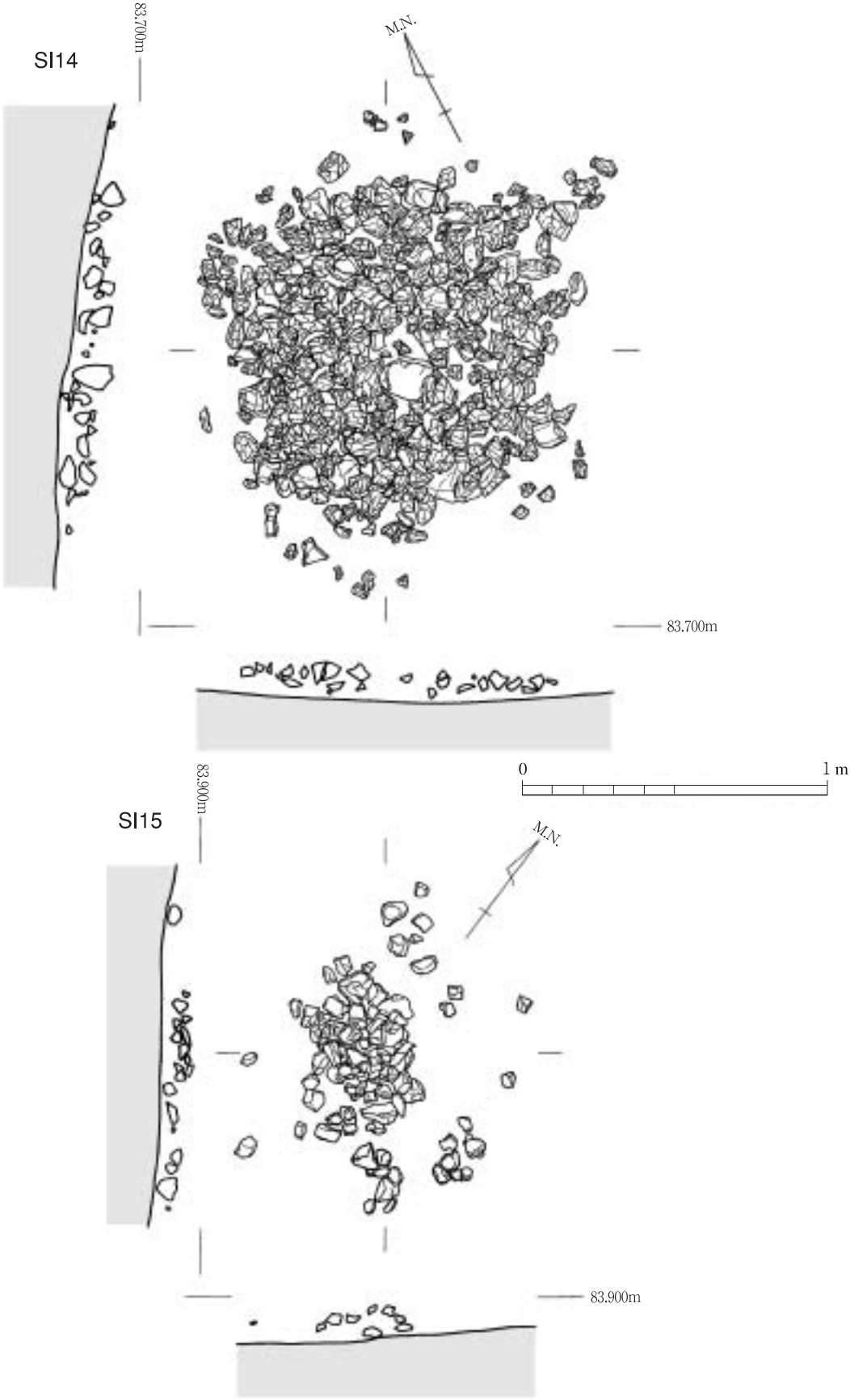
石材は、半分以上約57％が尾鈴山酸性岩類で占められ、次いでホルンフェルス約34％、砂岩約９％で構成される。

遺構内礫の接合関係を調べた結果、５個体の礫が接合した。

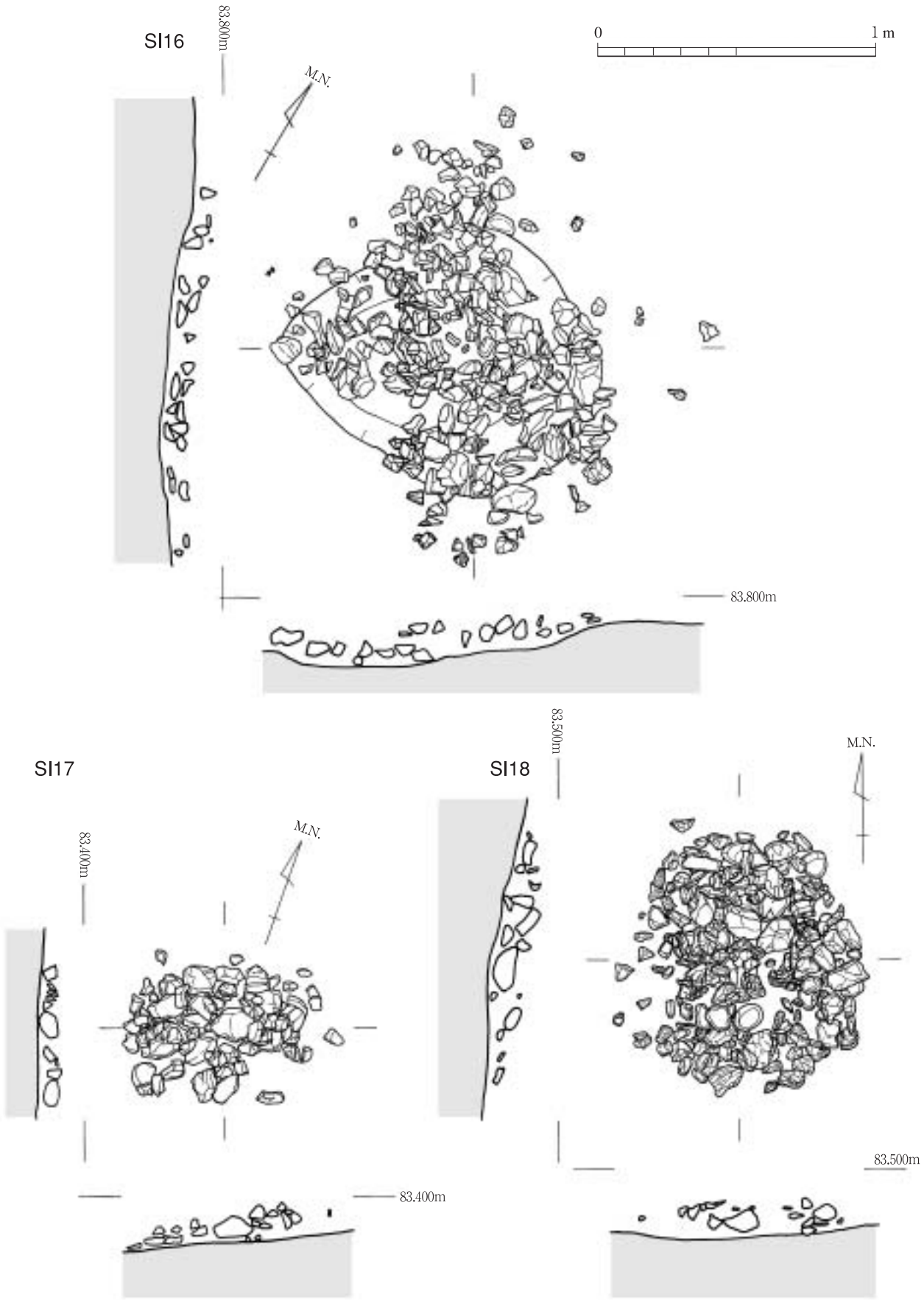
【SI16】（１類－b）［第125図］

Ａ区、SI14の北約４ｍ、標高約83.55ｍ～83.65ｍの地点、Ｂ６Ｇで確認できた。約167cm×160cmを測り、ほぼ円形をなす。105点の礫で構成される。10cm～20cm程度の出土レヴェルの差があり、浅い掘込みが認められた。

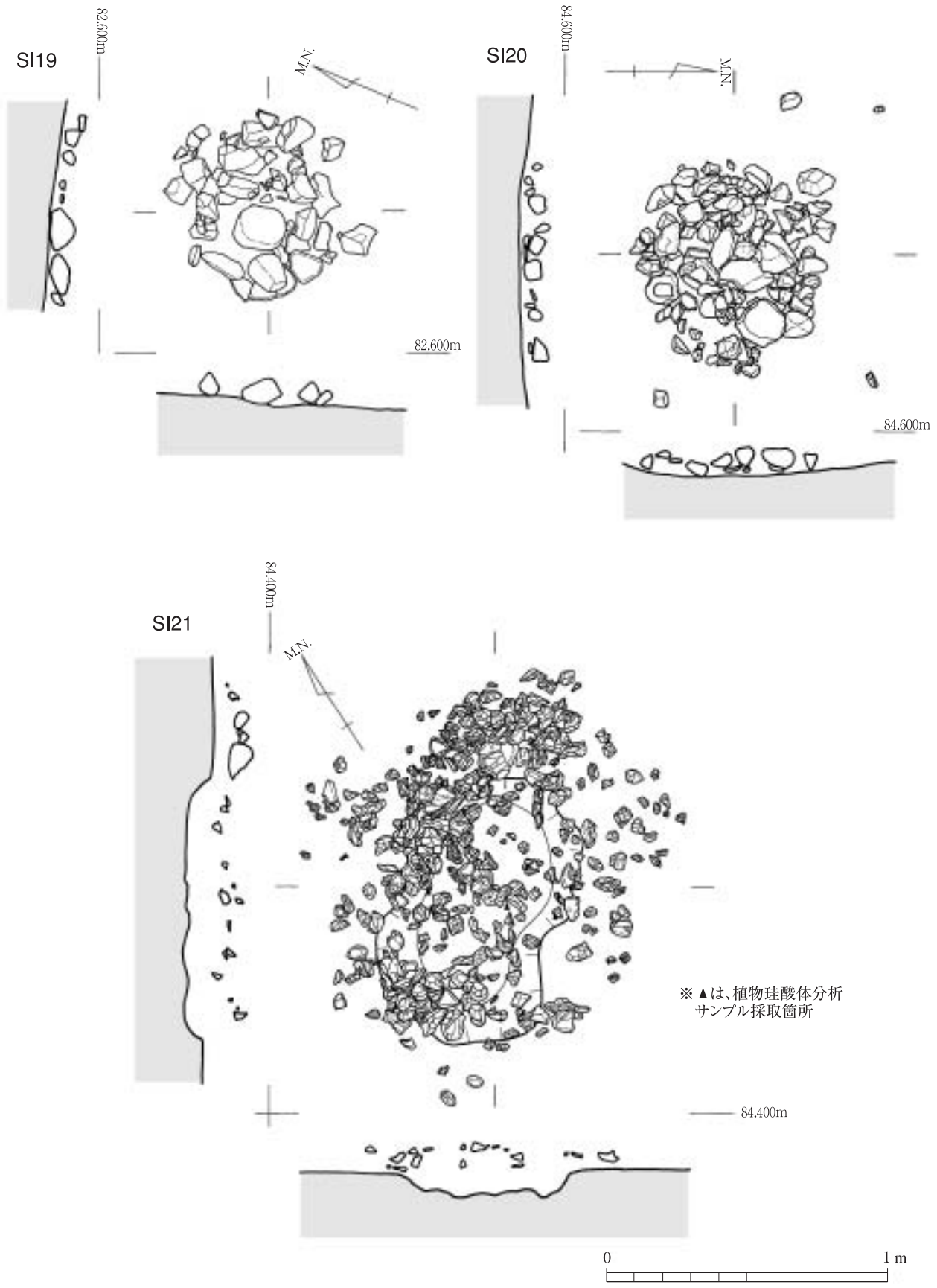
礫の平均重量は330.0ｇを測る。他の集石遺構に



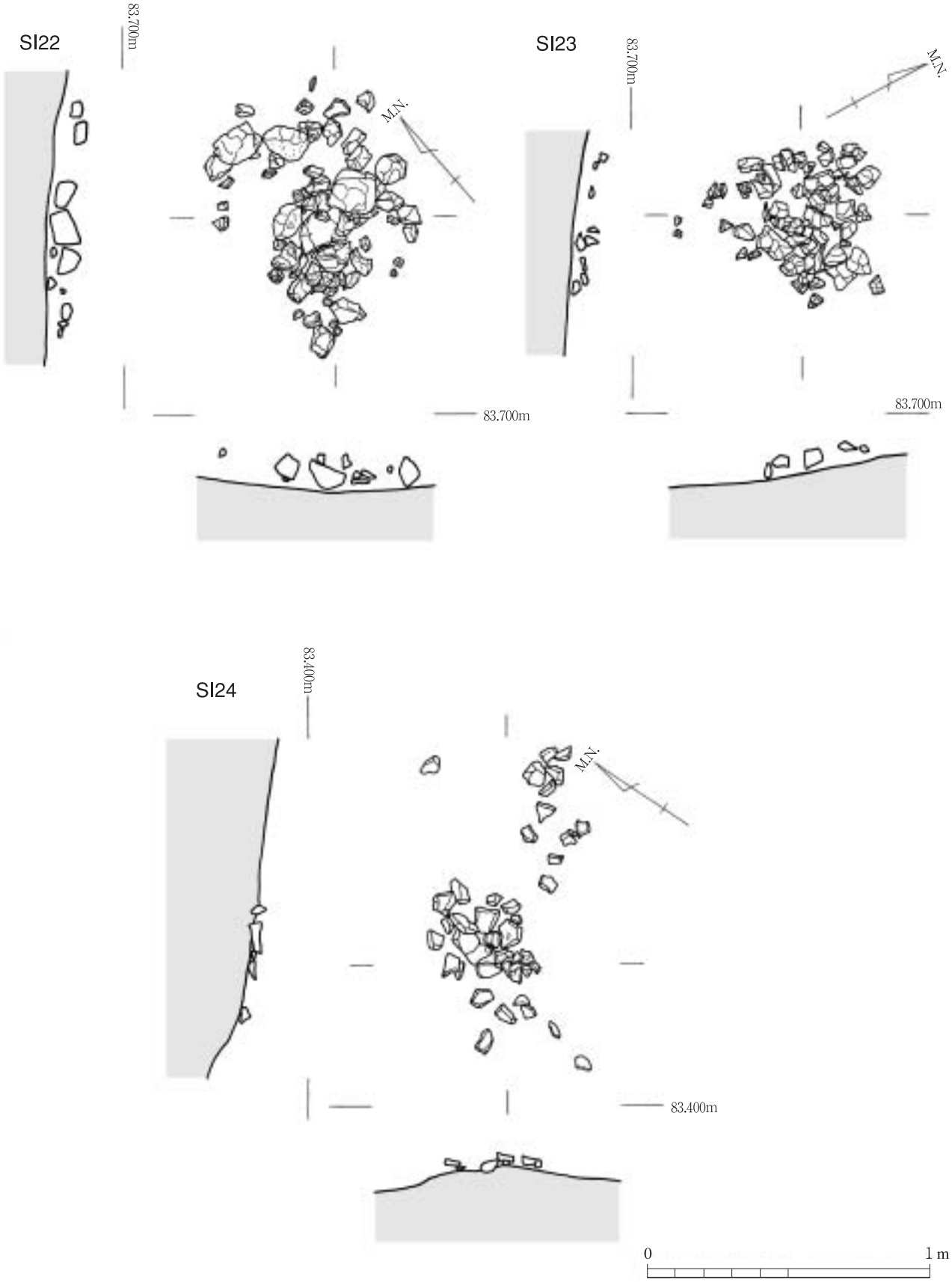
第124図　縄文時代早期　集石遺構実測図５（S＝1/20）



第125図　縄文時代早期　集石遺構実測図６（S＝1/20）



第126図　縄文時代早期　集石遺構実測図７（S＝1/20）



第127図　縄文時代早期　集石遺構実測図８（S＝1/20）

比べると礫が大きいのが特徴である。礫の約64%が赤化しているが、赤化度は低い。ほとんどの礫が破砕している。石材は、礫のほとんど約86%が尾鈴山酸性岩類で、ホルンフェルスが約13%、わずかに砂岩も認められる。

同遺構内で７個体の礫が接合した。

【SI17】（２類－b）［第125図］

Ａ区南西側、唐木戸第４遺跡に一番近い斜面部、標高約83.2ｍ～83.4ｍの地点、Ａ６Ｇで確認した。約178㎝×53㎝を測り、楕円形をなす。120点の礫で構成される。10㎝～20㎝程度の出土レヴェルの差がある。

礫の平均重量は150.0ｇを測る。礫の約87%に赤化が認められる。ほとんどの礫が破砕している。石材は、ホルンフェルスが多く約43%を占め、尾鈴山酸性岩類約35%、砂岩約22%である。

同遺構内の礫の接合関係を調べた結果、10個体の礫が接合した。

【SI18】（２類－b）［第125図］

Ａ区Ｃ６Ｇ、標高約83.2ｍ～83.4ｍの地点で確認できた。約100×93㎝を測り、ほぼ円形をなす。293点の礫で構成される。10㎝程度の出土レヴェルの差があり、やや南に下る。

礫の平均重量は180.0ｇ、礫の約82%に赤化が認められる。また、角礫４個、円礫２個を認めたが、ほとんどの礫が破砕していた。石材は、ホルンフェルスが約56%で多く、次いで砂岩約24%、尾鈴山酸性岩類21%となる。

杉の根が集石の間から土中に伸びており、礫が若干動いているものと考えられる。

同遺構内で４個体の礫が接合した。

【SI19】（１類－a）［第126図］

Ａ区南西側、斜面となる標高約82.4ｍ～82.55ｍの地点、Ｃ７Ｇ上で確認できた。約90㎝×80㎝を測り、ほぼ円形をなす。59点の礫で構成される。10㎝程度の出土レヴェルの差があり、掘込みはないが、配石と考えられる礫を主とする遺構である。

礫の平均重量は360.0ｇを測る。礫の約70%が被熱による赤化が認められる。また、角礫１個、円礫３個以外は礫の一部が少なくとも破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類約61%、ホルンフェルス約37%、砂岩がわずかに認められた。剥片が２点、集石遺構に絡んで検出された。

同遺構内で１個体の礫が接合した。

【SI20】（１類－a）［第126図］

Ａ区中央平坦面、標高約84.45ｍ～84.55ｍの地点、Ｆ５Ｇで確認できた。約80㎝×75㎝を測り、ほぼ円形をなす。211点の礫で構成される。ほとんど出土レヴェルの差はない。掘込みや配石もない。

礫の平均重量は110.0ｇを測る。礫の約75%が赤化し、角礫５個、円礫３個以外のほとんどの礫が破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類が約46%と最も多く、ホルンフェルス約32%、砂岩約22%で構成される。

礫の接合関係を調べた結果、同遺構内で２個体の接合を確認した。

【SI21】（１類－b）［第126図］

Ａ区南東側平坦面、標高約85ｍ～85.1ｍの地点、Ｆ５Ｇで確認できた。約158㎝×131㎝を測る楕円形をなす。426点の礫で構成される。10㎝程度の出土レヴェルの差がある。掘込みや配石はない。

礫の平均重量は90.0ｇを測り、小破砕礫で構成される。礫の80%に赤化が認められた。石材は、尾鈴山酸性岩類が約62%、ホルンフェルス約25%、砂岩約13%で構成される。浅い掘込みが認められる。炭化物も確認できた。配石はない。

同遺構内で２個体の礫が接合した。

【SI22】（１類－a）［第127図］

Ａ区南西側斜面、標高約83.45ｍ～83.55ｍの地点、Ｂ６Ｇで確認できた。約103㎝×71㎝を測り、楕円形をなす。83点の礫で構成される。10㎝程度の出土レヴェルの差がある。

礫の平均重量は270.0ｇを測る。礫の約66%が赤化している。また、ほとんどの礫が破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類が約56%を占め、次いでホルンフェルス約26%、砂岩約18%である。

同遺構内で２個体の礫が接合した。

【SI23】（２類－b）［第127図］

Ａ区南西側斜面、標高約83.5m～83.6mの地点、Ｂ６Ｇで確認できた。約75㎝×60㎝を測り、ほぼ円形

をなす。83点の礫で構成される。10cm程度の出土レヴェルの差がある。掘込みや配石はない。

礫の平均重量は100.0ｇを測る。礫の約66％に赤化が認められる。ほとんどの礫が破砕していた。

石材は、尾鈴山酸性岩類が約76％を占め、約20％がホルンフェルス、僅かに砂岩が含まれる。

同遺構内で４個体の礫が接合した。

【SI24】（２類－b）［第127図］

Ａ区Ｂ６Ｇ、標高約83.4ｍ地点で確認できた。約123cm×76cmを測り、楕円形をなす。46点の礫で構成され、密度は疎である。出土レヴェルの差はほとんどなく、掘込みや配石もない。

礫の平均重量は110.0ｍを測る。礫の約59％が赤化している。また、ほとんどの礫が角礫が破砕したものである。石材は、尾鈴山酸性岩類とホルンフェルスがほぼ半数ずつを占める。僅かに砂岩が認められた。

同遺構内で１個体の礫が接合した。

【SI25】（２類－b）［第128図］

Ｂ区北東側平坦面、Ｇ３Ｇ、標高約84.9ｍ～85ｍの地点で確認できた。約140cm×120cmを測りほぼ円形をなす。274点の礫で構成される。10cm～15cm程度の出土レヴェルの差がある。

礫の平均重量は70.0ｇを測る。礫の中心部が特に赤化しており、約93％に被熱による赤化が認められる。また、ほとんどの礫が破砕し、小礫となる。石材は、ホルンフェルスが約半数、48％を占め、尾鈴山酸性岩類が約40％、残りを砂岩が占める。

接合関係を調べた結果、同遺構内で６個体、SI26と５個体、周辺の散礫と２個体の接合を確認した。

【SI26】（２類－a）［第128図］

SI25と同じ、Ｂ区北東側平坦面、Ｇ３Ｇの標高約84.9ｍ～85,05ｍの地点で確認できた。約195cm×180cmを測り、ほぼ円形をなす。137点の礫で構成される。10cm程度の出土レヴェルの差がある。中心部に、約15cm～20cm大の礫が５個認められ、配石と考えられる。

礫の平均重量は270.0ｇを測る。礫のほとんど約95％が赤化している。礫のほとんどが破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類が３分の２の約68％を占め、ホルンフェルス約29％、残りが砂岩となる。礫の接合関係を調べた結果、同遺構内で31個体の礫が接合し、SI25との接合が５個体確認できた。

集石遺構の下部、ML１層上面から、ナイフ形石器［第154図379］、剥片を検出した。

【SI27】（１類－b）［第129図］

北西部区北西側平坦面、Ｅ３Ｇ、標高約84.95ｍ～85.1ｍの地点で確認できた。約232cm×130cmを 測り、楕円形をなす。213点の礫で構成される。15cm程度の出土レヴェルの差がある。浅い掘込みを確認できた。

礫の平均重量は220.0ｇを測る。ほとんどの礫約92％に赤化が認められる。ほとんどが破砕礫である。埋土中から微量の炭化物が認められた。石材は、尾鈴山酸性岩類がほとんど（約71％）を占め、ホルンフェルス、砂岩が残りのほぼ半数ずつを占める。

礫の接合関係を調べた結果、21個体の礫が同遺構内で接合した。

【SI28】（２類－b）［第130図］

SI27と同じＥ３Ｇ、標高約84.9ｍ～85.05ｍの地点で確認できた。約125cm×109cmを測り、ほぼ円形をなす。他と比較して疎な構成である。27点の礫で構成される。10cm程度の出土レヴェルの差がある。

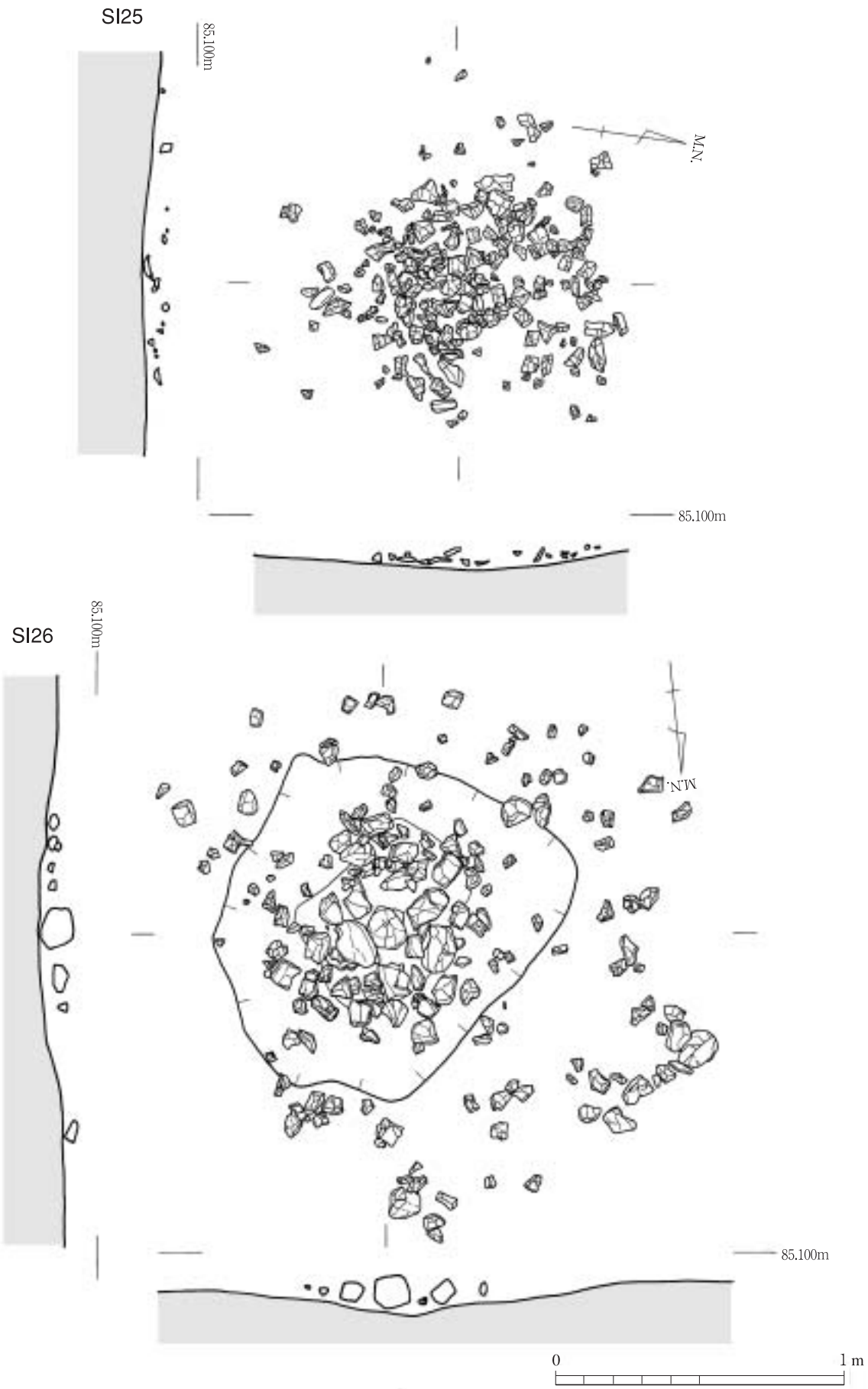
礫の平均重量は170.0ｇを測る。ほとんどの礫(約93％）に赤化が認められる。ほとんどが破砕礫である。石材は、半数が尾鈴山酸性岩類、次いでホルンフェルス約43％、僅かに砂岩である。

同遺構内で、２個体の礫が接合した。

【SI29】（１類－a）［第130図］

SI30とほぼ同じ地点、Ｉ４Ｇ、標高約84.65ｍ～85.85ｍの地点で確認できた。約130cm×87cmを測り、楕円形をなす。60点の礫で構成される。15cm程度の出土レヴェルの差があり、約20cmの深い掘込みが確認できた。

礫の平均重量は170.0ｇを測る。礫の約88％が赤化しており、被熱によるものと考えられる。また、ほとんど（約88％）の礫が破砕していた。石材は、尾鈴山酸性岩類が３分の２の約65％を占め、次いで砂岩が約31％、僅かにホルンフェルスを認める。SI30との関連で、集石遺構の本体ではないかとも考え



第128図　縄文時代早期　集石遺構実測図９（S＝1/20）

第129図　縄文時代早期　集石遺構実測図10（S＝1/20）

られ、何らかの作用により、北西方向に拡がったものがSI30とも想定される。

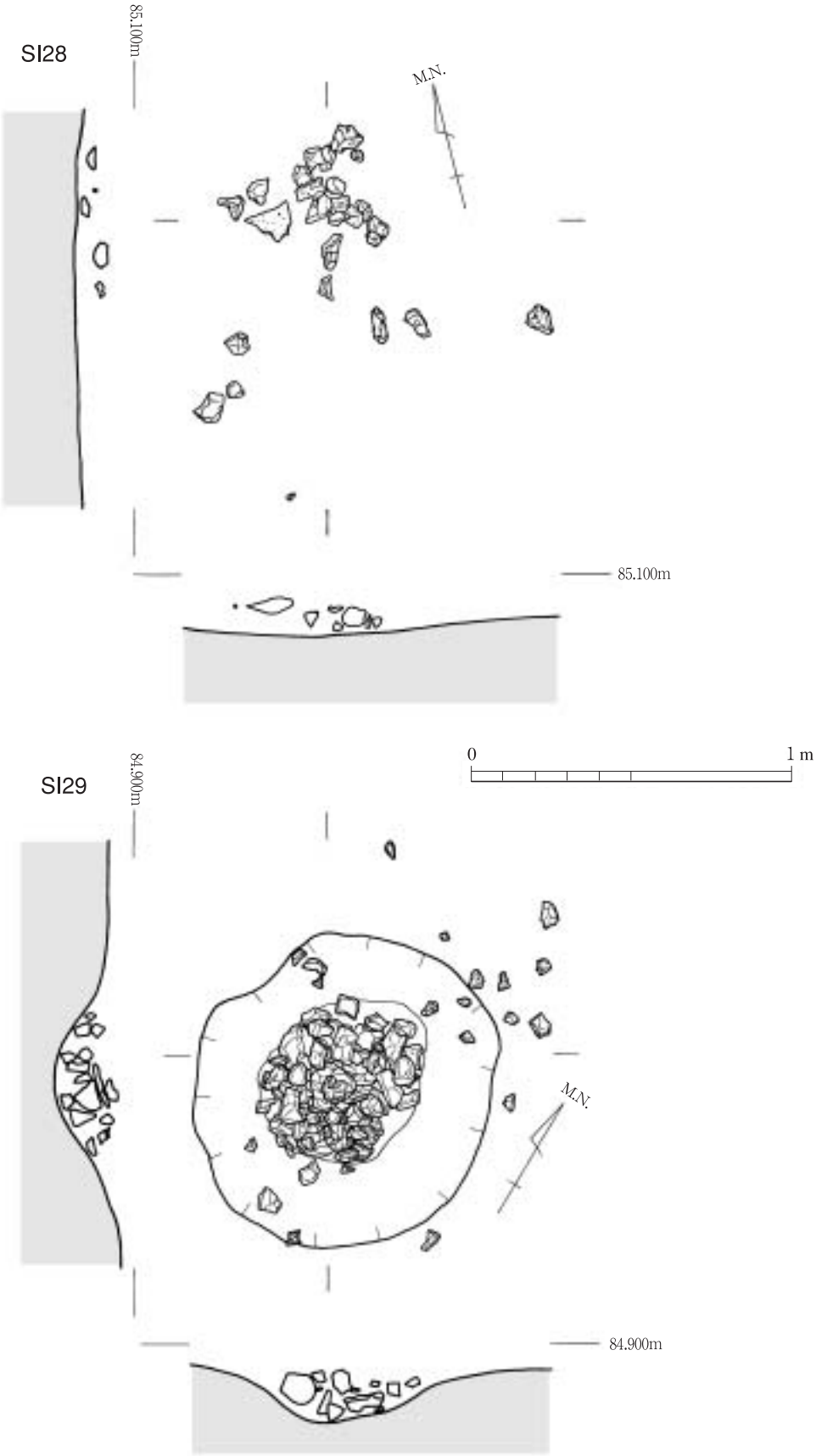
埋土下部から採取された炭化物を加速器質量分析法（AMS法）によるC14放射性炭素年代測定にかけた結果、8690±40年BP（２σの暦年代でBC8690±40年BP）の年代値が得られた。

【SI30】（２類－b）［第131図］

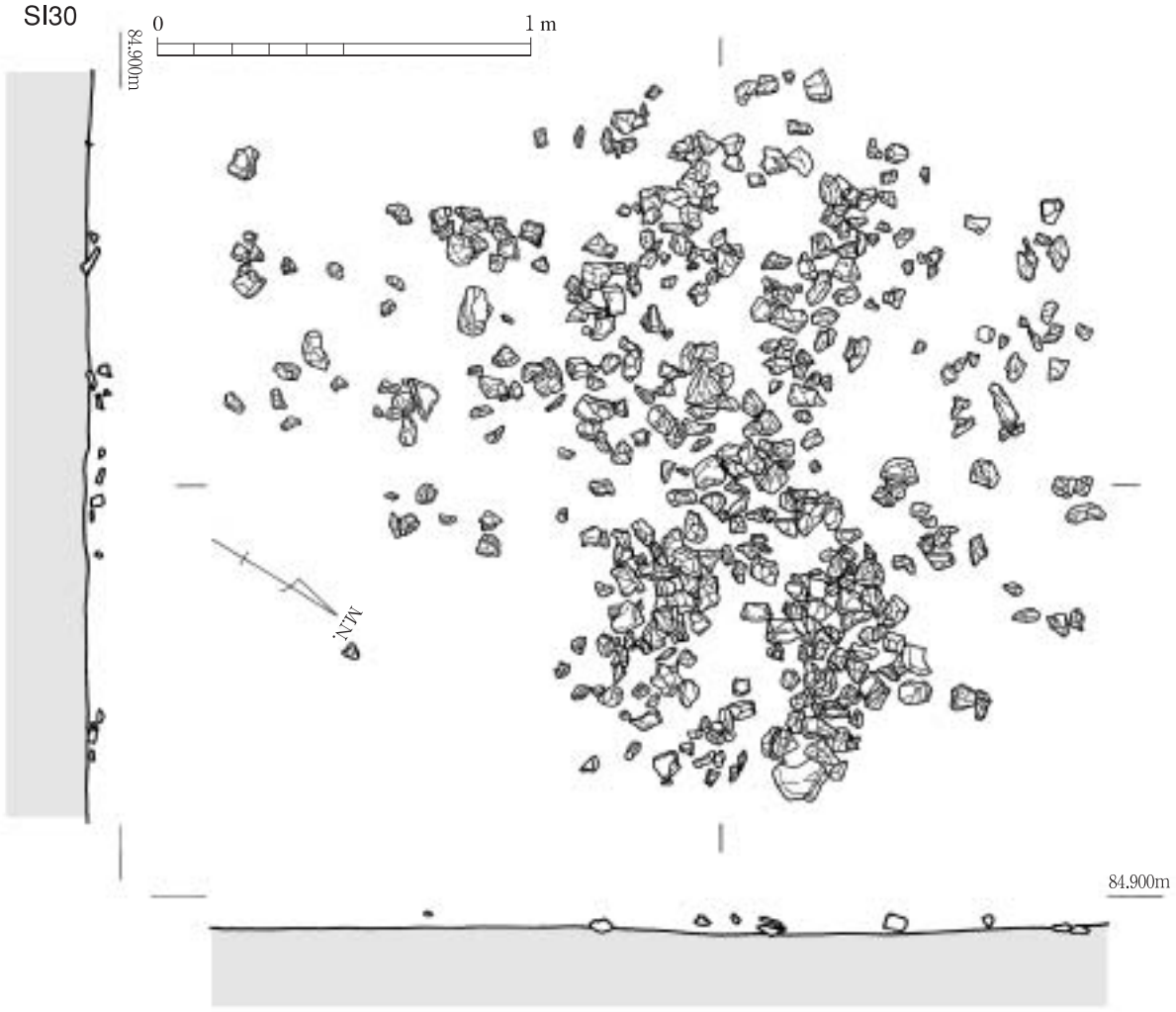
北東部区南東側平坦面、I４G、標高約84.8ｍの地点で確認できた。約264㎝×190㎝を測り、やや楕円形をなす。524点の礫で構成される。ほとんど出土レヴェルの差はない。

礫の平均重量は100.0ｇを測る。礫のほとんど約95%が赤化しており、破砕礫であった。石材は、半数以上約53%が尾鈴山酸性岩類で、次いでホルンフェルス約35%、砂岩約12%がとなる。

同遺構内で11個体の礫の接合を認めた。また、周辺の散礫と４個体の接合を認めた。



第130図　縄文時代早期　集石遺構実測図11（S＝1/20）



第131図　縄文時代早期　集石遺構実測図12（S＝1/20）

※赤化度：無＝赤化していない　弱＝部分的に赤化している　中＝全体的に赤化している　強＝非常に赤化している

番号	グリッド番号	長径(m)	短径(m)	礫総数(個)	総重量(kg)	1個当たりの平均重量(kg)	掘込みの有無	炭化物等の有無	石材の分類とその割合						礫の形状と赤化度の割合							接合の状況			備考
SI8	D8-3	1.58	0.88	98	29.49	0.30	無	無	石材	A 尾鈴山酸性岩類	B ホルンフェルス	C 砂岩	D その他の石材	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
															角礫				1	1	1.0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	9	/	/	
									重量(kg)	17.99	4.25	7.25	0	29.49	破砕礫	17	34	28	18	97	99.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	4	/	/	
									石材の割合(%)	61.0	14.4	24.6	0	100%	計(個)	17	34	28	19	98	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	17.3	34.7	28.6	19.4	100%	—				
SI9	E7-1	1.15	1.00	200	32.40	0.16	有	有	石材	A 尾鈴山酸性岩類	B ホルンフェルス	C 砂岩	D その他の石材	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
															角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	8	/	/	
									重量(kg)	7.01	21.70	3.69	0	32.40	破砕礫	12	61	37	90	200	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	4	/	/	
									石材の割合(%)	21.6	67.0	11.4	0	100%	計(個)	12	61	37	90	200	1.0	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	6.0	30.5	18.5	45.0	100%	—				
SI10	C5-2	1.00	0.90	189	30.88	0.16	有	有	石材	A 尾鈴山酸性岩類	B ホルンフェルス	C 砂岩	D その他の石材	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
															角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	21	/	/	
									重量(kg)	4.30	15.04	11.54	0	30.88	破砕礫	29	50	45	65	189	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	8	/	/	
									石材の割合(%)	13.9	48.7	37.4	0	100%	計(個)	29	50	45	65	189	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	15.3	26.5	23.8	34.4	100%	—				

第24表　縄文時代早期　集石遺構構成礫観察・分析表１

※赤化度：無＝赤化していない　弱＝部分的に赤化している　中＝全体的に赤化している　強＝非常に赤化している

番号	グリッド番号	長径(m)	短径(m)	礫総数(個)	総重量(kg)	1個当たりの平均重量(kg)	掘込みの有無	炭化物等の有無	石材の分類とその割合						礫の形状と赤化度の割合							接合の状況			備考
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	18	/	/	
SI11	D5-2	1.19	1.17	189	53.09	0.28	有	無	重量(kg)	31.49	14.15	7.45	0	53.09	破砕礫	35	50	48	56	189	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	7	/	/	
									石材の割合(%)	59.3	26.7	14.0	0	100%	計(個)	35	50	48	56	189	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	18.5	26.5	25.4	29.6	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	4	/	/	
SI12	D7-4	0.53	0.50	47	17.86	0.38	無	無	重量(kg)	7.08	6.30	4.48	0	17.86	破砕礫	11	10	7	19	47	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	2	/	/	
									石材の割合(%)	39.64	35.27	25.08	0	100%	計(個)	11	10	7	19	47	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	23.4	21.3	14.9	40.4	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	29	/	/	
SI13	B5-2	1.45	1.17	373	93.99	0.25	無	無	重量(kg)	76.08	13.77	4.14	0	93.99	破砕礫	148	72	75	78	373	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	10	/	/	
									石材の割合(%)	80.9	14.7	4.4	0	100%	計(個)	148	72	75	78	373	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	39.7	19.3	20.1	20.9	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	23	/	/	
SI14	B6-4	1.66	1.42	528	104.99	0.20	無	無	重量(kg)	85.95	12.86	6.18	0	104.99	破砕礫	189	96	114	129	528	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	11	/	/	
									石材の割合(%)	81.9	12.2	5.9	0	100%	計(個)	189	96	114	129	528	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	35.8	18.2	21.6	24.4	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫	1				1	1.0	12	/	/	
SI15	B5-3	1.08	0.77	105	14.36	0.14	無	無	重量(kg)	8.19	4.83	1.34	0	14.36	破砕礫	7	22	17	58	104	99.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	5	/	/	
									石材の割合(%)	57.0	33.6	9.3	0	100%	計(個)	8	22	17	58	105	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	7.6	21.0	16.2	55.2	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	17	/	/	
SI16	B5-2	1.67	1.60	234	78.18	0.33	有	無	重量(kg)	67.44	10.29	0.45	0	78.18	破砕礫	84	47	47	56	234	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	7	/	/	
									石材の割合(%)	86.3	13.2	0.6	0	100%	計(個)	84	47	47	56	234	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	35.9	20.1	20.1	23.9	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫				1	1	0.8	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫					0	0	22	/	/	
SI17	B5-4	1.78	0.53	120	18.39	0.15	無	無	重量(kg)	6.38	7.97	4.04	0	18.39	破砕礫	16	20	43	40	119	99.2	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	10	/	/	
									石材の割合(%)	34.7	43.3	22.0	0	100%	計(個)	16	20	43	41	120	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	13.3	16.7	35.8	34.2	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫	2	1		1	4	1.4	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫			1	1	2	0.7	124	/	/	
SI18	B6-4	1.00	0.93	293	53.00	0.18	無	無	重量(kg)	11.00	29.50	12.50	0	53.00	破砕礫	50	44	78	115	287	98.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	50	/	/	
									石材の割合(%)	20.8	55.7	23.6	0	100%	計(個)	52	45	79	117	293	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	17.7	15.4	27.0	39.9	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫	1				1	1.7	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫				3	3	5.1	2	/	/	
SI19	C6-2	0.80	0.90	59	21.43	0.36	無	無	重量(kg)	13.15	7.93	0.35	0	21.43	破砕礫	17	7	17	14	55	93.2	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	1	/	/	
									石材の割合(%)	61.4	37.0	1.6	0	100%	計(個)	18	7	17	17	59	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	30.5	11.9	28.8	28.8	100%	—				
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫				5	5	2.4	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
															円礫				3	3	1.4	5	/	/	
SI20	F5-2	0.80	0.75	211	23.30	0.11	無	無	重量(kg)	10.73	7.53	5.04	0	23.30	破砕礫	53	42	26	82	203	96.2	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	2	/	/	
									石材の割合(%)	46.1	32.3	21.6	0	100%	計(個)	53	42	26	90	211	100%	(注) 遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	25.1	19.9	12.3	42.7	100%	—				

第25表　縄文時代早期　集石遺構構成礫観察・分析表２

※赤化度：無＝赤化していない　弱＝部分的に赤化している　中＝全体的に赤化している　強＝非常に赤化している

番号	グリッド番号	長径(m)	短径(m)	礫総数(個)	総重量(kg)	1個当たりの平均重量(kg)	掘込みの有無	炭化物等の有無	石材の分類とその割合						礫の形状と赤化度の割合							接合の状況			備考
									石材	A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
										尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI21	F6-2	1.58	1.31	426	40.22	0.09	有	無							円礫					0	0	5	/	/	C14放射性炭素年代測定
									重量(kg)	24.98	10.10	5.14	0	40.22	破砕礫	85	117	102	122	426	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	2	/	/	
									石材の割合(%)	62.1	25.1	12.8	0	100%	計(個)	85	117	102	122	426	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	20.0	27.5	23.9	28.6	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI22	B6-4	1.03	0.71	83	22.50	0.27	無	無							円礫					0	0	4	/	/	
									重量(kg)	12.50	5.90	4.10	0	22.50	破砕礫	28	9	20	26	83	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	2	/	/	
									石材の割合(%)	55.6	26.2	18.2	0	100%	計(個)	28	9	20	26	83	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	33.7	10.8	24.1	31.3	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI23	B6-1	0.75	0.60	77	7.60	0.10	無	無							円礫					0	0	10	/	/	
									重量(kg)	5.80	1.50	0.30	0	7.60	破砕礫	8	19	20	30	77	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	4	/	/	
									石材の割合(%)	76.3	19.7	3.9	0	100%	計(個)	8	19	20	30	77	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	10.4	24.7	26.0	39.0	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI24	B6-1	1.23	0.76	46	4.92	0.11	無	無							円礫					0	0	2	/	/	
									重量(kg)	2.50	2.40	0.02	0	4.92	破砕礫	19	10	7	10	46	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	1	/	/	
									石材の割合(%)	50.8	48.8	0.4	0	100%	計(個)	19	10	7	10	46	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	41.3	21.7	15.2	21.7	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI25	G3-4	1.40	1.20	274	18.37	0.07	無	無							円礫					0	0	12	12	4	
									重量(kg)	7.23	8.87	2.27	0	18.37	破砕礫	18	139	79	38	274	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	6	5	2	
									石材の割合(%)	39.4	48.3	12.4	0	100%	計(個)	18	139	79	38	274	100%	(注)SI25とSI26が接合			
															赤化度の割合	6.6	50.7	28.8	13.9	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI26	G3-3	1.95	1.80	137	36.33	0.27	無	無							円礫					0	0	80	12	/	
									重量(kg)	24.55	10.62	1.16	0	36.33	破砕礫	7	44	45	41	137	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	31	5	/	
									石材の割合(%)	67.6	29.2	3.2	0	100%	計(個)	7	44	45	41	137	100%	(注)SI25とSI26が接合			
															赤化度の割合	5.1	32.1	32.8	29.9	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI27	E3-1	2.32	1.30	213	47.29	0.22	有	有							円礫					0	0	52	/	/	
									重量(kg)	33.72	7.12	6.45	0	47.29	破砕礫	17	77	71	48	213	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	21	/	/	
									石材の割合(%)	71.3	15.1	13.6	0	100%	計(個)	17	77	71	48	213	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	8.0	36.2	33.3	22.5	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI28	E3-4	1.25	1.09	27	4.65	0.17	無	無							円礫					0	0	6	/	/	
									重量(kg)	2.30	2.00	0.35	0	4.65	破砕礫	2	6	6	13	27	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	2	/	/	
									石材の割合(%)	49.5	43.0	7.5	0	100%	計(個)	2	6	6	13	27	100%	(注)遺構内のみ接合			
															赤化度の割合	7.4	22.2	22.2	48.1	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI29	I4-2	1.30	0.87	60	10.06	0.17	有	無							円礫					0	0	/	/	/	C14放射性炭素年代測定
									重量(kg)	6.51	0.43	3.12	0	10.06	破砕礫	7	12	18	23	60	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	/	/	/	
									石材の割合(%)	64.7	4.3	31.0	0	100%	計(個)	7	12	18	23	60	100%	(注)接合を確認できず			
															赤化度の割合	11.7	20.0	30.0	38.3	100%	—				
										A	B	C	D	計	形状/赤化	無	弱	中	強	計(個)	形状の割合	遺構内	遺構+遺構	遺構+散礫	
									石材	尾鈴山酸性岩類	ホルンフェルス	砂岩	その他の石材		角礫					0	0	接合箇所数	接合箇所数	接合箇所数	
SI30	I4-2	2.64	1.90	524	51.08	0.10	無	無							円礫					0	0	29	/	17	
									重量(kg)	27.16	17.85	6.07	0	51.08	破砕礫	26	155	141	202	524	100.0	接合個体数	接合個体数	接合個体数	
															その他					0	0	11	/	4	
									石材の割合(%)	53.2	34.9	11.9	0	100%	計(個)	26	155	141	202	524	100%	(注)SI30周辺礫と接合			
															赤化度の割合	5.0	29.6	26.9	38.5	100%	—				

第26表　縄文時代早期　集石遺構構成礫観察・分析表３

② 土坑

本遺跡で検出された土坑24基のうち、検出面がMB０からML１上層間のものが13基、ML１下層からKr−Kb層間のものが11基である。層的には旧石器時代の面から検出された土坑もあるが、検出面の調査上の見落とし、埋土の状況、土坑の形状、一部においては埋土中に含まれていた炭化物によるC14放射性炭素年代測定の結果等、総合的に判断して24基すべてを縄文時代早期の遺構と判断した。

本遺跡検出の土坑のうち、特筆すべきは陥し穴状遺構（SC24）が１基認められたことである。縄文早期の陥し穴状遺構については、東九州自動車道(都農〜西都間）関連遺跡では、約40基が確認されている（平成16年度現在)。

形状の特徴として、検出状況の平面プランが、長径１ｍ〜２ｍ程度の楕円形であり、中程から床面に向かって掘り込まれる過程でオーバーハングする。埋土の特徴としては、断面の上位から中位にかけてKr−Kbのブロック、断面中位から下位にかけてはATなどのブロックが混在している。さらに、埋土下部では有機質の粘性のある黒色土が堆積している 等の特徴がある。

したがって、本遺跡のSC24についても、上述内容に近い形状や埋土の状況が認められたことより、縄文時代早期の陥し穴状遺構の性格をもつ土坑である可能性が強いと判断した。詳細は後述する。

【SC１】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区西側平坦面、Ｄ４Ｇ、ML１上層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径45㎝、短径43㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から14㎝を測り、ML１下層（Ⅴa層）まで掘り込まれていた。

検出面から均等に１㎜大程度の炭化物が認められ、埋土中からも炭化物が検出された。土坑周辺からも微量の炭化物が検出された。遺物は出土していない。

【SC２】（焼土を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区中央部平坦面、Ｇ４Ｇ、ML１上層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径55㎝、短径55㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から14㎝を測る。

埋土には橙色（Hue7.5YR6/8）の焼土が多く含まれ、１㎜〜２㎜大の炭化物を少量含む。遺物はなかった。焼土に含まれていた炭化物のC14放射性炭素年代測定の結果、8070±50年BPという測定値を得た。

【SC３】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区北側平坦面、Ｅ３Ｇ、ML１下層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径68㎝、短径58㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から25㎝を測る。

埋土には若干量の橙色の火山灰土と含む。１㎜〜３㎜大の炭化物を均等に含む。遺物は出土していない。

【SC４】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区北側平坦面、Ｇ４Ｇ、ML１下層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径53㎝、短径48㎝の円形を呈し、残深は検出面から14㎝を測る。

埋土には１㎜〜２㎜大の炭化物を密に均等に含む。遺物は出土していない。

【SC５】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区西側平坦面、Ｇ４Ｇ、ML１下層（Ⅳ下層）精査中に検出された。長径55㎝、短径45㎝のやや楕円形を呈し、残深は検出面から10㎝と浅い。

埋土上層に１㎜大程度の炭化物が密に認められたが、埋土下層になるに従い、炭化物が疎となる。遺物は出土していない。

【SC６】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区西側平坦面、Ｇ４Ｇ、ML１下層（Ⅳ下層）精査中に検出された。長径90㎝、短径70㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から30㎝を測る。

埋土上・中層に１㎜大程度の炭化物が微量だが認められたが、埋土下層では認められなかった。遺物は出土していない。

【SC７】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区西側平坦面、Ｇ４Ｇ、ML１下層（Ⅳ下層）精査中に検出された。長径70㎝、短径30㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から８㎝と浅い。

埋土に１㎜大程度の炭化物が微量に認められた。遺物は出土していない。

【SC８】（炭化物を伴う土坑）[第132図]

Ｂ区西側平坦面、Ｈ４Ｇ直下、ML１上層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径80㎝、短径66㎝のやや楕円形を呈し、残深は検出面から13㎝を測る。

検出面には長径５㎝から10㎝程度の尾鈴山酸性岩

類の礫が６点絡んでいた。黒褐色土の埋土中からは炭化物が少量検出された。遺物は出土していない。

【SC９】（焼土を伴う土坑）［第132図］

Ｂ区西側の調査区端平坦面、Ｆ２Ｇ、ML１上層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径65㎝、短径46㎝のやや楕円形を呈し、残深は検出面から11㎝を測る。Kr−kb上層まで掘り込まれている。

埋土中からは、径１㎜～３㎜大の橙色粒が検出され、焼土を伴う土坑と判断した。遺物は出土していない。

【SC10】（炭化物を伴う土坑）［第133図］

Ｂ区西側平坦面、Ｄ４Ｇ、Kr−kb（Ｖb層）精査中に検出された。長径82㎝、短径70㎝を測り、ほぼ円形を呈する。残深は検出面から24㎝を測る。

検出面及び埋土中から微量の炭化物が検出された。遺物は出土していない。

【SC11】（用途不明の土坑）［第133図］

Ａ区中央部平坦面、Ｄ５～Ｄ６Ｇ、ML１下層（Ｖa層）精査中に検出された。長径108㎝、短径82㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から東部分33㎝、西部分13㎝を測る。

埋土中に１㎜以下の火山灰土の橙色粒子を若干含むが、炭化物は認められず、遺物も出土していない。

【SC12】（用途不明土坑）［第133図］

Ｂ区西側平坦面、Ｈ４Ｇ、ML１下層（Ｖa層）精査中に検出された。長径45㎝、短径42㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から33㎝を測る比較的小さい土坑である。

埋土は暗褐色土・黒褐色土を呈するものであるが、炭化物や橙色土、遺物等は出土せず、用途不明の土坑である。

【SC13】（焼土を伴う土坑）［第133図］

Ｂ区西側平坦面、Ｄ７Ｇから直南へ約450㎝の地点、Kr−kb下層（Ｖb下層）精査中に検出された。長径50㎝、短径41㎝のやや楕円形を呈し、残深は検出面から８㎝と浅い。

埋土から径１㎜～３㎜程度の明黄褐色土（Hue10YR6/8）の粒子を含み、焼土を伴う土坑と判断した。

【SC14】（炭化物及び焼土を伴う土坑）［第133図］

Ａ区東側平坦面、Ｆ６Ｇ、ML１下層（Ⅳ下層）精査中に検出された。長径190㎝、短径110㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から23㎝を測る。MB１層（Ｖc層）を掘り込んでいる。

埋土は硬くしまっており、黒褐色土から暗褐色土を呈する。ブロック状の黒褐色土も認めれらる。埋土Ⅱa層には炭化物、橙色の焼土粒（径１㎜大）を多く含んでいた。遺物は出土していない。

【SC15】（用途不明の土坑）［第134図］

Ｂ区西側平坦面、Ｄ４Ｇ、ML１（Ｖa層）精査中に検出された。５号土坑の直下での検出である。埋土の状況からML１から掘り込まれたと考えられる。長径70㎝、短径62㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から18㎝を測り、姶良Tn上層（Ⅷ上層）まで掘り込まれていた。

埋土中には炭化物や焼土は認められず、遺物も出土していない。用途不明の土坑である。

【SC16】（焼土を伴う土坑）［第134図］

Ｂ区西側平坦面、Ｃ５Ｇ、ML１下層（Ｖa上層）精査中に検出された。長径70㎝、短径63㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から18㎝を測る。

検出面及び埋土中に径１㎜～３㎜大の明褐色粒子（Hue7.5YR5/8）を含む。遺物は出土していない。

【SC17】（焼土を伴う土坑）［第134図］

Ｂ区西側斜面、Ｂ５Ｇ、ML１下層（Ｖa上層）精査中に検出された。長径70㎝、短径57㎝のやや楕円形を呈し、残深は検出面から12㎝を測り。浅い。

褐色土の埋土に径１㎜～２㎜大の明褐色土（Hue7.5YR5/8）を含み、焼土を伴う土坑である。炭化物は認められず、遺物も出土していない。

【SC18】（炭化物及び焼土を伴う土坑）［第134図］

Ａ区北側、本遺跡中央平坦部、Ｆ６Ｇ、ML１下層（Ｖa上層）精査中に検出された。長径140㎝、短径75㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から18㎝を測る。

焼土粒を埋土ｉに多く含む。埋土ⅱには黒褐色のブロック粒を含む。また、炭化物も認められた。遺物は出土していない。

【SC19】（焼土を伴う土坑）［第134図］

SC18直下、Ｆ６Ｇ、ML１下層（Ｖa下層）精査中に検出された。長径76㎝、短径48㎝の楕円形を呈し、

残深は検出面から10㎝を測り浅い。

埋土には径５㎜大程度の焼土粒を多く含み、炭化物も密に確認できた。SC18との関連は明確ではない。

また、埋土からの植物珪酸体分析を行った。その結果、埋土（焼土）試料の３点からはミヤコザサ節型が多量に検出され、ススキ属型、ウシクサ族Ａ、イネ科Ｂタイプ、イネ科Ｃタイプ、ネザサ節型、クマザサ属型なども検出された。遺構中心部の試料でも同様の分類群が検出されたが、ミヤコザサ節型は比較的少量である。おもな分類群の推定生産量によると、ミヤコザサ節型が優勢となっていることが分かる。

当時の遺構周辺は、クマザサ属（おもにミヤコザサ節）などの笹類を主体としたイネ科植生であったと考えられ、ウシクサ族なども生育していたと推定される。このような結果は、F6-3GのML１（Ⅵ層）と類似しており、同遺構が同層準に包含されているとする考古学的所見と符合している。なお、２箇所の試料ではミヤコザサ節の密度が４万個/ｇ以上とかなり高い値であることから、同遺構ではミヤコザサ節の茎葉が燃料などとして利用されていた可能性が考えられる。

【SC20】（焼土を伴う土坑）［第134図］

Ａ区東側斜面、Ｅ７Ｇ、ML１上層（Ⅳ層）精査中に検出された。長径113㎝、短径100㎝のほぼ円形を呈し、残深は検出面から22㎝を測る。

検出面及び黒褐色土、暗褐色土の埋土中に径３㎜大以下の橙色粒を大量に含む。埋土中の大量の橙色粒は焼土と考えられる。径５㎜～８㎜大の炭化物も多く含まれる。他の土坑の焼土量に比べて極めて密であり、炭化物の量も密に認められた。他の焼土を伴う土坑（SC22を除く）に比べて一時的ではなく長期間にわたって火の使用が行われた施設として使われていた可能性がある。

【SC21】（炭化物及び焼土を伴う土坑）［第135図］

Ａ区とＢ区の境、遺跡中央東側平坦面、Ｆ５Ｇ、Kr-kb上層（Ｖb上層）精査中に検出された。長径147㎝、短径90㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から35㎝を測る。精査中、掘り過ぎたため実際の掘込み面は、Kr-kb上層（Ｖb上層）より上である可能性が極めて高い。

完堀の際、遺構西側底面部から炭化物及び焼土粒を多く検出した。検出当初、陥し穴状遺構ではないかと考えたが、埋土中の焼土粒の検出状況から焼土を伴う土坑と判断した。埋土中から遺物は出土していない。

【SC22】（炭化物及び焼土を伴う土坑）［第135図］

Ｂ区西側平坦面、Ｇ５Ｇ、Kr-kb上層（Ｖb上層）精査中に検出された。長径180㎝、短径115㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から42㎝を測る。

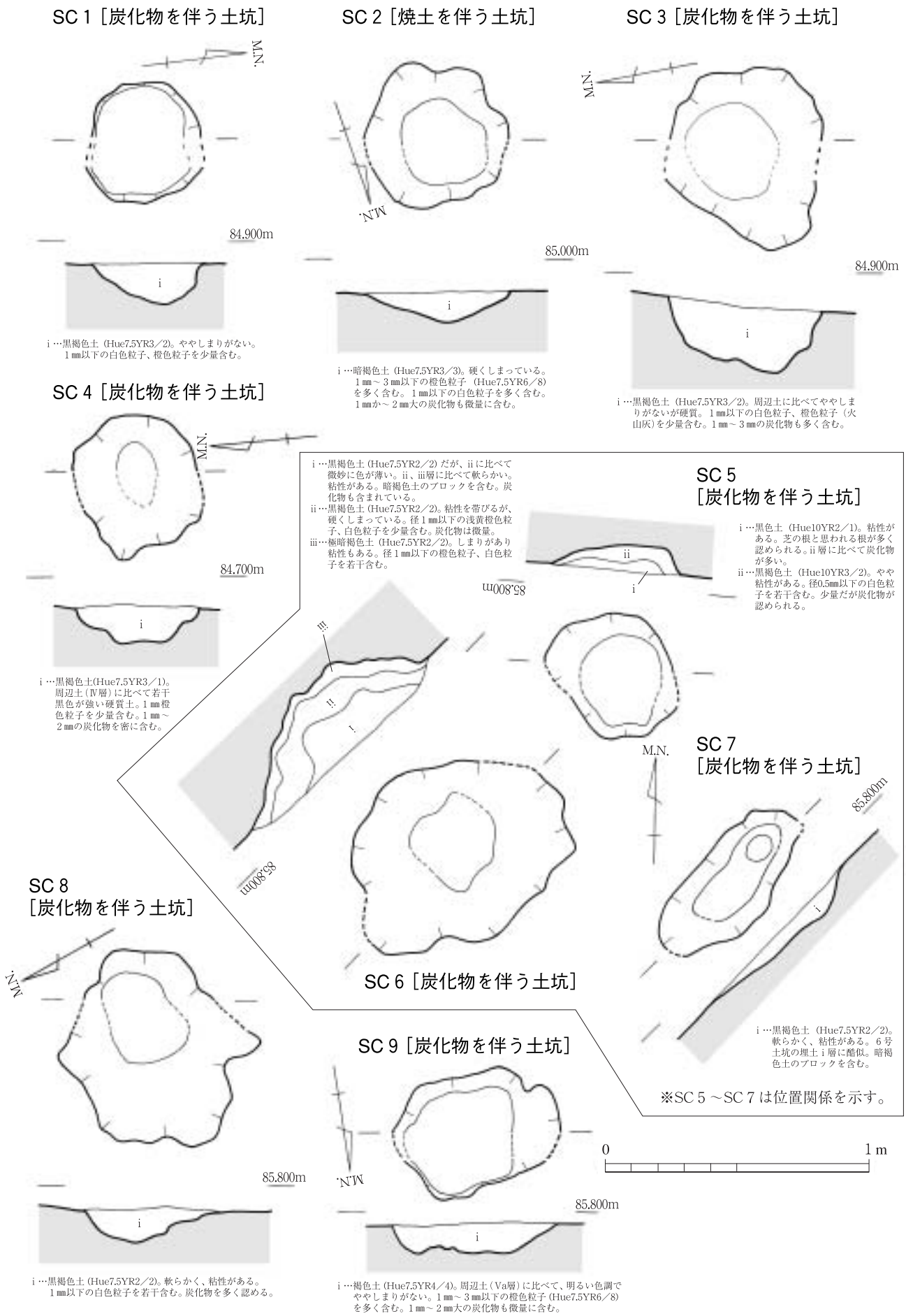
遺構内北西部埋土下層からは、橙色粒、焼成した軽石、礫、炭化物が集中して検出された。埋土中の橙色粒、炭化物の量は他の土坑に比べて密であったSC20同様、長期間にわたって火の使用が行われた施設として使われていた可能性がある。埋土中から遺物は出土していない。

埋土に含まれていた炭化物によるC14放射性炭素年代測定によると、11750±80年BPの測定値を得た。

【SC23】（焼土を伴う土坑）［第136図］

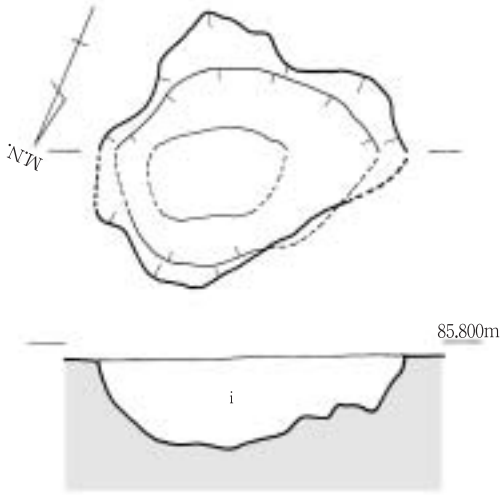
Ｂ区東側の調査区際の平坦面、Ｇ５Ｇ、ML１下層（Ⅳ下層）精査中に検出された。長径180㎝、短径は推定約100㎝の楕円形を呈し、残深は検出面から18㎝を測る。調査区際での検出のため、一部完堀はできていない。

遺構底面の埋土には、橙色粒の混じる部分があり、焼土と判断した。また、埋土からは炭化物の検出も認められた。遺物は出土していない。



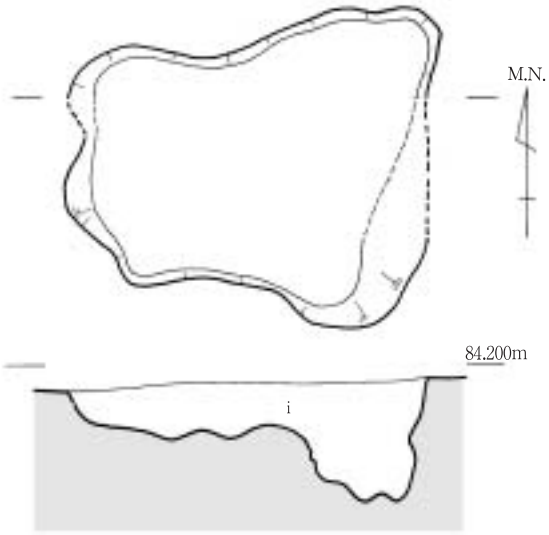
第132図　縄文時代早期　土坑実測図１（S＝1/20）

SC10［焼土を伴う土坑］



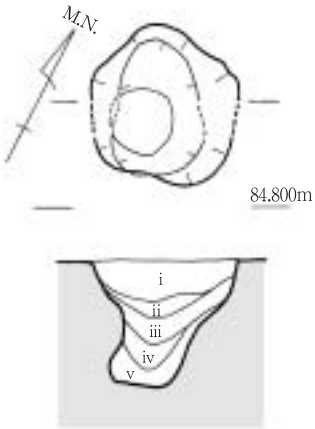
i …黒褐色土（Hue10YR3／2）。しまりがあり粘性もある。径１㎜以下の白色粒子、橙色粒子を少量含む。炭化物が若干量認められる。芝の根を含む。

SC11［用途不明の土坑］



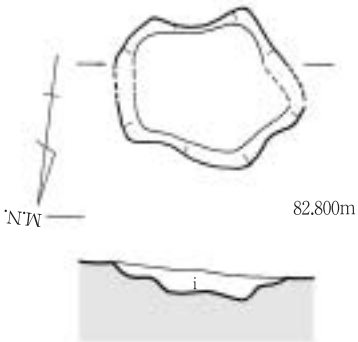
i …褐色土（Hue7.5YR4／4）。周辺土（Va層）に比べて硬くしまっている。２㎜～３㎜程度の黒褐色土（Hue7.5YR2／2）のブロックを少量含む。若干の橙色粒子も認められる。

SC12［用途不明の土坑］



i …暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。長石の白色微粒子を認める。
ii …黒褐色土（Hue7.5YR2／2）。
iii …黒褐色土（Hue7.5YR2／2）。粒子間に隙間を認める。２㎜以下の青灰色粒子を含む。
iv …黒褐色土（Hue7.5YR2／2）。
v …暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。粒子間に隙間を認める。２㎜程度の明褐色のブロック粒を含む。

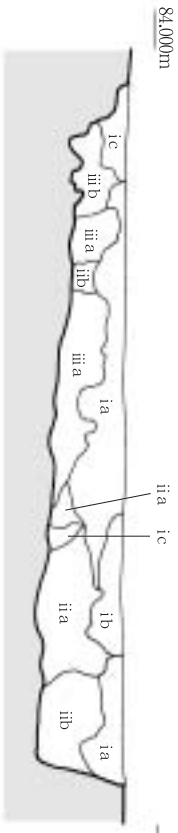
SC13［焼土を伴う土坑］



i …褐色土（Hue7.5YR4／4）。粘性を帯びるがややしまりがない。１㎜～３㎜以下の明黄褐色（Hue10YR6／8）粒子を多く含む。

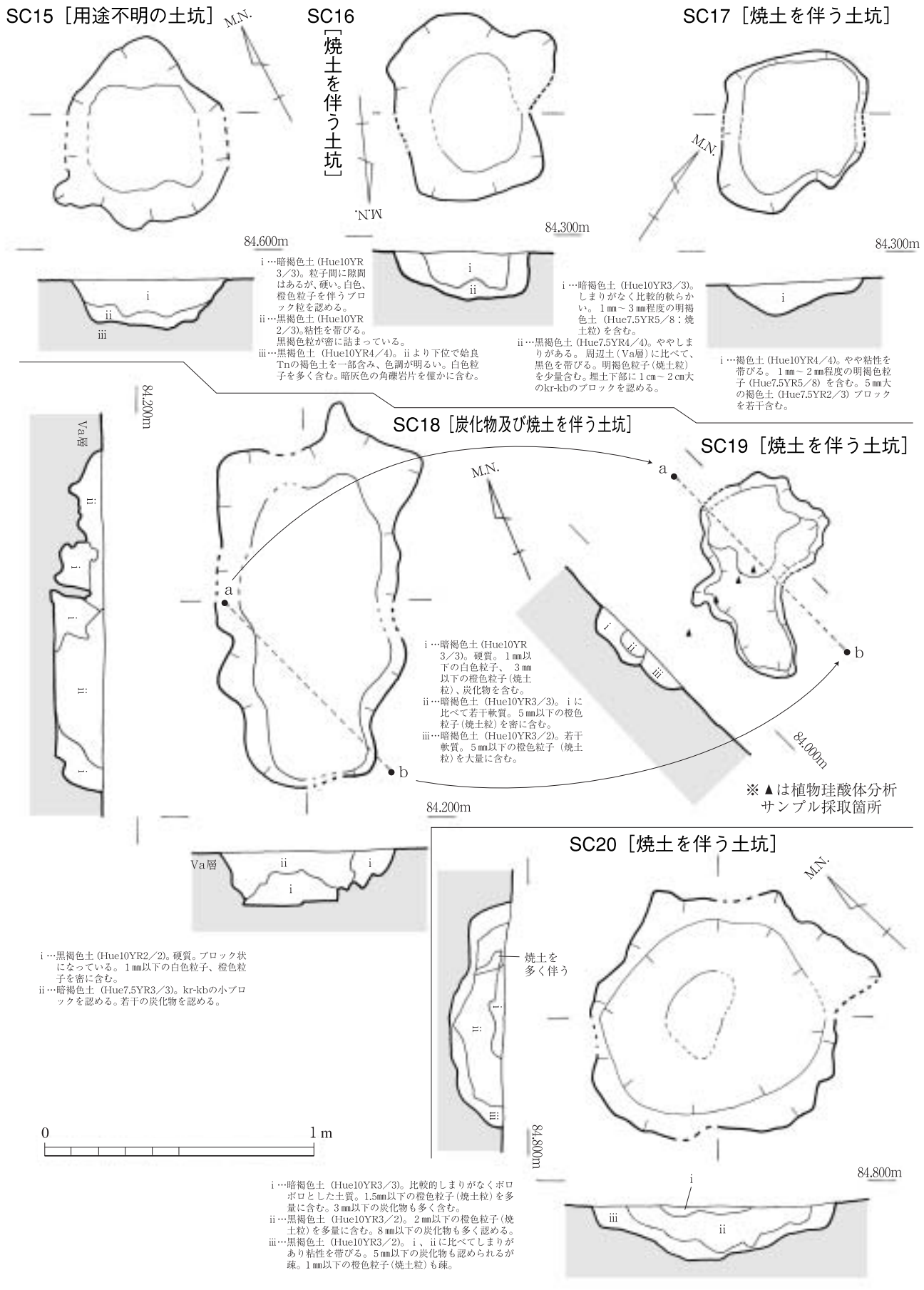
SC14［炭化物及び焼土を伴う土坑］

ia…黒褐色土（Hue7.5YR3／2）。硬質であるが、若干粘性を帯びる。程３㎜以下の橙色粒子、径１㎜以下の白色粒子を多く含む。
ib…黒褐色土（Hue7.5YR3／2）。ｉａに比べてやや色が淡く、粘性が増し軟らかい。径５㎜以下の橙色粒子（焼土）を多く含む。
ic…黒褐色土（Hue7.5YR3／2）。硬質であるが、若干粘性を帯びる。ｉａに酷似。ｉａに比べて橙色粒子の混入が疎である。
ii a…暗褐色土（Hue7.5YR4／3）。軟らかく粘性を帯びる。炭化物及び径２㎜以下の橙色粒子（焼土粒）を多く含む。



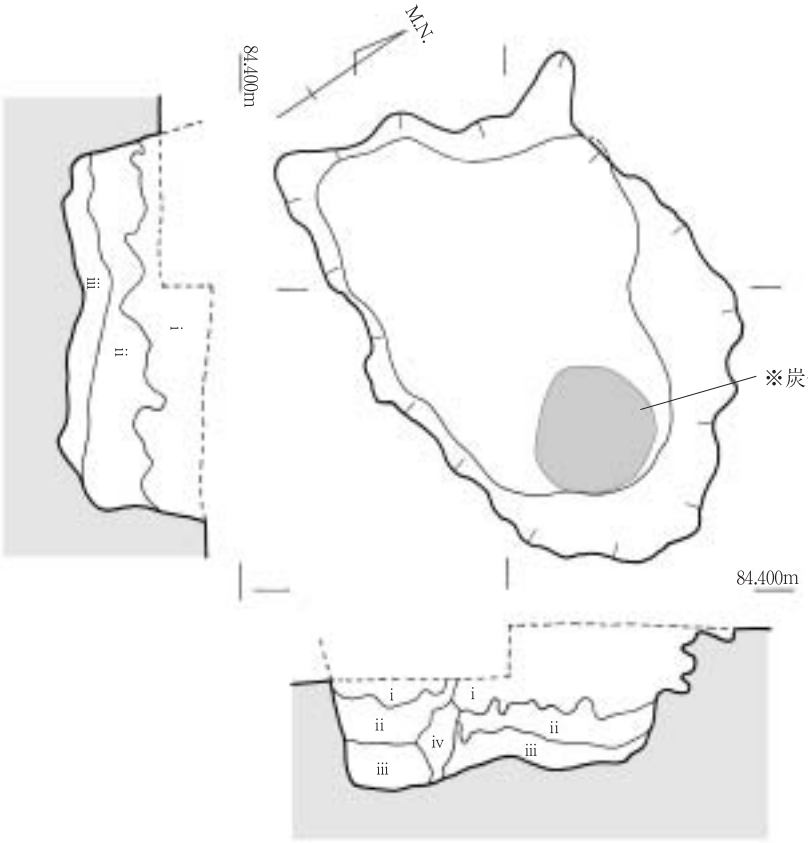
iib…暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。ｉｉａに比べてやや硬質。ｉｉａに比べて橙色粒子の混入は疎であるが、炭化物は等しく含む。
ii c…暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。ｉｉａに比べてやや硬質。炭化物及び径２㎜以下の橙色粒子を（焼土粒）を多く含む。
iii a…暗褐色土（Hue7.5YR3／4）。しまりがある。１㎜以下の白色粒子を多く含む。径３㎜程度のにぶい褐色土（Hue7.5YR5／4）のブロックを含む。
iii b…黒褐色土（Hue7.5YR3／2）。若干粘性があるが硬質。ブロック状になっている。１㎜以下の白色粒子を含む。

第133図　縄文時代早期　土坑実測図２（S＝1/20）



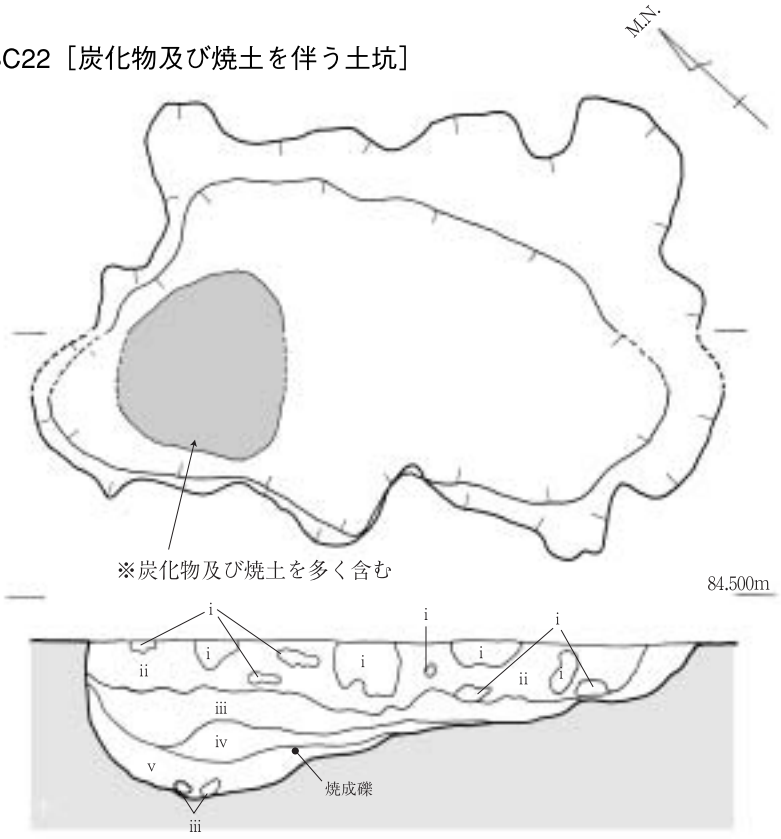
第134図　縄文時代早期　土坑実測図３（S＝1/20）

SC21［炭化物及び焼土を伴う土坑］



i…黒褐色土（Hue7.5YR3／2）。やや粘性を帯びるが、硬質でしまりがある。2㎜以下の橙色粒子、1㎜以下の白色並びに灰白色粒子を多く含む。
ii…暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。i層に比べて若干軟らかいがしまりはある。1㎜以下の白色粒子を含む。
iii…褐色土（Hue7.5YR4／3）。粘性は他の埋土層の中で最もない。3㎜以下の橙色粒子、1㎜以下のガラス質白色粒子を多く含む。
iv…暗褐色土（Hue7.5YR3／3）。ほくほくしており軟らかい。樹根と思われる。

SC22［炭化物及び焼土を伴う土坑］

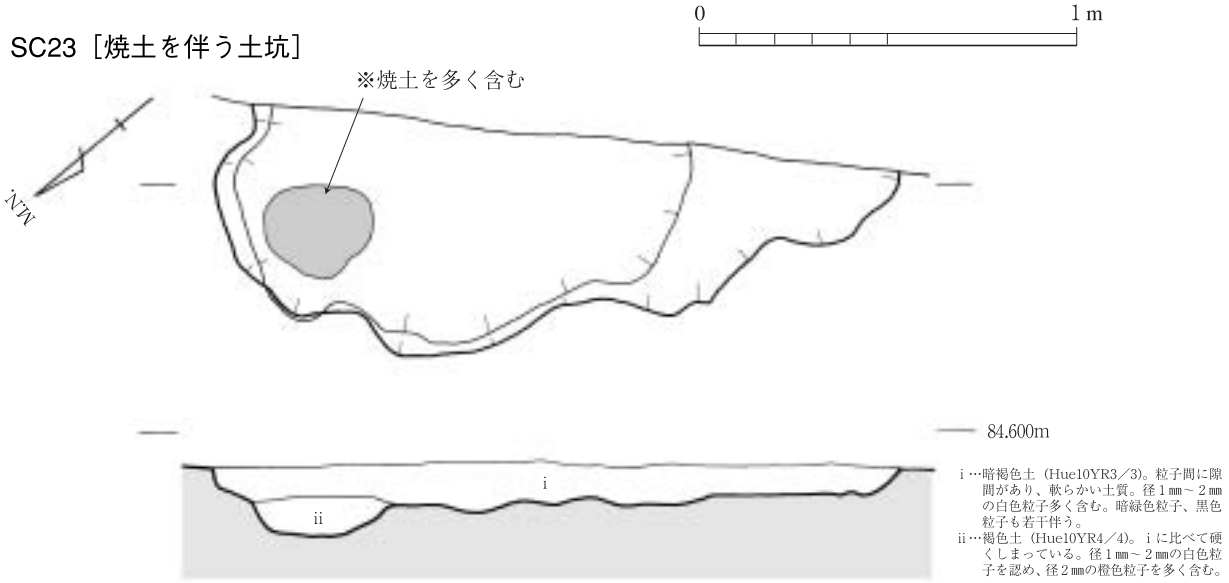


i…黒褐色土（Hue10YR2／2）。硬質。ブロック状になっている。1㎜以下の白色粒子、橙色粒子を含む。
ii…黒褐色土（Hue10YR3／2）。iに比べて明るい色調で、粘性。1㎜以下の白色粒子、橙色粒子を含む。
iii…暗褐色土（Hue10YR3／3）。ざらざら感が強く、砂質性の1㎜以下の白色粒子を含む。粒子間の隙間はiiより更に疎となる。斑状ににぶい黄褐色土（Hue10YR4／3）を伴う。
iv…にぶい黄褐色土（Hue10YR4／3）。軟らかく砂質性を帯びる。粒子間の隙間はiiiと同程度。3㎜～5㎜程度の炭化物を含む。
v…褐色土（Hue10YR4／4）。粘土質でしまっている。黒ずみを帯びた小礫、5㎜程度の炭化物を含む。最下部に砂質性のブロックを認める。

0　1m

第135図　縄文時代早期　土坑実測図４（S＝1/20）

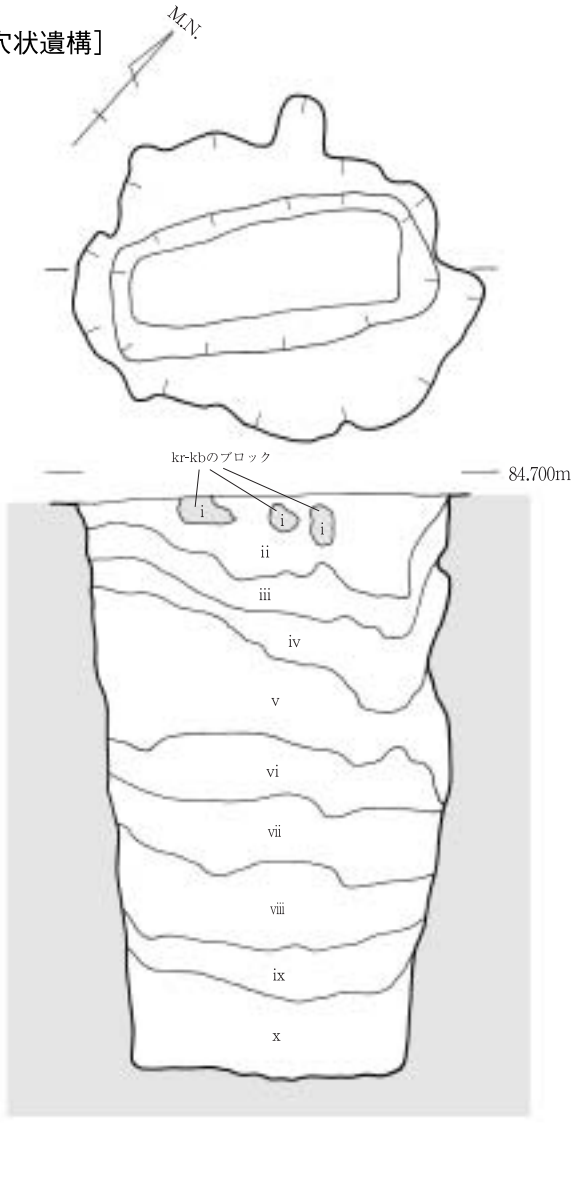
SC23［焼土を伴う土坑］



i…暗褐色土（Hue10YR3／3）。粒子間に隙間があり、軟らかい土質。径１㎜～２㎜の白色粒子多く含む。暗緑色粒子、黒色粒子も若干伴う。

ii…褐色土（Hue10YR4／4）。ｉに比べて硬くしまっている。径１㎜～２㎜の白色粒子を認め、径２㎜の橙色粒子を多く含む。

SC24［陥し穴状遺構］



i…暗褐色土（Hue10YR3／3）。kr-kbのブロックを含む。硬くしまっている。径１㎜～２㎜の白色粒子、径３㎜～５㎜の橙色粒子を多く含む。

ii…暗褐色土（Hue10YR3／3）。ｉに比べて粒子が小さく、軟らかくさらさら感があるがしまりはある。径１㎜～２㎜の白色粒子、径２㎜の橙色粒子を含む。

iii…暗褐色土（Hue10YR3／3）。ⅱに比べてしまりがなくさらさらとしているが粘性も感じられる。径１㎜～２㎜の白色粒子、径２㎜の橙色粒子を少量含む。

iv…暗褐色土（Hue10YR3／3）。ⅲに比べて更にしまりがなくさらさらとしているが粘性も感じられる。径２㎜の橙色粒子を含む。４㎜大の炭化物も含む。

v…にぶい黄褐色土（Hue10YR4／3）。しまりはないが粘性を帯びる。さらさらした径５㎜程度のしまりのないにぶい黄褐色土（Hue10YR5／3）のブロックを含む。１㎜以下の白色粒子を含む。また４㎜大の炭化物も含む。

vi…にぶい黄褐色土（Hue10YR5／3）。しまりはなく粒子間に隙間がある。黄褐色土（Hue10YR5／4：姶良Tn）を多く含む。１㎜大の白色粒子を含む。

vii…褐色土（Hue10YR4／4）。viに比べてしまりがあり粒子は小さい。若干の粘性を帯びる。１㎜以下の珪質粒子を少量含む。

viii…暗褐色土（Hue10YR3／3）。しまりがなく軟らかい。やや粘性を帯びる。径１㎜以下の白色粒子、径５㎜程度の橙色粒子を多く含む。

ix…暗褐色土（Hue10YR3／3）。さらさらしているが若干のしまりがある。１㎜以下の白色粒子、２㎜以下の橙色粒子を少量含む。黄褐色土（Hue10YR5／8）をまばらに含む。

x…灰黄褐色土（Hue10YR4／2）。粘性を帯びる。１㎜以下の白色粒子、３㎜程度の橙色粒子を少量含む。また径３㎜～４㎜大の黒褐色土（Hue10YR2／2）ブロックを含む。

第136図　縄文時代早期　土坑実測図５（SC23：S＝1/20、SC24：S＝1/30）

【SC24】（陥し穴状遺構）［第136図］

Ｂ区北側調査区際、Ｇ３Ｇ、Kr−kb上層（Ｖb上層）精査中に検出された。検出面は長径165㎝、短径125㎝の楕円形を呈し、底面は長径105㎝、短径35㎝を測りほぼ長方形を呈する。残深は検出面から230㎝を測り、Kr−Iw上層（Ⅻ上層）まで掘り込まれている。

埋土は10層に分層された。ⅳ層及びⅴ層（埋土中位層）からは径４㎝大の炭化物が確認された。検出された炭化物のC14放射性炭素年代測定値は、11610±150年BPであった。この年代は縄文時代草創期にあたるが、埋土中層検出の炭化物測定のためこの陥し穴状遺構の年代を正確に示すとは断定できない。

他の東九州自動車道関連遺跡のいくつかの陥し穴状遺構の埋土の特徴同様、断面中位埋土層からは姶良Tn火山灰のブロックが認められ、また、埋土下部になるに従い、粘性のある黒色または暗褐色系の土が堆積していた。

検出面からはほぼ垂直に掘り込まれるが、中位はややオーバーハングし、中位から下位にかけて若干内側にすぼまって掘り込まれている。

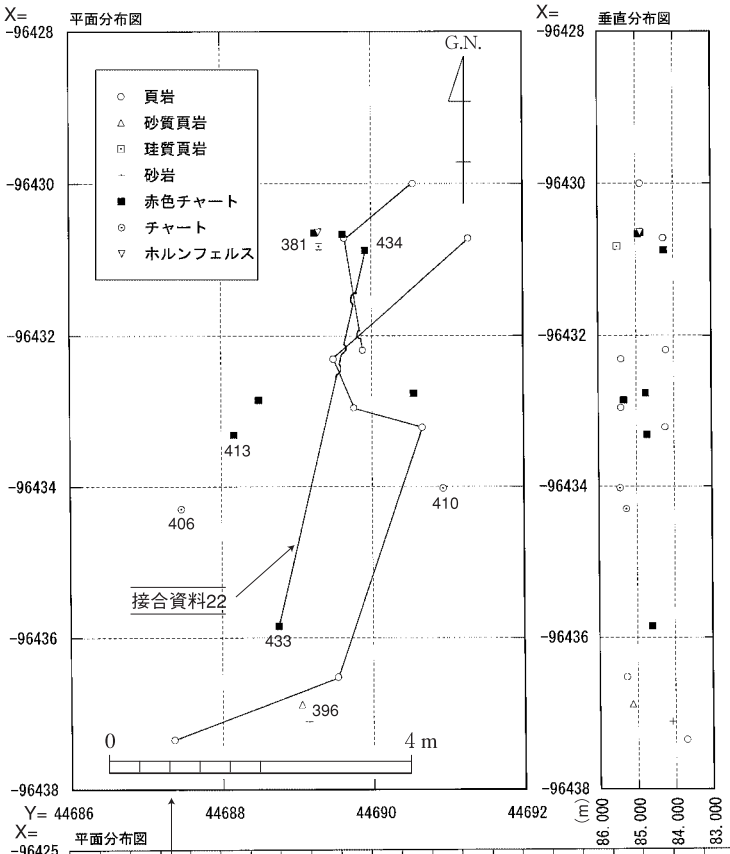
③　遺物集中域及び石器ブロック

縄文時代早期面からは247点の石器の出土を確認した。石器の分布状況、接合状況等から判断し、遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所を認めた。

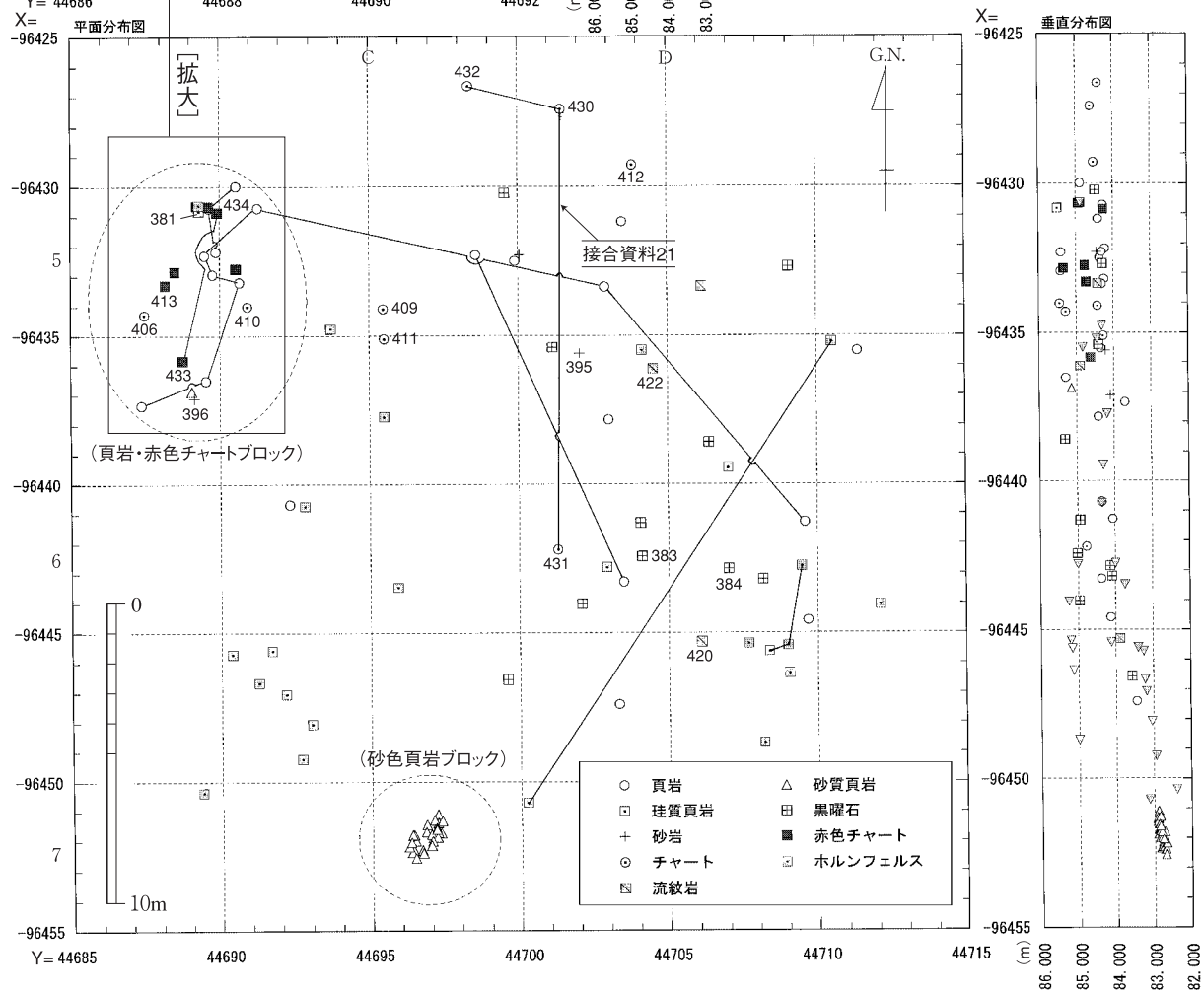
※種別の名称は埋土の主な特徴をもとに判断した（SC１～SC10、SC13、SC14、SC15～SC23）

番号	検出位置（G）	種　別	長径（cm）	短径（cm）	残深（cm）	主軸方向	検出面の形状	備　　考
SC１	D４	炭化物を伴う土坑	45	43	14	南－北	ほぼ円形	
SC２	G４	焼土を伴う土坑	55	55	14	東－西	円形	
SC３	E３	炭化物を伴う土坑	68	58	25	南－北	ほぼ円形	
SC４	G４	炭化物を伴う土坑	53	48	14	東－西	円形	
SC５	G４	炭化物を伴う土坑	55	45	10	東－西	やや楕円形	
SC６	G４	炭化物を伴う土坑	90	70	30	北東－南西	楕円形	
SC７	G４	炭化物を伴う土坑	70	30	8	北東－南西	楕円形	
SC８	H４	炭化物を伴う土坑	80	66	13	北東－南西	やや楕円形	
SC９	F２	炭化物を伴う土坑	65	46	11	東－西	やや楕円形	
SC10	D４	炭化物を伴う土坑	82	70	24	北東－南西	ほぼ円形	
SC11	D５～D６	用途不明の土坑	108	82	33	東－西	楕円形	
SC12	H４	用途不明の土坑	45	42	33	北東－南西	ほぼ円形	
SC13	D７	焼土を伴う土坑	50	41	8	東－西	やや楕円形	
SC14	F６	炭化物及び焼土を伴う土坑	190	110	23	北東－南西	楕円形	
SC15	D４	用途不明の土坑	70	62	18	北西－南東	ほぼ円形	
SC16	C５	焼土を伴う土坑	70	63	18	東－西	ほぼ円形	
SC17	B５	焼土を伴う土坑	70	57	12	北東－南西	やや楕円形	
SC18	F６	炭化物及び焼土を伴う土坑	140	75	18	南－北	楕円形	
SC19	F６	焼土を伴う土坑	76	48	10	南－北	楕円形	植物珪酸体分析 C14放射性炭素年代測定
SC20	E７	焼土を伴う土坑	113	100	22	北西－南東	ほぼ円形	C14放射性炭素年代測定
SC21	F５	炭化物及び焼土を伴う土坑	147	90	35	北東－南西	楕円形	
SC22	G５	炭化物及び焼土を伴う土坑	180	115	42	北西－南東	楕円形	C14放射性炭素年代測定
SC23	G５	焼土を伴う土坑	180	100（推定）	18	東－西	楕円形	
SC24	G３	陥し穴状遺構	165	125	230	北東－南西	長方形	C14放射性炭素年代測定

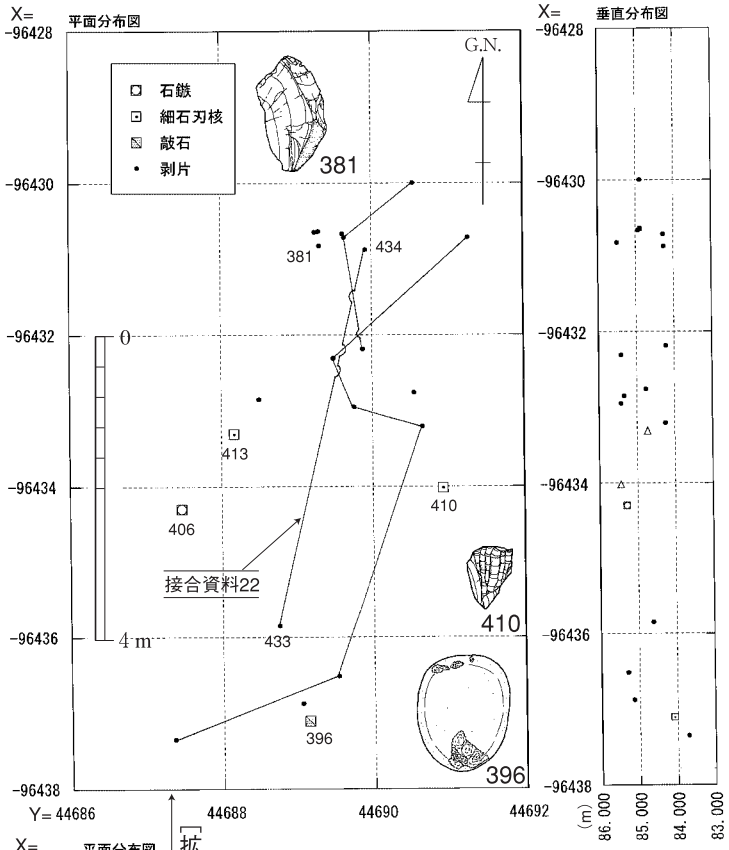
第27表　縄文時代早期　土坑計測表



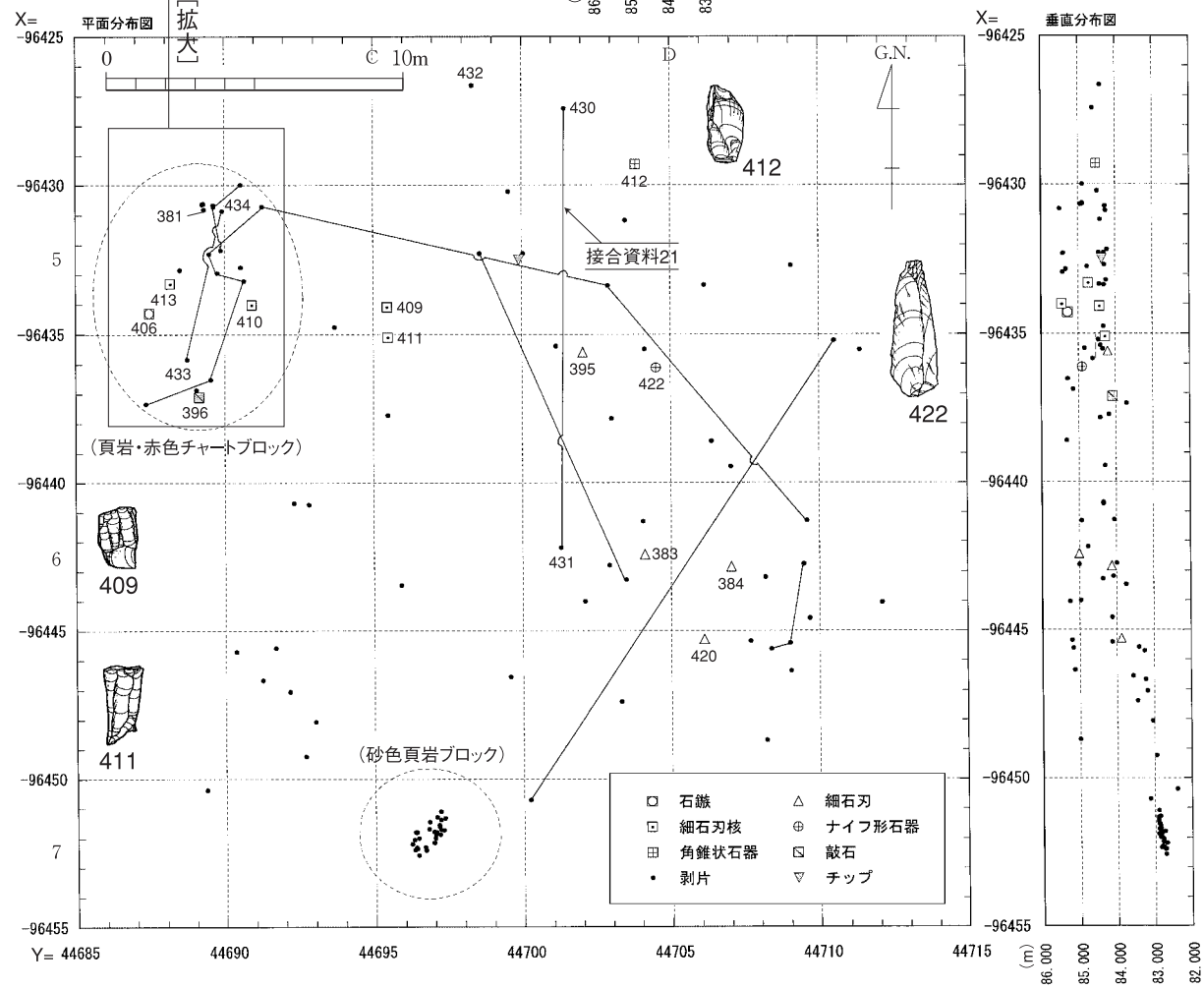
第137図
頁岩・赤色チャートブロック
石器石材別分布図（S＝1/100）



第138図　縄文時代早期　遺物集中域ａ石器石材別分布図（S＝1/250）



第139図
頁岩・赤色チャートブロック
石器器種別分布図（S＝1/100）



第140図　縄文時代早期　遺物集中域ａ石器器種別分布図（S＝1/250）

○遺物集中域a［第138図・第140図］

縄文時代早期面出土石器247点中、106点（出土石器全体の約43%）が出土したＡ区平坦部から南東斜面にかけてのＤ６Ｇを中心とする27ｍ×27ｍのほぼ円形の広範囲に認められた。

この集中域の中のＣ７－４Ｇには砂質頁岩のブロック（第144図）が、Ｃ５Ｇの南側に頁岩・赤色チャートのブロック（第137図）が認められる。詳しくは後ほど述べる。

出土石器106点中、剥片が93点（集中域出土石器全体の約88%）を占める。石材は、珪質頁岩製29点、ホルンフェルス製25点、頁岩製19点の順で遺物総数のほとんどを占める。黒曜石製や砂岩製の細石刃・細石刃核各４点、ナイフ形石器、角錐状石器各１点も出土した。

接合資料は９例、石器の点数にして28点を数える。頁岩製接合資料３例（石器数13点）、砂質頁岩製２例（石器数５点）、赤色チャート製１例（石器数２点）、チャート製１例（石器数３点）、ホルンフェルス製２例（石器数５点）が認められた。

本集中域内の接合資料のすべてが剥片同士の接合である。その中から、石材がチャートと赤色チャートの接合例各１例を掲載している。[第158図]

（頁岩・赤色チャートブロック）［第137図］

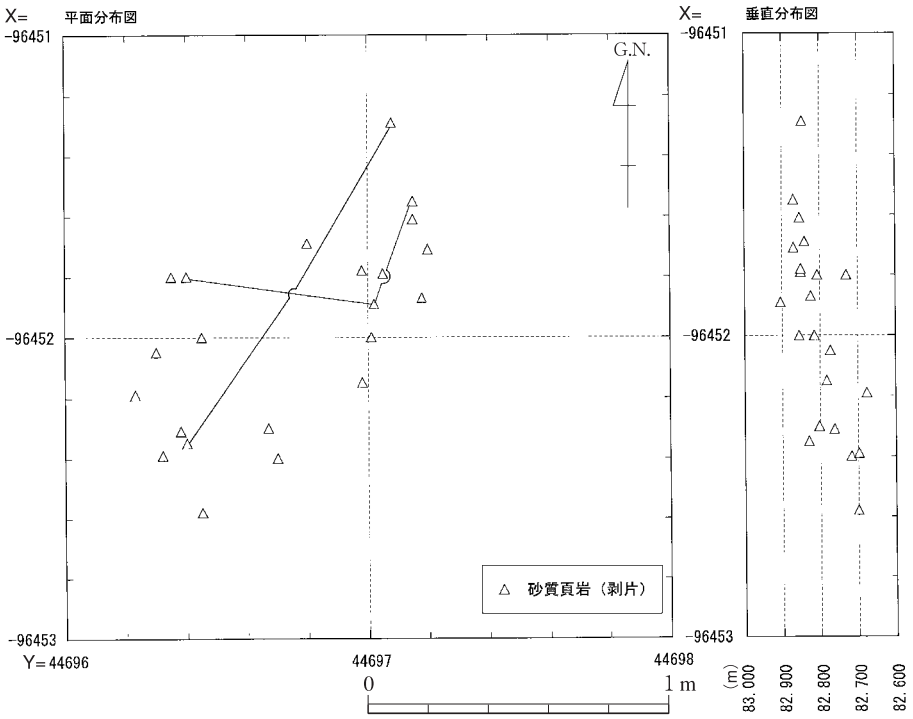
Ｃ５Ｇの南側に、南北に約４ｍ×２ｍの範囲で頁岩と赤色チャート剥片を主とするブロックである。

石材・器種別数量は第28表のとおりである。細石刃は認められなかったが、赤色チャートとチャートの細石刃核が各１点出土した。

接合資料としては、頁岩製の接合資料２例、赤色チャートの接合資料１例（第137図）を認める。

（砂質頁岩ブロック）［第141図］

Ｃ７－４Ｇの約２ｍ×１ｍの楕円形の範囲で認める。22点の砂質頁岩製剥片のみの集中区である。石器製作が行われたことが推測される。２例の接合例(剥片２点の接合と３点の接合：同一母岩の可能性大）を認めた。砂質頁岩の石核は縄文時代早期の層からは出土できなかったので、遺跡外に持ち出されたか、廃棄された可能性もある。他の砂質頁岩の分布状況は第141図に示している。



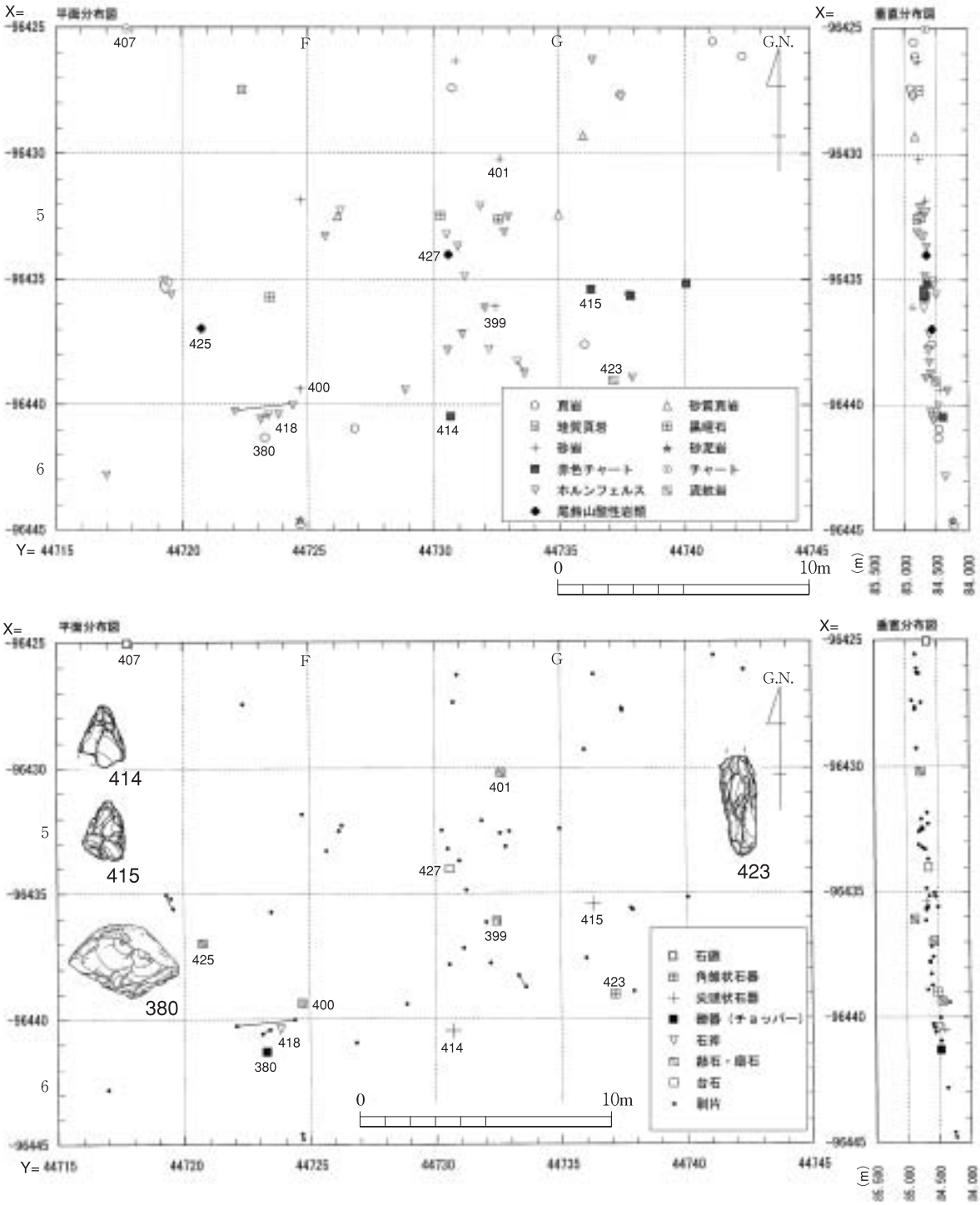
第141図　砂質頁岩ブロック石器器種別分布図（S＝1/25）

○遺物集中域b［第142図］

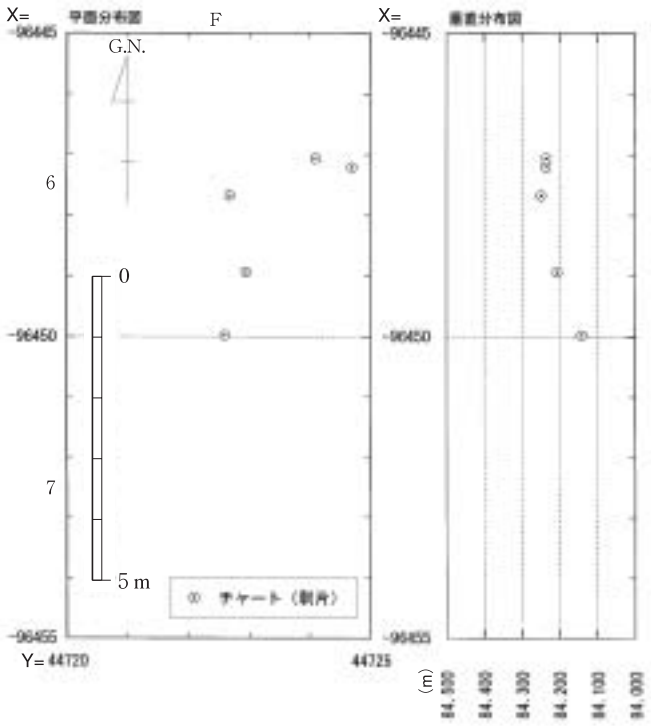
Ａ区からＢ区にかけてのＦ５・Ｇ５Ｇの範囲、南西→北東を主軸とする約25ｍ×15ｍの範囲で確認された。出土した57点（縄文時代早期出土石器全体の約23%）の石器の石材・器種の内訳は第28表のとおりである。

剥片が46点（集中域内石器の約81%）を占める。うちホルンフェルス製26点、頁岩製が８点を占める。その他の石器として尖頭状石器２点、角錐状石器、石鏃、礫器、石斧、台石が各１点、敲石・磨石が４点出土した。

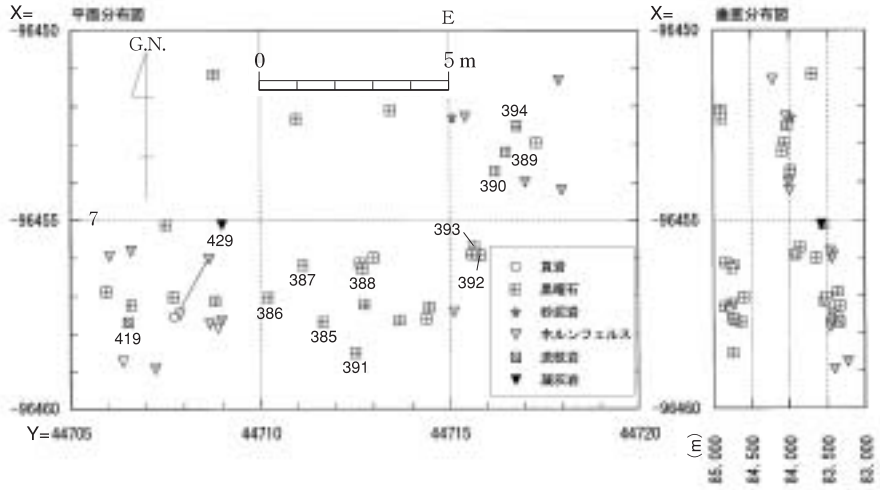
接合資料は、５例を確認した。石器数にして９点である。石材はすべてホルンフェルスで器種は剥片である。剥片２点ないし３点の接合であったため、掲載していない。



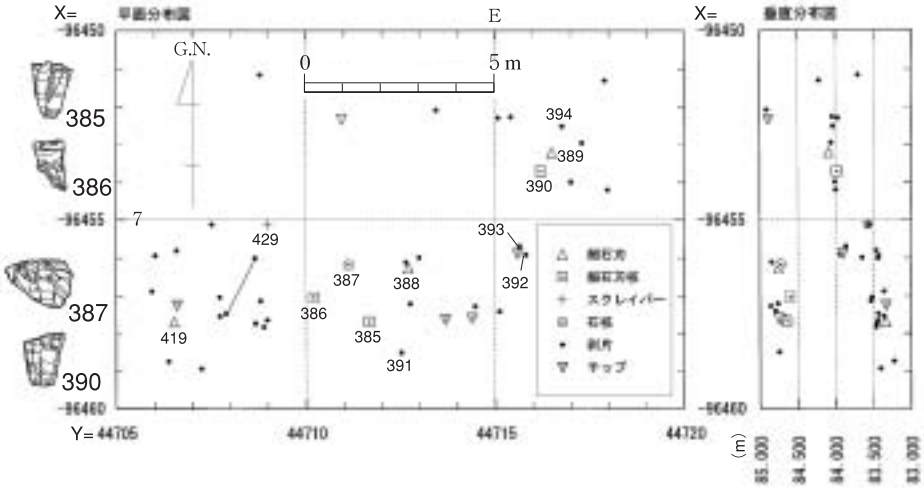
第142図　縄文時代早期　遺物集中域b石器石材別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/250）



第143図　縄文時代早期　石器ブロックa石器器種別分布図（S＝1/125）



第144図　縄文時代早期　石器ブロックb石器石材別分布図（S＝1/200）



第145図　縄文時代早期　石器ブロックb石器器種別分布図（S＝1/200）

○石器ブロックａ（チャートブロック）

［第143図］

Ａ区とＢ区の調査区境Ｆ６－２Ｇの約５ｍ×２ｍの範囲にチャート製の剥片が出土した。接合を試みたが接合しなかったものの、チャート製の石器を製作したか、製作後廃棄した可能性もある。

また、石核や石器製品は出土していないが、調査区境のブロックであるため、隣接する調査区外が石器製作の場であった可能性も残る。

○石器ブロックｂ（黒曜石ブロック）

［第144図・第145図］

Ａ区Ｄ７－３・４ＧとＥ７Ｇを中心に東西を主軸とする約13ｍ×９ｍの範囲で確認された。遺物集中域aの南東に隣接するが、石材に黒曜石をもつ石器のブロックである。

出土した石器44点のうち、黒曜石が26点（ブロック内出土石器の約60％）である［第28表］。黒曜石産地別に見ると針尾島産系石器14点、桑ノ木津留産系石器11点、日東産系石器１点である。接合は認められなかったが、それぞれの産地別で同一母岩の可能性が大きい。細石刃２点、細石刃核３点、石核４点、剥片15点、チップ５点を数え、細石刃ほか石器製作を行ったと推定される状況を呈する。

次いでホルンフェルス製の剥片の出土が14点と多く、剥片同士の接合も２例を数えた。

【全体】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	黒曜石	砂岩	砂泥岩	赤色チャート	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃				1				4					5
細石刃				4	1					3			8
細石刃核				3			1	4					7
ナイフ形石器	1									1			2
角錐状石器								1		1			2
尖頭状石器							2						2
スクレイパー									1			1	2
礫器	1												1
石核				1						1			2
石斧									2				2
敲石・磨石					9						2		11
台石											1		1
剥片	36	33	3	27	3	2	8	8	72	3	1		196
チップ	1			5									6
計	39	33	3	41	13	2	11	16	75	9	4	1	247

【遺物集中域ａ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	黒曜石	砂岩	砂泥岩	赤色チャート	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃								1					1
細石刃				2	1					1			4
細石刃核							1	3					4
ナイフ形石器										1			1
角錐状石器								1					1
敲石・磨石					1								1
剥片	19	29	1	8	1		6	3	25	1			93
チップ	1												1
計	20	29	1	10	3	0	7	8	25	3	0	0	106

【遺物集中域ｂ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	黒曜石	砂岩	砂泥岩	赤色チャート	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃								1					1
角錐状石器										1			1
尖頭状石器							2						2
礫器	1												1
石斧									1				1
敲石・磨石					3						1		4
台石											1		1
剥片	8	3	1	3	2	1	2		26				46
計	9	3	1	3	5	1	4	1	27	1	2	0	57

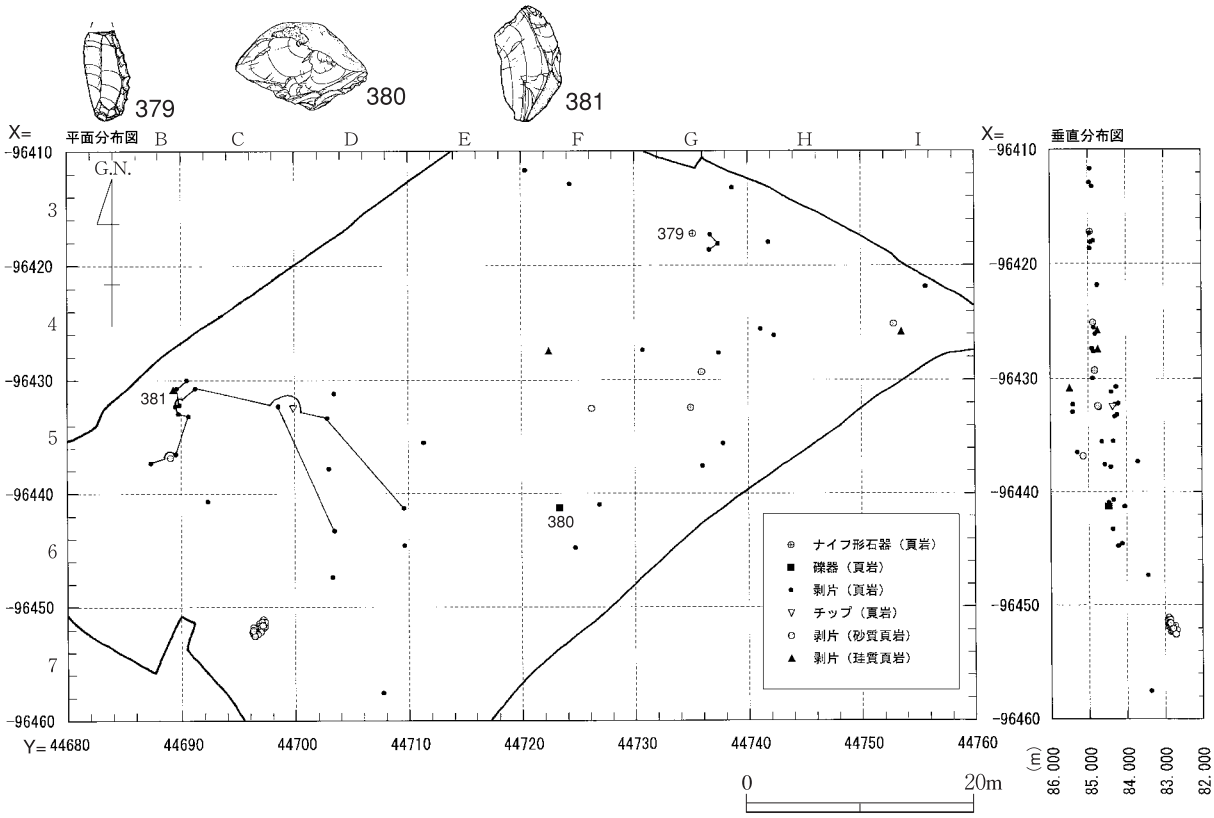
【石器ブロックａ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	黒曜石	砂岩	砂泥岩	赤色チャート	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
剥片								5					5
計	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5

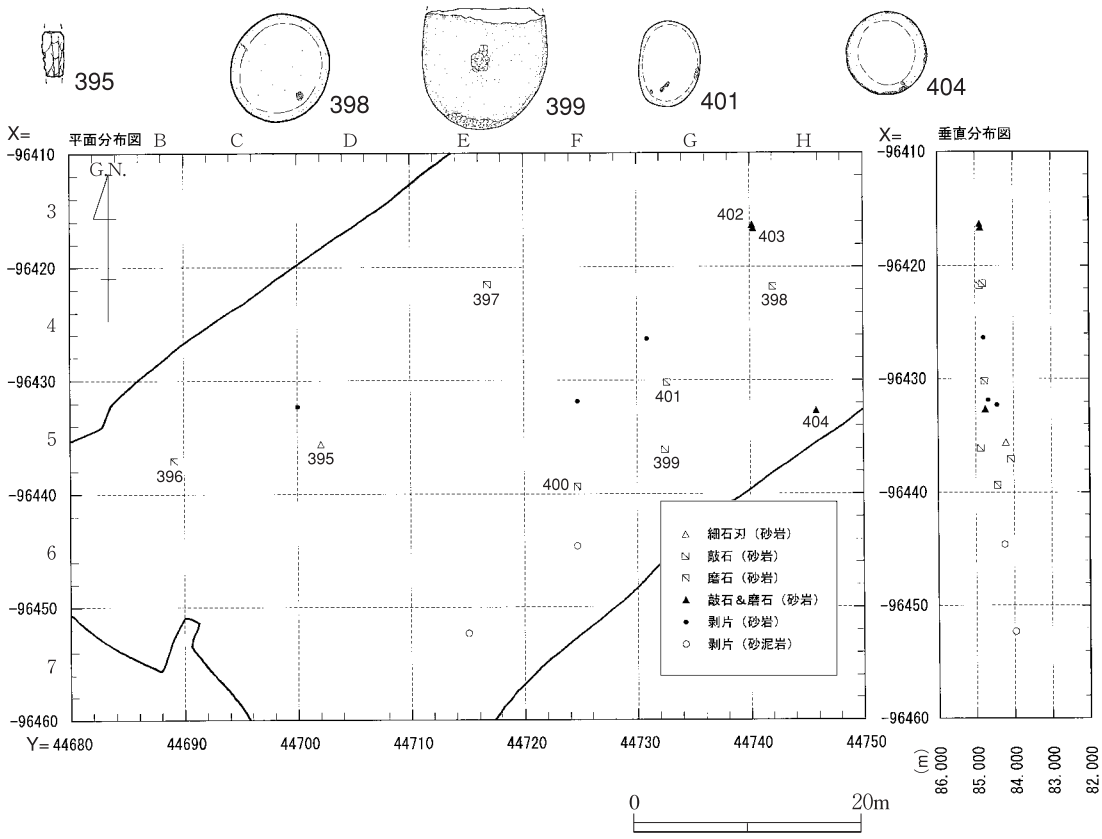
【石器ブロックｂ】

器種＼石材	頁岩	砂質頁岩	珪質頁岩	黒曜石	砂岩	砂泥岩	赤色チャート	チャート	ホルンフェルス	流紋岩	尾鈴山酸性岩類	凝灰岩	計
石鏃													
細石刃				2						1			3
細石刃核				3									3
スクレイパー												1	1
石核				4									1
剥片	1			15		1			14				31
チップ				5									5
計	1	0	0	26	0	1	0	0	14	1	0	1	44

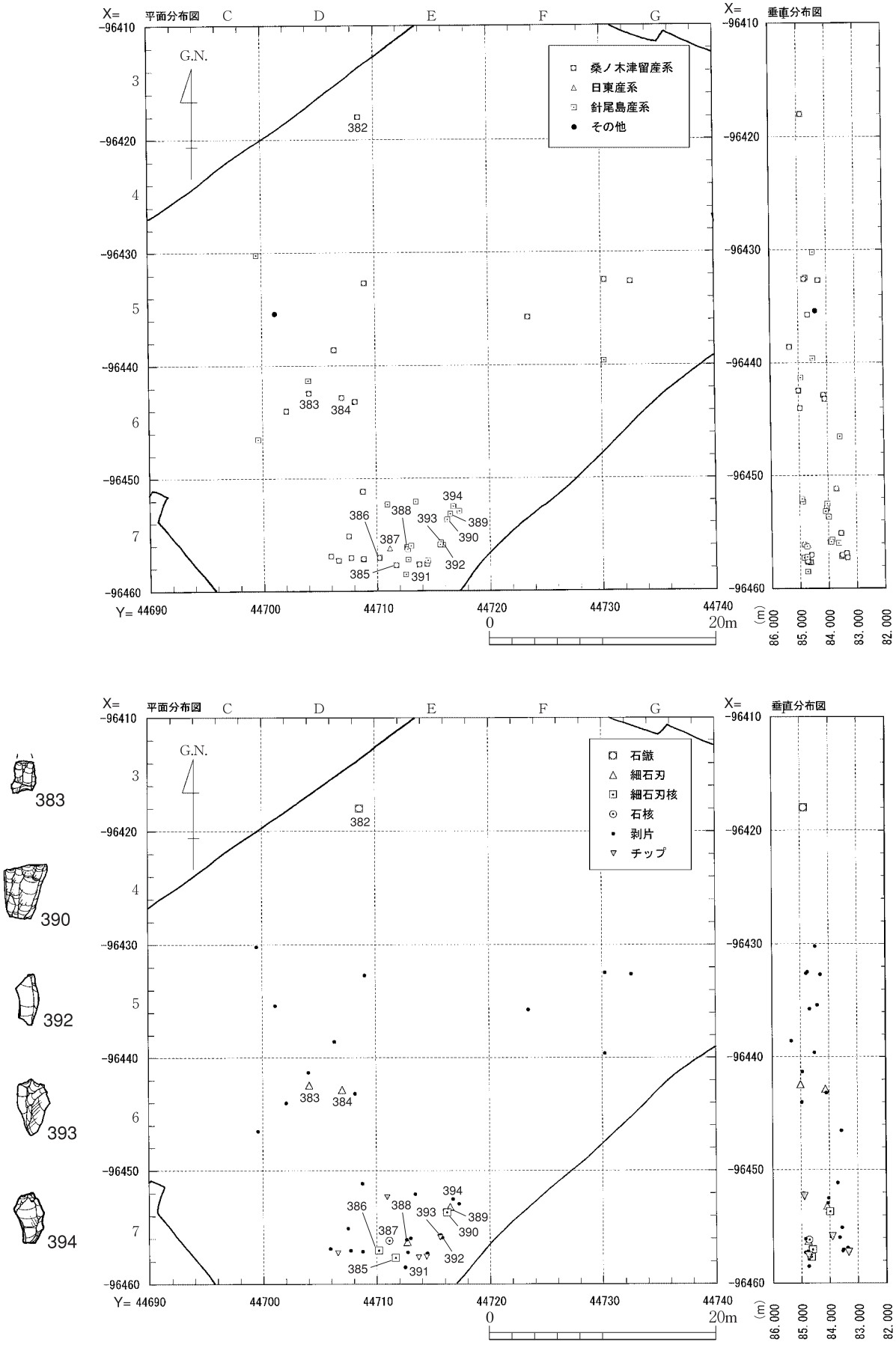
第28表　縄文時代早期　石器の石材・器種別数量組成表



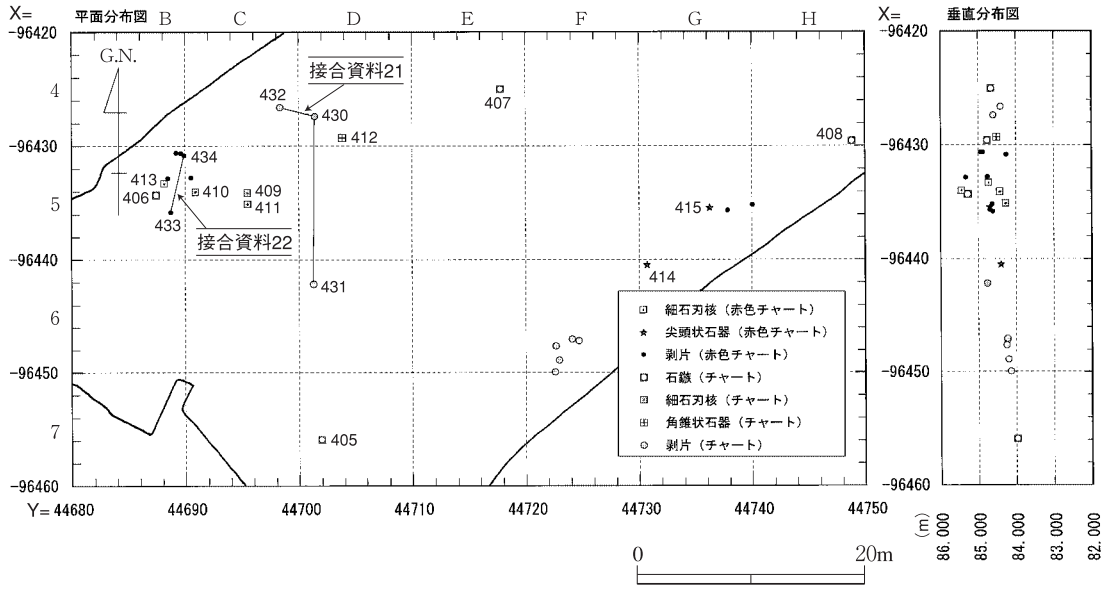
第146図　縄文時代早期　頁岩製石器器種別分布図（S＝1/667）



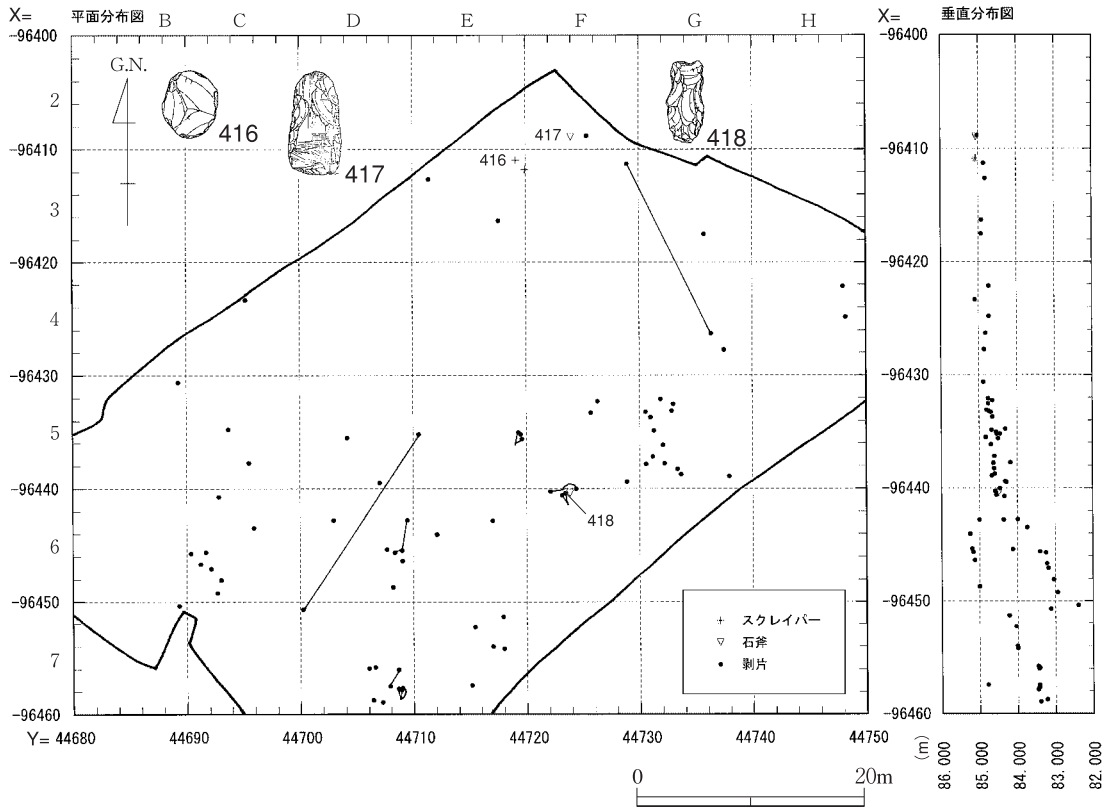
第147図　縄文時代早期　砂岩・砂泥岩製石器器種別分布図（S＝1/667）



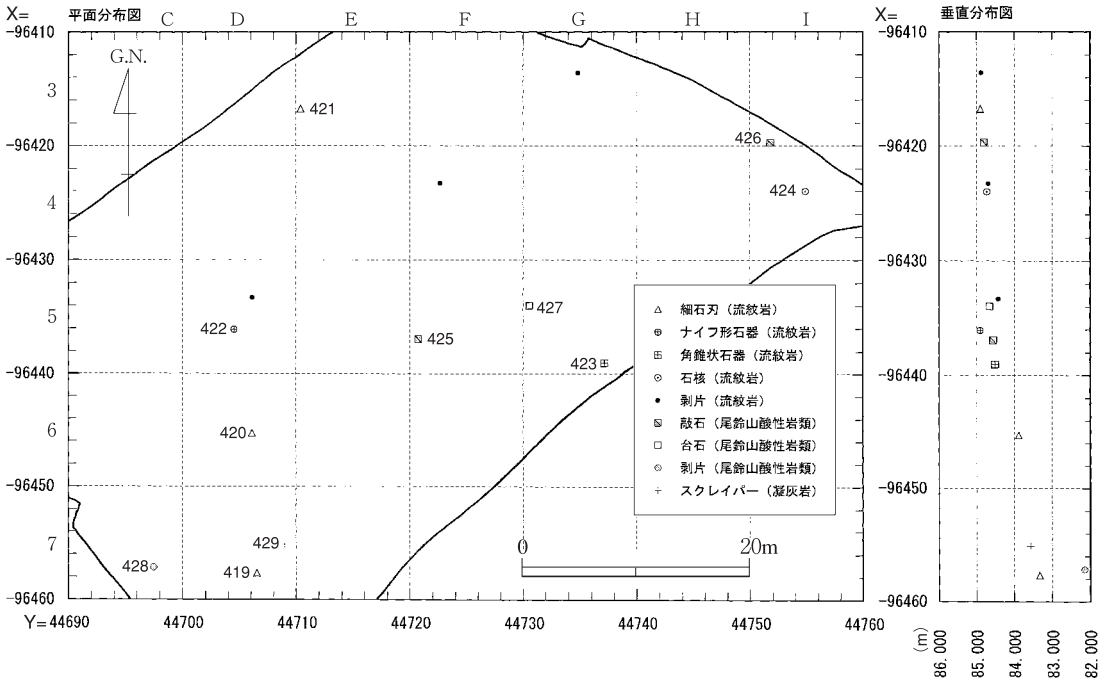
第148図　縄文時代早期　黒曜石製石器産地別（上）・器種別（下）分布図（S＝1/500）



第149図　縄文時代早期　チャート製石器器種別分布図（S＝1/667）



第150図　縄文時代早期　ホルンフェルス製石器器種別分布図（S＝1/667）



第151図　縄文時代早期　流紋岩・尾鈴山酸性岩類・凝灰岩製石器器種別分布図（S＝1/667）

3　遺物

縄文時代早期の文化層では、土器片が49地点から約120点出土した。石器は247点出土した。石器のうち、細石刃８点、細石刃核７点、ナイフ形石器２点、角錐状石器２点については、旧石器時代の範疇に包含される石器である。これら19点の石器については、出土層をもとにしたため、この時代で報告することにした。

○　土器［第152図］

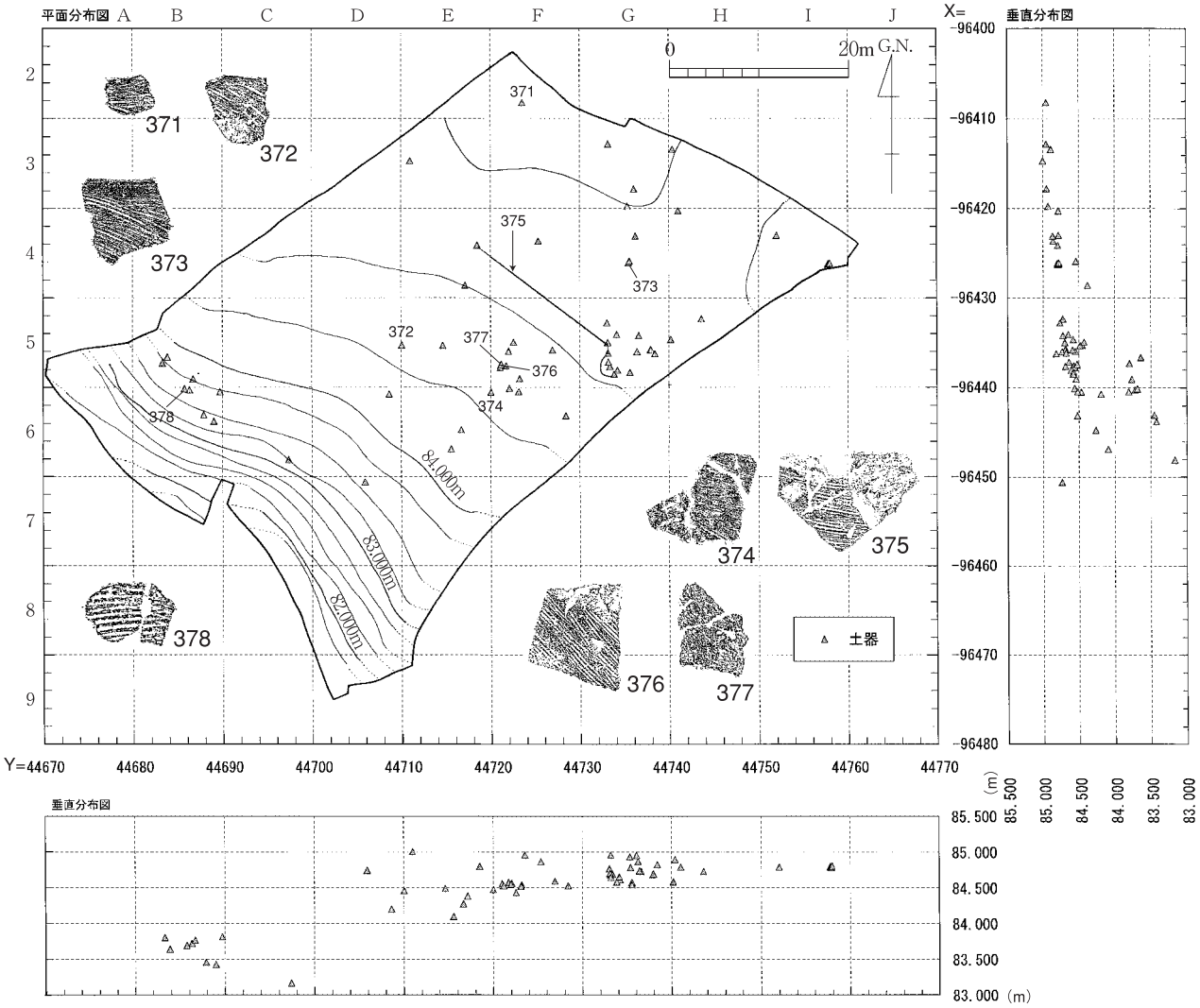
縄文時代早期の土器小片・破片が49地点から約120点ほど出土した。口縁部を残す小片６点、胴部と認められる小片38点（うち４点は底部付近の胴部）、残りは砕片で、部位等は明確ではない。

Ｃ５ＧとＣ７Ｇを結ぶ直線より西側の緩やかな斜面部では、８箇所から出土した。集石遺構が９基検出されたＢ５Ｇ・Ｂ６Ｇの範囲から出土したものである。斜面部のため、東側平坦面からの流れ込みの可能性も残る。

残りの土器片はほとんどがＥ３ＧとＥ８Ｇを結ぶ直線の東側区域、平坦面で出土している。ほぼ均等に出土しているものの、遺物集中域bの範囲で、25地点から出土した。

出土位置を超えた土器の接合は１例で、Ｆ４Ｇ、Ｆ５Ｇ、Ｇ５Ｇにまたがる範囲（遺物集中域bを含む）での接合を認めた。［第153図375］に掲載している。

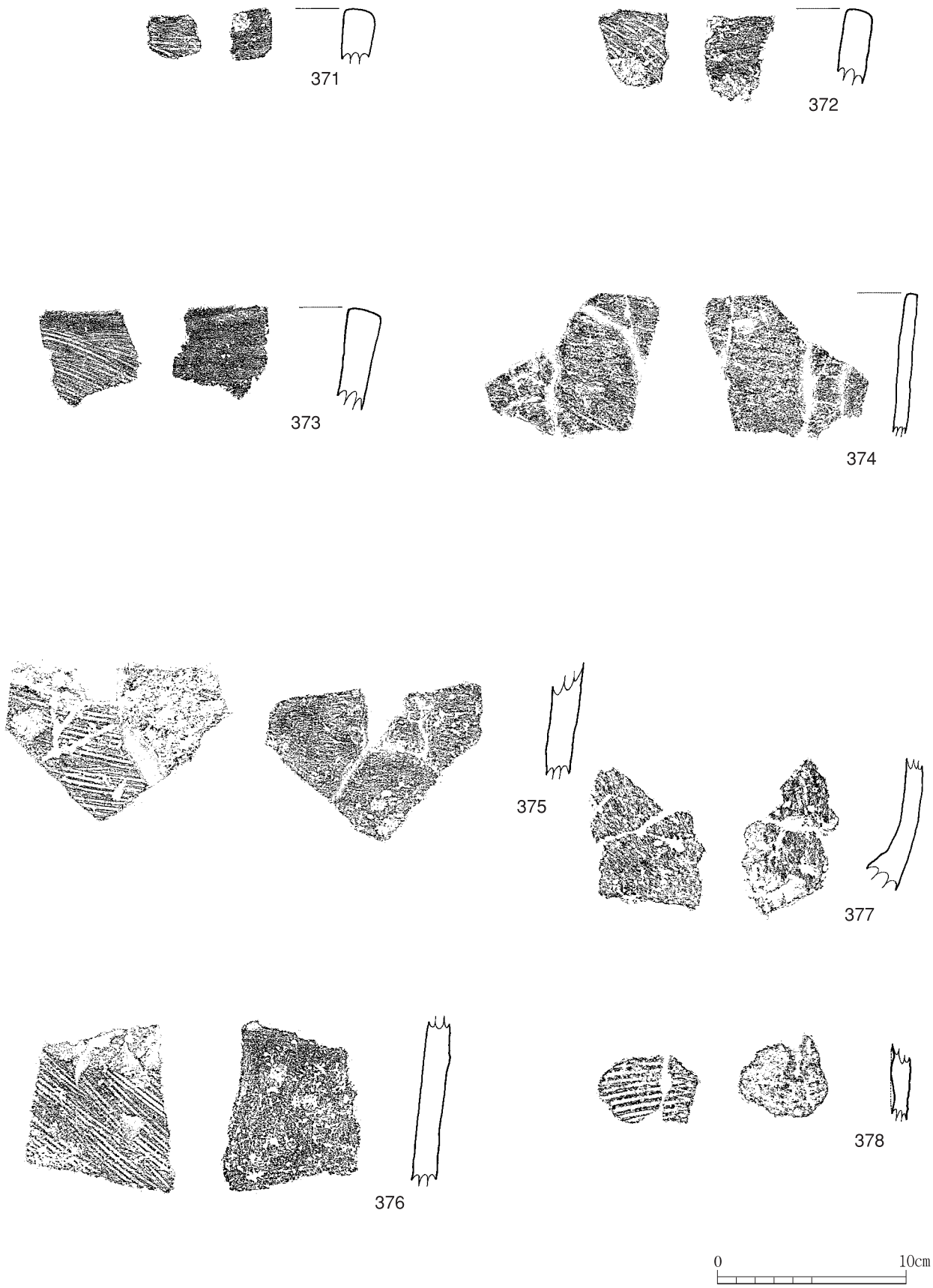
掲載した土器は８点、口縁部が残るもの４点（371～374）、主に胴部となるもの３点（375・376・378）、底部付近の胴部となるもの１点（377）である。器形や調整方法による分類は困難であるため、掲載した８点について、第29表にてそれぞれの土器毎に解説を加えることにする。



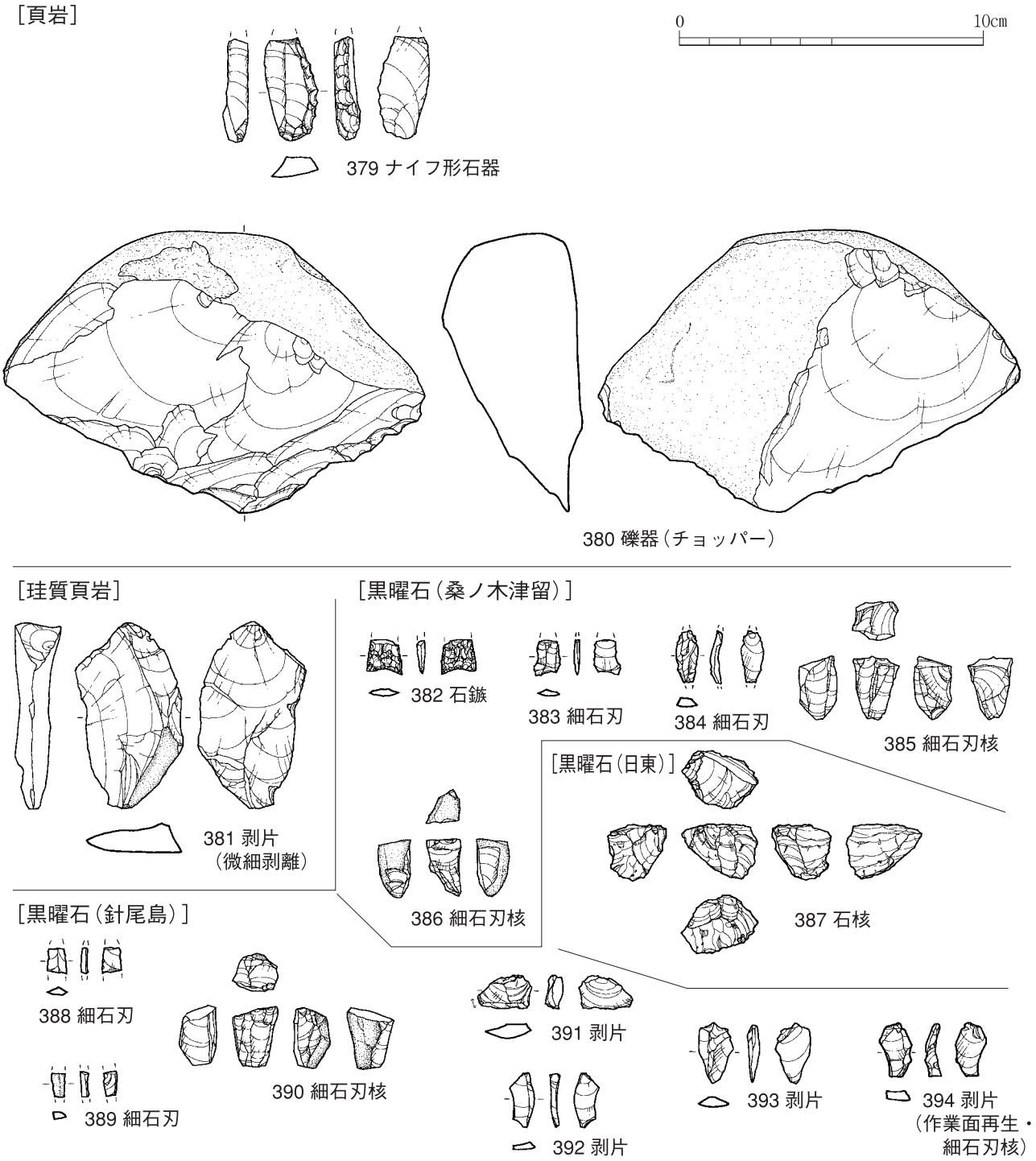
第152図　縄文時代早期　縄文時代早期　土器分布図（S＝1/667）

レイアウト番号	種別	器種	部位	注記番号	法量(cm) 口径	法量(cm) 底径	法量(cm) 器高	手法・調整・文様ほか 外面	手法・調整・文様ほか 内面	色調 外面	色調 内面	焼成	胎土の特徴	遺物の状況	備考
371	縄文	深鉢	口縁部	B－1173	—	—	—	横・斜め方向の貝殻腹縁条痕文	ミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	良好	1.5㎜以下の灰褐色砂粒を含む、0.5㎜以下の灰白色砂粒を含む、微細に輝く光沢粒を含む	口縁部を良好に残す土器片。横・斜位方向からの貝殻腹縁条痕文を施す。口唇部、内面はミガキを認める。倉園B式並行期の土器にあたると考えられる。	
372	縄文	深鉢	口縁部	A－126	—	—	—	斜め方向の貝殻腹縁条痕文	ミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	良好	1.5㎜以下の灰褐色砂粒を含む、0.5㎜以下の灰白色砂粒を含む、微細に輝く光沢粒を含む	371の深鉢口縁部の土器と、形状、文様、色調、胎土の特徴、厚み等に同一性が見られる。同一個体の可能性が極めて高い。371同様、倉園B式並行期にあたると考えられる。	
373	縄文	深鉢	口縁部	B－1238	—	—	—	横・斜め方向の貝殻腹縁条痕文	ミガキ	黒褐	黄橙	良好	1.0㎜以下の白色砂粒を多く含む、1.0㎜以下の黒色光沢粒を多く含む	口唇部を良好に残す土器片。横・斜位方向からの貝殻腹縁条痕文を施す。口唇部、内面はミガキを認める。外面にススが付着している。倉園B式並行期にあたると考えられる。	ス付着
374	縄文	深鉢	口縁部	A－94	—	—	—	横・斜め方向の貝殻腹縁条痕文風化気味	斜め方向のナデ風化気味	黒褐	にぶい黄橙	もろい	1.0㎜以下の灰褐色硬質砂粒を多く含む、白色微細粒を多く含む	風化気味であるが、横・斜位方向からの貝殻腹縁条痕文を施していることを認める。器壁が薄いことが特徴。焼成はもろい。	ス付着
375	縄文	深鉢	胴部	B－1134他	—	—	—	横方向の貝殻腹縁条痕文風化を認める	ミガキ	黄灰	淡黄	良好	1.0㎜以下の黒・灰褐色ガラス質粒を多く含む、1.0㎜以下の黒・茶褐色砂粒を多く含む	風化気味であるが、横方向からの貝殻腹縁条痕文を施していることを認める。内面はミガキを施す。前原西式の土器と考えられる。	ス付着
376	縄文	深鉢	胴部	A－111	—	—	—	斜め方向の貝殻腹縁条痕文	ミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	良好	2.5㎜以下の黒褐色の砂粒を多く含む、1.0㎜以下の黒輝粒を多く含む	部分的に風化している。斜位方向からの貝殻腹縁条痕文を施している。外面にススの付着を認める。内面はミガキを施す。前原西式の土器と考えられる。	ス付着
377	縄文	小形深鉢	胴部～底部付近	A－112	—	—	—	横・斜め方向の貝殻腹縁条痕文風化が激しい	横方向のナデ	淡黄	灰黄	良好	1.0㎜以下の軟質な茶褐色砂粒を多く含む、1.0㎜以下の黒色砂粒を多く含む、植物繊維を認める。	胴部から底部付近にかけての小形浅鉢である。風化が激しく明確な文様は読みとれないが、横・斜位方向からの貝殻腹縁条痕文を部分的に認める。	
378	縄文	深鉢	胴部	A－828	—	—	—	横方向の貝殻腹縁条痕文	粗い横方向のナデ	黄橙	にぶい橙	良好	ガラス質の微細な光沢粒を多く含む、軟質な赤褐色微細粒を多く含む	371から377の土器と色調が異なり、黄橙色系の色調となる。横方向の明確な貝殻腹縁条痕文を認める。内面の横方向のナデは粗い。	

第29表　縄文時代早期　土器観察表



第153図　縄文時代早期　土器実測図（S＝1/3）



第154図　縄文時代早期　石材別石器実測図１(S＝1/2)

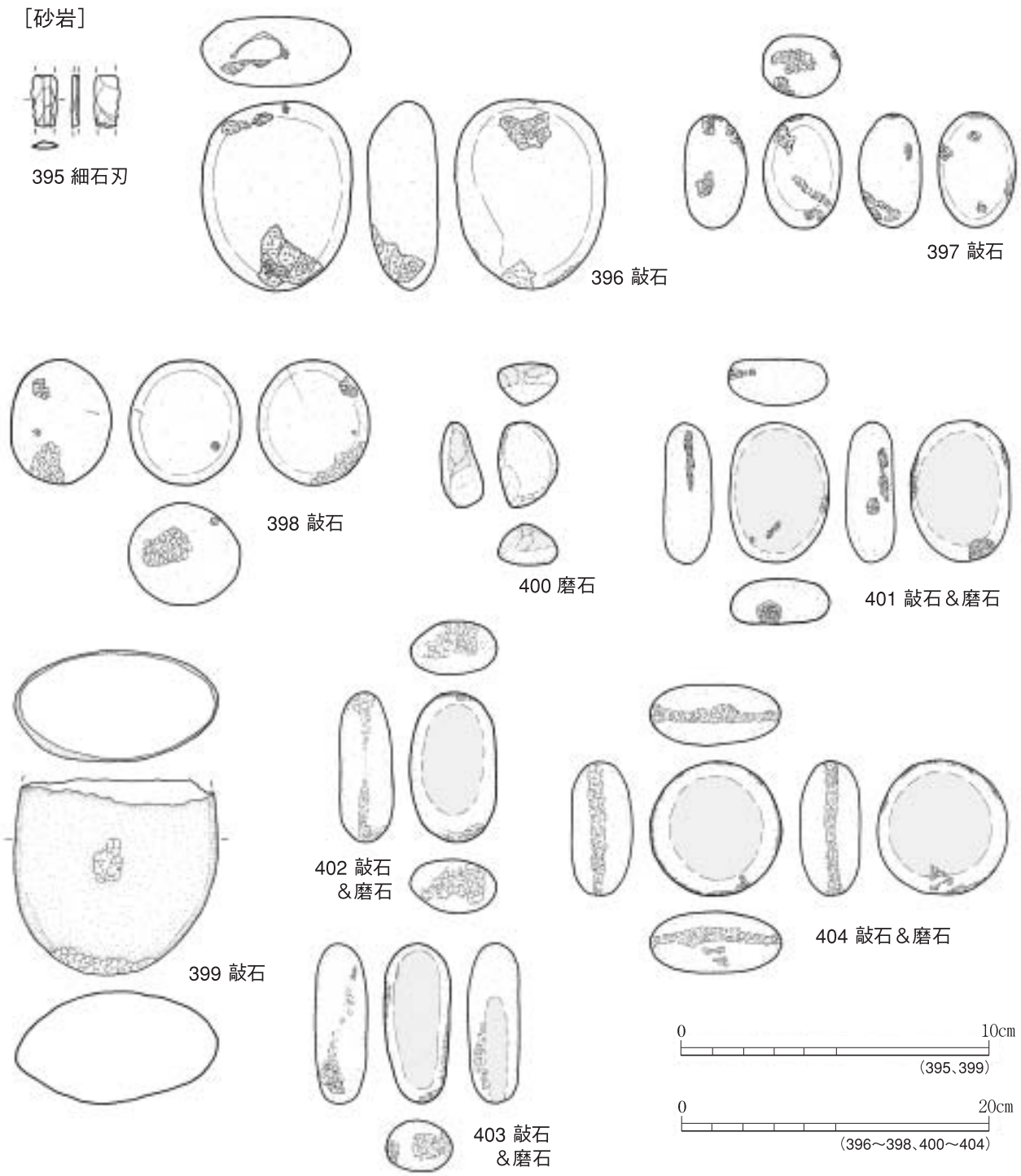
○　石器

遺物の器種及び石材組成は第28表に、遺跡全体における石器の分布状況は、第118図・第119図に掲載した。また石器の各石材毎に器種別の分布状況を第146図～第151図に示した。

前述（166頁）した旧石器時代に包含される石器のほか、石鏃５点、尖頭状石器２点、スクレイパー２点、礫器１点、石核２点、石斧２点、敲石・磨石11点、台石１点、剥片196点、チップ６点、計247点の石器の出土を確認した。そのうち、56点を掲載した。石器の分布状況や器種・石材の組成状況、接合状況は前項で具体的に述べた。

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【頁岩】（第154図　379・380）																	
379	1207	G3-3	—	Ⅳ上	ML1上	B－1207	ナイフ形石器	Ⅰ	—	-96417.250	44735.190	84.953	3.30	1.80	0.90	5.30	一側縁加工のナイフ形石器。右側縁部に腹面からの刃潰し加工を施している。先端部は欠損している。刃部に微細な剥離を認める。
380	2	F6-1	集中b	Ⅳ	ML1上	A－2	礫器(チョッパー)	—	—	-96441.310	44723.290	84.466	9.25	13.90	4.65	502.20	大形の片刃礫器(チョッパー)である。
【珪質頁岩】（第154図　381）																	
381	140	B5-4	集中a	Ⅲ上	MB0	A－140	剥片(微細剥離)	—	—	-96430.830	44689.310	85.486	6.10	3.50	1.50	20.40	左側縁部に微細な剥離痕を認める。
【黒曜石：桑ノ木津留】（第154図　382～386）																	
382	1172	D3-3	—	Ⅳ中	ML1上	B－1207	石鏃	Ⅲ	—	-96418.000	44708.650	84.870	1.15	1.15	0.25	0.30	先端は欠損。基部に浅い抉りを入れ脚部を作り出している。
383	168	D6-1	集中a	Ⅳ	ML1上	A－2	細石刃	—	—	-96442.440	44704.120	85.006	1.15	0.85	0.20	0.10	上部は欠損している。
384	204	D6-4	集中a	Ⅳ下	ML1上	A－140	細石刃	—	—	-96442.850	44707.030	84.127	1.80	0.75	0.30	0.10	上・下部ともに欠損している。
385	110	E7-2	石ブb	Ⅲ上	MB0	A－1172	細石刃核	—	—	-96457.700	44711.680	84.638	2.15	1.55	1.35	3.70	打面を転位させながら細石刃を作り出している。
386	132	E7-2	石ブb	Ⅳ下	ML1上	A－168	細石刃核	—	—	-96457.060	44710.210	84.600	1.95	1.15	1.10	2.10	打面を上下に転位させながら細石刃を作り出している。
【黒曜石：日東】（第154図　387）																	
387	130	E7-2	石ブb	Ⅳ上	ML1上	A－204	石核	—	—	-96456.190	44711.130	84.724	1.85	2.50	1.95	6.00	打面を各方向に変えながら剥片剥離を行っている。
【黒曜石：針尾島】（第154図　388～394）																	
388	137	E7-2	石ブb	Ⅳ下	ML1上	A－110	細石刃	—	—	-96456.290	44712.710	84.758	0.80	0.65	0.20	—	上・下部は欠損している。
389	234	E7-4	石ブb	Ⅳ上	ML1上	A－132	細石刃	—	—	-96453.210	44716.500	84.090	0.80	0.45	0.30	0.10	上・下部ともに欠損している
390	232	E7-4	石ブb	Ⅳ中	ML1上	A－130	細石刃核	—	—	-96453.710	44716.220	83.978	2.00	1.50	1.30	3.80	上面に調整痕を認める。
391	98	E7-2	石ブb	Ⅲ	MB0	A－137	剥片	—	—	-96458.520	44712.530	84.742	1.10	1.80	0.60	0.70	黒曜石(針尾島産系)の小剥片である。
392	235	E7-3	石ブb	Ⅳ上	ML1上	A－234	剥片	—	—	-96455.930	44715.820	83.936	1.80	0.80	0.30	0.40	黒曜石(針尾島産系)の小剥片である。
393	236	E7-3	石ブb	Ⅳ上	ML1上	A－232	剥片	—	—	-96455.710	44715.650	83.858	2.00	1.10	0.40	0.50	黒曜石(針尾島産系)の小剥片である。
394	230	E7-4	石ブb	Ⅳ	ML1上	A－98	剥片(作業面再生：細石刃核)	—	—	-96452.520	44716.780	84.032	1.75	1.00	0.55	0.50	細石刃核の作業面再生剥片である。
【砂岩】（第155図　395～404）																	
395	70	D5-2	集中a	Ⅳ中	ML1上	A－235	細石刃	—	—	-96435.600	44702.050	84.209	1.65	0.80	0.20	0.30	上部・下部ともに欠損している。
396	324	B5-3	集中a	Ⅳ	ML1上	A－236	敲石	—	—	-96437.110	44689.140	84.080	12.20	9.75	4.70	806.00	円形扁平礫を使用。正面上下部、裏面上部に敲打痕を残す。
397	1135	E4-4	—	Ⅳ上	ML1上	B－230	敲石	—	—	-96421.550	44716.790	84.815	7.40	5.10	4.10	209.00	楕円小礫を使用。正面、裏面、下面に敲打痕を残す。
398	1152	H4-1	—	Ⅲ	MB0	B－70	敲石	—	—	-96421.720	44742.020	84.885	8.10	7.30	6.60	501.00	円形礫を使用。下面、右側面に敲打痕を残す。
399	1206	G5-2	集中b	Ⅳ	ML1上	B－324	敲石	—	—	-96436.100	44732.460	84.870	6.40	6.60	3.60	2.80	正面中央と下面に敲打痕を残す。上部は欠損している。
400	180	F5-2	集中b	Ⅳ下	ML1上	A－1135	磨石	—	—	-96439.380	44724.700	84.434	5.55	3.95	2.75	64.00	部分的に不明瞭だが擦り痕を認める。
401	1231	G5-1	集中b	Ⅳ中	ML1上	B－1152	敲石＆磨石	—	—	-96430.200	44732.650	84.766	9.10	6.50	3.10	290.00	下面及び左右側面に浅い敲打痕、擦り痕を認める。
402	1170	H3-2	—	Ⅳ上	ML1上	B－1206	敲石＆磨石	—	—	-96416.300	44740.200	84.889	9.85	5.75	3.50	288.00	楕円小礫を使用。上下面に浅い敲打痕、正面に不明瞭だが擦り痕が残る。
403	1171	H3-2	—	Ⅳ上	ML1上	B－180	敲石＆磨石	—	—	-96416.600	44740.300	84.872	10.40	4.40	3.40	242.00	棒状小礫を使用。右側面に擦り痕を認める。
404	1249	H5-1	—	Ⅲ	MB0	B－1231	敲石＆磨石	—	—	-96432.660	44745.830	84.752	8.75	8.55	3.90	437.00	正面、裏面に明瞭な擦り痕、側面全周に敲打及び擦り痕を認める。
【チャート】（第156図　405～412）																	
405	129	D7-2	—	Ⅲ	MB0	A－1170	石鏃	ⅡC	—	-96455.930	44701.960	83.975	2.30	1.55	0.30	0.60	二等辺三角形の形を有し、基部にU字状の深い抉りを入れ脚部を作り出している。
406	139	B5-4	集中a	Ⅲ	MB0	A－1171	石鏃	Ⅲ	—	-96434.300	44687.470	85.284	1.75	1.65	0.30	0.10	先端及び右側脚部は欠損している。基部にU字の抉りを入れ脚部を作り出している痕跡が残る。
407	1180	E4-3	—	Ⅳ	ML1上	B－1249	石鏃	ⅡB	—	-96425.050	44717.800	84.660	1.80	1.85	0.25	0.40	基部に浅い抉りを入れ、脚部を呈する。右脚部先端は欠損している。やや風化気味である。
408	1217	H4-4	—	Ⅳ下	ML1上	B－129	石鏃	Ⅲ	—	-96429.600	44748.820	84.763	2.05	1.10	0.35	0.70	基部が欠損し、脚部の存在が明瞭ではない。二等辺三角形を呈する。
409	69	C5-4	集中a	Ⅳ上	ML1上	A－139	細石刃核	—	—	-96434.100	44695.480	84.416	1.80	1.10	1.95	4.60	正面及び裏面に細石刃を作り出した痕跡を残す。
410	128	C5-1	集中a	Ⅲ上	MB0	A－1180	細石刃核	—	—	-96434.020	44690.930	85.442	2.45	1.75	2.15	8.20	上面の打面部分に調整を入れ、細石刃を作り出している。
411	172	C5-3	集中a	Ⅳ	ML1上	A－1217	細石刃核	—	—	-96435.110	44695.500	84.266	2.15	1.10	1.45	3.80	上面の打面部分に調整を入れ、細石刃を作り出している。
412	7	D4-2	集中a	Ⅳ中	ML1上	A－69	角錐状石器	Ⅱ	—	-96429.300	44703.850	84.514	3.05	1.45	1.10	4.70	二面加工が施され、特に左側面の調整が顕著である。
【赤色チャート】（第156図　413～415）																	
413	203	B5-4	集中a	Ⅳ下	ML1上	A－128	細石刃核	—	—	-96433.310	44688.170	84.719	2.10	1.15	2.35	5.10	上面打面部には調整を入れ細石刃を作り出している。縁辺部稜は微細に潰れている箇所が多い。
414	171	G6-1	集中B	Ⅳ	ML1上	A－172	尖頭状石器	—	—	-96440.480	44730.690	84.397	2.75	2.10	0.60	2.30	両側縁部に背・腹両面からの対向調整を施す。左下部部分は欠損している。
415	1197	G5-3	集中b	Ⅳ	ML1上	B－7	尖頭状石器	—	—	-96435.410	44736.270	84.686	2.70	1.90	0.95	—	下部に対向調整を施す。正面右側面部を中心に細かい加工を行っている。
【ホルンフェルス】（第156図　416～418）																	
416	1162	E3-4	—	Ⅲ下	MB0	B－203	スクレイパー	—	—	-96410.800	44719.100	85.068	7.00	5.80	2.10	103.50	裏面に自然面を残すが、外周縁に部分的に調整を施している。
417	1136	F2-2	—	Ⅲ	MB0	B－171	石斧	—	—	-96408.950	44724.000	85.074	10.80	5.70	2.50	166.80	背腹両面に磨きがあり、砥石を石斧に加工したものである。左右両縁部に背腹両面から調整が施されている。
418	117	F6-1	集中b	Ⅳ上	ML1上	A－1197	石斧	—	—	-96440.400	44723.830	84.490	14.40	6.80	4.00	405.00	大形剥片を使用。片面加工で、正面に腹面からの剥離を施す。

第30表　縄文時代早期　石材別石器観察表１

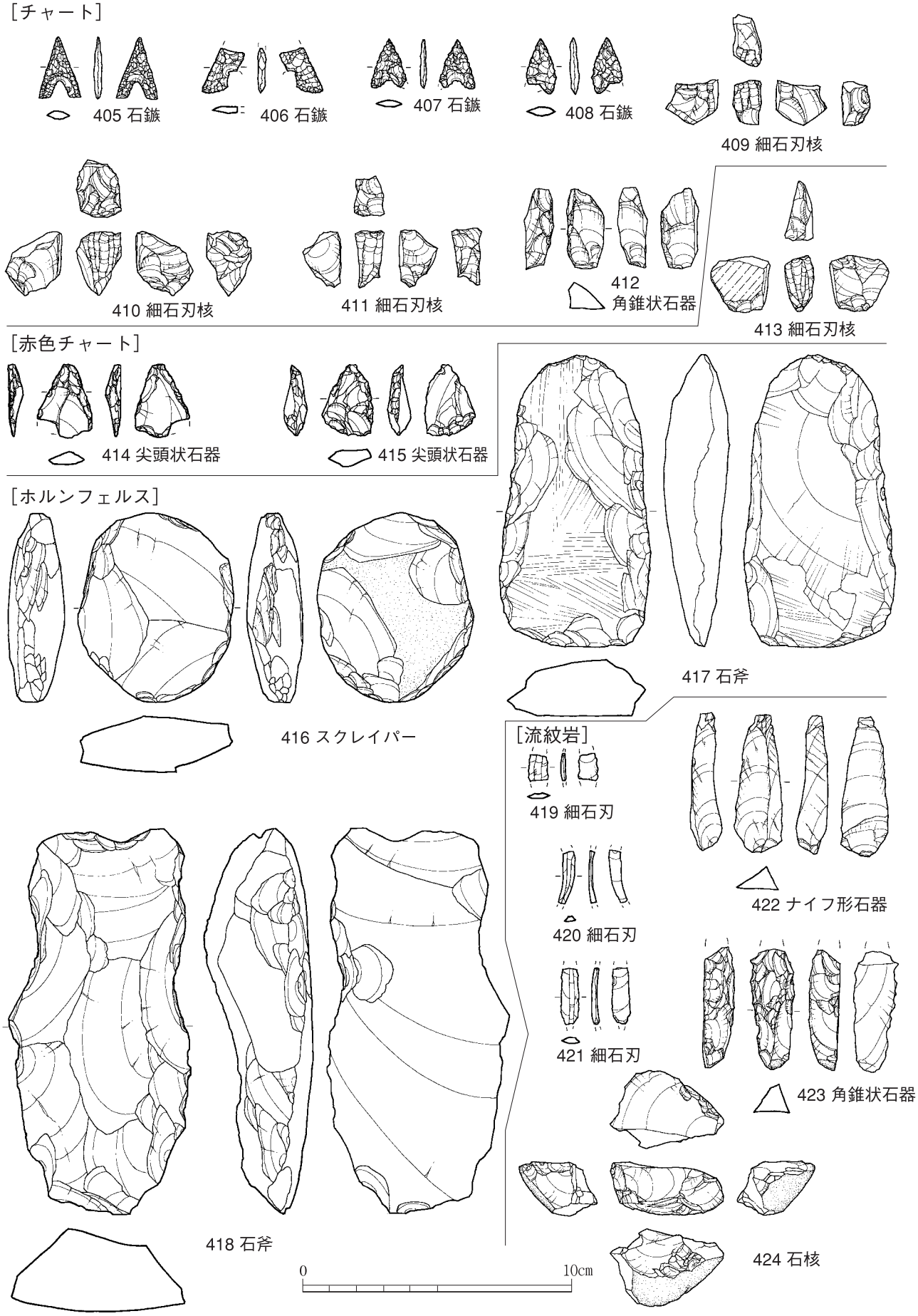


第155図　縄文時代早期　石材別石器実測図２（S＝1/2（395･399）　S＝1/4（396～398･400～404））

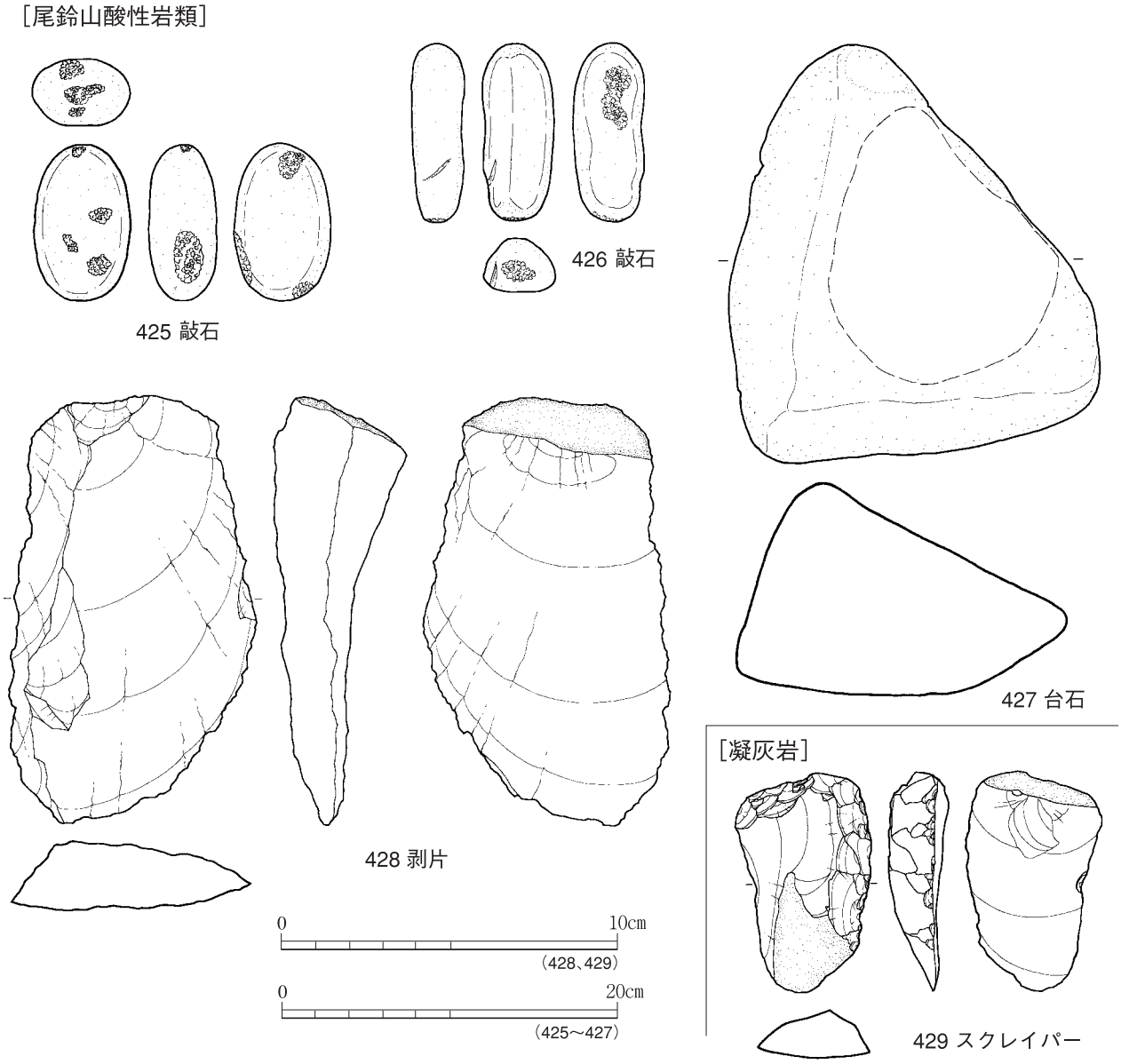
ここでは、掲載した56点の石器の状況、接合資料の状況を解説する。

掲載した石器（接合資料を除く）の石材別内訳は、頁岩製２点、珪質頁岩製１点、黒曜石製13点（桑ノ木津留産系５点、日東産系１点、針尾島産系７点）、砂岩製10点、赤色チャート製３点、チャート製８点、ホルンフェルス製３点、流紋岩製６点、尾鈴山酸性岩類製４点、凝灰岩製１点、計51点である。

以下、第30・31表において石材毎に石器の解説を加える。



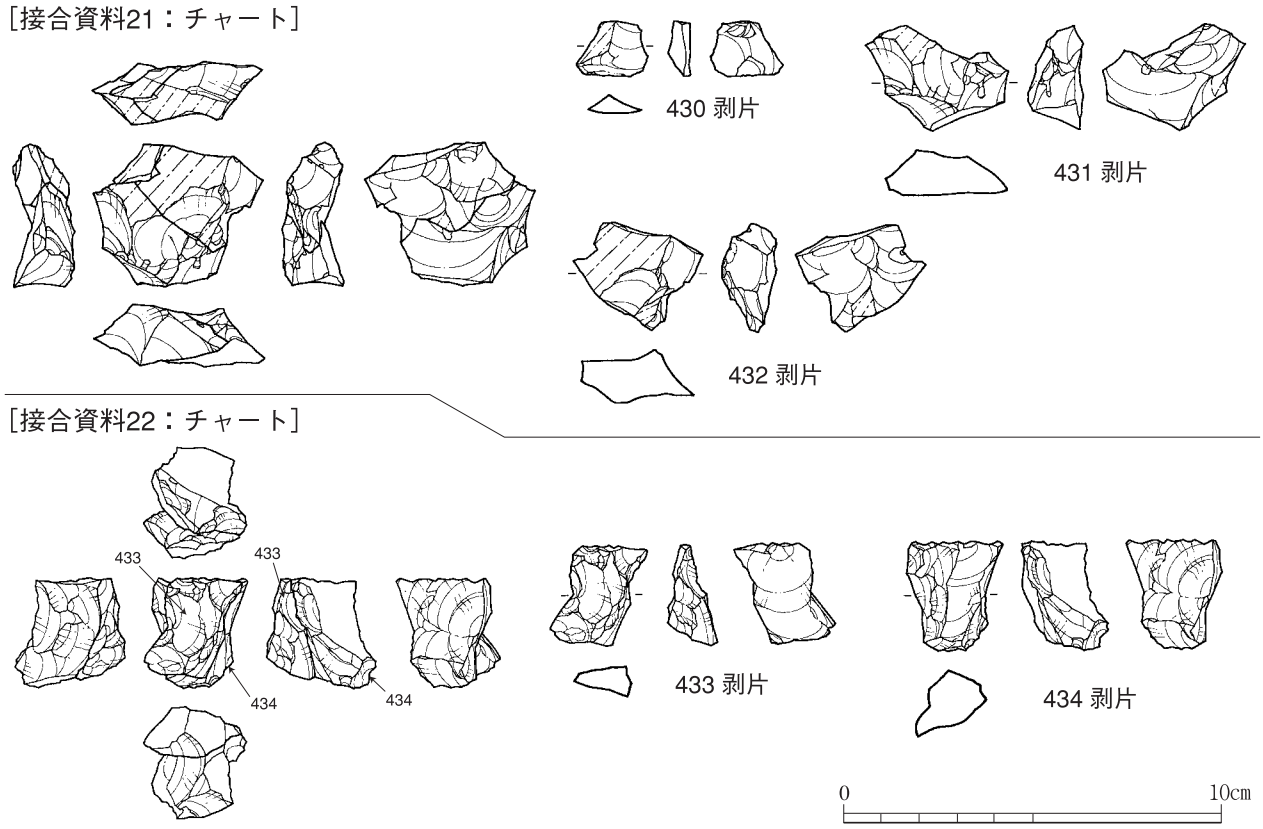
第156図　縄文時代早期　石材別石器実測図３（S＝1/2）



第157図　縄文時代早期　石材別石器実測図４（S＝1/2（428･429）　S＝1/4（425～427））

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1（遺跡層序）	出土層2（東九州層序）	注記番号	器　種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高（m）	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備　　考
【流紋岩】（第156図　419～424）																	
419	47	D7-3	―	Ⅳ上	ML1上	A ― 47	細石刃	―	―	-96457.710	44706.530	83.334	1.00	0.75	0.15	0.10	上部・下部ともに欠損している。
420	246	D6-3	石ブb	Ⅳ下	ML1上	A ― 246	細石刃	―	―	-96445.300	44706.100	83.882	1.95	0.65	0.25	0.10	上部・下部は欠損している。
421	1210	E3-2	集中a	Ⅳ	ML1上	B ― 1210	細石刃	―	―	-96416.780	44710.400	84.898	2.05	0.60	0.30	0.30	上部・下部ともに欠損している。
422	71	D5-2	集中a	Ⅲ下	MB0	A ― 71	ナイフ形石器	Ⅲ	―	-96436.120	44704.520	84.901	5.15	1.85	1.20	8.90	縦長剥片を素材とする。明確な基部加工を認めない。加工前の状態とも推察できる。左側縁部に微細な剥離を認める。先端は欠損している。
423	1229	G5-3	集中b	Ⅳ下	ML1上	B ― 1229	角錐状石器	Ⅱ	―	-96439.030	44737.150	84.510	4.40	1.80	1.20	9.90	二面加工による対向調整が施されている。先端部は欠損している。
424	1248	I4-1	―	Ⅳ	ML1上	B ― 1248	石核	―	―	-96424.050	44754.890	84.723	2.00	4.20	2.90	26.90	左右両側面からの打撃を加えて不定形の剥片を剥離している。裏面には自然面を残す。
【尾鈴山酸性岩類】（第157図　425～428）																	
425	123	F5-2	集中b	Ⅲ下	MB0	A ― 123	敲石	―	―	-96436.980	44720.760	84.564	9.30	5.80	4.10	316.00	礫表面はつるつるしている。右側面、裏下面に明確な敲打痕を残す。
426	1251	I3-2	―	Ⅳ	ML1上	B ― 1251	敲石	―	―	-96419.720	44751.800	84.797	10.50	4.30	3.20	200.00	棒状小礫を使用。下面、裏面にやや不明瞭だが敲打痕跡を認める。
427	1235	G5-1	集中b	Ⅳ下	ML1上	B ― 1235	台石	―	―	-96434.020	44730.600	84.651	24.75	22.15	12.70	8000.00	三角形を呈する巨礫。正面中央に浅い窪みを認める。
428	673	C7-3	―	Ⅳ	ML1上	A ― 673	剥片	―	―	-96457.200	44697.490	82.145	12.75	7.40	3.90	276.00	長さ12cmを超す大形の剥片。左右両側面稜には使用痕剥離を認める。
【凝灰岩】（第157図　429）																	
429	20	D7-3	石ブb	Ⅲ下	MB0	A ― 20	スクレイパー	―	―	-96455.120	44709.000	83.573	6.50	4.05	1.80	42.20	素材剥片右側面に腹部からの調整を加え、上面部にも調整を加えている。

第31表　縄文時代早期　石材別石器観察表２



第158図　縄文時代早期　接合資料石器実測図１（S＝1/2）

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器　種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備　考
[接合資料]																	
【接合資料21：チャート】（第158図　430～432）																	
430	6	D4-2	集中a	Ⅳ中	ML1上	A－　6	剥片	－	接21	-96427.420	44701.450	84.604	1.50	1.90	0.60	1.40	432から剥離された剥片である。
431	83	D4-1	集中a	Ⅳ上	ML1上	A－　83	剥片	－	接21	-96442.210	44701.300	84.763	2.30	3.80	1.45	11.00	背面下部に剥片剥離の痕跡が残る。430の剥片を剥離する際に432と分割されたものと考えられる。
432	430	C4-3	集中a	Ⅴb上	Kr-Kb	A－　430	剥片	－	接21	-96426.650	44698.350	84.400	2.80	3.45	1.45	9.60	背・腹面に剥片剥離の痕跡が残る。
【接合資料22：赤色チャート】（第158図　433・434）																	
433	211	B5-3	集中a	Ⅳ中	ML1上	A－　211	剥片	－	接22	-96435.850	44688.750	84.615	2.70	2.60	1.30	4.60	上面に打面を作り、434から剥離された剥片である。両縁部に微細な剥離痕を残す。背面にガラス質の光沢を認める。
434	609	B5-4	集中a	Ⅴa	ML1上	A－　609	剥片	－	接22	-96430.880	44689.920	84.249	2.90	2.50	2.30	11.70	背面の痕跡から複数枚の剥片を剥離後、左側からの打撃により剥離された。

第32表　縄文時代早期　石材別石器観察表３

○　接合資料

接合資料は17例、石器数にして45点を数える。内訳は、頁岩製が４例（石器数16点）、砂質頁岩製が２例（石器数５点）、赤色チャート製１例（石器数２点）、チャート製１例（石器数３点）、ホルンフェルス製９例（石器数19点）である。

接合資料17例は、すべて剥片同士の接合である。そのため、本書では石材に着目して、チャート製接合資料１例、赤色チャート１例を掲載した。

【接合資料21】（チャート製）[第158図]

チャート製剥片３点の接合資料である。遺物集中域aの北部C４・D４Gから出土している。

多方面に打面を再生し、剥片剥離を繰り返した痕跡を残す。430を剥離する際に、431と432が分割したと考えられる。

【接合資料22】（赤色チャート製）[第158図]

赤色チャート系の剥片２点の接合資料である。遺物集中域a内のC５G南側に認められた（頁岩・赤色チャートブロック）内での接合である。母岩から433→434の順で剥離したものである。

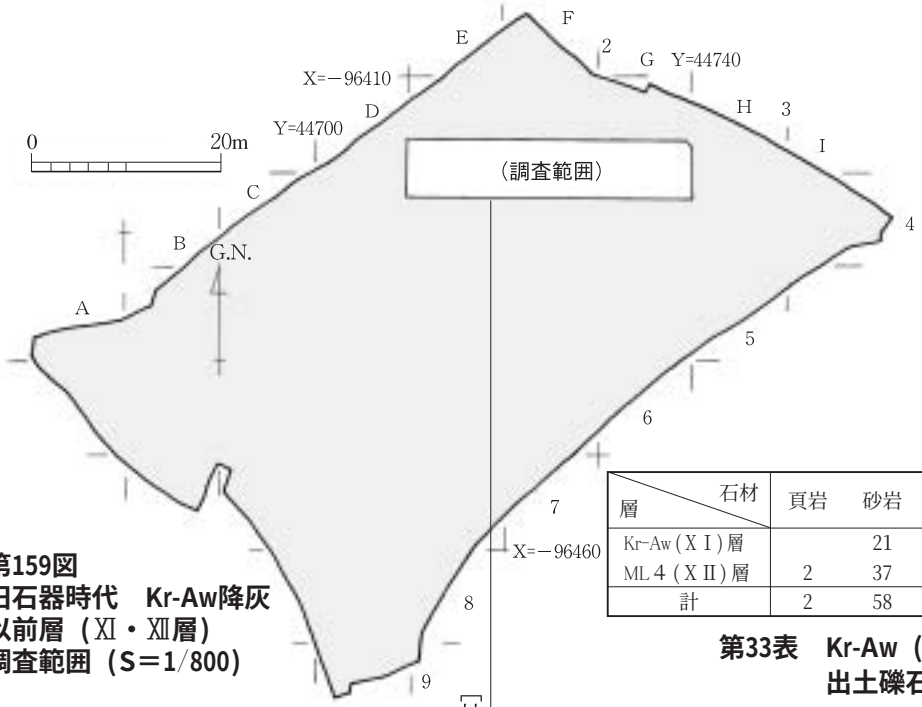
第６節　その他の調査と遺物

１　Kr-Aw降灰以前の調査

この時代の調査は、旧石器時代第Ⅰ文化層の調査終了後、Kr-Aw降灰以前の文化層の有無を確認する目的で調査期間まで調査を進めた。

Ｂ区のＥ５ＧからＨ５Ｇを直線で結び、その直線から南北に３ｍの範囲、約180㎡をKr-Iw上面（Ⅺ・Ⅻ層）まで掘り下げた。

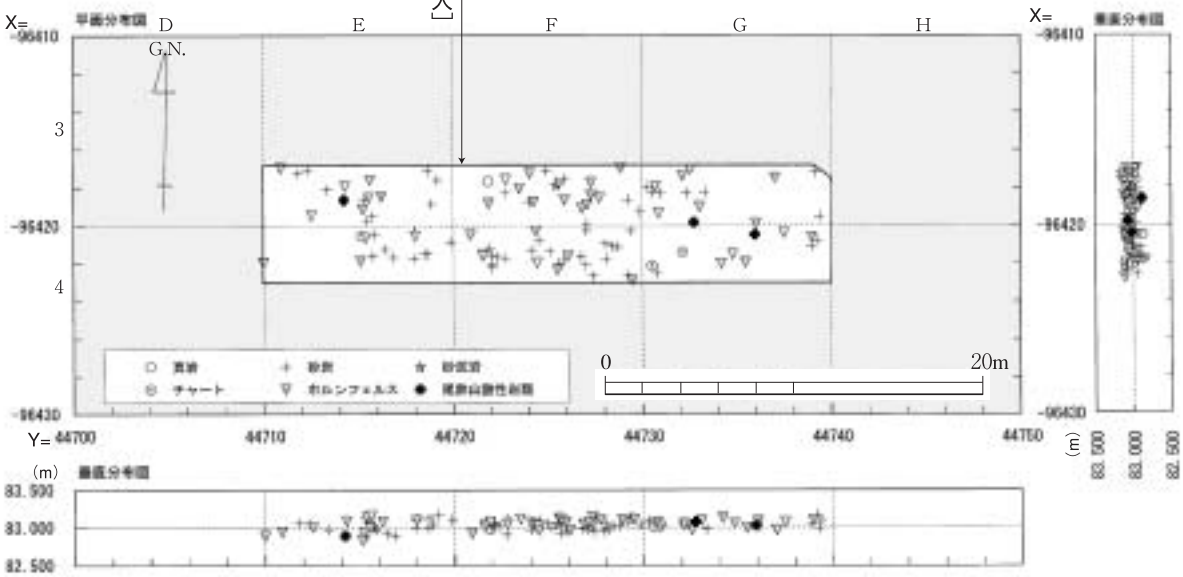
その結果として石材毎の分布を第160図に示す。石材毎の点数は第33表に示したとおりである。出土した110点の礫には人為的な加工や使用痕等は認められず、全て礫と認定し調査を終了した。



第159図
旧石器時代　Kr-Aw降灰以前層（Ⅺ・Ⅻ層）
調査範囲（S＝1/800）

層＼石材	頁岩	砂岩	砂泥岩	チャート	ホルンフェルス	尾鈴山酸性岩類	計
Kr-Aw（ⅩⅠ）層		21		1	21	1	44
ML４（ⅩⅡ）層	2	37	1	1	23	2	66
計	2	58	1	2	44	3	110

第33表　Kr-Aw（Ⅺ）層・ＭＬ４（Ⅻ）層出土礫石材別組成表



第160図　旧石器時代　Kr-Aw降灰以前（Ⅺ・Ⅻ）層出土礫分布図(S＝1/400)

2　その他の遺物

以下の２点の石器は、調査上の不備で排土の中から出てきたもの、調査開始時の表土剥ぎの段階で見つかった石器である。明確な層位、出土位置等が不明あること、また表土からの出土であることからその他の遺物として取り上げる。

【楔形石器】（黒曜石製）[第161図435]

この楔形石器は旧石器時代第Ⅰ文化層調査時に、排土置き場で作業員が見つけたものである。

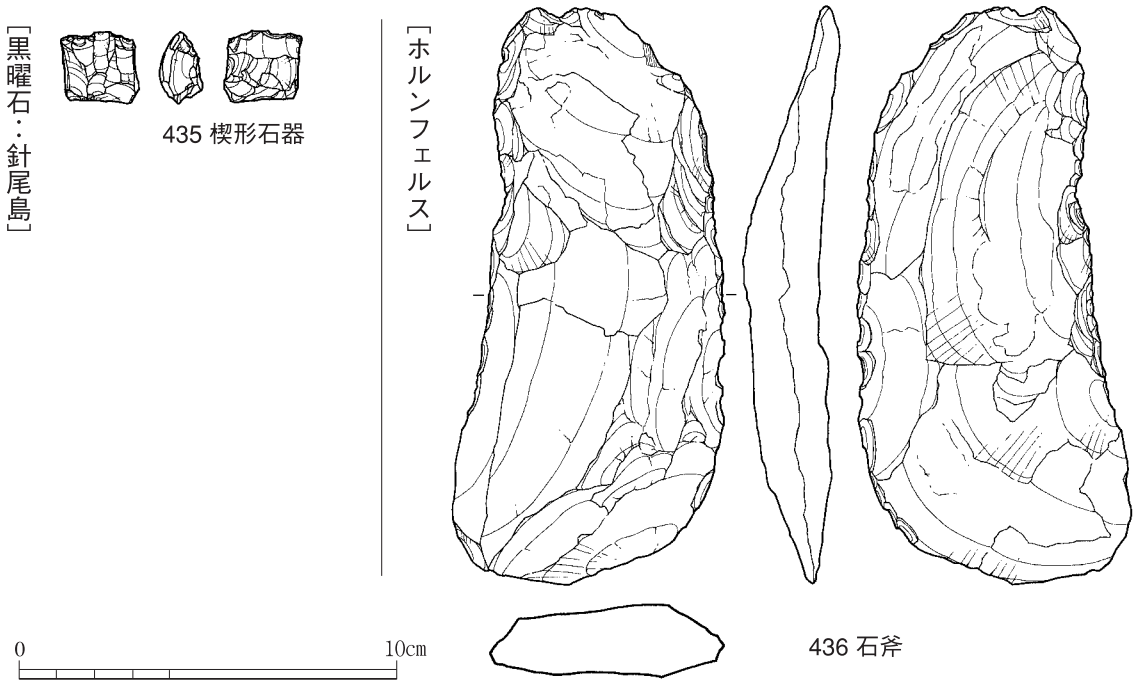
調査上の不備で、出土位置、文化層、時代等は明確には特定できない。

【石斧】（ホルンフェルス製）[第161図436]

436の石斧は、表土剥ぎの段階で表土から出土したため、この節で取り上げた。

レイアウトNo.	遺物No.	出土Gr.	出土箇所	出土層1(遺跡層序)	出土層2(東九州層序)	注記番号	器種	類型	接合No.	国土座標X座標	国土座標Y座標	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
【黒曜石：針尾島】（第161図　435）																	
435	958	B6-4	－	－	－	A－ 958	楔形石器	－	－	－	－	－	1.90	2.00	1.15	4.70	上下両縁部に調整痕を残す。特に正面に複数の剥離痕を残す。
【ホルンフェルス】（第161図　436）																	
436	270	D8-1	－	表土	－	A－ 270	石斧	－	－	－	－	－	14.30	7.20	2.50	236.50	風化が激しい。上縁・左右両側縁部に正・裏面からの調整を施す。

第34表　その他の石器　石材別石器観察表１



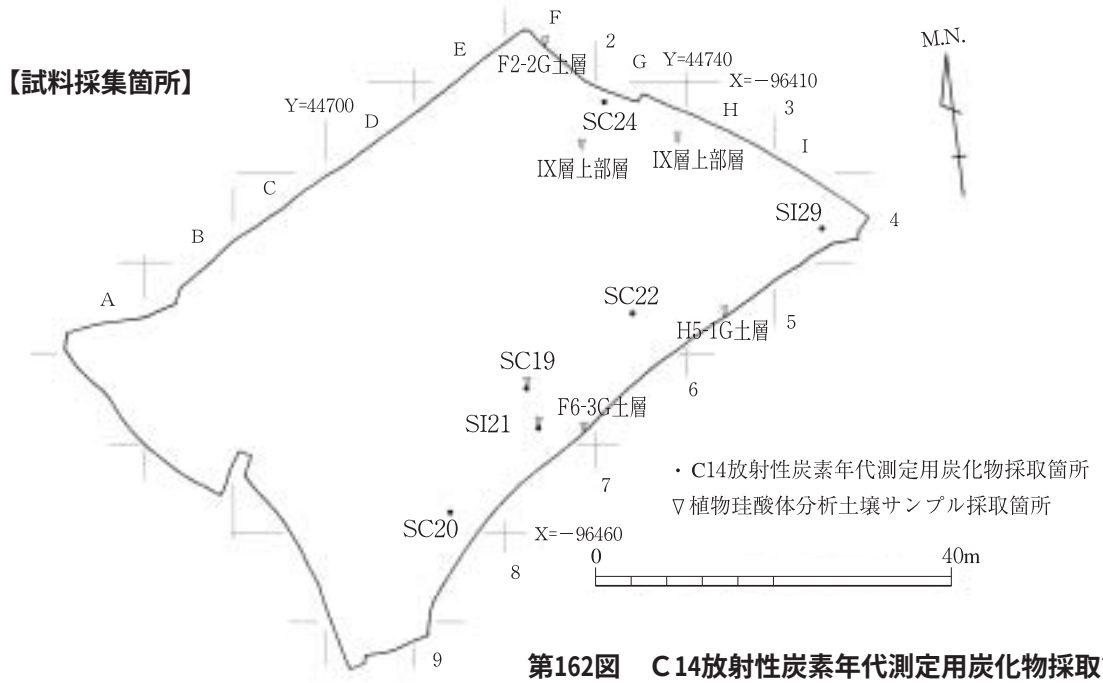
第161図　その他の石器　石材別石器実測図（S＝1/2）

第Ⅴ章　自然科学分析

本遺跡では、C14放射性炭素年代測定及び植物珪酸体分析の２種についての自然科学分析を実施した。分析の実際は、「㈱古環境研究所」に委託する形で行った。

C14放射性炭素年代測定は、土坑、集石遺構等の製作年代の絞り込みを行うため、植物珪酸体分析は各層、各時代及び遺構等が存在した当時の古環境を復原する目的を持って実施した。

具体的な分析結果、考察等については、第Ⅱ・Ⅲ章の本文中に記載した。ここでは、関連する自然科学分析資料のみ提示する。本文中の内容とあわせて参考にされたい。



第162図　C14放射性炭素年代測定用炭化物採取箇所及び植物珪酸体分析土壌サンプル採取箇所（S＝1/800）

1　第１回　自然科学分析（A区）

【C14放射性炭素年代測定】

(1)　試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
№1	E7-2,SC-20	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄、石墨調整	加速器質量分析（AMS）法
№2	F6-2,SI-21	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄、石墨調整	加速器質量分析（AMS）法

(2)　測定結果

試料名	14C年代 (年BP)	δ13C(‰)	補正14C年代 (年BP)	暦年代(西暦)	測定№ (Beta-)
№1	7030±50	-27.9	6980±50	交点：cal BC 5840	164932
				1σ：cal BC 5890～5790	
				2σ：cal BC 5980～5740	
№2	8860±50	-27.5	8820±50	交点：cal BC 7950	164933
				1σ：cal BC 8160～8130、7980～7800	
				2σ：cal BC 8200～7740	

第35表　C14放射性炭素年代測定結果（A区）

【植物珪酸体分析】

(1) 分析結果

検出密度（単位：100個/g）

分類群	学名	地点・試料	F 6 − 3													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
イネ科	Gramineae (Grasses)															
キビ族型	Paniceae type						7		14	7	15	7	6			
ヨシ属	Phragmites (reed)									7						
ススキ属型	Miscanthus type		83	52	75	20		21		14	7	34	6			7
ウシクサ族A	Andropogoneae A type		103	104	61	34	43	107	55	81	44	103	52	7	30	58
ウシクサ族B	Andropogoneae B type		7		7			7								
シバ属	Zoisia		7	7	7											
Bタイプ	B type							7		7		7	12	14	8	
Cタイプ	C type															
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)															
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake		566	326	340	156	316	421	220	143	51	21	17			7
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa		731	620	734	183	417	628	400	204	59	48	29	7		22
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)		21	46	14	20	43	114	83	122	139	48	23	21		7
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa		28	59	48	41	58	93	117	177	183	103	233	241	45	58
未分類等	Others		214	215	360	95	165	407	255	244	117	83	47	21	8	22
その他のイネ科	Others															
表皮毛起源	Husk hair origin		7	7	7			29		7	15	14	12	14	8	14
棒状珪酸体	Rod-shaped		393	307	571	312	374	721	455	536	301	206	128	92	30	115
茎部起源	Stem origin												6			
未分類等	Others		718	718	693	441	553	743	620	625	470	447	373	354	121	302
樹木起源	Arboreal															
その他	Others				7		7	7								
植物珪酸体総数	Total		2877	2460	2922	1303	1984	3307	2218	2172	1402	1122	944	773	249	619

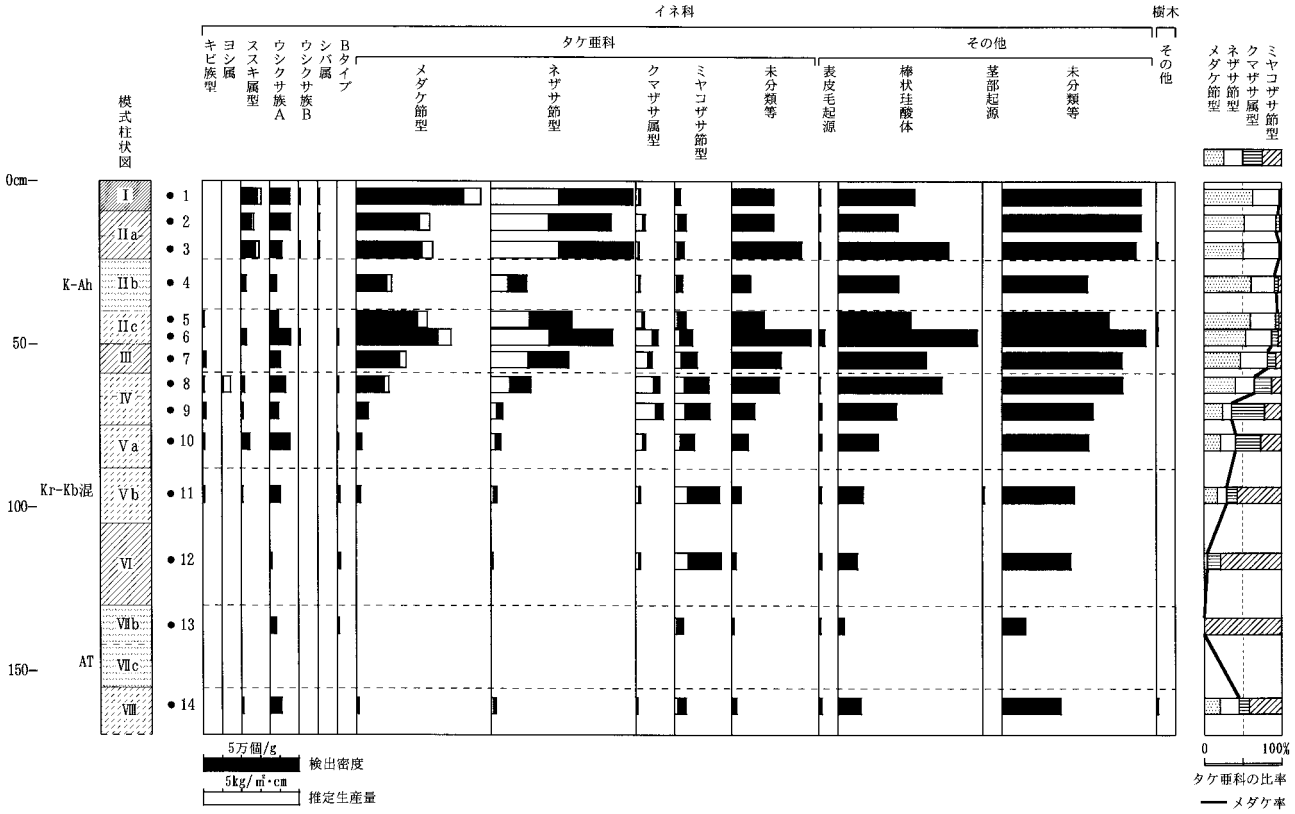
主な分類群の推定生産量（単位：kg/m²・cm）

ヨシ属	Phragmites (reed)									0.43					
ススキ属型	Miscanthus type	1.03	0.65	0.93	0.25		0.27		0.17	0.09	0.43	0.07			0.09
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	6.56	3.78	3.94	1.81	3.67	4.89	2.56	1.65	0.60	0.24	0.20			0.08
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	3.51	2.97	3.52	.0.88	2.00	3.02	1.92	0.98	0.28	0.23	0.14	0.03		0.10
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	0.16	0.34	0.10	0.15	0.32	0.86	0.62	0.92	1.05	0.36	0.17	0.16		0.05
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	0.08	0.18	0.14	0.12	0.17	0.28	0.35	0.53	0.55	0.31	0.70	0.72	0.14	0.17

タケ亜科の比率（%）

メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	64	52	51	61	60	54	47	41	24	21	17			20
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	34	41	46	30	32	33	35	24	11	20	11	4		25
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	2	5	1	5	5	9	11	22	42	32	14	17		13
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	1	2	2	4	3	3	6	13	22	27	57	79	100	42

第36表　F６－３G土層における植物珪酸体分析結果（A区）１



第163図　F６－３G土層における植物珪酸体分析結果（A区）２

検出密度（単位：100個/g）

分類群	学名	SI21 1	SI21 2	SI21 3	SC19 4	SC19 5	SC19 8	SC19 14
イネ科	Gramineae (Grasses)							
キビ族型	Paniceae type	7		7				
ヨシ属	Phragmites (reed)							
ススキ属型	Miscanthus type	21	14	7	7	7	7	
ウシクサ族A	Andropogoneae A type							
ウシクサ族B	Andropogoneae B type							
シバ属	Zoisia							
Bタイプ	B type	7	14	7	13	21	14	7
Cタイプ	C type							
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)							
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	135	134	100				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	142	191	86		14	7	13
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	128	92	86	7	21	27	39
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	185	148	179	115	427	412	235
未分類等	Others	207	177	108	7	28	48	26
その他のイネ科	Others							
表皮毛起源	Husk hair origin		7		7			20
棒状珪酸体	Rod-shaped	349	297	222	94	159	206	164
茎部起源	Stem origin							
未分類等	Others	620	452	466	277	455	406	366
樹木起源	Arboreal							
その他	Others	7			7			
植物珪酸体総数	Total	1887	1583	1313	573	1172	1175	890

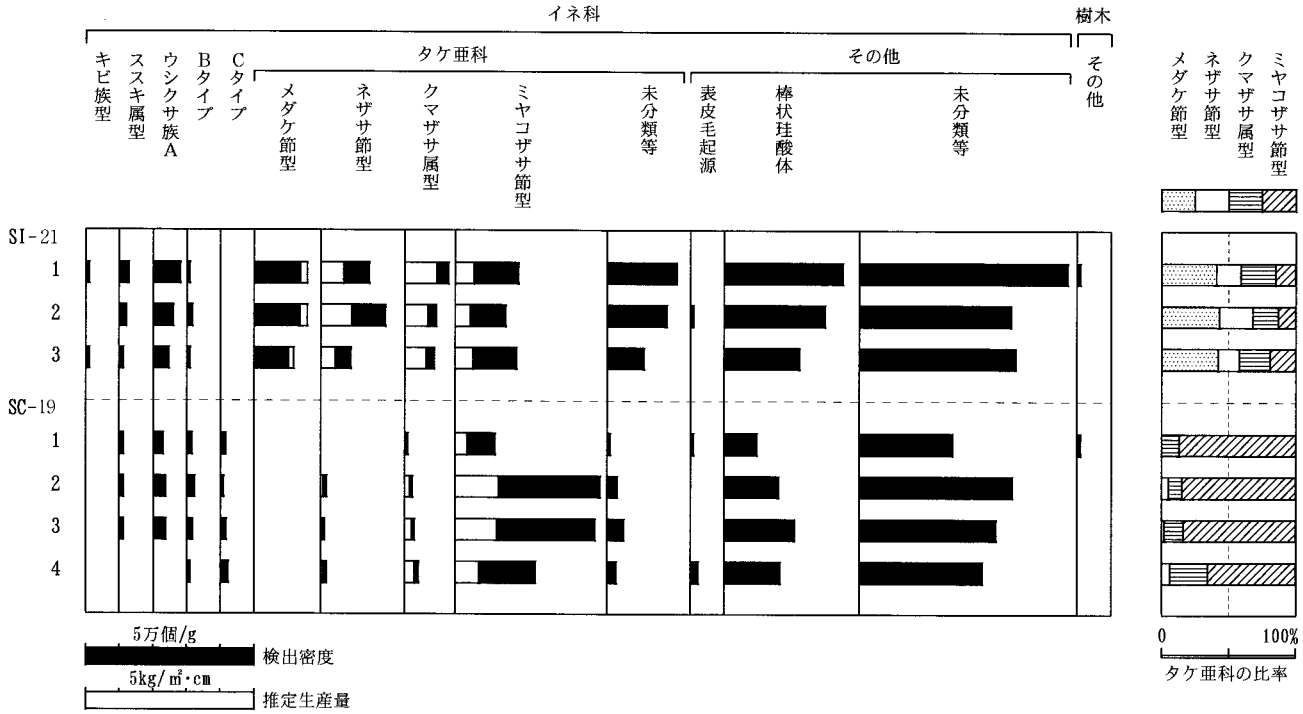
主な分類群の推定生産量（単位：kg/m²・cm）

ヨシ属	Phragmites (reed)							
ススキ属型	Miscanthus type	0.26	0.18	0.09	0.08	0.09	0.09	
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	1.57	1.56	1.16				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	0.68	0.92	0.41		0.07	0.03	0.06
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	0.96	0.69	0.65	0.05	0.16	0.21	0.29
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	0.56	0.45	0.54	0.34	1.28	1.24	0.71

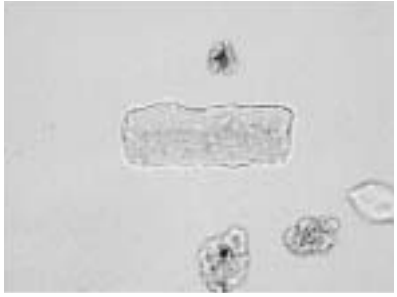
タケ亜科の比率（%）

メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	42	43	42				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	18	25	15		4	2	6
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	26	19	23	13	10	14	28
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	15	12	19	87	85	84	66

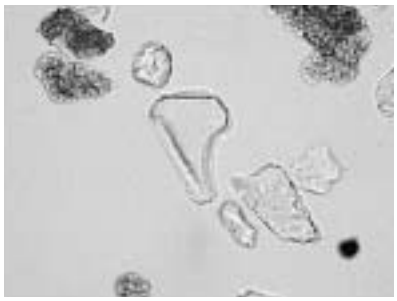
第37表　SC19・SI21における植物珪酸体分析結果（A区）1



第164図　SC19・SI21における植物珪酸体分析結果（A区）2



キビ族型
ＳⅠ-21　3

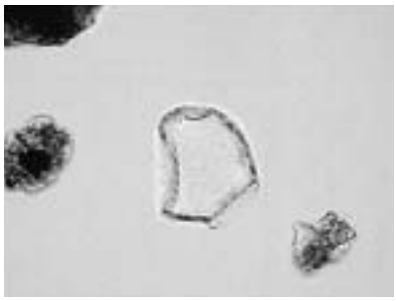


ススキ族型
Ｆ6-3　2

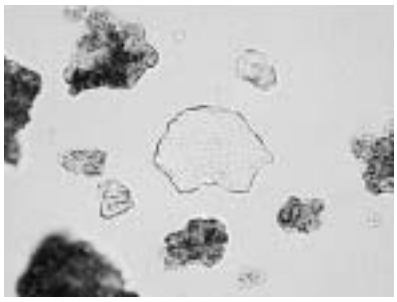
シバ属
Ｆ6-3　1

メダケ節型
Ｆ6-3　1

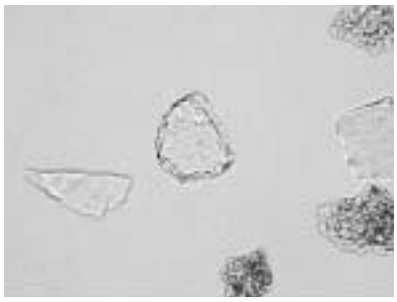
ネザサ節型
Ｆ6-3　5



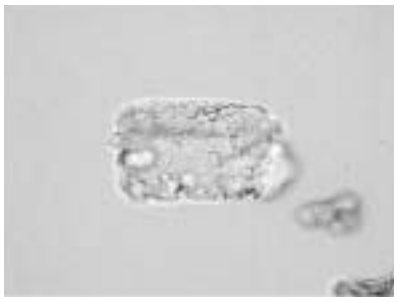
クマザサ属型
ＳⅠ-21　2



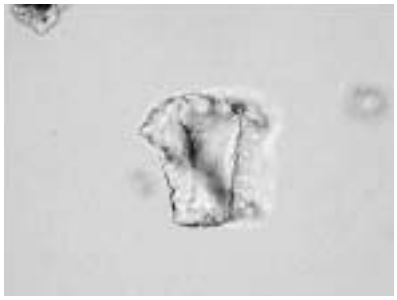
クマザサ属型
Ｆ6-3　11



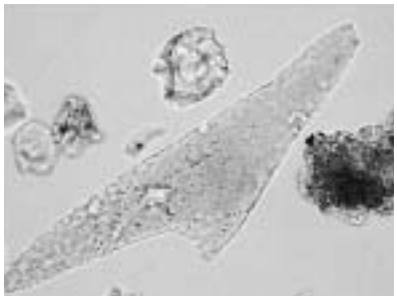
ミヤコザサ属型
Ｆ6-3　2



イネ科Ｂタイプ
ＳＣ-19　1



イネ科Ｃタイプ
ＳＣ-19　1



表皮毛起源
Ｆ6-3　6

棒状珪酸体
Ｆ6-3　4

50μm

【Ａ区における植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真】

2　第２回　自然科学分析（Ｂ区）

【C14放射性炭素年代測定】

(1)　試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整		測定法
№１	SI30 埋土	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄	石墨調整	加速器質量分析（AMS）法
№２	SC19 焼土土坑	炭化物※	酸-アルカリ-酸洗浄	石墨調整	加速器質量分析（AMS）法
№３	SC24 陥し穴	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄	石墨調整	加速器質量分析（AMS）法
№４	SC22 埋土	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄	石墨調整	加速器質量分析（AMS）法

※№２については炭素量不足のため周囲土壌を含めて測定した。

(2)　測定結果

試料名	^{14}C年代 (年BP)	δ^{13}C (‰)	補正^{14}C年代 (年BP)	暦年代(西暦)	測定№ (Beta-)
№１	8690±40	−25.3	8690±40	交点：cal BC 7650 １σ：cal BC 7750～7610 ２σ：cal BC 7800～7600	169705
№２	8070±50	−22.8	8110±50	交点：cal BC 7070 １σ：cal BC 7100～7060 ２σ：cal BC 7190～7040	169706
№３	11610±150	−26.8	11580±150	交点：cal BC 11540 １σ：cal BC 11890～11360、11290～11240 ２σ：cal BC 12090～11200	169707
№４	11780±80	−26.7	11750±80	交点：cal BC 11860 １σ：cal BC 12060～11960、11950～11530 ２σ：cal BC 12110～11500	169708

第38表　C14放射性炭素年代測定結果（Ｂ区）

【植物珪酸体分析】

(1)　分析結果

検出密度（単位：100個/g）

分類群	学名	地点・試料	H5-1G																					
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
イネ科	Gramineae (Grasses)																							
ヒエ科	Echinochloa type		7																					
キビ族型	Paniceae type				13	20	19	20	13	31	7		7		7	19	13	19		14				
ススキ属型	Miscanthus type		111	7	13	20	82	20							43	25	39	13	51	41	8	34		
ウシクサ族A	Andropogoneae A type		42	7	50	27	19	13	53	25	21	13	21	8	135	59	97	97	44	55	30	13		
ウシクサ族B	Andropogoneae B type																							
シバ属	Zoisia														7				13	34	8	13	30	
Bタイプ	B type										7	13	7		21	25	19	6	13	14				
Cタイプ	C type																	6	19	7	15			
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)																							
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake		98	113	221	272	126	40	13	25	21		7		14	6		6	6			7		
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa		829	373	460	313	94	67	20			7	7		35	19	26	13	6	14	23	7	37	
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)		28	7	69	61	132	263	53	81	7	20	35		7	19	6	6	6					
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa		21	49	57	68	76	135	146	69	142	231	297	23	128	44	71	71	13	48	30	34	22	
未分類等	Others		188	155	63	27	13	13	13	19	36	53	28	8	57	13	13	6	38	20	8	40	7	
その他のイネ科	Others																							
表皮毛起源	Husk hair origin				25	7	13		7	6	7	20	28		28	19	13	13	25	7	8		30	8
棒状珪酸体	Rod-shaped		495	169	214	177	126	202	153	112	85	178	124	8	305	358	226	245	133	170	15	47	60	8
未分類等	Others		648	500	592	524	478	560	478	417	320	449	414	38	518	458	458	477	361	389	120	216	135	60
(海綿骨針)	Sponge						6	7			7													
植物珪酸体総数	Total		2877	2460	2922	1303	1984	3307	2218	2172	1402	1122	944	773	249	619								

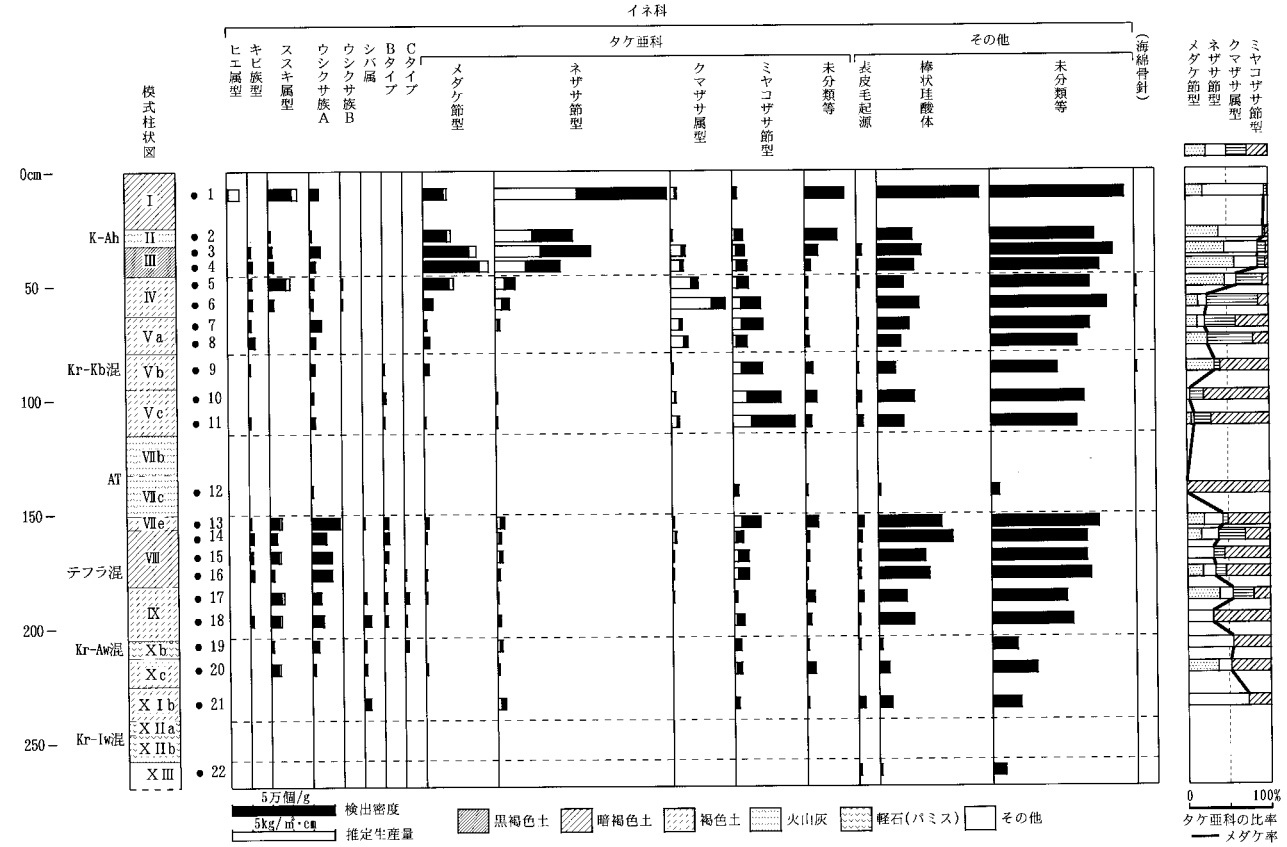
主な分類群の推定生産量（単位：kg/m²・cm）

ヒエ科	Echinochloa type	0.59																					
ススキ属型	Miscanthus type	1.38	0.09	0.16	0.25	1.01	0.25								0.53	0.31	0.48	0.16	0.63	0.51	0.09	0.42	
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	1.13	1.31	2.56	3.16	1.46	0.47	0.15	0.28	0.25		0.08			0.18	0.07		0.07	0.07			0.08	
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	3.98	1.79	2.21	1.50	0.45	0.32	0.10			0.03	0.03			0.17	0.09	0.12	0.06	0.03	0.07	0.11	0.03	0.18
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	0.21	0.05	0.52	0.45	0.99	1.97	0.40	0.61	0.05	0.15	0.26			0.05	0.14	0.05	0.05	0.05				
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	0.06	0.15	0.17	0.20	0.23	0.40	0.44	0.21	0.43	0.89	0.86	0.07	0.38	0.13	0.21	0.21	0.04	0.14	0.09	0.10	0.07	

タケ亜科の比率（%）

メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	21	40	47	59	47	15	14	26	34		6		21	17		19	39			37		
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	74	54	40	28	14	10	9			4	3		22	21	32	16	16	31	55	15	73	
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	4	2	10	9	32	62	37	55	7	17	21		7	32	13	12	25					
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	1	4	3	4	7	13	40	19	59	78	71	100	50	30	55	53	20	69	45	48	27	

第39表　H5-1G土層における植物珪酸体分析結果（Ｂ区）１



第165図　H５－１G土層における植物珪酸体分析結果（B区）２

検出密度（単位：100個/g）

分類群	学名	地点・試料	F2-2G													9層		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3
イネ科	Gramineae (Grasses)																	
ヒエ科	Echinochloa type																	
キビ族型	Paniceae type				19	21	13	7			7		7			14		12
ススキ属型	Miscanthus type		13		52	43	33	41	33	42	13	39	15	7	8	41	51	66
ウシクサ族A	Andropogoneae A type		6		65	78	65	75	79	105	74	66	15	20		55	39	24
ウシクサ族B	Andropogoneae B type																	
シバ属	Zoisia							7	13	21	7		22	13	8	7		6
Bタイプ	B type		6		19	28	13	7	13	14	7	20	7	7		7		12
Cタイプ	C type		6					20	7	21	20	13	7	7		14	6	12
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)																	
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake		6		6	7		7	7		20			20				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa		6		19	28	13	14	20	14	27	13	7	13	8	41	39	30
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)				6	7	7		7					7		14		
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa		147	45	19	92	59	61	26	49	61	59	7	20	15	61	26	30
未分類等	Others		26	8	32	21	33	34	33	56	47	46		60		34	26	30
その他のイネ科	Others																	
表皮毛起源	Husk hair origin				26	14	7	20	13	21	13	13		27		14	6	6
棒状珪酸体	Rod-shaped		58		208	213	117	253	165	280	141	164	30	119	8	41	148	103
未分類等	Others		308	38	396	483	358	526	496	441	418	426	90	411	38	327	335	314
(海綿骨針)	Sponge																	
植物珪酸体総数	Total		583	91	870	1037	717	1072	913	1065	856	859	210	730	83	668	676	646

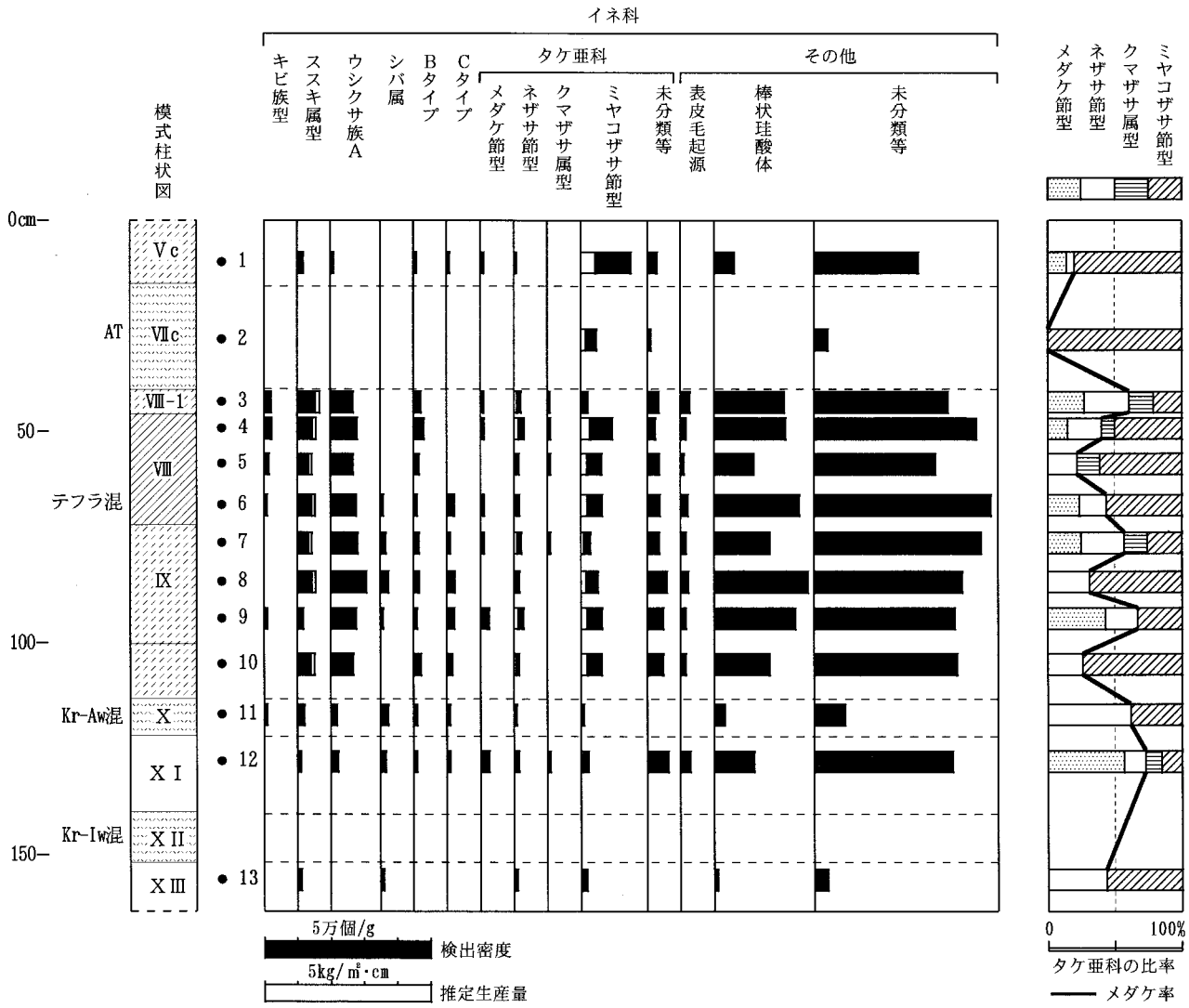
主な分類群の推定生産量（単位：kg/m²・cm）

ヒエ科	Echinochloa type																
ススキ属型	Miscanthus type	0.16		0.64	0.53	0.40	0.51	0.41	0.52	0.17	0.49	0.19	0.08	0.09	0.51	0.64	0.82
メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	0.07		0.08	0.08		0.08	0.08		0.23			0.23				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	0.03		0.09	0.14	0.06	0.07	0.10	0.07	0.13	0.06	0.04	0.06	0.04	0.20	0.19	0.14
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)			0.05	0.05	0.05		0.05					0.05		0.10		
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	0.44	0.14	0.06	0.28	0.18	0.18	0.08	0.15	0.18	0.18	0.02	0.06	0.05	0.18	0.08	0.09

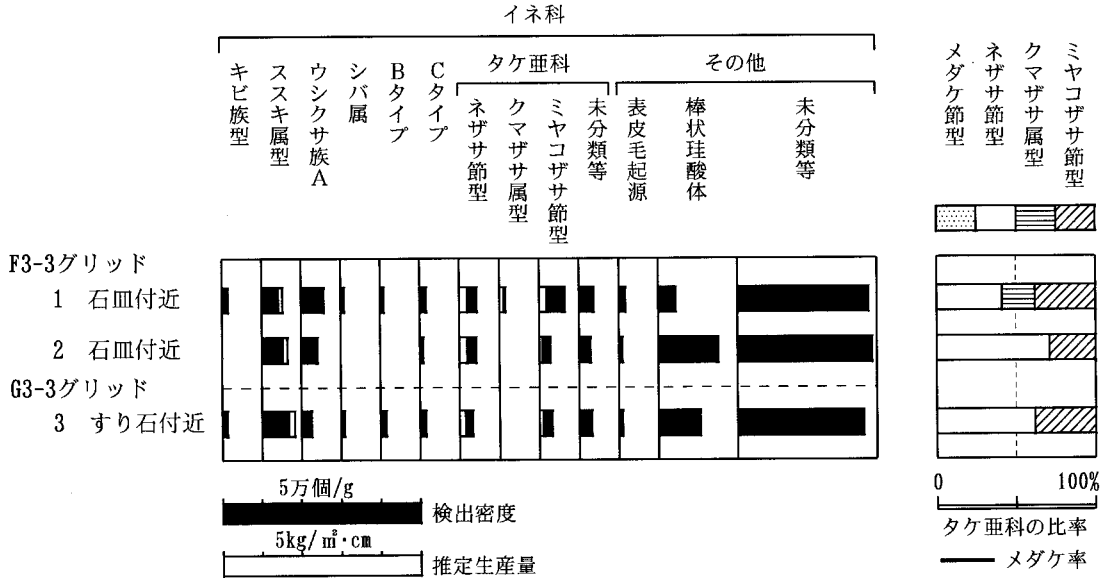
タケ亜科の比率（%）

メダケ節型	Pleioblastus sect.Medake	14		27	15		24	25		43			57				
ネザサ節型	Pleioblastus sect.Nezasa	6		34	25	22	20	32	31	24	26	62	16	44	41	71	62
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)			18	10	17		16					12		21		
ミヤコザサ節型	Sasa setc.Miyakozasa	81	100	21	50	61	56	26	69	33	74	38	15	56	38	29	38

第40表　F2-2G土層及びⅨ層における植物珪酸体分析結果（B区）



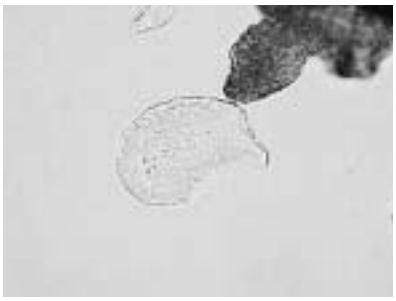
第166図　F２－２G土層における植物珪酸体分析結果（B区）



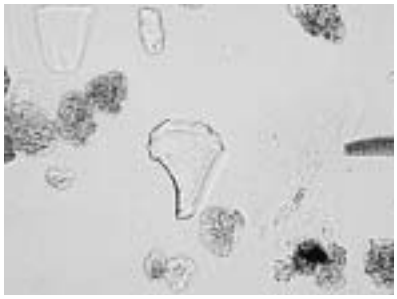
第167図　Ⅸ層における植物珪酸体分析結果（B区）

キビ族型
H5-1　3

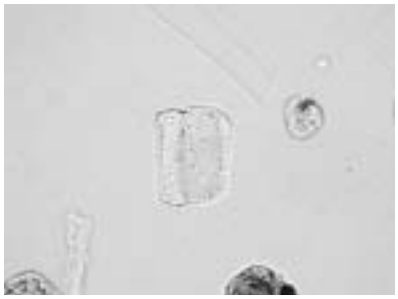
キビ族型
H5-1　13



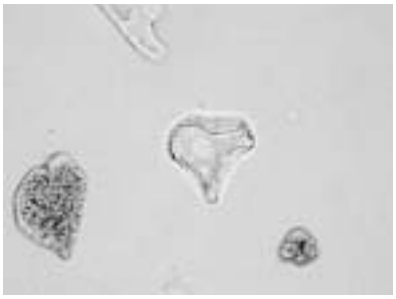
ヨシ属
H5-1　19



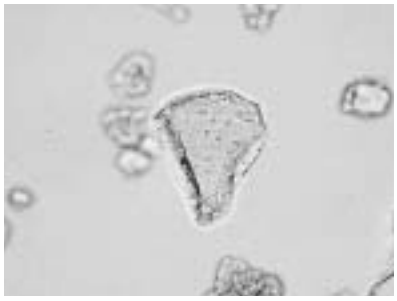
ススキ族型
H5-1　1



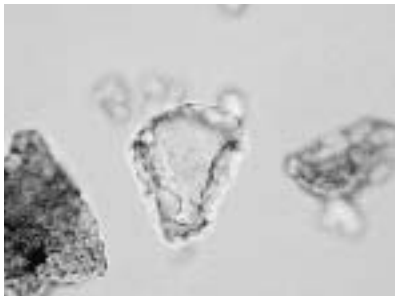
ウシクサ族A
H5-1　14



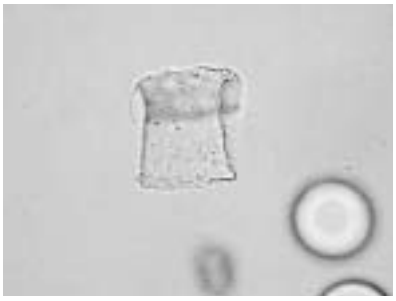
シバ属
H5-1　18



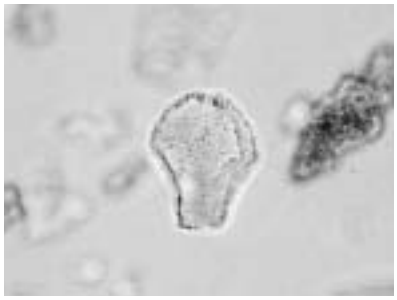
イネ科B
H5-1　14



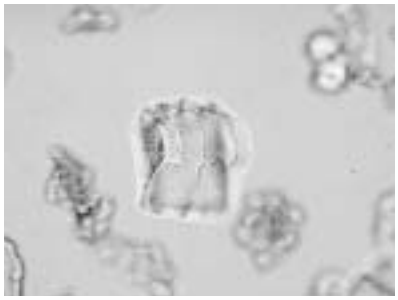
イネ科B
F2-2　1



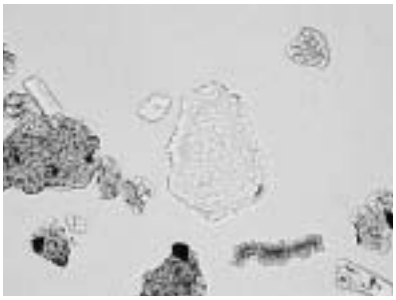
イネ科C
H5-1　18



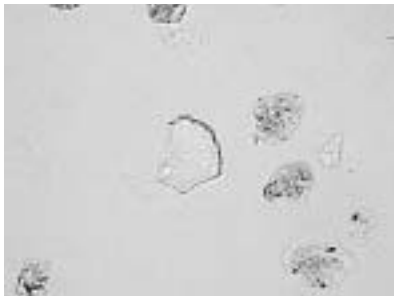
メダケ節型
H5-1　1



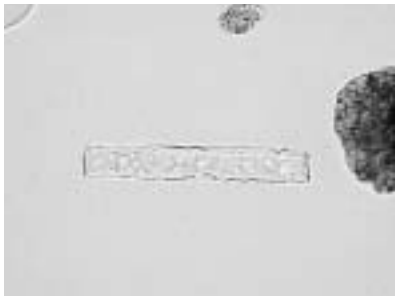
ネザサ節型
H5-1　1



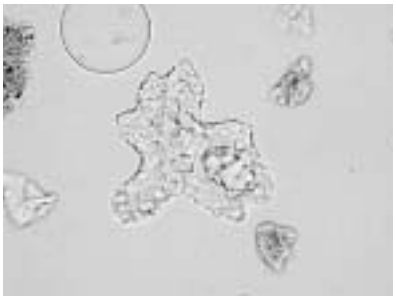
クマザサ属型
H5-1　6



ミヤコザサ節型
H5-1　13



棒状珪酸体
H5-1　18



はめ絵パズル状（ブナ科ブナ属？）
Ⅸ層　3

50μm

【B区における植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真】

第Ⅵ章　まとめ

唐木戸第３遺跡の調査では、旧石器時代及び縄文時代早期における各種の遺構・遺物が多数確認された。第Ⅳ章を中心に、各時代・各文化層毎について遺構及び遺物の状況を述べてきた。

旧石器時代については、４つの文化層を認め、断続的に生活が営まれていた様子を伺い知ることができた。特に県内において調査例の少なかった姶良Tn火山灰下位の文化層（第Ⅰ・Ⅱ文化層）を認め、ある程度の範囲で調査を行った意味は大きい。また、縄文時代早期においては、各種の土器・石器とともに集石遺構、土坑等の遺構を認めることができた。

本章では、今回の調査成果を時代毎に整理していくことでまとめとしたい。

１　旧石器時代

【第Ⅰ・Ⅱ文化層】

姶良Tn火山灰下位の文化層、つまり本遺跡の第Ⅰ・Ⅱ文化層では、砂岩を主とする敲石・磨石、尾鈴山酸性岩類の台石とともに頁岩及びホルンフェルス製を主とするの石核・剥片の出土を確認できた。調査面積が限られたものになってはいるが、剥片剥離技術をともなった生活の営みが認められる。

石器石材は眼下の宮田川を含め、在地において容易に獲得できたものと推察できる。礫群自体は確認できなかったものの、石器と同レベルで出土した礫の状況からみて、原石を持ち込んでの剥片剥離がみられる。ただ、石器製品の出土には至らず、現段階においては、当時の石器製作と石器使用との関連性は十分に言及できない。

【第Ⅲ文化層】

姶良Tn火山灰層とKr-kbブロックを含む層との間に位置する第Ⅲ文化層では、303点の石器、５基の礫群、遺物集中域４箇所、石器ブロック１箇所を確認するに至った。

石器について石材に注目すると、ホルンフェルス・頁岩を石材とするものがほとんどを占める。在地石材を使用した剥片剥離の様相がみてとれよう。ただし、流紋岩製のナイフ形石器２点、角錐状石器２点が認められた。本遺跡出土の流紋岩製石器は、他の石材に比して少ない。出土した流紋岩製の石器のうち、本遺跡の北部遠隔地に位置する五ヶ瀬川水系のものもある。また、流紋岩製の石核が１点出土したが、剥片の確認はできなかった。これらの点を総合して考えると、４点の製品は搬入品とも推察できる。なお１点ではあったが、チャート製の角錐状石器の出土も注目に値する。

器種に注目すると、本文化層では、本遺跡で出土したナイフ形石器・角錐状石器の約半数23点を認めたが、そのうちナイフ形石器２点、角錐状石器７点は横長剥片素材であり、Kr-kb層前後の宮崎平野部においてよくみられる横長剥片剥離技術との共通点を認める。

礫群５基はいずれも礫の密度は低いものの、ほとんどが赤化した礫の集合体である。石材は、尾鈴山酸性岩類、ホルンフェルスを主体とするもので、在地石材である。本遺跡は深年Ⅱ段丘面を眼下に望む丘陵部であり、生活環境が整い、遺物集中域・石器ブロックの存在と相まって、一定期間の居留があったのであろう。頁岩製の剥片集中箇所１（石器ブロックⅣ）、ホルンフェルス製の剥片集中箇所２（遺物集中域①・石器ブロック②）、ホルンフェルス製のチップ集中箇所２（石器ブロック①・Ⅲ）の存在もあり、石器製作の場であったことが伺える。

【第Ⅳ文化層】

Kr-kbブロックを含む層を主体とした第Ⅳ文化層は、石器707点を数える。また、礫群２基、遺物集中域４箇所、石器ブロック１箇所を確認できた。

石器については黒曜石製の石器100点（第41表）、流紋岩製の石器13点が出土した。遠隔地石材の流入が認められる。

黒曜石については、100点のうち50点が長崎針尾島産、36点が県西部の桑ノ木津留産である。加えて日東産、上牛鼻産、姫島産のほか、１点ではあったが熊本阿蘇の象ヶ鼻産の黒曜石（阿蘇象ヶ鼻産ガラ

器種＼産地	桑ノ木津留産系	日東産系	針尾島産系	上牛鼻産系	姫島産系	象ヶ鼻産系	その他(不明)	計
石鏃					1			1
細石刃	4		7				1	12
細石刃核	4		1					5
スクレイパー	1	1	1					3
石核	1	1						2
マイクロブランク	2		1					3
剥片	20	3	33	2	1	1	3	63
チップ	4		7					11
計	36	5	50	2	2	1	4	100

第41表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　黒曜石製石器組成表（産地・器種別数量）

ス質溶結凝灰岩）剥片が出土し、本文化層において何らかの石材流入・利用があったようである。これら黒曜石は、主として細石刃製作を目的とする（細石刃12点、細石刃核５点、剥片・チップ74点）ものであったと推察できる。

頁岩及びホルンフェルス製の剥片の出土も多く、あわせて418点を数えた。そのうち、約３割弱は長径７㎝を超す大形剥片である。接合資料の状況のみからは十分に判断できないが、本文化層から出土したスクレイパー、礫器も大形石器の部類に属し、使用した石材自体が大形石材であったことがうかがえ、石材利用上注目される。

検出された２基の礫群は、掘込みの有無、使用礫の大小に差がある。石材構成には大きな差はないものの、２基の礫群の存在には第Ⅳ文化層内での時期差があったのではないかと推察できる。

南西部の平坦面から斜面部にかけて３つの遺物集中域が、北東部平坦面では遺物集中域・石器ブロック各１箇所ずつ認められた。細石刃18点、ナイフ形石器21点、スクレイパー18点、石核28点の各石器が顕著である。剥片544点の出土とともに石器製作の場であったことは容易に考えられよう。

今回の調査では、畦原型細石刃核の出土が特筆される。畦原型細石刃核は南九州の一部に局地的に分布するのもである。細石器文化の中では比較的新しい時期に位置づけられている。本遺跡から出土した畦原型細石刃核７点は、ML１下層（Ⅴa層）から２点、Kr-kb（Ⅴb層）から５点出土した。平坦面から斜面部にうつる位置での出土で、動いた可能性が幾分残るものの、本遺跡第Ⅳ文化層に値する層からの出土である。これまでの類例に比べると一定の層から出土したことは注目に値する。周辺他遺跡の出土例をまって、今後考察できることを期待する。

２　縄文時代早期

MB０（Ⅲ層）及びML１上層（Ⅳ層）に相当する文化層である。

49箇所から約120点の縄文時代早期の土器、247点の石器の出土を確認した。また、集石遺構23基、土坑24基（陥し穴状遺構１基を含む）を検出し、さらに遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所を認めた。

土器は、貝殻条痕文を主とする小片・破片のみの出土であったが、本書に掲載したとおり、前原西式(宮崎市大字熊野：前原西遺跡）の土器、倉園B式(鹿児島県志布志町内之倉池野）並行期の土器の出土をみた。前原西式土器は、掘込みがないまたは浅い集石遺構と共伴する傾向にある。本遺跡の状況もそれにほぼ一致する。土器については、小片・破片のみの出土であること、口縁部・底部等の小片出土が少ないこと等から、これ以上の言及は避けたい。

石器については、石材でみると頁岩・ホルンフェルス製石器が114点と早期面出土石器全体の約５割弱を占め、在地石材での剥片剥離による石器製作を主とするが、41点の黒曜石製石器、９点の流紋岩製石器が出土し、旧石器時代第Ⅳ文化層同様、遠隔地石材の流入、利用を認める。石器ブロックｂにおいては、26点の黒曜石製石器を認めた。本層における黒曜石の産地（第41表）は、桑ノ木津留産系21点、

器種＼産地	桑ノ木津留産系	日東産系	針尾島産系	上牛鼻産系	姫島産系	象ヶ鼻産系	その他(不明)	計
石鏃					1			1
細石刃	4		7				1	12
細石刃核	4		1					5
スクレイパー	1	1	1					3
石核	1	1						2
マイクロブランク	2		1					3
剥片	20	3	33	2	1	1	3	63
チップ	4		7					11
計	36	5	50	2	2	1	4	100

第41表　旧石器時代　第Ⅳ文化層　黒曜石製石器組成表（産地・器種別数量）

ス質溶結凝灰岩）剥片が出土し、本文化層において何らかの石材流入・利用があったようである。これら黒曜石は、主として細石刃製作を目的とする（細石刃12点、細石刃核５点、剥片・チップ74点）ものであったと推察できる。

頁岩及びホルンフェルス製の剥片の出土も多く、あわせて418点を数えた。そのうち、約３割弱は長径７㎝を超す大形剥片である。接合資料の状況のみからは十分に判断できないが、本文化層から出土したスクレイパー、礫器も大形石器の部類に属し、使用した石材自体が大形石材であったことがうかがえ、石材利用上注目される。

検出された２基の礫群は、掘込みの有無、使用礫の大小に差がある。石材構成には大きな差はないものの、２基の礫群の存在には第Ⅳ文化層内での時期差があったのではないかと推察できる。

南西部の平坦面から斜面部にかけて３つの遺物集中域が、北東部平坦面では遺物集中域・石器ブロック各１箇所ずつ認められた。細石刃18点、ナイフ形石器21点、スクレイパー18点、石核28点の各石器が顕著である。剥片544点の出土とともに石器製作の場であったことは容易に考えられよう。

今回の調査では、畦原型細石刃核の出土が特筆される。畦原型細石刃核は南九州の一部に局地的に分布するのもである。細石器文化の中では比較的新しい時期に位置づけられている。本遺跡から出土した畦原型細石刃核７点は、ML１下層（Ⅴa層）から２点、Kr-kb（Ⅴb層）から５点出土した。平坦面から斜面部にうつる位置での出土で、動いた可能性が幾分残るものの、本遺跡第Ⅳ文化層に値する層からの出土である。これまでの類例に比べると一定の層から出土したことは注目に値する。周辺他遺跡の出土例をまって、今後考察できることを期待する。

２　縄文時代早期

MB０（Ⅲ層）及びML１上層（Ⅳ層）に相当する文化層である。

49箇所から約120点の縄文時代早期の土器、247点の石器の出土を確認した。また、集石遺構23基、土坑24基（陥し穴状遺構１基を含む）を検出し、さらに遺物集中域２箇所、石器ブロック２箇所を認めた。

土器は、貝殻条痕文を主とする小片・破片のみの出土であったが、本書に掲載したとおり、前原西式(宮崎市大字熊野：前原西遺跡）の土器、倉園B式(鹿児島県志布志町内之倉池野）並行期の土器の出土をみた。前原西式土器は、掘込みがないまたは浅い集石遺構と共伴する傾向にある。本遺跡の状況もそれにほぼ一致する。土器については、小片・破片のみの出土であること、口縁部・底部等の小片出土が少ないこと等から、これ以上の言及は避けたい。

石器については、石材でみると頁岩・ホルンフェルス製石器が114点と早期面出土石器全体の約５割弱を占め、在地石材での剥片剥離による石器製作を主とするが、41点の黒曜石製石器、９点の流紋岩製石器が出土し、旧石器時代第Ⅳ文化層同様、遠隔地石材の流入、利用を認める。石器ブロックｂにおいては、26点の黒曜石製石器を認めた。本層における黒曜石の産地（第41表）は、桑ノ木津留産系21点、

器種＼産地	桑ノ木津留産系	日東産系	針尾島産系	上牛鼻産系	姫島産系	象ヶ鼻産系	その他(不明)	計
石鏃	1							1
細石刃	2		2					4
細石刃核	2		1					3
石核		1						1
剥片	13		13				1	27
チップ	3		2					5
計	21	1	18	0	0	0	1	41

第42表　縄文時代早期　黒曜石製石器組成表（産地・器種別数量）

針尾島産系18点、日東産系１点であり、傾向として旧石器時代第Ⅳ文化層での黒曜石利用に類似する。数は少ないが石鏃、細石刃の遺跡内での製作、剥片剥離を認める。

器種別に概観すると、圧倒的に剥片の出土が多く、約８割弱を占める。石器群である遺物集中域・石器ブロックの存在もあり、石器製作が頻繁に行われていたことを伺わせる。ただ、石器製品類の出土は多くない。このことは、石器製品利用は遺跡外で行われていたとも推察できる。もしくは深年Ⅱ段丘面に広がる唐木戸第４遺跡方面への本丘陵地からの使用も推察されたが、第３・第４遺跡の石器接合も一部試みたものの接合は認められなかった。

遺構は、集石遺構・土坑の検出を見た。特にA区の集石遺構は、丘陵部のコンタに並行し扇状に点在する。土坑も炭化物・焼土を伴う土坑が同様に広がる。丘陵斜面下から吹き上げる風を利用し、火の効率的な使用を図ったものと推察できる。本遺跡において期間の居留があったのであろう。(SI22＋SI23)においては唯一深い掘込みが認められる。他のそれとは形状を別にしており、一定の時期差をもって作られた可能性が残る。

１基検出された陥し穴状遺構は、他の東九州自動車道関連遺跡検出のものと形状、埋土の状況等に共通点が多い。本遺跡における他の遺構・遺物との前後関係、同時性について言及するには困難を極める。

縄文時代早期における遺跡の遺構・遺物の態様は、近年の宮崎平野部の調査成果から、大きく２つに分類される。一つは主に大規模な散礫や多くの集石遺構・炉穴群等をもち、かつ多量の遺物が残されている遺跡、もう一つは、主に遺構・遺物が小規模で、陥し穴を伴う遺跡である。前者は、大・中規模河川に面した丘陵部や台地縁辺部に立地し、後者は河川からやや奥まった台地上に立地する傾向にある。本遺跡は、前者の部類にあたると考えられ、宮崎平野部の遺跡の状況を検討する上で今後、重要な資料となろう。

以上、本遺跡調査結果を踏まえ、現段階でまとめうる若干の推論を行った。

(参考文献)

大田区立郷土博物館編「ものづくりの考古学」東京美術　2001

潮見　浩「図解　技術の考古学」有斐閣選書　2000

藤木　聡「宮崎県域における旧石器時代研究の現状と課題」宮崎考古第18号　2002

南九州縄文研究会「南九州貝殻文系土器Ⅰ～鹿児島県～」　2002

南九州縄文研究会「南九州貝殻文系土器Ⅱ～宮崎・熊本・大分県～」　2002

宮崎県埋蔵文化財センター「野首第１遺跡」県道木城高鍋線高速関連道路・河川等緊急整備事業（青木工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　2004

同上「唐木戸第１遺跡」東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　2004

同上「東九州自動車道（都農～西都間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」　2002～2004

添付資料　その他の出土石器観察表

※参考資料のみ計測

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
〈旧石器時代　第Ⅰ文化層　石器観察表〉															
1732	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1732	剥片	頁岩		−96416.000	44728.880	83.367	8.35	9.63	3.62	187.50	参考石器資料
1764	E3-3	Ⅸ	MB3	B－1764	剥片	頁岩		−96415.900	44716.450	83.395					
1771	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1771	剥片	頁岩		−96419.820	44712.900	83.525	1.34	8.30	0.25	0.40	参考石器資料
1774	F3-4	Ⅸ	MB3	B－1774	剥片	頁岩		−96410.550	44725.700	83.560	1.51	1.49	0.33	0.60	参考石器資料
1775	F3-1	Ⅸ	MB3	B－1775	剥片	頁岩		−96412.760	44720.190	83.609					
1777	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1777	剥片	頁岩		−96419.890	44711.620	83.469	1.46	1.96	0.23	0.50	参考石器資料
1778	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1778	剥片	頁岩		−96419.500	44713.000	83.432	2.56	3.86	0.83	6.50	参考石器資料
1794	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1794	剥片	頁岩		−96418.150	44726.290	83.195					
1798	E3-3	Ⅸ	MB3	B－1798	剥片	頁岩		−96418.120	44719.780	83.306	4.01	2.21	0.56	3.60	参考石器資料
1800	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1800	剥片	頁岩		−96417.100	44729.610	83.437					
1808	F5-1	Ⅸ	MB3	B－1808	剥片	頁岩		−96430.490	44721.390	83.126	3.29	2.51	0.62	4.40	参考石器資料
1810	H4-1	Ⅸ	MB3	B－1810	剥片	頁岩		−96421.770	44744.990	83.360	2.47	1.64	0.53	1.80	参考石器資料
1858	E4-1	Ⅸ	MB3	B－1858	剥片	頁岩		−96421.970	44711.280	83.140	4.12	3.06	0.87	1.03	参考石器資料
1945	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1945	剥片	頁岩		−96417.000	44714.800	83.353	7.04	5.07	1.73	59.50	参考石器資料
2188	E3-4	Ⅹ	ML3	B－2188	剥片	頁岩		−96410.300	44718.050	83.304					
1009	D5-4	Ⅸ	MB3	A－1009	台石	砂岩	参考61	−96430.100	44705.150	83.175	30.00	12.10	8.60	2715.10	参考接合資料
1099	D6-3	Ⅸ	MB3	A－1099	台石	砂岩	参考61	−96448.000	44706.150	82.638					
1742	F3-2	Ⅸ	MB3	B－1742	剥片	砂岩		−96415.150	44720.720	83.350	2.65	3.40	0.84	6.20	参考石器資料
1840	E4-3	Ⅸ	MB3	B－1840	台石	砂岩		−96426.450	44719.580	83.114					
1986	E3-4	Ⅸ	MB3	B－1986	磨石	砂岩		−96412.440	44718.300	83.371					
2101	G3-2	Ⅸ	MB3	B－2101	敲石	砂岩		−96415.100	44732.800	83.378					
2126	H4-1	Ⅸ	MB3	B－2126	磨石	砂岩		−96420.160	44741.040	83.273					
2133	H4-4	Ⅸ	MB3	B－2133	磨石	砂岩		−96421.580	44747.250	83.295					
1770	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1770	剥片	チャート		−96416.450	44712.820	83.556					
1779	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1779	剥片	チャート		−96417.050	44713.380	83.513					
1788	F3-4	Ⅸ	MB3	B－1788	チップ	チャート		−96414.000	44719.000	83.390					
1792	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1792	剥片	チャート		−96415.650	44712.200	83.410					
1795	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1795	剥片	チャート		−96416.100	44710.800	83.416					
1799	E4-1	Ⅸ	MB3	B－1799	剥片	チャート		−96420.750	44711.000	83.198					
1806	D4-4	Ⅸ	MB3	B－1806	チップ	チャート		−96422.010	44709.800	83.244					
875	C6-1	Ⅹ	ML3	A－ 875	剥片	ホルンフェルス		−96442.490	44693.350	82.593					
939	E5-2	Ⅹ	ML3	A－ 939	剥片	ホルンフェルス		−96439.540	44713.000	82.822	2.24	2.45	0.18	0.90	参考石器資料
1731	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1731	剥片	ホルンフェルス		−96415.970	44728.300	83.378	3.47	3.69	1.22	11.70	参考石器資料
1753	F3-4	Ⅸ	MB3	B－1753	剥片	ホルンフェルス		−96411.650	44725.310	83.567					
1763	E3-3	Ⅸ	MB3	B－1763	剥片	ホルンフェルス		−96415.400	44717.650	83.300					
1767	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1767	剥片	ホルンフェルス		−96418.020	44726.350	83.343	2.22	1.60	0.58	1.30	参考石器資料
1768	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1768	剥片	ホルンフェルス		−96418.300	44725.830	83.338	2.61	2.79	0.41	4.10	参考石器資料
1769	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1769	剥片	ホルンフェルス		−96417.150	44712.400	83.582	2.49	1.82	0.29	1.20	参考石器資料
1773	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1773	剥片	ホルンフェルス		−96417.410	44727.150	83.527					
1780	F3-1	Ⅸ	MB3	B－1780	剥片	ホルンフェルス		−96410.750	44722.100	83.540	3.00	2.41	0.75	4.20	参考石器資料
1781	E3-4	Ⅸ	MB3	B－1781	剥片	ホルンフェルス		−96414.990	44717.890	83.448	2.83	2.73	1.07	8.10	参考石器資料
1783	F3-1	Ⅸ	MB3	B－1783	剥片	ホルンフェルス		−96410.110	44722.100	83.532	3.39	4.31	1.54	25.90	参考石器資料
1784	F2-2	Ⅸ	MB3	B－1784	剥片	ホルンフェルス	参考55	−96409.500	44720.250	83.500	5.15	4.60	0.95	16.80	参考接合資料
1785	F2-2	Ⅸ	MB3	B－1785	剥片	ホルンフェルス		−96409.490	44722.680	83.458					
1789	E3-4	Ⅸ	MB3	B－1789	剥片	ホルンフェルス	参考55	−96414.680	44717.020	83.388	5.70	7.10	1.46	58.40	参考接合資料
1790	E3-2	Ⅹ	ML3	B－1790	剥片	ホルンフェルス		−96417.480	44713.110	83.284					
1791	E3-4	Ⅹ	ML3	B－1791	剥片	ホルンフェルス		−96414.080	44717.960	83.357					
1793	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1793	剥片	ホルンフェルス		−96417.600	44726.700	83.317	2.25	1.79	0.28	1.40	参考石器資料
1796	F3-3	Ⅸ	MB3	B－1796	剥片	ホルンフェルス		−96417.210	44727.130	83.474	3.86	3.79	0.92	14.20	参考石器資料
1801	G3-2	Ⅸ	MB3	B－1801	剥片	ホルンフェルス		−96419.210	44732.150	83.389	7.36	6.23	2.21	78.40	参考石器資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1802	F5-4	Ⅸ	MB3	B－1802	剥片	ホルンフェルス		-96434.370	44725.490	83.382	2.57	2.19	0.99	6.00	参考石器資料
1803	F4-4	Ⅸ	MB3	B－1803	剥片	ホルンフェルス		-96420.090	44725.400	83.322	3.03	2.13	0.44	2.10	参考石器資料
1804	H4-1	Ⅸ	MB3	B－1804	剥片	ホルンフェルス		-96420.320	44743.180	83.370	5.18	2.04	1.06	14.90	参考石器資料
1812	F5-1	Ⅸ	MB3	B－1812	剥片	ホルンフェルス		-96434.800	44726.800	82.988					
1813	G5-2	Ⅸ	MB3	B－1813	剥片	ホルンフェルス		-96436.990	44730.920	83.120					
1814	G5-2	Ⅸ	MB3	B－1814	剥片	ホルンフェルス		-96438.300	44733.000	83.150	6.45	1.76	1.98	22.20	参考石器資料
1944	E3-2	Ⅸ	MB3	B－1944	剥片	ホルンフェルス		-96416.800	44714.950	83.284	4.40	3.84	1.53	16.30	参考石器資料
2190	F3-3	Ⅸ	MB3	B－2190	剥片	ホルンフェルス		-96416.670	44729.070	83.320					
〈旧石器時代　第Ⅱ文化層　石器観察表〉															
1716	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1716	剥片	頁岩		-96417.900	44717.180	83.544					
1719	E3-3	Ⅷ下	MB2	B－1719	剥片	頁岩	参考16	-96417.900	44718.950	83.374	2.15	1.50	0.51	1.00	参考接合資料
1724	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1724	剥片	頁岩		-96417.200	44727.290	83.548					
1726	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1726	剥片	頁岩		-96417.090	44747.100	83.544					
1727	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1727	剥片	頁岩		-96416.970	44727.220	83.540	3.08	2.95	0.84	7.20	参考石器資料
1730	F3-3	Ⅷ下	MB2	B－1730	剥片	頁岩		-96417.120	44728.400	83.407					
1733	F3-4	Ⅷ中	MB2	B－1733	剥片	頁岩	参考16	-96413.120	44726.380	83.692	2.35	2.65	0.54	3.30	参考接合資料
1734	F3-4	Ⅷ下	MB2	B－1734	剥片	頁岩	参考16	-96414.380	44725.800	83.450	2.70	3.15	0.63	4.30	参考接合資料
1739	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1739	剥片	頁岩		-96415.600	44718.600	83.571					
1740	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1740	剥片	頁岩		-96415.400	44716.950	83.572					
1741	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1741	剥片	頁岩		-96416.550	44716.650	84.464					
1745	F3-2	Ⅷ中	MB2	B－1745	剥片	頁岩		-96419.350	44720.200	84.501					
1748	F3-2	Ⅷ中	MB2	B－1748	剥片	頁岩		-96419.720	44723.470	83.575					
1749	F3-4	Ⅷ	MB2	B－1749	剥片	頁岩		-96412.120	44728.300	83.575	2.30	4.80	0.78	9.10	参考接合資料
1750	F3-4	Ⅸ	MB3	B－1750	剥片	頁岩	参考16	-96412.090	44726.140	83.616	2.05	2.10	0.41	1.30	参考接合資料
1766	F3-3	Ⅷ	MB2	B－1766	剥片	頁岩		-96417.240	44727.170	83.527					
1776	E3-4	Ⅸ	MB3	B－1776	剥片	頁岩	参考17	-96411.700	44719.620	83.606	2.65	5.10	0.67	12.10	参考接合資料
906	D4-2	Ⅷ中	MB2	A－ 906	剥片	砂質頁岩		-96427.490	44703.570	83.428					
1718	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1718	剥片	珪質頁岩		-96418.190	44718.110	83.899					
1746	F3-2	Ⅷ中	MB2	B－1746	剥片	珪質頁岩		-96419.310	44720.610	84.488					
983	B6-4	Ⅷ下	MB2	A－ 983	剥片	砂岩		-96441.730	44687.950	82.696	3.99	2.59	2.09	16.20	参考石器資料
1717	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1717	剥片	砂岩		-96418.080	44717.430	83.573					
1744	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1744	剥片	砂岩		-96415.990	44717.350	83.480	2.30	2.74	0.72	3.00	参考石器資料
2024	F3-4	Ⅷ	MB2	B－2024	剥片	砂岩		-96412.030	44725.630	83.588	9.29	6.59	3.13	227.80	参考石器資料
1747	F3-2	Ⅷ中	MB2	B－1747	剥片	チャート		-96419.600	44720.850	84.493					
1095	D4-2	Ⅷ	MB2	A－1095	剥片	ホルンフェルス		-96425.200	44702.090	83.530	2.74	4.99	0.81	9.10	参考石器資料
1715	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1715	剥片	ホルンフェルス		-96416.090	44717.910	83.607	5.19	3.35	1.58	23.60	参考石器資料
1720	F3-3	Ⅷ下	MB2	B－1720	剥片	ホルンフェルス		-96419.570	44715.400	83.324					
1721	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1721	剥片	ホルンフェルス		-96418.610	44726.900	83.530	1.51	3.00	4.73	2.70	参考石器資料
1722	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1722	剥片	ホルンフェルス		-96417.680	44726.190	83.536	1.51	1.78	0.55	1.20	参考石器資料
1728	F3-3	Ⅷ中	MB2	B－1728	剥片	ホルンフェルス		-96416.550	44726.970	83.483	2.38	2.81	0.78	3.70	参考石器資料
1729	F3-3	Ⅷ下	MB2	B－1729	剥片	ホルンフェルス		-96416.190	44727.550	83.446	3.56	2.79	0.70	5.80	参考石器資料
1738	E3-3	Ⅷ中	MB2	B－1738	剥片	ホルンフェルス		-96415.400	44718.880	83.471					
1754	F3-4	Ⅷ	MB2	B－1754	剥片	ホルンフェルス		-96411.000	44725.530	83.628	8.65	6.03	2.85	160.50	参考石器資料
1755	F3-1	Ⅷ	MB2	B－1755	剥片	ホルンフェルス		-96411.920	44724.970	83.633	1.34	2.06	0.73	5.40	参考石器資料
1757	F3-4	Ⅷ	MB2	B－1757	剥片	ホルンフェルス		-96411.300	44725.050	83.641					
1760	F3-1	Ⅷ	MB2	B－1760	剥片	ホルンフェルス		-96410.860	44722.750	83.611	3.50	2.65	6.49	25.00	参考石器資料
2082	F3-4	Ⅷ	MB2	B－2082	剥片	ホルンフェルス		-96411.620	44725.740	83.616					
2084	F3-4	Ⅷ	MB2	B－2084	剥片	ホルンフェルス		-96411.760	44725.610	83.600					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
〈旧石器時代　第Ⅲ文化層　石器観察表〉															
1263	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1263	剥片	頁岩	参考15	-96412.310	44736.020	84.556	3.80	2.20	1.00	8.30	参考接合資料
1358	H4-2	Vc	MB1	B－1358	剥片	頁岩		-96429.350	44743.220	84.282					
1393	I4-1	Vc	MB1	B－1393	剥片	頁岩		-96424.000	44754.400	84.260					
1395	I4-1	Vc	MB1	B－1395	剥片	頁岩		-96421.770	44752.050	84.356					
1396	I4-1	Vc	MB1	B－1396	剥片	頁岩		-96422.050	44754.680	84.293					
1398	H5-1	Vc	MB1	B－1398	チップ	頁岩		-96431.530	44743.570	83.997					
1405	H5-4	Vc	MB1	B－1405	チップ	頁岩		-96431.180	44747.320	83.900					
1406	H5-4	Vc	MB1	B－1406	剥片	頁岩		-96431.300	44746.900	84.040					
1415	I4-1	Vc	MB1	B－1415	剥片	頁岩		-96420.750	44754.170	84.337	2.55	2.05	0.33	1.20	参考石器資料
1419	G3-1	Vc	MB1	B－1419	剥片	頁岩		-96413.250	44733.810	84.145					
1425	H5-1	Vc	MB1	B－1425	剥片	頁岩	参考64	-96434.100	44741.760	83.923	2.75	1.35	0.45	1.50	参考接合資料
1441	H5-2	Vc	MB1	B－1441	剥片	頁岩	参考64	-96435.550	44740.680	83.867	1.90	1.40	0.50	2.00	参考接合資料
1443	G4-3	Vc	MB1	B－1443	チップ	頁岩		-96434.460	44739.470	83.938					
1458	H4-4	Vc	MB1	B－1458	剥片	頁岩		-96423.100	44749.100	84.173					
1459	H4-4	Vc	MB1	B－1459	剥片	頁岩		-96424.400	44748.850	84.380					
1466	I4-3	Vc	MB1	B－1466	剥片	頁岩		-96426.480	44755.200	84.271					
1471	H4-4	Vc	MB1	B－1471	剥片	頁岩		-96421.030	44746.180	84.332					
1482	G3-1	Vc	MB1	B－1482	チップ	頁岩		-96411.950	44734.960	84.117					
1483	G3-1	Vc	MB1	B－1483	チップ	頁岩		-96411.800	44734.950	84.111					
1484	G3-4	Vc	MB1	B－1484	チップ	頁岩		-96411.660	44735.010	84.098					
1494	G3-4	Vc	MB1	B－1494	剥片	頁岩	参考15	-96411.900	44735.400	84.134	4.20	2.55	1.02	10.70	参考接合資料
1495	G3-4	Vc	MB1	B－1495	チップ	頁岩		-96412.110	44735.300	84.107					
1496	G3-4	Vc	MB1	B－1496	チップ	頁岩		-96412.180	44735.320	84.113					
1498	G3-4	Vc	MB1	B－1498	ナイフ形石器	頁岩		-96411.810	44735.590	84.127					
1502	G3-4	Vc	MB1	B－1502	チップ	頁岩		-96412.710	44735.370	84.117					
1509	G3-4	Vc	MB1	B－1509	チップ	頁岩		-96413.060	44735.850	84.122					
1514	G3-4	Vc	MB1	B－1514	剥片	頁岩		-96413.390	44736.520	84.097					
1527	H4-4	Vc	MB1	B－1527	剥片	頁岩		-96424.400	44748.700	84.324					
1532	G3-4	Vc	MB1	B－1532	剥片	頁岩	参考12	-96414.400	44736.900	84.079	3.60	3.50	0.47	6.00	参考接合資料
1537	G3-4	Vc	MB1	B－1537	剥片	頁岩		-96412.000	44737.680	84.123					
1539	G3-4	Vc	MB1	B－1539	剥片	頁岩		-96412.280	44738.070	84.112					
1540	G3-4	Vc	MB1	B－1540	剥片	頁岩		-96413.240	44737.370	84.082	3.65	1.67	0.45	2.30	参考石器資料
1541	G3-4	Vc	MB1	B－1541	剥片	頁岩		-96413.210	44737.120	84.134					
1542	G3-4	Vc	MB1	B－1542	剥片	頁岩		-96413.380	44736.910	84.103					
1543	G3-4	Vc	MB1	B－1543	剥片	頁岩	参考12	-96413.500	44738.150	84.107	2.95	3.15	0.44	3.60	参考接合資料
1546	G3-4	Vc	MB1	B－1546	剥片	頁岩		-96412.410	44737.350	84.168					
1548	G3-4	Vc	MB1	B－1548	剥片	頁岩		-96411.700	44735.940	84.165					
1562	H4-3	Vc	MB1	B－1562	剥片	頁岩		-96425.120	44748.820	84.316	5.66	2.77	0.95	12.50	参考石器資料
1568	G4-2	Vc	MB1	B－1568	剥片	頁岩		-96429.280	44733.500	84.275					
1569	G4-2	Vc	MB1	B－1569	剥片	頁岩		-96427.830	44731.680	84.260					
1572	H4-4	Vc	MB1	B－1572	剥片	頁岩		-96430.220	44747.590	84.151					
1577	G3-4	Vc	MB1	B－1577	剥片	頁岩	参考15	-96413.100	44739.500	84.145	3.75	2.00	1.18	6.90	参考接合資料
1578	H5-4	Vc	MB1	B－1578	剥片	頁岩		-96430.020	44746.700	84.254					
1583	G4-2	Vc	MB1	B－1583	剥片	頁岩		-96427.460	44734.590	84.195					
1588	H5-4	Vc	MB1	B－1588	剥片	頁岩		-96430.870	44746.350	84.260					
1589	H4-3	Vc	MB1	B－1589	剥片	頁岩		-96425.000	44747.350	84.250					
1597	G4-2	Vc	MB1	B－1597	剥片	頁岩		-96428.800	44731.950	84.246					
1598	G4-2	Vc	MB1	B－1598	剥片	頁岩		-96428.720	44731.990	84.230					
1599	G4-2	Vc	MB1	B－1599	剥片	頁岩		-96428.400	44731.900	84.237					
1610	G3-1	Vc	MB1	B－1610	チップ	頁岩		-96412.200	44734.860	84.307					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1611	G3-1	Vc	MB1	B－1611	剥片	頁岩		-96412.110	44734.800	84.310					
1612	G3-1	Vc	MB1	B－1612	チップ	頁岩		-96413.120	44734.700	84.332					
1613	G3-1	Vc	MB1	B－1613	チップ	頁岩		-96413.020	44735.990	84.323					
1614	G3-4	Vc	MB1	B－1614	チップ	頁岩		-96413.010	44735.100	84.320					
1615	G3-1	Vc	MB1	B－1615	チップ	頁岩		-96414.900	44734.870	84.312					
1616	G3-4	Vc	MB1	B－1616	チップ	頁岩		-96414.240	44735.500	84.297					
1618	G3-4	Vc	MB1	B－1618	剥片	頁岩		-96413.100	44735.300	84.383					
1620	G3-1	Vc	MB1	B－1620	剥片	頁岩		-96413.250	44734.990	84.340					
1625	G3-4	Vc	MB1	B－1625	チップ	頁岩		-96413.300	44735.700	84.326					
1626	G3-4	Vc	MB1	B－1626	チップ	頁岩		-96413.450	44736.010	84.306					
1631	G3-4	Vc	MB1	B－1631	チップ	頁岩		-96412.890	44736.200	84.293					
1633	G3-3	Vc	MB1	B－1633	剥片	頁岩		-96415.750	44736.420	84.355					
1637	G4-2	Vc	MB1	B－1637	剥片	頁岩		-96427.650	44733.700	84.195	2.13	1.65	5.26	1.30	参考石器資料
1638	G4-2	Vc	MB1	B－1638	剥片	頁岩		-96429.050	44732.830	84.190					
1640	G4-2	Vc	MB1	B－1640	剥片	頁岩		-96429.120	44733.650	84.172					
1641	G4-2	Vc	MB1	B－1641	剥片	頁岩		-96429.380	44733.380	84.218					
1642	G4-2	Vc	MB1	B－1642	剥片	頁岩		-96429.420	44732.900	84.226					
1644	G5-1	Vc	MB1	B－1644	剥片	頁岩	参考13	-96431.180	44731.600	84.295	2.35	2.65	0.59	2.80	参考接合資料
1648	H4-3	Vc	MB1	B－1648	剥片	頁岩		-96426.420	44746.100	84.240					
1672	G5-1	Vc	MB1	B－1672	剥片	頁岩	参考13	-96430.590	44731.350	84.167	1.80	2.60	0.36	1.80	参考接合資料
1678	G5-3	Vc	MB1	B－1678	剥片	頁岩		-96436.000	44736.000	84.220					
1681	F3-4	Vc	MB1	B－1681	剥片	頁岩		-96412.040	44725.320	84.533					
1690	F3-1	Vc	MB1	B－1690	剥片	頁岩		-96412.400	44724.600	84.447					
1693	F2-2	Vc	MB1	B－1693	チップ	頁岩		-96409.700	44721.400	84.400					
1697	E3-2	Vc	MB1	B－1697	剥片	頁岩		-96416.200	44713.800	84.116					
1698	E3-2	Vc	MB1	B－1698	剥片	頁岩		-96417.750	44714.880	83.987					
1702	H5-4	Vc	MB1	B－1702	剥片	頁岩		-96430.780	44746.310	84.233					
1706	G4-2	VI	ML2	B－1706	剥片	頁岩		-96429.480	44733.230	84.127					
1489	G3-4	Vc	MB1	B－1489	剥片	珪質頁岩		-96411.790	44735.300	84.159					
1579	H4-3	Vc	MB1	B－1579	剥片	珪質頁岩		-96429.490	44746.920	84.251					
1608	G3-4	Vc	MB1	B－1608	剥片	珪質頁岩		-96411.290	44735.010	84.426					
1427	H5-1	Vc	MB1	B－1427	剥片	赤色頁岩		-96433.680	44740.470	84.002	1.45	1.63	0.42	0.90	参考石器資料
1682	F3-3	Vc	MB1	B－1682	剥片	赤色頁岩		-96419.400	44726.700	84.433	2.62	1.90	0.51	2.90	参考石器資料
857	D6-2	Vc	MB1	A－ 857	剥片	砂岩		-96449.400	44700.810	83.082	11.90	9.10	2.50	187.80	参考石器資料
1464	I4-2	Vc	MB1	B－1464	剥片	砂岩		-96425.550	44750.080	84.206	1.87	2.34	0.72	2.90	参考石器資料
1594	G5-4	VI	ML2	B－1594	剥片	砂岩		-96433.380	44739.950	83.988					
1609	G3-1	Vc	MB1	B－1609	剥片	砂岩		-96411.670	44734.750	84.462					
1635	G5-3	Vc	MB1	B－1635	剥片	砂岩		-96435.980	44738.480	84.198	1.89	2.01	0.66	1.50	参考石器資料
1675	F5-4	Vc	MB1	B－1675	剥片	砂岩		-96431.190	44726.800	84.272	5.01	5.73	1.31	36.10	参考石器資料
1686	F3-1	Vc	MB1	B－1686	剥片	砂岩		-96413.490	44720.390	84.467					
1688	F3-1	Vc	MB1	B－1688	剥片	砂岩		-96411.380	44724.880	84.483					
1691	F3-1	Vc	MB1	B－1691	剥片	砂岩		-96411.890	44723.730	84.368					
1662	G5-4	Vc	MB1	B－1662	チップ	チャート		-96431.680	44735.080	84.223					
1665	G5-3	Vc	MB1	B－1665	チップ	チャート		-96436.170	44738.390	84.095					
682	E6-4	Vc	MB1	A－ 682	剥片	ホルンフェルス		-96443.450	44716.780	84.905					
687	E5-2	Vc	MB1	A－ 687	剥片	ホルンフェルス		-96436.280	44710.110	83.895					
688	E5-2	Vc	MB1	A－ 688	剥片	ホルンフェルス		-96435.080	44710.820	83.932					
867	E7-1	Vc	MB1	A－ 867	剥片	ホルンフェルス		-96452.500	44712.570	83.512					
1298	I4-4	Vb下	Kr-Kb	B－1298	剥片	ホルンフェルス	参考57	-96423.780	44755.120	84.371	4.75	3.90	1.98	25.10	参考接合資料
1341	H4-2	Vb上	Kr-Kb	B－1341	剥片	ホルンフェルス	参考31	-96429.330	44743.220	84.452	2.25	1.45	0.63	2.00	参考接合資料
1394	I4-1	Vc	MB1	B－1394	剥片	ホルンフェルス	参考57	-96422.510	44753.490	84.344	6.50				
1402	I4-1	Vc	MB1	B－1402	剥片	ホルンフェルス		-96421.220	44753.220	84.362	1.86	1.63	1.21	3.90	参考石器資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1404	E3-3	Vc	MB1	B－1404	剥片	ホルンフェルス		-96415.900	44718.350	83.976					
1407	H5-4	Vc	MB1	B－1407	剥片	ホルンフェルス		-96431.880	44746.120	84.048	2.68	2.00	0.61	2.20	参考石器資料
1408	H5-4	Vc	MB1	B－1408	剥片	ホルンフェルス		-96432.550	44745.640	83.954	2.49	2.81	0.98	3.80	参考石器資料
1409	H5-4	Vc	MB1	B－1409	剥片	ホルンフェルス		-96431.220	44745.610	84.023					
1413	I4-1	Vc	MB1	B－1413	剥片	ホルンフェルス		-96420.310	44753.450	84.330	2.90	4.55	1.28	13.80	参考接合資料
1414	I4-1	Vc	MB1	B－1414	チップ	ホルンフェルス		-96421.390	44754.120	84.325					
1416	H5-1	Vc	MB1	B－1416	剥片	ホルンフェルス		-96432.540	44742.620	83.838	1.87	1.83	0.40	1.00	参考石器資料
1417	G3-1	Vc	MB1	B－1417	剥片	ホルンフェルス		-96411.710	44734.800	84.152	1.80	2.02	0.48	1.80	参考石器資料
1418	G3-1	Vc	MB1	B－1418	剥片	ホルンフェルス		-96411.830	44734.710	84.177	1.76	1.02	0.66	1.00	参考石器資料
1421	G3-1	Vc	MB1	B－1421	剥片	ホルンフェルス		-96412.560	44732.720	84.102	0.80	1.53	0.35	0.30	参考石器資料
1423	F4-3	Vc	MB1	B－1423	チップ	ホルンフェルス		-96428.170	44726.520	84.178					
1424	F4-3	Vc	MB1	B－1424	剥片	ホルンフェルス		-96428.400	44725.520	84.292	7.13	2.59	1.16	18.40	参考石器資料
1429	H5-1	Vc	MB1	B－1429	チップ	ホルンフェルス		-96433.650	44740.360	83.918					
1430	H5-1	Vc	MB1	B－1430	剥片	ホルンフェルス		-96432.960	44740.270	83.937	0.85	2.24	0.53	0.70	参考石器資料
1433	G4-3	Vc	MB1	B－1433	チップ	ホルンフェルス		-96433.890	44739.900	83.952					
1434	G4-3	Vc	MB1	B－1434	剥片	ホルンフェルス		-96434.060	44739.950	83.994	4.67	1.48	0.93	7.30	参考石器資料
1435	G4-3	Vc	MB1	B－1435	剥片	ホルンフェルス		-96434.700	44739.770	83.960	2.92	5.83	0.96	14.60	参考石器資料
1437	G5-4	Vc	MB1	B－1437	剥片	ホルンフェルス		-96435.120	44739.730	83.936					
1438	G5-4	Vc	MB1	B－1438	チップ	ホルンフェルス		-96435.250	44739.740	83.894					
1439	G5-4	Vc	MB1	B－1439	チップ	ホルンフェルス		-96435.520	44739.710	83.916					
1444	G4-3	Vc	MB1	B－1444	チップ	ホルンフェルス		-96434.210	44739.440	83.899					
1445	G4-3	Vc	MB1	B－1445	チップ	ホルンフェルス		-96433.940	44739.340	83.947					
1446	G4-3	Vc	MB1	B－1446	チップ	ホルンフェルス		-96433.400	44739.150	84.037					
1447	G4-3	Vc	MB1	B－1447	チップ	ホルンフェルス		-96434.240	44738.750	83.910					
1448	G4-3	Vc	MB1	B－1448	チップ	ホルンフェルス		-96434.140	44738.580	83.918					
1449	H5-1	Vc	MB1	B－1449	チップ	ホルンフェルス		-96433.270	44740.910	83.896					
1453	H4-4	Vc	MB1	B－1453	剥片	ホルンフェルス		-96420.210	44745.290	84.371					
1454	H4-4	Vc	MB1	B－1454	剥片	ホルンフェルス		-96420.030	44745.580	84.328					
1455	H4-4	Vc	MB1	B－1455	剥片	ホルンフェルス		-96420.300	44745.610	84.356					
1456	H4-4	Vc	MB1	B－1456	剥片	ホルンフェルス		-96420.110	44746.490	84.350					
1457	H4-4	Vc	MB1	B－1457	剥片	ホルンフェルス		-96423.080	44749.450	84.325					
1461	I4-2	Vc	MB1	B－1461	剥片	ホルンフェルス		-96425.580	44750.890	84.157					
1462	I4-2	Vc	MB1	B－1462	剥片	ホルンフェルス		-96425.910	44751.130	84.313					
1467	I4-3	Vc	MB1	B－1467	剥片	ホルンフェルス		-96426.550	44756.430	84.155	2.57	3.52	0.83	7.80	参考石器資料
1470	H4-4	Vc	MB1	B－1470	剥片	ホルンフェルス		-96421.020	44746.200	84.323					
1474	H4-4	Vc	MB1	B－1474	剥片	ホルンフェルス		-96420.210	44745.090	84.360					
1475	G3-1	Vc	MB1	B－1475	剥片	ホルンフェルス		-96412.480	44734.750	84.047	0.96	1.77	0.31	0.50	参考石器資料
1476	G3-1	Vc	MB1	B－1476	チップ	ホルンフェルス		-96412.550	44734.750	84.040					
1477	G3-1	Vc	MB1	B－1477	チップ	ホルンフェルス		-96413.220	44734.680	84.060					
1478	G3-1	Vc	MB1	B－1478	チップ	ホルンフェルス		-96413.550	44734.300	84.060					
1479	G3-1	Vc	MB1	B－1479	チップ	ホルンフェルス		-96413.700	44734.420	84.047					
1481	G3-1	Vc	MB1	B－1481	チップ	ホルンフェルス		-96411.860	44734.920	84.120					
1485	G3-1	Vc	MB1	B－1485	チップ	ホルンフェルス		-96411.370	44734.970	84.102					
1486	G3-4	Vc	MB1	B－1486	チップ	ホルンフェルス		-96411.640	44735.200	84.135					
1490	G3-4	Vc	MB1	B－1490	チップ	ホルンフェルス		-96412.070	44735.040	84.097					
1491	G3-4	Vc	MB1	B－1491	チップ	ホルンフェルス		-96412.200	44735.150	84.197					
1492	G3-4	Vc	MB1	B－1492	チップ	ホルンフェルス		-96412.050	44735.240	84.109					
1493	G3-4	Vc	MB1	B－1493	チップ	ホルンフェルス		-96411.740	44735.250	84.008					
1497	G3-4	Vc	MB1	B－1497	チップ	ホルンフェルス		-96412.200	44735.400	84.115					
1499	G3-4	Vc	MB1	B－1499	チップ	ホルンフェルス		-96411.950	44735.830	84.226					
1500	G3-4	Vc	MB1	B－1500	チップ	ホルンフェルス		-96412.150	44735.510	84.156					
1501	G3-4	Vc	MB1	B－1501	チップ	ホルンフェルス		-96412.250	44735.810	84.090					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1503	G3-4	Vc	MB1	B－1503	チップ	ホルンフェルス		-96413.300	44735.630	84.111					
1504	G3-4	Vc	MB1	B－1504	チップ	ホルンフェルス		-96412.980	44735.570	84.119					
1505	G3-4	Vc	MB1	B－1505	チップ	ホルンフェルス		-96413.090	44735.830	84.127					
1507	G3-4	Vc	MB1	B－1507	チップ	ホルンフェルス		-96412.770	44735.750	84.120					
1508	G3-4	Vc	MB1	B－1508	チップ	ホルンフェルス		-96412.910	44736.150	84.087					
1511	G3-4	Vc	MB1	B－1511	チップ	ホルンフェルス		-96413.400	44736.040	84.107					
1513	G3-4	Vc	MB1	B－1513	チップ	ホルンフェルス		-96413.250	44736.480	84.103					
1515	G3-4	Vc	MB1	B－1515	チップ	ホルンフェルス		-96413.640	44736.530	84.096					
1516	G3-4	Vc	MB1	B－1516	チップ	ホルンフェルス		-96413.740	44735.660	84.136					
1517	G3-4	Vc	MB1	B－1517	剥片	ホルンフェルス		-96414.350	44735.200	84.170					
1518	G3-4	Vc	MB1	B－1518	チップ	ホルンフェルス		-96414.720	44735.760	84.130					
1520	G3-4	Vc	MB1	B－1520	チップ	ホルンフェルス		-96414.240	44736.220	84.092					
1522	H4-4	Vc	MB1	B－1522	剥片	ホルンフェルス		-96420.920	44746.000	84.330					
1523	H4-4	Vc	MB1	B－1523	剥片	ホルンフェルス		-96421.020	44746.020	84.309					
1524	H4-4	Vc	MB1	B－1524	剥片	ホルンフェルス		-96420.970	44746.100	84.323					
1525	H4-4	Vc	MB1	B－1525	剥片	ホルンフェルス		-96420.950	44746.200	84.330	2.66	2.01	0.61	2.90	参考石器資料
1526	H4-4	Vc	MB1	B－1526	剥片	ホルンフェルス		-96420.900	44746.400	84.321					
1528	H4-3	Vc	MB1	B－1528	剥片	ホルンフェルス		-96425.000	44749.450	84.324	2.66	2.01	0.61	2.90	参考石器資料
1529	G3-1	Vc	MB1	B－1529	チップ	ホルンフェルス		-96413.800	44734.640	84.059					
1533	G3-4	Vc	MB1	B－1533	チップ	ホルンフェルス		-96414.140	44736.800	84.089					
1538	G3-4	Vc	MB1	B－1538	チップ	ホルンフェルス		-96412.050	44737.660	84.097					
1544	G3-4	Vc	MB1	B－1544	チップ	ホルンフェルス		-96412.460	44737.770	84.105					
1545	G3-4	Vc	MB1	B－1545	チップ	ホルンフェルス		-96412.420	44737.720	84.127					
1547	G3-4	Vc	MB1	B－1547	チップ	ホルンフェルス		-96411.660	44735.600	84.088					
1549	G3-4	Vc	MB1	B－1549	チップ	ホルンフェルス		-96412.040	44736.730	83.987					
1551	G3-4	Vc	MB1	B－1551	剥片	ホルンフェルス		-96413.370	44738.450	84.110					
1552	G3-4	Vc	MB1	B－1552	剥片	ホルンフェルス		-96413.170	44738.960	84.124	4.78	4.36	1.11	20.60	参考石器資料
1553	H4-4	Vc	MB1	B－1553	剥片	ホルンフェルス		-96421.300	44745.800	84.296	2.06	1.61	0.45	1.30	参考石器資料
1554	H4-4	Vc	MB1	B－1554	剥片	ホルンフェルス		-96420.710	44746.030	84.312					
1555	H4-4	Vc	MB1	B－1555	剥片	ホルンフェルス		-96420.760	44745.720	84.306	2.23	1.10	0.51	1.00	参考石器資料
1556	H4-4	Vc	MB1	B－1556	剥片	ホルンフェルス		-96420.750	44745.650	84.296	2.02	2.04	0.45	1.70	参考石器資料
1558	H3-2	Vc	MB1	B－1558	剥片	ホルンフェルス		-96419.980	44744.050	84.335					
1559	H4-1	Vc	MB1	B－1559	剥片	ホルンフェルス		-96420.150	44744.650	84.370					
1566	H5-4	Vc	MB1	B－1566	チップ	ホルンフェルス		-96430.870	44745.680	84.195					
1567	H5-2	Vc	MB1	B－1567	チップ	ホルンフェルス		-96435.590	44741.490	84.085					
1570	H4-1	Vc	MB1	B－1570	剥片	ホルンフェルス		-96421.150	44744.850	84.350					
1573	H5-2	Vc	MB1	B－1573	チップ	ホルンフェルス		-96435.350	44740.880	84.050					
1574	H5-1	Vc	MB1	B－1574	チップ	ホルンフェルス		-96434.800	44741.150	84.057					
1575	G3-4	Vc	MB1	B－1575	チップ	ホルンフェルス		-96414.800	44739.640	84.112					
1576	G3-4	Vc	MB1	B－1576	剥片	ホルンフェルス		-96414.160	44739.490	84.225	4.13	2.51	1.03	8.80	参考石器資料
1580	H4-3	Vc	MB1	B－1580	剥片	ホルンフェルス	参考31	-96425.710	44747.450	84.260	6.65	5.15	2.33	81.30	参考接合資料
1584	G3-4	Vc	MB1	B－1584	チップ	ホルンフェルス		-96413.280	44738.530	84.364					
1586	G3-3	Vc	MB1	B－1586	剥片	ホルンフェルス		-96415.300	44737.800	84.387	3.09	22.00	0.73	6.60	参考石器資料
1587	G3-3	Vc	MB1	B－1587	チップ	ホルンフェルス		-96415.100	44737.220	84.347					
1590	H4-3	Vc	MB1	B－1590	剥片	ホルンフェルス		-96425.320	44747.020	84.808					
1591	H4-3	Vc	MB1	B－1591	剥片	ホルンフェルス		-96426.200	44747.100	84.278					
1592	H5-1	VI	ML2	B－1592	剥片	ホルンフェルス		-96432.980	44741.910	84.048	1.31	1.42	0.74	2.00	参考石器資料
1593	G5-4	Vc	MB1	B－1593	チップ	ホルンフェルス		-96434.950	44739.900	84.040					
1595	H5-1	VI	ML2	B－1595	剥片	ホルンフェルス		-96433.050	44740.220	84.005	1.27	1.67	0.25	0.50	参考石器資料
1596	G4-2	Vc	ML2	B－1596	剥片	ホルンフェルス	参考54	-96428.000	44731.000	84.230	3.50	4.45	1.03	14.80	参考接合資料
1602	G3-4	Vc	MB1	B－1602	チップ	ホルンフェルス		-96413.020	44735.800	84.405					
1603	G3-4	Vc	MB1	B－1603	チップ	ホルンフェルス		-96413.150	44735.770	84.356					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1604	G3-4	Vc	MB1	B－1604	チップ	ホルンフェルス		-96412.850	44735.220	84.309					
1605	G3-1	Vc	MB1	B－1605	チップ	ホルンフェルス		-96411.780	44734.800	84.308					
1606	G3-4	Vc	MB1	B－1606	チップ	ホルンフェルス		-96412.070	44735.150	84.293					
1607	G3-4	Vc	MB1	B－1607	チップ	ホルンフェルス		-96412.480	44735.100	84.309					
1617	G3-4	Vc	MB1	B－1617	チップ	ホルンフェルス		-96413.740	44735.320	84.325					
1619	G3-4	Vc	MB1	B－1619	剥片	ホルンフェルス		-96413.500	44735.030	84.330					
1621	G3-4	Vc	MB1	B－1621	剥片	ホルンフェルス		-96413.190	44735.180	84.367					
1623	G3-4	Vc	MB1	B－1623	チップ	ホルンフェルス		-96412.090	44735.550	84.278					
1624	G3-4	Vc	MB1	B－1624	チップ	ホルンフェルス		-96413.300	44735.990	84.344					
1628	H4-3	Vc	MB1	B－1628	剥片	ホルンフェルス	参考31	-96425.490	44747.310	84.260	1.70	3.00	1.39	6.50	参考接合資料
1629	H4-3	Vc	MB1	B－1629	剥片	ホルンフェルス		-96425.600	44746.730	84.200					
1630	H4-3	Vc	MB1	B－1630	剥片	ホルンフェルス		-96426.400	44746.780	84.235					
1632	G3-4	Vc	MB1	B－1632	剥片	ホルンフェルス		-96412.750	44736.480	84.292	3.18	2.63	0.80	5.30	参考石器資料
1634	G5-3	Vc	MB1	B－1634	剥片	ホルンフェルス		-96435.820	44738.220	84.190	4.32	2.31	0.50	5.90	参考石器資料
1643	G5-2	Vc	MB1	B－1643	チップ	ホルンフェルス		-96438.610	44734.420	84.190					
1645	H5-4	Vc	MB1	B－1645	剥片	ホルンフェルス		-96431.800	44745.730	84.253	3.59	3.37	0.92	15.50	参考石器資料
1647	H4-3	Vc	MB1	B－1647	剥片	ホルンフェルス		-96426.700	44745.980	84.257					
1649	H4-2	Vc	MB1	B－1649	剥片	ホルンフェルス		-96427.780	44744.680	84.198	1.08	1.60	4.65	0.70	参考石器資料
1651	H4-2	Vc	MB1	B－1651	剥片	ホルンフェルス		-96427.600	44744.080	84.254					
1652	H4-2	Vc	MB1	B－1652	剥片	ホルンフェルス		-96427.010	44743.880	84.230					
1658	G5-1	Vc	MB1	B－1658	剥片	ホルンフェルス		-96432.620	44733.310	84.234	5.73	6.04	2.26	71.30	参考石器資料
1659	G5-1	Vc	MB1	B－1659	剥片	ホルンフェルス		-96432.870	44733.890	84.250	3.44	2.41	0.85	4.10	参考石器資料
1664	F4-4	Vc	MB1	B－1664	剥片	ホルンフェルス		-96422.740	44729.300	84.368					
1667	G4-1	Vc	MB1	B－1667	チップ	ホルンフェルス		-96420.460	44731.300	84.277					
1668	G5-3	Vc	MB1	B－1668	剥片	ホルンフェルス		-96438.620	44736.950	84.107					
1673	G6-4	Vc	MB1	B－1673	剥片	ホルンフェルス		-96440.950	44735.080	84.019	10.09	6.01	2.40	137.30	参考石器資料
1674	G5-2	Vc	MB1	B－1674	チップ	ホルンフェルス		-96435.450	44734.600	84.050					
1679	G5-3	Vc	MB1	B－1679	チップ	ホルンフェルス		-96436.000	44737.000	84.219					
1680	G5-3	Vc	MB1	B－1680	チップ	ホルンフェルス		-96437.000	44736.000	84.225					
1683	F3-4	Vc	MB1	B－1683	剥片	ホルンフェルス	参考45	-96411.900	44725.180	84.478	6.75	4.95	1.78	73.10	参考接合資料
1684	F3-1	Vc	MB1	B－1684	剥片	ホルンフェルス	参考45	-96411.510	44724.400	84.508	3.00	4.65	1.40	19.00	参考接合資料
1687	F3-3	Vc	MB1	B－1687	チップ	ホルンフェルス		-96415.710	44725.740	84.433					
1692	F3-1	Vc	MB1	B－1692	剥片	ホルンフェルス		-96412.820	44723.470	84.397	8.14	4.88	1.87	68.50	参考石器資料
1694	E3-1	Vc	MB1	B－1694	剥片	ホルンフェルス		-96411.860	44713.500	84.345	8.31	4.03	2.19	58.80	参考石器資料
1700	H4-3	Vc	MB1	B－1700	剥片	ホルンフェルス		-96429.190	44745.200	84.036	1.38	1.79	0.33	0.70	参考石器資料
1704	H4-4	Vc	MB1	B－1704	剥片	ホルンフェルス		-96420.790	44745.980	84.263					
1707	G4-2	VI	ML2	B－1707	剥片	ホルンフェルス		-96428.800	44732.510	84.137					
1708	G4-2	VI	ML2	B－1708	剥片	ホルンフェルス	参考54	-96429.200	44732.200	84.175	2.20	2.70	1.27	7.30	参考接合資料
1709	G4-2	VI	ML2	B－1709	剥片	ホルンフェルス	参考54	-96429.200	44732.100	84.158	1.75	3.20	1.26	6.70	参考接合資料
1400	G4-3	Vc	MB1	B－1400	剥片	流紋岩		-96434.770	44739.530	84.057					
1521	G3-4	Vc	MB1	B－1521	石核	流紋岩		-96414.650	44736.560	84.054					
1565	H5-4	Vc	MB1	B－1565	剥片	流紋岩		-96431.620	44745.900	84.254					
1646	H4-3	Vc	MB1	B－1646	剥片	尾鈴山酸性岩類		-96427.370	44745.920	84.300	3.45	4.01	0.50	6.60	参考石器資料
＜旧石器時代　第Ⅳ文化層　石器観察表＞															
40	B6-3	Va	ML1下	A－ 40	剥片	頁岩		-96447.300	44685.950	82.703					
57	B6-3	Va上	ML1下	A－ 57	剥片	頁岩		-96446.180	44688.180	83.035	6.32	3.68	0.93	19.40	参考石器資料
77	B6-1	Va	ML1下	A－ 77	剥片	頁岩		-96441.330	44683.940	83.518	4.40	11.80	4.50	210.30	参考石器資料
149	B5-3	Va	ML1下	A－ 149	剥片	頁岩		-96439.700	44685.490	83.722	6.08	9.10	1.90	86.40	参考石器資料
210	B5-4	Va上	ML1下	A－ 210	剥片	頁岩		-96433.500	44688.250	84.695	1.47	1.74	4.70	1.20	参考石器資料
263	C5-4	Va上	ML1下	A－ 263	剥片	頁岩		-96433.080	44699.460	84.292					
265	C4-3	Va	ML1下	A－ 265	剥片	頁岩	参考1	-96425.150	44698.050	84.558	5.55	2.85	1.00	16.80	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
266	C4-4	Va	ML1下	A－ 266	剥片	頁岩	参考1	-96424.740	44697.550	85.164	2.35	5.03	1.48	11.70	参考接合資料
336	E5-3	Vb上	Kr-Kb	A－ 336	剥片	頁岩		-96436.130	44718.550	84.211	8.83	4.19	1.45	42.00	参考石器資料
377	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 377	剥片	頁岩	参考7	-96433.050	44703.040	84.057	1.85	4.70	0.99	5.10	参考接合資料
378	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 378	剥片	頁岩	参考7	-96432.940	44703.050	84.049	7.65	7.05	2.44	110.40	参考接合資料
422	C4-4	Va下	ML1下	A－ 422	剥片	頁岩	参考1	-96424.100	44698.150	84.438	5.75	4.40	1.85	40.60	参考接合資料
423	C4-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 423	剥片	頁岩		-96424.650	44698.360	84.414	1.91	1.97	6.85	2.60	参考石器資料
424	C4-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 424	剥片	頁岩	参考1	-96424.220	44698.020	84.271					参考接合資料
425	E7-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 425	剥片	頁岩	参考1	-96453.100	44717.100	84.414	3.65	5.45	3.00	54.00	参考接合資料
426	C4-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 426	剥片	頁岩	参考1	-96424.400	44697.960	84.271	7.05	4.55	3.05	109.10	参考接合資料
427	C4-4	Va上	ML1下	A－ 427	剥片	頁岩	参考1	-96424.400	44697.700	84.515	5.95	3.40	1.80	41.30	参考接合資料
428	C4-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 428	剥片	頁岩	参考1	-96424.510	44698.220	84.427	6.55	3.80	2.83	93.40	参考接合資料
432	D4-3	Vb	Kr-Kb	A－ 432	剥片	頁岩		-96427.300	44708.790	84.247	2.08	2.20	0.91	2.40	参考石器資料
477	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 477	剥片	頁岩		-96437.500	44694.310	83.862					
482	D6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 482	剥片	頁岩		-96443.120	44704.320	83.700					
581	C5-1	Vb	Kr-Kb	A－ 581	剥片	頁岩	参考10	-96431.980	44692.580	84.235	3.15	4.90	0.99	14.90	参考接合資料
592	E6-3	Vb	Kr-Kb	A－ 592	剥片	頁岩		-96447.860	44716.080	83.846					
593	E6-3	Vb下	Kr-Kb	A－ 593	剥片	頁岩		-96445.580	44718.100	83.811					
603	C6-3	Va	ML1下	A－ 603	剥片	頁岩		-96448.180	44698.190	83.133					
613	B5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 613	剥片	頁岩		-96432.580	44689.860	84.173	1.01	1.54	0.25	0.30	参考石器資料
661	D7-2	Va	ML1下	A－ 661	剥片	頁岩		-96456.470	44702.920	82.870					
753	B5-2	Va	ML1下	A－ 753	剥片	頁岩		-96438.450	44683.270	83.568					
770	B6-4	Va	ML1下	A－ 770	剥片	頁岩	参考4	-96442.500	44689.950	83.340	4.05	4.80	0.90	15.40	参考接合資料
772	B6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 772	剥片	頁岩		-96442.480	44689.900	83.274					
781	B6-4	Va下	ML1下	A－ 781	剥片	頁岩		-96442.550	44689.070	83.302	3.42	1.67	0.49	2.40	参考石器資料
795	B6-4	Va	ML1下	A－ 795	剥片	頁岩		-96443.000	44688.300	83.355	6.21	3.51	2.22	57.60	参考石器資料
797	B6-4	Va	ML1下	A－ 797	剥片	頁岩	参考4	-96444.130	44687.100	83.137	4.50	5.70	0.99	22.90	参考接合資料
801	B6-4	Va	ML1下	A－ 801	剥片	頁岩		-96443.900	44688.820	83.233					
806	B6-4	Va	ML1下	A－ 806	剥片	頁岩		-96442.300	44687.700	83.327					
814	B5-3	Va下	ML1下	A－ 814	剥片	頁岩		-96440.000	44688.270	83.552					
830	B6-4	Va	ML1下	A－ 830	剥片	頁岩		-96443.400	44688.380	83.274	1.95	1.55	3.63	1.00	参考石器資料
832	B6-4	Va	ML1下	A－ 832	剥片	頁岩		-96443.620	44687.100	83.233					
834	B6-4	Va	ML1下	A－ 834	剥片	頁岩		-96442.320	44687.180	83.327	8.53	4.40	3.02	87.40	参考石器資料
839	B5-3	Va下	ML1下	A－ 839	剥片	頁岩		-96439.890	44687.000	83.514	7.90	7.86	3.46	207.00	参考石器資料
852	B6-1	Va	ML1下	A－ 852	剥片	頁岩		-96442.950	44683.420	83.133	1.64	2.45	4.73	1.60	参考石器資料
853	C5-1	Va	ML1下	A－ 853	剥片	頁岩	参考10	-96431.900	44692.100	84.044	2.25	5.05	1.44	19.00	参考接合資料
861	B6-4	Va	ML1下	A－ 861	剥片	頁岩		-96442.250	44689.100	83.341	3.37	2.71	7.50	5.80	参考石器資料
872	B6-1	Va	ML1下	A－ 872	剥片	頁岩		-96440.200	44681.340	83.332	11.45	6.44	2.86	118.90	参考石器資料
1100	D6-1	Vb	Kr-Kb	A－1100	剥片	頁岩		-96443.400	44704.700	83.592					
1253	G3-4	Vb上	Kr-Kb	B－1253	剥片	頁岩		-96412.920	44736.350	84.761					
1259	E3-1	Vb下	Kr-Kb	B－1259	剥片	頁岩		-96413.200	44712.030	84.642					
1260	F2-2	Va	ML1下	B－1260	剥片	頁岩		-96409.700	44720.600	84.836					
1262	F2-2	Vb中	Kr-Kb	B－1262	剥片	頁岩		-96405.720	44722.080	84.858					
1265	G3-4	Vb中	Kr-Kb	B－1265	剥片	頁岩		-96411.700	44735.670	84.685					
1266	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1266	剥片	頁岩		-96413.800	44737.150	84.523					
1267	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1267	剥片	頁岩		-96412.550	44737.830	84.512					
1269	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1269	剥片	頁岩		-96414.210	44736.900	84.502					
1271	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1271	剥片	頁岩	参考6	-96413.820	44736.500	84.545	2.85	1.30	0.67	3.20	参考接合資料
1283	I4-2	Vb下	Kr-Kb	B－1283	剥片	頁岩	参考14	-96425.850	44750.250	84.425	1.25	1.15	0.31	0.40	参考接合資料
1285	G3-3	Va	ML1下	B－1285	剥片	頁岩		-96417.040	44735.450	84.762					
1287	I4-2	Vb下	Kr-Kb	B－1287	剥片	頁岩		-96426.600	44751.800	84.357					
1299	I4-2	Vb下	Kr-Kb	B－1299	剥片	頁岩		-96425.120	44754.520	84.299					
1303	G3-3	Va	ML1下	B－1303	剥片	頁岩		-96417.840	44738.000	84.689					
1305	G3-3	Vb上	Kr-Kb	B－1305	剥片	頁岩		-96415.750	44735.600	84.644					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1306	I4-3	Vb下	Kr-Kb	B－1306	剥片	頁岩		-96425.690	44756.100	84.331					
1315	G4-1	Vb中	Kr-Kb	B－1315	剥片	頁岩		-96421.180	44732.650	84.567	4.41	1.85	0.54	3.60	参考石器資料
1316	G4-1	Vb中	Kr-Kb	B－1316	剥片	頁岩		-96420.380	44730.810	84.668	4.50	3.41	0.69	11.20	参考石器資料
1317	H5-1	Vb上	Kr-Kb	B－1317	剥片	頁岩		-96432.480	44743.270	85.065	6.69	6.10	1.76	83.20	参考石器資料
1320	F3-1	Vb下	Kr-Kb	B－1320	剥片	頁岩		-96413.050	44723.250	84.584	3.28	3.87	1.45	27.20	参考石器資料
1321	H4-3	Vb中	Kr-Kb	B－1321	剥片	頁岩		-96429.500	44745.200	84.401	2.13	1.78	4.31	1.50	参考石器資料
1323	F3-1	Vb中	Kr-Kb	B－1323	剥片	頁岩		-96410.700	44721.650	84.727					
1327	H5-1	Vb	Kr-Kb	B－1327	剥片	頁岩		-96432.410	44744.450	84.835					
1332	G5-4	Va	ML1下	B－1332	剥片	頁岩		-96434.700	44737.350	85.000					
1352	G4-2	Va下	ML1下	B－1352	剥片	頁岩		-96425.790	44730.300	84.527					
1357	G4-2	Va下	ML1下	B－1357	剥片	頁岩		-96429.650	44730.490	84.536	6.06	3.67	9.95	20.30	参考石器資料
1366	F4-1	Vb	Kr-Kb	B－1366	剥片	頁岩		-96424.700	44722.350	84.707					
1369	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1369	剥片	頁岩		-96412.450	44736.750	84.768					
1375	G5-1	Vb下	Kr-Kb	B－1375	剥片	頁岩		-96430.500	44733.300	84.915					
1376	G5-1	Vb下	Kr-Kb	B－1376	剥片	頁岩		-96430.500	44734.150	84.823					
1381	F5-4	Vb	Kr-Kb	B－1381	剥片	頁岩		-96430.400	44726.560	84.468	7.20	7.03	1.85	85.40	参考石器資料
1383	F4-3	Vb	Kr-Kb	B－1383	剥片	頁岩		-96429.900	44728.100	84.495					
1390	F4-4	Vb	Kr-Kb	B－1390	剥片	頁岩		-96420.400	44728.250	84.444	2.16	0.98	0.37	0.70	参考石器資料
1392	I4-1	Vb	Kr-Kb	B－1392	剥片	頁岩		-96424.410	44754.580	84.808					
1535	G3-4	Vc	MB1	B－1535	剥片	頁岩	参考6	-96412.940	44736.540	84.067	9.25	11.85	1.78	241.80	参考接合資料
1536	G3-4	Vc	MB1	B－1536	剥片	頁岩	参考6	-96412.790	44736.350	84.073	5.75	6.50	1.54	42.90	参考接合資料
1564	H4-3	Vc	MB1	B－1564	剥片	頁岩	参考14	-96429.200	44749.080	84.186	2.45	3.30	0.48	4.30	参考接合資料
1601	E3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1601	剥片	頁岩		-96410.550	44719.500	84.572					
329	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 329	剥片	砂質頁岩		-96439.450	44693.650	83.853	5.09	1.75	1.29	10.20	参考石器資料
1278	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1278	剥片	砂質頁岩		-96413.020	44737.230	84.485	1.18	1.73	0.34	0.70	参考石器資料
260	C5-3	Va上	ML1下	A－ 260	剥片	珪質頁岩		-96439.390	44698.390	84.020	1.74	2.90	0.98	5.30	参考石器資料
268	D7-4	Va	ML1下	A－ 268	剥片	珪質頁岩		-96454.290	44705.200	83.330	1.43	1.02	2.20	0.30	参考石器資料
379	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 379	剥片	珪質頁岩		-96433.690	44704.010	84.148	2.18	0.97	0.62	0.90	参考石器資料
510	D7-3	Va	ML1下	A－ 510	剥片	珪質頁岩		-96457.400	44709.090	83.451	2.02	2.65	0.72	2.90	参考石器資料
1379	F5-1	Vb	Kr-Kb	B－1379	剥片	珪質頁岩		-96431.020	44720.780	84.300	6.32	3.59	1.28	21.70	参考石器資料
1488	G3-4	Vc	MB1	B－1488	剥片	赤色頁岩	参考11	-96411.460	44735.250	84.147	1.05	1.75	0.24	0.20	参考接合資料
1368	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1368	剥片	赤色頁岩	参考11	-96411.700	44735.600	85.000	1.05	1.75	0.16	0.70	参考接合資料
42	D7-3	Va	ML1下	A－ 42	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96456.520	44708.010	83.422					
75	B5-2	Va	ML1下	A－ 75	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96439.000	44682.880	83.648					
102	E7-2	Va上	ML1下	A－ 102	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96458.850	44711.960	84.742					
131	D7-3	Va	ML1下	A－ 131	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.550	44709.900	84.557					
175	E7-1	Va上	ML1下	A－ 175	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96451.710	44712.020	84.883					
247	D7-4	Va	ML1下	A－ 247	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96454.760	44709.400	83.614					
256	C6-3	Va	ML1下	A－ 256	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96449.850	44696.970	82.958					
366	E7-1	Va上	ML1下	A－ 366	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96453.920	44711.980	83.790					
390	E7-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 390	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96452.040	44712.310	83.736					
395	E7-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 395	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96454.520	44711.950	83.719					
434	E7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 434	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96451.980	44718.500	83.791					
454	D6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 454	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96443.610	44702.510	83.601					
461	E7-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 461	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96454.800	44712.790	83.630					
470	E7-2	Vb上	Kr-Kb	A－ 470	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96455.050	44714.550	83.725					
486	D6-4	Vb下	Kr-Kb	A－ 486	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96442.780	44706.700	83.810					
487	D6-4	Vb下	Kr-Kb	A－ 487	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96444.210	44708.210	83.931					
507	E7-2	Va下	ML1下	A－ 507	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96456.740	44710.700	83.546					
532	D7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 532	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96452.130	44707.420	83.527					
538	D5-3	Vb上	Kr-Kb	A－ 538	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96437.920	44708.410	84.156					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備 考
595	E8-1	Va	ML1下	A－ 595	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96461.180	44710.760	83.394					
596	E8-1	Va	ML1下	A－ 596	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96461.380	44710.320	83.335					
608	C5-1	Vb下	Kr-Kb	A－ 608	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96433.540	44692.150	83.838					
751	B5-2	Va	ML1下	A－ 751	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96436.870	44684.170	83.563					
54	D8-3	Va上	ML1下	A－ 54	剥片	黒曜石（日東）		-96466.730	44707.520	82.804					
219	G6-1	Va	ML1下	A－ 219	剥片	黒曜石（日東）		-96441.380	44732.680	84.360					
1258	D4-4	Va	ML1下	B－1258	剥片	黒曜石（日東）		-96421.500	44706.100	84.678					
101	E7-2	Va	ML1下	A－ 101	剥片	黒曜石(針尾島)		-96458.760	44711.610	84.687					
138	D7-3	Va	ML1下	A－ 138	剥片	黒曜石(針尾島)		-96454.530	44709.000	83.559					
228	E7-4	Va上	ML1下	A－ 228	剥片	黒曜石(針尾島)		-96451.600	44718.620	84.002					
358	E7-1	Va下	ML1下	A－ 358	剥片	黒曜石(針尾島)		-96452.550	44712.570	83.809					
360	E7-1	Va下	ML1下	A－ 360	チップ	黒曜石(針尾島)		-96453.010	44713.020	83.760					
361	E7-1	Va上	ML1下	A－ 361	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.030	44712.920	83.865					
363	E7-1	Va上	ML1下	A－ 363	チップ	黒曜石(針尾島)		-96453.810	44712.800	83.828					
367	E7-1	Va上	ML1下	A－ 367	チップ	黒曜石(針尾島)		-96454.120	44711.980	83.755					
391	E7-1	Va下	ML1下	A－ 391	剥片	黒曜石(針尾島)		-96454.500	44714.720	83.655					
394	E7-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 394	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.820	44712.110	83.685					
396	E7-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 396	チップ	黒曜石(針尾島)		-96454.000	44711.780	83.642					
398	E7-1	Va上	ML1下	A－ 398	チップ	黒曜石(針尾島)		-96454.750	44711.220	83.723					
402	E7-4	Va上	ML1下	A－ 402	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.000	44717.300	83.871					
403	E7-4	Va上	ML1下	A－ 403	剥片	黒曜石(針尾島)		-96452.300	44718.100	83.956					
435	E7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 435	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.580	44718.770	83.845					
437	E7-2	Vb	Kr-Kb	A－ 437	剥片	黒曜石(針尾島)		-96454.950	44716.720	83.785					
439	E7-2	Vb	Kr-Kb	A－ 439	剥片	黒曜石(針尾島)		-96458.250	44713.390	83.601					
440	E7-2	Vb	Kr-Kb	A－ 440	剥片	黒曜石(針尾島)		-96458.680	44713.650	83.577					
441	E7-2	Vb	Kr-Kb	A－ 441	剥片	黒曜石(針尾島)		-96458.810	44713.620	83.567					
447	E8-1	Vb	Kr-Kb	A－ 447	剥片	黒曜石(針尾島)		-96461.570	44711.090	83.304					
457	C5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 457	チップ	黒曜石(針尾島)		-96435.300	44697.200	83.786					
462	E7-2	Va	ML1下	A－ 462	剥片	黒曜石(針尾島)		-96455.050	44713.500	83.808					
464	E7-2	Va	ML1下	A－ 464	剥片	黒曜石(針尾島)		-96455.490	44714.450	83.760					
467	E7-2	Vb下	Kr-Kb	A－ 467	チップ	黒曜石(針尾島)		-96455.310	44710.880	83.444					
474	E7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 474	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.470	44719.120	83.649					
475	E7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 475	剥片	黒曜石(針尾島)		-96453.000	44718.000	83.617					
528	D7-3	Vb	Kr-Kb	A－ 528	剥片	黒曜石(針尾島)		-96455.030	44709.220	83.478					
589	E7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 589	剥片	黒曜石(針尾島)		-96454.060	44716.560	83.745					
1279	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1279	剥片	黒曜石(針尾島)		-96412.380	44737.450	84.483					
370	E7-1	Va上	ML1下	A－ 370	剥片	黒曜石(上牛鼻)		-96454.810	44712.790	83.762					
400	E7-3	Va上	ML1下	A－ 400	剥片	黒曜石(上牛鼻)		-96455.210	44715.710	83.788					
183	D7-2	Va	ML1下	A－ 183	剥片	黒曜石（姫島）		-96456.020	44701.960	83.964					
401	E7-4	Va上	ML1下	A－ 401	剥片	黒曜石		-96453.150	44716.380	83.890					
412	D6-1	Va上	ML1下	A－ 412	剥片	黒曜石		-96444.120	44701.780	83.635					
864	E7-1	Va	ML1下	A－ 864	剥片	黒曜石		-96452.950	44713.180	83.600					
1252	I4-3	Va上	ML1下	B－1252	細石刃	黒曜石		-96426.000	44757.270	84.702					
73	A6-4	Va	ML1下	A－ 73	剥片	砂岩		-96440.330	44678.490	82.970	4.47	4.92	1.58	37.00	参考石器資料
90	B6-1	Va	ML1下	A－ 90	剥片	砂岩		-96442.050	44682.360	83.330	6.64	3.46	2.26	51.40	参考石器資料
152	A5-3	Va	ML1下	A－ 152	剥片	砂岩		-96437.800	44677.900	83.298	9.63	2.99	1.71	48.70	参考石器資料
279	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 279	剥片	砂岩		-96441.980	44712.000	83.968	2.28	3.67	0.65	4.90	参考石器資料
380	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 380	剥片	砂岩		-96433.800	44703.580	84.095	3.76	2.02	0.85	7.50	参考石器資料
410	D6-2	Va中	ML1下	A－ 410	剥片	砂岩	参考62	-96448.230	44702.590	83.429					参考接合資料
445	E7-2	Vb下	Kr-Kb	A－ 445	剥片	砂岩		-96457.150	44712.300	83.542	5.51	5.40	3.21	93.80	参考石器資料
450	D6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 450	剥片	砂岩		-96441.590	44702.000	83.713	2.22	2.43	1.21	6.80	参考石器資料
518	D7-3	Va	ML1下	A－ 518	敲石	砂岩		-96455.980	44706.050	83.139	11.00	4.50	4.60	248.50	参考石器資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
560	C5-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 560	剥片	砂岩		-96430.250	44697.880	84.275	11.50	7.90	3.20	312.30	参考石器資料
576	G6-1	Va	ML1下	A－ 576	剥片	砂岩		-96440.050	44730.780	84.438					
577	F5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 577	剥片	砂岩		-96435.890	44722.710	84.353	1.92	1.34	0.52	1.20	参考石器資料
624	E5-4	Vb下	Kr-Kb	A－ 624	剥片	砂岩		-96435.850	44718.750	84.025					
625	E5-4	Vb下	Kr-Kb	A－ 625	台石	砂岩		-96436.130	44718.480	84.051					
664	D7-2	Va	ML1下	A－ 664	敲石	砂岩		-96456.720	44702.680	82.822	3.65	3.85	2.87	57.90	参考石器資料
677	D6-2	Va	ML1下	A－ 677	剥片	砂岩	参考62	-96447.860	44703.150	83.449					参考接合資料
731	B5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 731	剥片	砂岩		-96431.990	44689.370	84.055	6.90	3.50	1.07	31.60	参考石器資料
734	C5-2	Va上	ML1下	A－ 734	剥片	砂岩		-96439.000	44693.000	83.800	2.63	2.57	1.87	14.60	参考石器資料
736	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 736	剥片	砂岩		-96436.680	44686.440	83.680	9.90	6.56	4.61	310.20	参考石器資料
768	C6-1	Va	ML1下	A－ 768	剥片	砂岩		-96443.340	44690.720	83.345	6.49	7.98	5.11	237.80	参考石器資料
780	B6-4	Va	ML1下	A－ 780	剥片	砂岩		-96442.040	44689.210	83.492	11.40	5.20	4.10	197.70	参考石器資料
800	B6-4	Va	ML1下	A－ 800	剥片	砂岩		-96443.300	44687.150	83.218	5.86	3.76	3.64	71.80	参考石器資料
823	C6-1	Va	ML1下	A－ 823	剥片	砂岩		-96444.410	44689.180	83.346	5.78	7.94	2.80	146.20	参考石器資料
1288	H4-4	Vb中	Kr-Kb	B－1288	剥片	砂岩		-96423.500	44749.300	84.479	3.05	1.97	0.79	5.50	参考石器資料
1308	I4-3	Vb下	Kr-Kb	B－1308	剥片	ホルンフェルス	参考60	-96425.190	44755.460	84.300	1.40	2.30	0.39	1.40	参考接合資料
1324	H4-3	Vb中	Kr-Kb	B－1324	剥片	砂岩		-96427.680	44746.600	84.395	0.89	2.26	0.33	0.70	参考石器資料
1325	H4-3	Vb中	Kr-Kb	B－1325	剥片	砂岩		-96426.150	44746.400	84.424	1.67	1.33	0.31	0.60	参考石器資料
1350	G5-3	Vb下	Kr-Kb	B－1350	剥片	砂岩		-96436.380	44738.310	84.700	2.82	1.39	0.53	1.90	参考石器資料
1378	F5-1	Vb中	Kr-Kb	B－1378	剥片	砂岩		-96431.850	44723.640	84.360	1.18	1.73	0.34	0.70	参考石器資料
1386	G3-3	Vb下	Kr-Kb	B－1386	剥片	砂岩		-96414.000	44736.000	84.450					
333	F5-2	Va下	ML1下	A－ 333	剥片	細粒砂岩		-96437.890	44723.460	84.257	3.66	1.57	0.88	4.30	参考石器資料
93	B6-1	Va	ML1下	A－ 93	チップ	チャート		-96442.290	44682.100	83.108					
261	C5-3	Va上	ML1下	A－ 261	剥片	チャート		-96438.500	44697.200	84.022					
262	C5-3	Va上	ML1下	A－ 262	剥片	チャート		-96436.390	44695.550	84.118					
264	C4-3	Va上	ML1下	A－ 264	剥片	チャート		-96425.500	44696.700	84.522					
1281	I4-3	Vb	Kr-Kb	B－1281	チップ	チャート		-96425.010	44755.680	84.509					
31	C6-2	Vb	Kr-Kb	A－ 31	剥片	ホルンフェルス		-96446.320	44692.020	83.065					
38	C6-2	Vb	Kr-Kb	A－ 38	剥片	ホルンフェルス		-96447.030	44692.680	82.827					
46	D7-3	Vb上	Kr-Kb	A－ 46	剥片	ホルンフェルス		-96457.980	44708.570	83.321	2.40	2.33	0.36	2.00	参考石器資料
49	D7-3	Vb中	Kr-Kb	A－ 49	剥片	ホルンフェルス		-96458.000	44707.000	83.070					
55	B6-3	Va	ML1下	A－ 55	石核	ホルンフェルス		-96445.450	44689.000	83.102					
58	B6-3	Ⅳ	ML1上	A－ 58	剥片	ホルンフェルス	参考21	-96447.260	44688.070	82.888	4.30	2.65	0.92	13.40	参考接合資料
66	D8-3	Va上	ML1下	A－ 66	剥片	ホルンフェルス		-96469.450	44707.380	82.628	3.65	6.02	1.67	25.20	参考石器資料
78	B6-1	Va上	ML1下	A－ 78	剥片	ホルンフェルス		-96441.710	44682.800	83.326	2.09	1.49	0.31	0.70	参考石器資料
79	B6-1	Va上	ML1下	A－ 79	剥片	ホルンフェルス		-96441.850	44683.300	83.356	5.65	3.58	1.76	34.20	参考石器資料
81	A6-4	Va	ML1下	A－ 81	剥片	ホルンフェルス		-96441.210	44678.570	82.948	6.14	4.46	3.65	47.90	参考石器資料
82	A6-4	Va	ML1下	A－ 82	剥片	ホルンフェルス		-96441.680	44678.470	82.898	4.67	2.71	1.39	1.20	参考石器資料
91	B6-1	Va	ML1下	A－ 91	剥片	ホルンフェルス		-96442.100	44682.460	83.325	2.78	5.86	1.95	42.50	参考石器資料
92	B6-1	Va	ML1下	A－ 92	剥片	ホルンフェルス		-96442.550	44682.400	83.229	5.20	4.33	3.60	59.50	参考石器資料
150	B6-1	Va	ML1下	A－ 150	剥片	ホルンフェルス		-96441.500	44683.900	83.495	5.56	3.84	1.43	29.70	参考石器資料
154	A6-4	Va上	ML1下	A－ 154	剥片	ホルンフェルス		-96444.720	44677.280	82.278	1.92	1.37	0.36	0.80	参考石器資料
157	C7-3	Va	ML1下	A－ 157	剥片	ホルンフェルス		-96456.550	44696.730	82.064	3.17	2.01	0.75	3.40	参考石器資料
165	B6-2	Va	ML1下	A－ 165	剥片	ホルンフェルス		-96446.970	44682.650	82.457					
182	D4-2	Va上	ML1下	A－ 182	剥片	ホルンフェルス		-96429.680	44705.050	84.418					
208	C6-1	Va上	ML1下	A－ 208	台石	ホルンフェルス		-96444.710	44694.670	83.427	3.91	4.49	1.77	26.90	参考石器資料
257	C7-1	Va	ML1下	A－ 257	剥片	ホルンフェルス		-96450.500	44692.900	82.568	3.73	2.61	0.58	5.50	参考石器資料
281	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 281	剥片	ホルンフェルス		-96443.300	44714.490	83.978	10.25	4.50	2.25	70.10	参考石器資料
282	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 282	剥片	ホルンフェルス		-96443.380	44713.480	83.936					
283	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 283	剥片	ホルンフェルス	参考46	-96443.100	44712.510	83.930	5.35	6.60	1.96	71.40	参考接合資料
284	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 284	剥片	ホルンフェルス		-96443.310	44712.300	83.998	7.76	5.36	1.40	56.90	参考石器資料
285	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 285	剥片	ホルンフェルス		-96443.400	44712.250	83.946					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
287	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 287	剥片	ホルンフェルス		-96443.200	44711.120	83.922	8.01	8.69	2.22	117.50	参考石器資料
288	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 288	剥片	ホルンフェルス		-96443.660	44710.990	84.028	3.32	10.39	1.75	71.20	参考石器資料
294	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 294	剥片	ホルンフェルス		-96443.300	44711.700	83.887					
299	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 299	剥片	ホルンフェルス		-96443.000	44714.560	84.033					
300	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 300	剥片	ホルンフェルス		-96442.960	44714.290	84.031	4.43	4.18	1.49	22.60	参考石器資料
303	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 303	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96440.900	44714.520	84.043	10.04	8.35	3.65	288.30	参考接合資料
311	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 311	剥片	ホルンフェルス	参考46	-96443.590	44712.030	83.898	5.15	5.75	1.19	24.20	参考接合資料
312	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 312	剥片	ホルンフェルス		-96444.220	44711.980	83.906					
314	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 314	剥片	ホルンフェルス		-96442.800	44713.100	84.001					
315	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 315	剥片	ホルンフェルス		-96443.520	44713.130	83.867					
317	E6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 317	剥片	ホルンフェルス		-96443.500	44714.090	83.977	8.04	6.16	2.57	78.60	参考石器資料
318	D5-4	Vb中	Kr-Kb	A－ 318	剥片	ホルンフェルス		-96433.830	44705.120	84.072					
319	D4-2	Vb上	Kr-Kb	A－ 319	剥片	ホルンフェルス		-96427.460	44702.400	84.285	1.51	1.41	0.51	0.90	参考石器資料
320	D5-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 320	剥片	ホルンフェルス		-96430.900	44707.250	84.180	3.61	4.97	0.87	14.70	参考石器資料
326	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 326	剥片	ホルンフェルス		-96436.870	44693.780	83.837					
328	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 328	剥片	ホルンフェルス		-96437.290	44694.710	83.902					
331	B6-2	Va上	ML1下	A－ 331	剥片	ホルンフェルス		-96446.080	44684.300	82.858	2.91	1.69	0.63	2.50	参考石器資料
338	E6-4	Vb中	Kr-Kb	A－ 338	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96441.290	44715.250	84.113	7.93	7.20	4.18	157.30	参考接合資料
339	E6-4	Vb中	Kr-Kb	A－ 339	剥片	ホルンフェルス		-96441.920	44715.580	84.067	4.23	2.05	0.60	5.80	参考石器資料
341	E6-4	Vb中	Kr-Kb	A－ 341	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96441.580	44716.050	84.089	3.38	3.32	1.52	21.50	参考接合資料
344	E6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 344	剥片	ホルンフェルス		-96441.320	44716.880	84.136					
345	E6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 345	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96440.950	44716.470	84.134	7.62	9.20	2.92	196.20	参考接合資料
347	E6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 347	剥片	ホルンフェルス		-96443.040	44718.080	83.962					
349	E6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 349	剥片	ホルンフェルス		-96444.760	44718.190	84.057					
354	E7-1	Va上	ML1下	A－ 354	剥片	ホルンフェルス		-96451.650	44712.430	83.878	8.44	5.87	2.44	100.70	参考石器資料
371	E7-1	Va上	ML1下	A－ 371	剥片	ホルンフェルス		-96454.650	44710.710	83.731					
373	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 373	剥片	ホルンフェルス	参考37	-96430.790	44702.920	84.149	4.55	4.60	0.97	19.70	参考接合資料
374	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 374	剥片	ホルンフェルス	参考39	-96431.550	44703.150	84.135	4.85	8.40	1.75	77.60	参考接合資料
375	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 375	剥片	ホルンフェルス		-96431.910	44702.620	84.140	5.90	7.74	1.38	74.60	参考石器資料
376	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 376	剥片	ホルンフェルス		-96431.890	44703.150	84.178					
381	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 381	剥片	ホルンフェルス		-96433.620	44704.610	84.177	6.24	2.85	1.36	25.50	参考石器資料
382	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 382	剥片	ホルンフェルス	参考38	-96433.450	44704.630	84.118	3.30	3.25	0.64	7.10	参考接合資料
383	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 383	剥片	ホルンフェルス	参考38	-96433.820	44704.380	84.118	3.20	3.15	0.82	7.00	参考接合資料
384	D5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 384	剥片	ホルンフェルス	参考37	-96432.320	44704.520	84.140	4.15	5.50	1.07	18.40	参考接合資料
385	D5-2	Va	ML1下	A－ 385	剥片	ホルンフェルス		-96437.500	44701.650	84.102					
386	E6-4	Vb中	Kr-Kb	A－ 386	剥片	ホルンフェルス		-96440.190	44719.470	84.173	3.86	3.75	1.33	18.40	参考石器資料
387	E6-4	Va中	ML1下	A－ 387	剥片	ホルンフェルス		-96440.060	44719.460	84.202	5.91	5.46	1.83	39.00	参考石器資料
389	E6-4	Vb下	Kr-Kb	A－ 389	剥片	ホルンフェルス		-96442.020	44715.120	83.978					
404	E7-1	Va下	ML1下	A－ 404	剥片	ホルンフェルス		-96452.500	44712.790	83.818					
405	E7-1	Va下	ML1下	A－ 405	剥片	ホルンフェルス		-96452.950	44712.950	83.713	4.44	3.04	0.88	10.40	参考石器資料
406	E7-4	Va上	ML1下	A－ 406	剥片	ホルンフェルス		-96453.030	44719.420	83.841					
415	D6-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 415	剥片	ホルンフェルス		-96441.450	44705.110	83.789	8.80	3.52	1.53	41.50	参考石器資料
417	D6-1	Va下	ML1下	A－ 417	剥片	空晶石ホルンフェルス		-96442.450	44704.040	83.820					
418	C5-3	Vb中	Kr-Kb	A－ 418	剥片	ホルンフェルス		-96439.250	44695.020	83.759	3.00	2.14	0.38	2.10	参考石器資料
419	C5-3	Vb中	ML1下	A－ 419	剥片	ホルンフェルス	参考47	-96439.160	44695.520	83.600	4.15	3.15	0.79	9.00	参考接合資料
433	E7-4	Va下	ML1下	A－ 433	剥片	ホルンフェルス		-96451.430	44718.460	83.888					
443	E7-2	Vb下	Kr-Kb	A－ 443	剥片	ホルンフェルス		-96457.210	44711.800	83.552	6.45	8.35	2.00	55.00	参考石器資料
444	E7-2	Vb下	Kr-Kb	A－ 444	剥片	ホルンフェルス	参考36	-96457.230	44712.250	83.553	6.75	7.80	1.19	62.10	参考接合資料
446	E7-2	Vb	Kr-Kb	A－ 446	剥片	ホルンフェルス	参考48	-96458.300	44711.140	83.488	6.65	9.40	3.33	206.70	参考接合資料
449	D5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 449	剥片	ホルンフェルス		-96439.040	44705.140	83.910	10.35	3.60	2.05	73.70	参考石器資料
456	D6-2	Vb	Kr-Kb	A－ 456	剥片	ホルンフェルス		-96446.410	44700.400	83.377	9.29	496.00	0.55	50.90	参考石器資料
460	D5-1	Vb	Kr-Kb	A－ 460	剥片	ホルンフェルス	参考39	-96434.530	44704.830	84.126	4.30	4.25	0.63	12.50	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
478	C5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 478	剥片	ホルンフェルス		-96439.600	44695.800	83.685					
489	D6-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 489	剥片	ホルンフェルス		-96442.380	44708.620	83.985	1.29	1.43	4.27	0.70	参考石器資料
494	C4-3	Vb	Kr-Kb	A－ 494	剥片	ホルンフェルス		-96429.460	44696.710	84.140					
506	E7-2	Va上	ML1下	A－ 506	剥片	ホルンフェルス	参考48	-96457.220	44711.190	83.543	7.30	8.65	1.84	154.00	参考接合資料
515	D7-3	Vb	Kr-Kb	A－ 515	剥片	ホルンフェルス		-96458.760	44708.680	83.231	2.58	2.29	0.60	＊	参考石器資料
516	D7-3	Vb	Kr-Kb	A－ 516	剥片	ホルンフェルス		-96455.520	44708.680	83.382	2.58	2.29	0.60	3.70	参考石器資料
522	E7-2	Va	ML1下	A－ 522	剥片	ホルンフェルス	参考36	-96456.020	44710.590	83.572	7.65	4.45	1.33	41.90	参考接合資料
536	D7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 536	剥片	ホルンフェルス	参考67	-96452.930	44707.450	83.561	5.50	7.20	2.10	58.20	参考接合資料
540	C6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 540	剥片	ホルンフェルス		-96441.430	44698.390	83.707					
542	C6-4	Va	ML1下	A－ 542	剥片	ホルンフェルス		-96443.200	44696.120	83.535	6.89	9.16	3.08	140.10	参考石器資料
543	C6-4	Va	ML1下	A－ 543	剥片	ホルンフェルス		-96442.420	44695.580	83.630					
544	C6-4	Va	ML1下	A－ 544	剥片	ホルンフェルス		-96442.450	44695.560	83.644					
545	C6-4	Va	ML1下	A－ 545	剥片	ホルンフェルス		-96442.540	44695.520	83.624					
552	C5-3	Va	ML1下	A－ 552	剥片	ホルンフェルス	参考50	-96439.880	44695.720	83.893	6.00	4.15	1.15	23.50	参考接合資料
553	C5-3	Va	ML1下	A－ 553	剥片	ホルンフェルス	参考47	-96439.850	44695.490	83.888	3.30	4.75	0.44	8.50	参考接合資料
554	C5-3	Va	ML1下	A－ 554	剥片	ホルンフェルス		-96439.880	44695.670	83.887	3.65	3.58	0.41	5.40	参考石器資料
557	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 557	剥片	ホルンフェルス	参考68	-96438.000	44692.350	83.815	5.30	3.40	2.01	20.90	参考接合資料
558	C5-3	Va	ML1下	A－ 558	剥片	ホルンフェルス		-96438.090	44699.910	84.087	5.20	5.93	1.59	67.80	参考石器資料
559	D5-1	Va	ML1下	A－ 559	剥片	ホルンフェルス		-96434.260	44700.320	84.143					
562	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 562	剥片	ホルンフェルス		-96438.360	44694.070	83.717	10.70	12.60	7.00	1086.90	参考石器資料
567	D6-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 567	剥片	ホルンフェルス	参考51	-96440.600	44706.570	84.018	6.70	4.50	0.95	27.30	参考接合資料
569	F6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 569	剥片	ホルンフェルス		-96441.180	44726.890	84.316	4.51	6.71	1.30	32.00	参考石器資料
572	F6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 572	剥片	ホルンフェルス		-96440.080	44727.620	84.300	6.27	8.33	2.03	101.10	参考石器資料
573	F6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 573	剥片	ホルンフェルス		-96440.160	44726.020	84.164	7.11	3.27	1.28	34.10	参考石器資料
579	D5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 579	剥片	ホルンフェルス		-96436.790	44708.080	84.010	2.66	5.18	1.46	17.70	参考石器資料
580	D5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 580	剥片	ホルンフェルス	参考39	-96435.520	44704.120	84.045	6.50	10.00	1.56	94.80	参考接合資料
582	C5-1	Vb	Kr-Kb	A－ 582	剥片	ホルンフェルス		-96433.410	44693.680	84.137	7.60	4.70	1.87	52.50	参考石器資料
584	C5-2	Vb上	Kr-Kb	A－ 584	剥片	ホルンフェルス		-96433.580	44691.310	84.270	5.96	3.85	0.96	30.90	参考石器資料
586	E5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 586	剥片	ホルンフェルス		-96435.700	44716.180	84.232					
588	F6-2	Vb	Kr-Kb	A－ 588	剥片	ホルンフェルス		-96445.950	44724.120	84.199					
594	F6-2	Vb	Kr-Kb	A－ 594	剥片	ホルンフェルス	参考58	-96446.730	44722.880	84.224	7.20	3.95	0.91	27.90	参考接合資料
597	E8-1	Va	ML1下	A－ 597	剥片	ホルンフェルス	参考49	-96462.100	44710.210	83.264	7.40	7.70	1.88	106.60	参考接合資料
598	D8-4	Va	ML1下	A－ 598	剥片	ホルンフェルス	参考49	-96461.890	44709.580	83.228	7.45	5.45	1.75	78.60	参考接合資料
599	C6-4	Va	ML1下	A－ 599	剥片	ホルンフェルス	参考58	-96441.400	44695.120	83.679	3.45	3.00	0.93	5.40	参考接合資料
601	D6-2	Vb下	Kr-Kb	A－ 601	剥片	ホルンフェルス		-96445.980	44700.400	83.237	8.67	6.24	1.76	99.10	参考石器資料
606	C5-1	Vb上	Kr-Kb	A－ 606	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96430.050	44694.400	84.271	6.35	6.25	2.66	83.90	参考接合資料
615	B5-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 615	剥片	ホルンフェルス	参考56	-96432.350	44688.920	84.131	8.55	10.15	2.96	230.50	参考接合資料
616	C6-2	Va上	ML1下	A－ 616	剥片	ホルンフェルス		-96449.870	44690.140	82.470	3.03	2.99	0.96	5.90	参考石器資料
617	C6-2	Vb上	Kr-Kb	A－ 617	剥片	ホルンフェルス		-96449.900	44690.200	82.465					
621	F6-1	Vb下	Kr-Kb	A－ 621	剥片	ホルンフェルス		-96441.050	44724.510	84.013	8.03	3.22	1.47	40.00	参考石器資料
622	F6-1	Vb下	Kr-Kb	A－ 622	剥片	ホルンフェルス		-96441.660	44723.190	84.022					
626	D7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 626	スクレイパー	ホルンフェルス	参考40	-96452.490	44708.730	83.509	8.43	6.10	2.85	189.80	参考接合資料
627	E7-1	Va	ML1下	A－ 627	剥片	ホルンフェルス		-96454.000	44710.500	83.590	4.56	6.40	1.01	29.00	参考石器資料
628	D7-4	Va	ML1下	A－ 628	剥片	ホルンフェルス		-96454.350	44709.980	83.587	6.71	2.56	1.27	22.30	参考石器資料
630	D6-4	Vb上	Kr-Kb	A－ 630	剥片	ホルンフェルス		-96444.800	44705.750	83.807					
631	D7-4	Vb	Kr-Kb	A－ 631	剥片	ホルンフェルス	参考40	-96451.950	44707.810	83.514	8.53	5.42	2.63	136.80	参考接合資料
633	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 633	剥片	ホルンフェルス	参考44	-96439.120	44689.370	83.747	5.50	6.25	1.45	50.90	参考接合資料
636	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 636	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96437.090	44690.150	83.874	4.00	6.15	1.66	42.80	参考接合資料
637	B5-3	Vb下	Kr-Kb	A－ 637	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96436.680	44689.930	83.835	11.10	4.60	2.32	110.70	参考接合資料
638	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 638	剥片	ホルンフェルス	参考41	-96436.690	44689.690	83.897	5.30	4.95	1.63	41.30	参考接合資料
640	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 640	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96436.080	44689.820	83.832	7.50	9.10	2.93	174.40	参考接合資料
641	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 641	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96436.080	44689.750	83.852	4.25	6.75	1.83	46.40	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
643	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 643	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96435.780	44689.500	83.830	11.45	11.45	3.51	484.70	参考接合資料
644	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 644	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96435.480	44689.600	83.830	12.00	9.40	3.42	373.70	参考接合資料
645	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 645	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96435.780	44689.230	83.870	9.80	8.25	4.92	434.60	参考接合資料
646	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 646	剥片	ホルンフェルス	参考44	-96435.630	44688.570	83.829	8.20	7.85	2.49	128.00	参考接合資料
647	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 647	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96436.420	44688.500	83.838	7.15	2.90	1.55	35.20	参考接合資料
648	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 648	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96436.470	44688.730	83.867	3.35	3.65	1.32	15.20	参考接合資料
651	D8-4	Va	ML1下	A－ 651	剥片	ホルンフェルス		-96462.850	44709.320	83.198	4.82	8.90	1.07	42.20	参考石器資料
652	D8-1	Va	ML1下	A－ 652	剥片	ホルンフェルス	参考20	-96461.440	44708.620	83.117	6.30	4.45	3.12	72.50	参考接合資料
653	D8-1	Va	ML1下	A－ 653	剥片	ホルンフェルス	参考20	-96461.280	44708.580	83.097	6.95	5.85	3.10	138.20	参考接合資料
654	D7-3	Va	ML1下	A－ 654	剥片	ホルンフェルス	参考27	-96457.820	44709.530	83.416	3.30	5.05	1.22	24.40	参考接合資料
655	D7-3	Va	ML1下	A－ 655	剥片	ホルンフェルス	参考27	-96457.190	44706.840	83.149	4.65	5.40	1.54	54.70	参考接合資料
656	D7-3	Va	ML1下	A－ 656	剥片	ホルンフェルス		-96456.920	44706.900	83.126	4.89	5.81	2.12	44.90	参考石器資料
657	D7-4	Va	ML1下	A－ 657	剥片	ホルンフェルス	参考40	-96454.030	44707.090	83.472	3.00	2.70	1.32	12.00	参考接合資料
658	D7-4	Va	ML1下	A－ 658	剥片	ホルンフェルス	参考67	-96452.090	44706.830	83.428	7.25	6.40	1.78	56.30	参考接合資料
660	D7-2	Va	ML1下	A－ 660	剥片	ホルンフェルス	参考28	-96455.280	44703.250	82.987	7.55	4.00	1.92	69.50	参考接合資料
662	D7-2	Va	ML1下	A－ 662	剥片	ホルンフェルス	参考28	-96455.980	44702.600	82.863	8.15	3.25	2.90	84.70	参考接合資料
663	D7-2	Va	ML1下	A－ 663	剥片	ホルンフェルス		-96456.120	44702.480	82.857					
667	C7-4	Va	ML1下	A－ 667	剥片	ホルンフェルス		-96459.580	44699.590	82.207	3.41	2.74	0.82	8.00	参考石器資料
668	D7-1	Va	ML1下	A－ 668	剥片	ホルンフェルス		-96450.320	44703.210	83.410					
672	C7-4	Va	ML1下	A－ 672	剥片	ホルンフェルス		-96453.960	44699.070	82.542	8.66	6.81	3.41	266.90	参考石器資料
681	C7-4	Va下	ML1下	A－ 681	剥片	ホルンフェルス		-96451.700	44699.420	82.775					
684	F7-1	Va	ML1下	A－ 684	剥片	ホルンフェルス		-96451.480	44721.100	84.877					
685	F6-2	Va	ML1下	A－ 685	剥片	ホルンフェルス		-96448.780	44722.880	85.164					
693	C6-1	Va上	ML1下	A－ 693	剥片	ホルンフェルス		-96442.420	44694.100	83.615					
694	C6-1	Va	ML1下	A－ 694	剥片	ホルンフェルス		-96444.690	44693.720	83.330	1.45	2.78	0.55	2.40	参考石器資料
697	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 697	剥片	ホルンフェルス		-96438.690	44687.420	83.677	7.18	3.99	1.61	38.10	参考石器資料
698	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 698	剥片	ホルンフェルス		-96439.090	44687.330	83.652					
699	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 699	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96438.080	44688.450	83.784	4.95	2.00	0.94	9.40	参考接合資料
700	B5-3	Va	ML1下	A－ 700	剥片	ホルンフェルス	参考44	-96438.400	44688.600	83.663	7.95	8.60	4.70	283.40	参考接合資料
701	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 701	剥片	ホルンフェルス	参考41	-96438.570	44688.600	83.746	3.35	3.65	0.96	11.30	参考接合資料
702	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 702	剥片	ホルンフェルス		-96438.790	44689.920	83.741					
717	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 717	剥片	ホルンフェルス	参考44	-96435.100	44688.920	83.882	6.30	8.75	3.03	236.80	参考接合資料
719	B5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 719	剥片	ホルンフェルス		-96434.960	44689.330	83.782	3.41	3.04	1.60	14.00	参考石器資料
727	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 727	剥片	ホルンフェルス		-96436.270	44687.780	83.854					
728	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 728	剥片	ホルンフェルス		-96435.800	44687.200	83.780					
730	B5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 730	剥片	ホルンフェルス	参考44	-96436.490	44685.620	83.727	2.95	4.83	3.22	43.00	参考接合資料
735	C5-2	Vb	Kr-Kb	A－ 735	剥片	ホルンフェルス		-96438.030	44692.380	83.792	4.98	5.65	3.85	50.60	参考石器資料
737	C6-1	Va	ML1下	A－ 737	剥片	ホルンフェルス		-96444.760	44691.540	83.220	2.49	2.88	0.71	4.00	参考石器資料
739	C6-1	Va	ML1下	A－ 739	剥片	ホルンフェルス		-96443.870	44693.800	83.413	9.03	7.52	2.21	153.40	参考石器資料
744	C6-1	Va	ML1下	A－ 744	剥片	ホルンフェルス	参考50	-96440.510	44694.950	83.799	4.25	3.50	1.32	18.60	参考接合資料
745	B5-2	Va	ML1下	A－ 745	剥片	ホルンフェルス		-96436.700	44683.680	83.672	4.99	4.48	1.57	38.30	参考石器資料
747	A5-3	Va	ML1下	A－ 747	剥片	ホルンフェルス		-96437.950	44677.380	83.070	6.80	4.00	1.76	43.00	参考石器資料
748	B5-3	Va下	ML1下	A－ 748	剥片	ホルンフェルス		-96438.200	44686.720	83.617	5.95	4.04	2.62	72.40	参考石器資料
767	C6-1	Va	ML1下	A－ 767	剥片	ホルンフェルス		-96444.600	44693.600	83.304	16.90	6.60	5.03	544.70	参考石器資料
776	C6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 776	剥片	ホルンフェルス	参考21	-96442.300	44690.180	83.314	5.15	3.25	0.90	16.60	参考接合資料
777	C6-1	Vb	Kr-Kb	A－ 777	剥片	ホルンフェルス		-96442.230	44690.140	83.316	2.95	2.22	0.55	3.40	参考石器資料
783	B6-4	Va	ML1下	A－ 783	剥片	ホルンフェルス	参考21	-96444.410	44688.820	83.289	4.90	3.25	0.98	20.00	参考接合資料
785	B6-4	Va	ML1下	A－ 785	剥片	ホルンフェルス		-96443.870	44688.890	83.217					
786	B6-4	Va	ML1下	A－ 786	剥片	ホルンフェルス		-96443.970	44688.720	83.250	3.92	5.76	2.16	39.00	参考石器資料
787	B6-4	Va	ML1下	A－ 787	剥片	ホルンフェルス		-96443.870	44689.000	83.224	5.53	3.71	1.70	32.70	参考石器資料
789	B6-4	Va	ML1下	A－ 789	剥片	ホルンフェルス		-96443.780	44688.490	83.223	5.67	3.35	1.25	19.70	参考石器資料
790	B6-4	Va	ML1下	A－ 790	剥片	ホルンフェルス	参考22	-96443.550	44688.480	83.186	4.40	3.35	1.83	32.00	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
792	B6-4	Va	ML1下	A－ 792	剥片	ホルンフェルス	参考29	-96443.780	44688.210	83.184	5.90	5.60	1.26	43.60	参考接合資料
793	B6-4	Va	ML1下	A－ 793	剥片	ホルンフェルス	参考22	-96443.550	44688.200	83.245	7.55	12.35	3.85	371.60	参考接合資料
799	B6-4	Va	ML1下	A－ 799	剥片	ホルンフェルス	参考29	-96443.100	44688.220	83.240	7.05	6.85	2.59	84.90	参考接合資料
804	B6-4	Va	ML1下	A－ 804	石核	ホルンフェルス	参考22	-96442.880	44688.250	83.360	7.80	10.75	6.52	587.20	参考接合資料
807	B6-4	Va	ML1下	A－ 807	剥片	ホルンフェルス		-96441.770	44687.080	83.405	4.36	7.68	2.38	70.90	参考石器資料
810	B6-4	Va	ML1下	A－ 810	剥片	ホルンフェルス		-96440.510	44688.490	83.515					
812	B6-4	Va	ML1下	A－ 812	剥片	ホルンフェルス		-96440.120	44686.780	83.620	4.38	4.65	1.74	42.50	参考石器資料
813	B6-4	Va上	ML1下	A－ 813	剥片	ホルンフェルス		-96440.110	44688.800	83.794	4.60	2.73	2.35	35.60	参考石器資料
815	B6-4	Va上	ML1下	A－ 815	剥片	ホルンフェルス	参考26	-96440.480	44689.180	83.680	10.30	5.60	1.08	76.60	参考接合資料
816	C5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 816	剥片	ホルンフェルス	参考68	-96439.780	44691.820	83.698	3.70	2.50	0.55	6.40	参考接合資料
817	C5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 817	剥片	ホルンフェルス		-96439.700	44691.720	83.668	6.08	3.37	1.99	41.00	参考石器資料
819	B7-4	Va下	ML1下	A－ 819	剥片	ホルンフェルス		-96450.760	44689.240	82.188					
820	B6-3	Va下	ML1下	A－ 820	剥片	ホルンフェルス		-96446.250	44687.350	82.665	13.50	3.36	2.45	103.40	参考石器資料
825	B5-2	Va下	ML1下	A－ 825	剥片	ホルンフェルス		-96437.320	44681.830	83.535	8.15	7.90	2.30	150.20	参考石器資料
827	C6-1	Va	ML1下	A－ 827	剥片	ホルンフェルス		-96444.850	44693.680	83.276	12.50	6.10	3.50	205.50	参考石器資料
829	C6-1	Va	ML1下	A－ 829	剥片	ホルンフェルス		-96443.800	44688.900	83.690					
837	B6-4	Va	ML1下	A－ 837	剥片	ホルンフェルス		-96441.980	44687.980	83.369					
838	B6-4	Va下	ML1下	A－ 838	剥片	ホルンフェルス		-96440.280	44686.900	83.486	4.26	4.32	4.45	90.40	参考石器資料
841	B5-3	Va上	ML1下	A－ 841	剥片	ホルンフェルス		-96438.990	44686.350	83.741	1.93	1.50	0.53	1.70	参考石器資料
842	B5-2	Va	ML1下	A－ 842	剥片	ホルンフェルス		-96438.830	44684.180	83.538	7.88	7.60	2.12	124.20	参考石器資料
843	B6-4	Va上	ML1下	A－ 843	剥片	ホルンフェルス		-96440.180	44686.080	83.700	6.72	8.39	1.85	116.50	参考石器資料
844	B5-3	Va上	ML1下	A－ 844	剥片	ホルンフェルス		-96439.760	44685.950	83.686	2.97	3.30	1.93	16.50	参考石器資料
845	B6-4	Va上	ML1下	A－ 845	剥片	ホルンフェルス		-96444.900	44686.200	83.098	2.51	2.50	0.89	4.60	参考石器資料
846	C6-1	Va	ML1下	A－ 846	剥片	ホルンフェルス		-96440.400	44694.050	83.673	1.51	3.54	0.87	3.70	参考石器資料
854	E6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 854	剥片	ホルンフェルス		-96440.320	44719.950	84.095	2.64	2.44	0.59	4.10	参考石器資料
856	D5-3	Va	ML1下	A－ 856	剥片	ホルンフェルス	参考51	-96437.910	44708.420	84.087					参考接合資料
860	E5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 860	剥片	ホルンフェルス	参考52	-96430.400	44716.060	84.318	3.65	4.20	0.89	9.70	参考接合資料
862	B6-4	Va	ML1下	A－ 862	剥片	ホルンフェルス		-96442.750	44688.500	83.297	3.04	6.10	1.21	17.30	参考石器資料
866	B6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 866	剥片	ホルンフェルス		-96443.400	44687.200	83.185	8.13	8.97	2.43	137.30	参考石器資料
870	B6-1	Va下	ML1下	A－ 870	剥片	ホルンフェルス		-96440.200	44683.700	83.017					
1031	B5-1	Va	ML1下	A－1031	剥片	ホルンフェルス		-96434.090	44683.080	83.701	11.50	6.05	3.60	255.70	参考石器資料
1101	D6-4	Vb	Kr-Kb	A－1101	剥片	ホルンフェルス		-96443.300	44705.100	83.837					
1268	E3-4	Vb中	Kr-Kb	B－1268	剥片	ホルンフェルス		-96412.780	44715.250	84.626	7.37	4.01	1.35	35.60	参考石器資料
1273	G3-4	Vb下	Kr-Kb	B－1273	剥片	ホルンフェルス		-96414.320	44736.210	84.521	1.88	1.35	0.37	1.00	参考石器資料
1274	I4-3	Vb上	Kr-Kb	B－1274	剥片	ホルンフェルス		-96426.000	44758.090	84.605	4.49	2.64	0.98	10.80	参考石器資料
1284	F3-4	Va中	ML1下	B－1284	剥片	ホルンフェルス		-96410.950	44727.230	84.809	5.30	3.13	0.14	20.40	参考石器資料
1286	I4-2	Vb下	Kr-Kb	B－1286	石核	ホルンフェルス		-96425.490	44751.530	84.348					
1289	I4-2	Vb下	Kr-Kb	B－1289	剥片	ホルンフェルス		-96425.030	44754.190	84.329	3.21	6.30	2.03	40.00	参考石器資料
1290	I4-1	Vb下	Kr-Kb	B－1290	剥片	ホルンフェルス	参考65	-96424.530	44753.270	84.327	5.25	2.90	1.21	19.30	参考接合資料
1291	I4-1	Vb下	Kr-Kb	B－1291	剥片	ホルンフェルス		-96424.720	44754.710	84.309	3.67	5.08	1.93	39.80	参考石器資料
1293	I4-1	Vb下	Kr-Kb	B－1293	剥片	ホルンフェルス		-96424.300	44754.630	84.361	3.41	2.40	1.39	10.70	参考石器資料
1294	I4-1	Vb下	Kr-Kb	B－1294	剥片	ホルンフェルス	参考60	-96424.450	44754.900	84.307	4.00	5.35	1.64	21.20	参考接合資料
1295	I4-4	Vb下	Kr-Kb	B－1295	剥片	ホルンフェルス	参考60	-96424.310	44755.140	84.309	8.90	6.25	2.47	88.80	参考接合資料
1296	H4-4	Vb	Kr-Kb	B－1296	剥片	ホルンフェルス		-96423.000	44749.000	84.575	1.83	1.37	0.41	0.80	参考石器資料
1300	I4-3	Vb下	Kr-Kb	B－1300	剥片	ホルンフェルス		-96425.050	44755.280	84.301	7.10	7.55	2.65	104.00	参考接合資料
1301	I4-3	Vb下	Kr-Kb	B－1301	チップ	ホルンフェルス		-96425.340	44755.420	84.307					
1304	G3-3	Va	ML1下	B－1304	剥片	ホルンフェルス		-96417.050	44737.090	84.631	4.19	3.55	0.88	14.80	参考石器資料
1319	H4-3	Vb中	Kr-Kb	B－1319	剥片	ホルンフェルス		-96429.310	44745.600	84.458	4.73	4.57	1.17	26.30	参考石器資料
1329	H4-2	Va	ML1下	B－1329	剥片	ホルンフェルス	参考30	-96427.800	44742.850	84.619	3.00	3.35	7.13	5.90	参考接合資料
1330	F4-4	Vb下	Kr-Kb	B－1330	剥片	ホルンフェルス		-96420.920	44729.720	84.468					
1331	G5-4	Va	ML1下	B－1331	剥片	ホルンフェルス		-96432.550	44737.580	85.097	7.50	7.39	1.81	90.00	参考石器資料
1334	G5-3	Va	ML1下	B－1334	剥片	ホルンフェルス		-96436.450	44739.420	84.717	3.72	1.35	0.76	3.30	参考石器資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1335	G5-3	Va	ML1下	B－1335	剥片	ホルンフェルス		-96436.300	44736.560	84.863	2.40	1.27	0.50	1.40	参考石器資料
1336	G5-4	Vb	Kr-Kb	B－1336	剥片	ホルンフェルス		-96432.700	44738.050	85.039					
1337	H4-2	Va	ML1下	B－1337	剥片	ホルンフェルス		-96428.100	44743.800	84.448					
1338	F4-3	Va	ML1下	B－1338	剥片	ホルンフェルス	参考24	-96426.900	44729.600	84.601	4.00	3.75	0.81	11.50	参考接合資料
1339	F4-3	Va下	ML1下	B－1339	剥片	ホルンフェルス	参考53	-96429.400	44729.940	84.537	4.90	4.35	1.66	24.10	参考接合資料
1340	G4-2	Va下	ML1下	B－1340	剥片	ホルンフェルス	参考53	-96429.320	44730.070	84.540	5.00	3.85	1.57	35.80	参考接合資料
1343	G5-4	Vb中	Kr-Kb	B－1343	剥片	ホルンフェルス		-96434.590	44735.120	84.853	4.04	6.43	1.41	37.80	参考石器資料
1346	G4-2	Va	ML1下	B－1346	剥片	ホルンフェルス	参考24	-96427.700	44723.300	84.579	4.15	2.90	0.51	7.20	参考接合資料
1353	G4-2	Vb	Kr-Kb	B－1353	剥片	ホルンフェルス		-96428.850	44730.450	84.549	5.58	5.42	1.58	32.80	参考石器資料
1354	G4-2	Va	ML1下	B－1354	剥片	ホルンフェルス		-96428.490	44730.650	84.576					
1360	G3-4	Vb	Kr-Kb	B－1360	チップ	ホルンフェルス	参考30	-96412.250	44735.520	84.440	1.55	1.30	4.89	0.90	参考接合資料
1361	F4-4	Vb	Kr-Kb	B－1361	剥片	ホルンフェルス		-96423.090	44725.800	84.400	8.59	4.03	2.67	66.70	参考石器資料
1363	G5-2	Va	ML1下	B－1363	剥片	ホルンフェルス		-96435.070	44731.250	85.025	5.98	4.38	3.10	48.80	参考石器資料
1364	F4-1	Vb	Kr-Kb	B－1364	剥片	ホルンフェルス		-96424.620	44723.680	84.740	6.80	4.25	1.06	35.90	参考石器資料
1367	G5-2	Va	ML1下	B－1367	剥片	ホルンフェルス		-96437.300	44732.400	84.777	2.27	1.58	0.42	1.00	参考石器資料
1370	F5-4	Va	ML1下	B－1370	剥片	ホルンフェルス		-96431.620	44726.860	85.106	3.07	5.64	1.15	16.10	参考石器資料
1372	G5-2	Va下	ML1下	B－1372	剥片	ホルンフェルス		-96436.190	44731.200	84.747					
1373	F5-1	Va	ML1下	B－1373	剥片	ホルンフェルス		-96432.950	44721.900	84.826	4.14	4.09	1.51	20.50	参考石器資料
1380	E4-3	Va	ML1下	B－1380	剥片	ホルンフェルス		-96427.550	44715.300	84.455					
1382	F5-4	Vb	Kr-Kb	B－1382	剥片	ホルンフェルス		-96430.020	44725.980	84.501	5.22	5.65	1.57	42.10	参考石器資料
1385	F5-3	Vb	Kr-Kb	B－1385	剥片	ホルンフェルス		-96436.120	44727.680	84.432	5.96	3.41	0.73	16.30	参考石器資料
1403	I4-1	Vc	MB1	B－1403	剥片	ホルンフェルス	参考65	-96424.700	44751.300	84.305	5.15	3.50	1.30	25.90	参考接合資料
1696	E4-3	Vc	MB1	B－1696	剥片	ホルンフェルス	参考52	-96429.700	44716.000	84.281	6.20	6.35	1.10	46.40	参考接合資料
5	E5-3	Vb上	Kr-Kb	A－ 5	剥片	流紋岩		-96439.100	44718.020	84.425					
565	D5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 565	剥片	流紋岩		-96436.190	44706.520	83.575	3.90	4.88	1.62	23.60	参考石器資料
566	D5-3	Vb	Kr-Kb	A－ 566	剥片	流紋岩		-96436.310	44706.510	84.047	7.10	7.39	2.25	46.90	参考石器資料
570	F6-4	Vb	Kr-Kb	A－ 570	剥片	流紋岩		-96440.920	44727.380	84.234	5.09	7.39	2.25	46.90	参考石器資料
273	C6-1	Va上	ML1下	A－ 273	剥片	凝灰岩		-96444.900	44690.450	83.345	1.49	2.67	0.25	0.80	参考石器資料
533	D7-4	Va下	ML1下	A－ 533	剥片	凝灰岩	接合資料20と同一個体	-96452.800	44707.900	83.552	4.38	2.50	1.27	13.50	
＜縄文時代早期　石器観察表＞															
194	C5-3	Ⅳ	ML1上	A－ 194	チップ	頁岩		-96432.500	44699.900	84.359					
610	B5-4	Va	ML1下	A－ 610	剥片	頁岩	参考９	-96430.720	44689.640	84.260	2.05	2.80	0.36	2.30	参考接合資料
612	B5-4	Vb	Kr-Kb	A－ 612	剥片	頁岩	参考９	-96432.190	44689.880	84.205	1.50	1.05	0.37	0.70	参考接合資料
196	C5-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 196	剥片	頁岩	参考９	-96430.000	44690.550	84.878	3.55	2.85	0.48	5.80	参考接合資料
212	C6-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 212	剥片	頁岩		-96440.700	44692.320	84.338					
192	D5-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 192	剥片	頁岩		-96431.190	44703.500	84.395					
174	D5-1	Ⅳ	ML1上	A－ 174	剥片	頁岩	参考８	-96443.290	44703.500	84.360	1.75	2.90	0.90	6.30	参考接合資料
10	D5-2	Ⅲ	MB0	A－ 10	剥片	頁岩		-96437.840	44703.030	84.410					
217	D6-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 217	剥片	頁岩		-96444.590	44709.680	84.124					
44	D7-3	Ⅳ	ML1上	A－ 44	剥片	頁岩		-96457.560	44707.740	83.359	5.96	5.20	0.63	21.20	参考石器資料
271	E5-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 271	剥片	頁岩		-96435.520	44711.380	84.338					
1243	F3-1	Ⅳ下	ML1上	B－1243	剥片	頁岩		-96411.700	44720.400	84.940					
1224	F3-1	Ⅳ	ML1上	B－1224	剥片	頁岩		-96412.910	44724.300	84.958	1.85	7.29	7.01	2.60	参考石器資料
3	F6-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 3	剥片	頁岩		-96444.800	44724.700	84.224	7.21	5.71	1.76	53.10	参考石器資料
178	F6-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 178	剥片	頁岩		-96440.950	44726.860	84.456					
1165	G3-3	Ⅳ上	ML1上	B－1165	剥片	頁岩	参考５	-96418.680	44736.650	84.948	2.45	3.80	0.72	8.80	参考接合資料
1166	G3-3	Ⅳ上	ML1上	B－1166	剥片	頁岩	参考５	-96417.380	44736.720	84.963	3.75	6.00	0.86	22.80	参考接合資料
1211	G3-3	Ⅳ	ML1上	B－1211	剥片	頁岩	参考５	-96418.140	44737.400	84.925	3.35	2.00	0.32	3.10	参考接合資料
1223	G3-4	Ⅳ上	ML1上	B－1223	剥片	頁岩		-96413.250	44738.640	84.892	3.68	3.44	0.64	14.90	参考石器資料
1160	G4-2	Ⅲ	MB0	B－1160	剥片	頁岩		-96427.400	44730.750	84.900	2.20	3.09	0.59	3.90	参考石器資料
1144	G4-3	Ⅳ下	MB0	B－1144	剥片	頁岩		-96427.650	44737.450	84.857	6.20	2.01	1.03	11.50	参考石器資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1183	G5-3	Ⅳ	ML1上	B－1183	剥片	頁岩		-96437.590	44736.010	84.574					
1182	G5-3	Ⅳ	ML1上	B－1182	剥片	頁岩		-96435.600	44737.800	84.650	1.47	2.77	0.67	2.00	参考石器資料
1154	H3-2	Ⅳ上	ML1上	B－1154	剥片	頁岩		-96418.010	44741.850	84.858	8.67	5.70	2.10	85.30	参考石器資料
1146	H4-2	Ⅲ	MB0	B－1146	剥片	頁岩		-96425.560	44741.120	84.845	8.40	5.10	3.10	126.50	参考石器資料
1147	H4-2	Ⅲ	MB0	B－1147	剥片	頁岩		-96426.120	44742.310	84.824	8.29	6.39	1.90	101.60	参考石器資料
1222	I4-4	Ⅳ	ML1上	B－1222	剥片	頁岩		-96421.850	44755.700	84.760	4.86	3.84	1.50	23.20	参考石器資料
458	C5-4	Ⅴa	ML1上	A－ 458	剥片	頁岩	参考８	-96432.300	44698.590	84.302	1.55	1.75	0.54	1.40	参考接合資料
409	D6-2	Ⅲ	MB0	A－ 409	剥片	頁岩		-96447.400	44703.320	83.441					
141	B5-4	Ⅲ下	MB0	A－ 141	剥片	頁岩	参考63	-96432.310	44689.490	85.399	2.20	2.15	0.47	3.30	参考接合資料
143	B5-4	Ⅲ中	MB0	A－ 143	剥片	頁岩	参考63	-96432.950	44689.760	85.411	4.40	3.35	1.27	19.10	参考接合資料
144	B5-3	Ⅲ上	MB0	A－ 144	剥片	頁岩	参考63	-96436.520	44689.530	85.288	1.55	1.35	0.52	1.10	参考接合資料
190	D5-1	Ⅴa	ML1下	A－ 190	剥片	頁岩	参考63	-96433.380	44702.910	84.304	1.80	1.85	0.88	2.50	参考接合資料
200	C5-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 200	剥片	頁岩	参考63	-96433.210	44690.660	84.238	2.00	2.25	1.43	6.50	参考接合資料
492	D6-4	Ⅴa下	ML1下	A－ 492	剥片	頁岩	参考63	-96441.290	44709.590	84.046	0.96	1.31	0.35	0.40	参考接合資料
713	B5-3	Ⅴb	Kr-Kb	A－ 713	剥片	頁岩	参考63	-96437.350	44687.360	83.700	1.60	1.30	0.53	1.00	参考接合資料
583	C5-1	Ⅴb上	Kr-Kb	A－ 583	剥片	頁岩	参考63	-96430.720	44691.280	84.270	2.40	1.75	1.08	4.00	参考接合資料
145	B5-3	Ⅲ上	MB0	A－ 145	剥片	砂質頁岩		-96436.880	44689.050	85.143	1.93	3.35	0.97	4.00	参考石器資料
1105	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1105	剥片	砂質頁岩		-96451.100	44697.200	82.890					
1106	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1106	剥片	砂質頁岩		-96451.720	44697.300	82.886					
1107	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1107	剥片	砂質頁岩		-96451.380	44697.200	82.908					
1108	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1108	剥片	砂質頁岩		-96451.330	44697.340	82.910					
1110	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1110	剥片	砂質頁岩		-96451.450	44696.830	82.912					
1113	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1113	剥片	砂質頁岩		-96451.710	44697.200	82.869					
1114	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1114	剥片	砂質頁岩		-96451.550	44697.150	82.869					
1115	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1115	剥片	砂質頁岩		-96451.690	44696.800	82.840					
1116	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1116	剥片	砂質頁岩		-96451.790	44697.050	82.850					
1117	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1117	剥片	砂質頁岩		-96451.780	44696.980	82.850					
1118	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1118	剥片	砂質頁岩		-96451.870	44697.180	82.824					
1120	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1120	剥片	砂質頁岩		-96452.000	44697.010	82.855					
1121	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1121	剥片	砂質頁岩		-96452.150	44696.980	82.783					
1122	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1122	剥片	砂質頁岩		-96452.000	44696.450	82.815					
1124	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1124	剥片	砂質頁岩		-96452.300	44696.670	82.803					
1125	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1125	剥片	砂質頁岩		-96452.310	44696.380	82.763					
1126	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1126	剥片	砂質頁岩		-96452.400	44696.700	82.718					
1127	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1127	剥片	砂質頁岩		-96452.390	44696.320	82.698					
1128	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1128	剥片	砂質頁岩		-96452.190	44696.230	82.677					
1130	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1130	剥片	砂質頁岩		-96451.800	44696.350	82.807					
1131	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1131	剥片	砂質頁岩		-96452.580	44696.450	82.700					
1132	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1132	剥片	砂質頁岩		-96452.050	44696.300	82.773					
1133	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1133	剥片	砂質頁岩		-96451.610	44697.150	82.853					
1109	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1109	剥片	砂質頁岩	参考２	-96451.550	44697.150	82.885	3.30	1.05	0.47	1.80	参考接合資料
1111	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1111	剥片	砂質頁岩	参考３	-96451.290	44697.080	82.846	2.30	2.85	1.42	2.20	参考接合資料
1112	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1112	剥片	砂質頁岩	参考２	-96451.890	44697.020	82.904	3.60	1.75	0.61	4.50	参考接合資料
1119	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1119	剥片	砂質頁岩	参考３	-96452.350	44696.400	82.830	4.05	3.55	0.67	10.30	参考接合資料
1123	C7-4	Ⅲ	MB0	A－1123	剥片	砂質頁岩	参考２	-96451.800	44696.400	82.730	4.70	1.75	0.87	5.20	参考接合資料
1159	F5-4	Ⅳ上	ML1上	B－1159	剥片	砂質頁岩		-96432.500	44726.200	84.731	1.71	2.77	0.67	2.90	参考石器資料
1143	G4-3	Ⅳ上	ML1上	B－1143	剥片	砂質頁岩		-96429.290	44735.950	84.831	2.77	3.44	1.64	17.30	参考石器資料
1200	G5-1	Ⅲ	ML1上	B－1200	剥片	砂質頁岩		-96432.430	44734.980	84.745	1.99	3.24	0.49	2.70	参考石器資料
1167	I4-2	Ⅲ	MB0	B－1167	剥片	砂質頁岩		-96425.130	44752.870	84.875	1.52	1.16	0.60	0.70	参考石器資料
1148	F4-2	Ⅲ	MB0	B－1148	剥片	珪質頁岩		-96427.480	44722.400	84.754	4.25	2.27	2.40	24.40	参考石器資料
1246	I4-2	Ⅳ下	ML1上	B－1246	剥片	珪質頁岩		-96425.800	44753.520	84.763					
11	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 11	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.150	44708.810	83.532					

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
12	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 12	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.050	44707.730	83.512					
13	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 13	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96455.130	44707.520	83.546					
14	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 14	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96456.900	44705.950	83.358					
48	D7-3	Ⅳ下	ML1上	A－ 48	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.270	44706.610	83.331					
60	D7-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 60	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96451.170	44708.790	83.698					
88	F5-2	Ⅲ上	MB0	A－ 88	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96435.740	44723.490	84.675					
103	E7-2	Ⅲ	MB0	A－ 103	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96456.130	44712.650	84.845					
135	E7-2	Ⅳ	ML1上	A－ 135	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.650	44713.690	84.720					
136	E7-2	Ⅳ	ML1上	A－ 136	チップ	黒曜石(桑ノ木津留)		-96457.610	44714.390	84.748					
169	D6-1	Ⅳ	ML1上	A－ 169	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96444.030	44702.100	84.964					
170	D5-3	Ⅳ	ML1上	A－ 170	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96438.600	44706.370	85.317					
205	D5-3	Ⅳ	ML1上	A－ 205	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96432.700	44709.080	84.295					
216	D6-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 216	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96443.200	44708.180	84.085					
1192	G5-1	Ⅳ上	ML1上	B－1192	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96432.480	44730.290	84.737					
1193	G5-1	Ⅳ	ML1上	B－1193	剥片	黒曜石(桑ノ木津留)		-96432.600	44732.610	84.794					
104	E7-2	Ⅲ	MB0	A－ 104	剥片	黒曜石(針尾島)		-96457.300	44714.470	84.856					
229	E7-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 229	剥片	黒曜石(針尾島)		-96452.960	44717.300	84.055					
253	C6-3	Ⅳ上	ML1上	A－ 253	剥片	黒曜石(針尾島)		-96446.560	44699.590	83.558					
105	E7-2	Ⅲ	MB0	A－ 105	剥片	黒曜石(針尾島)		-96457.230	44712.760	84.760					
133	E7-1	Ⅳ	ML1上	A－ 133	チップ	黒曜石(針尾島)		-96452.350	44710.950	84.893					
134	E7-1	Ⅳ	ML1上	A－ 134	剥片	黒曜石(針尾島)		-96452.100	44713.450	84.911					
163	E7-2	Ⅳ	ML1上	A－ 163	剥片	黒曜石(針尾島)		-96456.000	44713.000	83.644					
173	D6-1	Ⅳ	ML1上	A－ 173	剥片	黒曜石(針尾島)		-96441.320	44704.080	84.930					
193	C5-4	Ⅳ	ML1上	A－ 193	剥片	黒曜石(針尾島)		-96430.220	44699.560	84.475					
220	G5-2	Ⅲ中	MB0	A－ 220	剥片	黒曜石(針尾島)		-96439.620	44730.260	84.496					
237	E7-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 237	チップ	黒曜石(針尾島)		-96455.900	44715.600	83.902					
8	D5-2	Ⅲ	MB0	A－ 8	剥片	黒曜石		-96435.400	44701.150	84.397					
191	D5-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 191	剥片	砂岩		-96432.300	44700.050	84.440	1.72	1.58	1.29	2.80	参考石器資料
1239	F5-1	Ⅳ下	ML1上	B－1239	剥片	砂岩		-96431.850	44724.720	84.667	1.01	1.81	0.93	1.50	参考石器資料
1230	G4-2	Ⅳ中	ML1上	B－1230	剥片	砂岩		-96426.320	44730.900	84.785					
4	F6-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 4	剥片	砂泥岩		-96444.600	44724.680	84.246	4.22	5.74	2.07	36.20	参考石器資料
239	E7-4	Ⅳ下	ML1上	A－ 239	剥片	砂泥岩		-96452.300	44715.080	83.968					
222	F6-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 222	剥片	チャート		-96447.210	44724.700	84.235					
223	F6-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 223	剥片	チャート		-96447.070	44724.100	84.234					
224	F6-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 224	剥片	チャート		-96447.680	44722.680	84.248					
226	F6-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 226	剥片	チャート		-96449.980	44722.600	84.140					
227	F6-2	Ⅳ下	ML1上	A－ 227	剥片	チャート		-96448.940	44722.950	84.205					
142	B5-4	Ⅲ下	MB0	A－ 142	剥片	赤色チャート		-96432.850	44688.500	85.330	2.25	1.02	0.55	0.80	参考石器資料
197	B5-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 197	剥片	赤色チャート		-96430.670	44689.620	84.926	2.59	1.83	0.45	1.60	参考石器資料
198	B5-4	Ⅳ下	ML1上	A－ 198	剥片	赤色チャート		-96430.650	44689.250	84.870	2.00	2.22	1.01	2.60	参考石器資料
201	C5-1	Ⅳ下	ML1上	A－ 201	剥片	赤色チャート		-96432.760	44690.550	84.752					
1184	G5-3	Ⅳ	ML1上	B－1184	剥片	赤色チャート		-96435.680	44737.880	84.687	1.95	0.91	0.25	0.40	参考石器資料
1189	H5-2	Ⅳ	ML1上	B－1189	剥片	赤色チャート		-96435.180	44740.080	84.633					
15	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 15	剥片	ホルンフェルス		-96455.950	44706.030	83.424	7.83	6.12	1.91	77.20	参考石器資料
16	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 16	剥片	ホルンフェルス	参考18	-96457.490	44707.900	83.429	2.60	6.75	1.96	42.00	参考接合資料
17	D7-3	Ⅲ	MB0	A－ 17	剥片	ホルンフェルス	参考32	-96457.750	44708.680	83.449	5.20	4.70	0.90	25.20	参考接合資料
18	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 18	剥片	ホルンフェルス	参考32	-96457.850	44708.900	83.460	5.45	4.50	0.79	21.00	参考接合資料
19	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 19	剥片	ホルンフェルス	参考36	-96457.600	44708.800	83.444	6.45	4.05	1.30	36.30	参考接合資料
21	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 21	剥片	ホルンフェルス		-96457.660	44708.990	83.433	7.33	5.25	0.99	39.00	参考石器資料
23	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 23	剥片	ホルンフェルス		-96458.750	44706.390	83.227	2.81	4.15	0.99	6.00	参考石器資料
24	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 24	剥片	ホルンフェルス		-96458.950	44707.250	83.402	8.77	3.54	1.30	29.30	参考石器資料
25	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 25	剥片	ホルンフェルス	参考18	-96456.020	44708.660	83.438	12.05	7.00	3.61	359.50	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
26	D7-3	Ⅲ下	MB0	A－ 26	剥片	ホルンフェルス		-96455.820	44706.600	83.458	3.38	6.34	8.85	20.40	参考石器資料
27	C6-2	Ⅳ上	ML1上	A－ 27	剥片	ホルンフェルス		-96449.250	44692.690	82.938	12.20	7.00	3.65	305.60	参考石器資料
29	C6-2	Ⅲ下	MB0	A－ 29	剥片	ホルンフェルス		-96448.070	44693.030	83.038					
30	C6-2	Ⅲ下	MB0	A－ 30	剥片	ホルンフェルス		-96447.060	44692.160	83.185	3.97	3.72	0.70	9.50	参考石器資料
32	C6-2	Ⅲ下	MB0	A－ 32	剥片	ホルンフェルス		-96446.680	44691.250	83.220	16.90	7.90	5.10	579.40	参考石器資料
34	C6-2	Ⅲ下	MB0	A－ 34	剥片	ホルンフェルス		-96445.720	44690.360	83.248	3.45	4.09	1.71	14.00	参考石器資料
35	C6-2	Ⅲ下	MB0	A－ 35	剥片	ホルンフェルス		-96445.600	44691.700	83.398	5.74	4.75	1.92	44.90	参考石器資料
72	D5-2	Ⅳ上	ML1上	A－ 72	剥片	ホルンフェルス		-96435.500	44704.150	84.829	6.68	7.52	3.43	147.90	参考石器資料
87	E6-1	Ⅲ下	MB0	A－ 87	剥片	ホルンフェルス		-96444.050	44712.100	85.254	4.32	5.65	3.90	125.20	参考石器資料
95	F6-1	Ⅲ	MB0	A－ 95	剥片	ホルンフェルス	参考59	-96440.270	44722.100	84.585	3.05	1.95	0.93	5.30	参考接合資料
99	E7-3	Ⅲ	MB0	A－ 99	剥片	ホルンフェルス		-96457.430	44715.120	84.792					
106	D6-3	Ⅲ	MB0	A－ 106	剥片	ホルンフェルス		-96445.360	44707.680	85.202	3.21	3.85	1.04	11.30	参考石器資料
107	D6-3	Ⅲ	MB0	A－ 107	剥片	ホルンフェルス	参考33	-96445.630	44708.370	85.168	3.50	4.85	0.60	11.20	参考接合資料
108	D6-3	Ⅲ	MB0	A－ 108	剥片	ホルンフェルス		-96446.360	44709.050	85.129	7.84	3.52	3.31	63.00	参考石器資料
109	D6-3	Ⅲ	MB0	A－ 109	剥片	ホルンフェルス		-96448.700	44708.200	84.998	5.41	3.22	2.54	33.60	参考石器資料
118	F6-1	Ⅲ下	MB0	A－ 118	剥片	ホルンフェルス	参考25	-96440.420	44723.420	84.565	9.25	8.35	6.83	449.10	参考接合資料
119	F6-1	Ⅲ下	MB0	A－ 119	剥片	ホルンフェルス	参考25	-96440.600	44723.120	84.547	7.50	7.45	5.10	199.80	参考接合資料
124	E7-4	Ⅲ	MB0	A－ 124	剥片	ホルンフェルス		-96451.320	44717.900	84.218	9.50	4.30	1.50	58.70	参考石器資料
127	D5-3	Ⅲ下	MB0	A－ 127	剥片	ホルンフェルス		-96439.460	44707.030	84.287					
146	C6-4	Ⅳ下	ML1上	A－ 146	剥片	ホルンフェルス		-96443.480	44695.920	83.736					
167	D6-1	Ⅳ	ML1上	A－ 167	剥片	ホルンフェルス		-96442.800	44702.940	85.000					
177	F5-3	Ⅳ	ML1上	A－ 177	剥片	ホルンフェルス		-96439.410	44728.880	84.318	4.17	5.44	1.03	17.10	参考石器資料
179	F6-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 179	剥片	ホルンフェルス	参考59	-96440.030	44724.400	84.465	2.45	3.85	0.81	7.50	参考接合資料
181	E5-2	Ⅲ	MB0	A－ 181	剥片	ホルンフェルス	参考19	-96435.210	44710.510	84.455	6.75	6.95	1.36	79.30	参考接合資料
186	F5-2	Ⅳ	ML1上	A－ 186	剥片	ホルンフェルス	参考34	-96435.050	44719.310	84.554	3.25	1.95	0.66	4.00	参考接合資料
187	F5-2	Ⅳ	ML1上	A－ 187	剥片	ホルンフェルス		-96435.200	44719.500	84.536					
188	F5-2	Ⅳ	ML1上	A－ 188	剥片	ホルンフェルス	参考34	-96435.610	44719.590	84.502	4.10	3.25	0.76	10.00	参考接合資料
199	B5-4	Ⅳ下	ML1上	A－ 199	剥片	ホルンフェルス		-96430.640	44689.300	84.879	2.73	1.96	1.00	3.70	参考石器資料
213	C6-1	Ⅳ中	ML1上	A－ 213	剥片	ホルンフェルス		-96440.750	44692.820	84.337	6.13	2.74	1.80	18.70	参考石器資料
231	E7-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 231	剥片	ホルンフェルス		-96454.210	44717.980	83.996					
233	E7-4	Ⅳ中	ML1上	A－ 233	剥片	ホルンフェルス		-96454.000	44717.010	84.006					
240	E7-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 240	剥片	ホルンフェルス		-96452.280	44715.420	84.040					
243	E6-4	Ⅳ上	ML1上	A－ 243	剥片	ホルンフェルス		-96442.820	44717.000	84.358					
244	D6-3	Ⅳ中	ML1上	A－ 244	剥片	ホルンフェルス	参考33	-96445.420	44709.010	84.124	4.00	2.75	0.49	6.60	参考接合資料
259	C5-3	Ⅳ	ML1上	A－ 259	剥片	ホルンフェルス		-96437.740	44695.490	84.184					
272	B7-4	Ⅳ	ML1上	A－ 272	剥片	ホルンフェルス		-96450.380	44689.350	82.390	12.80	4.30	2.00	80.10	参考石器資料
274	C5-1	Ⅳ	ML1上	A－ 274	剥片	ホルンフェルス		-96434.780	44693.710	84.310	9.59	4.77	0.81	33.10	参考石器資料
490	D6-4	Ⅴb上	Kr-Kb	A－ 490	剥片	ホルンフェルス	参考33	-96442.760	44709.470	83.989	5.05	6.40	1.34	61.30	参考接合資料
680	D7-1	Ⅴa	ML1下	A－ 680	剥片	ホルンフェルス	参考19	-96450.710	44700.230	83.116	8.10	7.40	3.47	253.90	参考接合資料
1141	G4-3	Ⅲ下	MB0	B－1141	剥片	ホルンフェルス	参考66	-96426.300	44736.320	84.821	5.20	2.45	1.61	15.00	参考接合資料
1145	G4-3	Ⅲ	MB0	B－1145	剥片	ホルンフェルス		-96427.750	44737.480	84.856					
1157	G5-1	Ⅲ下	MB0	B－1157	剥片	ホルンフェルス		-96433.120	44732.820	84.798	5.53	6.44	0.96	26.00	参考石器資料
1158	G5-1	Ⅳ上	ML1上	B－1158	剥片	ホルンフェルス		-96433.220	44730.530	84.743					
1161	E3-3	Ⅳ上	ML1上	B－1161	剥片	ホルンフェルス		-96416.290	44717.600	84.918					
1163	F5-4	Ⅳ上	ML1上	B－1163	剥片	ホルンフェルス		-96433.300	44725.700	84.693	6.02	4.51	1.95	45.20	参考石器資料
1168	G5-3	Ⅲ	MB0	B－1168	剥片	ホルンフェルス		-96438.910	44737.910	84.667	5.02	5.10	1.53	17.00	参考石器資料
1174	F2-3	Ⅳ	ML1上	B－1174	剥片	ホルンフェルス		-96408.850	44725.400	85.034					
1176	H4-4	Ⅳ下	ML1上	B－1176	剥片	ホルンフェルス		-96424.820	44748.240	84.726					
1178	H4-4	Ⅳ下	ML1上	B－1178	剥片	ホルンフェルス		-96422.140	44748.000	84.730	6.31	3.53	1.09	16.20	参考石器資料
1179	F3-4	Ⅳ中	ML1上	B－1179	剥片	ホルンフェルス	参考66	-96411.290	44728.950	84.862	1.70	2.10	0.40	1.20	参考接合資料
1190	G5-2	Ⅳ	ML1上	B－1190	剥片	ホルンフェルス	参考35	-96438.740	44733.620	84.588	7.70	6.15	0.98	45.10	参考接合資料
1191	G5-2	Ⅳ	ML1上	B－1191	剥片	ホルンフェルス	参考35	-96438.280	44733.340	84.610	5.40	3.15	0.82	15.20	参考接合資料

遺物 No.	出土 Gr.	出土層1 (遺跡層序)	出土層2 (東九州層序)	注記番号	器 種	石 材	接合 No.	国土座標 X座標	国土座標 Y座標	標高 (m)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　　考
1199	G5-2	Ⅳ上	ML1上	B－1199	剥片	ホルンフェルス		-96437.780	44732.210	84.626	4.17	4.77	1.75	25.40	参考石器資料
1203	G5-1	Ⅳ	ML1上	B－1203	剥片	ホルンフェルス		-96434.880	44731.250	84.673	3.35	2.01	1.57	11.50	参考石器資料
1205	G5-2	Ⅳ	ML1上	B－1205	剥片	ホルンフェルス		-96436.150	44732.050	84.688					
1208	G3-3	Ⅳ	ML1上	B－1208	剥片	ホルンフェルス		-96417.500	44735.720	84.928					
1227	E3-1	Ⅳ下	ML1上	B－1227	剥片	ホルンフェルス		-96412.620	44711.460	84.819	9.22	8.80	3.89	237.30	参考石器資料
1228	G5-2	Ⅳ	ML1上	B－1228	剥片	ホルンフェルス		-96437.180	44731.150	84.603	9.70	11.70	4.00	571.30	参考石器資料
1232	G5-1	Ⅳ中	ML1上	B－1232	剥片	ホルンフェルス		-96432.100	44731.870	84.757	7.86	5.51	2.53	78.70	参考石器資料
1233	G5-1	Ⅳ中	ML1上	B－1233	剥片	ホルンフェルス		-96432.530	44732.980	84.758	8.00	6.90	2.44	126.20	参考石器資料
1234	G5-1	Ⅳ下	ML1上	B－1234	剥片	ホルンフェルス		-96433.700	44730.970	84.650					
1236	G5-2	Ⅳ上	ML1上	B－1236	剥片	ホルンフェルス		-96437.820	44730.560	84.627					
1240	F5-4	Ⅳ下	ML1上	B－1240	剥片	ホルンフェルス		-96432.290	44726.310	84.650					
176	D5-4	Ⅳ	ML1上	A－ 176	剥片	流紋岩		-96433.350	44706.150	84.418					
1209	F4-1	Ⅳ下	ML1上	B－1209	剥片	流紋岩		-96423.320	44722.670	84.688					
1213	G3-1	Ⅳ下	ML1上	B－1213	剥片	流紋岩		-96413.620	44734.820	84.867					

【旧石器時代：第Ⅰ・Ⅱ文化層】

B区：遺物・礫出土状況①（西より）

A区：遺物・礫出土状況①（西より）

A区：遺物・礫出土状況②（北西より）

B区：遺物・礫出土状況②（西より）

B区：遺物・礫出土状況③（南東より）

【旧石器時代：第Ⅲ文化層】

図版2

B区：遺物・礫出土状況（東より）

SI1（北東より）

SI3（北より）

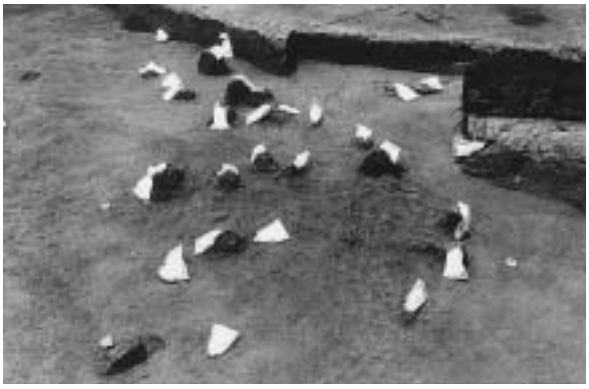
SI4（北より）

SI5（北西より）

【旧石器時代：第Ⅲ文化層】

B区：遺物集中域①・石器ブロック②遺物出土状況（南より）

B区：石器ブロック①遺物出土状況（南東より）



B区：石器ブロック③遺物出土状況（北東より）

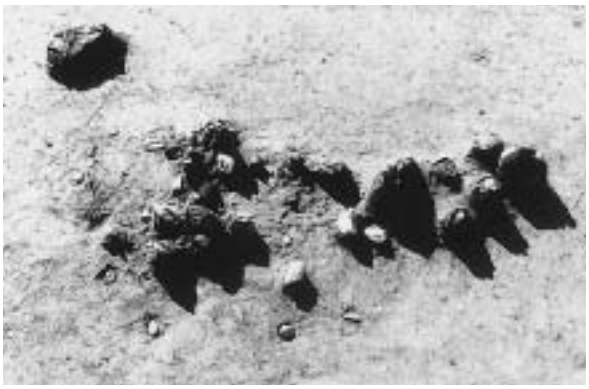
B区：石器ブロック④遺物出土状況（西より）

【旧石器時代：第Ⅳ文化層】

A区：遺物集中域C出土状況（南東より）

【旧石器時代：第Ⅳ文化層】

図版4



SI6（北より）

SI7（南より）

A区：北西部遺物出土状況［遺物集中域D］（西より）

A区：南東部遺物出土状況［遺物集中域B・C］（北から）

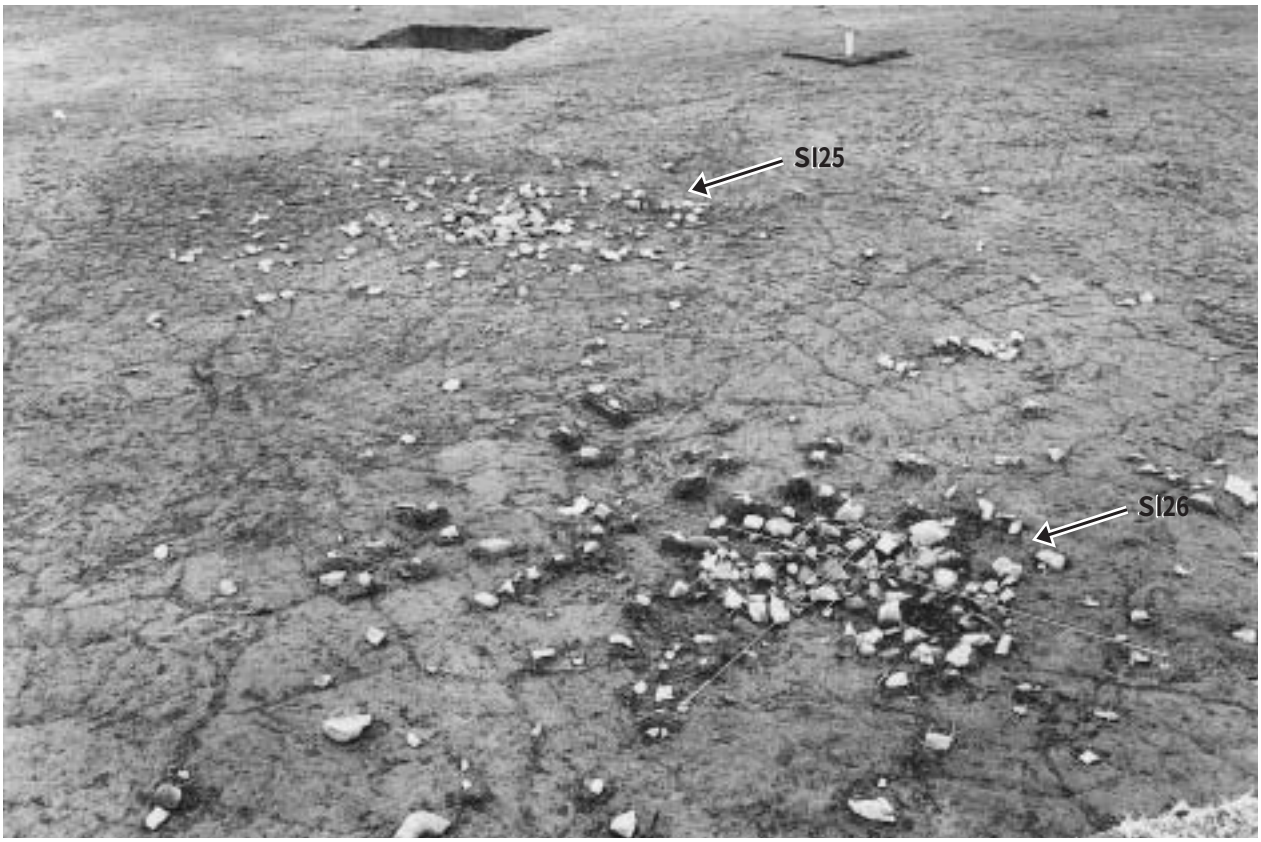
A区：遺物集中域D（C6G周辺）出土状況（北東より）

B区：遺物出土状況①（東より）

B区：遺物出土状況②（南から）

B区：遺物集中域A遺物出土状況（北東から）

【縄文時代早期】



SI25・SI26と散礫（北東より）

SI８（北西より）

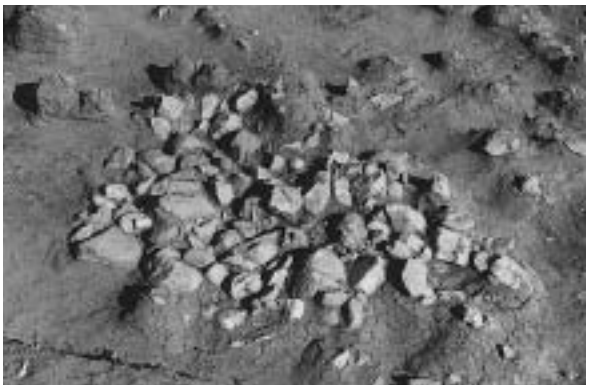
SI９（北西より）

SI10（西より）

SI12（東より）

【縄文時代早期】

図版6



SI13（西より）

SI14と散礫（北東より）

SI15（北東より）

SI16（北東より）

SI17（西より）

SI18（南西より）

SI19（南西より）

SI21（北東より）

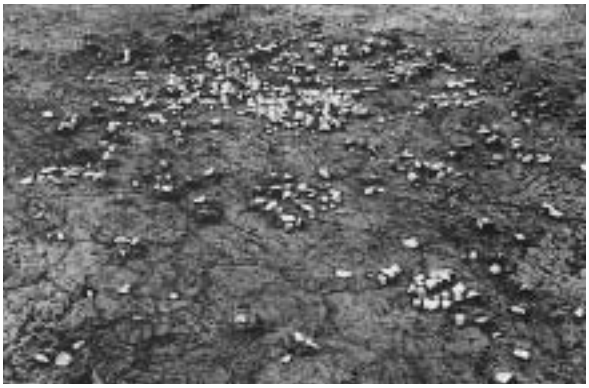
【縄文時代早期】

SI22（北より）

SI23（北西より）

SI27（北より）

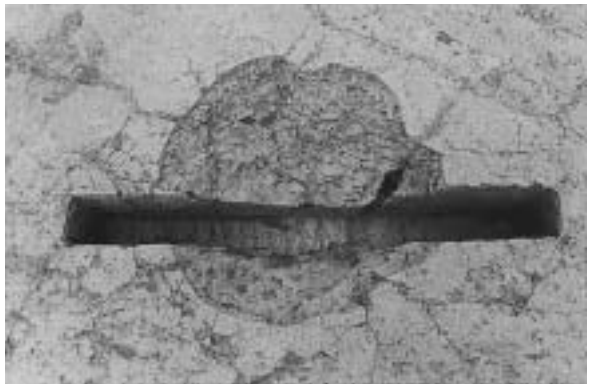
SI28（北より）



SI29・SI30と散礫（南東より）

SI29の配石（北から）

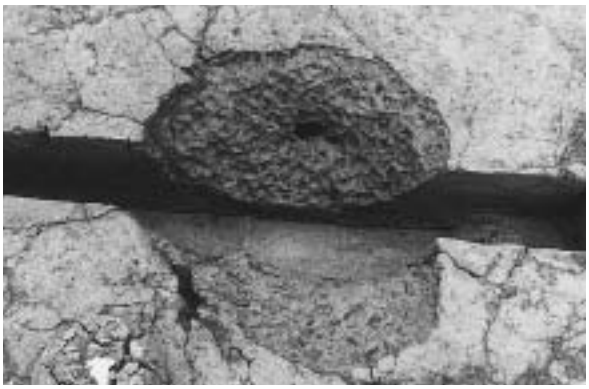
SC１（北東より）



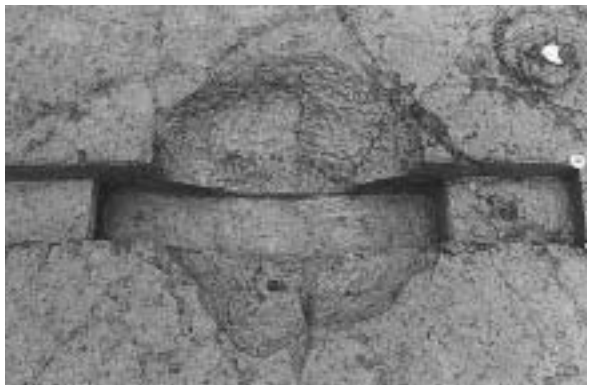
SC２（北より）

【縄文時代早期】

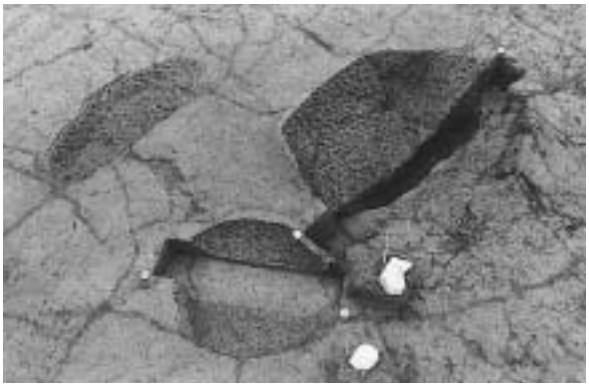
図版8



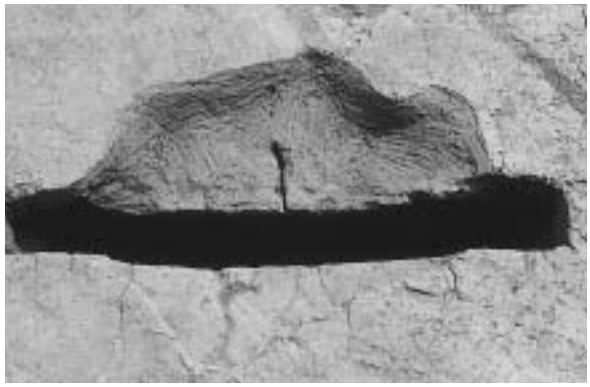
SC３（西より）



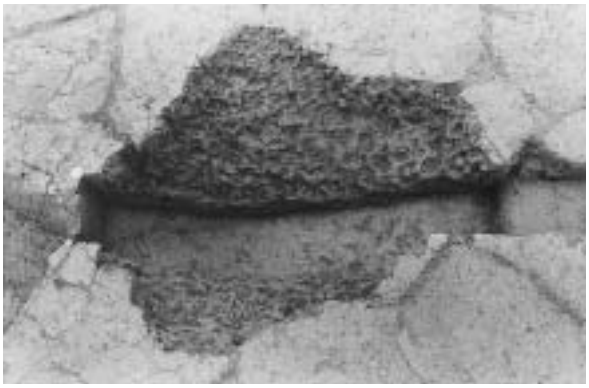
SC４（東より）



SC５・SC６・SC７（北より）



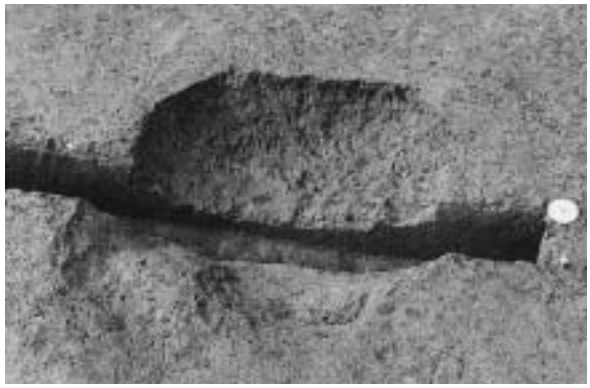
SC９（北より）



SC10（北より）

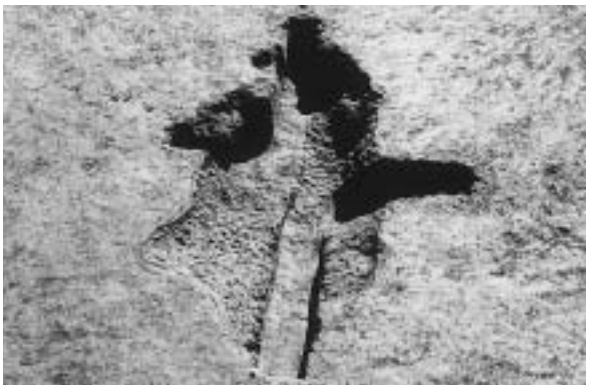
SC13（北より）

SC16（北東より）



SC17（西より）

【縄文時代早期】



SC18（北より）

SC21埋土検出状況（南より）

SC22（南西より）

SC23（北より）

SC24（南東より）

【縄文時代早期／Kr-Aw 層以下の調査】

B区：遺物・礫出土状況（南東より）

A区：遺物・礫出土状況（西より）

B区：SI30と周辺の遺物・礫出土状況（南より）

B区：遺物・礫出土状況（北西より）

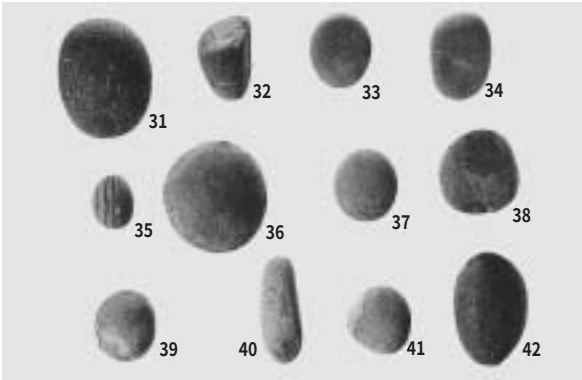
B区：Kr-Aw層以下礫出土状況（西より）

【旧石器時代】

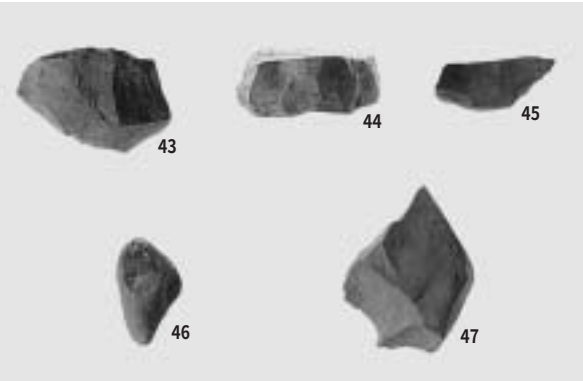
第Ⅰ文化層　頁岩、砂岩製石器

第Ⅰ文化層　砂岩製石器１

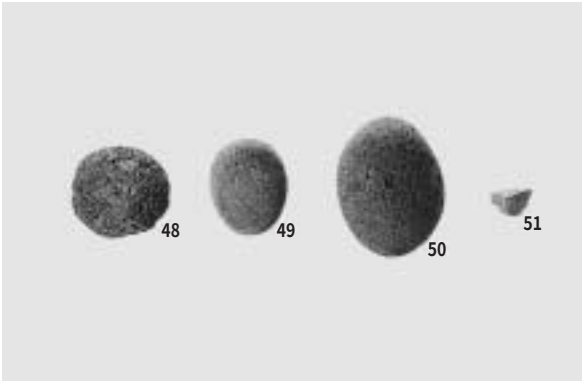
第Ⅰ文化層　砂岩製石器２



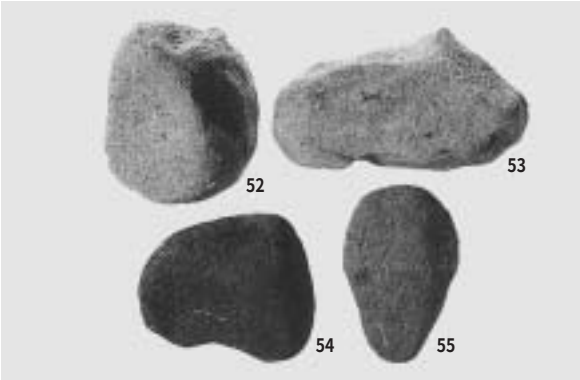
第Ⅰ文化層　砂岩、チャート製石器



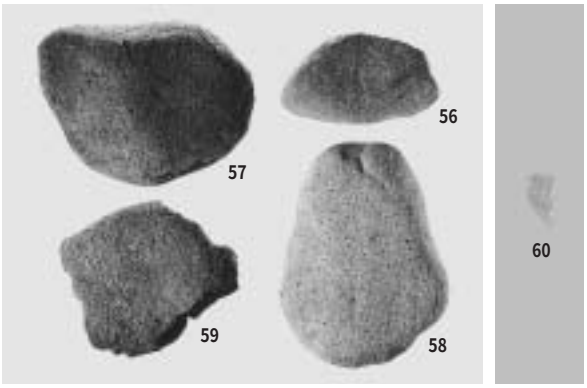
第Ⅰ文化層　ホルンフェルス製石器



第Ⅰ文化層　尾鈴山酸性岩類製石器１

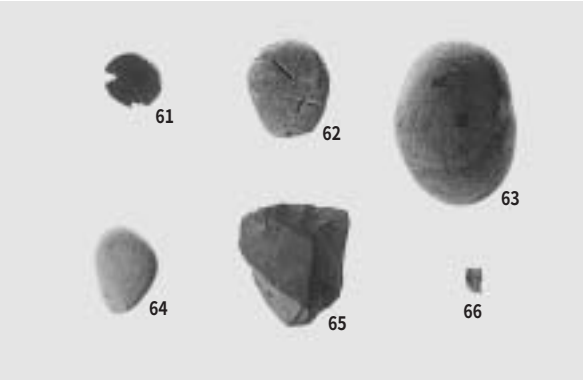


第Ⅰ文化層　尾鈴山酸性岩類製石器２

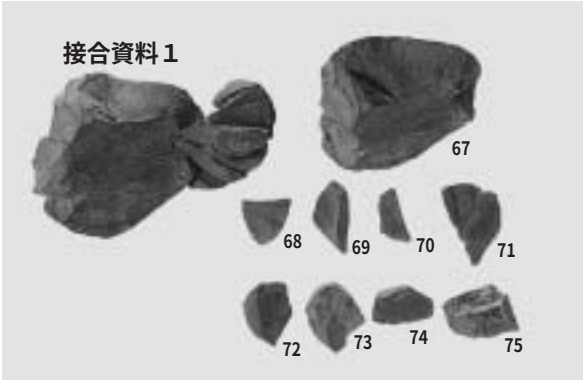


第Ⅰ文化層　尾鈴山酸性岩類、水晶製石器

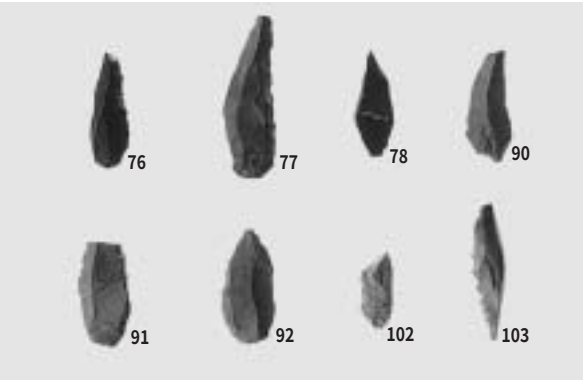
図版12



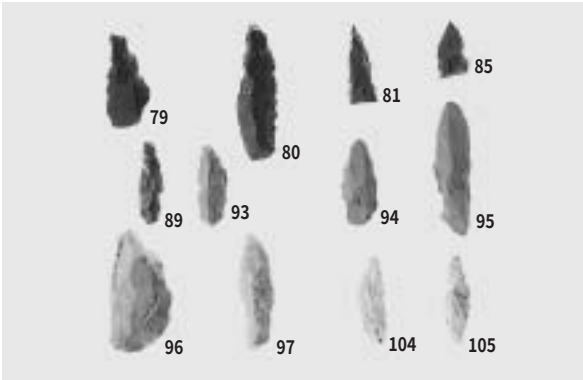
第Ⅱ文化層　頁岩、砂岩製石器



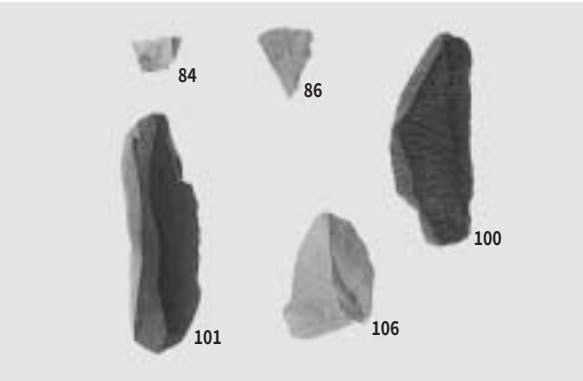
第Ⅱ文化層　接合資料１



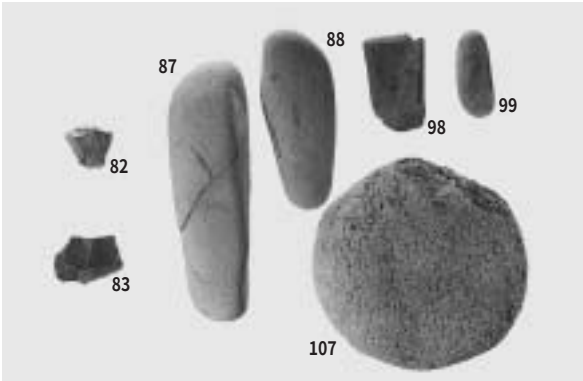
第Ⅲ文化層　頁岩、ホルンフェルス、
流紋岩製石器（ナイフ形石器）



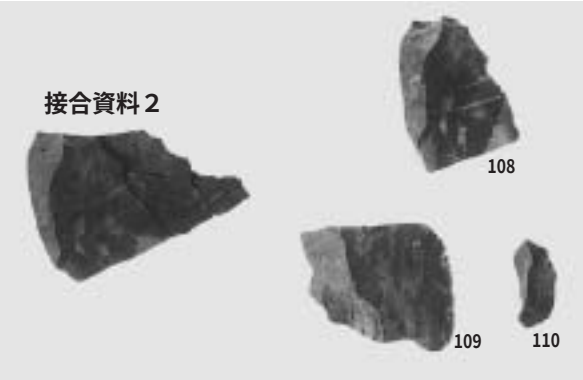
第Ⅲ文化層　頁岩、赤色頁岩、チャート、
ホルンフェルス、流紋岩製石器（角錐状石器）



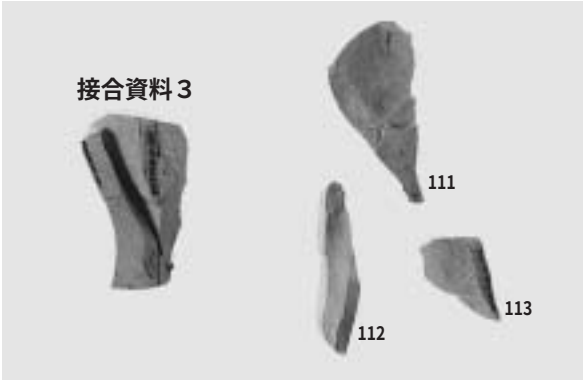
第Ⅲ文化層　珪質頁岩、砂岩、ホルンフェルス、
流紋岩製石器（台形石器、剥片尖頭器、剥片）



第Ⅲ文化層　頁岩、砂岩、ホルンフェルス、
尾鈴山酸性岩類製石器（石核、敲石、台石）



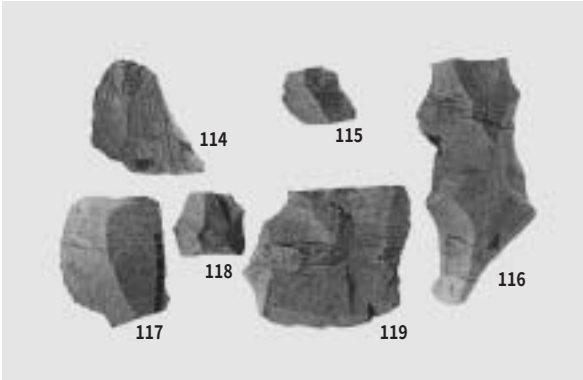
第Ⅲ文化層　接合資料２



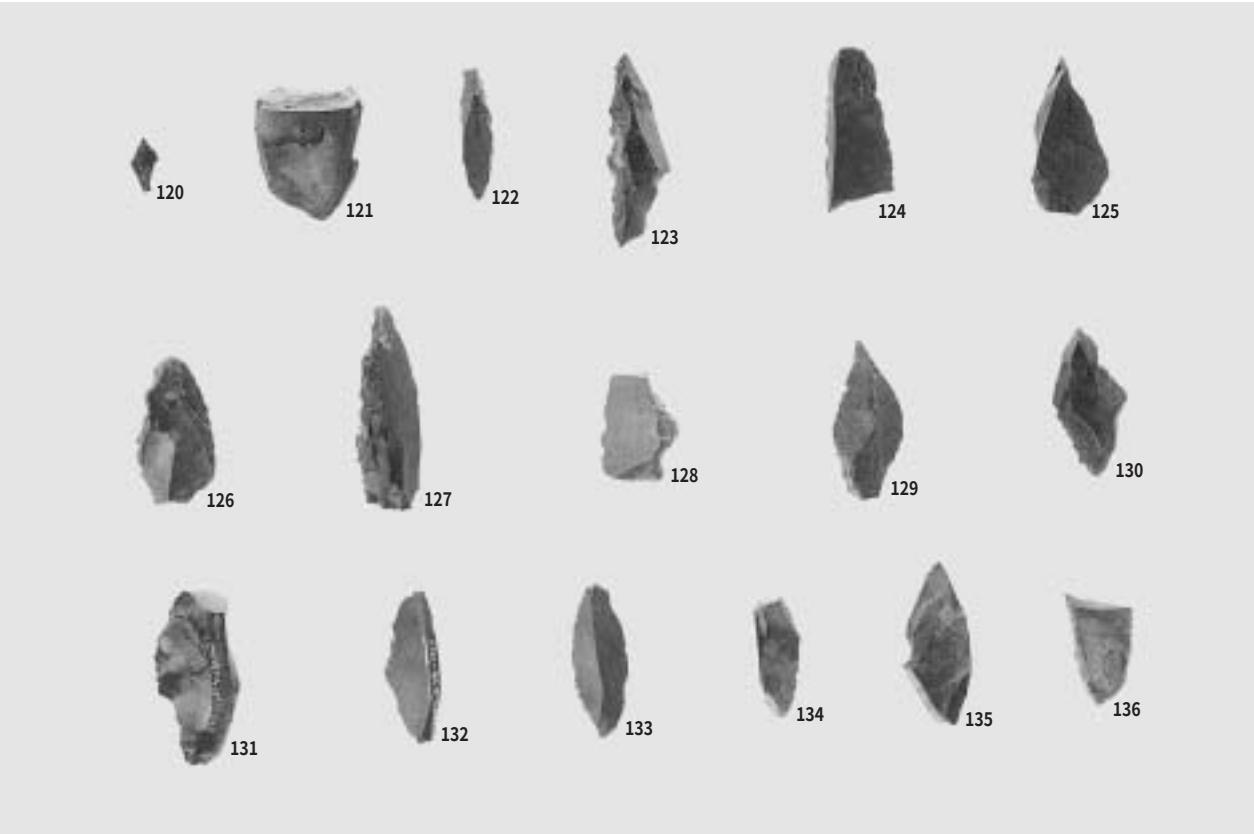
第Ⅲ文化層　接合資料３

【旧石器時代】

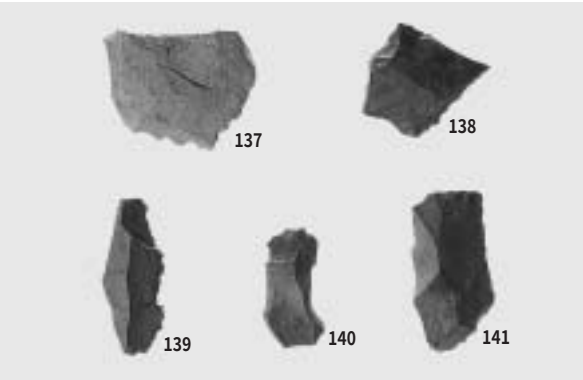
第Ⅲ文化層　接合資料４①



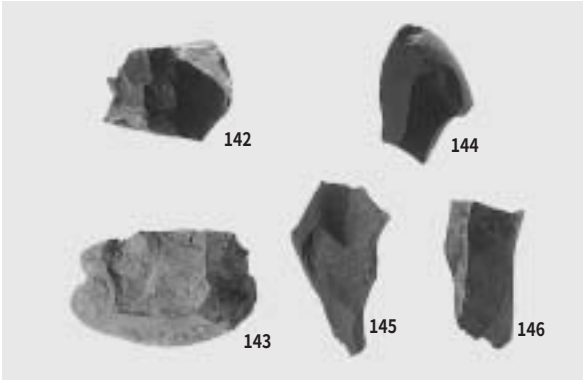
第Ⅲ文化層　接合資料４②



第Ⅳ文化層　頁岩製石器１

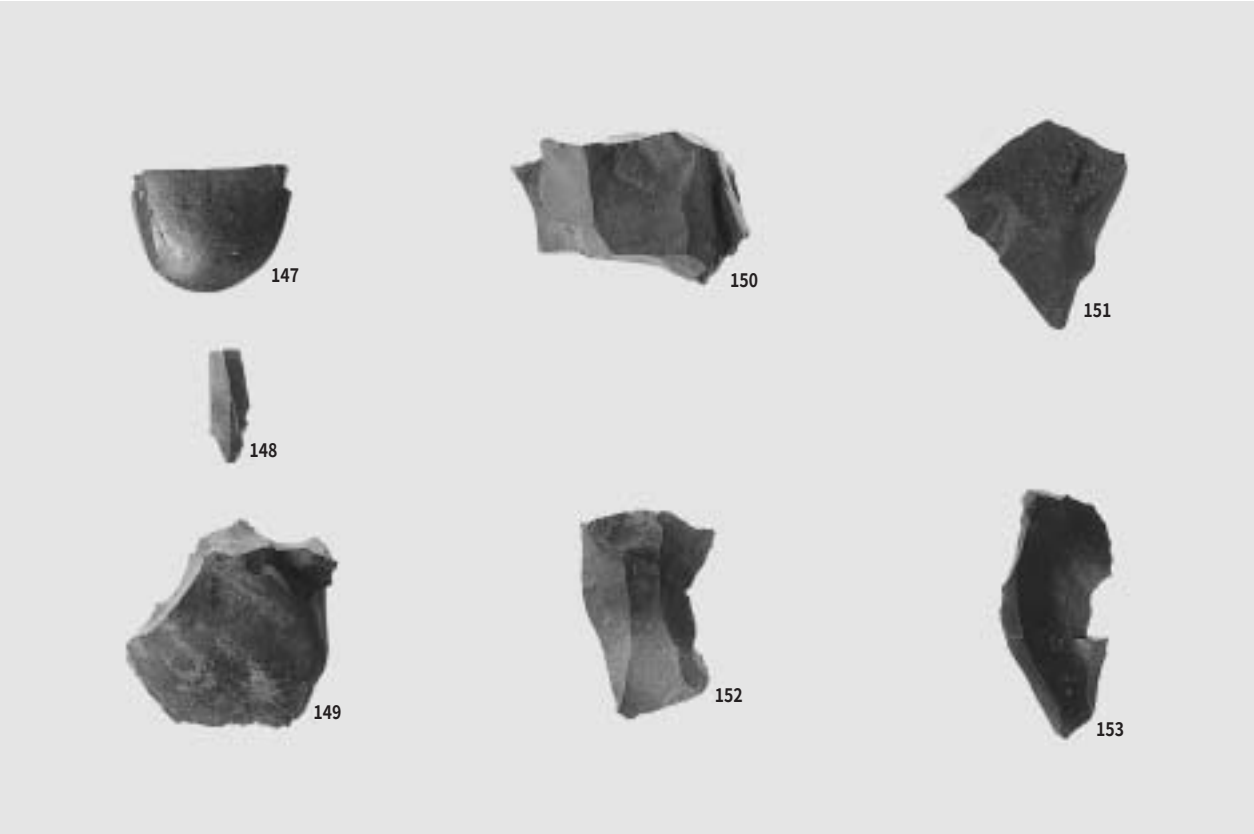


第Ⅳ文化層　頁岩製石器２

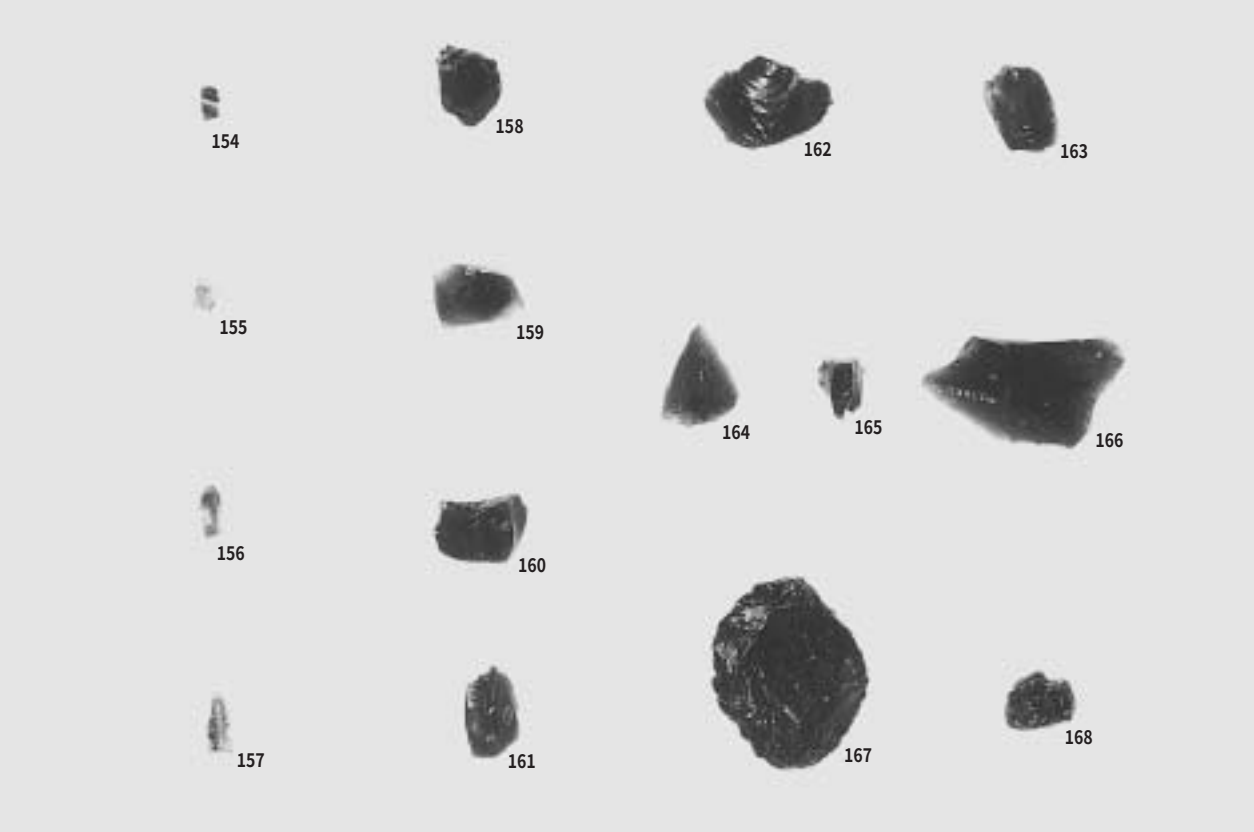


第Ⅳ文化層　頁岩製石器３

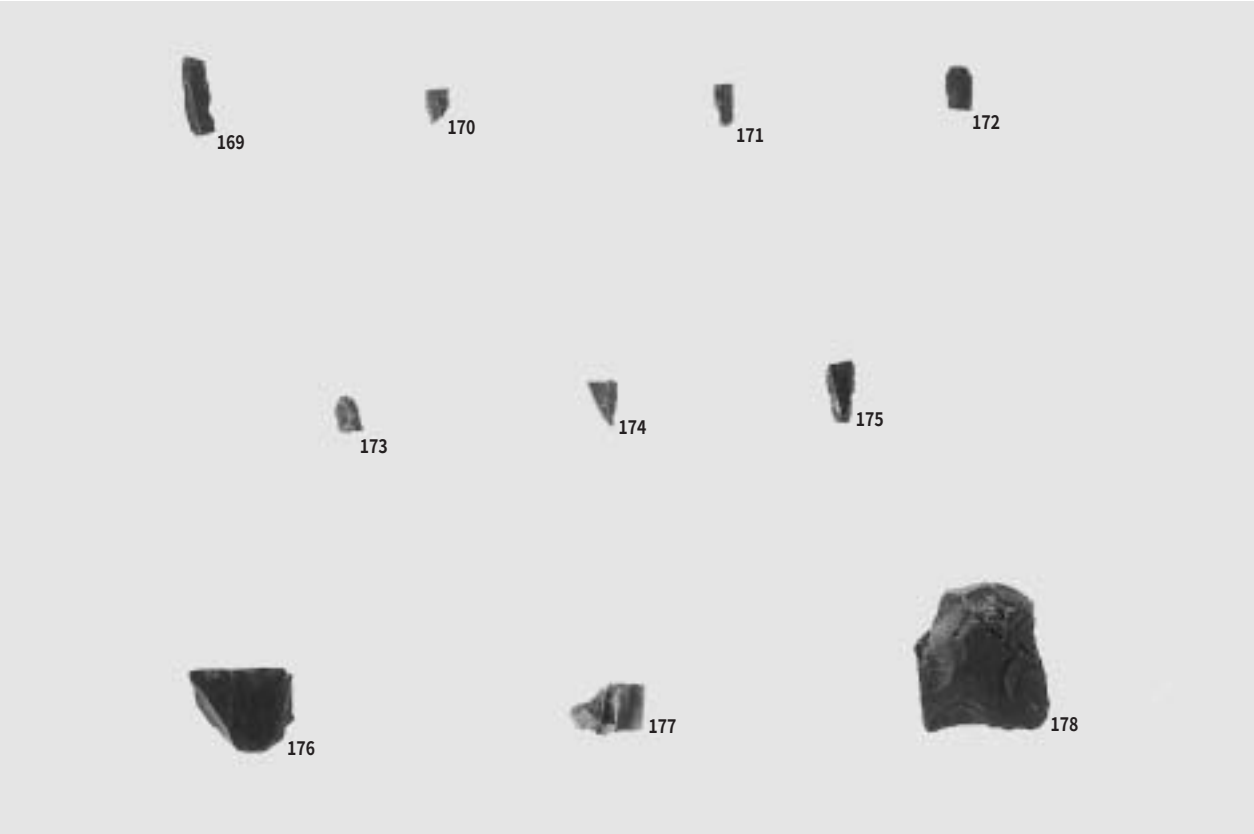
図版14



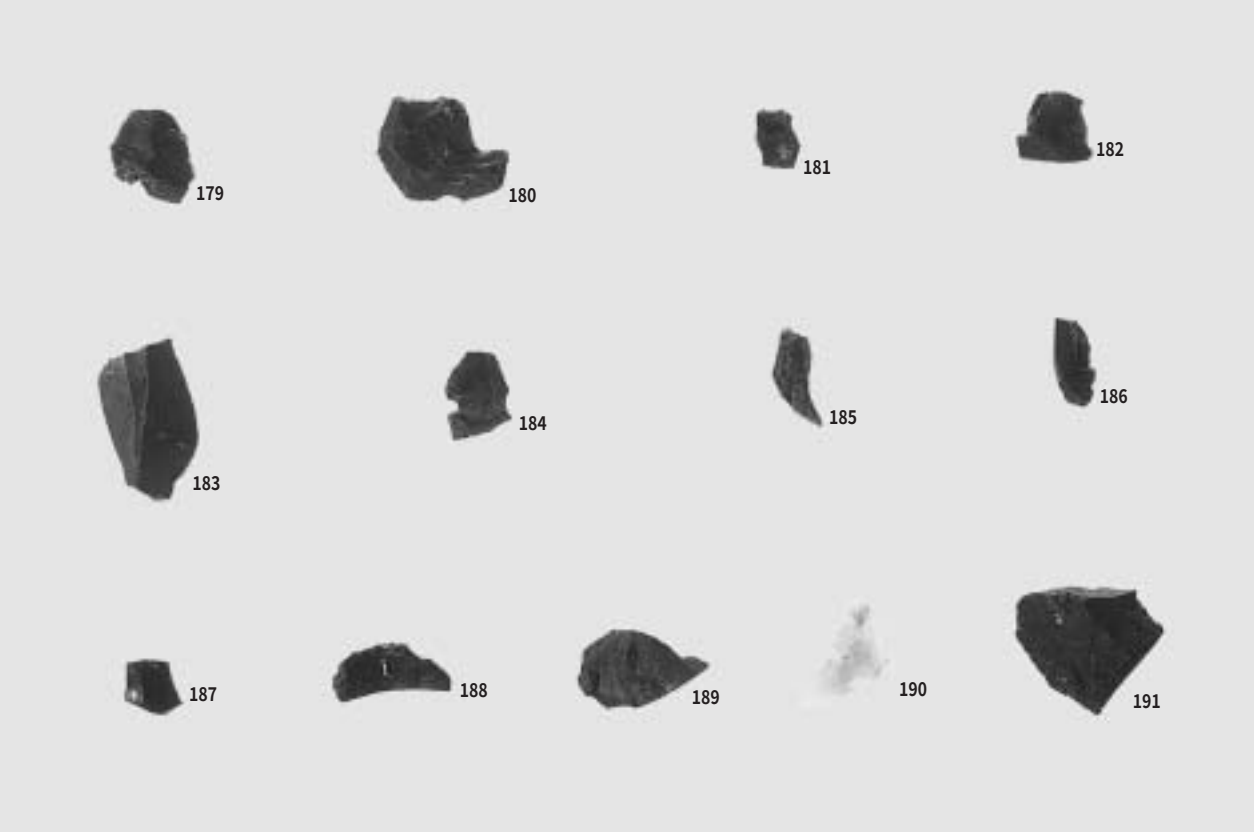
第Ⅳ文化層　珪質頁岩製石器



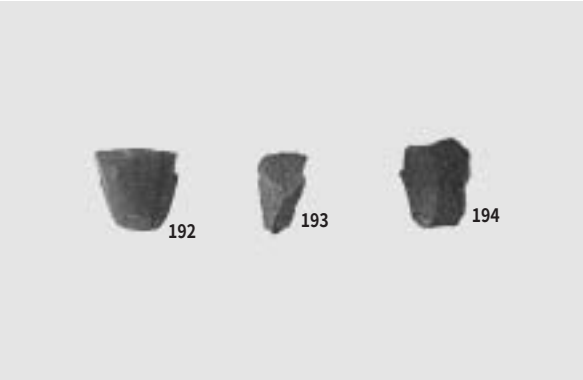
第Ⅳ文化層　黒曜石製石器（桑ノ木津留・日東）



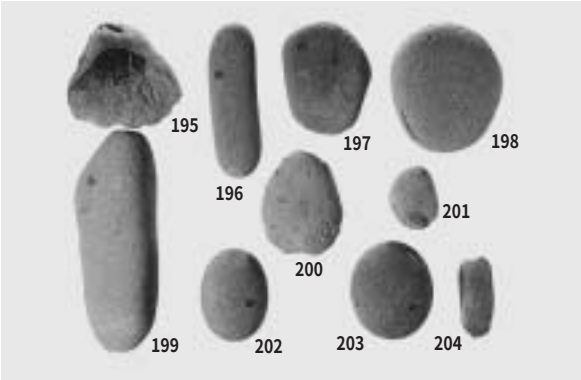
第Ⅳ文化層　黒曜石製石器（針尾島）



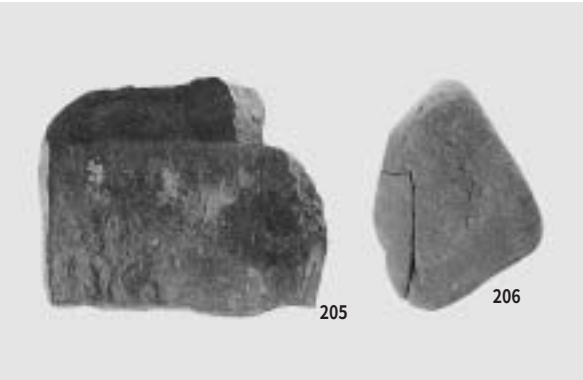
第Ⅳ文化層　黒曜石製石器（針尾島・姫島．象ヶ鼻）



第Ⅳ文化層　砂岩製石器１

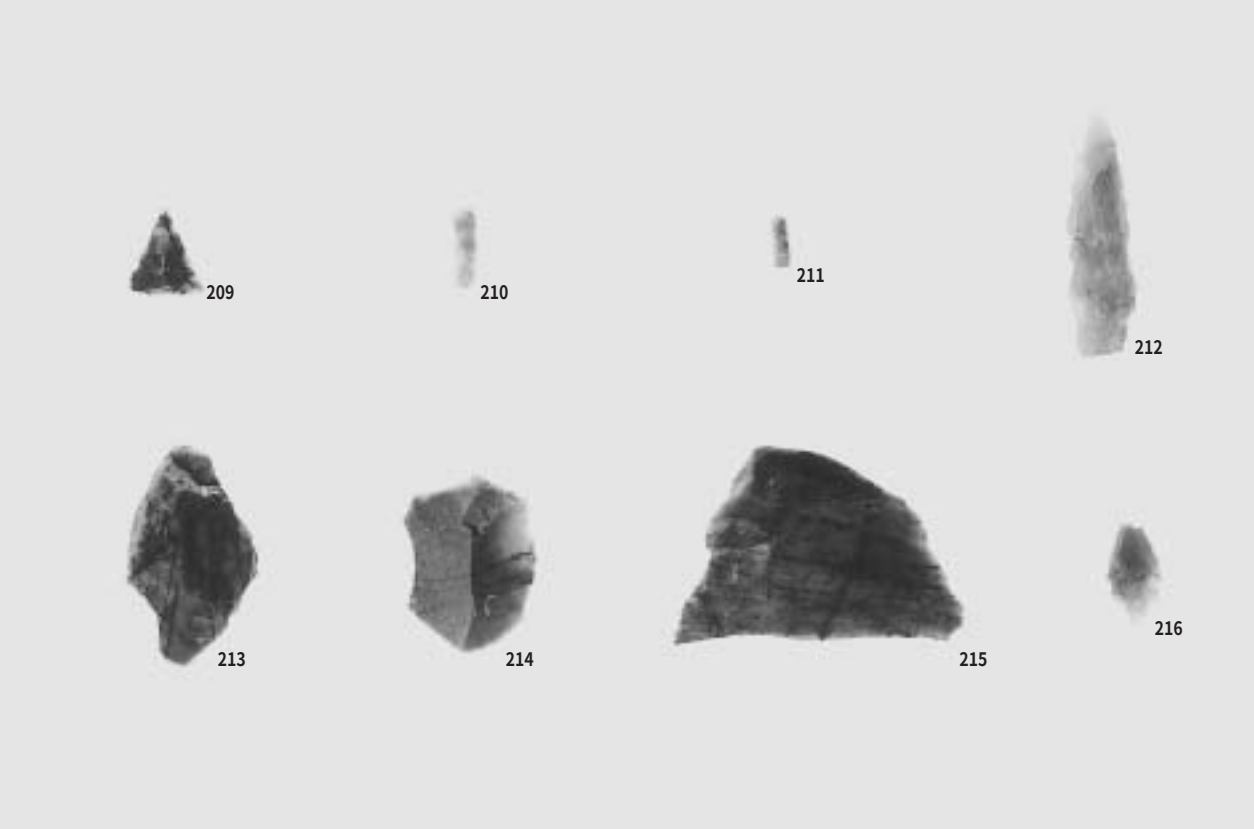


第Ⅳ文化層　砂岩製石器２



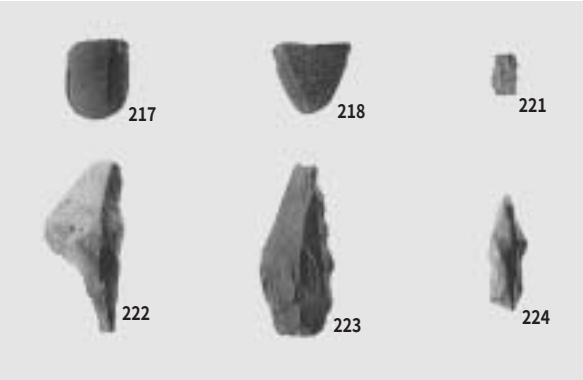
第Ⅳ文化層　砂岩製石器３

第Ⅳ文化層　砂岩製石器４

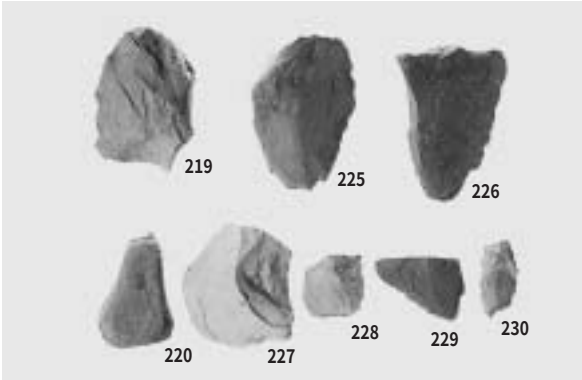


第Ⅳ文化層　チャート製石器

【旧石器時代】

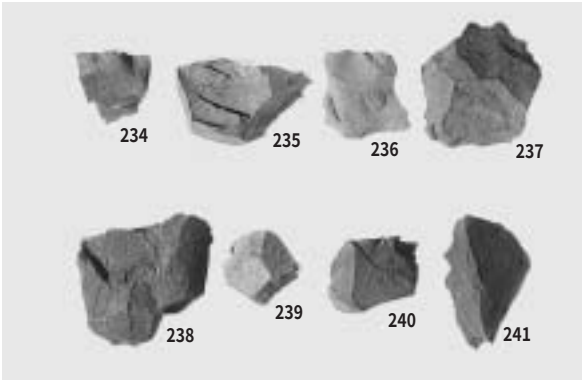


第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器１



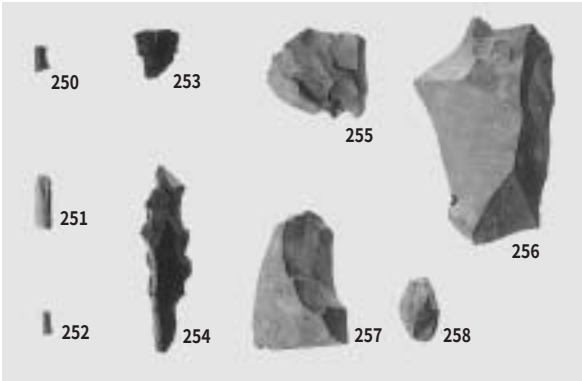
第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器２

第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器３

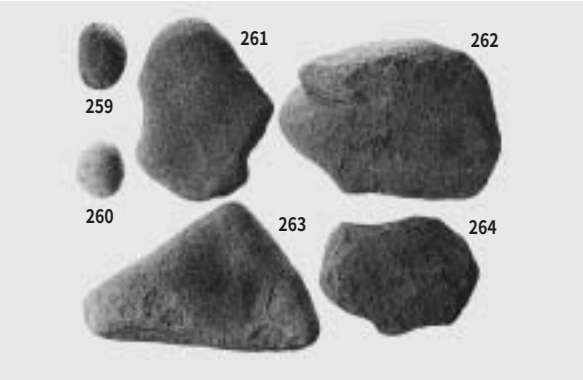


第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器４

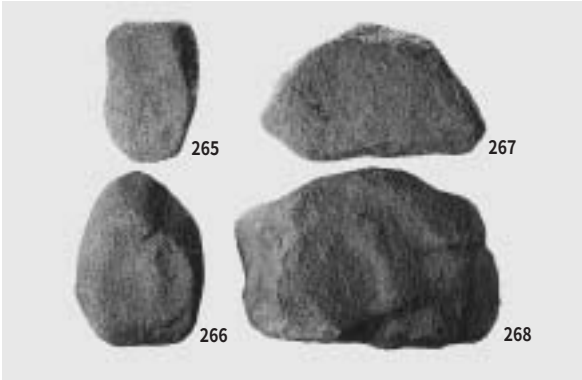
第Ⅳ文化層　ホルンフェルス製石器５



第Ⅳ文化層　流紋岩製石器

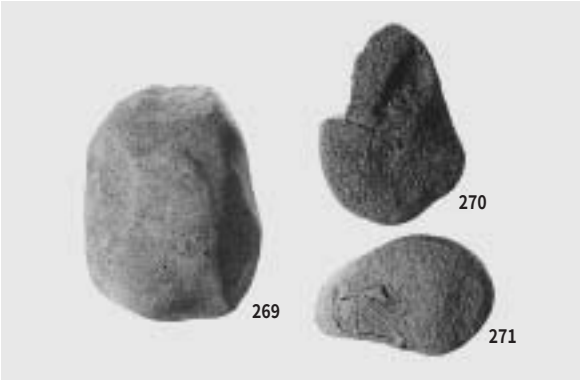


第Ⅳ文化層　尾鈴山酸性岩類製石器１

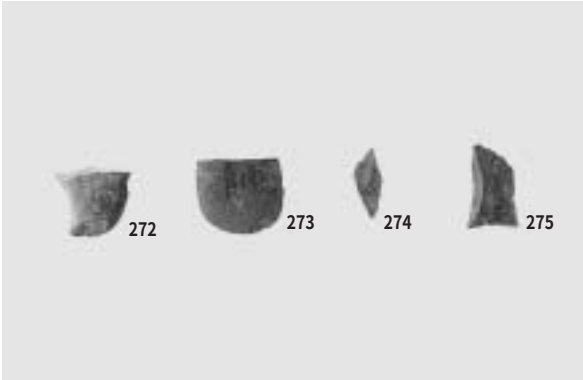


第Ⅳ文化層　尾鈴山酸性岩類製石器２

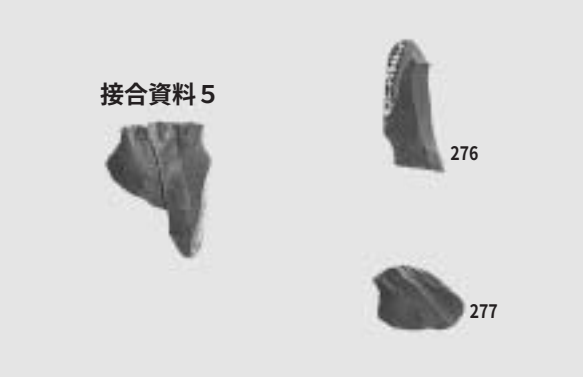
図版18



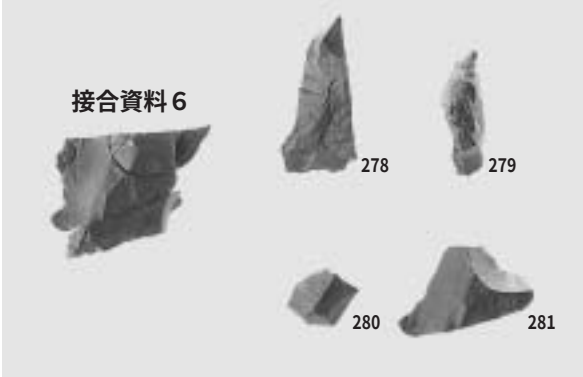
第Ⅳ文化層　尾鈴山酸性岩類製石器３



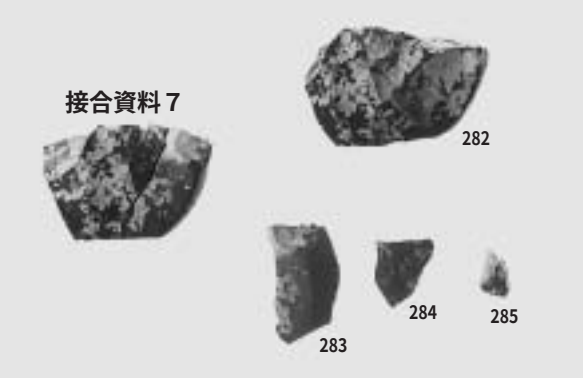
第Ⅳ文化層　凝灰岩製石器



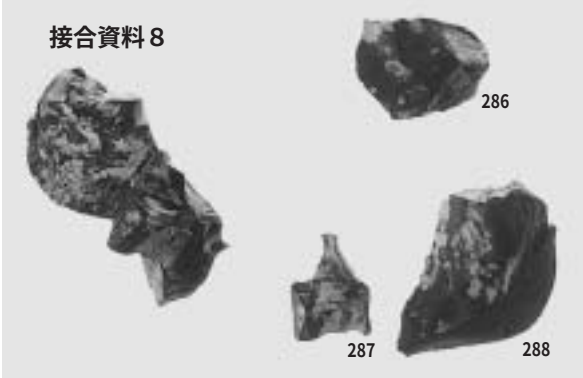
第Ⅳ文化層　接合資料５



第Ⅳ文化層　接合資料６



第Ⅳ文化層　接合資料７



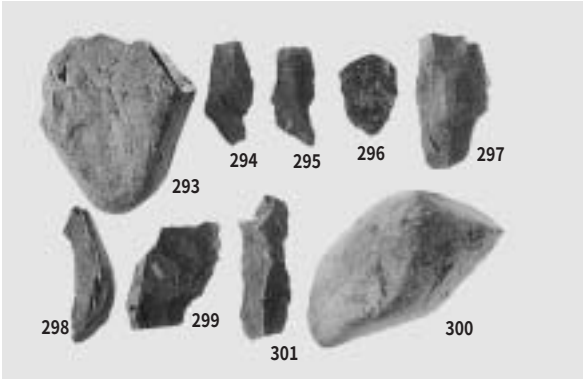
第Ⅳ文化層　接合資料８

第Ⅳ文化層　接合資料９①

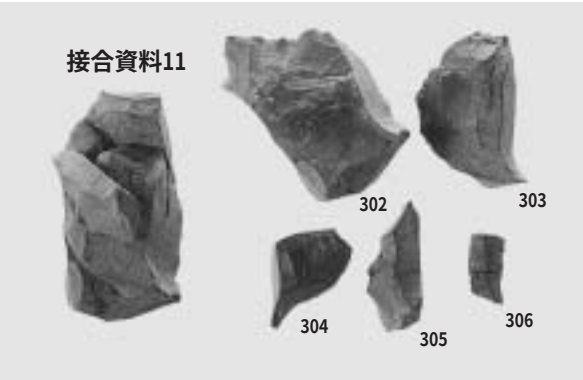
第Ⅳ文化層　接合資料９②

【旧石器時代】

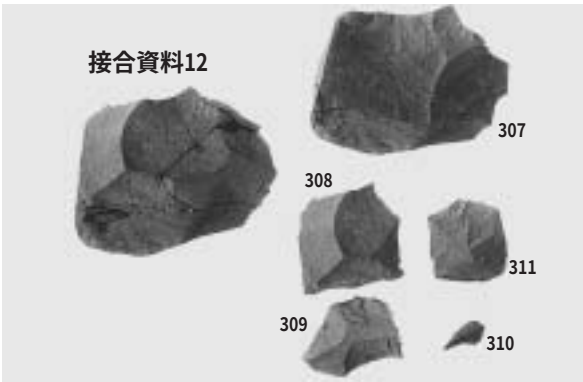
第Ⅳ文化層　接合資料10①



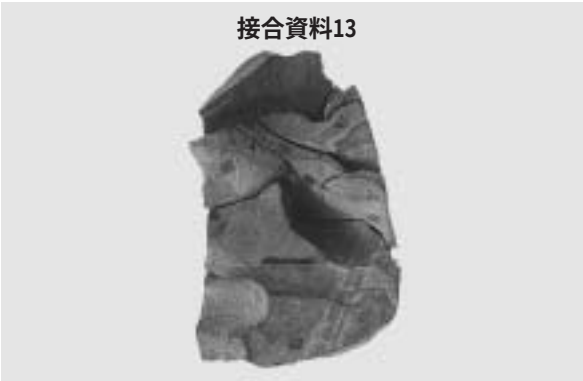
第Ⅳ文化層　接合資料10②



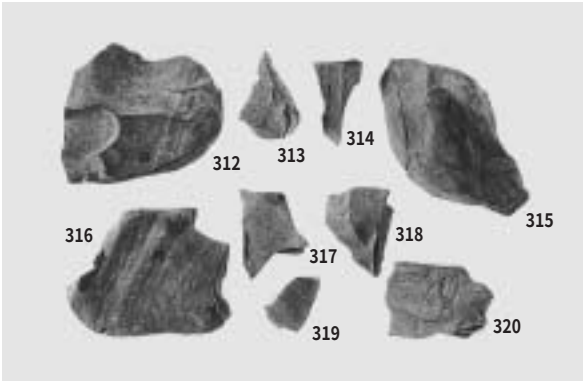
第Ⅳ文化層　接合資料11



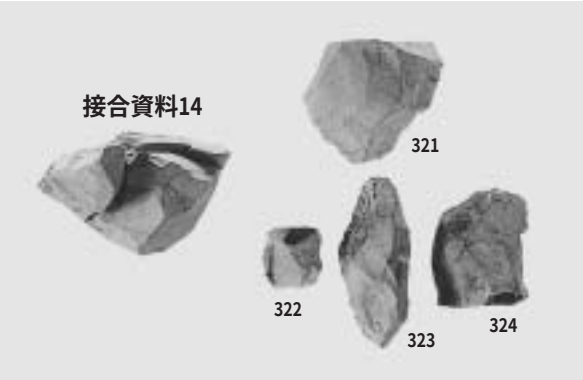
第Ⅳ文化層　接合資料12



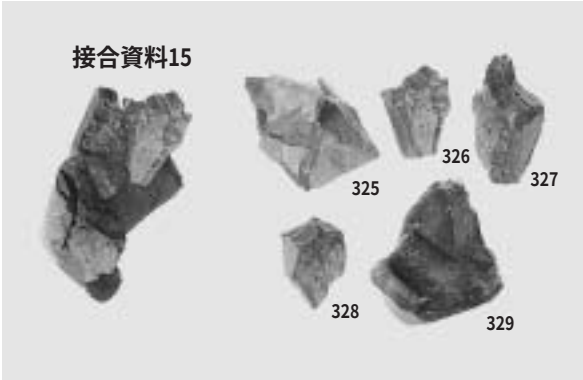
第Ⅳ文化層　接合資料13①



第Ⅳ文化層　接合資料13②

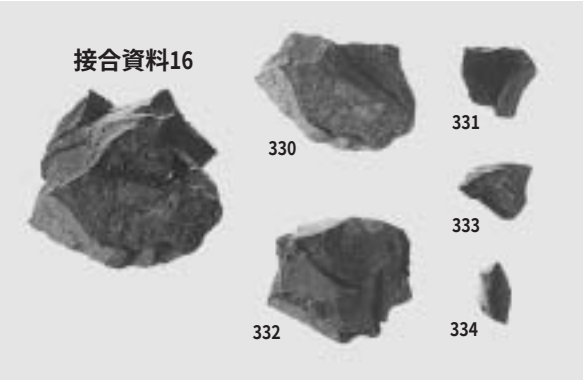


第Ⅳ文化層　接合資料14



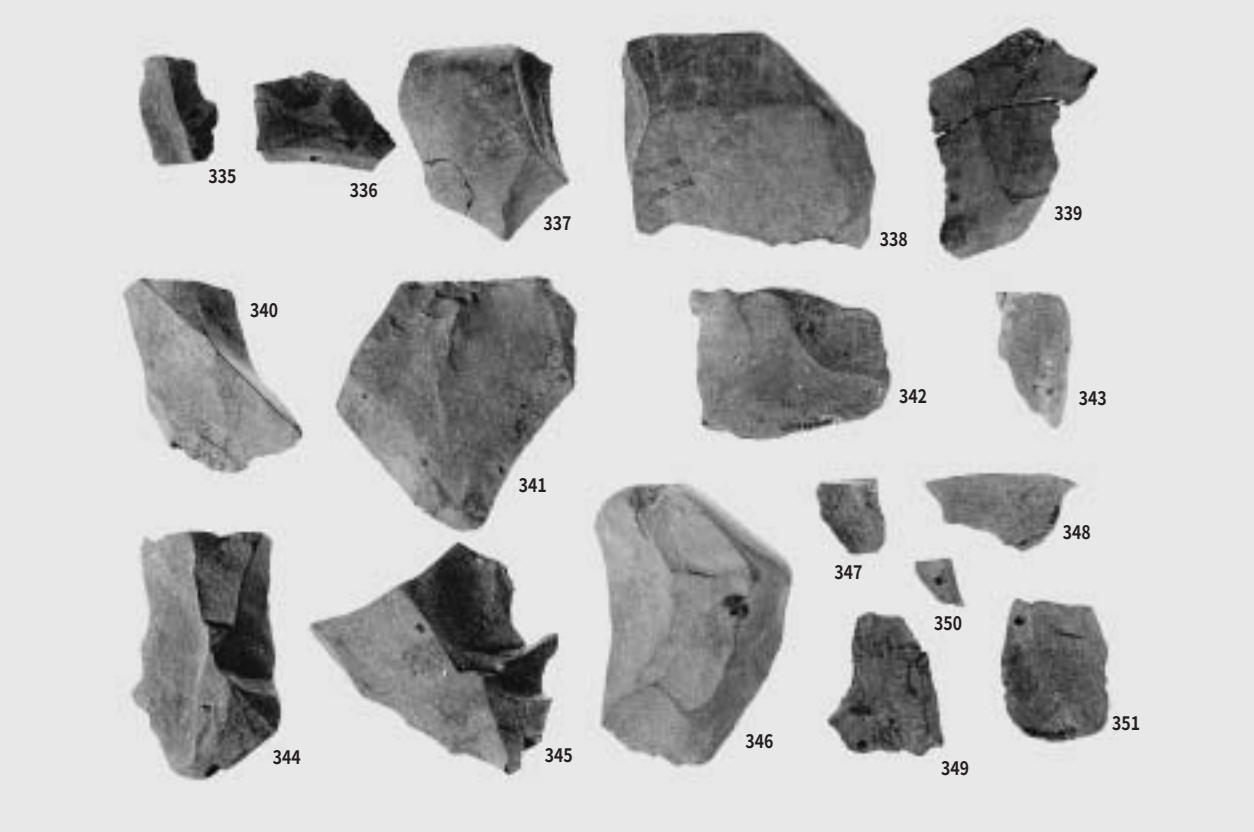
第Ⅳ文化層　接合資料15

図版20

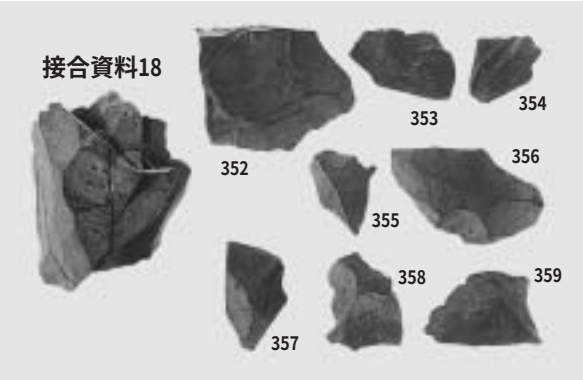


第Ⅳ文化層　接合資料16

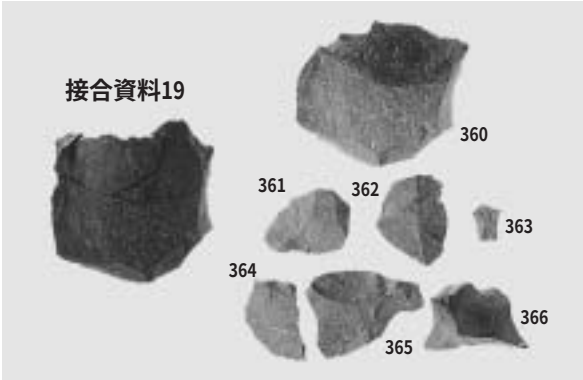
第Ⅳ文化層　接合資料17①



第Ⅳ文化層　接合資料17②

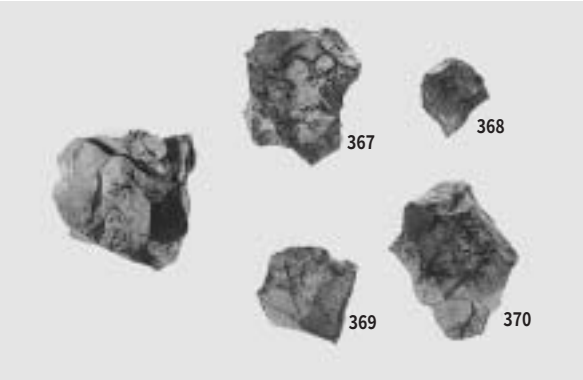


第Ⅳ文化層　接合資料18

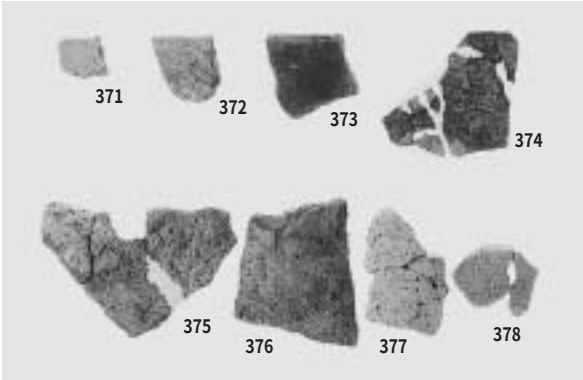


第Ⅳ文化層　接合資料19

【旧石器時代／縄文時代早期】

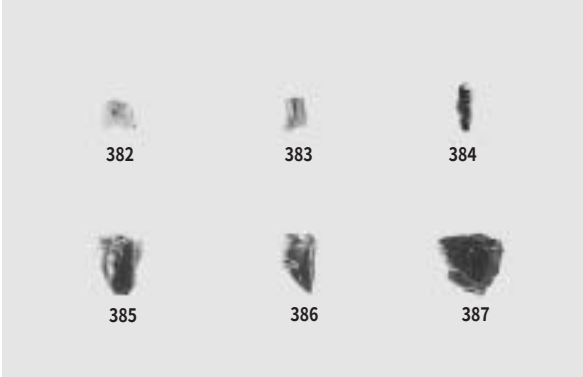


第Ⅳ文化層　接合資料20



縄文時代早期　縄文土器

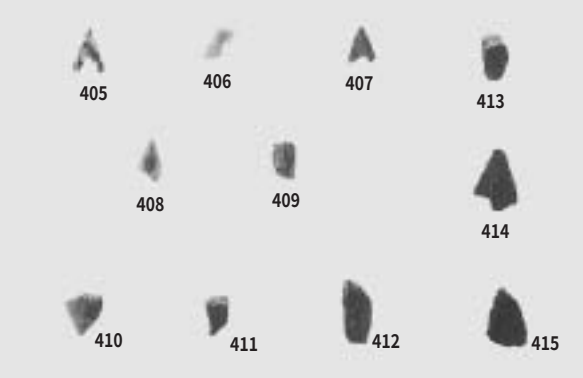
縄文時代早期　頁岩、珪質頁岩製石器



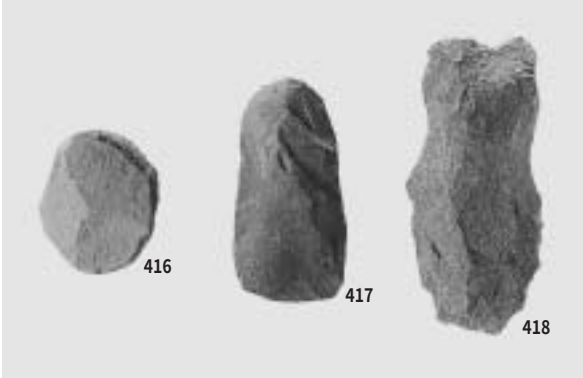
縄文時代早期　黒曜石製石器（桑ノ木津留・日東）

縄文時代早期　黒曜石製石器 (針尾島)、砂岩製石器

縄文時代早期　砂岩製石器

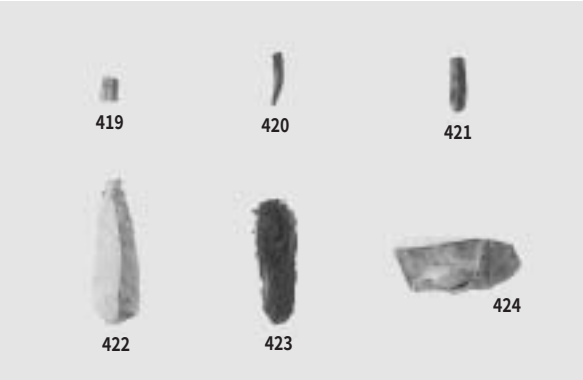


縄文時代早期　チャート、赤色チャート製石器



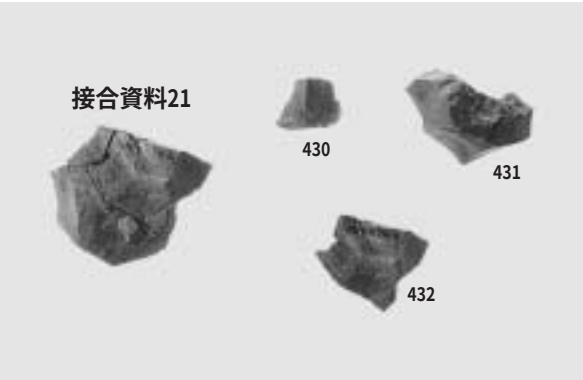
縄文時代早期　ホルンフェルス製石器

【縄文時代早期／その他の石器／他】



縄文時代早期　流紋岩製石器

縄文時代早期　尾鈴山酸性岩類製石器



縄文時代早期　接合資料21

縄文時代早期　接合資料22

その他の石器：楔形石器・石斧

現地説明会（発掘体験活動）

発掘調査作業風景

整理作業風景

報告書抄録

ふりがな	からきどだい３いせき
書名	唐木戸第３遺跡
副書名	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	13
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書
シリーズ番号	第105集
執筆・編集担当者	鵜戸　周成　　金丸　琴路
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター
所在地	〒880-0212　宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地　　TEL 0985-36-1171
発行年月日	2005年３月18日

所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
唐木戸第３遺跡（からきどだいさんいせき）	児湯郡高鍋町（こゆぐんたかなべちょう） 大字上江（おおあざうわえ） 字北唐木戸（あざきたからきど）	32度07分 44秒付近	131度28分 23秒付近	2002.10.15 ～ 2003.07.30	2,900㎡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
唐木戸第３遺跡	散布地	旧石器時代	礫群　７基	ナイフ形石器 角錐状石器 畦原型細石刃核 敲石	旧石器時代の礫群
		縄文時代早期	集石遺構　23基 土坑　24基	縄文土器 石鏃 スクレイパー 剥片	縄文時代早期の集石遺構・土坑等

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第105集

唐木戸第３遺跡

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書13

2005年３月

発　行　宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212　宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
TEL 0985(36)1171　　FAX 0985(72)0660

印　刷　㈱印刷センタークロダ
〒880-0022　宮崎市大橋２丁目175
TEL 0985(24)4351　　FAX 0985(27)9337